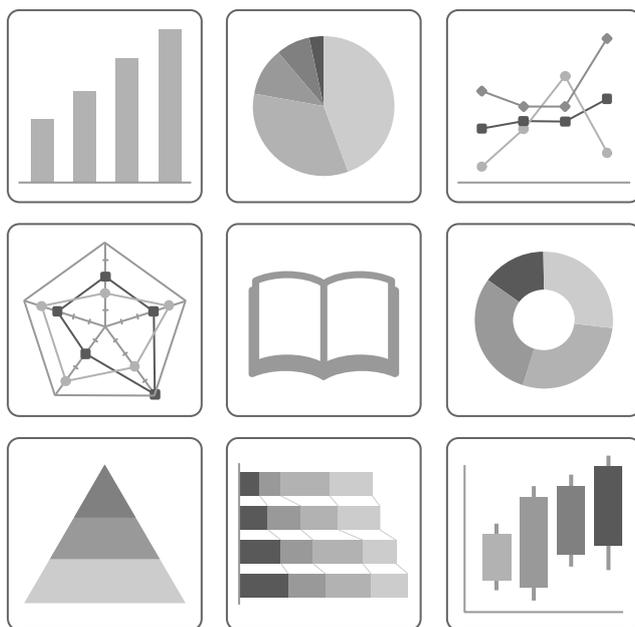


門真市
人権問題に関する市民意識調査
調査結果報告書



令和2年12月

門 真 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	人権問題全般	5
	(1) 人権について	5
	(2) 女性の人権について	56
	(3) 子どもの人権について	61
	(4) 高齢者の人権について	65
	(5) 障がい者の人権について	71
	(6) 外国人の人権について	77
	(7) インターネット上の人権について	82
	(8) 刑を終えた人の人権について	87
	(9) 犯罪被害者の人権について	91
	(10) 性的マイノリティの人権について	96
	(11) 病気・感染症について	101
	(12) 部落差別等の同和問題について	111
3	男女共同参画	132
	(1) 地域や家庭での生活について	132
	(2) 仕事（職業）について	185
	(3) ハラスメントについて	222
	(4) ドメスティック・バイオレンス（DV）について	234
	(5) 男女共同参画社会について	266

4	事業所調査	312
	(1) 回答者属性	312
	(2) 男女が働きやすい職場環境への取り組みについて	334
	(3) ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みについて	373
Ⅲ	単純集計表	398
1	市民	398
2	事業所	446
Ⅳ	調査票	464
1	市民	464
2	事業所	488

I 調査の概要

1 調査の目的

「人権教育・人権啓発推進基本計画」「第2次かどま男女共同参画プラン」の改定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

市民：門真市在住の20歳以上の市民1,400人を無作為抽出

事業所：門真市内の事業所のうち、公正採用選考人権啓発推進員を配置している事業所の中から無作為

3 調査期間

令和2年10月1日から令和2年10月23日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	1,400通	484通	34.6%
事業所	100通	55通	55.0%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・比較している箇所について「人権問題全般」では、「内閣府による、平成29年度人権擁護に関する世論調査（以下、全国と言う）」、「大阪府による、平成27年度人権問題に関する府民意識調査（以下、大阪府と言う）」、「門真市による、平成18年度人権問題に関する市民意識調査（以下、平成18年度調査と言う）」を参照しています。

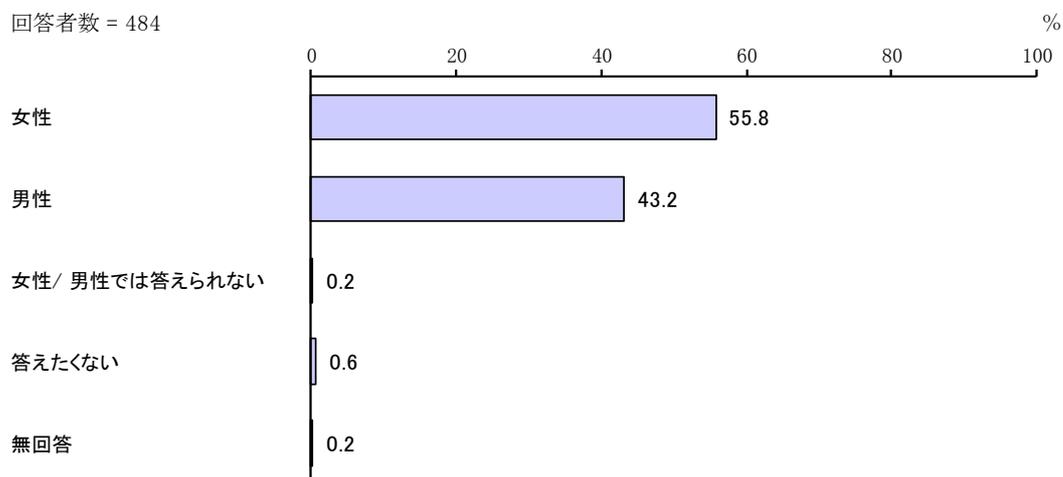
「男女共同参画」では、「内閣府による、令和元年度男女共同参画社会に関する世論調査（以下、全国と言う）」※問50・問51は「内閣府による、平成23年度「男性にとっての男女共同参画」に関する意識調査」、「大阪府による、令和元年度男女共同参画に関する府民意識調査（以下、大阪府と言う）」、「門真市による、平成23年度門真市男女共同参画に関するアンケート調査（以下、平成23年度調査と言う）」を参照しています。

II 調査結果

1 回答者属性

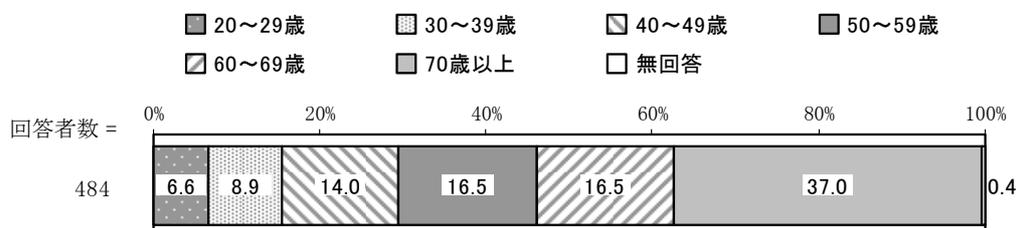
問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

「女性」の割合が55.8%と最も高く、次いで「男性」の割合が43.2%となっています。



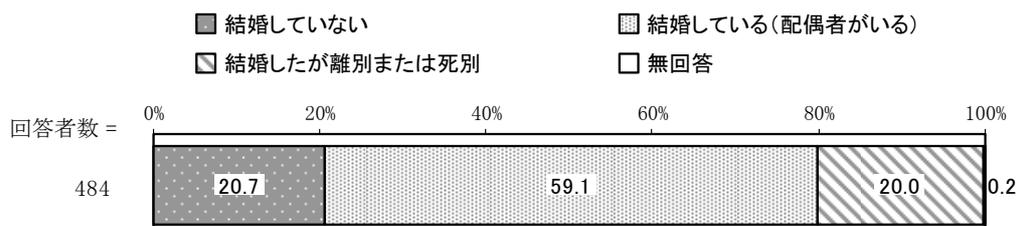
問2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

「70歳以上」の割合が37.0%と最も高く、次いで「50～59歳」、「60～69歳」の割合が16.5%となっています。



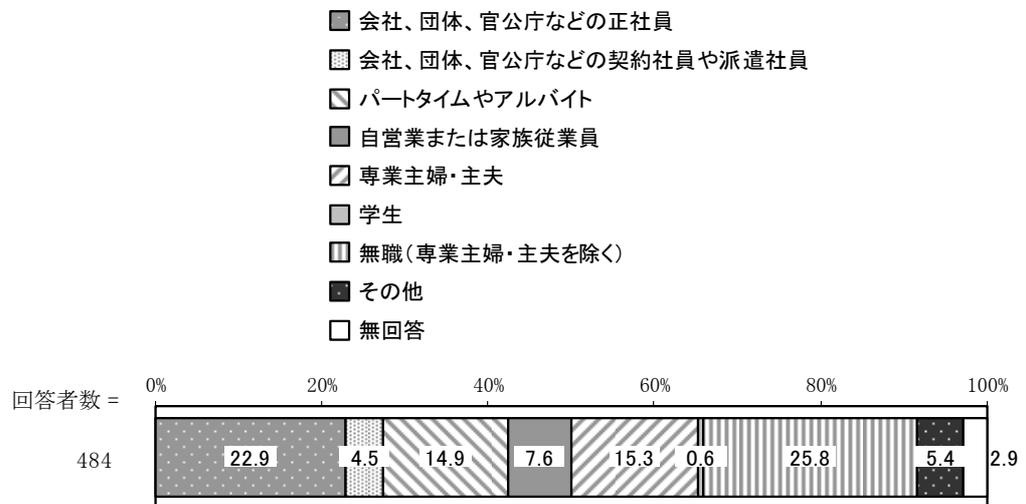
問3 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

「結婚している(配偶者がいる)」の割合が59.1%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が20.7%、「結婚したが離別または死別」の割合が20.0%となっています。



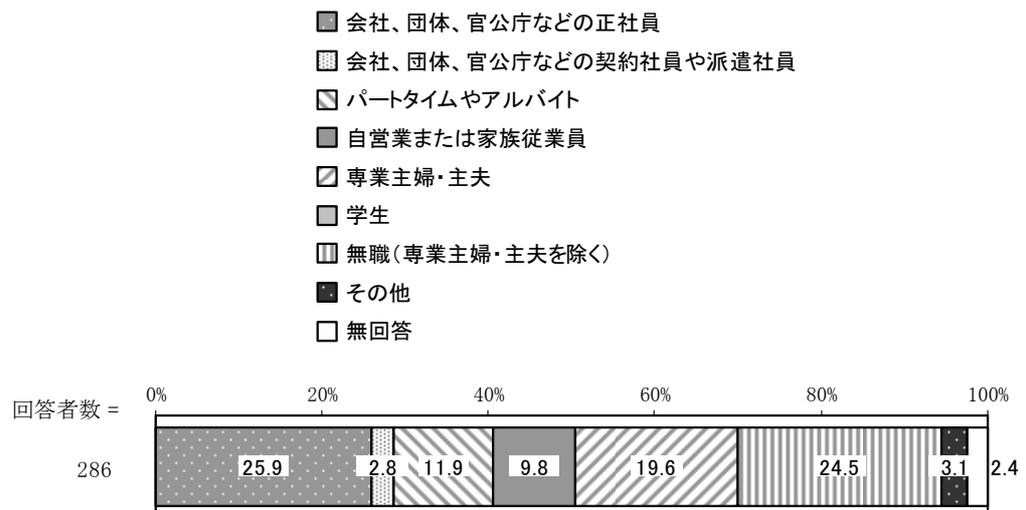
問4-1 あなたの職業はなんですか。(〇はそれぞれ1つ)

「無職（専業主婦・主夫を除く）」の割合が25.8%と最も高く、次いで「会社、団体、官公庁などの正社員」の割合が22.9%、「専業主婦・主夫」の割合が15.3%となっています。



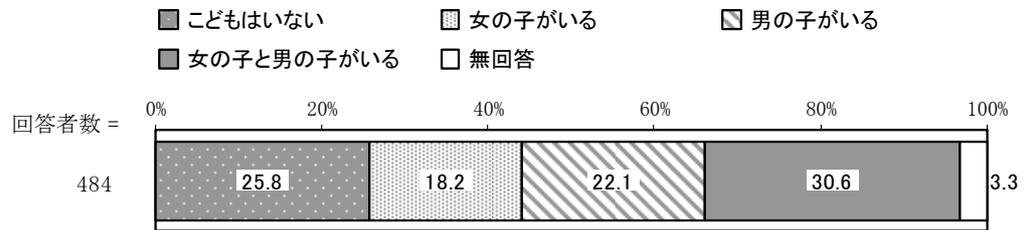
問4-2 問3で「2. 結婚している」と答えた方におうかがいします。あなたの配偶者の職業はなんですか。(〇はそれぞれ1つ)

「会社、団体、官公庁などの正社員」の割合が25.9%と最も高く、次いで「無職（専業主婦・主夫を除く）」の割合が24.5%、「専業主婦・主夫」の割合が19.6%となっています。



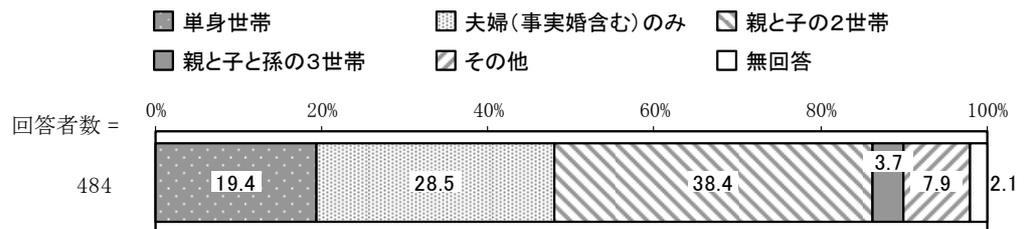
問5 あなたにお子さんはおられますか。(○は1つ)

「女の子と男の子がいる」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「こどもはいない」の割合が 25.8%、「男の子がいる」の割合が 22.1%となっています。



問6 あなたの同居の家族構成は、次のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

「親と子の2世帯」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「夫婦（事実婚含む）のみ」の割合が 28.5%、「単身世帯」の割合が 19.4%となっています。

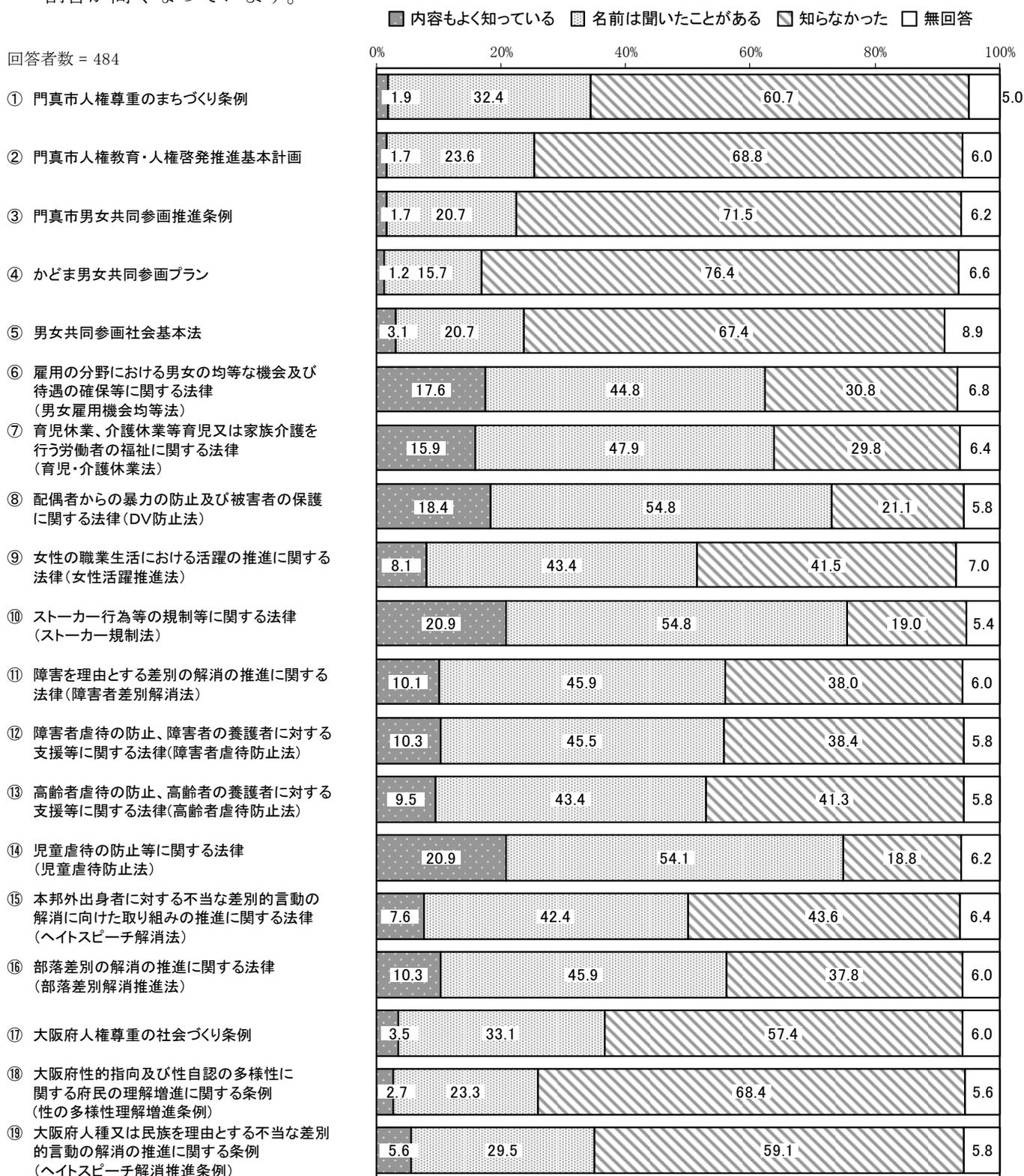


2 人権問題全般

(1) 人権について

問7 あなたは、次の人権に関する法や条例等を知っていますか。(〇はいくつでも)

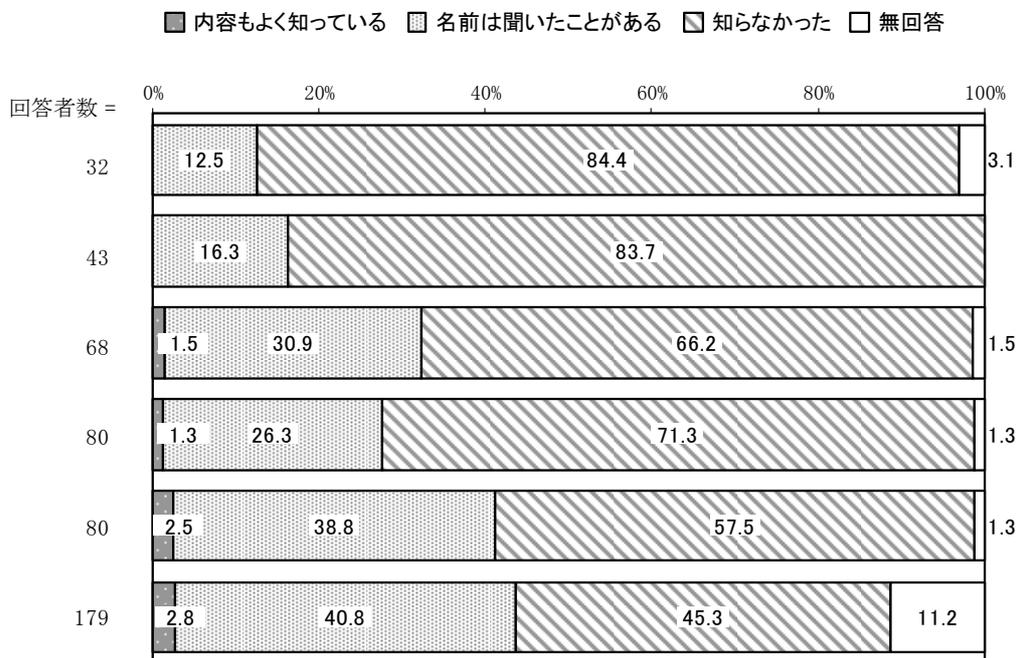
『⑩ ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)』『⑭ 児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)』で「内容もよく知っている」の割合が高くなっています。また、『③ 門真市男女共同参画推進条例』『④ かどま男女共同参画プラン』で「知らなかった」の割合が高くなっています。



① 門真市人権尊重のまちづくり条例

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



② 門真市人権教育・人権啓発推進基本計画

【年齢別】

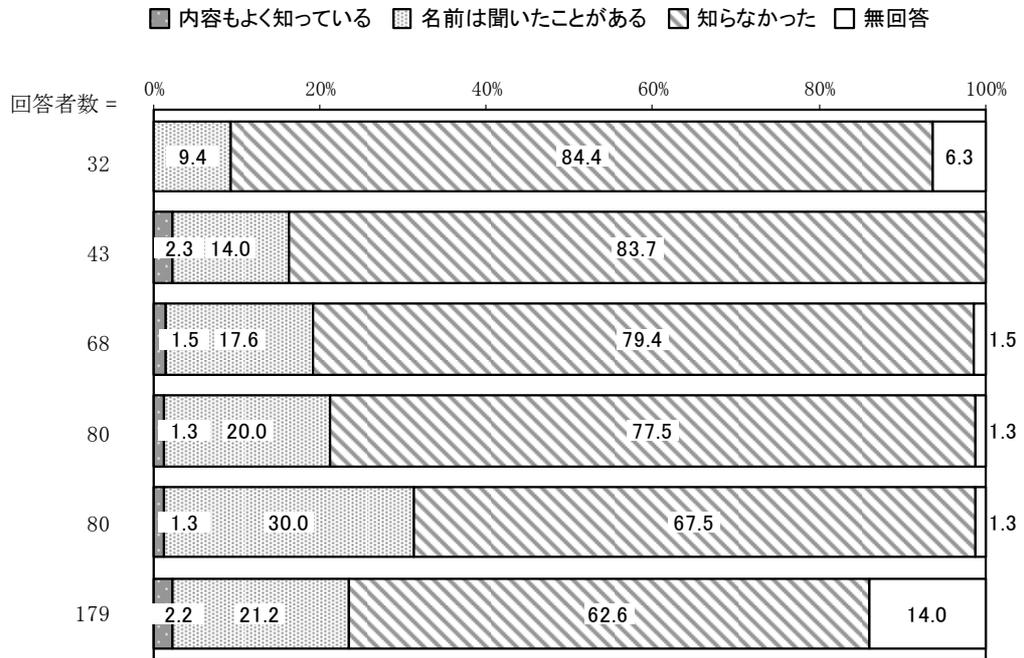
年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



③ 門真市男女共同参画推進条例

【年齢別】

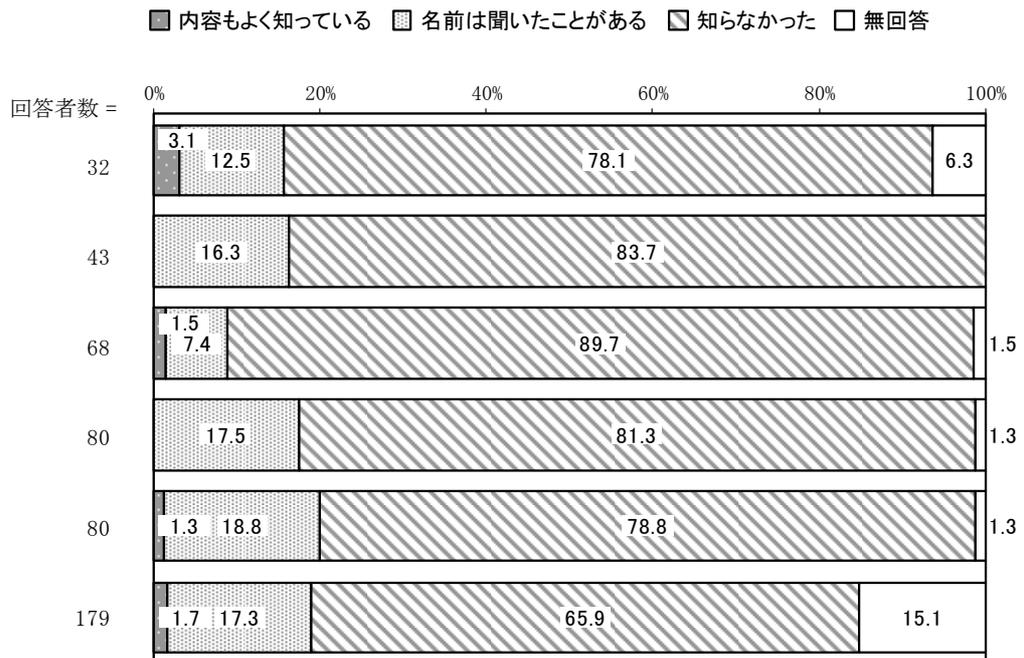
年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



④ かどま男女共同参画プラン

【年齢別】

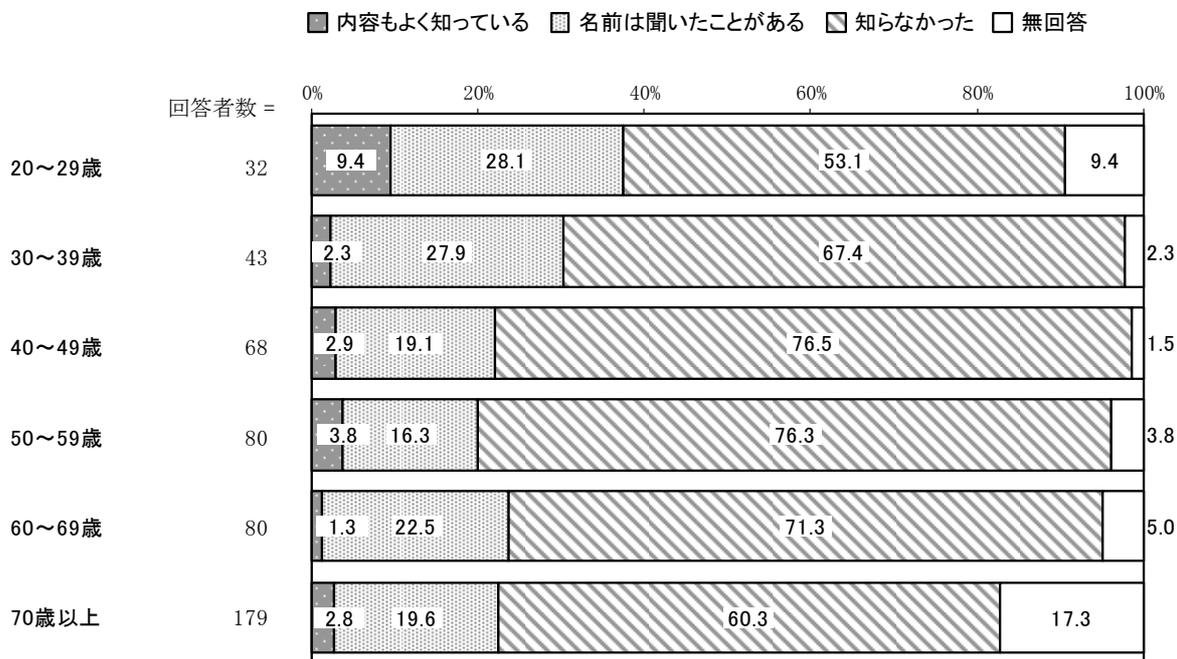
年齢別で見ると、他に比べ、40～49歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑤ 男女共同参画社会基本法

【年齢別】

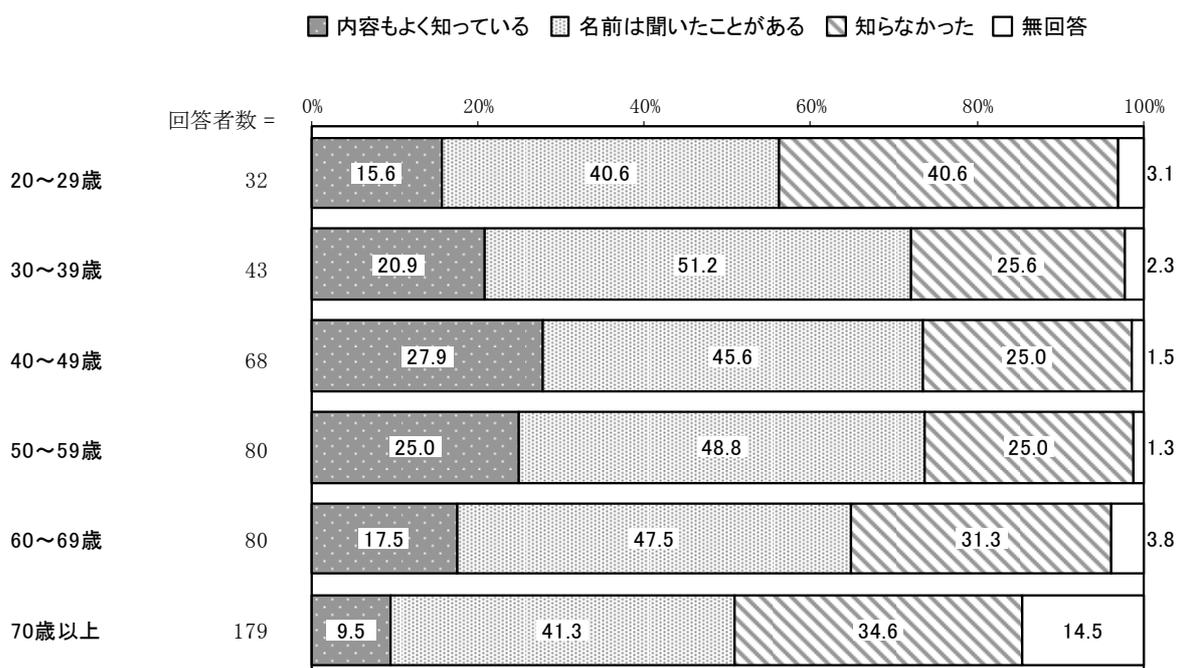
年齢別でみると、他に比べ、40～49歳、50～59歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑥ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）

【年齢別】

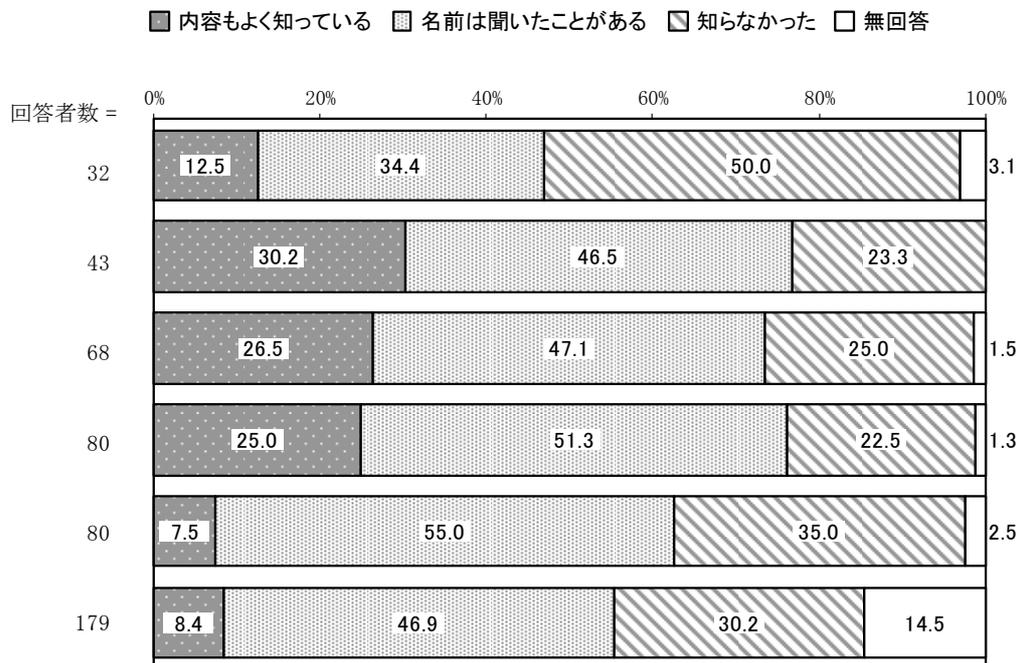
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑦ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）

【年齢別】

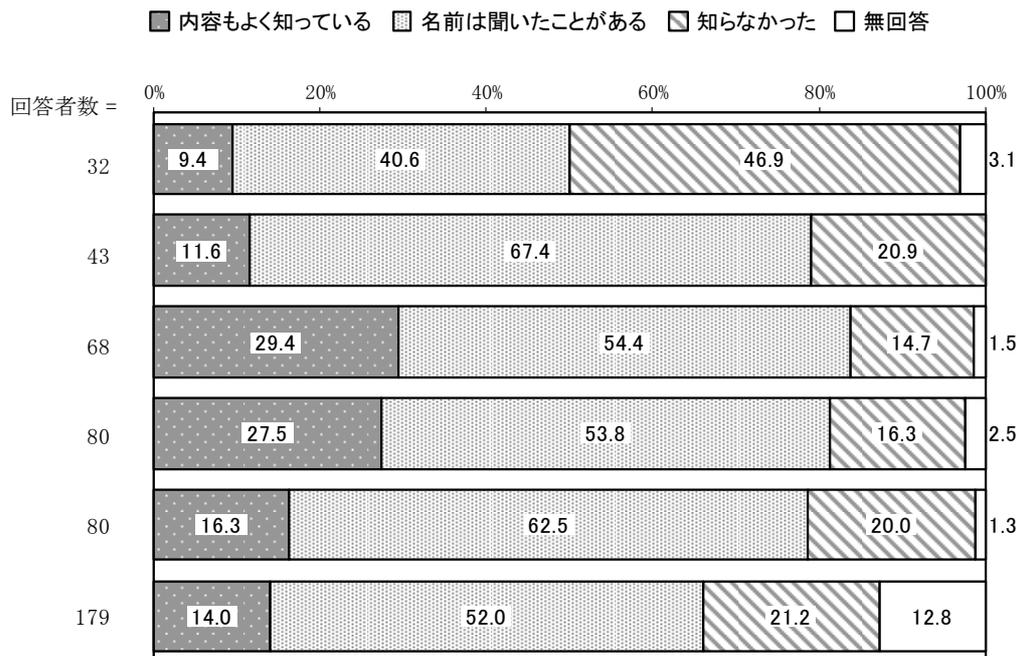
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑧ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）

【年齢別】

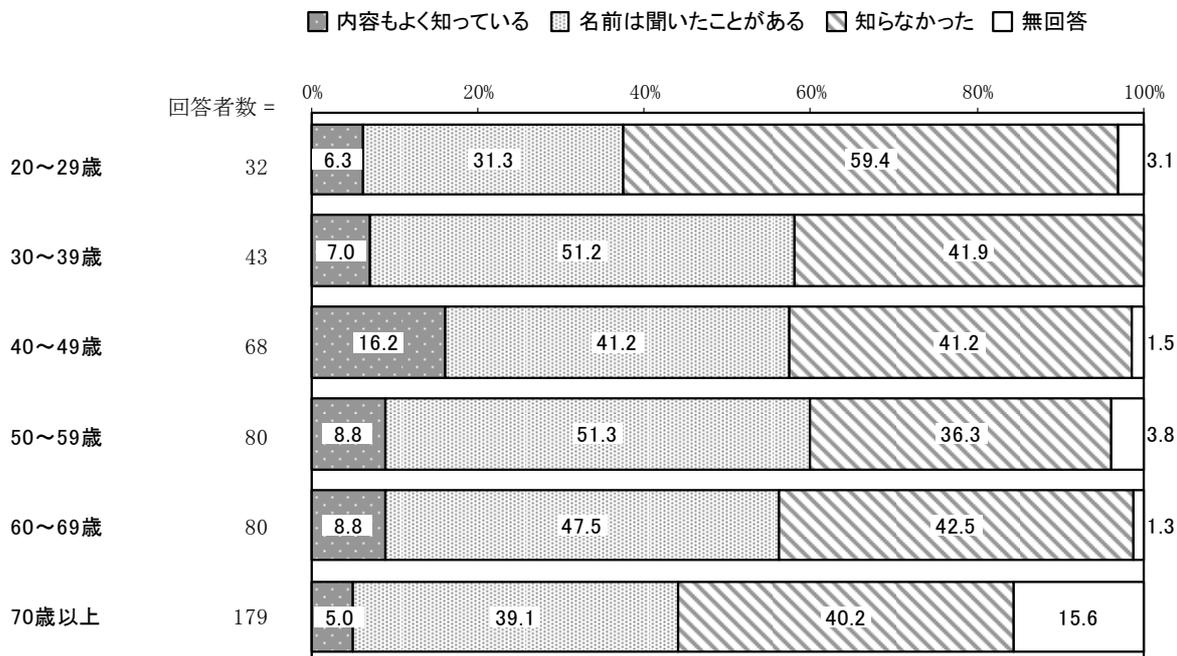
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑨ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

【年齢別】

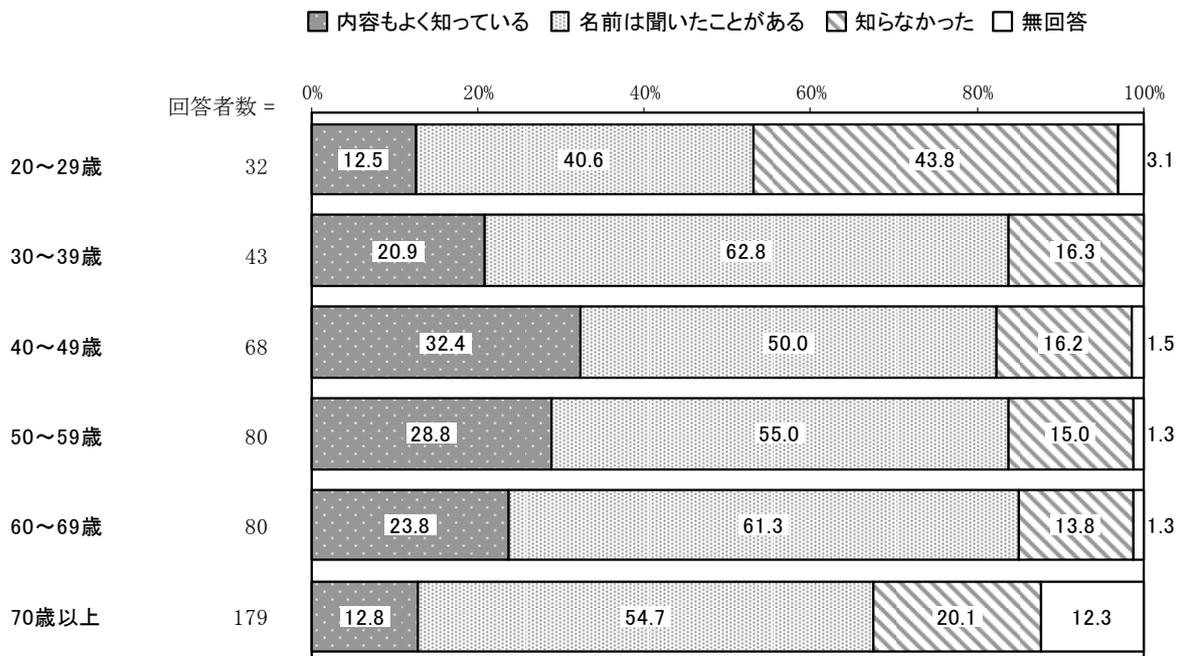
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑩ ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）

【年齢別】

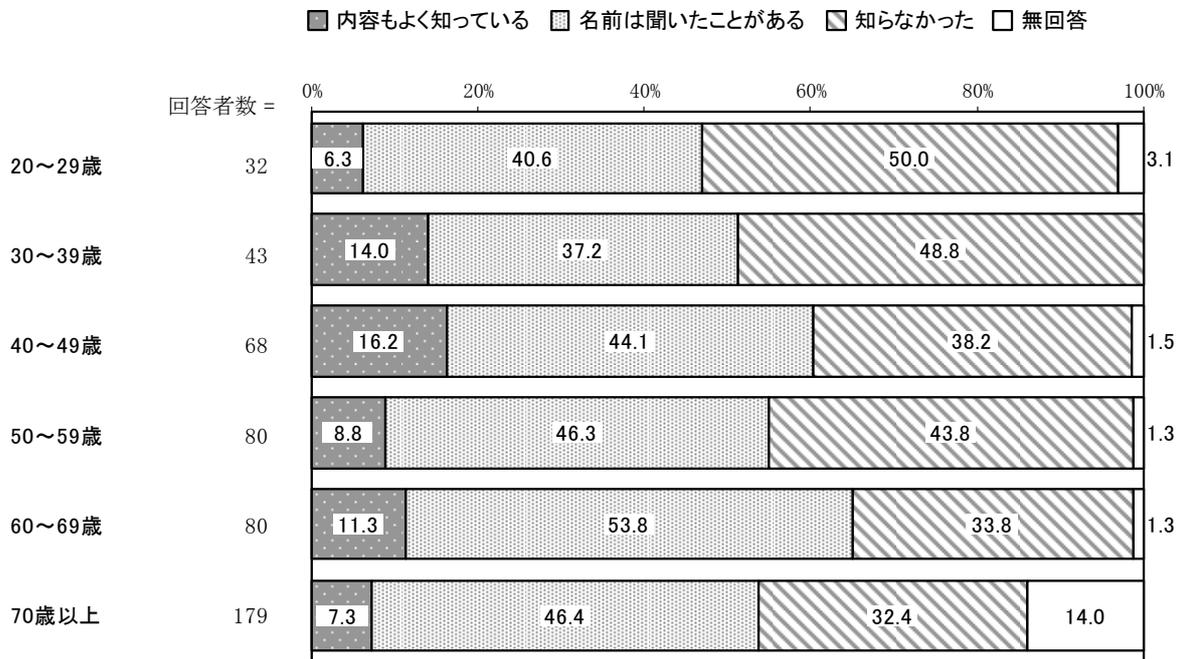
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑪ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

【年齢別】

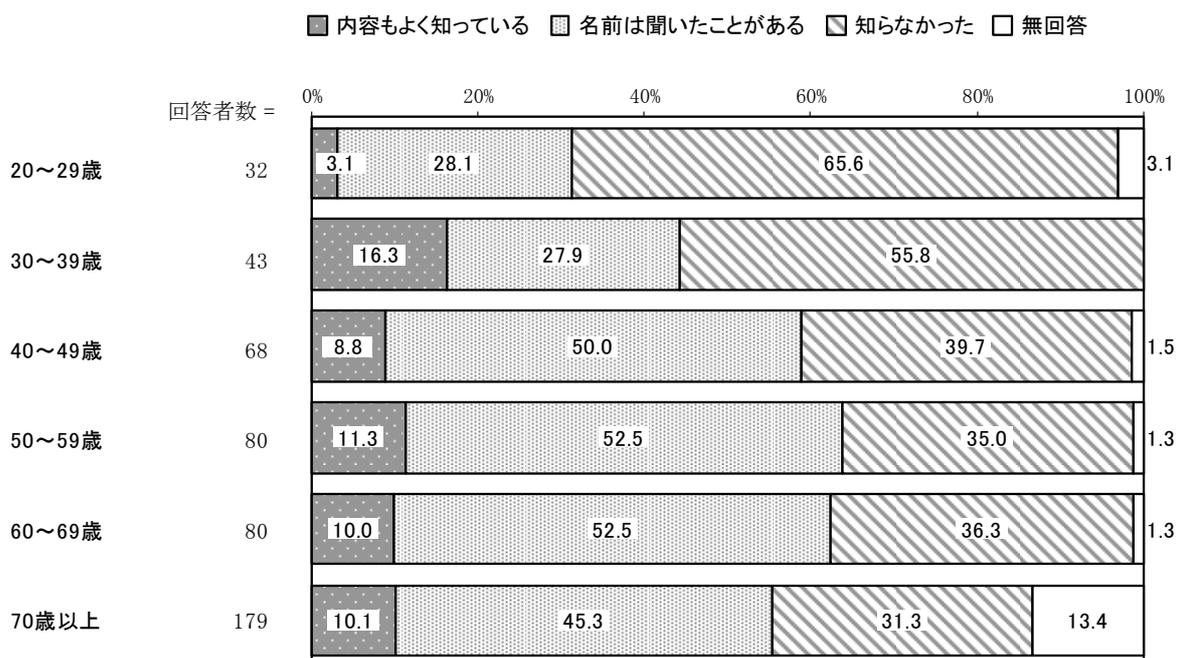
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑫ 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）

【年齢別】

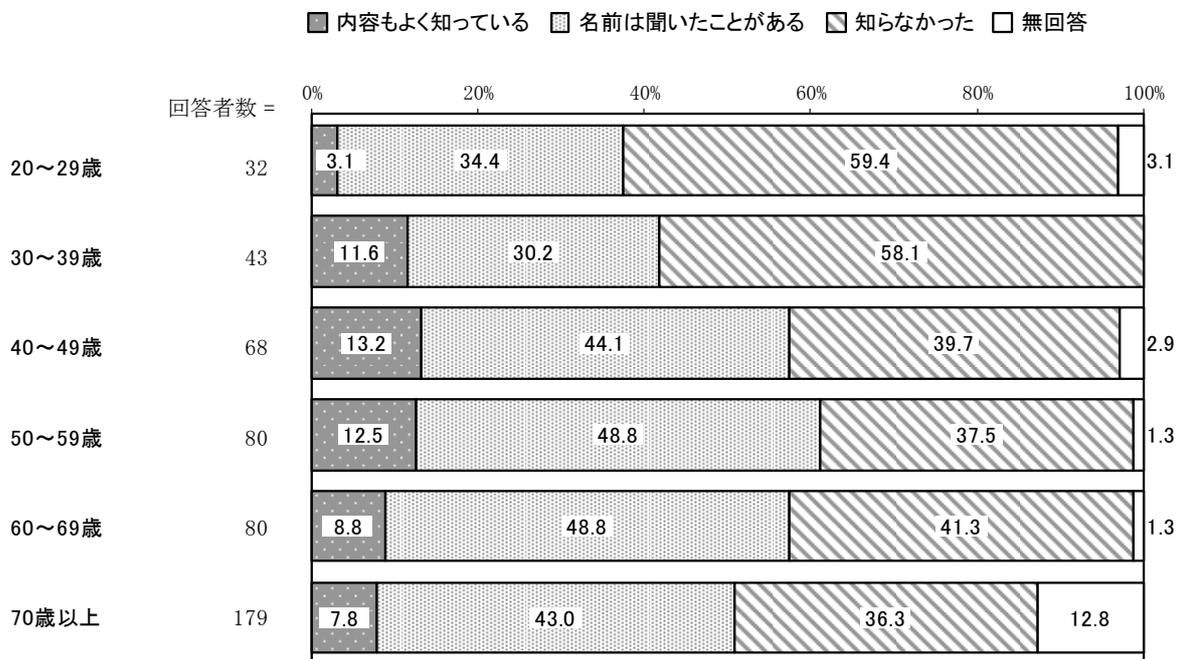
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑬ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）

【年齢別】

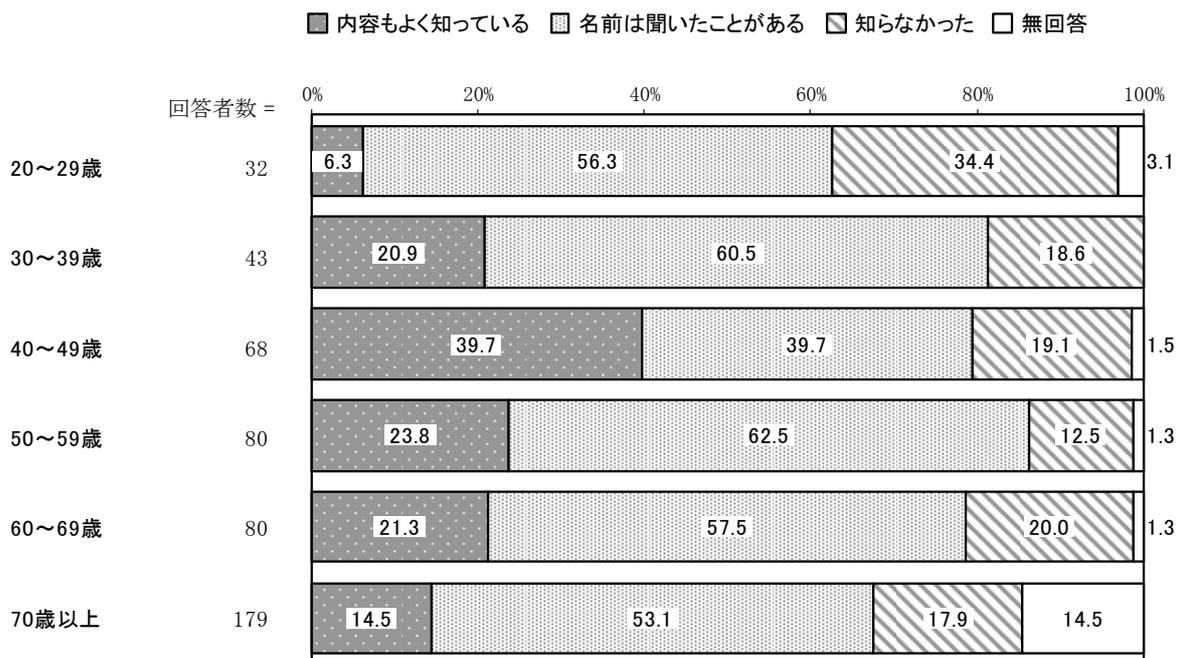
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑭ 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）

【年齢別】

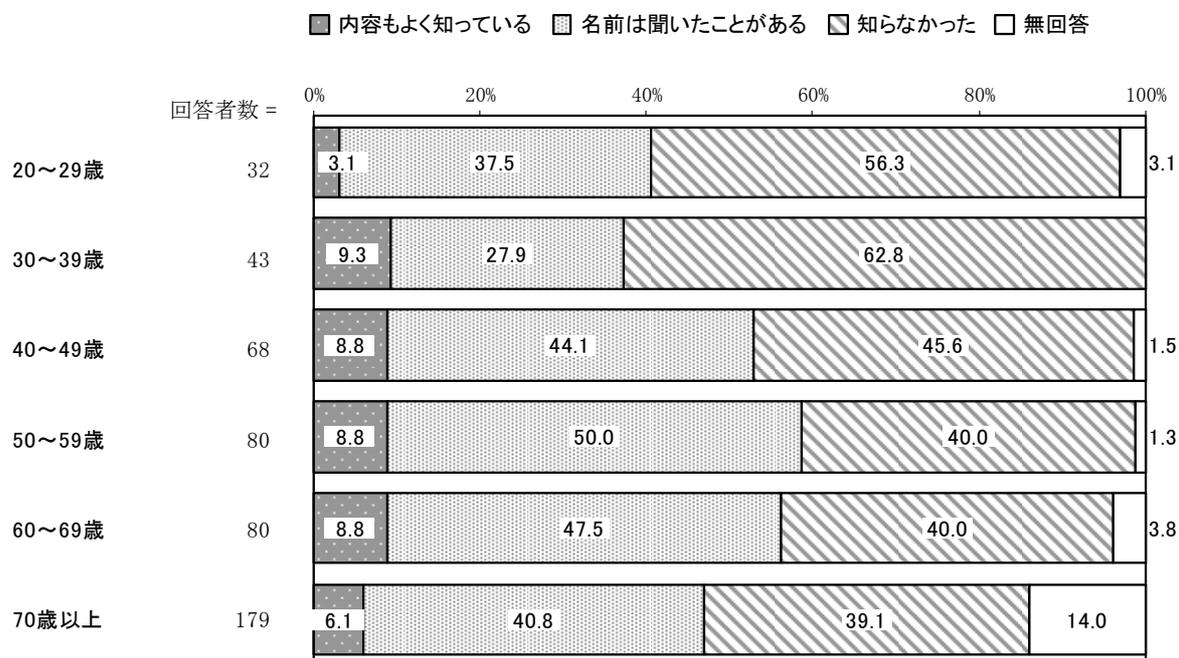
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑮ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）

【年齢別】

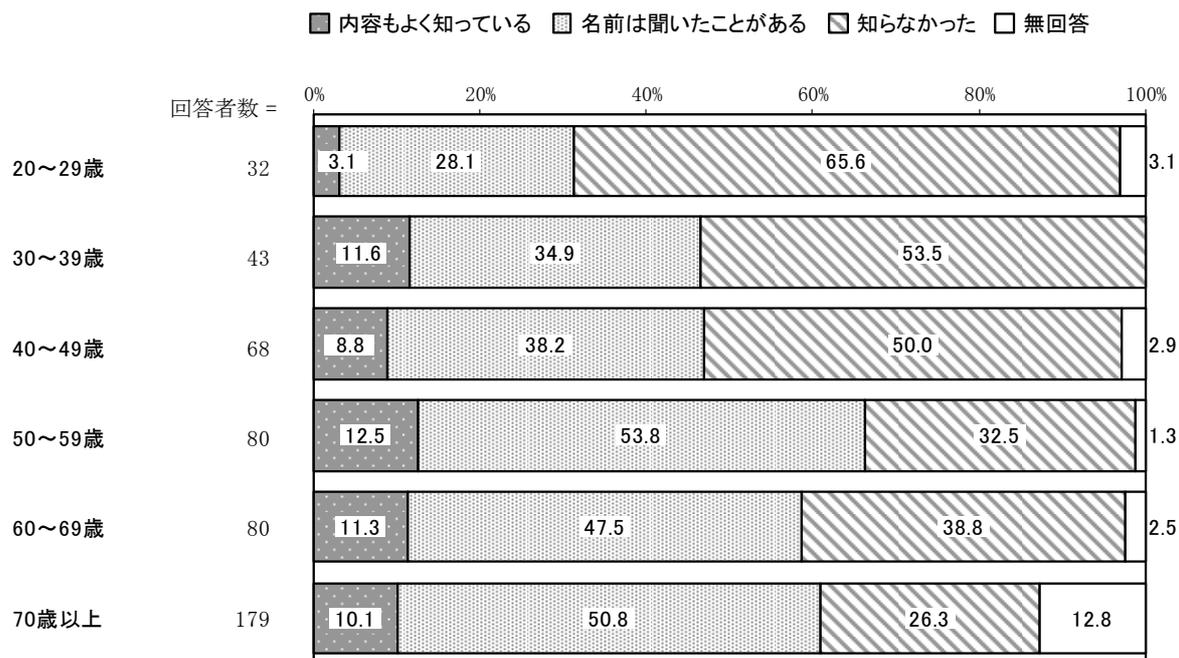
年齢別で見ると、他に比べ、30～39歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑯ 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）

【年齢別】

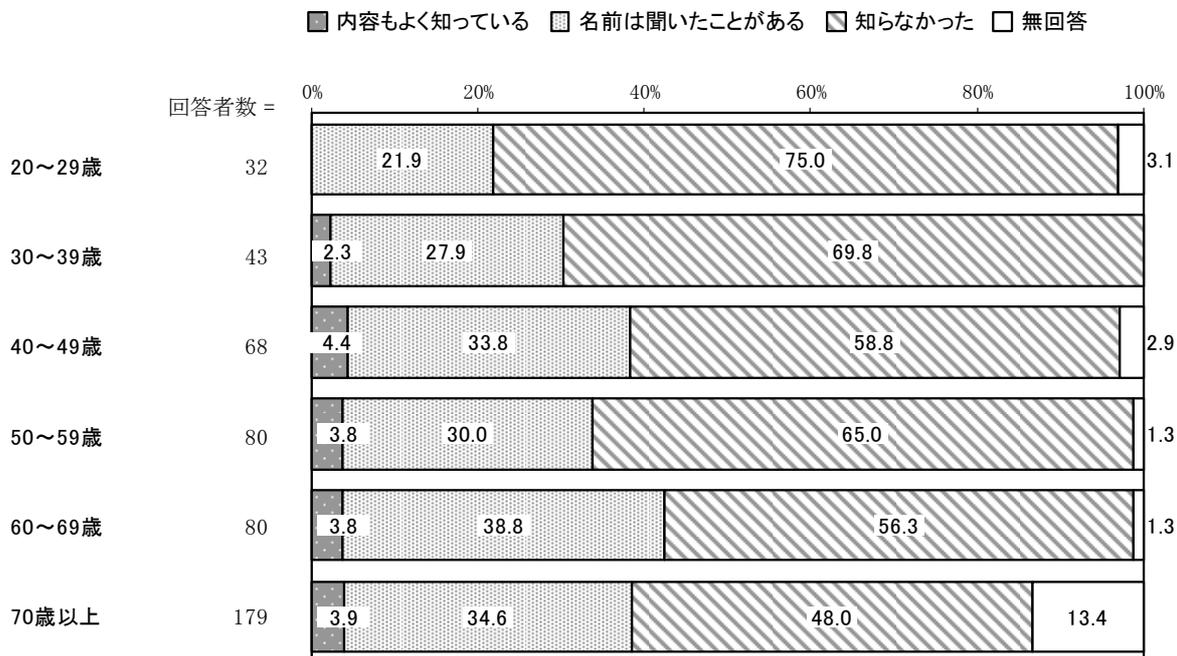
年齢別で見ると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑰ 大阪府人権尊重の社会づくり条例

【年齢別】

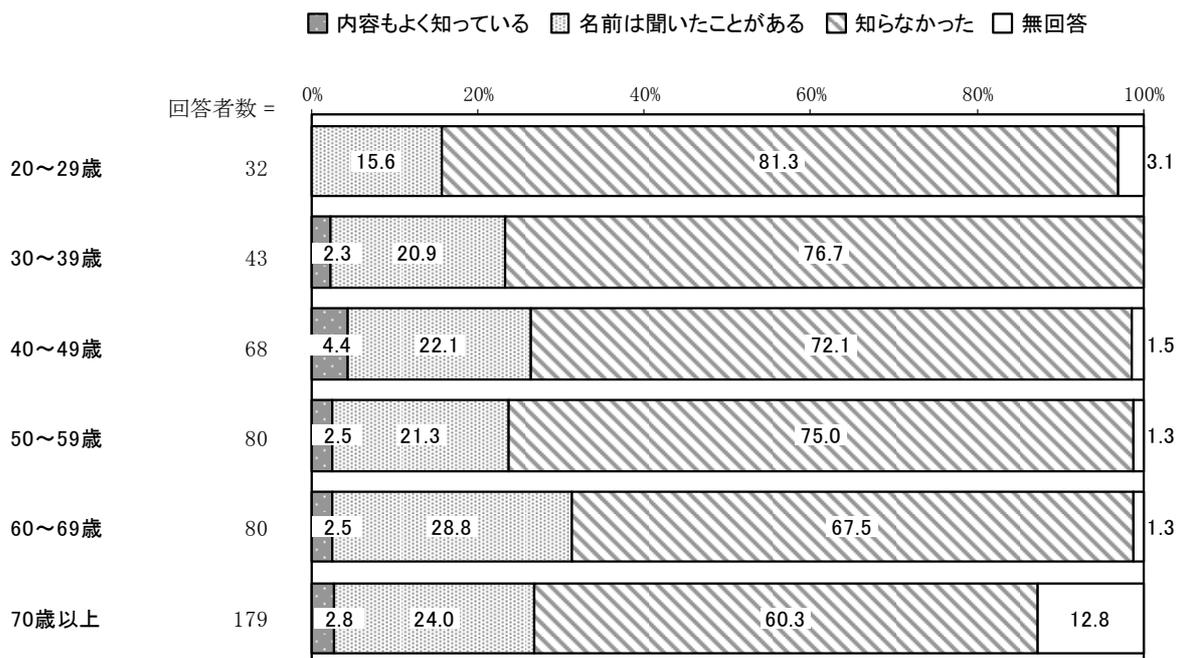
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑱ 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解増進に関する条例(性の多様性理解増進条例)

【年齢別】

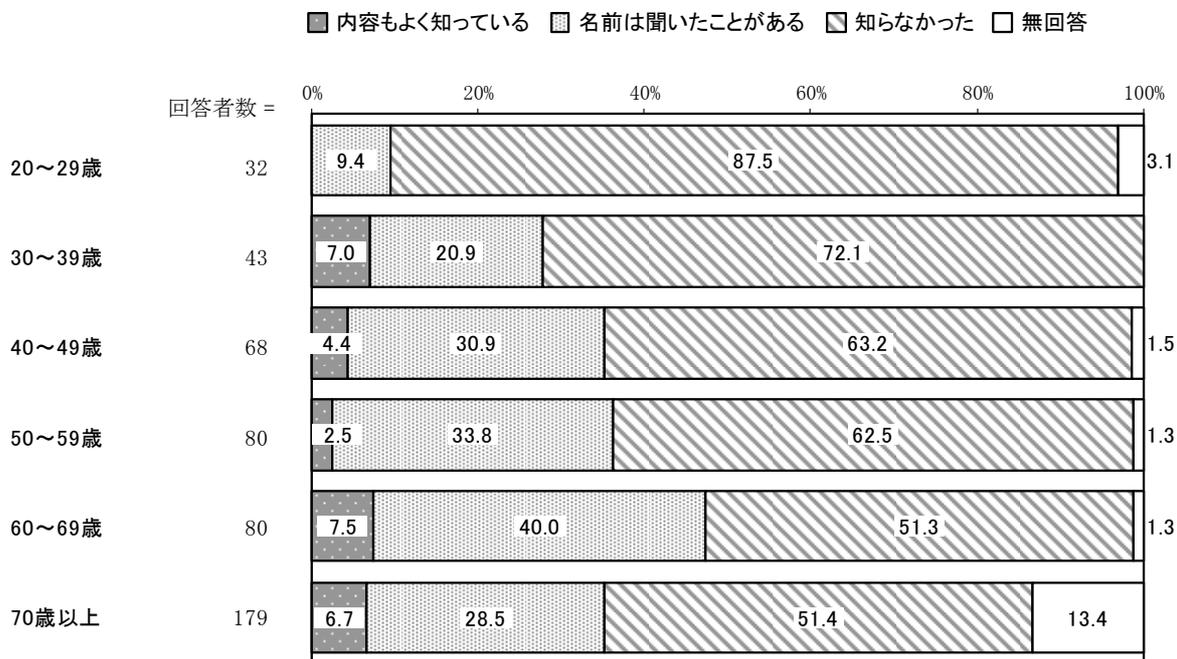
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



⑱ 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例（ヘイトスピーチ解消推進条例）

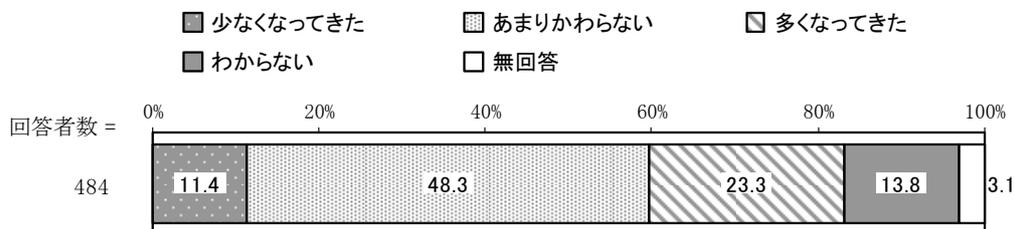
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「知らなかった」の割合が高くなっています。



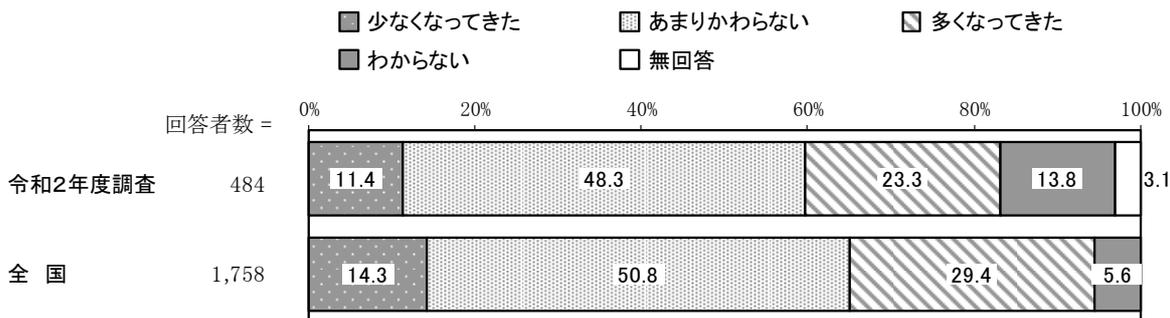
問8 新聞、テレビなどで「人権問題」や「人権が侵害された」などのニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、どのようになってきたと思いますか。(〇は1つ)

「あまりかわらない」の割合が48.3%と最も高く、次いで「多くなってきた」の割合が23.3%、「わからない」の割合が13.8%となっています。



【全国調査との比較】

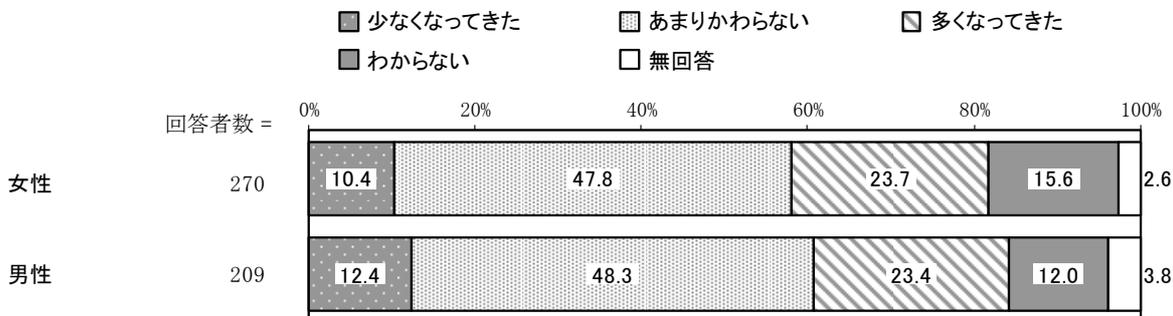
全国と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「多くなってきた」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【性別】

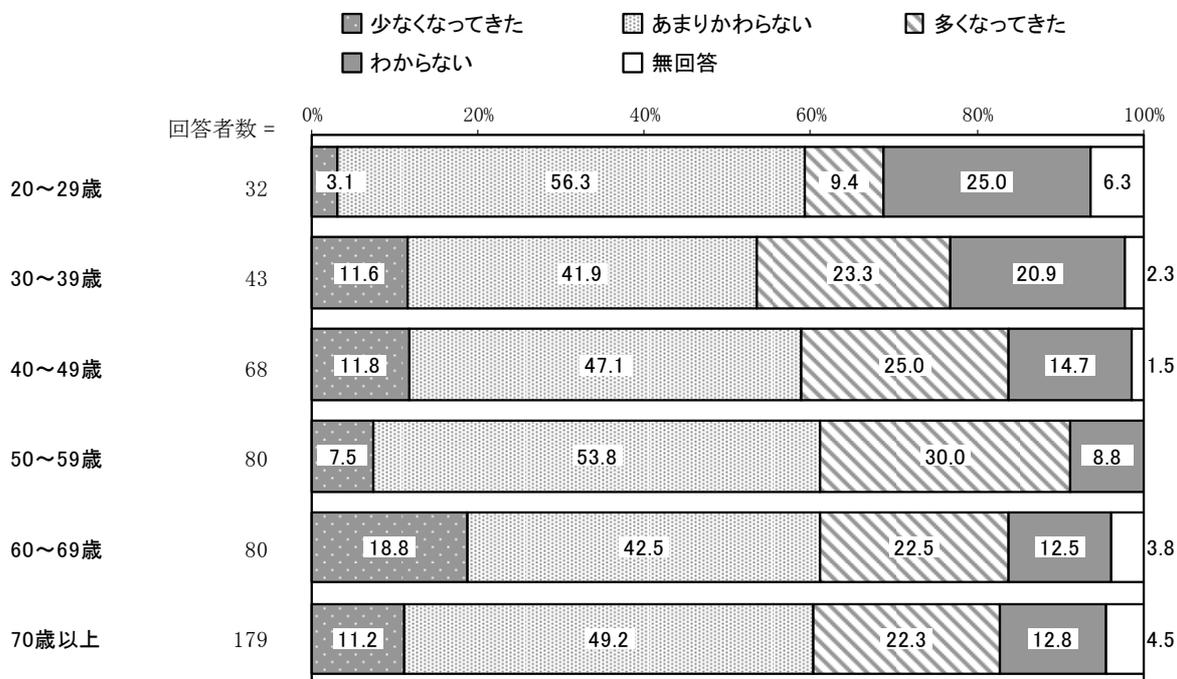
性別で見ると、大きな差異はみられません。



問8 新聞、テレビなどで「人権問題」や「人権が侵害された」などのニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、どのようになってきたと思いますか。(〇は1つ)

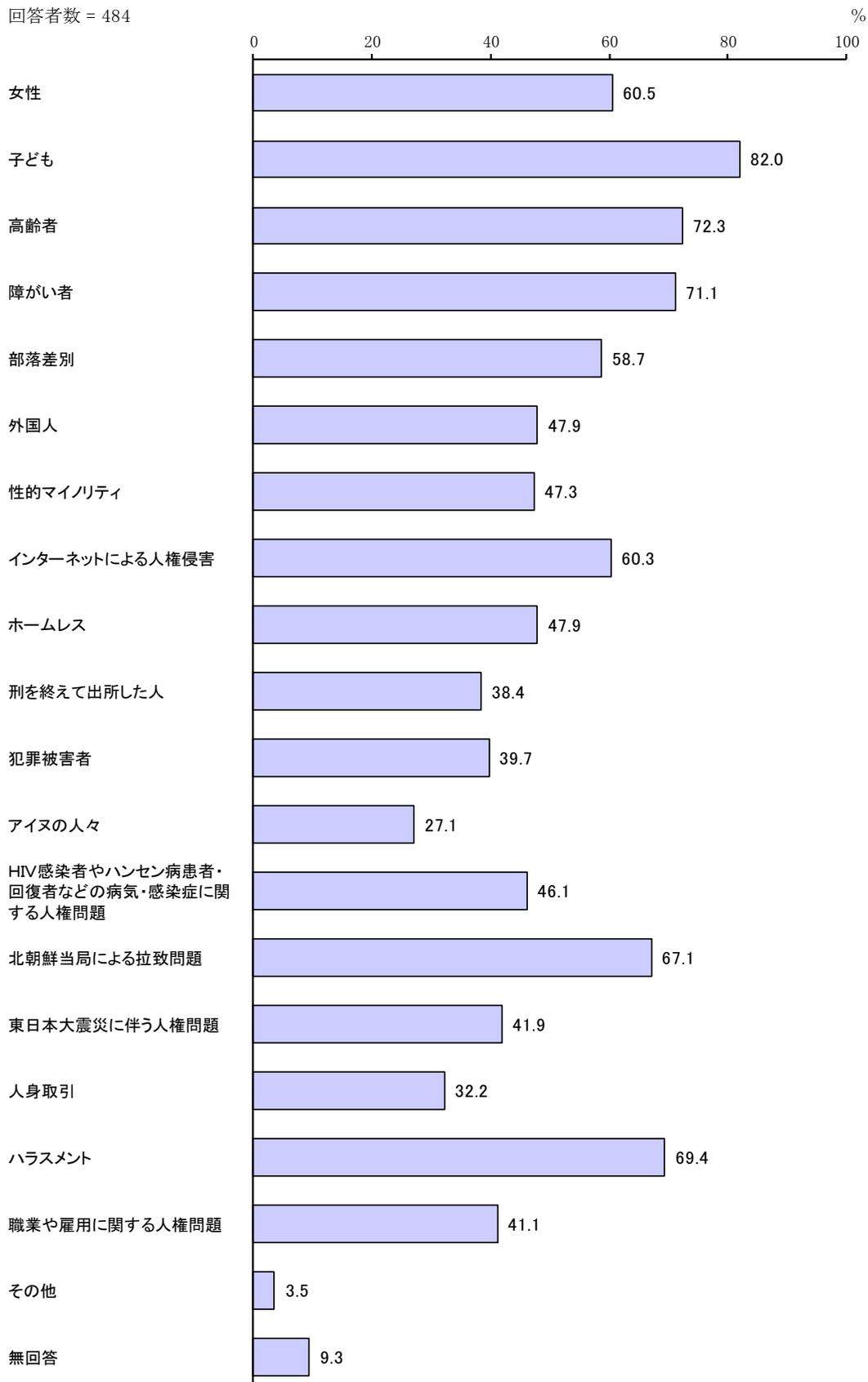
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「多くなってきた」の割合が高くなっています。



問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(〇はいくつでも)

「子ども」の割合が82.0%と最も高く、次いで「高齢者」の割合が72.3%、「障がい者」の割合が71.1%となっています。

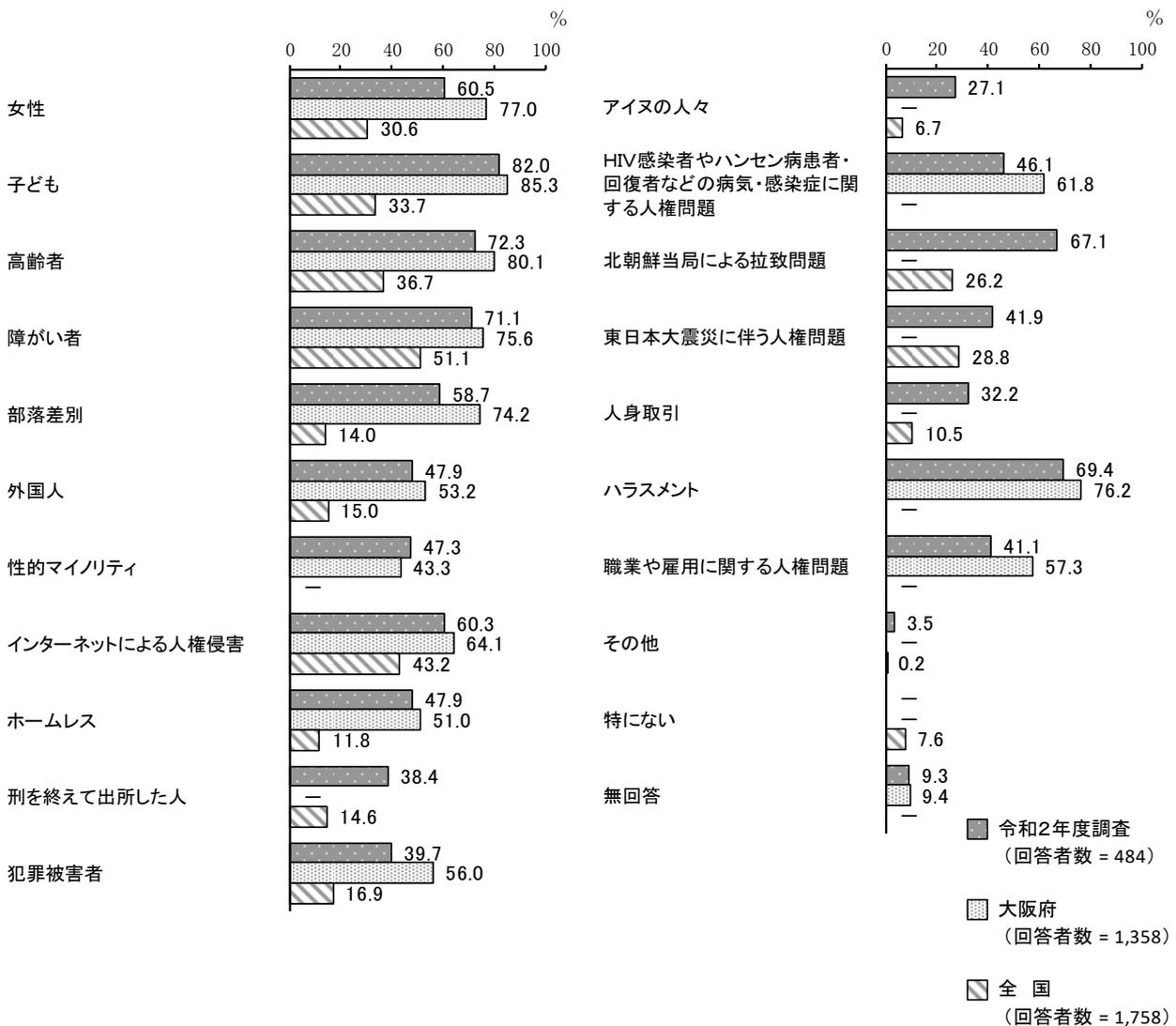


問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(〇はいくつでも)

【大阪府調査・全国調査との比較】

大阪府と比較すると、「女性」「高齢者」「部落差別」「外国人」「犯罪被害者」「H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題」「ハラスメント」「職業や雇用に関する人権問題」の割合が低くなっています。

全国と比較すると、「女性」「子ども」「高齢者」「障がい者」「部落差別」「外国人」「インターネットによる人権侵害」「ホームレス」「刑を終えて出所した人」「犯罪被害者」「アイヌの人々」「北朝鮮当局による拉致問題」「東日本大震災に伴う人権問題」「人身取引」の割合が高くなっています。



※令和2年度調査では、「特にない」の選択肢はありません。

※大阪府調査では、「刑を終えて出所した人」「アイヌの人々」「北朝鮮当局による拉致問題」「東日本大震災に伴う人権問題」「人身取引」「その他」「特にない」の選択肢はありません。

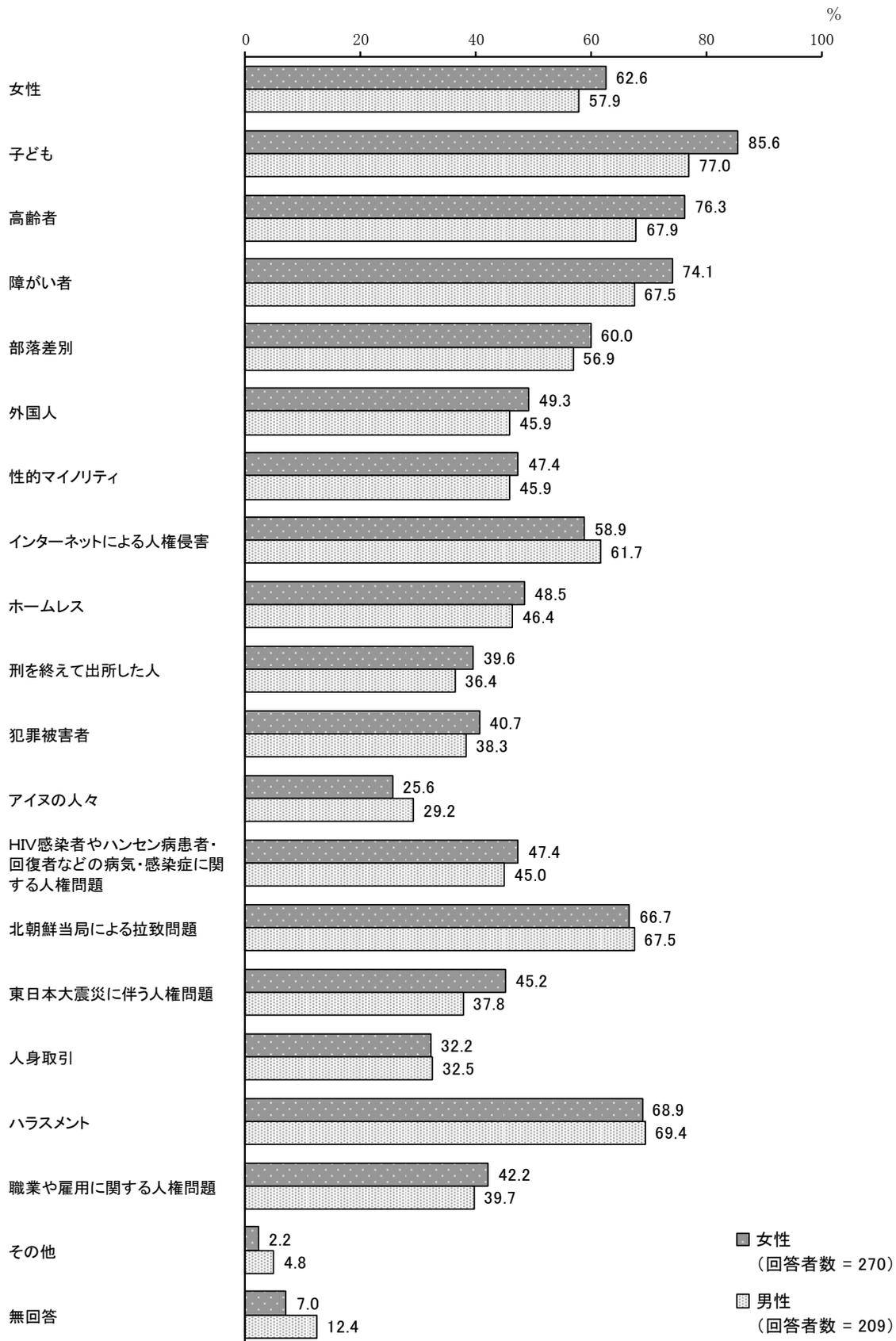
※全国調査では、「性的マイノリティ」「H I V感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題」「ハラスメント」「職業や雇用に関する人権問題」の選択肢はありません。

また、「特にない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(〇はいくつでも)

【性別】

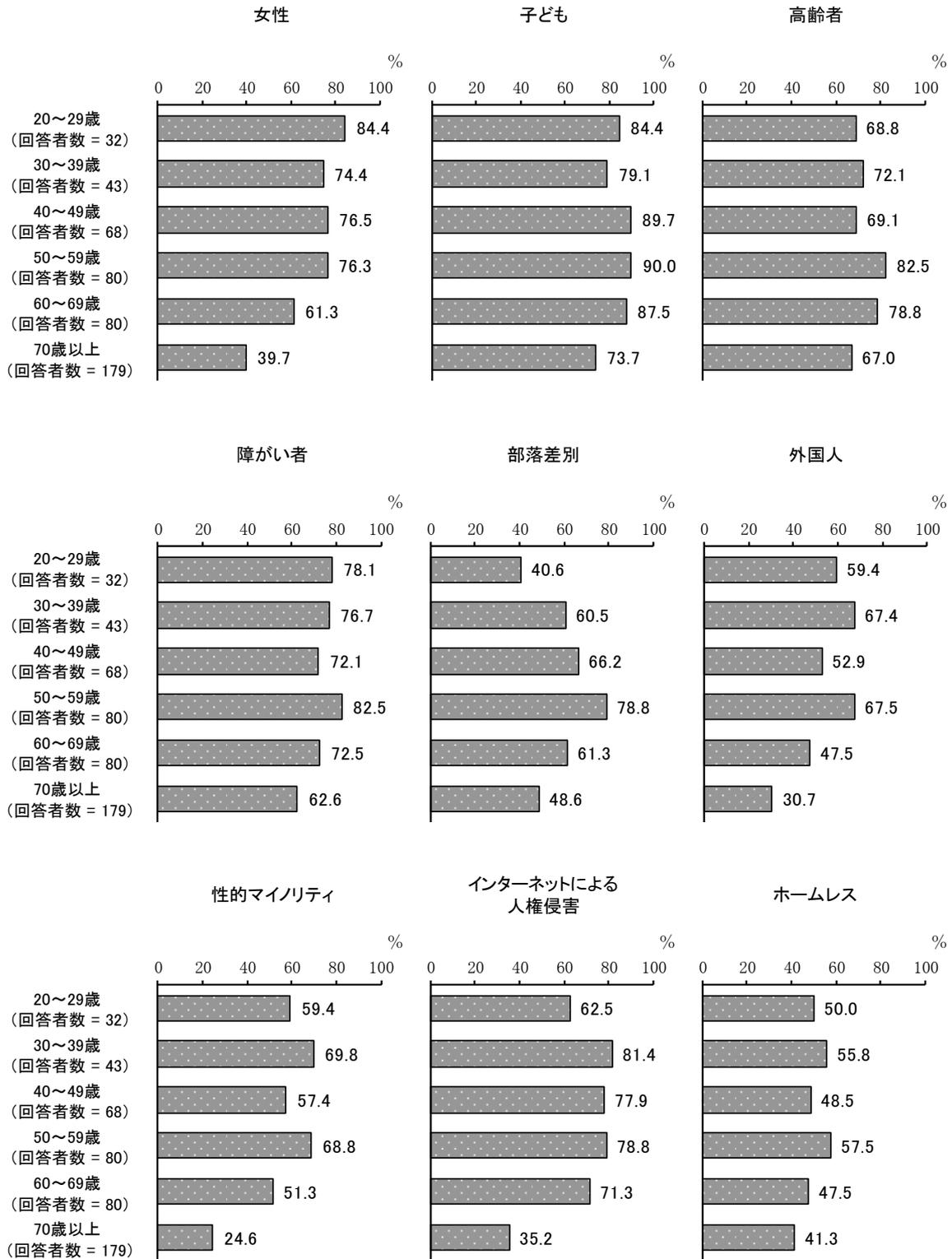
性別でみると、男性に比べ、女性で「子ども」「高齢者」「障がい者」「東日本大震災に伴う人権問題」の割合が高くなっています。



問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

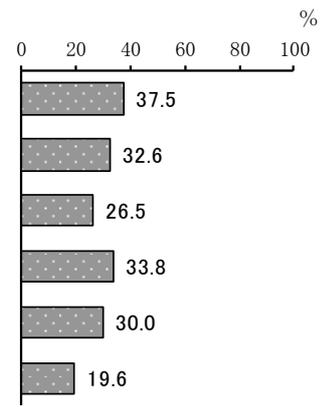
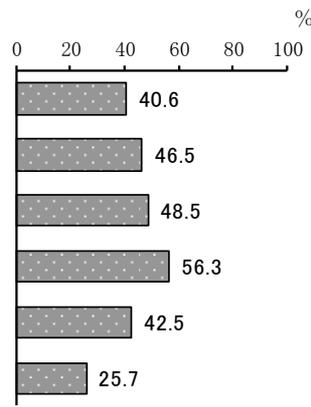
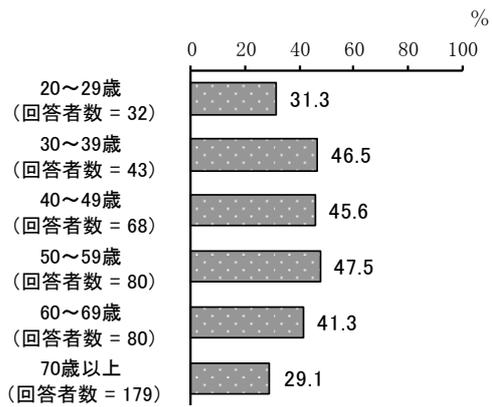
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「女性」の割合が、30～39歳で「インターネットによる人権侵害」の割合が、50～59歳で「ハラスメント」の割合が高くなっています。また、40～49歳、50～59歳で「子ども」の割合が高くなっています。



刑を終えて出所した人

犯罪被害者

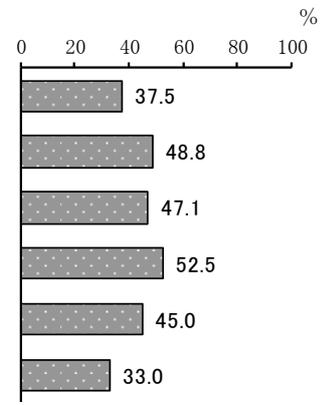
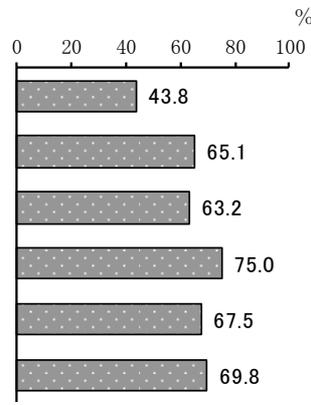
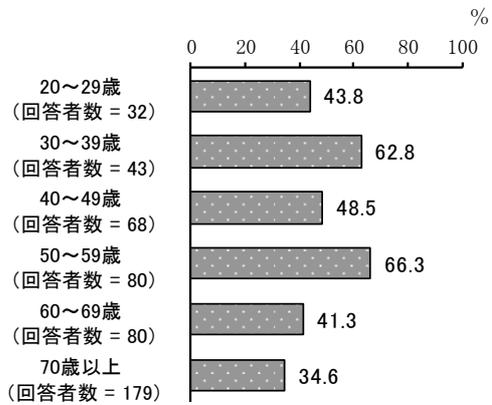
アイヌの人々



HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題

北朝鮮当局による拉致問題

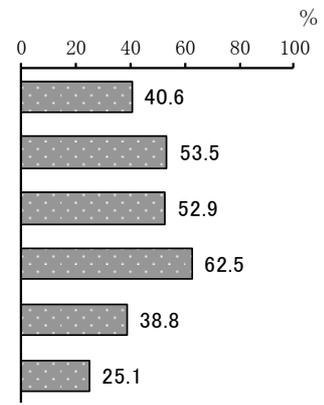
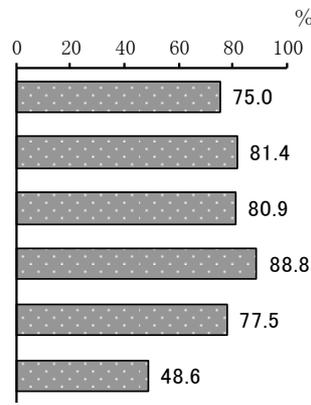
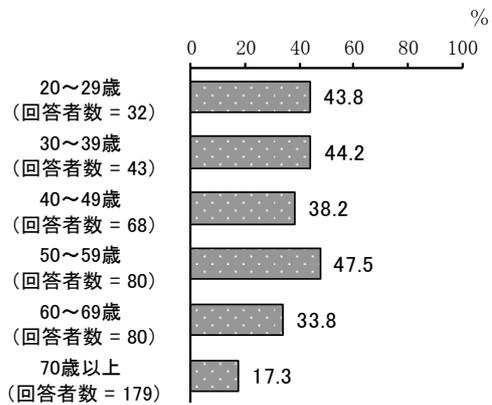
東日本大震災に伴う人権問題



人身取引

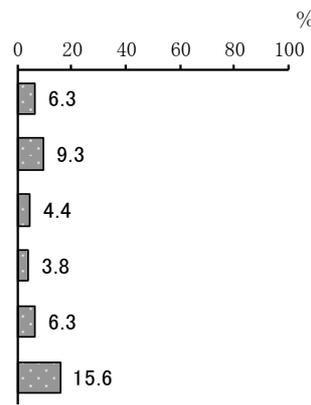
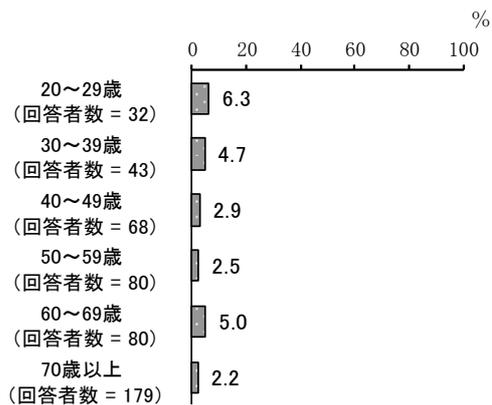
ハラスメント

職業や雇用に関する人権問題



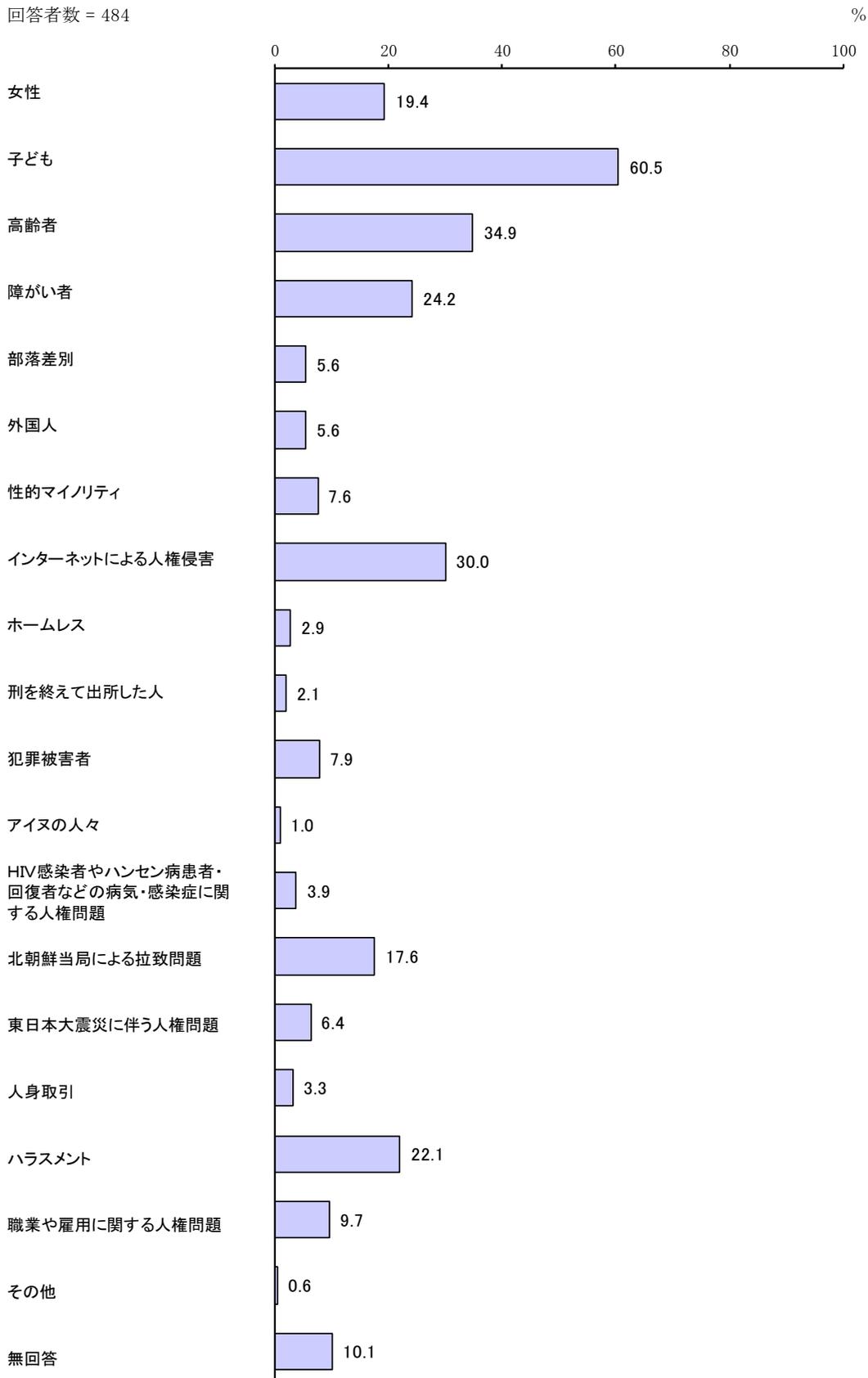
その他

無回答



問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

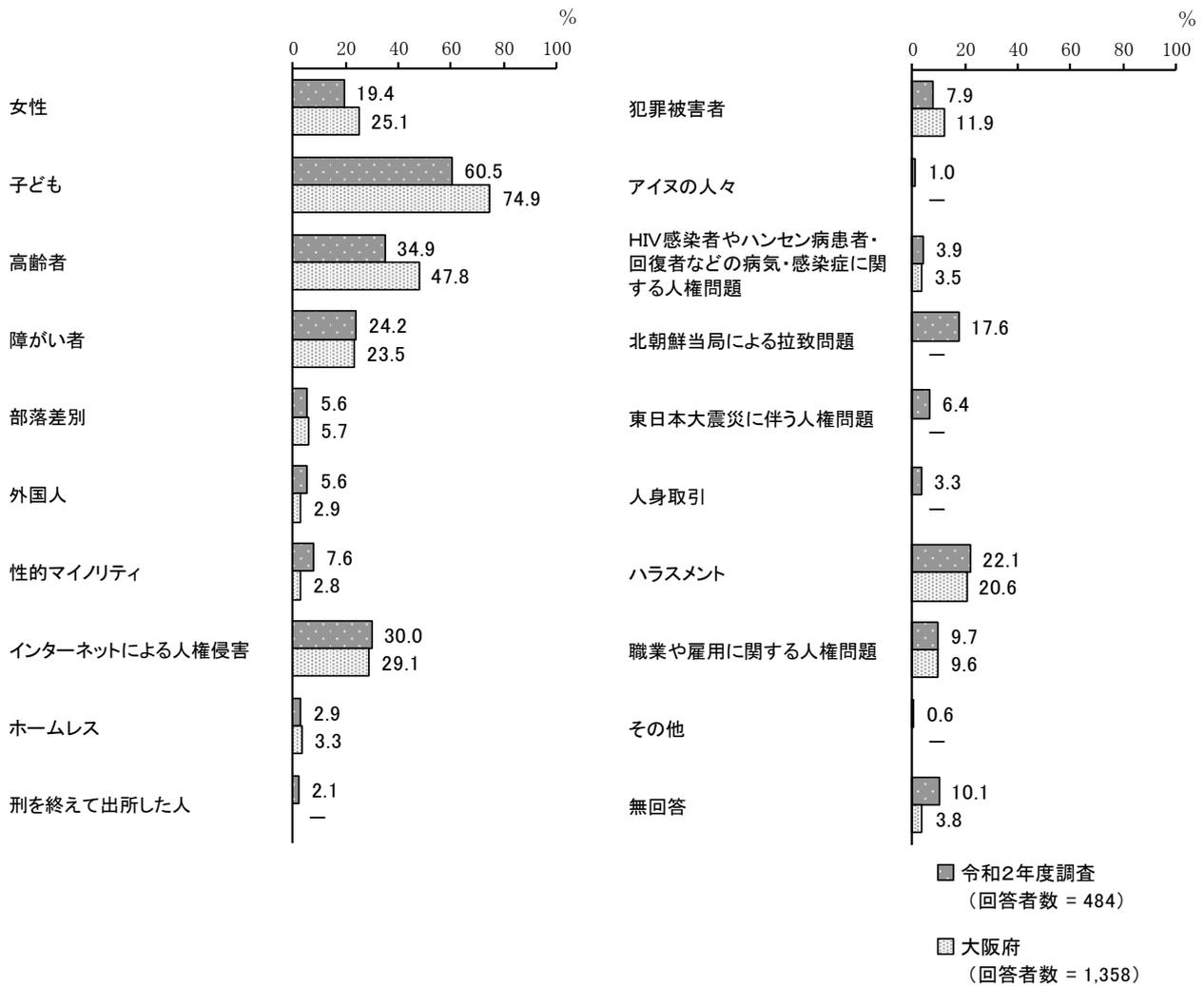
「子ども」の割合が60.5%と最も高く、次いで「高齢者」の割合が34.9%、「インターネットによる人権侵害」の割合が30.0%となっています。



問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

【大阪府調査との比較】

大阪府と比較すると、「女性」「子ども」「高齢者」の割合が低くなっています。

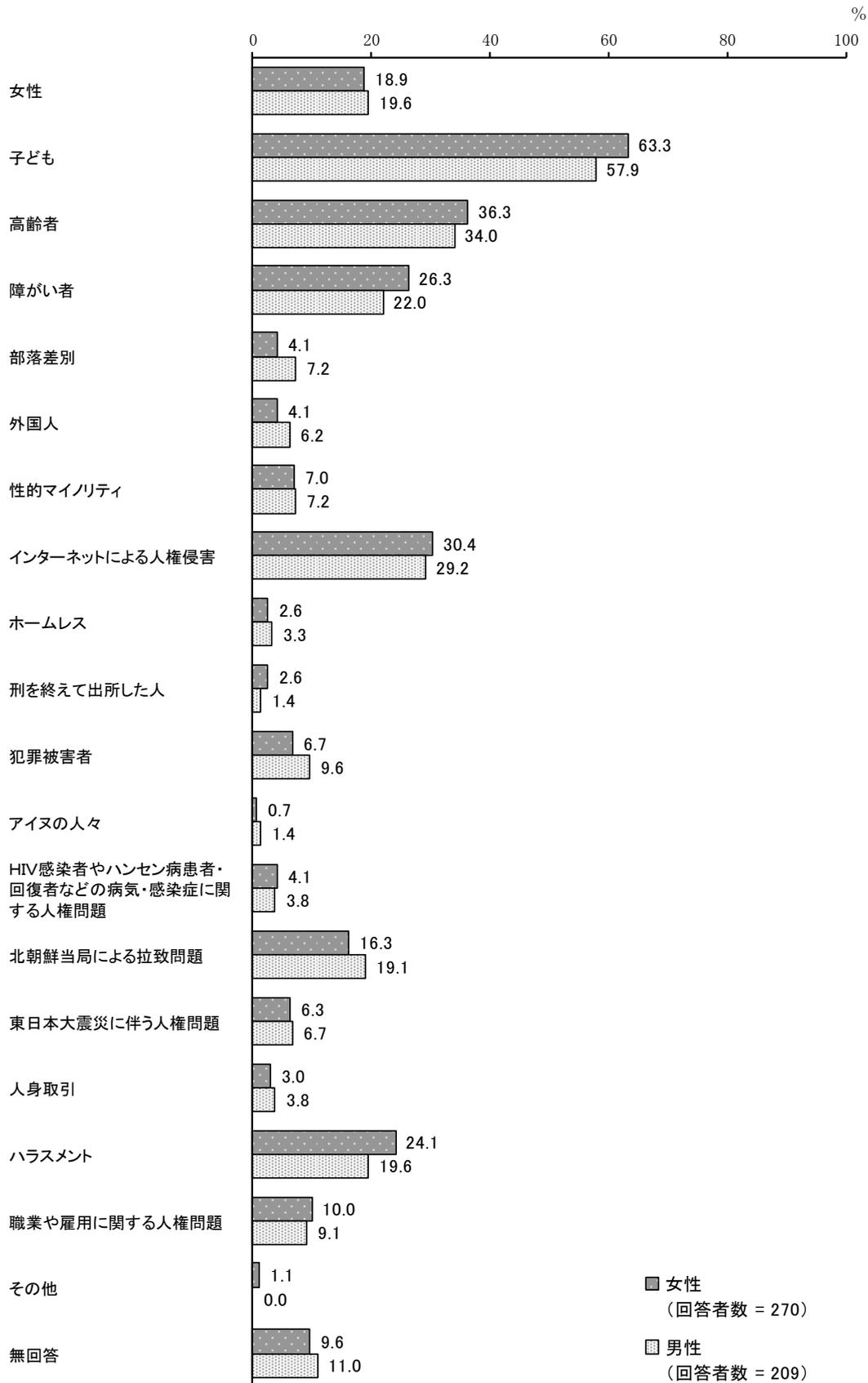


※大阪府調査では、「刑を終えて出所した人」「アイヌの人々」「北朝鮮当局による拉致問題」「東日本大震災に伴う人権問題」「人身取引」「その他」の選択肢はありません。

問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

【性別】

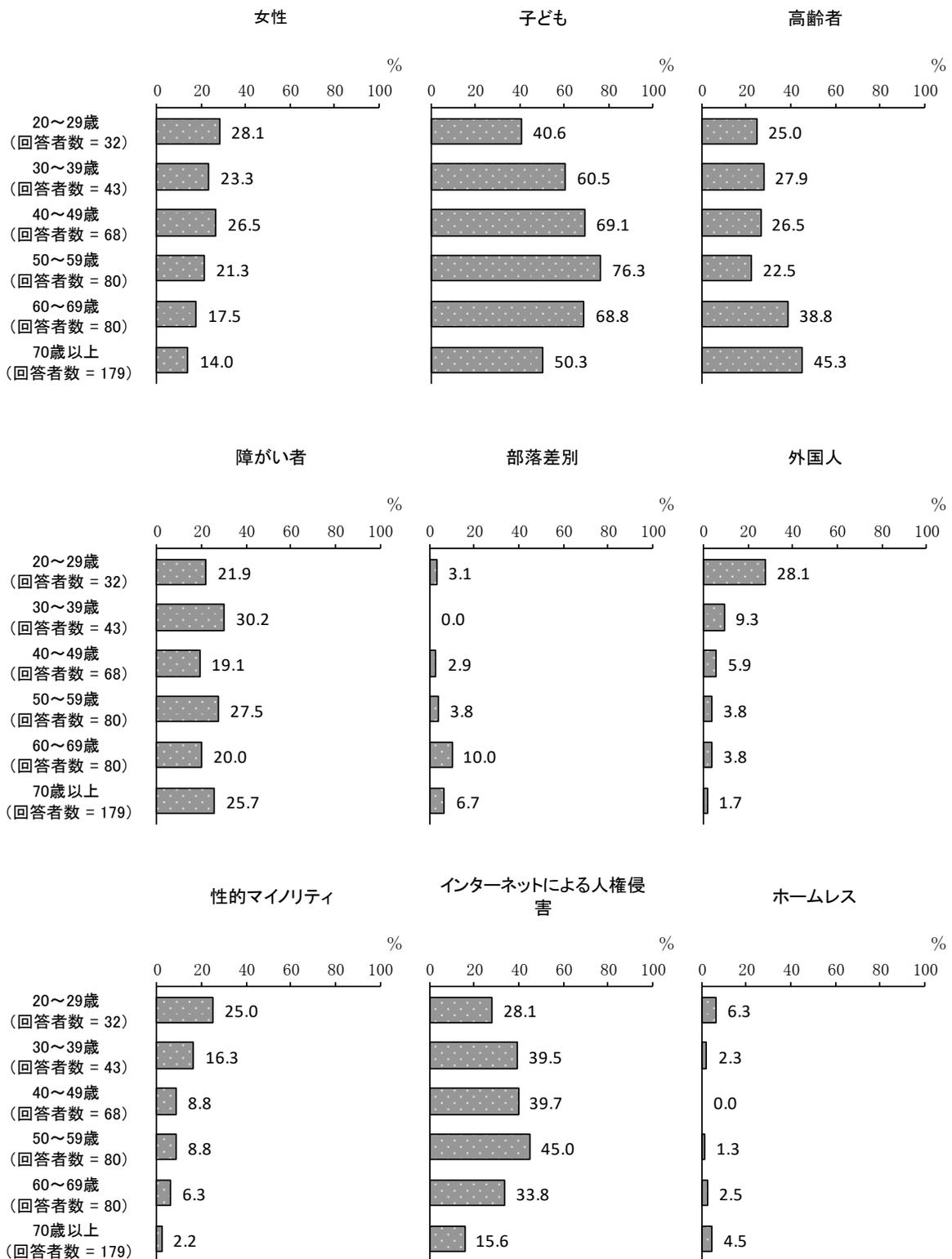
性別でみると、男性に比べ、女性で「子ども」の割合が高くなっています。

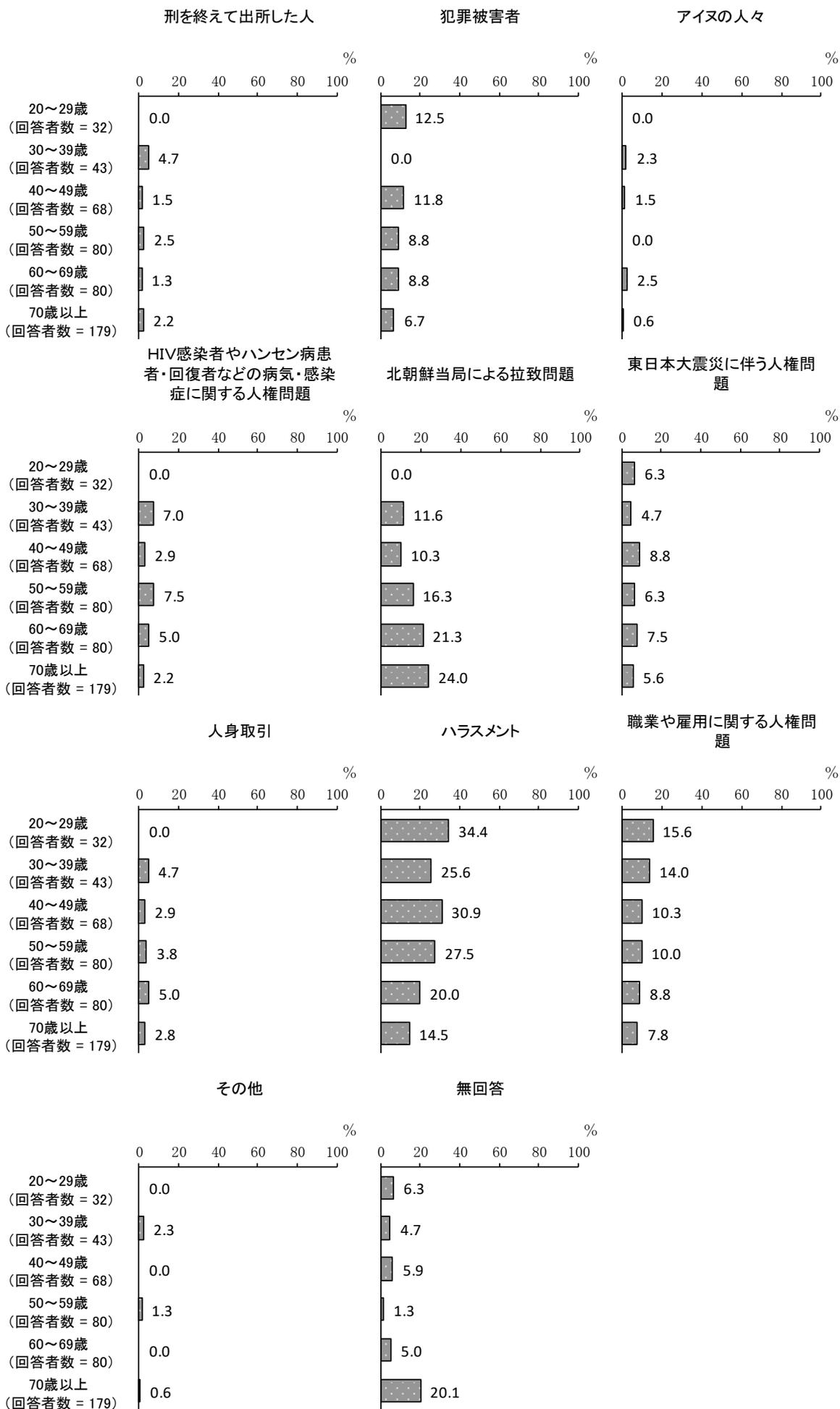


問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

【年齢別】

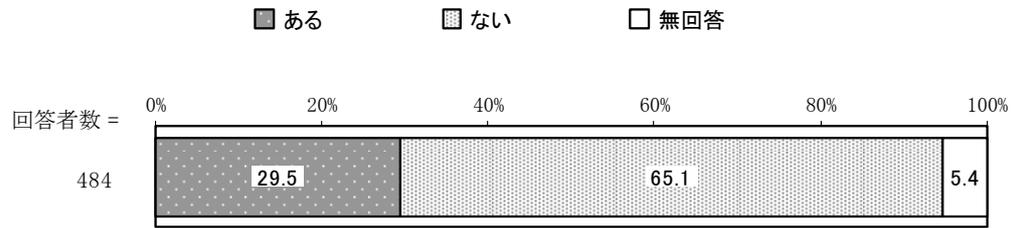
年齢別でみると、他に比べ、すべての年齢で「子ども」の割合が最も高くなっています。





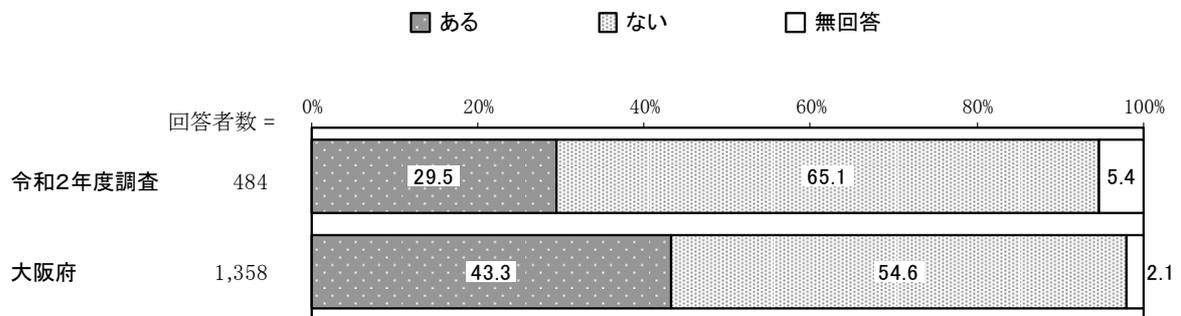
問10 直近5年間で人権上問題と感ずる言動を直接見聞きしましたか。(〇は1つ)
 ※最も印象に残っているもの(テレビや新聞等で見聞きしたものは除く)

「ある」の割合が29.5%、「ない」の割合が65.1%となっています。



【大阪府調査との比較】

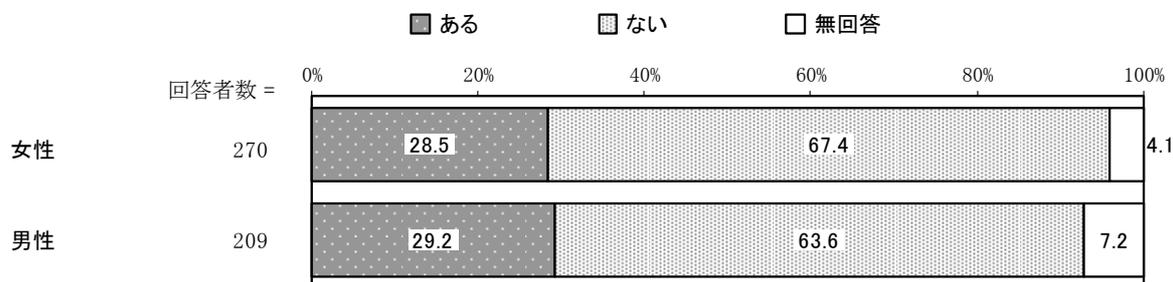
大阪府と比較すると、「ある」の割合が低くなっています。



問 10 直近5年間で人権上問題とを感じる言動を直接見聞きしましたか。(○は1つ)
 ※最も印象に残っているもの(テレビや新聞等で見聞きしたものは除く)

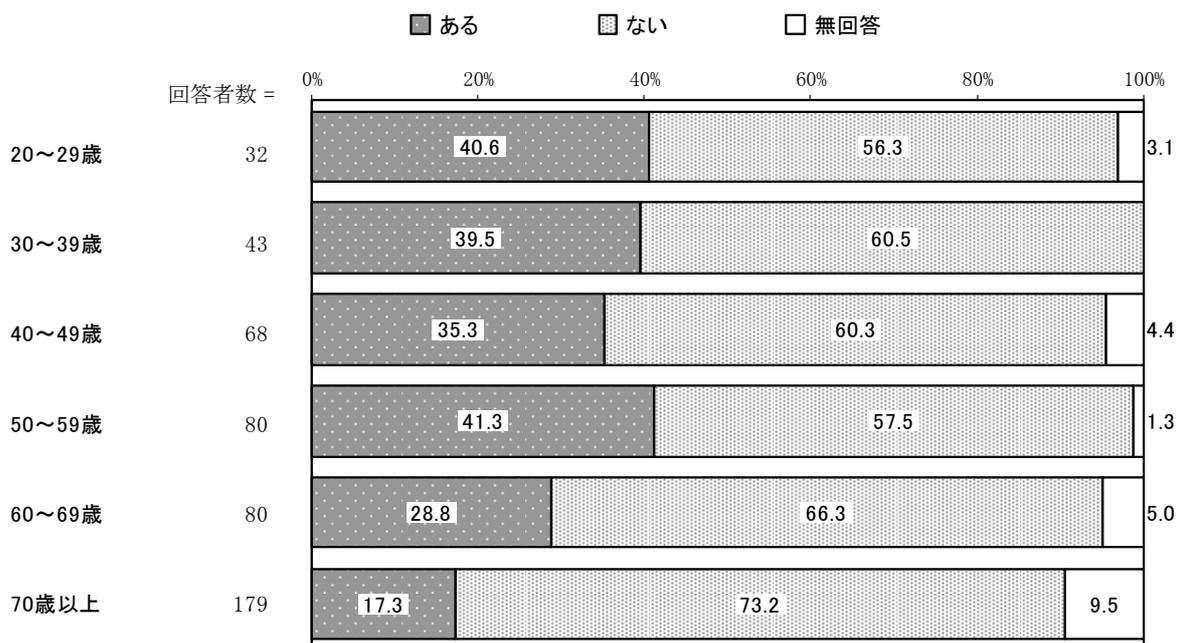
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

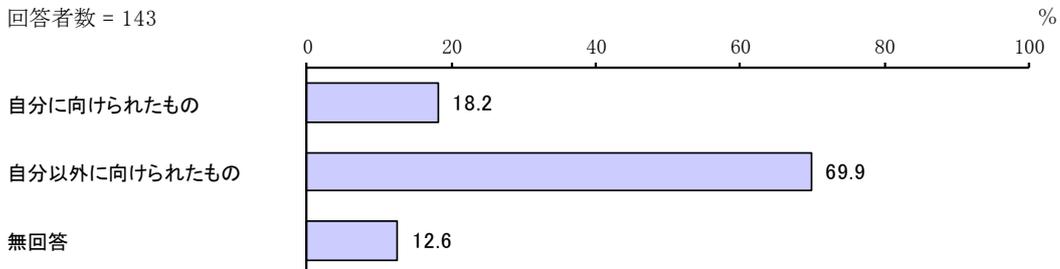
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳、50～59歳で「あり」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「ない」の割合が高くなっています。



**問10 直近5年間で人権上問題と感ずる言動を直接見聞きしましたか。(○は1つ)
※最も印象に残っているもの(テレビや新聞等で見聞きしたものは除く)**

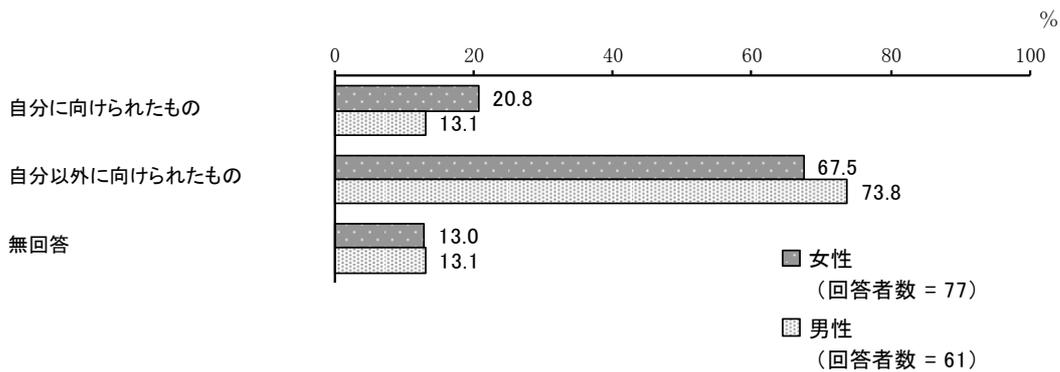
問10で「1. ある」と回答された方

「自分に向けられたもの」の割合が18.2%、「自分以外に向けられたもの」の割合が69.9%となっています。



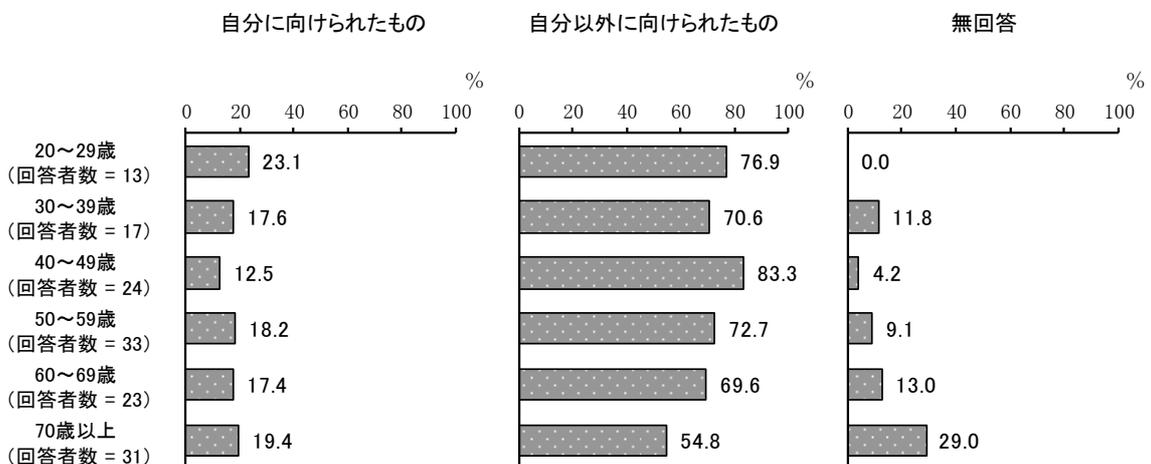
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「自分に向けられたもの」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「自分以外に向けられたもの」の割合が高くなっています。



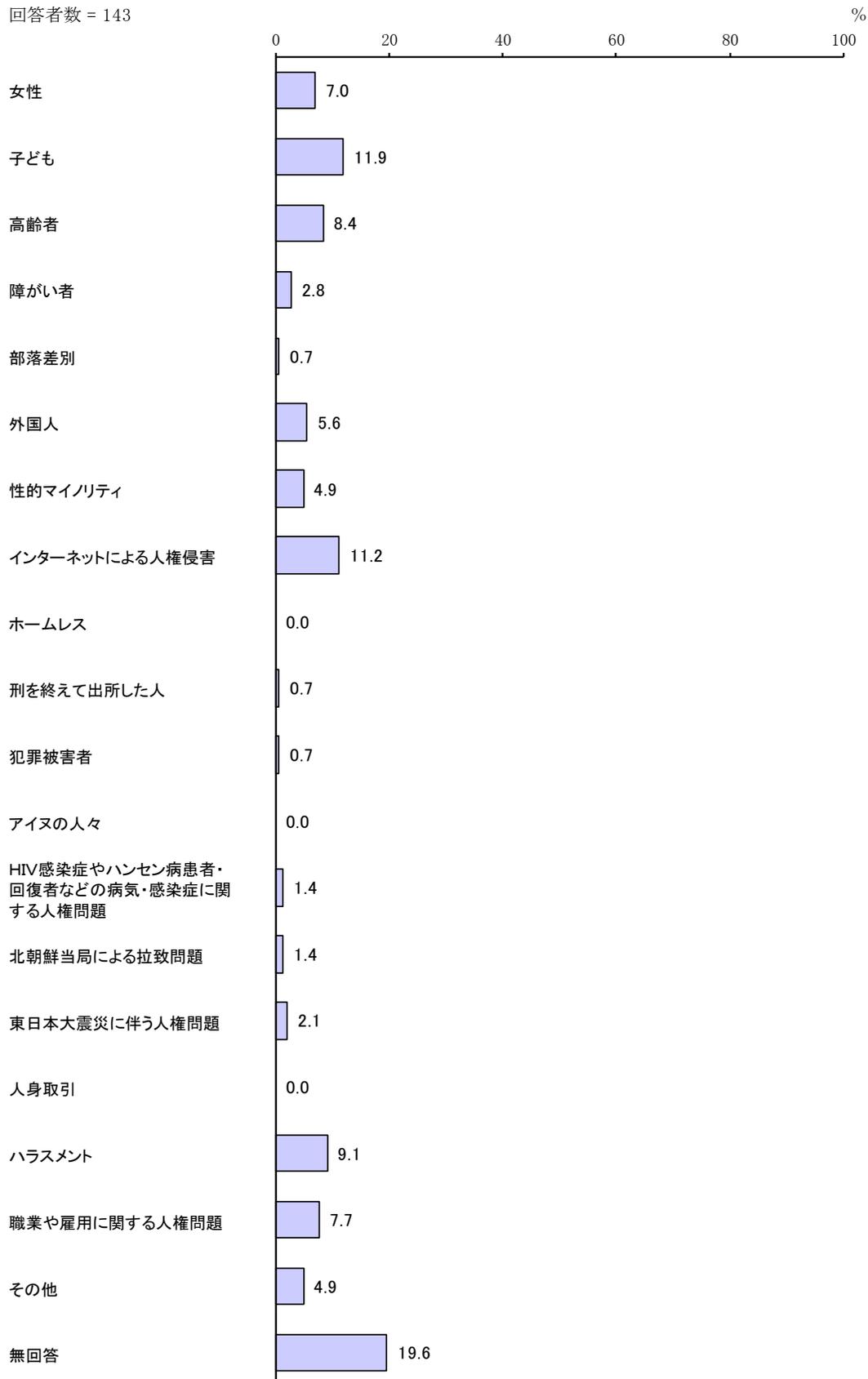
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20~29歳で「自分に向けられたもの」の割合が高くなっています。また、40~49歳で「自分以外に向けられたもの」の割合が高くなっています。



問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような人権課題に関するものですか。(最も関連するものに○を1つ)

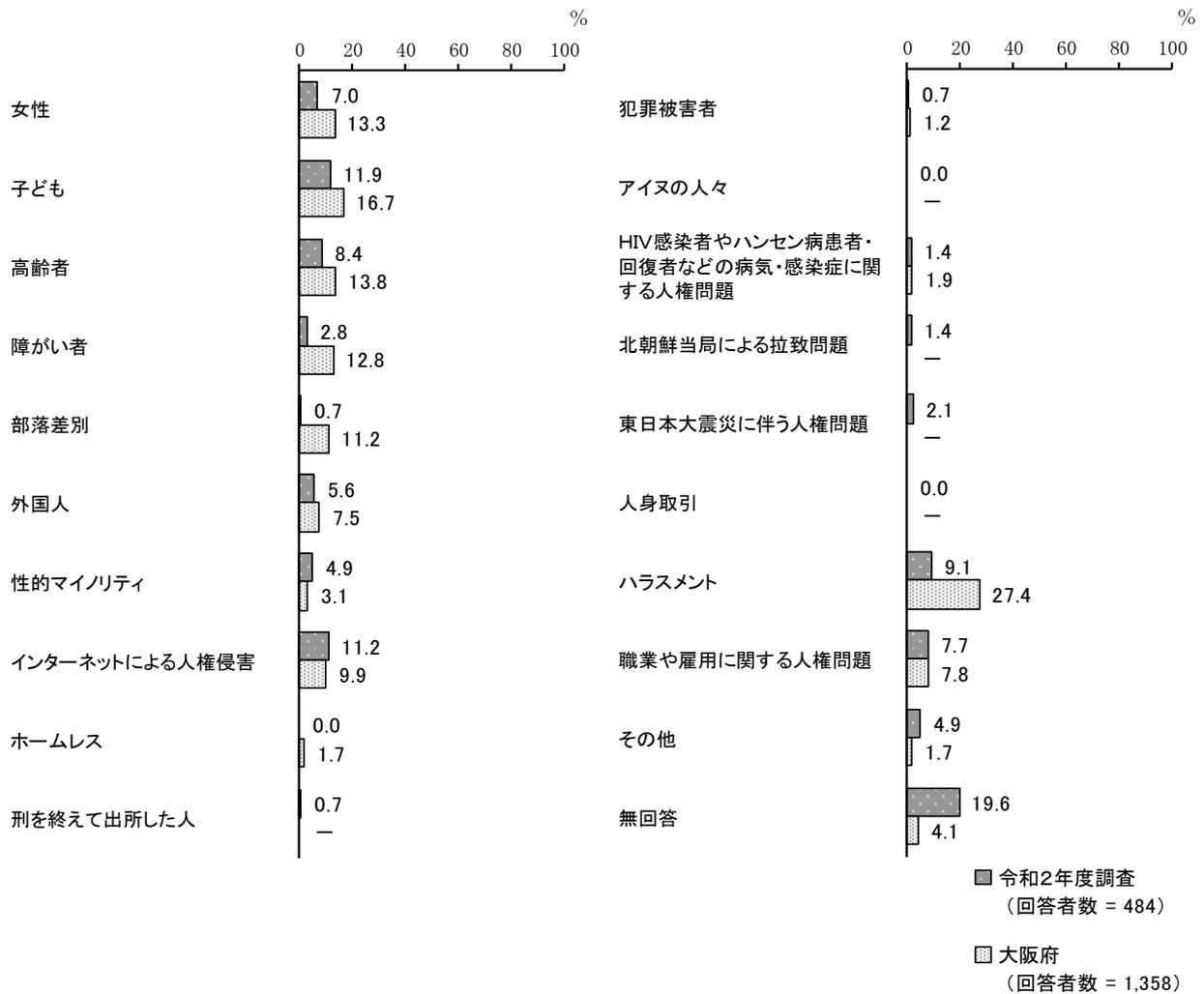
「子ども」の割合が11.9%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」の割合が11.2%となっています。



問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような人権課題に関するものですか。(最も関連するものに○を1つ)

【大阪府調査との比較】

大阪府と比較すると、「女性」「高齢者」「障がい者」「部落差別」「ハラスメント」の割合が低くなっています。

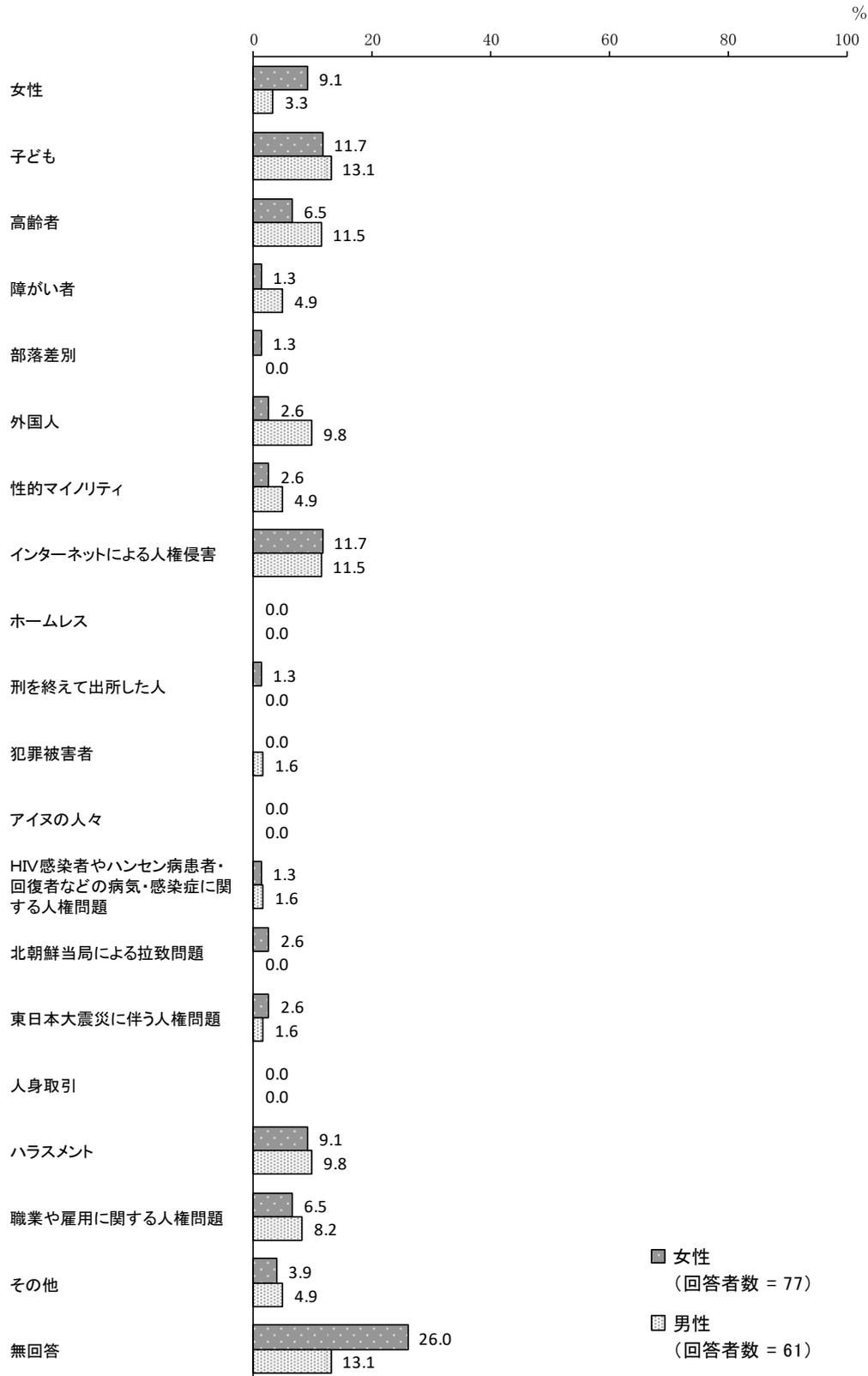


※大阪府調査では、「刑を終えて出所した人」「アイヌの人々」「北朝鮮当局による拉致問題」「東日本大震災に伴う人権問題」「人身取引」の選択肢はありません。

問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような人権課題に関するものですか。(最も関連するものに○を1つ)

【性別】

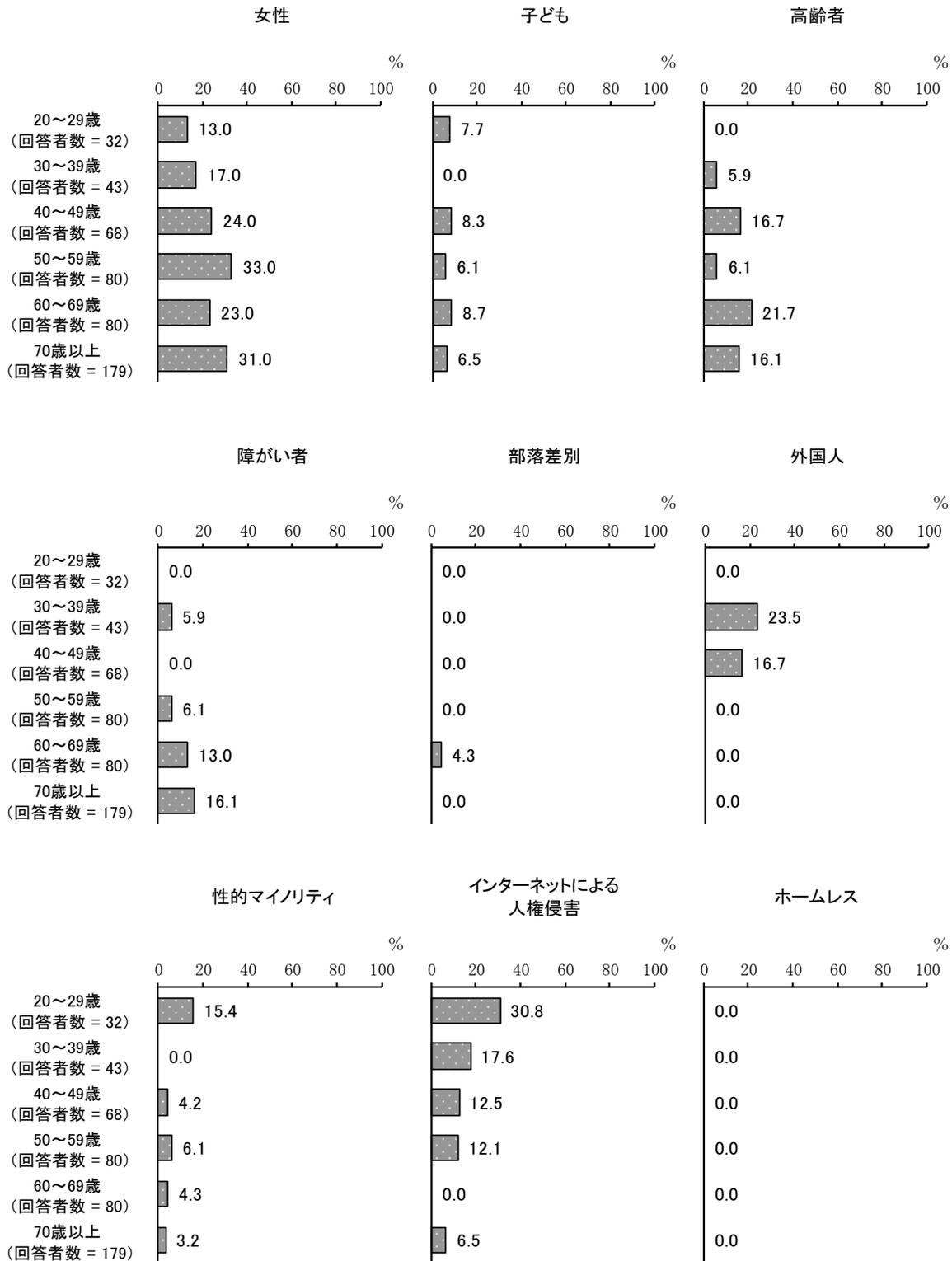
性別でみると、男性に比べ、女性で「女性」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「外国人」の割合が高くなっています。



問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような人権課題に関するものですか。(最も関連するものに○を1つ)

【年齢別】

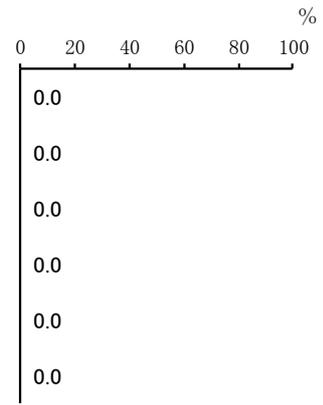
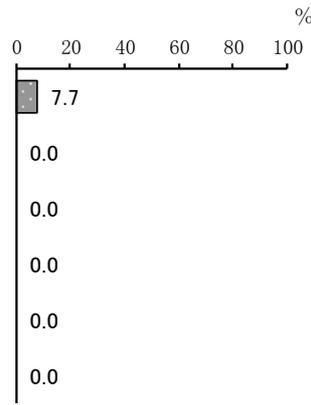
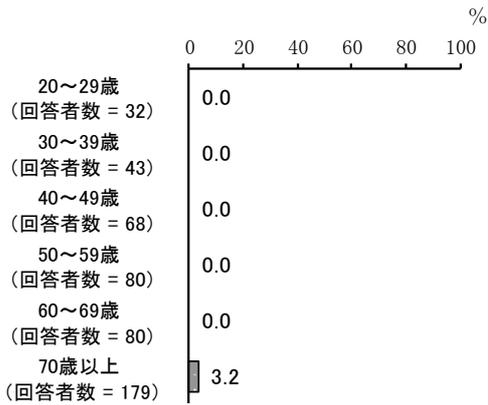
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「インターネットによる人権侵害」の割合が、30～39歳で「外国人」の割合が高くなっています。また、50～59歳で「ハラスメント」の割合が、60～69歳で「子ども」「職業や雇用に関する人権問題」の割合が高くなっています。



刑を終えて出所した人

犯罪被害者

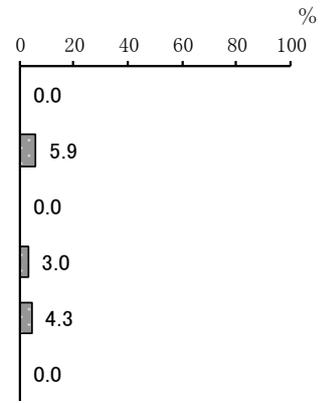
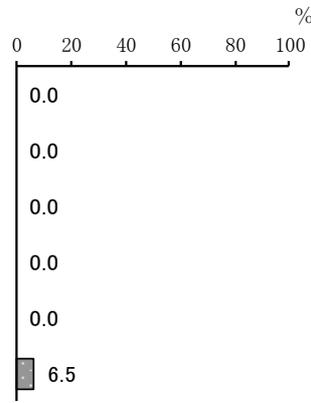
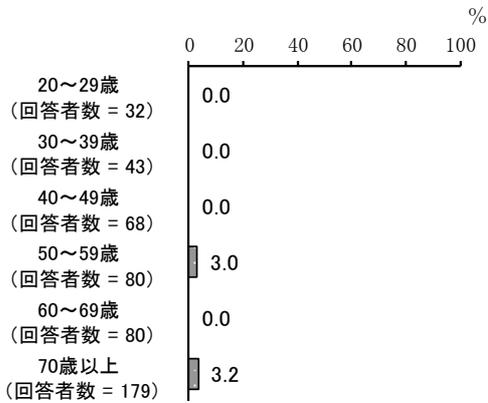
アイヌの人々



HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題

北朝鮮当局による拉致問題

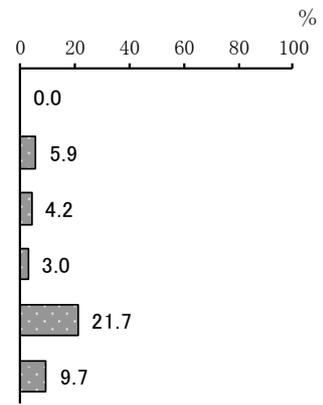
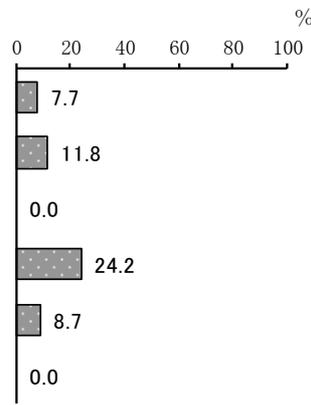
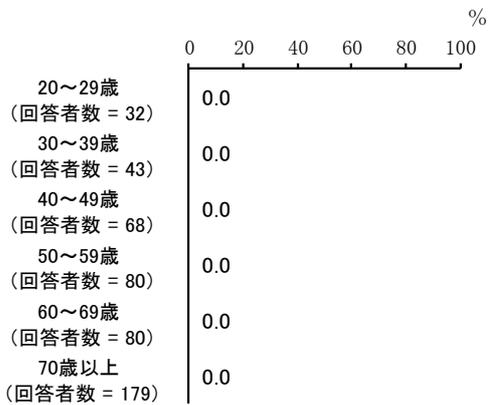
東日本大震災に伴う人権問題



人身取引

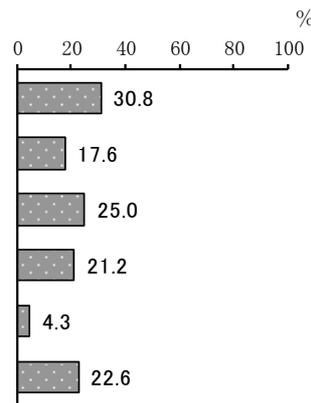
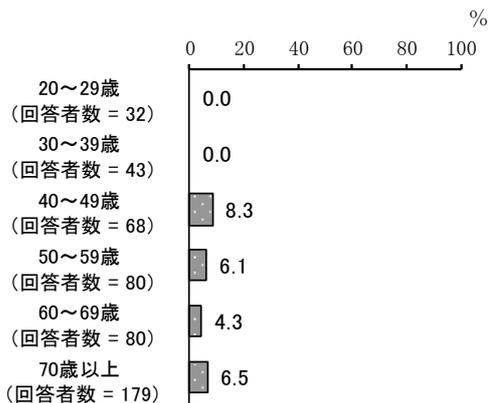
ハラスメント

職業や雇用に関する人権問題



その他

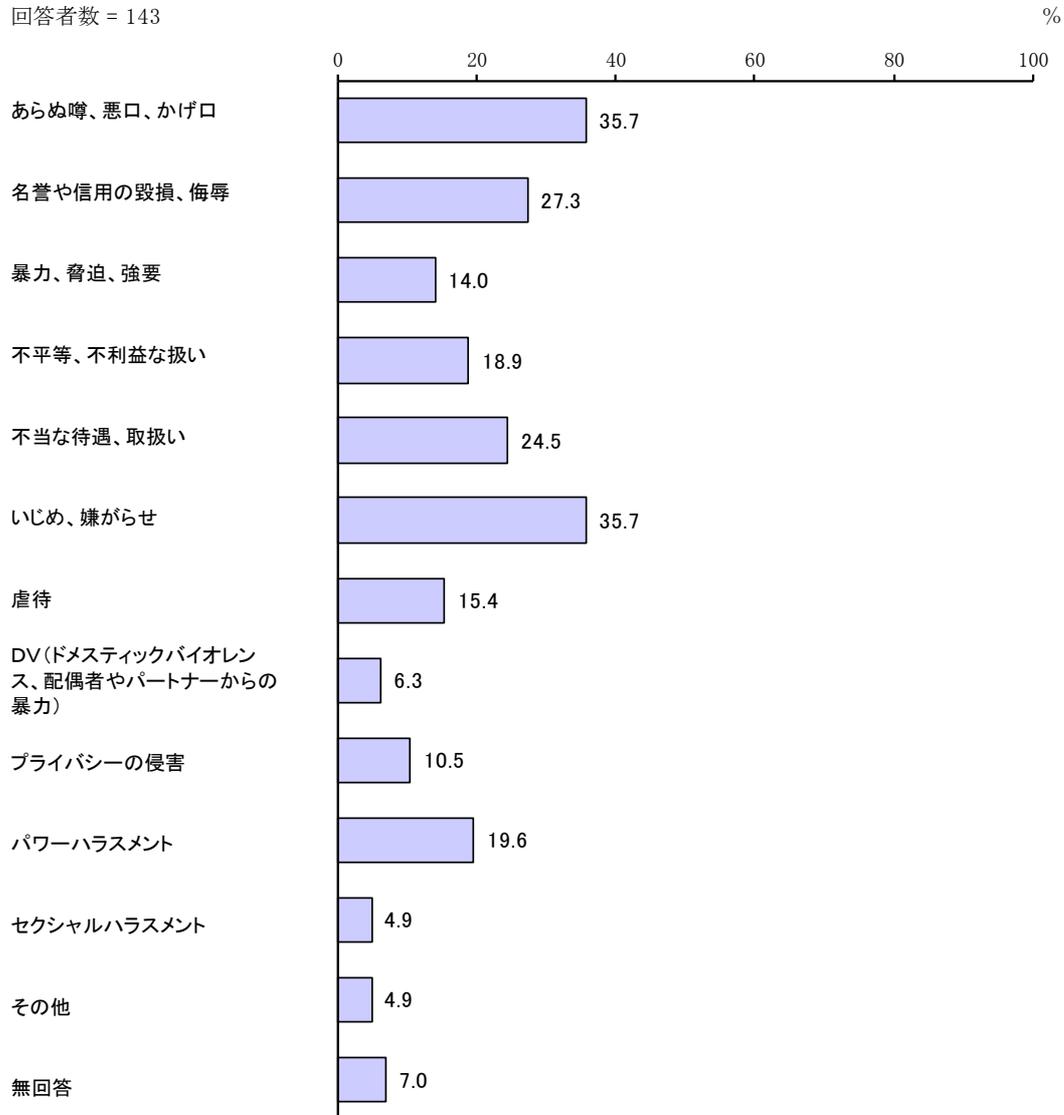
無回答



問 10-2 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

「あらぬ噂、悪口、かげ口」、「いじめ、嫌がらせ」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「名誉や信用の毀損、侮辱」の割合が 27.3%となっています。

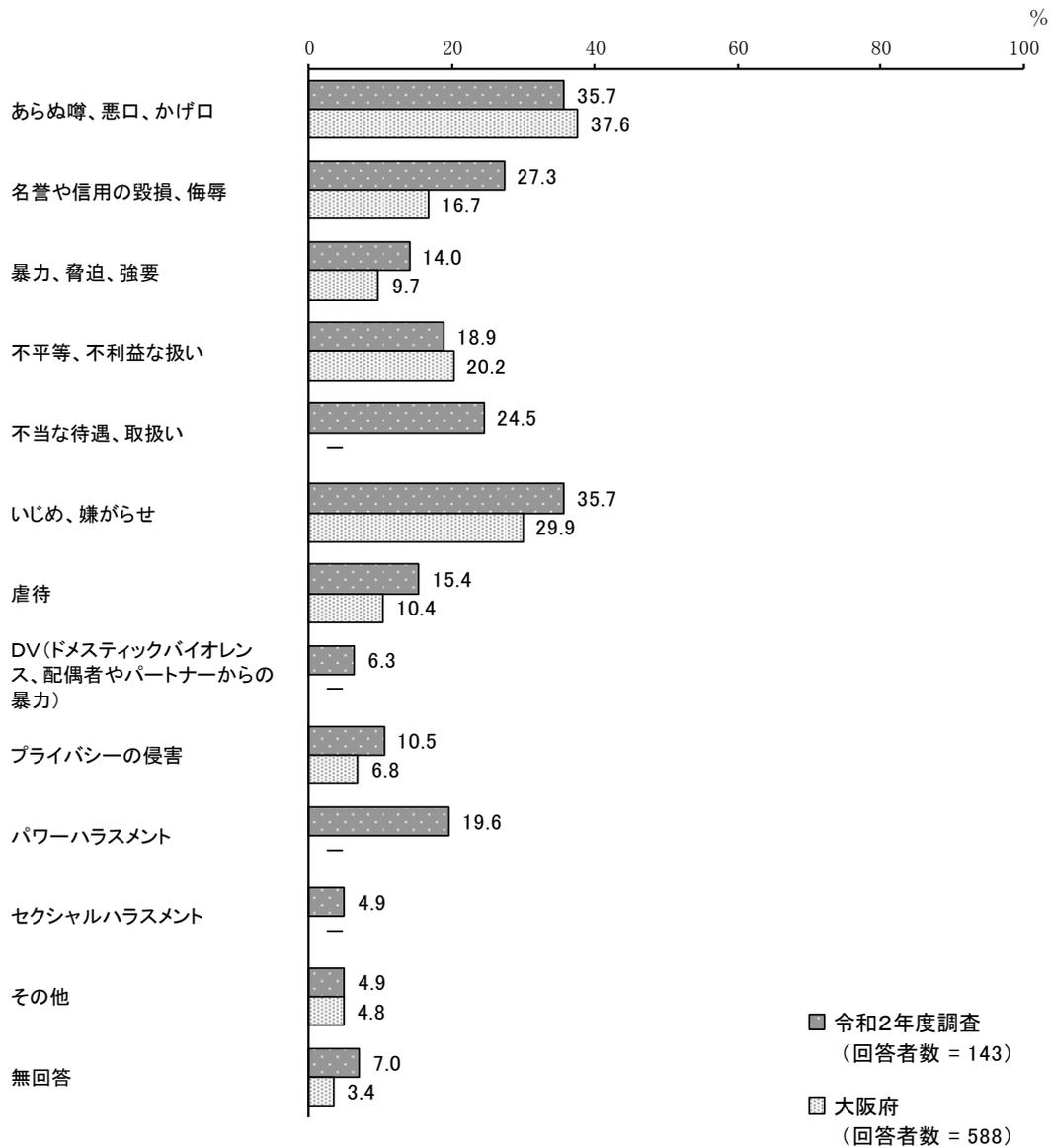
回答者数 = 143



問10-2 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

【大阪府調査との比較】

大阪府と比較すると、「名誉や信用の毀損、侮辱」「いじめ、嫌がらせ」の割合が高くなっています。

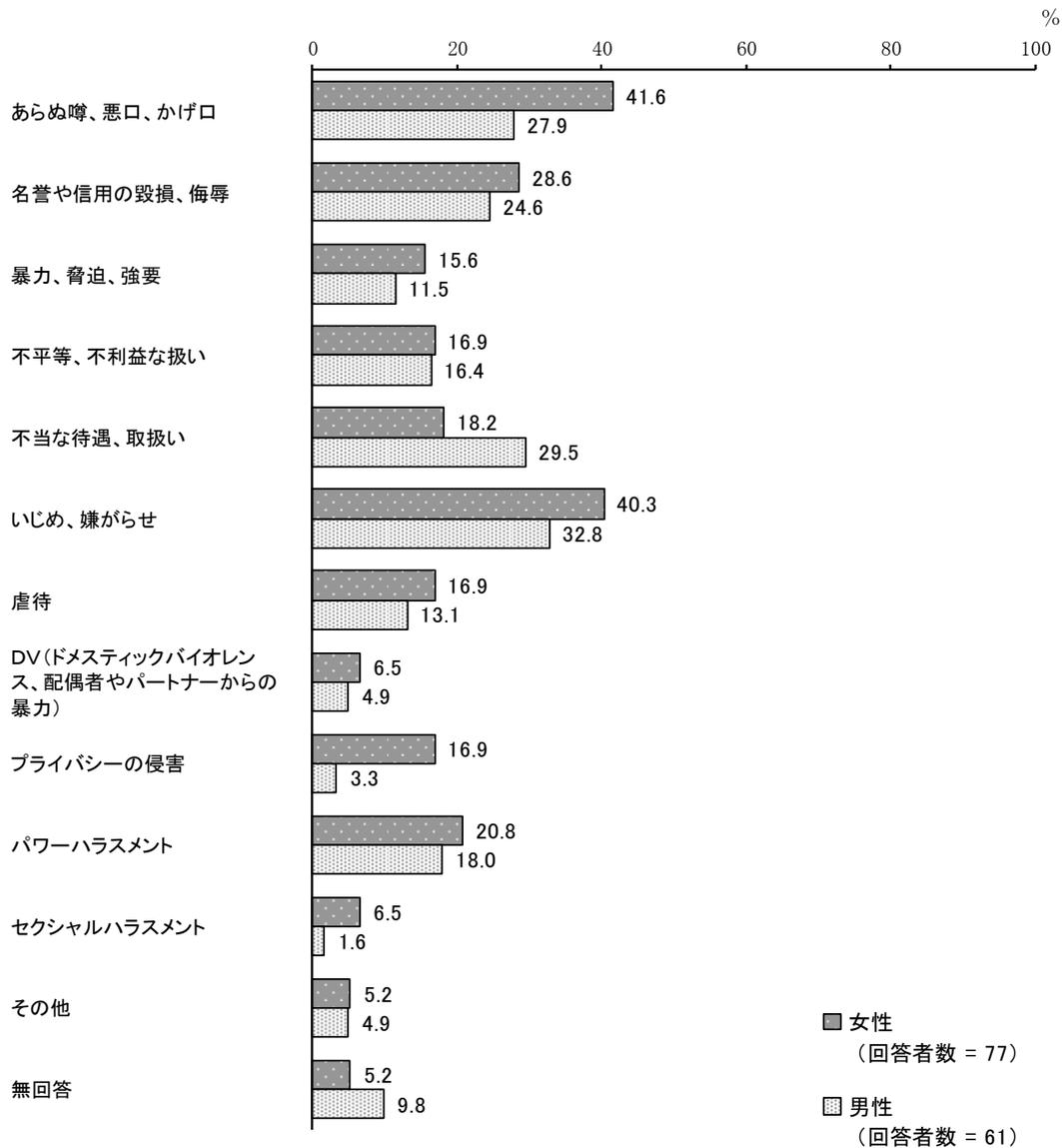


※大阪府調査では、「不当な待遇、取扱い」「DV (ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力)」「パワーハラスメント」「セクシャルハラスメント」の選択肢はありません。

問10-2 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

【性別】

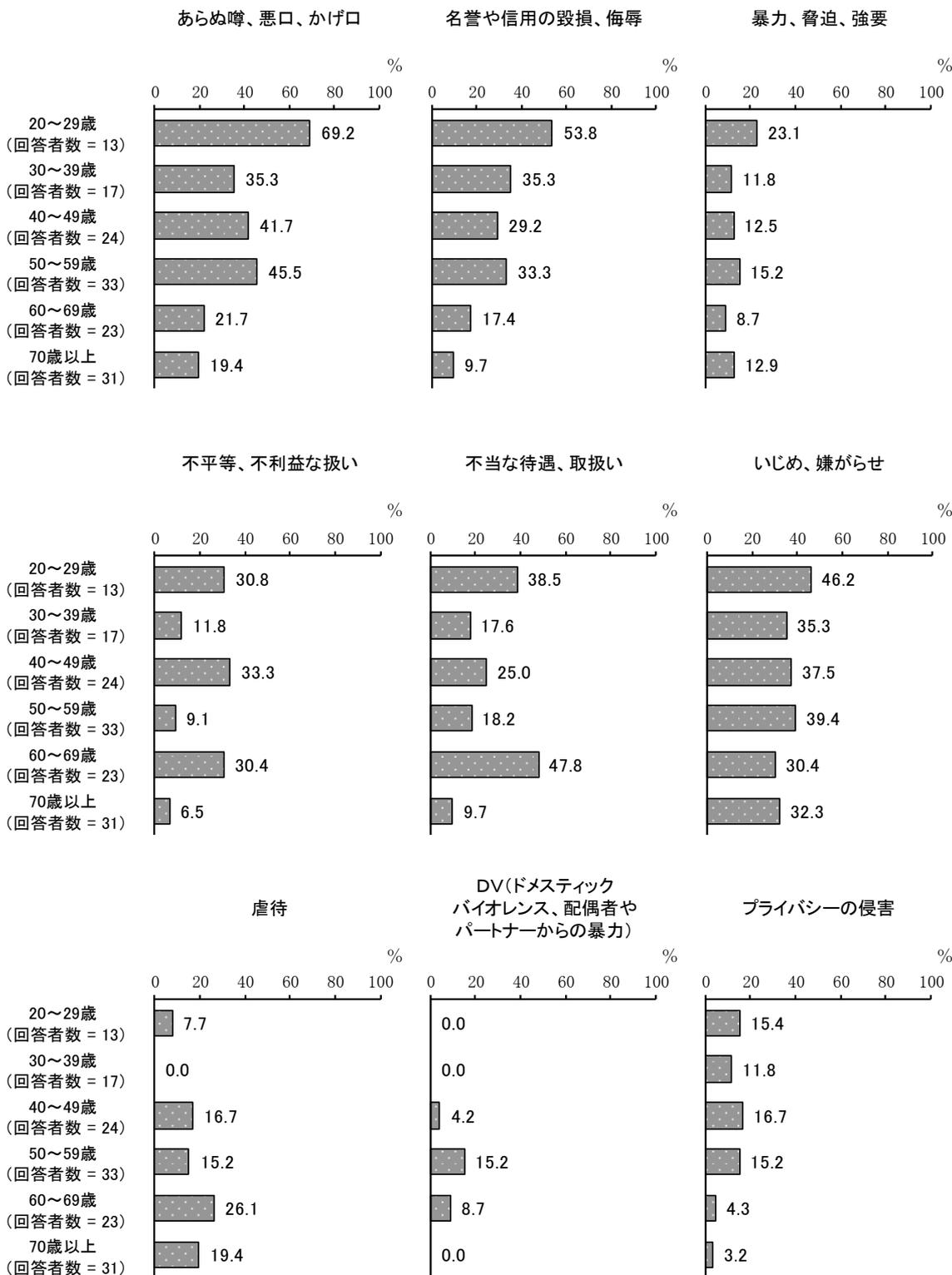
性別でみると、男性に比べ、女性で「あらぬ噂、悪口、かげ口」「いじめ、嫌がらせ」「プライバシーの侵害」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「不当な待遇、取扱い」の割合が高くなっています。

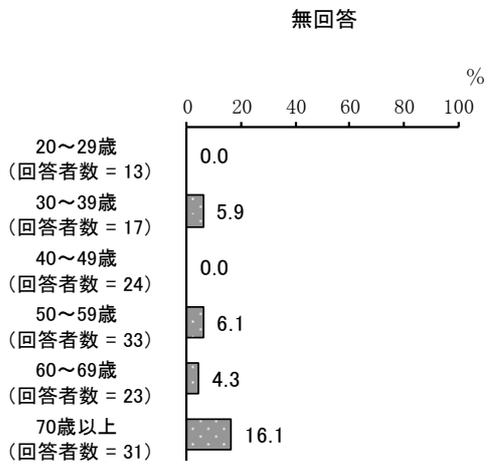
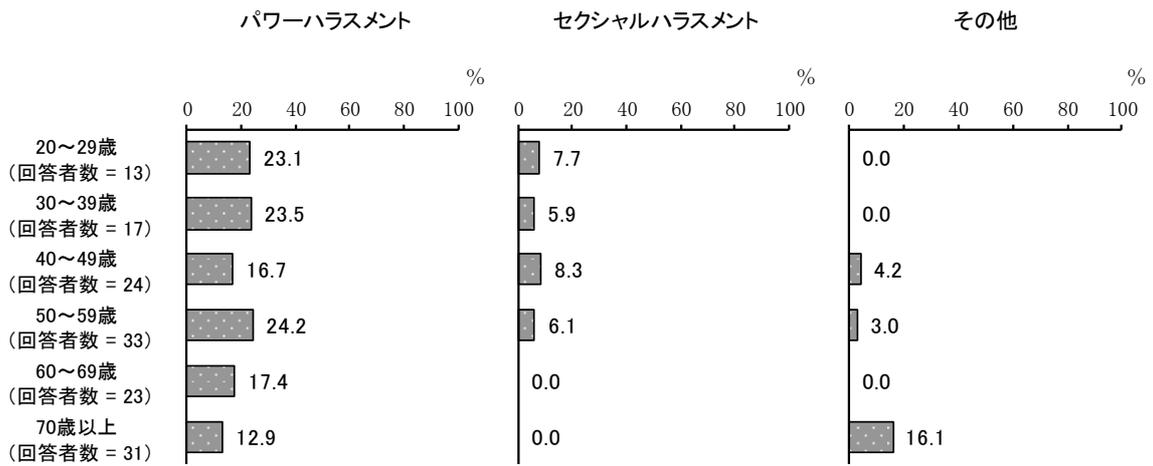


問10-2 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

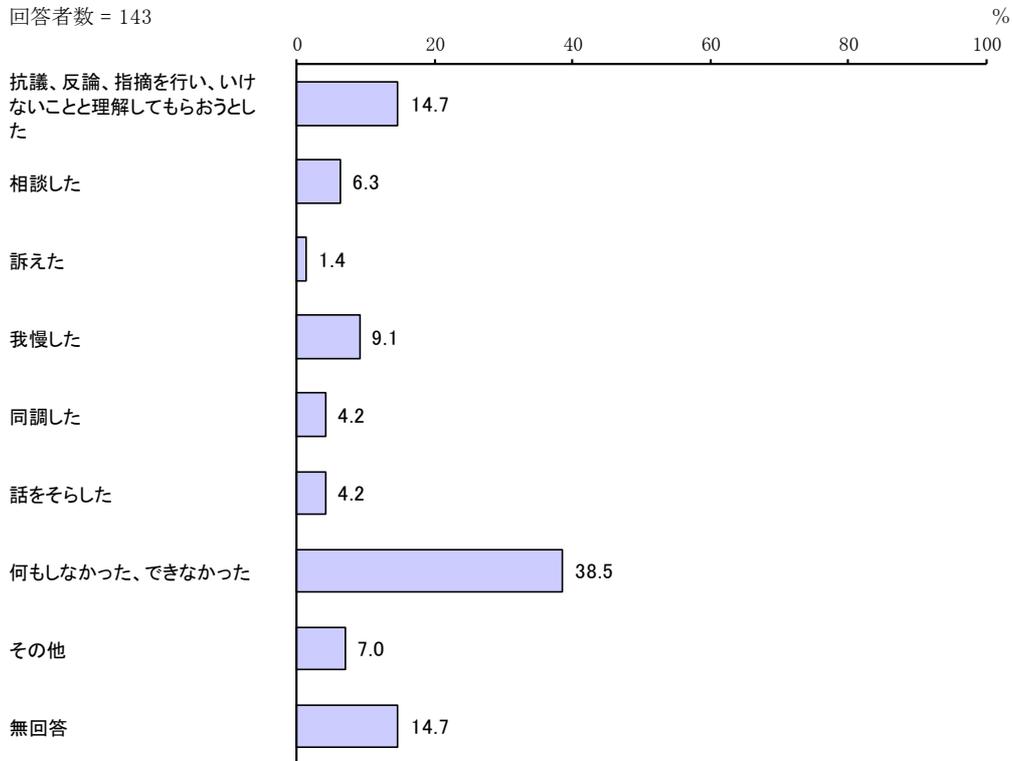
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「あらぬ噂、悪口、かげ口」「名誉や信用の毀損、侮辱」の割合が、60～69歳で「不当な待遇、取扱い」の割合が高くなっています。





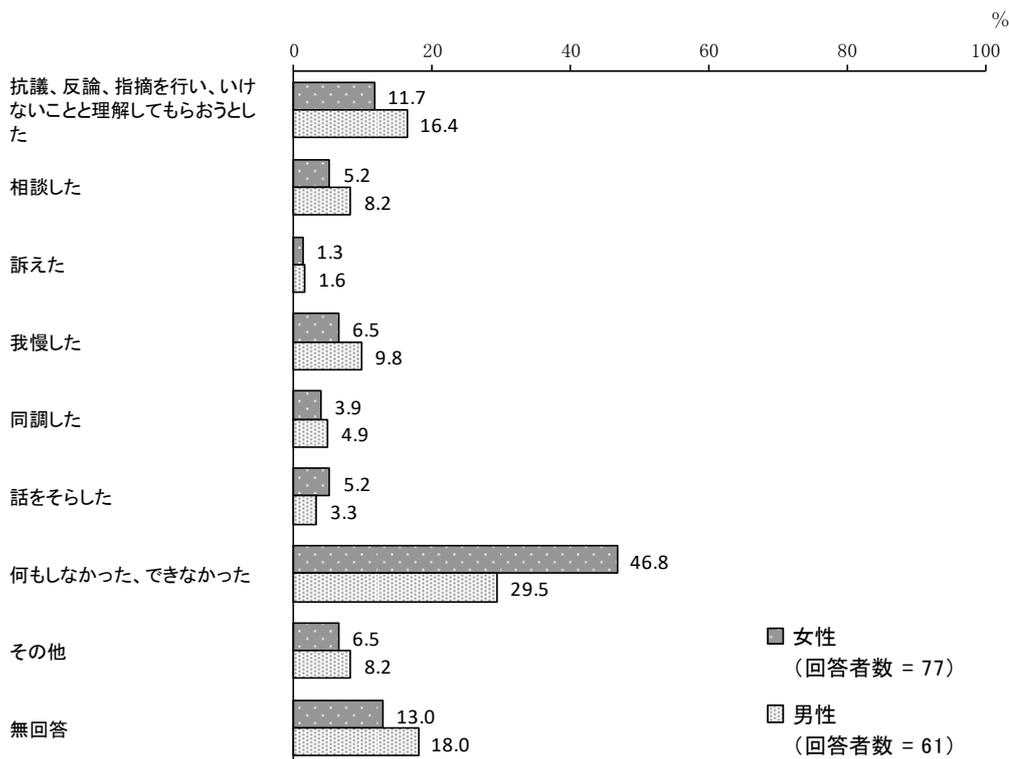
問10-3 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それに対してどのように対応しましたか（〇は1つ）

「何もしなかった、できなかった」の割合が38.5%と最も高く、次いで「抗議、反論、指摘を行い、いけないことと理解してもらおうとした」の割合が14.7%となっています。



【性別】

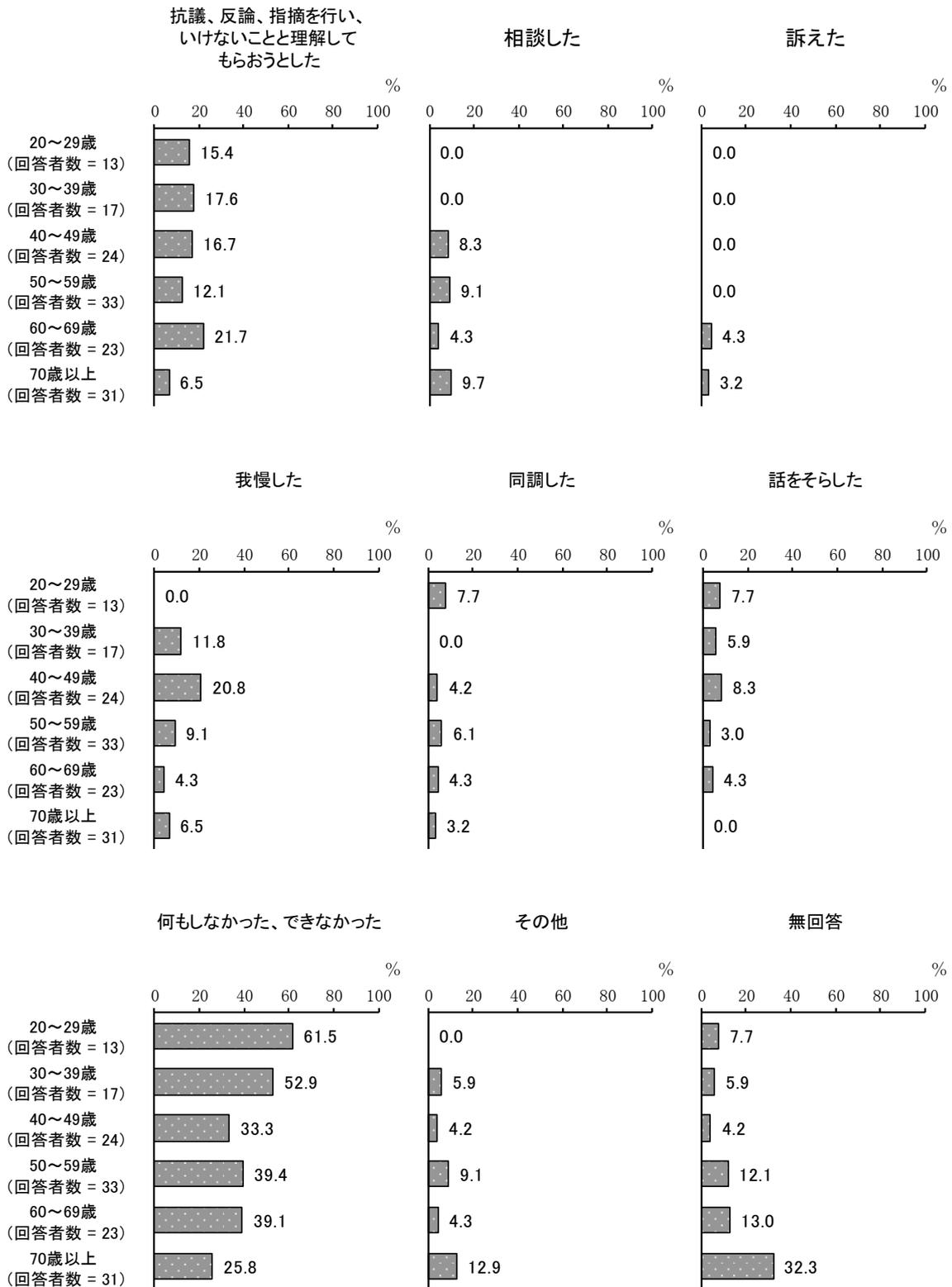
性別でみると、男性に比べ、女性で「何もしなかった、できなかった」の割合が高くなっています。



問10-3 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それに対してどのように対応しましたか（○は1つ）

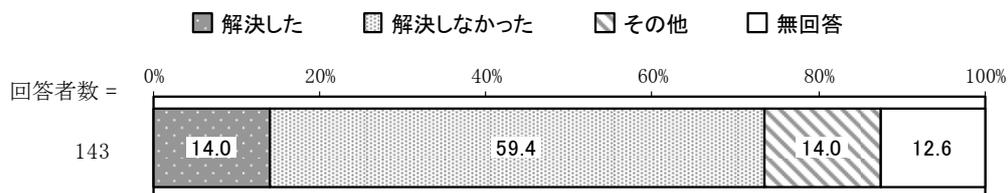
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「何もしなかった、できなかった」の割合が、40～49歳で「我慢した」の割合が高くなっています。



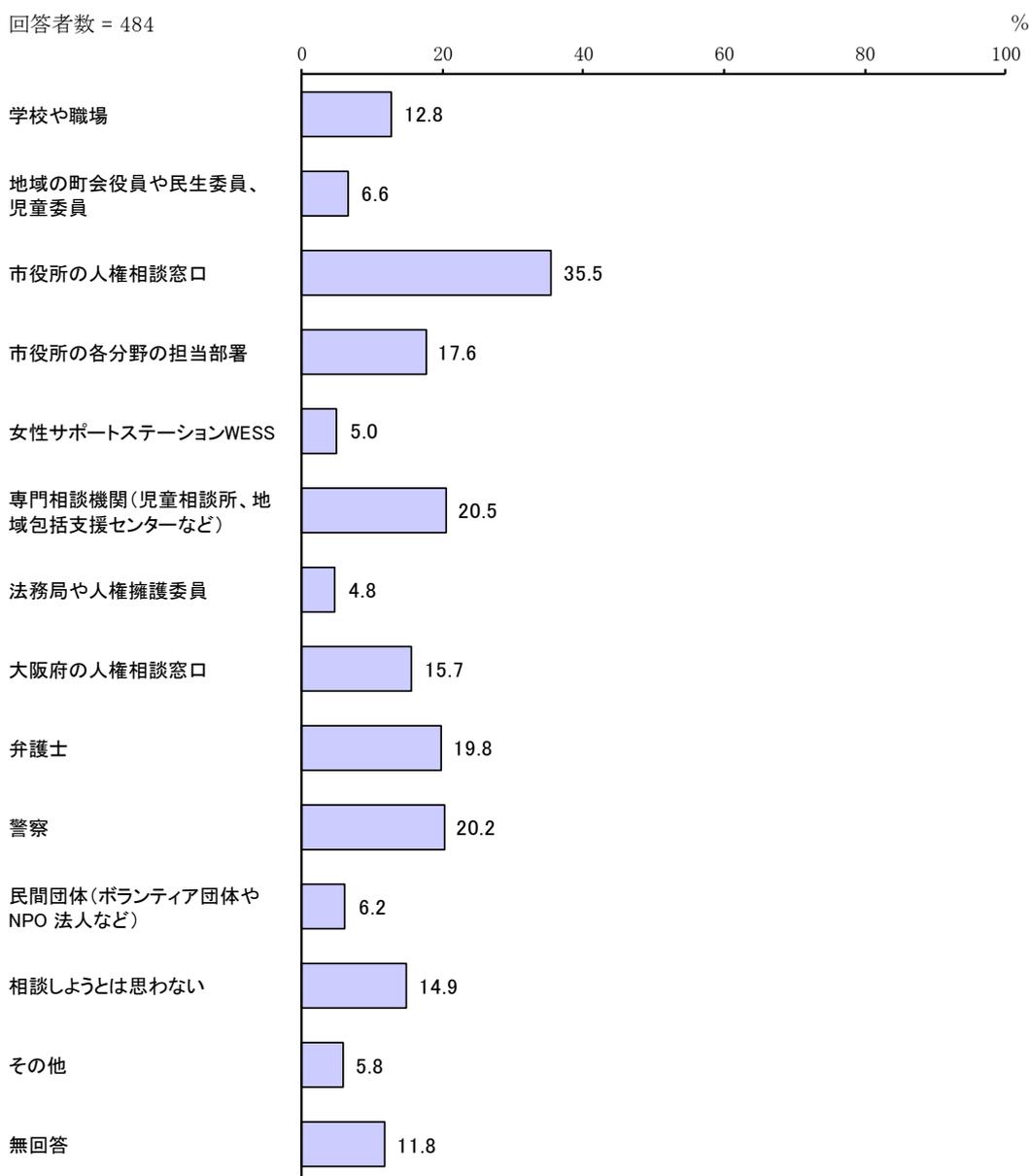
問 10-4 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それは解決しましたか（○は1つ）

「解決した」の割合が 14.0%、「解決しなかった」の割合が 59.4%となっています。



問 11 人権課題について、家族や親せき、友人以外で、具体的にどこへ相談しようと思いますか（○はいくつでも）

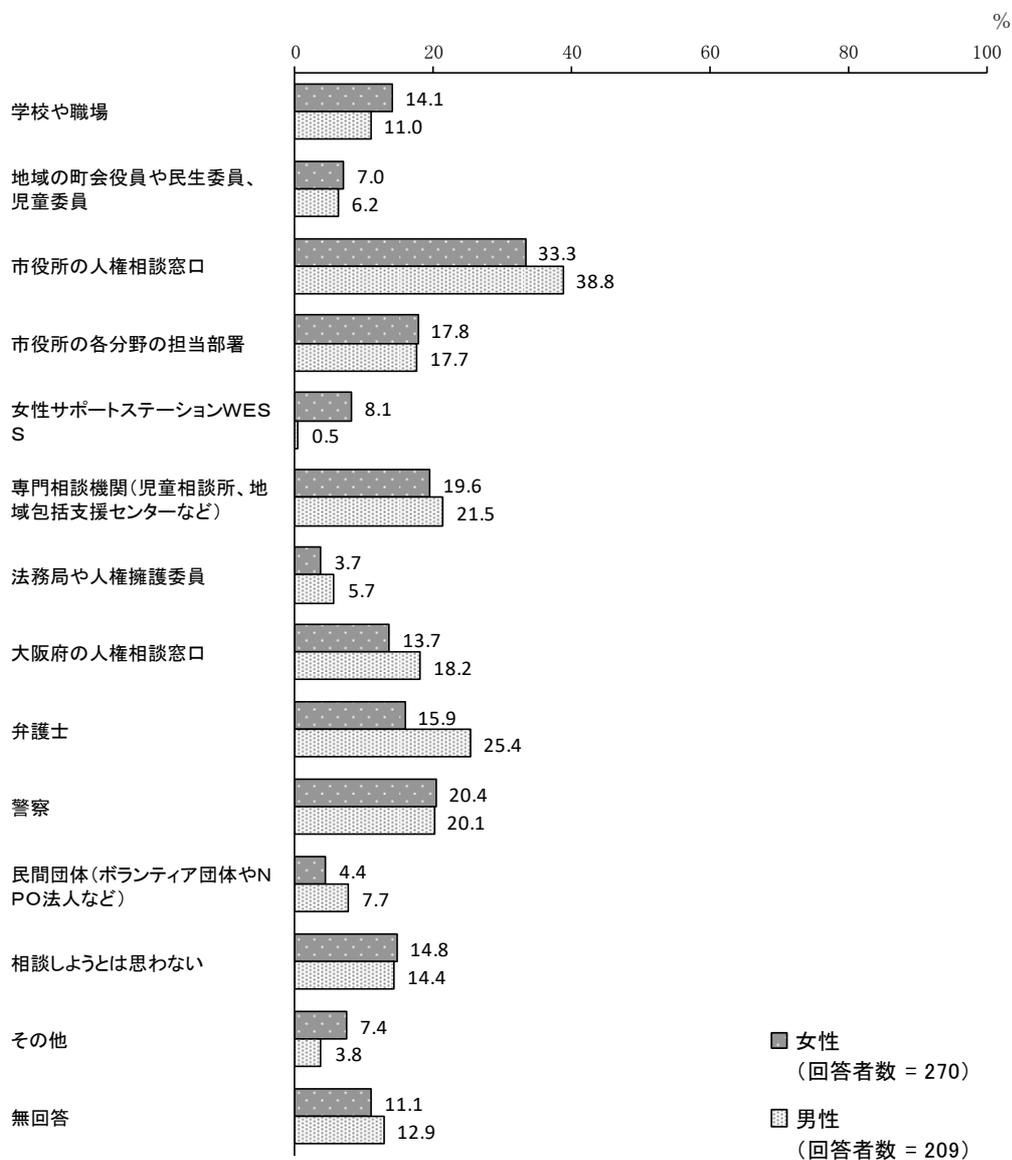
「市役所の人権相談窓口」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「専門相談機関（児童相談所、地域包括支援センターなど）」の割合が 20.5%、「警察」の割合が 20.2%となっています。



問11 人権課題について、家族や親せき、友人以外で、具体的にどこへ相談しようと思いますか（〇はいくつでも）

【性別】

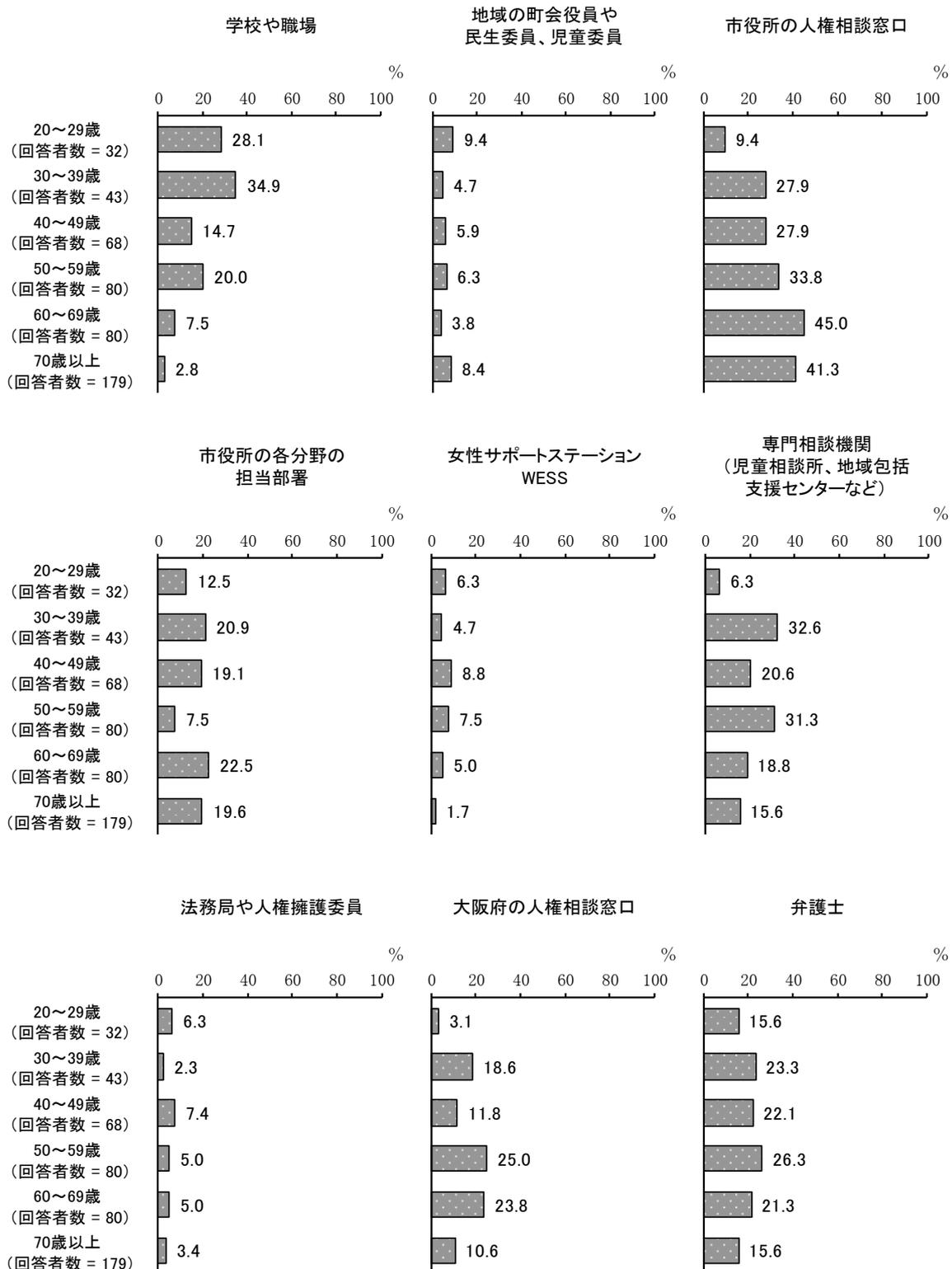
性別で見ると、男性に比べ、女性で「女性サポートステーションWESS」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「市役所の人権相談窓口」「弁護士」の割合が高くなっています。

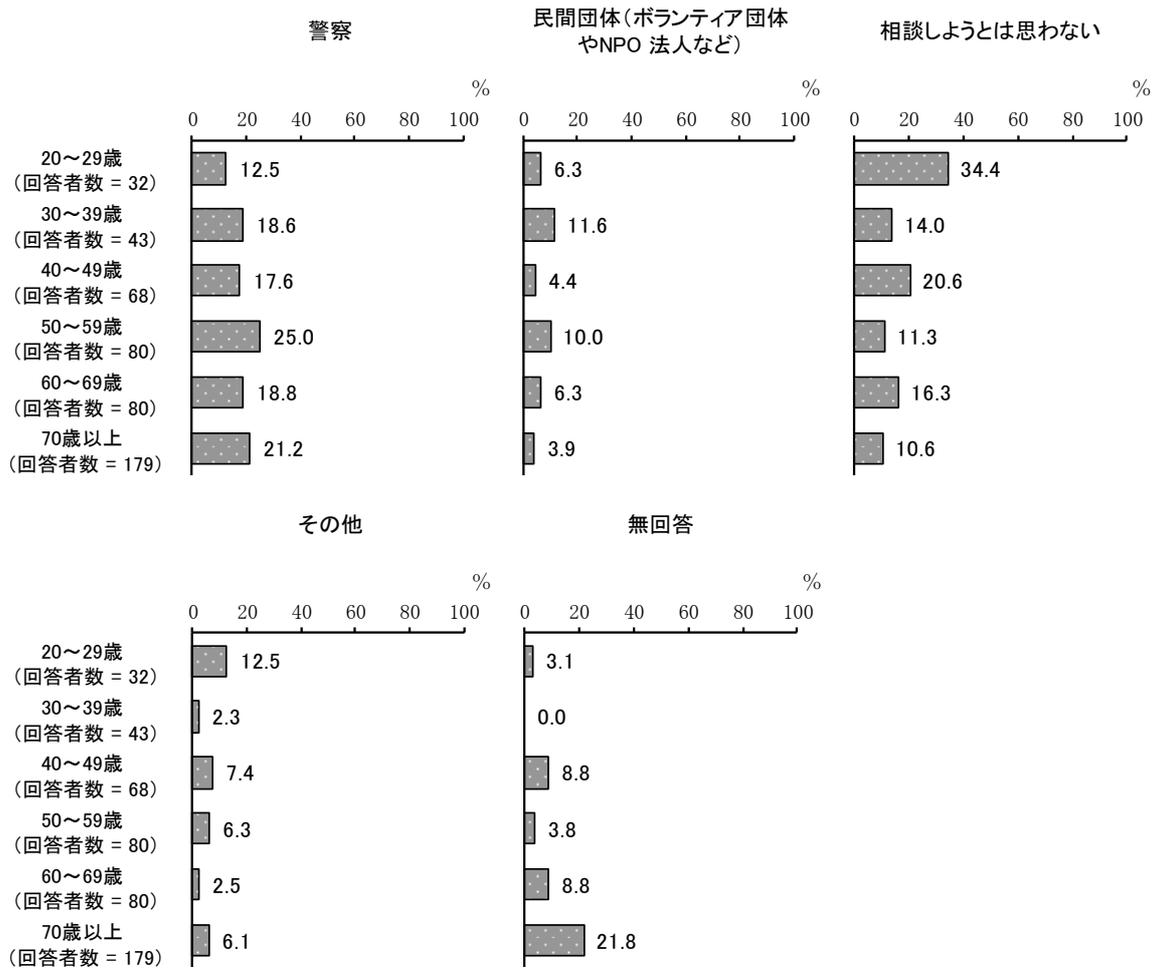


問 11 人権課題について、家族や親せき、友人以外で、具体的にどこへ相談しようと思いますか（〇はいくつでも）

【年齢別】

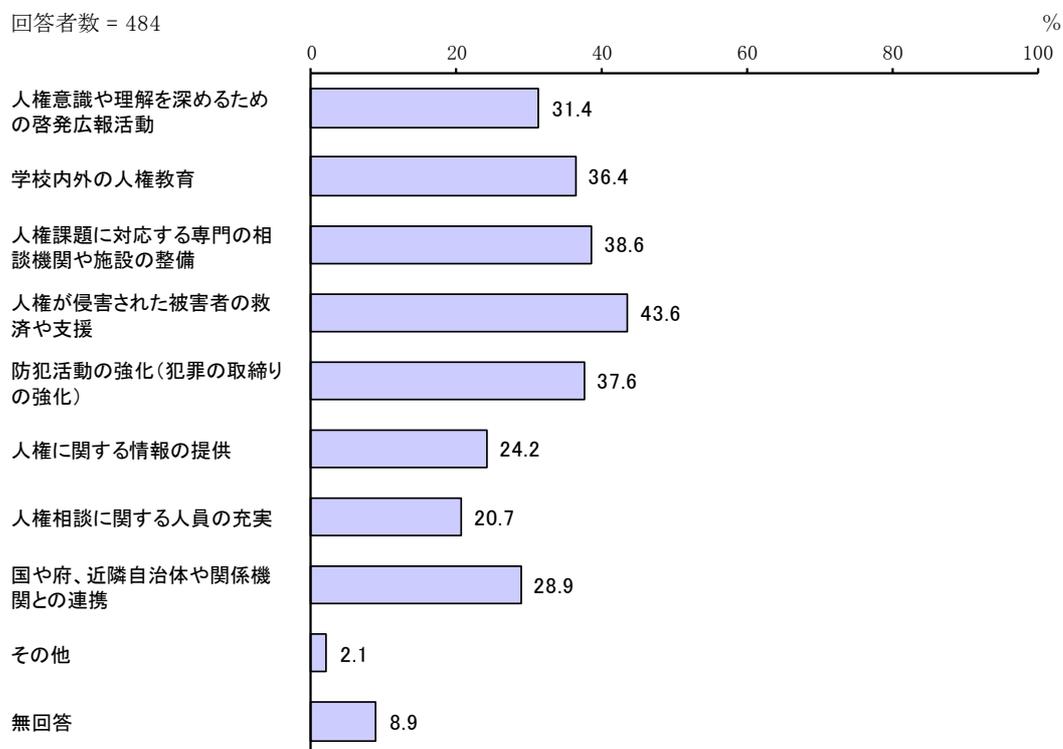
年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「学校や職場」の割合が、60～69歳で「市役所の人権相談窓口」の割合が高くなっています。一方、20～29歳で「相談しようとは思わない」の割合が高くなっています。





問12 あなたは、市役所は人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

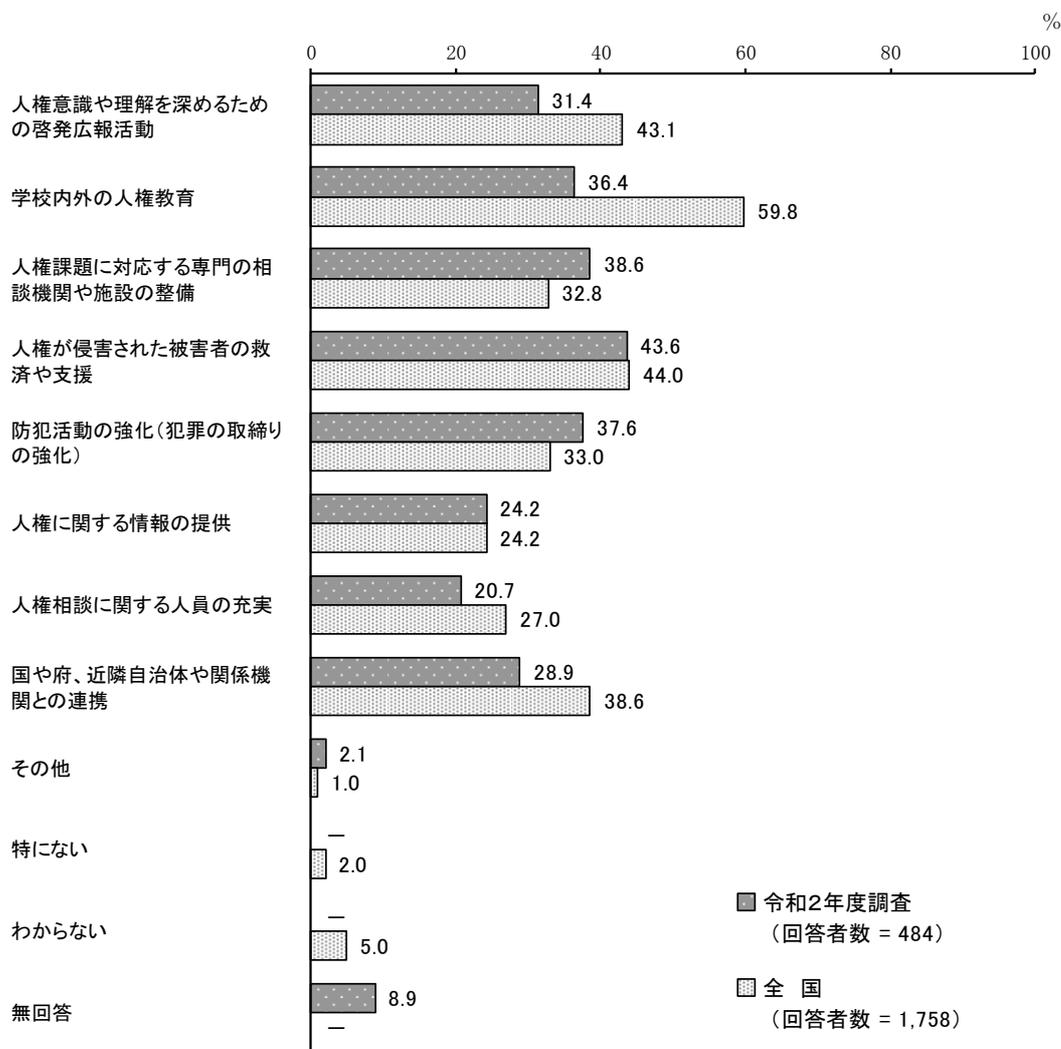
「人権が侵害された被害者の救済や支援」の割合が43.6%と最も高く、次いで「人権課題に対応する専門の相談機関や施設の整備」の割合が38.6%、「防犯活動の強化(犯罪の取締りの強化)」の割合が37.6%となっています。



問12 あなたは、市役所は人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「人権課題に対応する専門の相談機関や施設の整備」の割合が高くなっています。一方、「人権意識や理解を深めるための啓発広報活動」「学校内外の人権教育」「人権相談に関する人員の充実」「国や府、近隣自治体や関係機関との連携」の割合が低くなっています。

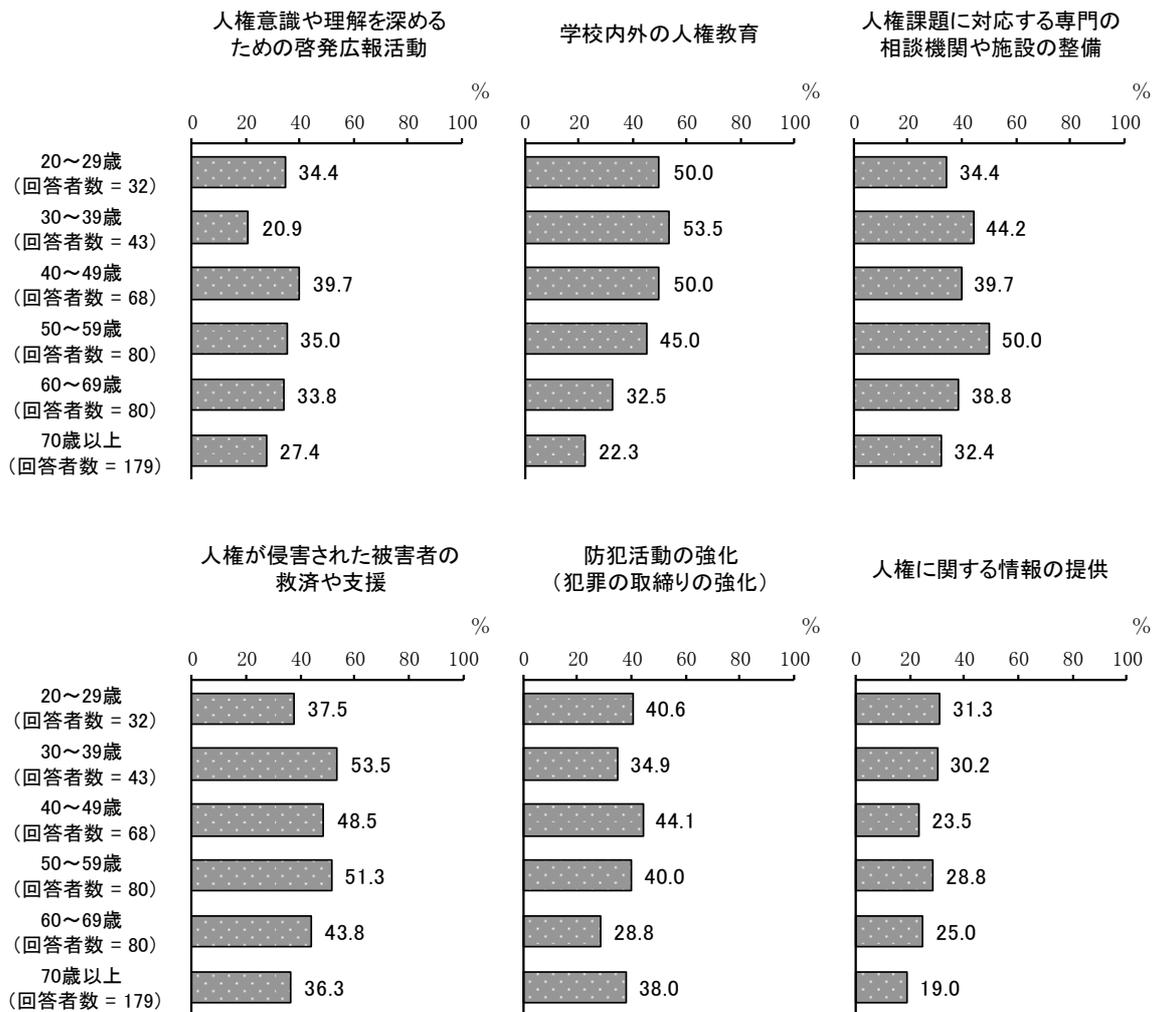


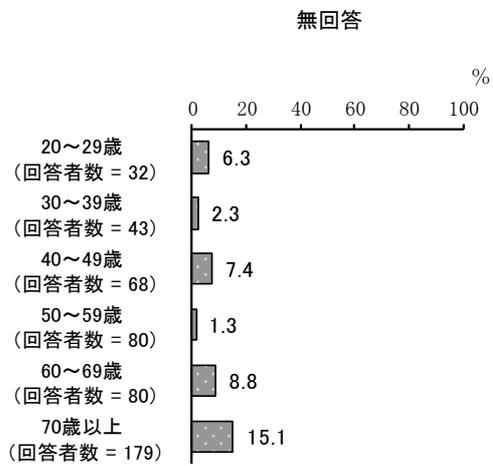
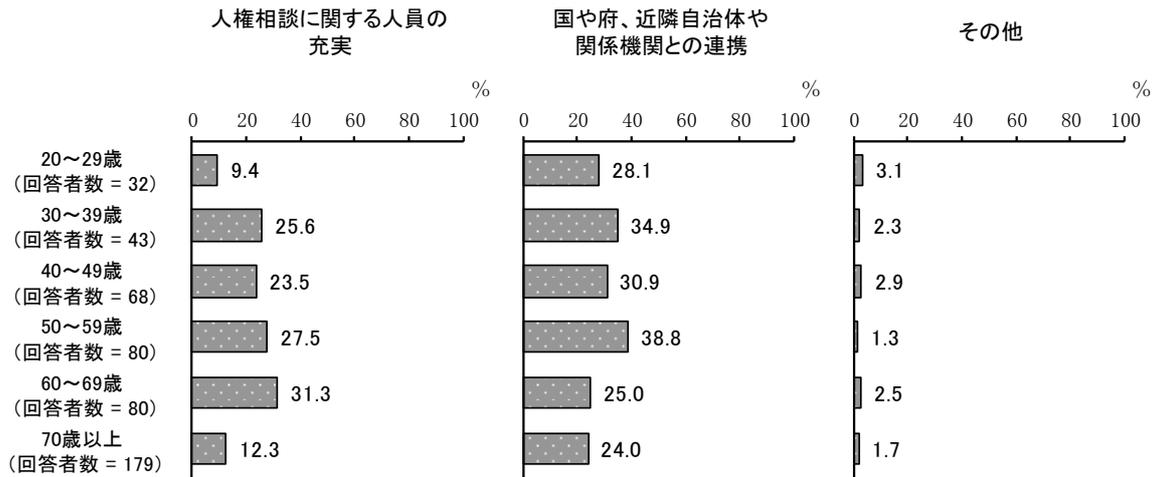
※令和2年度調査では、「特にない」「わからない」の選択肢はありません。
 ※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問12 あなたは、市役所は人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

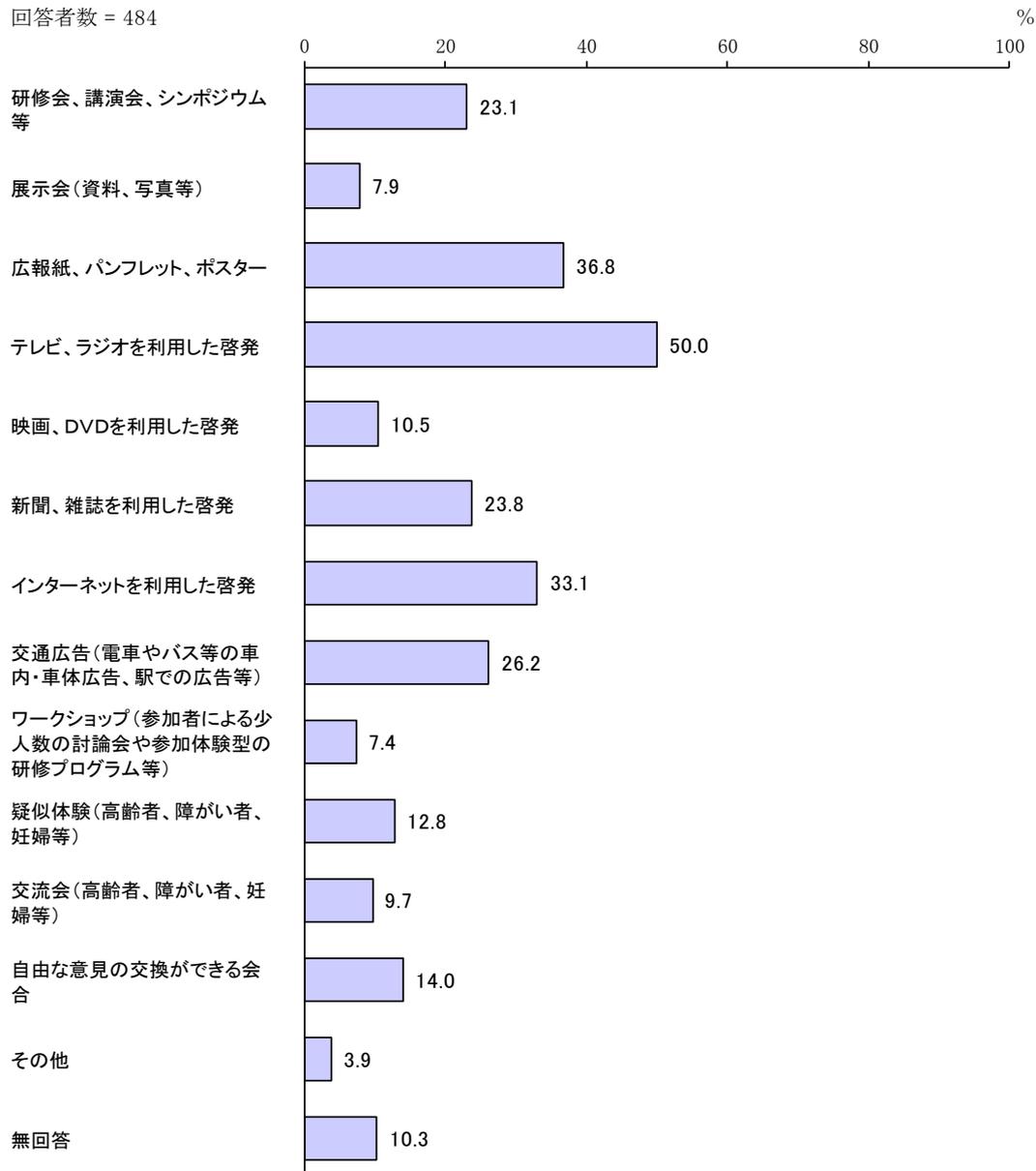
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳、40～49歳で「学校内外の人権教育」の割合が、30～39歳、50～59歳で「人権が侵害された被害者の救済や支援」の割合が高くなっています。また、50～59歳で「人権課題に対応する専門の相談機関や施設の整備」の割合が高くなっています。





問13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。(〇はいくつでも)

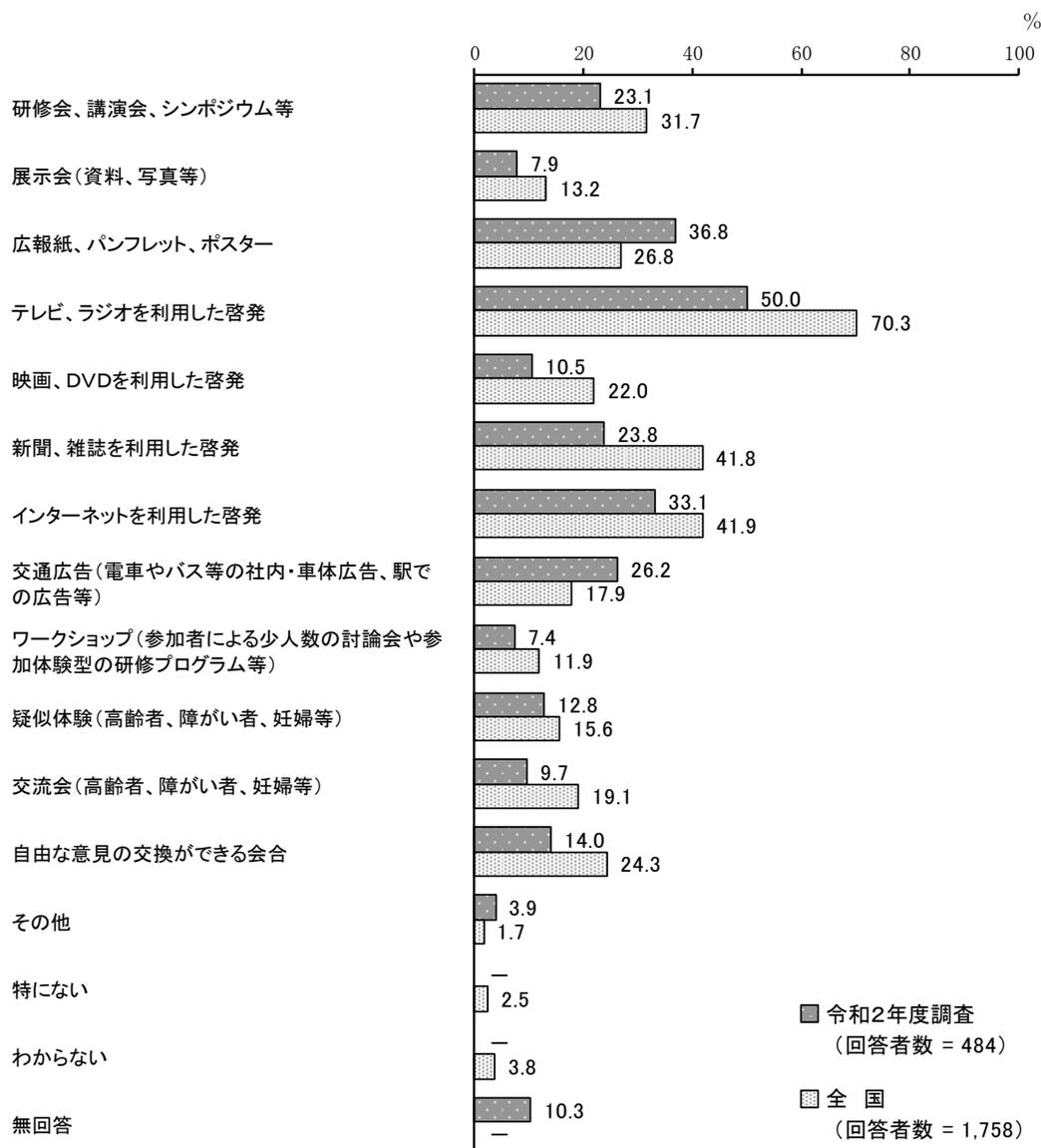
「テレビ、ラジオを利用した啓発」の割合が50.0%と最も高く、次いで「広報紙、パンフレット、ポスター」の割合が36.8%、「インターネットを利用した啓発」の割合が33.1%となっています。



問13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「広報紙、パンフレット、ポスター」「交通広告（電車やバス等の車内・車体広告、駅での広告等）」の割合が高くなっています。一方、「研修会、講演会、シンポジウム等」「展示会（資料、写真等）」「テレビ、ラジオを利用した啓発」「映画、DVDを利用した啓発」「新聞、雑誌を利用した啓発」「インターネットを利用した啓発」「交流会（高齢者、障がい者、妊婦等）」「自由な意見の交換ができる会合」の割合が低くなっています。

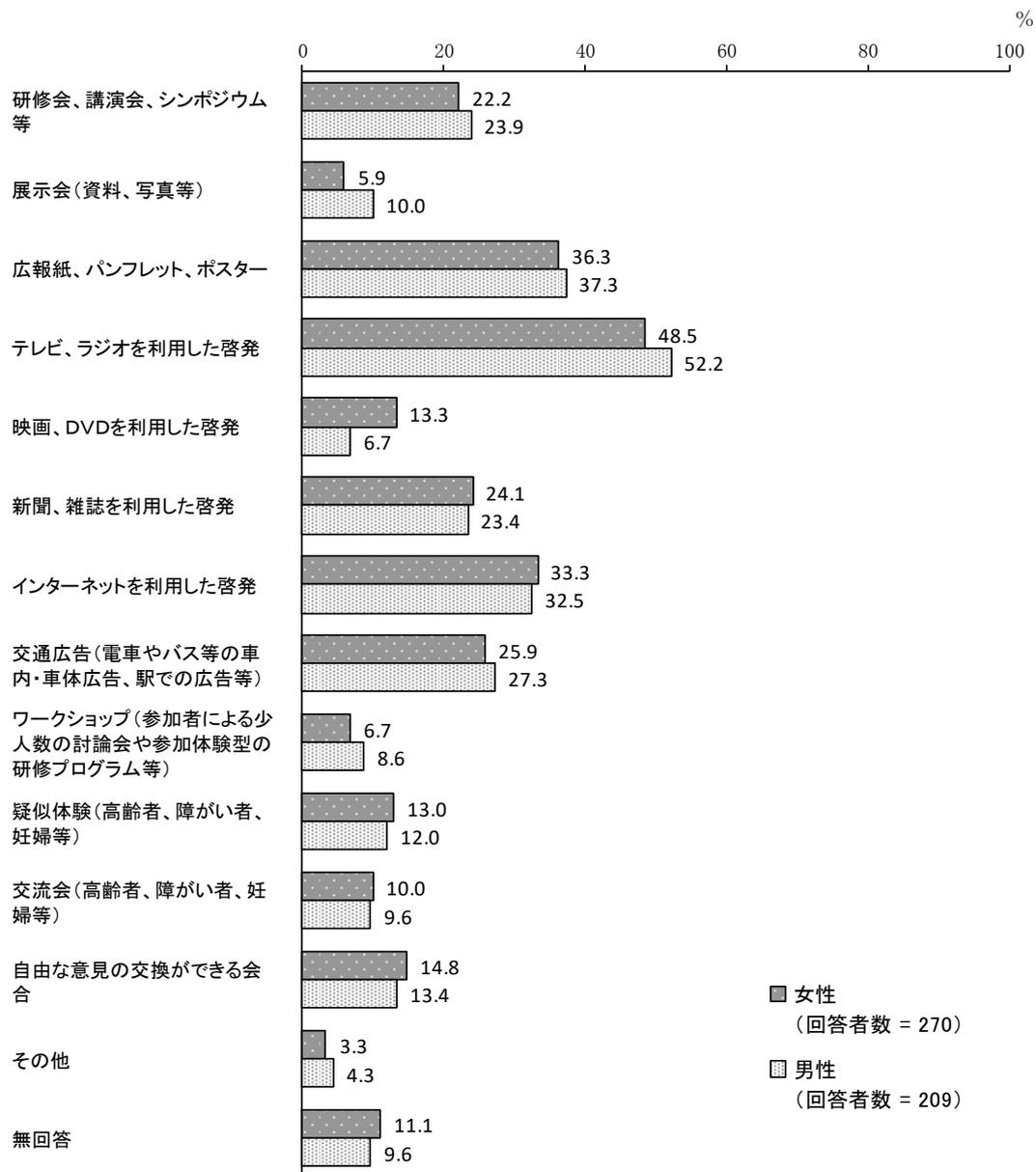


※令和2年度調査では、「特になし」「わからない」の選択肢はありません。
 ※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。(〇はいくつでも)

【性別】

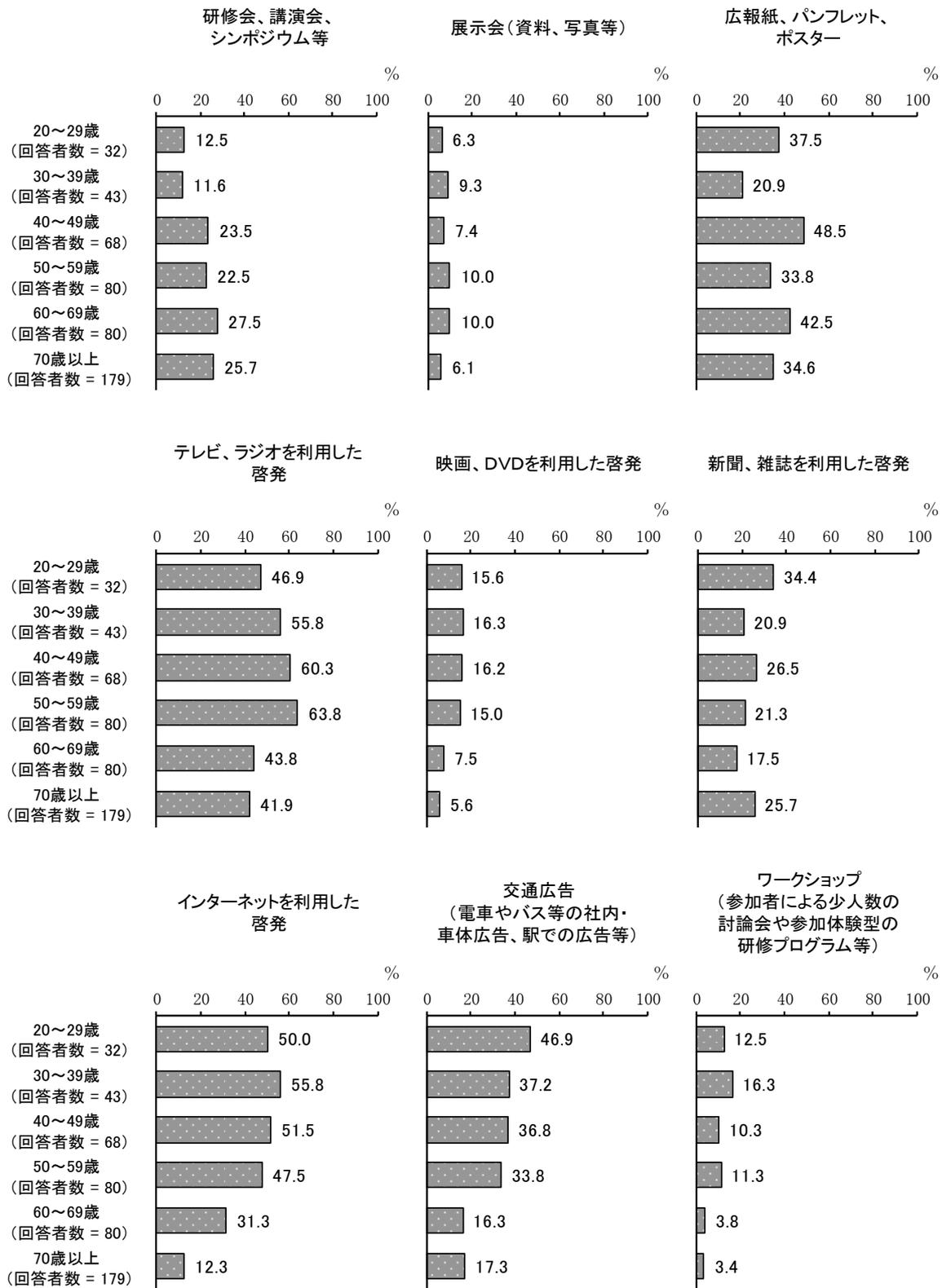
性別でみると、男性に比べ、女性で「映画、DVDを利用した啓発」の割合が高くなっています。

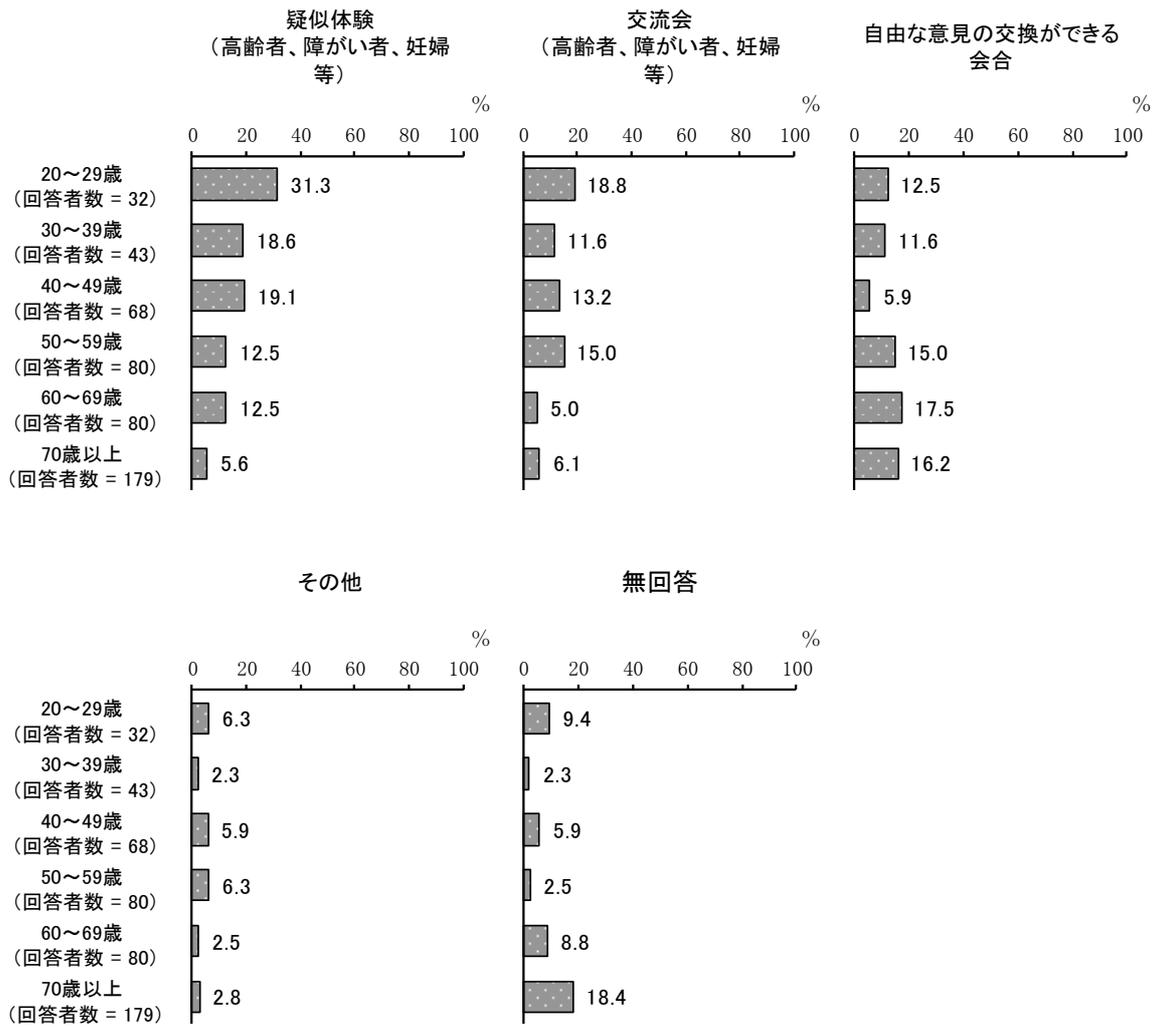


問13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「インターネットを利用した啓発」の割合が、40～49歳、50～59歳で「テレビ、ラジオを利用した啓発」の割合が高くなっています。



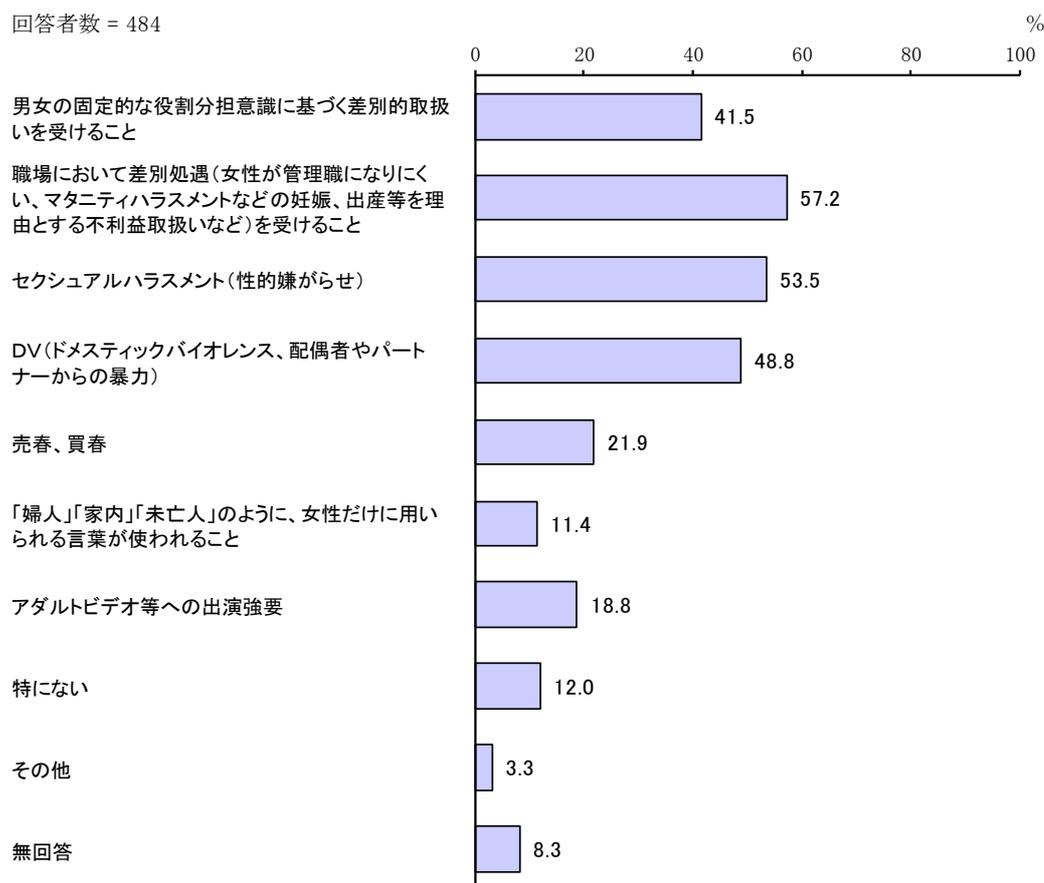


(2) 女性の人権について

問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「職場において差別処遇（女性が管理職になりにくい、マタニティハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱いなど）を受けること」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」の割合が 53.5%、「DV（ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力）」の割合が 48.8%となっています。

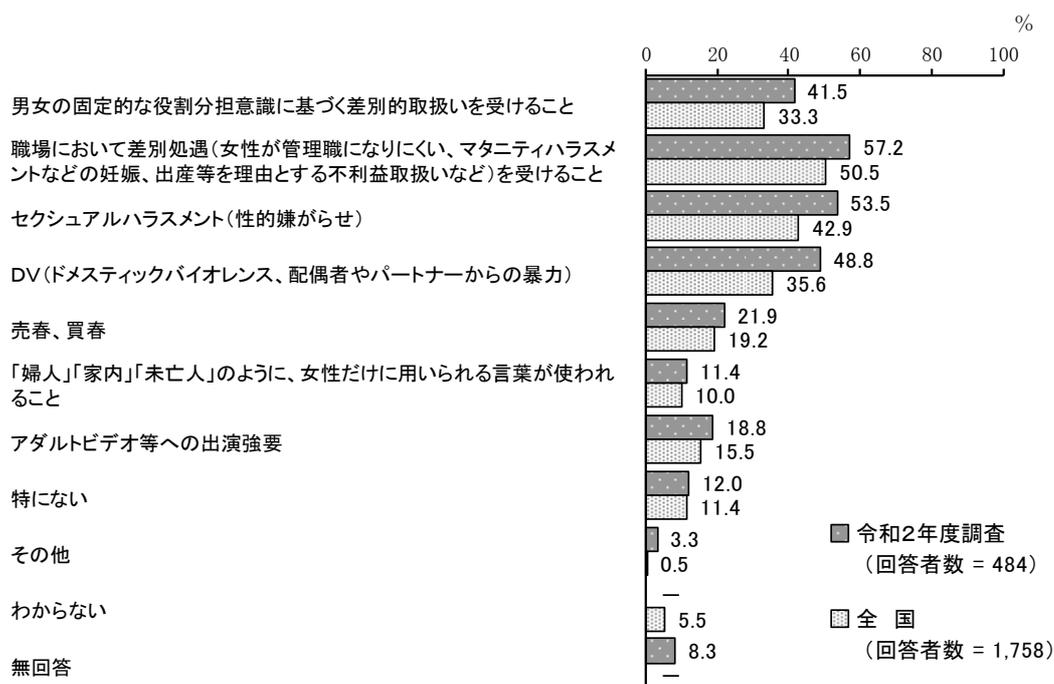
回答者数 = 484



問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」「職場において差別処遇（女性が管理職になりにくい、マタニティハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱いなど）を受けること」「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」「DV（ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力）」の割合が高くなっています。



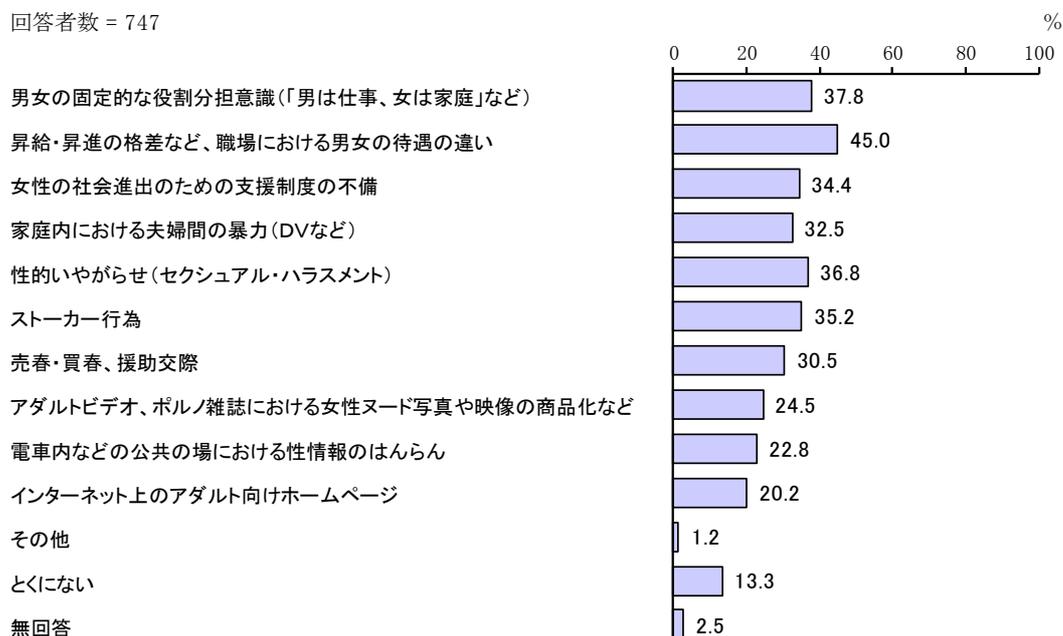
※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【参考 平成18年度調査】

平成18年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

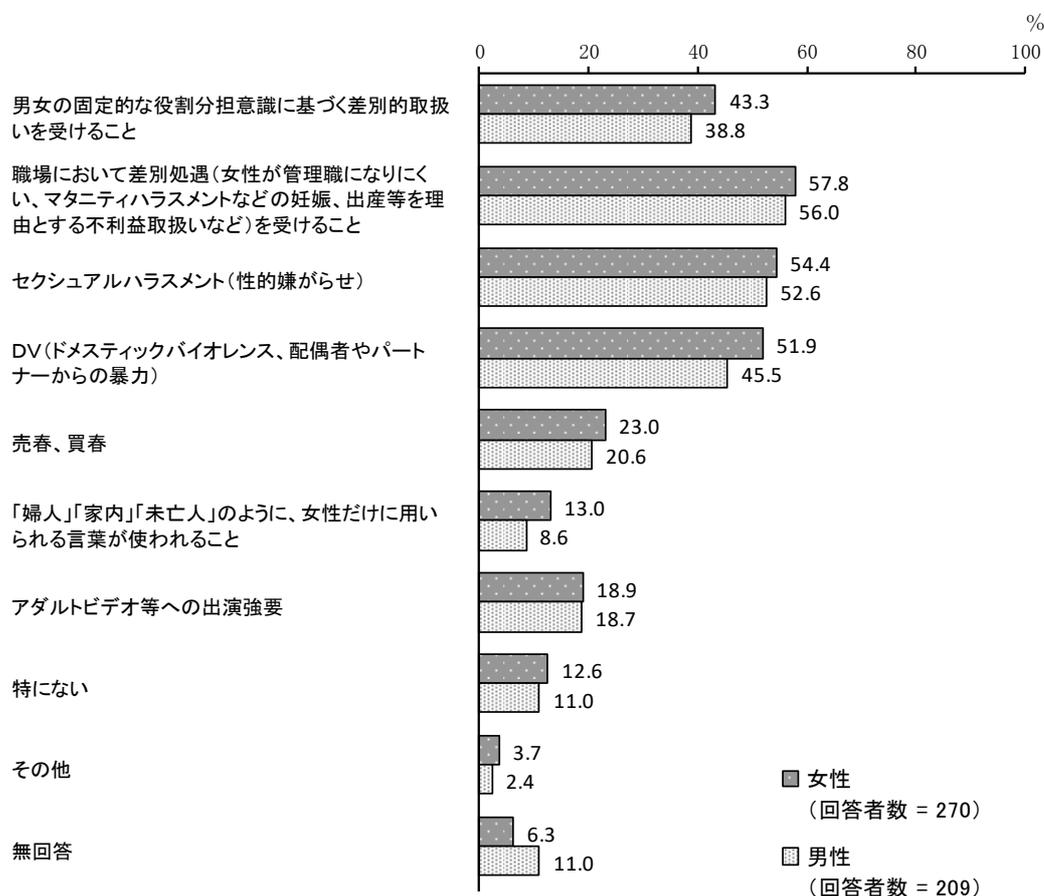
回答者数 = 747



問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

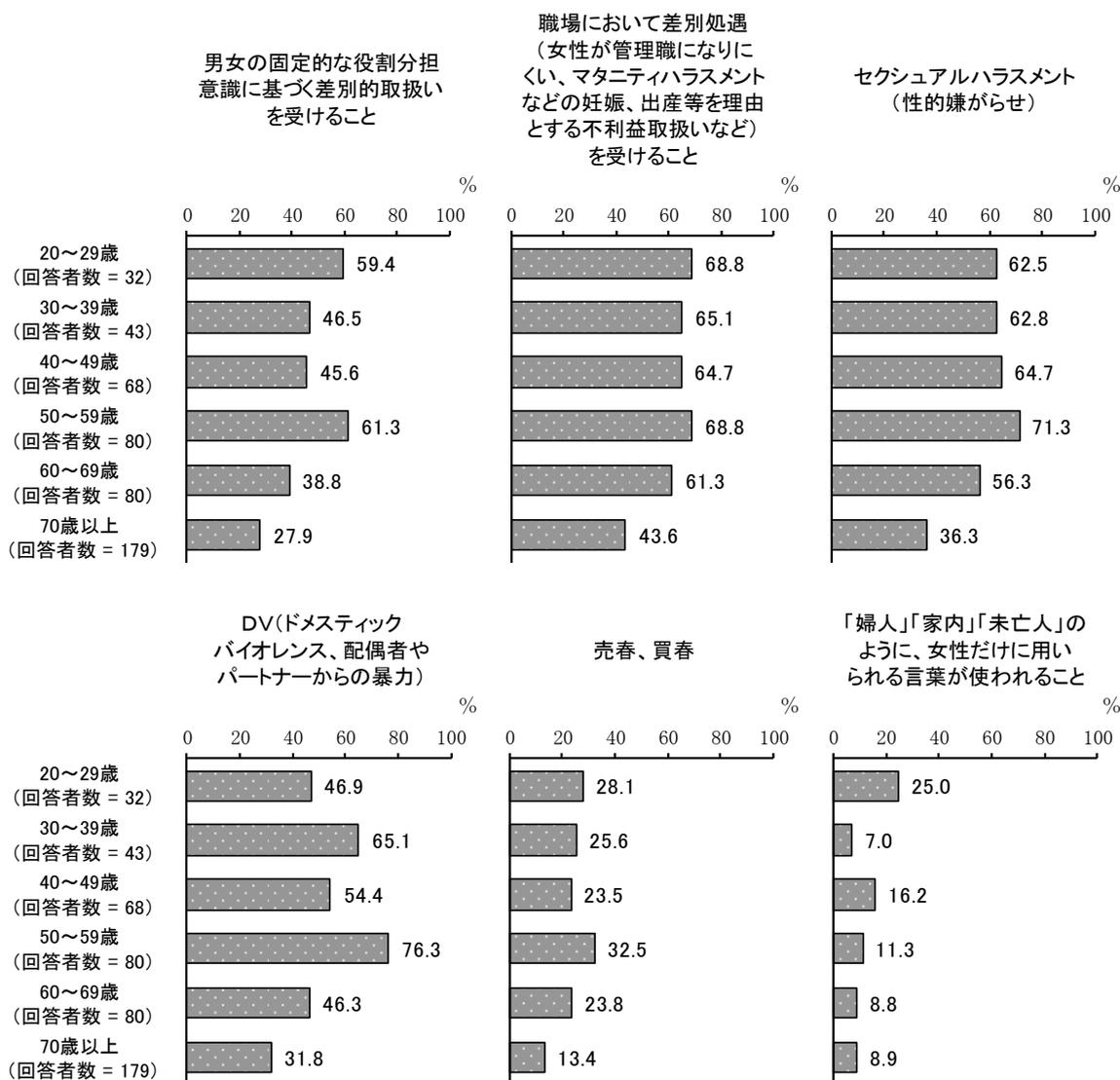
性別でみると、男性に比べ、女性で「DV（ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力）」の割合が高くなっています。

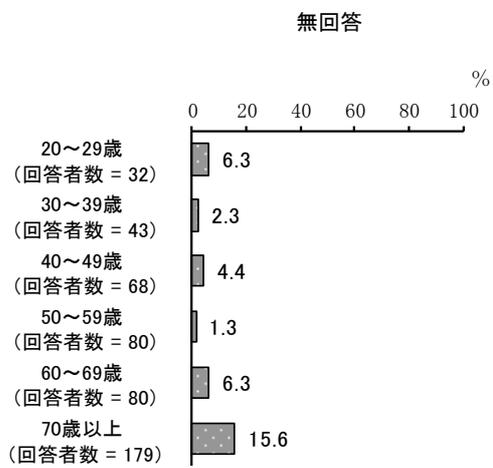
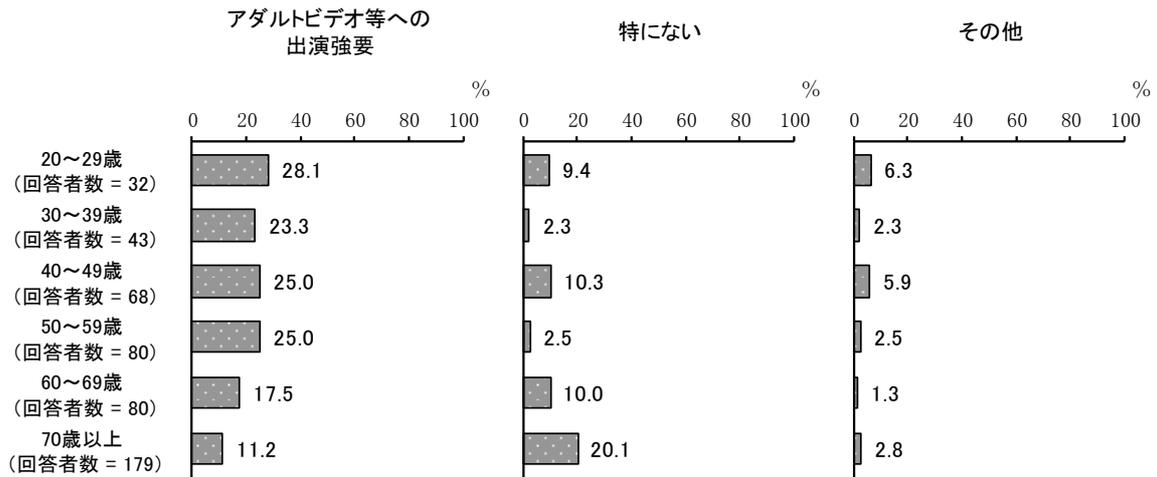


問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「セクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）」「DV（ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力）」の割合が高くなっています。また、20～29歳、50～59歳で「男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」「職場において差別処遇（女性が管理職になりにくい、マタニティハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱いなど）を受けること」の割合が高くなっています。

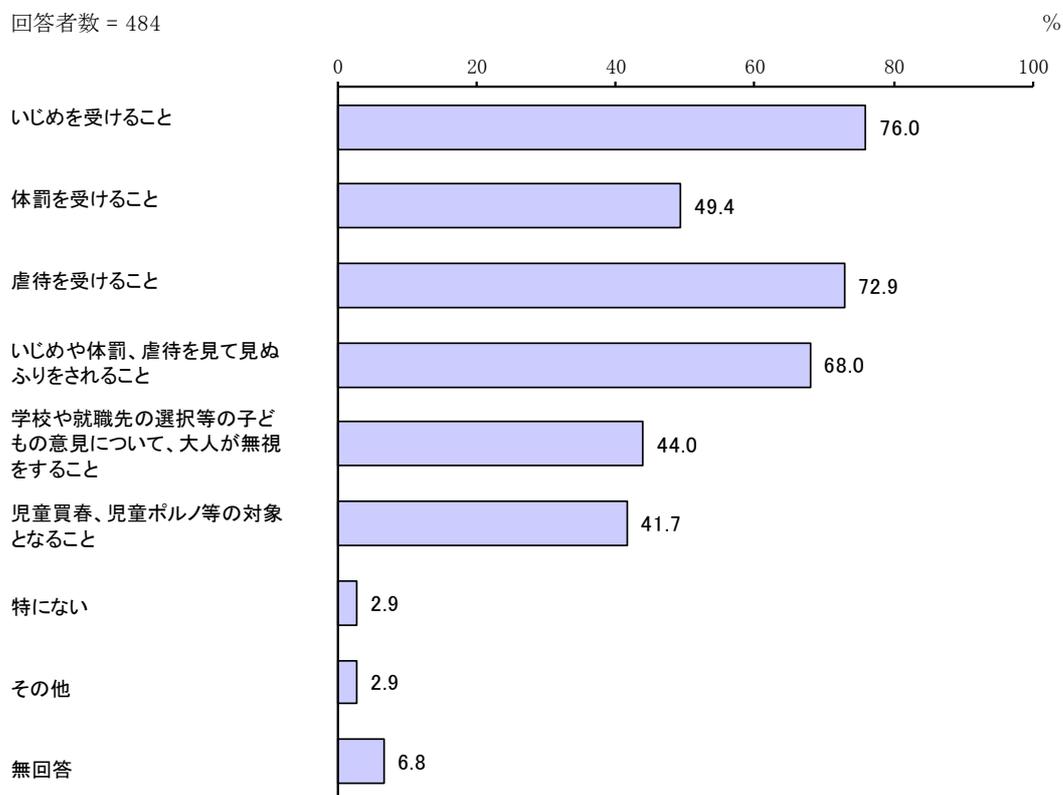




(3) 子どもの人権について

問 15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

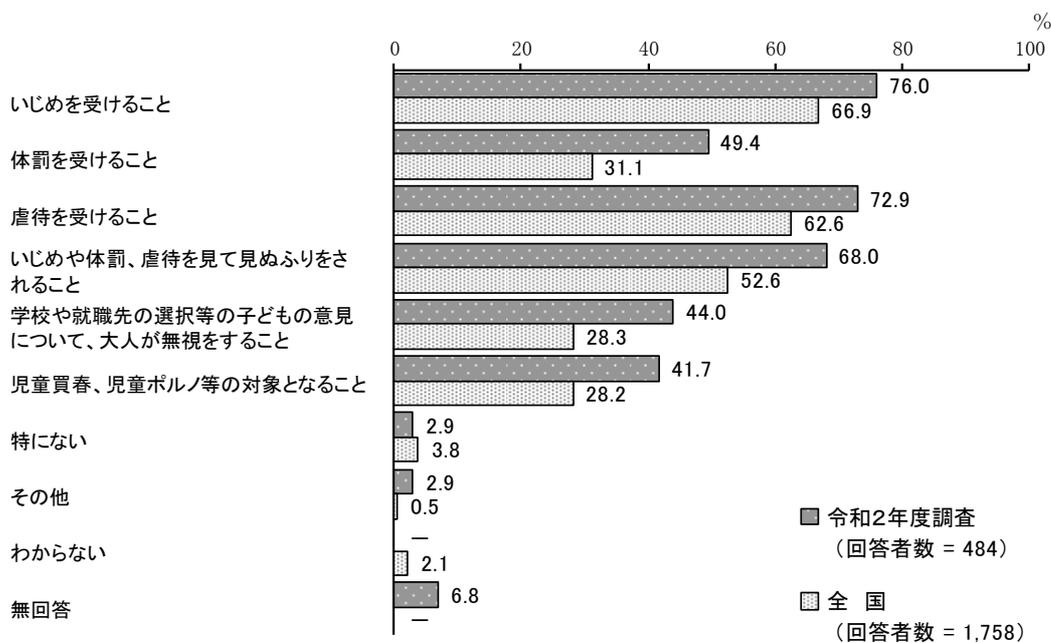
「いじめを受けること」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「虐待を受けること」の割合が 72.9%、「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをされること」の割合が 68.0%となっています。



問 15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「いじめを受けること」「体罰を受けること」「虐待を受けること」「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをされること」「学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人が無視をすること」「児童買春、児童ポルノ等の対象となること」の割合が高くなっています。



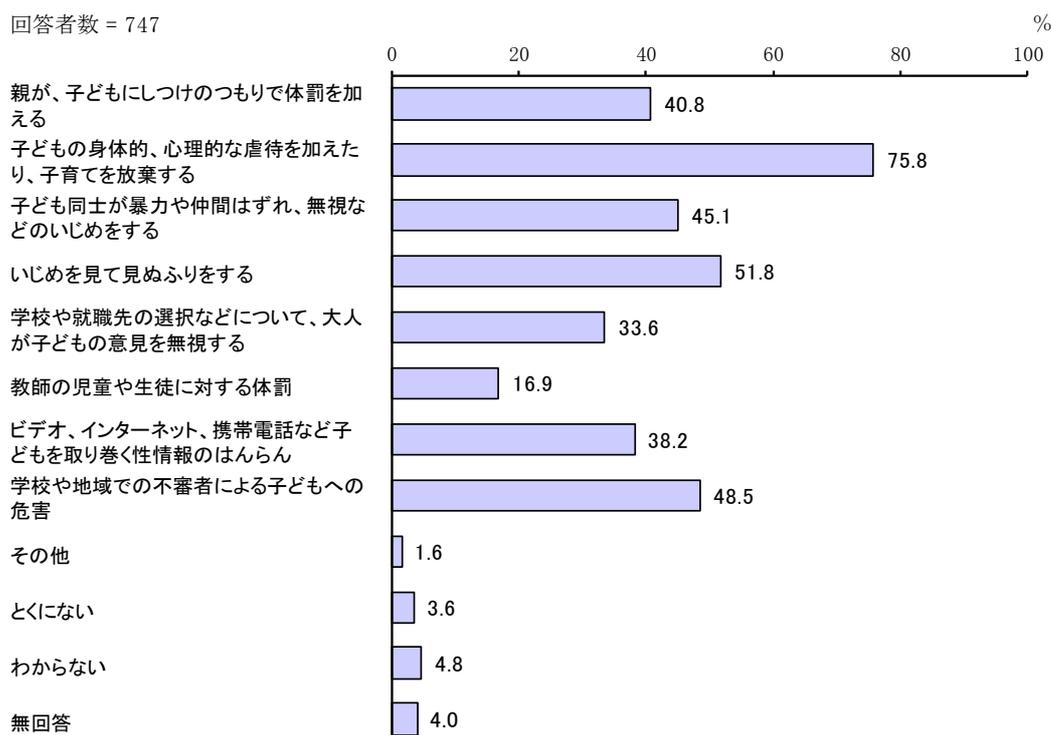
※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【参考 平成 18 年度調査】

平成 18 年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

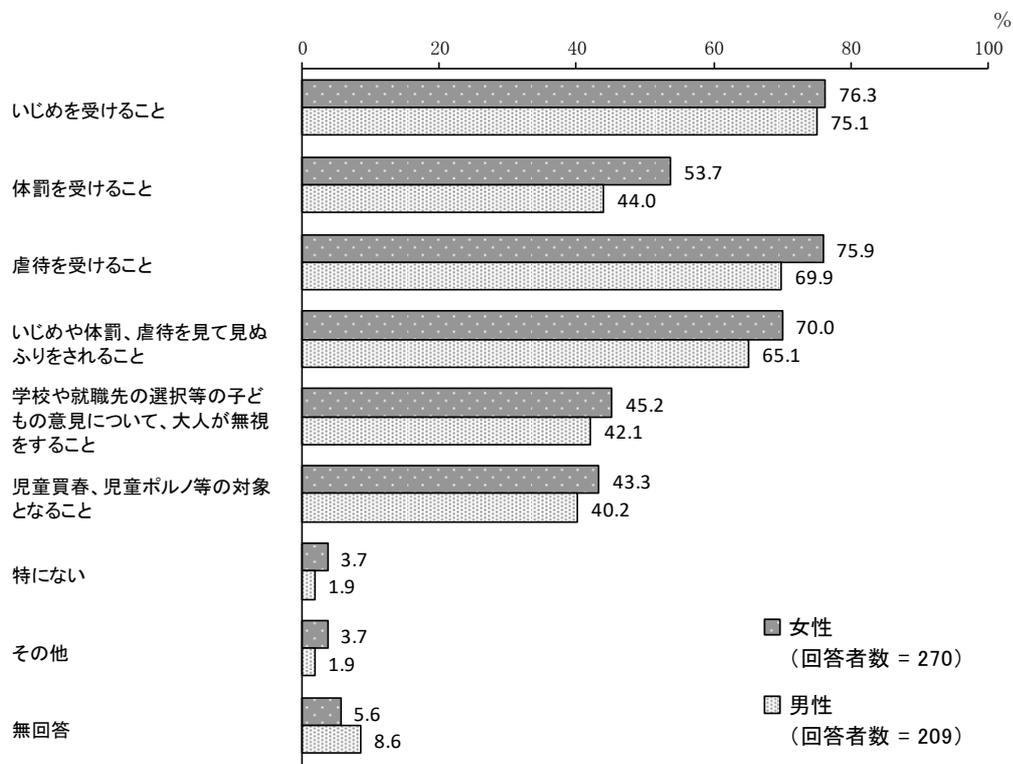
回答者数 = 747



問15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

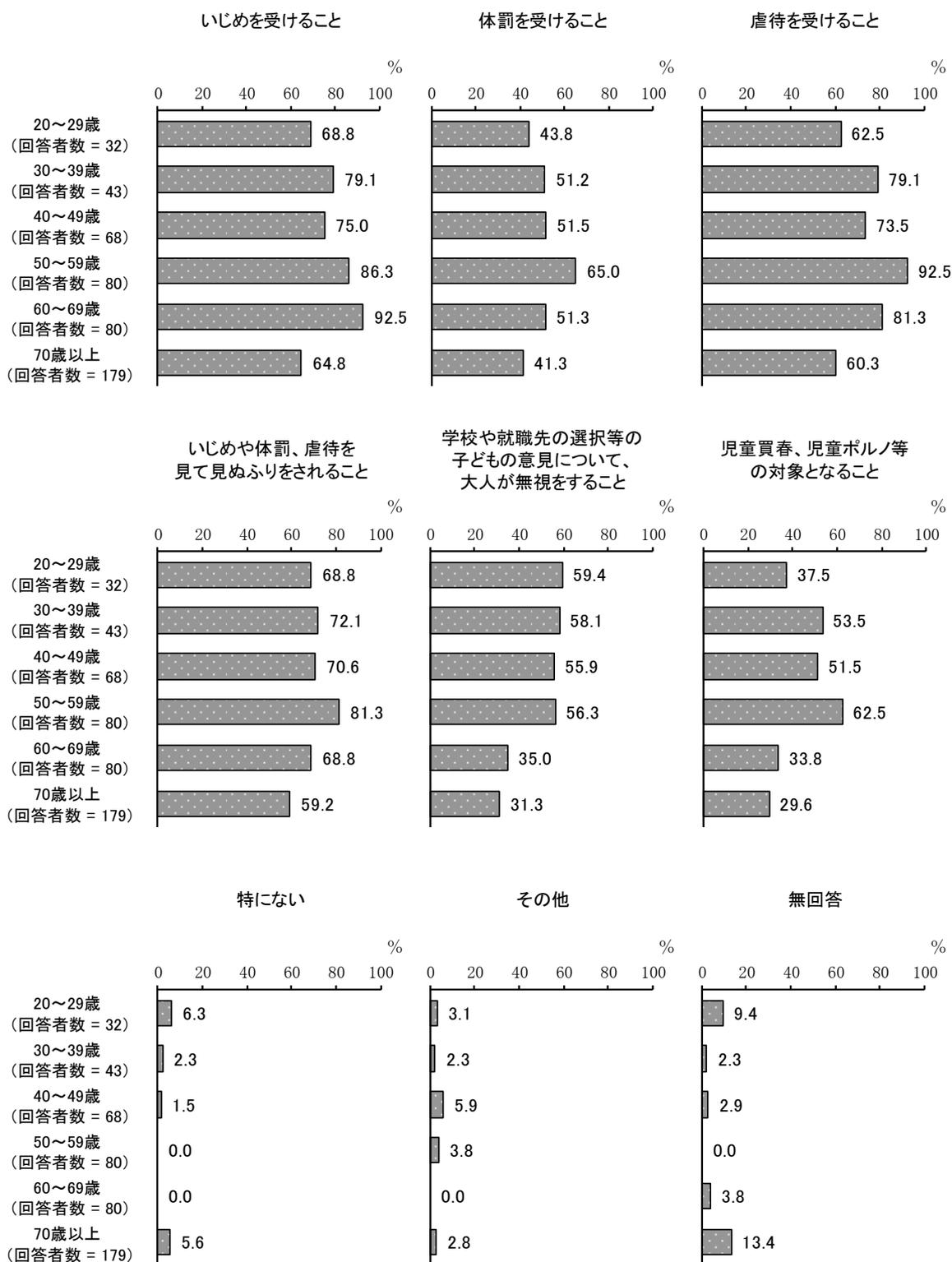
性別で見ると、男性に比べ、女性で「体罰を受けること」「虐待を受けること」の割合が高くなっています。



問 15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「虐待を受けること」の割合が、60～69歳で「いじめを受けること」の割合が高くなっています。

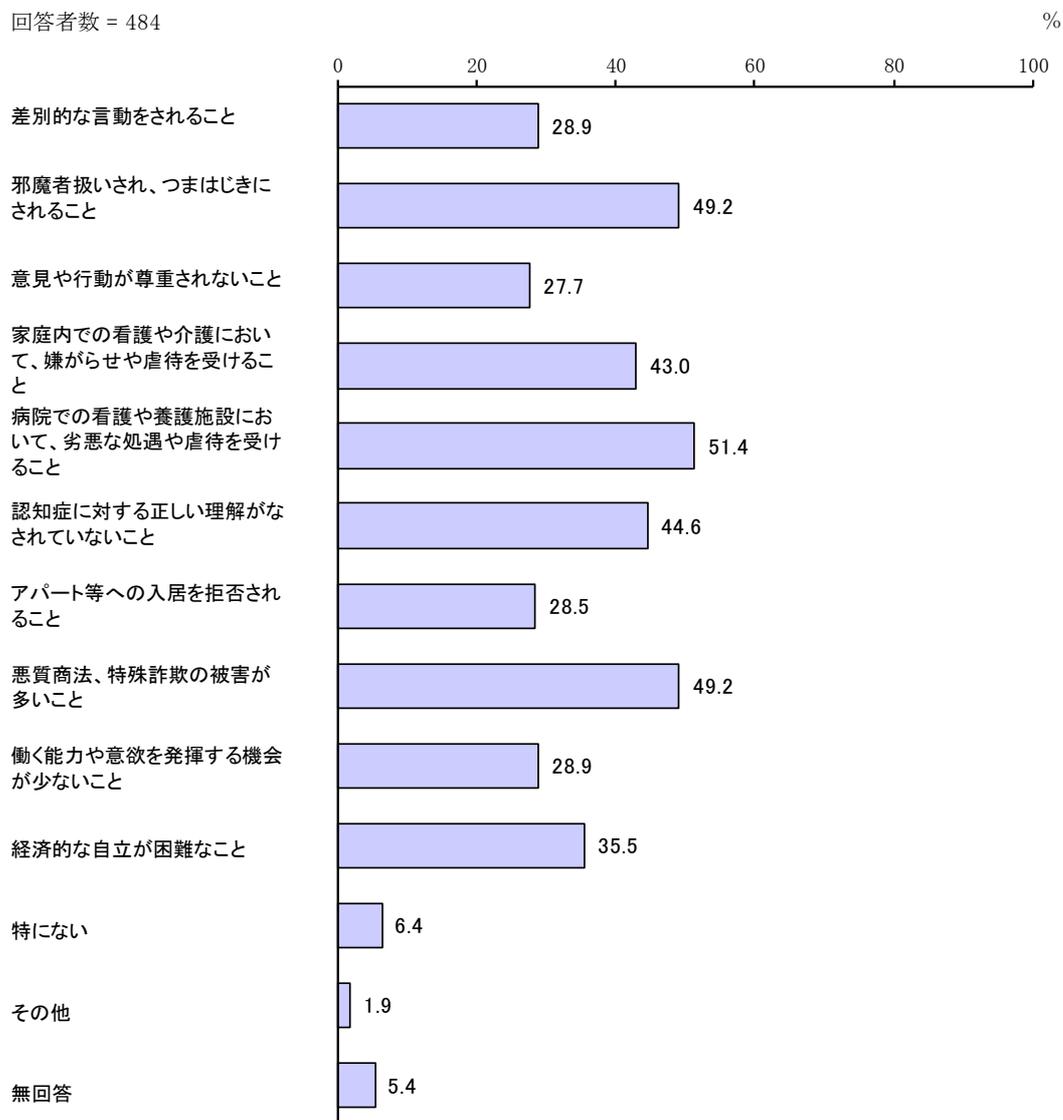


(4) 高齢者の人権について

問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」の割合が51.4%と最も高く、次いで「邪魔者扱いされ、つまはじきにされること」、「悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと」の割合が49.2%となっています。

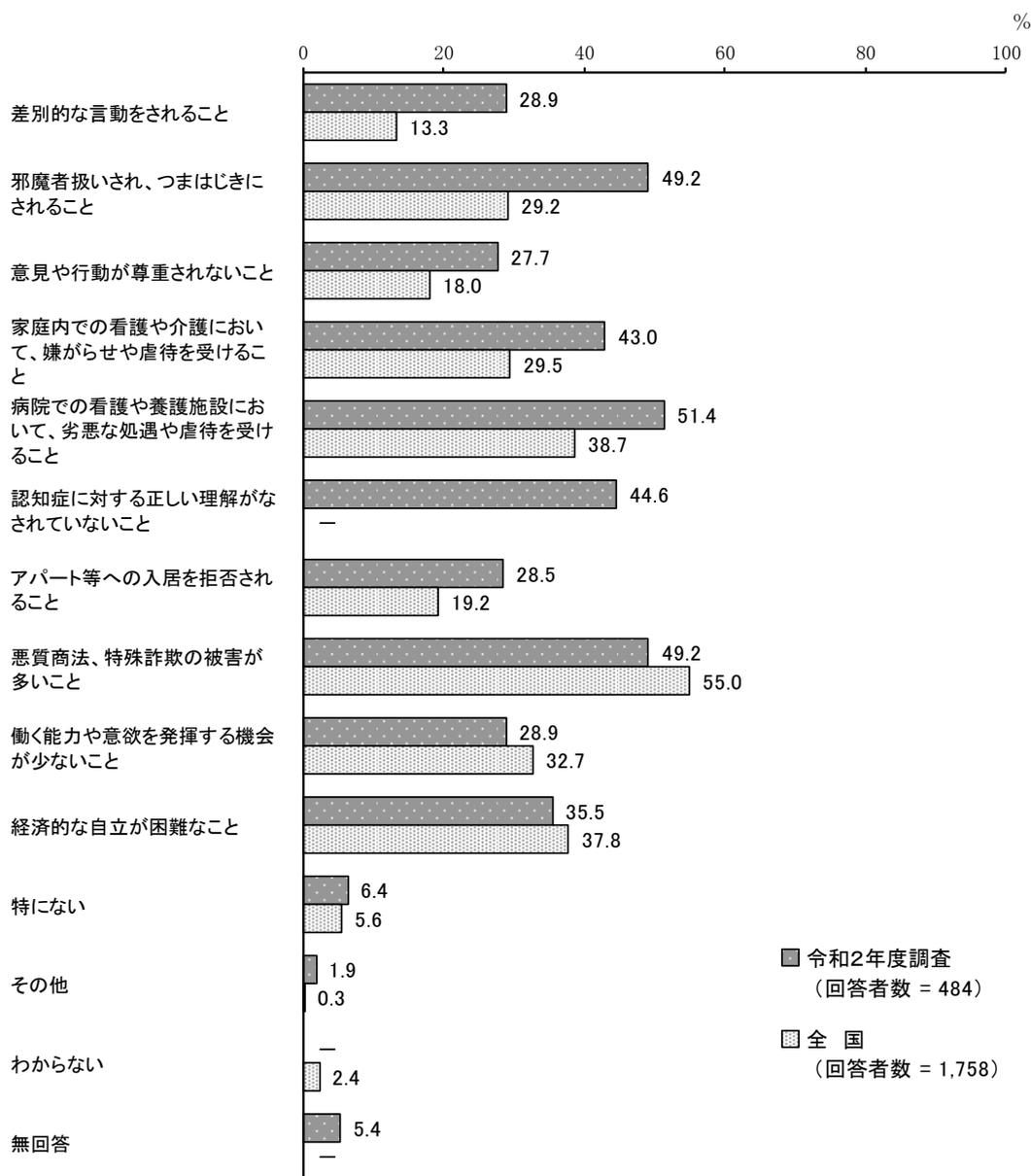
回答者数 = 484



問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「差別的な言動をされること」「邪魔者扱いされ、つまはじきにされること」「意見や行動が尊重されないこと」「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」「病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」「アパート等への入居を拒否されること」の割合が高くなっています。一方、「悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと」の割合が低くなっています。



※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「認知症に対する正しい理解がなされていないこと」の選択肢はありません。

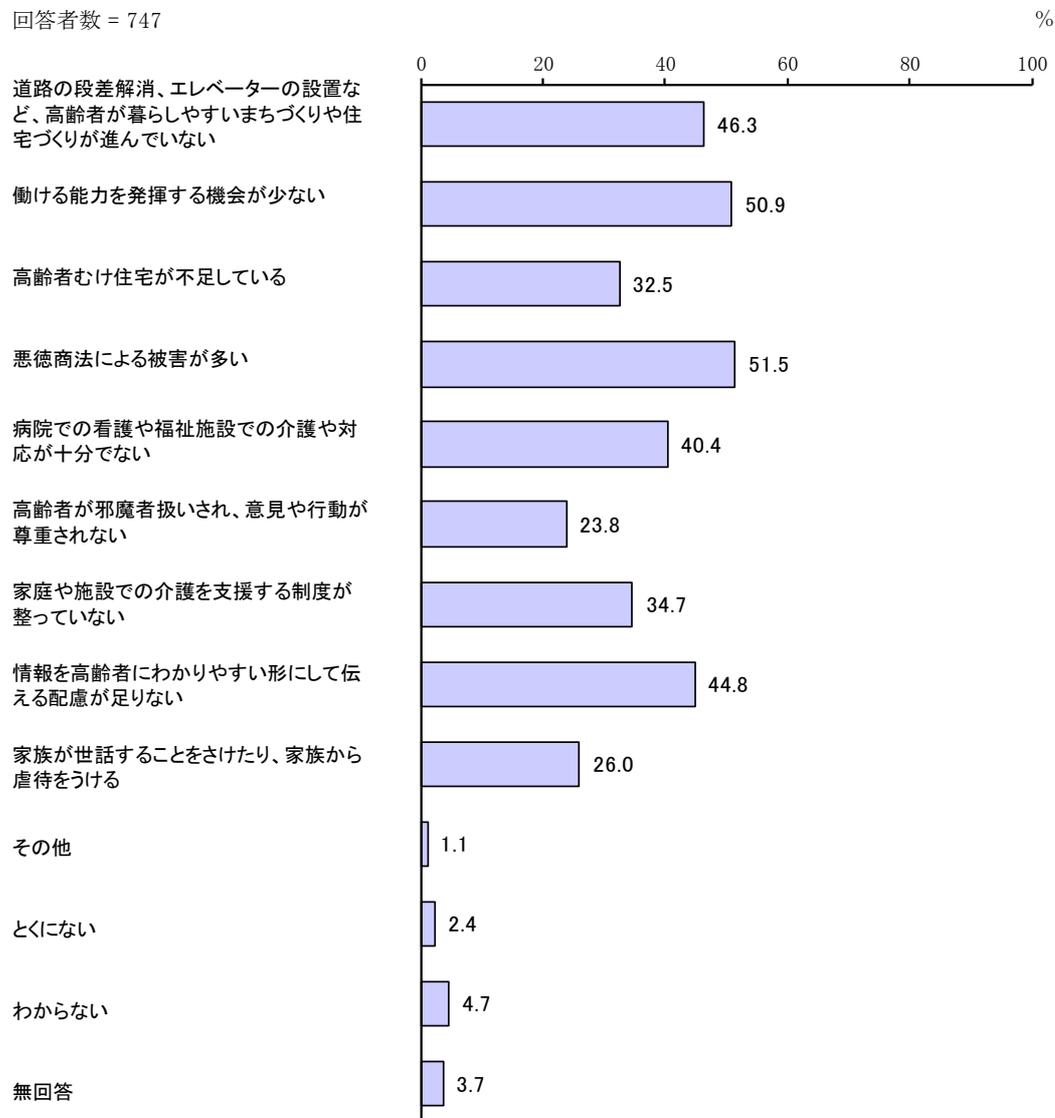
また、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【参考 平成 18 年度調査】

平成 18 年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

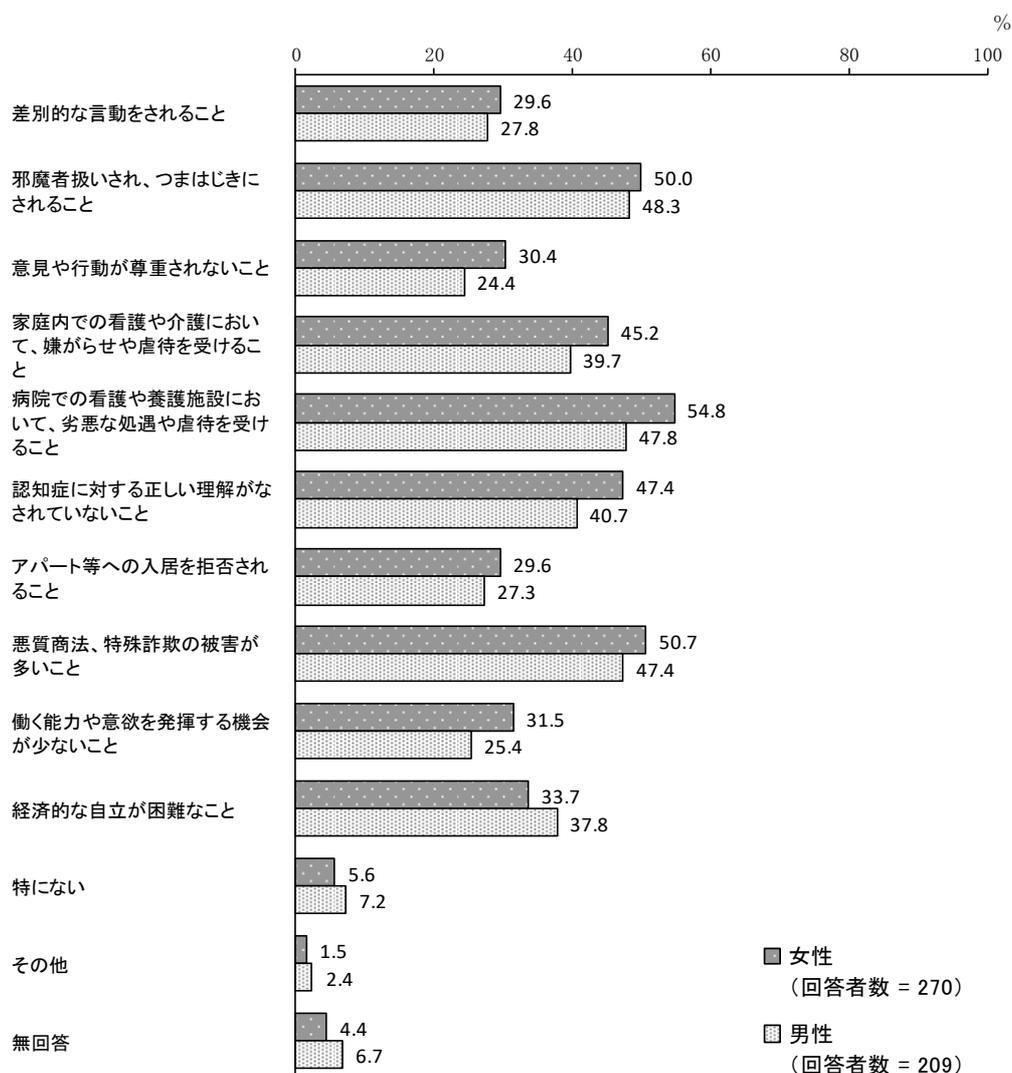
回答者数 = 747



問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

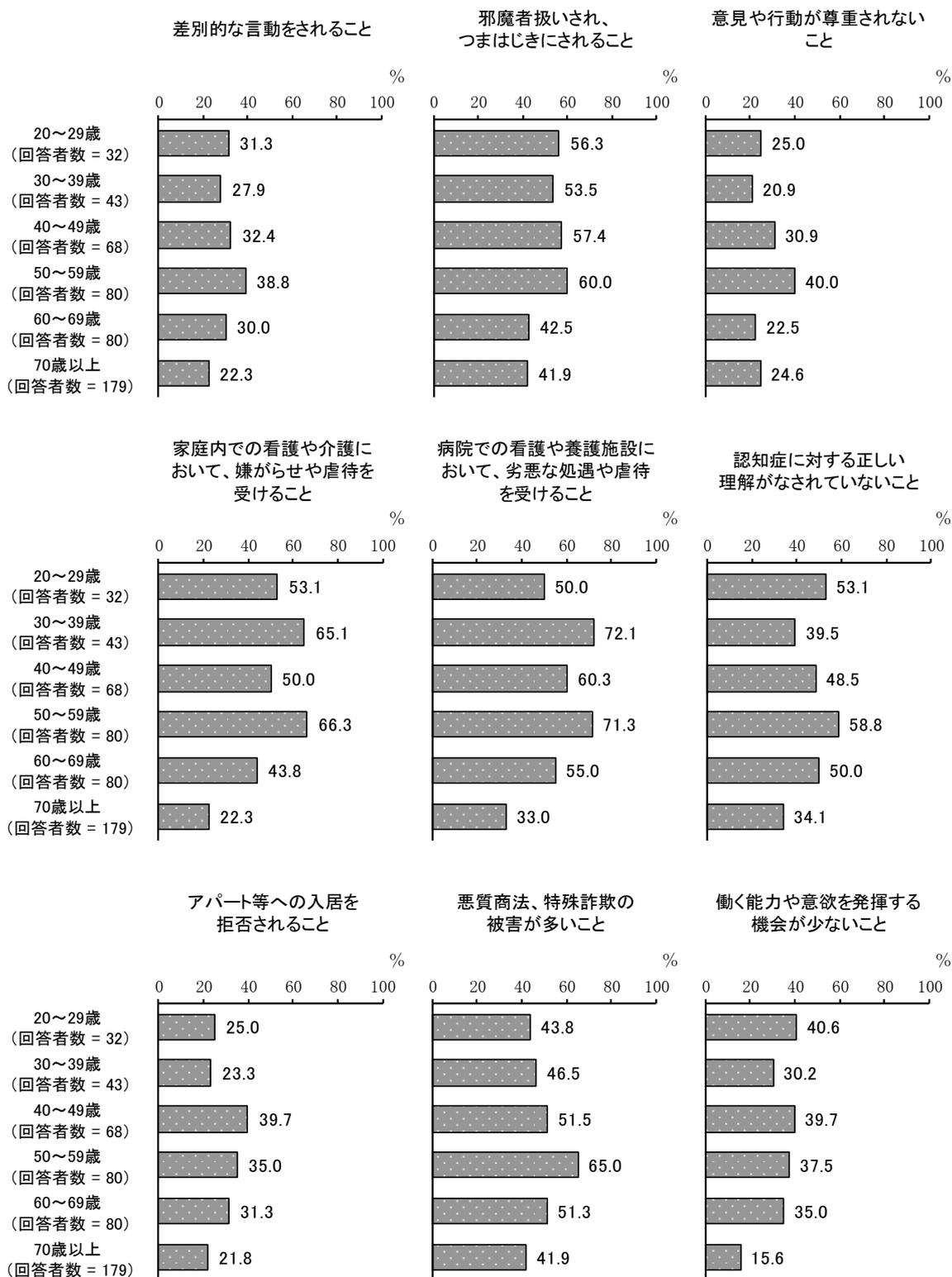
性別でみると、男性に比べ、女性で「意見や行動が尊重されないこと」「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」「病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」「認知症に対する正しい理解がなされていないこと」「働く能力や意欲を発揮する機会が少ないこと」の割合が高くなっています。

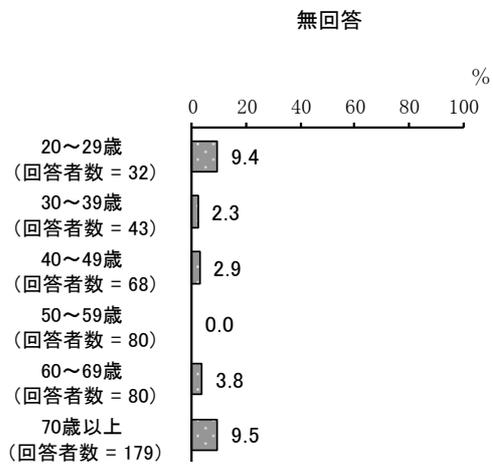
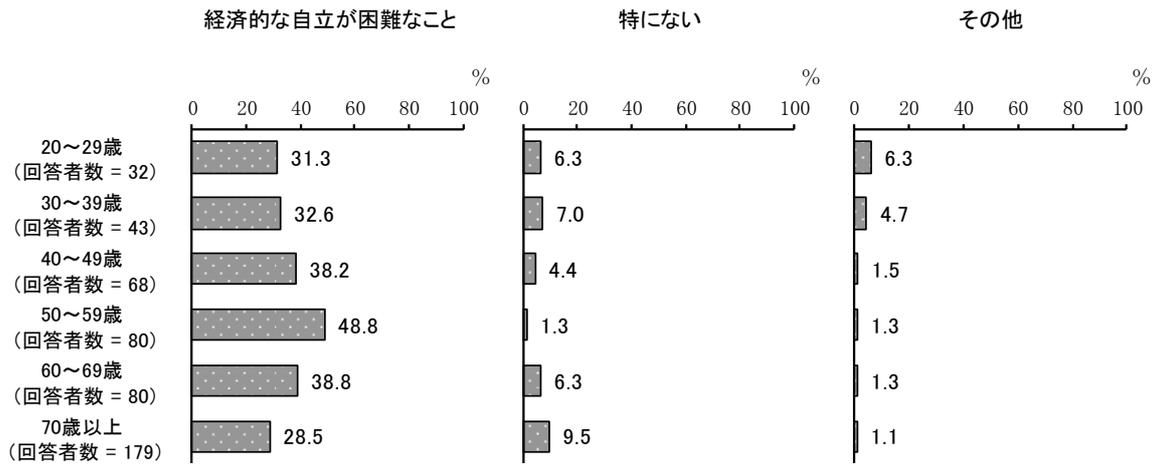


問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳、50～59歳で「病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」の割合が高くなっています。



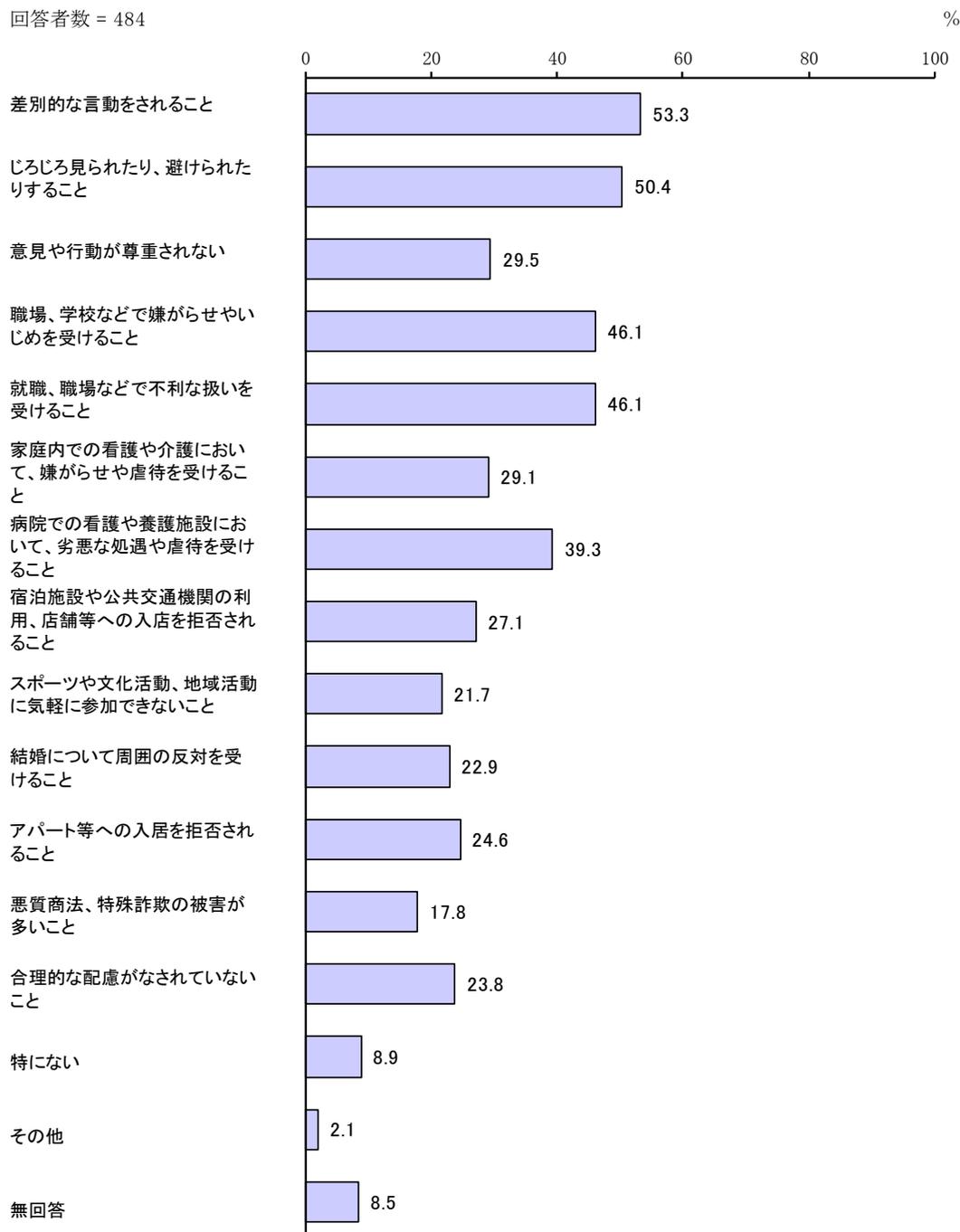


(5) 障がい者の人権について

問17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「差別的な言動をされること」の割合が53.3%と最も高く、次いで「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の割合が50.4%、「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」、「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が46.1%となっています。

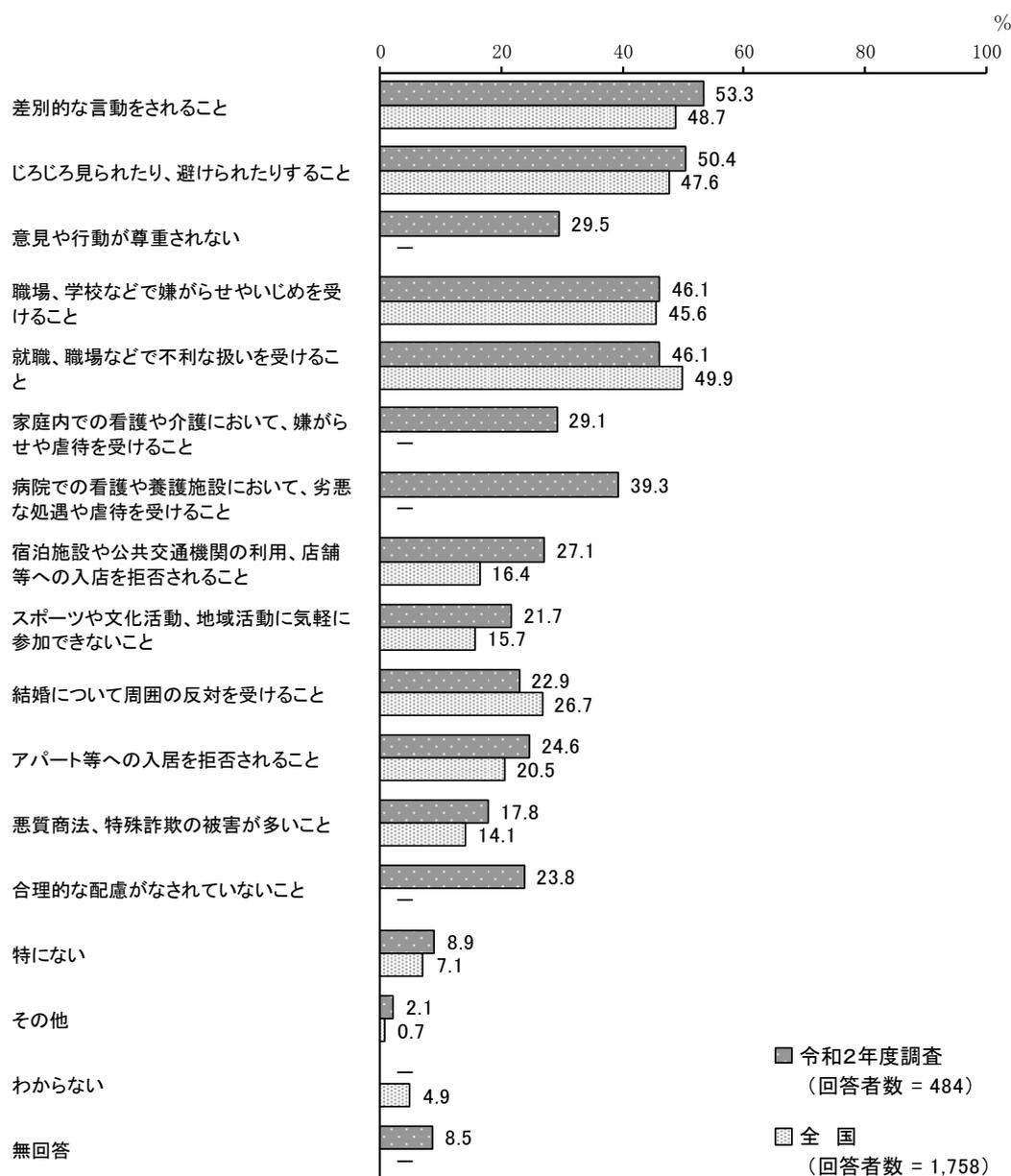
回答者数 = 484



問17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」「スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと」の割合が高くなっています。



※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「意見や行動が尊重されない」「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」「病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること」「合理的な配慮がなされていないこと」の選択肢はありません。

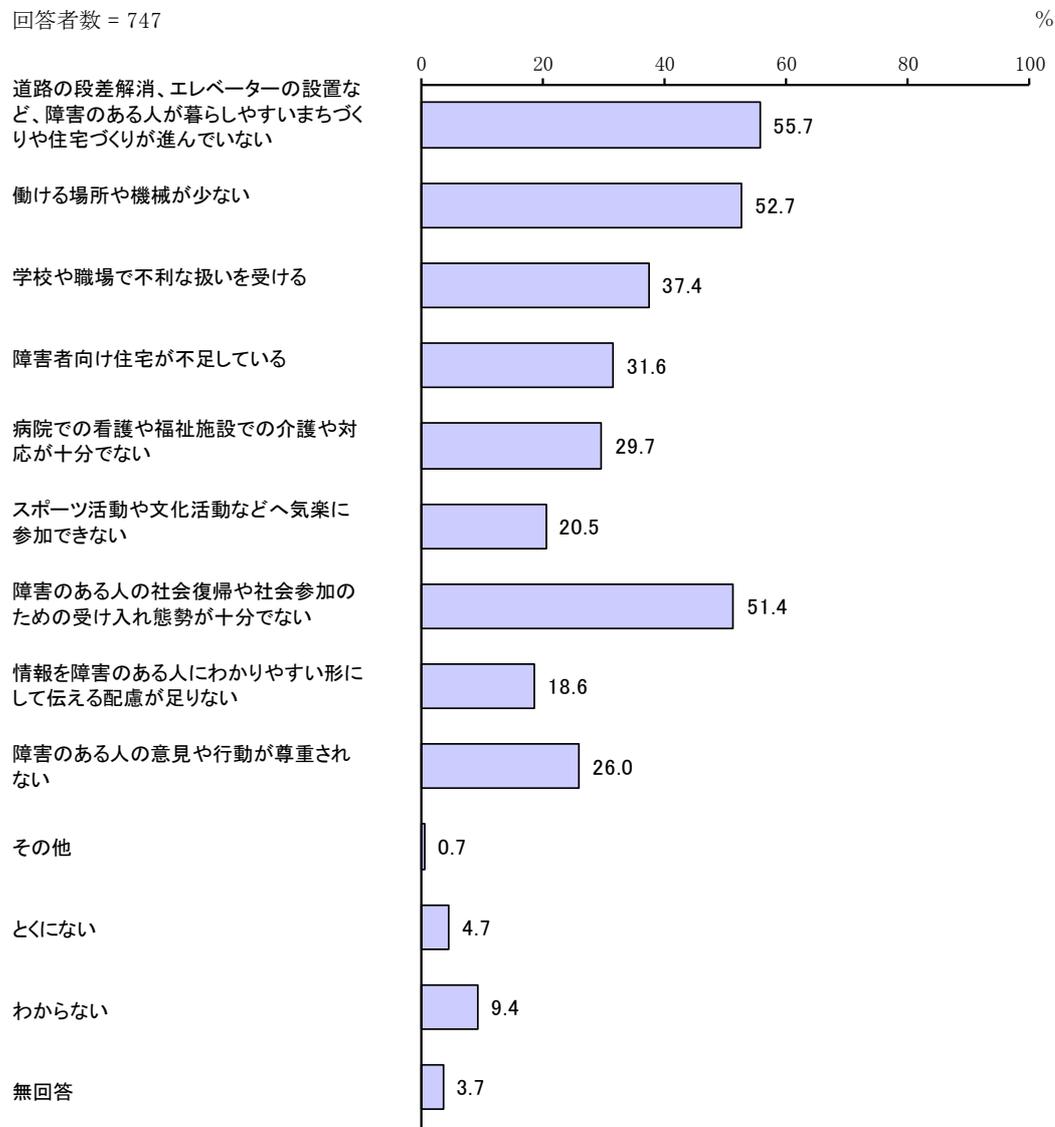
また、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【参考 平成 18 年度調査】

平成 18 年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

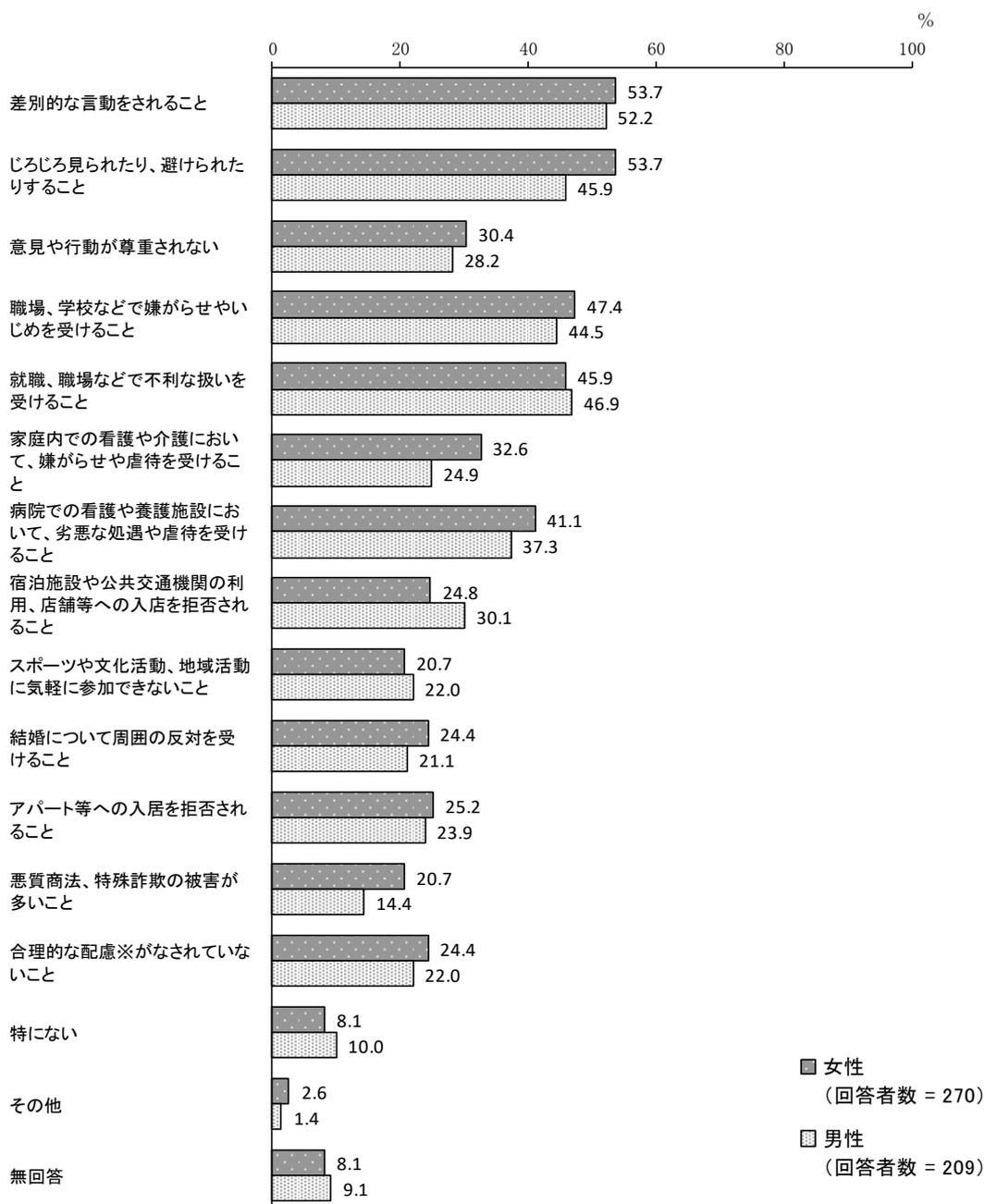
回答者数 = 747



問 17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

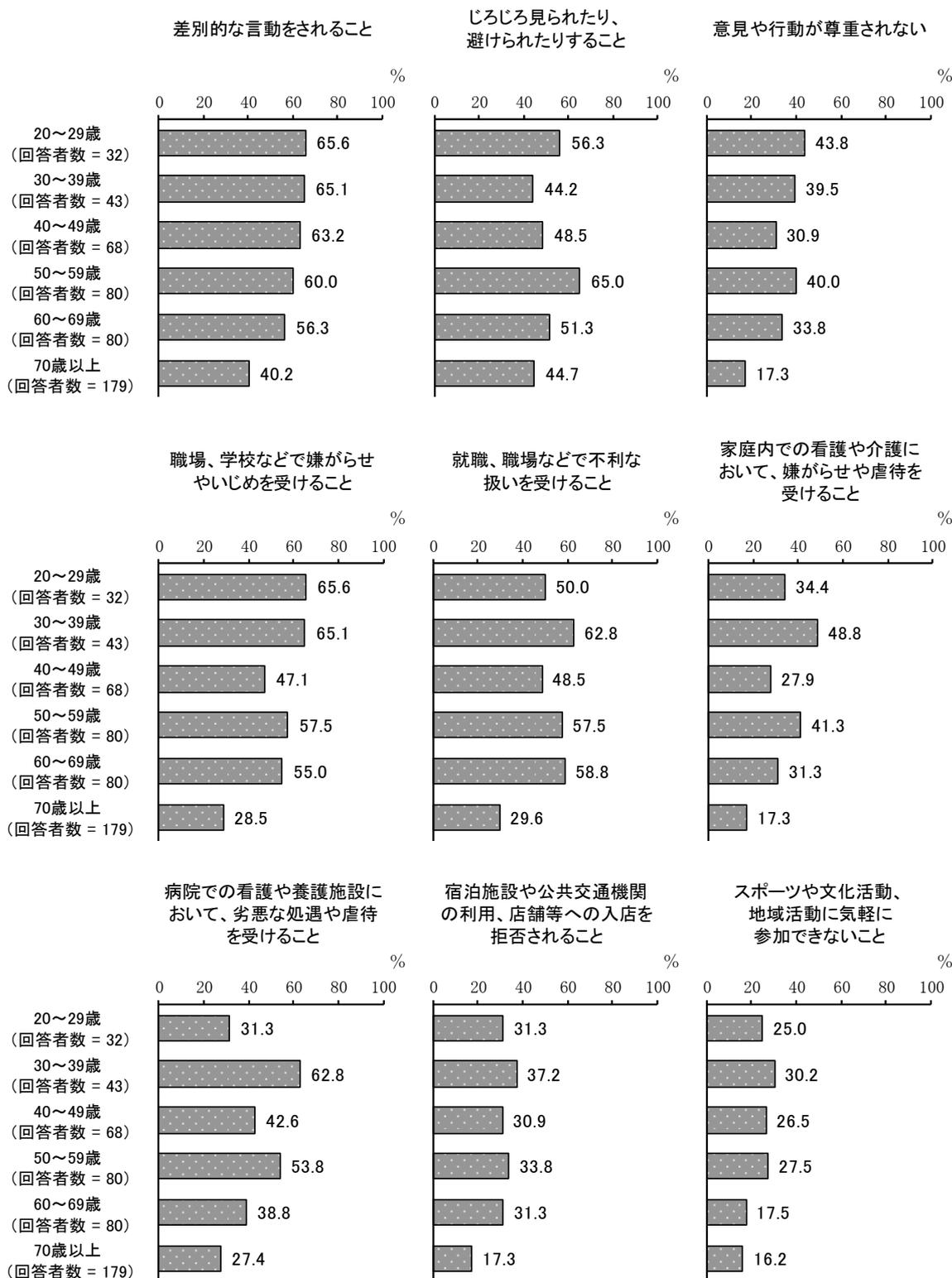
性別でみると、男性に比べ、女性で「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること」「悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」の割合が高くなっています。



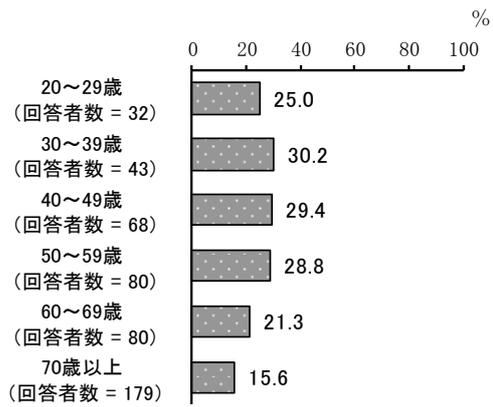
問17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

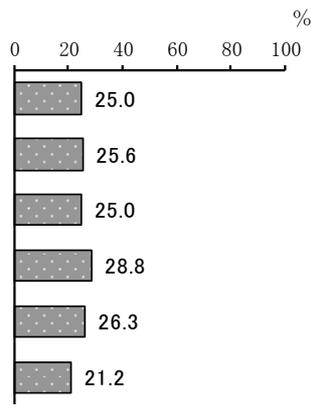
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、30～39歳で「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」の割合が、50～59歳で「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の割合が高くなっています。



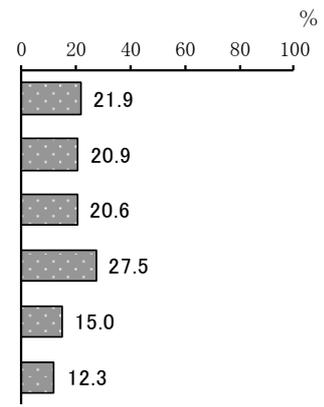
結婚について周囲の反対を受けること



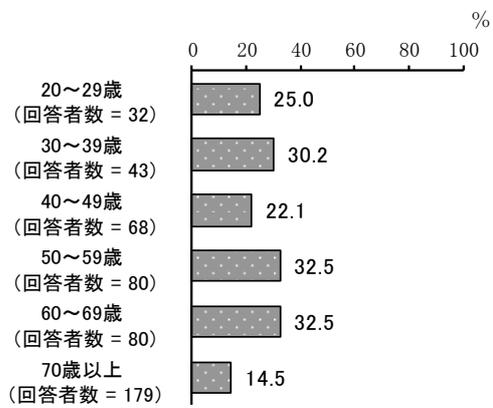
アパート等への入居を拒否されること



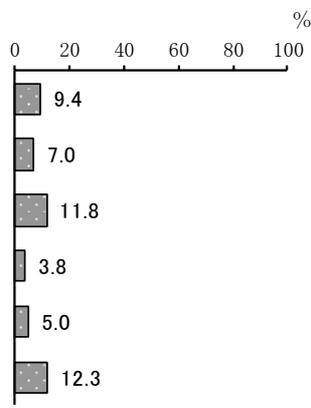
悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと



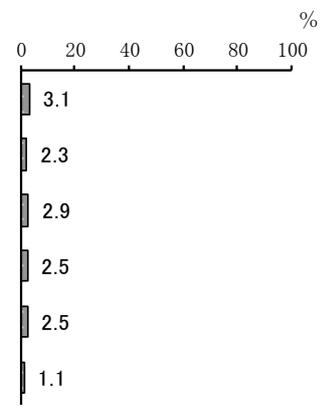
合理的な配慮がなされていないこと



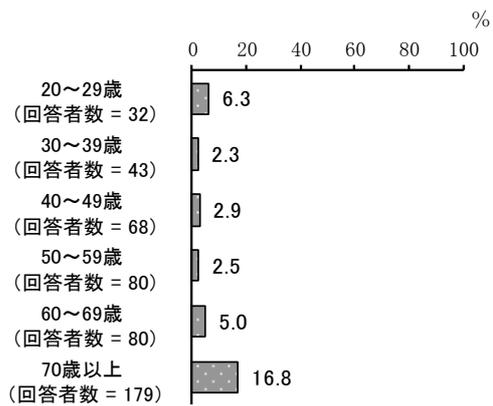
特にない



その他



無回答

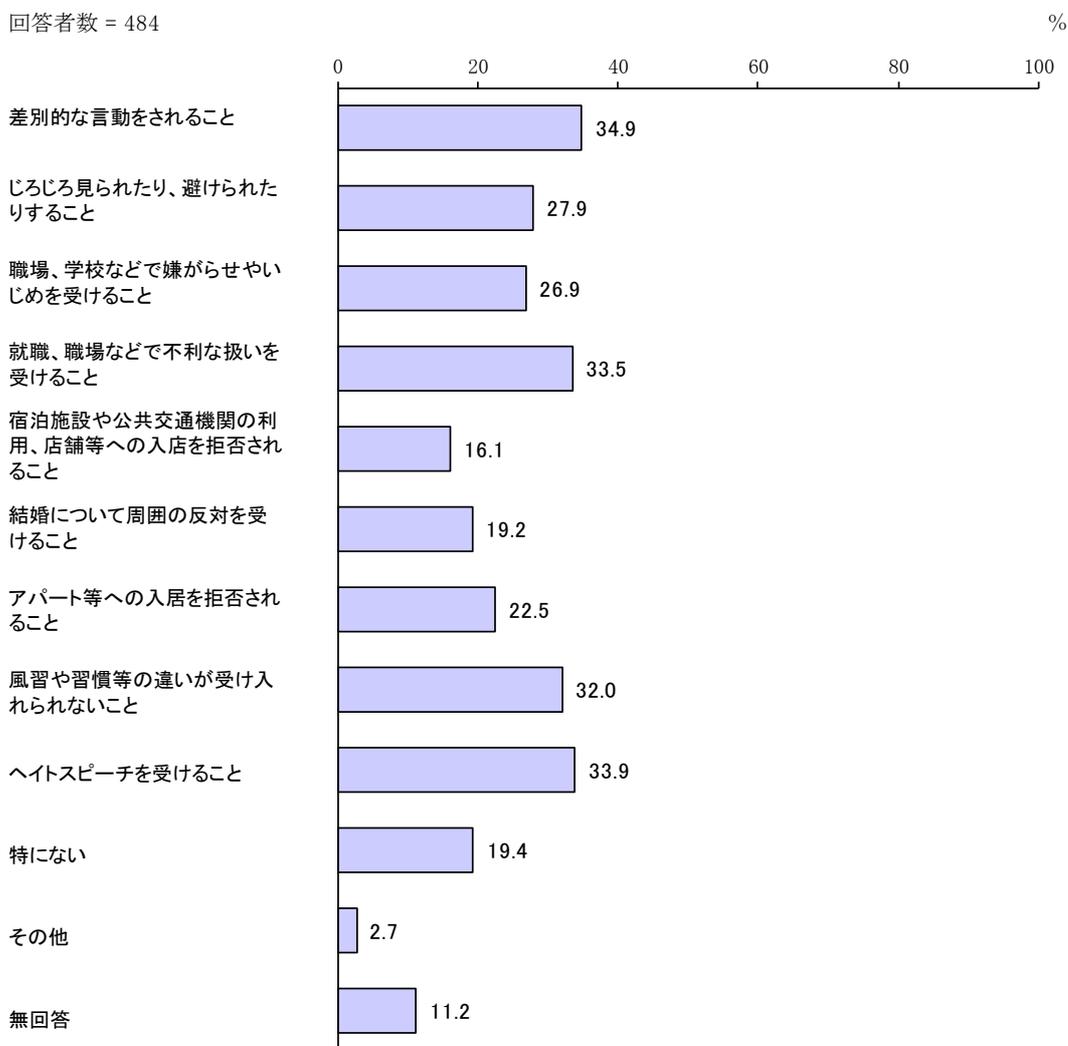


(6) 外国人の人権について

問 18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「差別的な言動をされること」の割合が34.9%と最も高く、次いで「ヘイトスピーチを受けること」の割合が33.9%、「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が33.5%となっています。

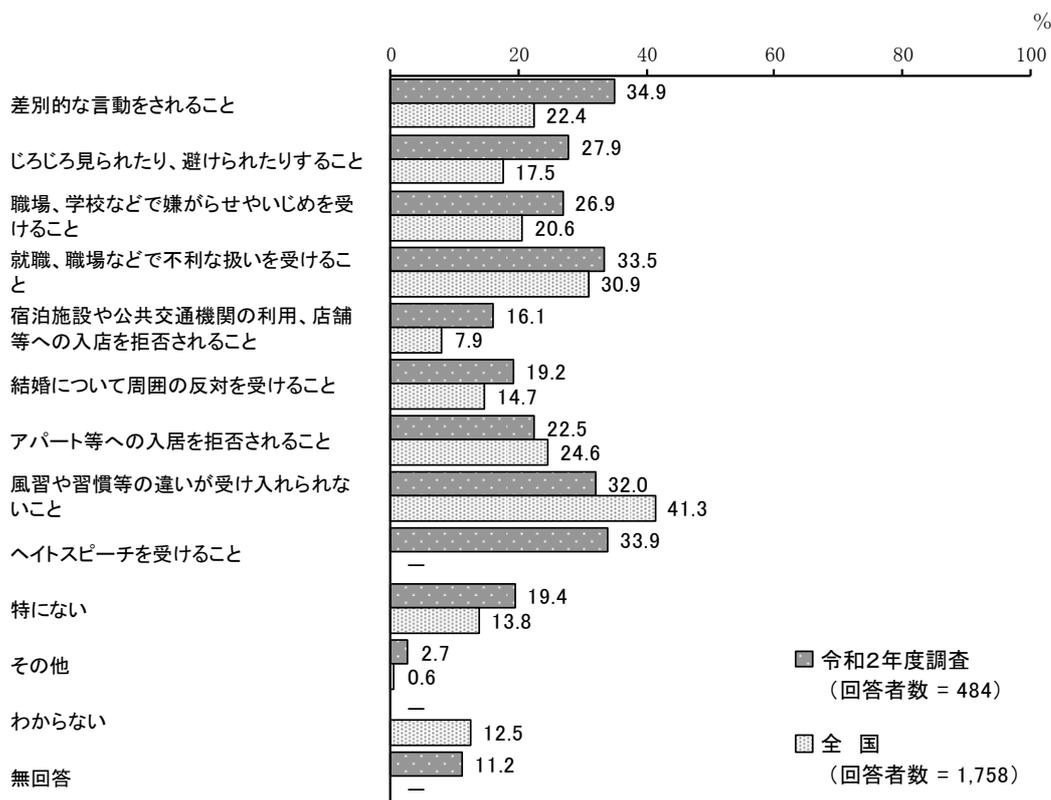
回答者数 = 484



問 18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「差別的な言動をされること」「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」「特にない」の割合が高くなっています。一方、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」の割合が低くなっています。



※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

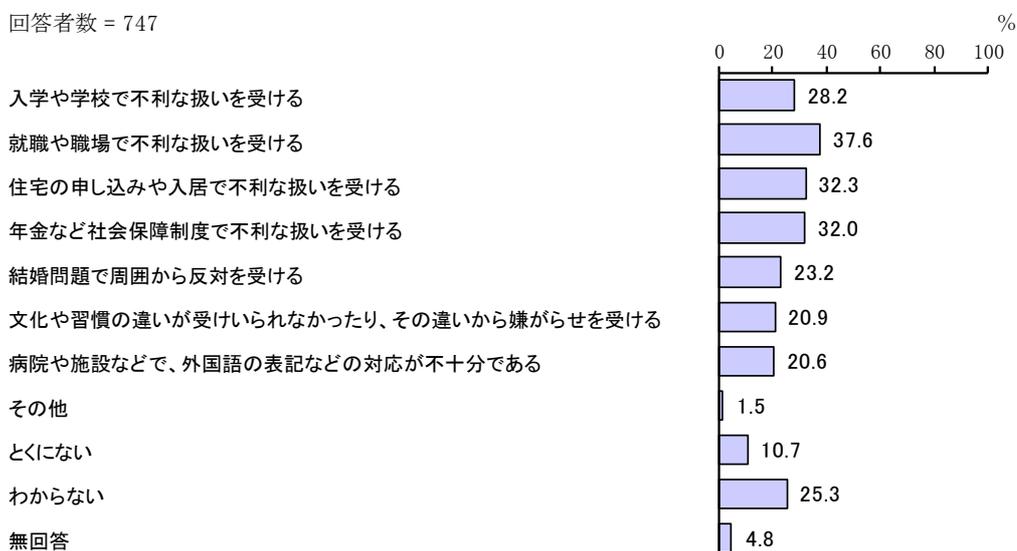
※全国調査では、「ヘイトスピーチを受けること」の選択肢はありません。

また、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【参考 平成18年度調査】

平成18年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

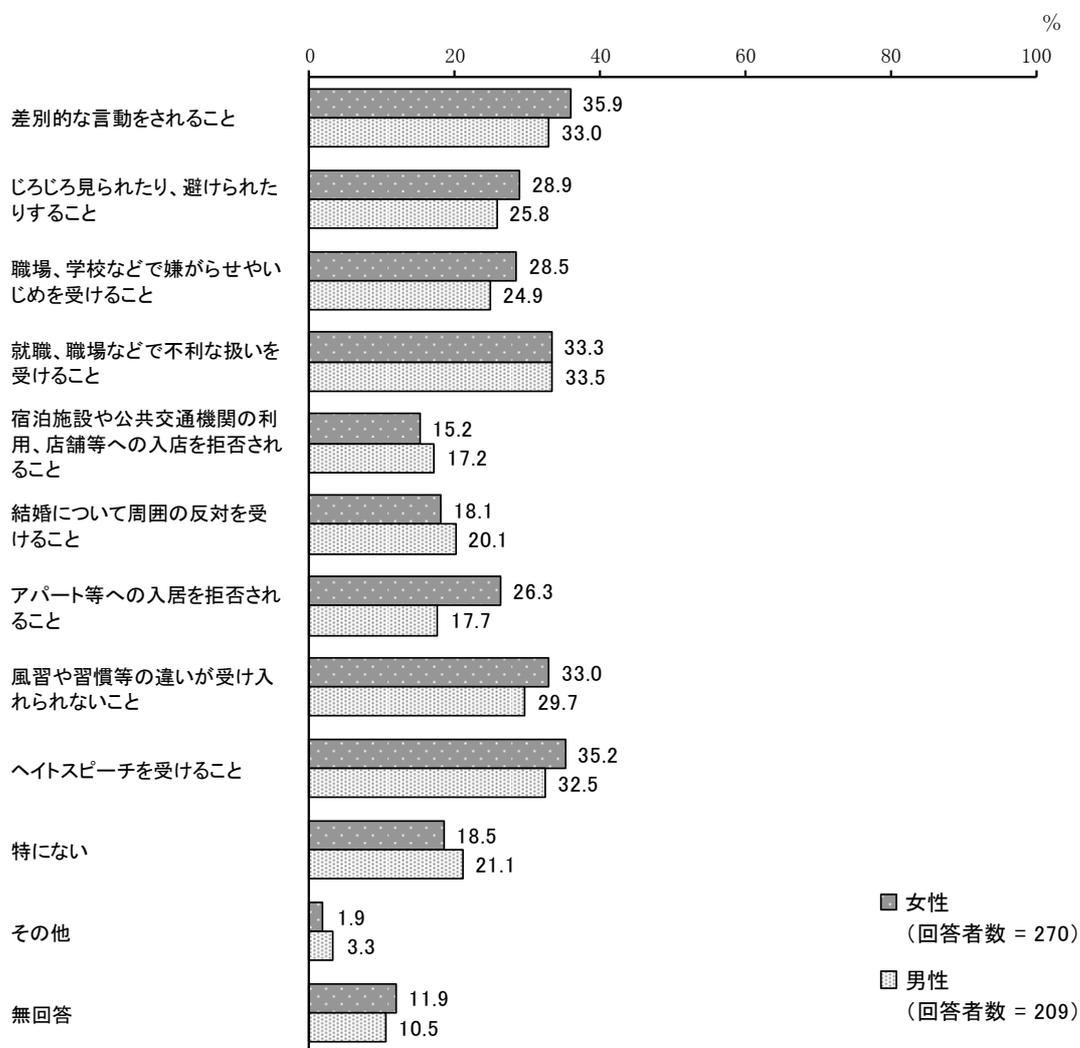
回答者数 = 747



問 18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

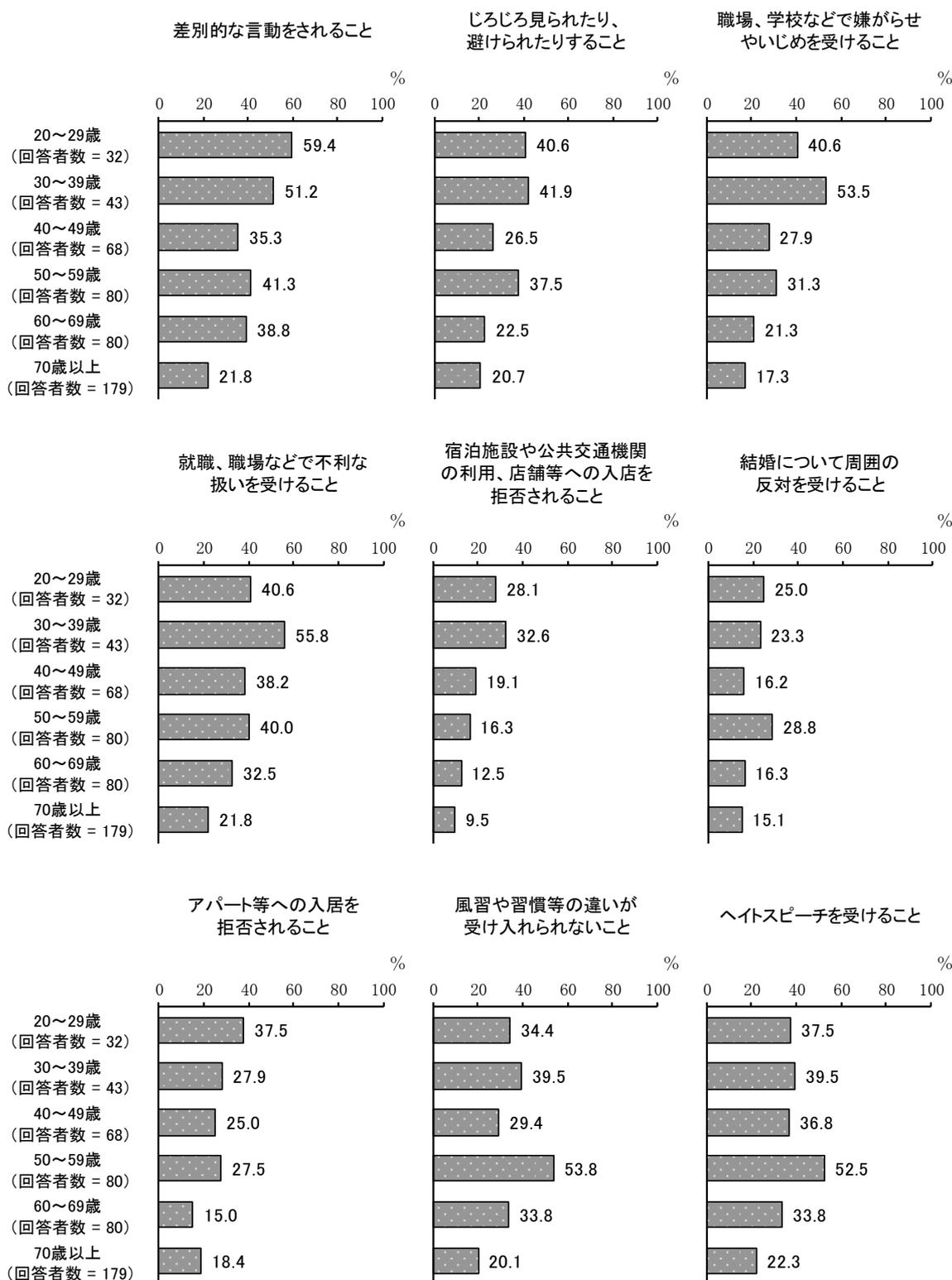
性別でみると、男性に比べ、女性で「アパート等への入居を拒否されること」の割合が高くなっています。

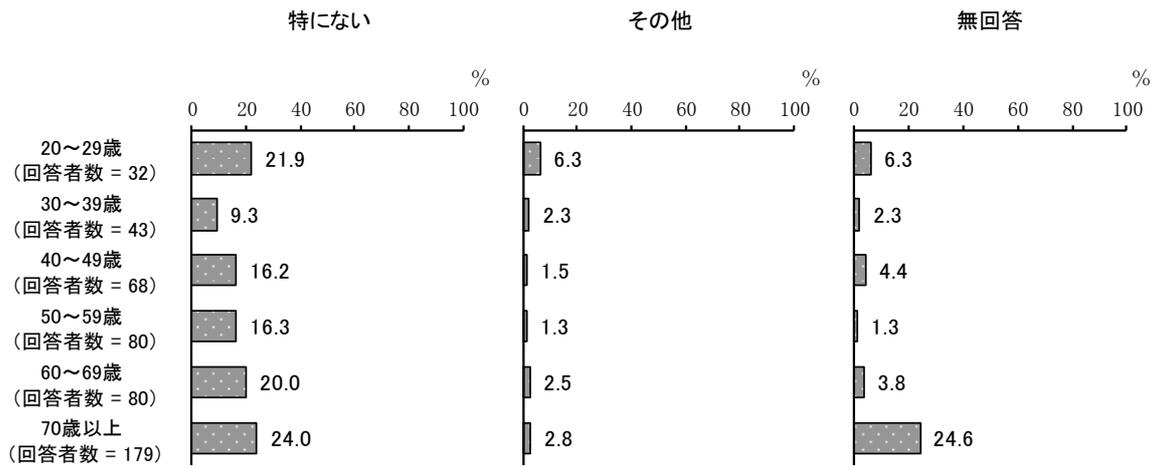


問18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「差別的な言動をされること」の割合が、30～39歳で「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。また、50～59歳で「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」の割合が高くなっています。



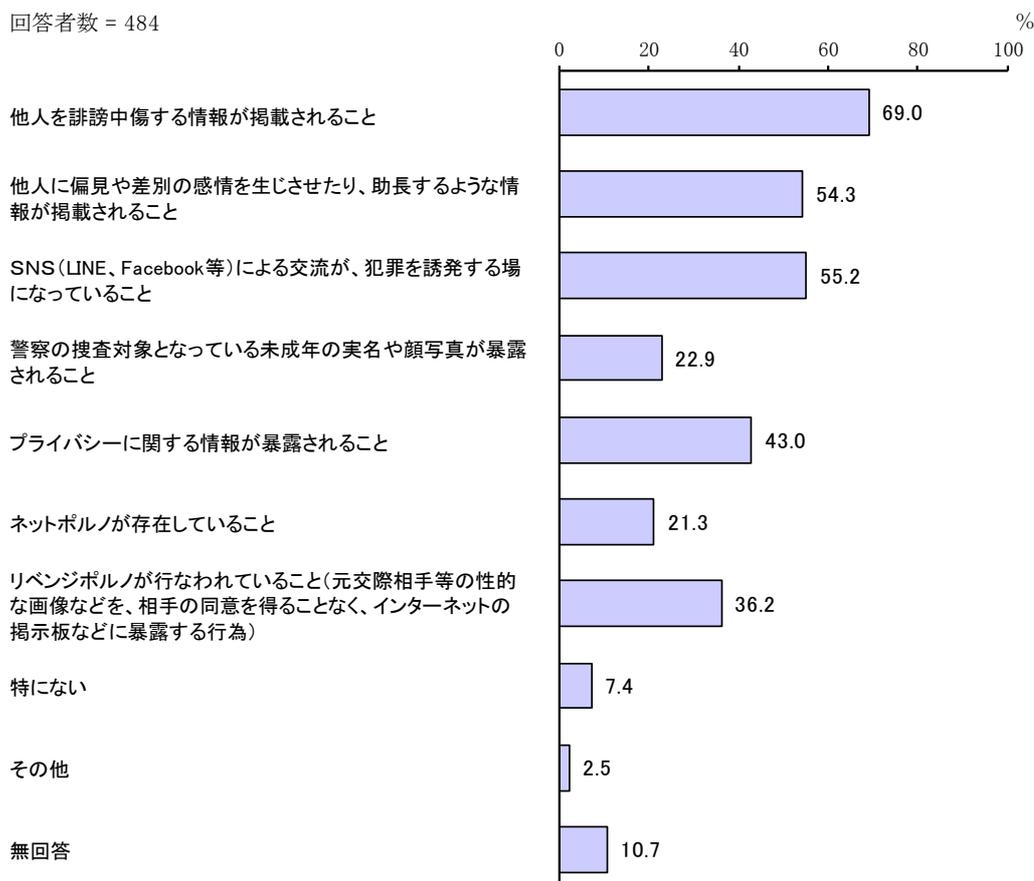


(7) インターネット上の人権について

問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「SNS (LINE、Facebook 等) による交流が、犯罪を誘発する場になっていること」の割合が 55.2%、「他人に偏見や差別の感情を生じさせたり、助長するような情報が掲載されること」の割合が 54.3%となっています。

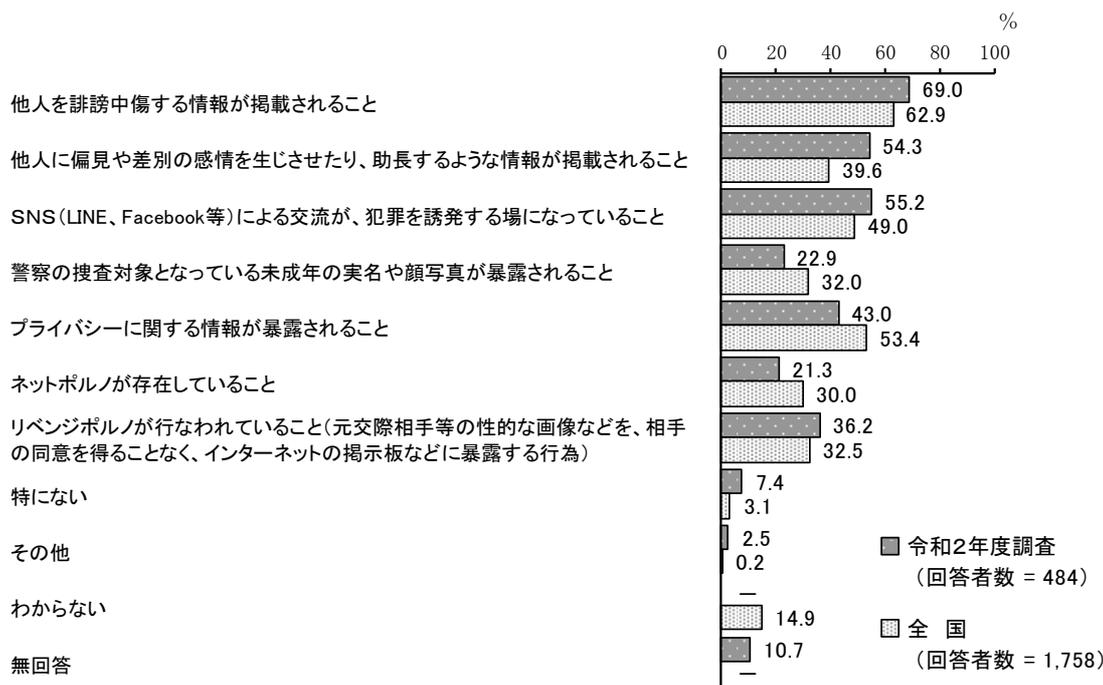
回答者数 = 484



問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」「他人に偏見や差別の感情を生じさせたり、助長するような情報が掲載されること」「SNS（LINE、Facebook等）による交流が、犯罪を誘発する場になっていること」の割合が高くなっています。一方、「警察の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真が暴露されること」「プライバシーに関する情報が暴露されること」「ネットポルノが存在していること」の割合が低くなっています。

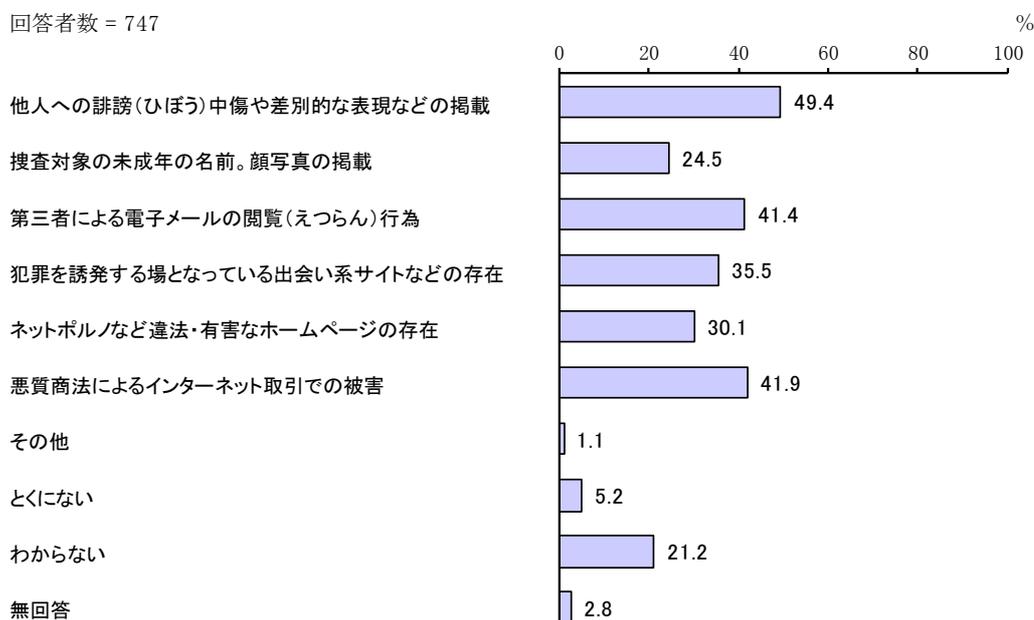


※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【参考 平成18年度調査】

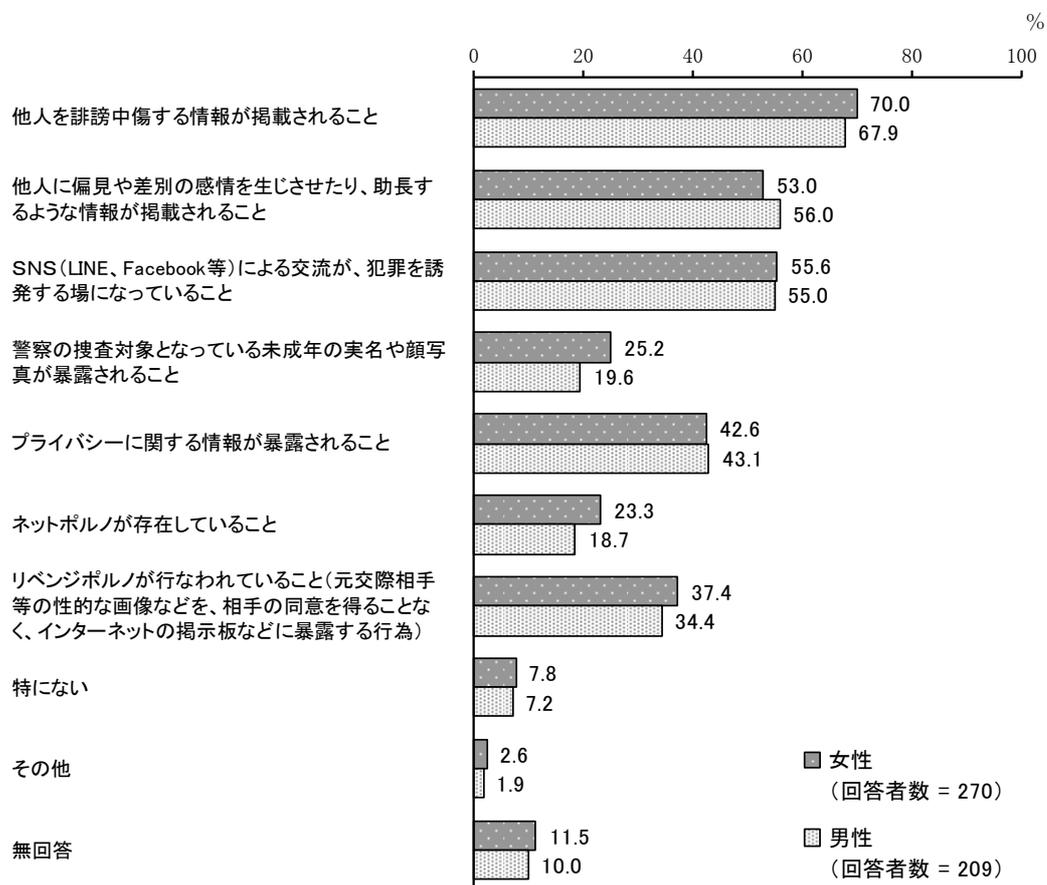
平成18年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。



問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

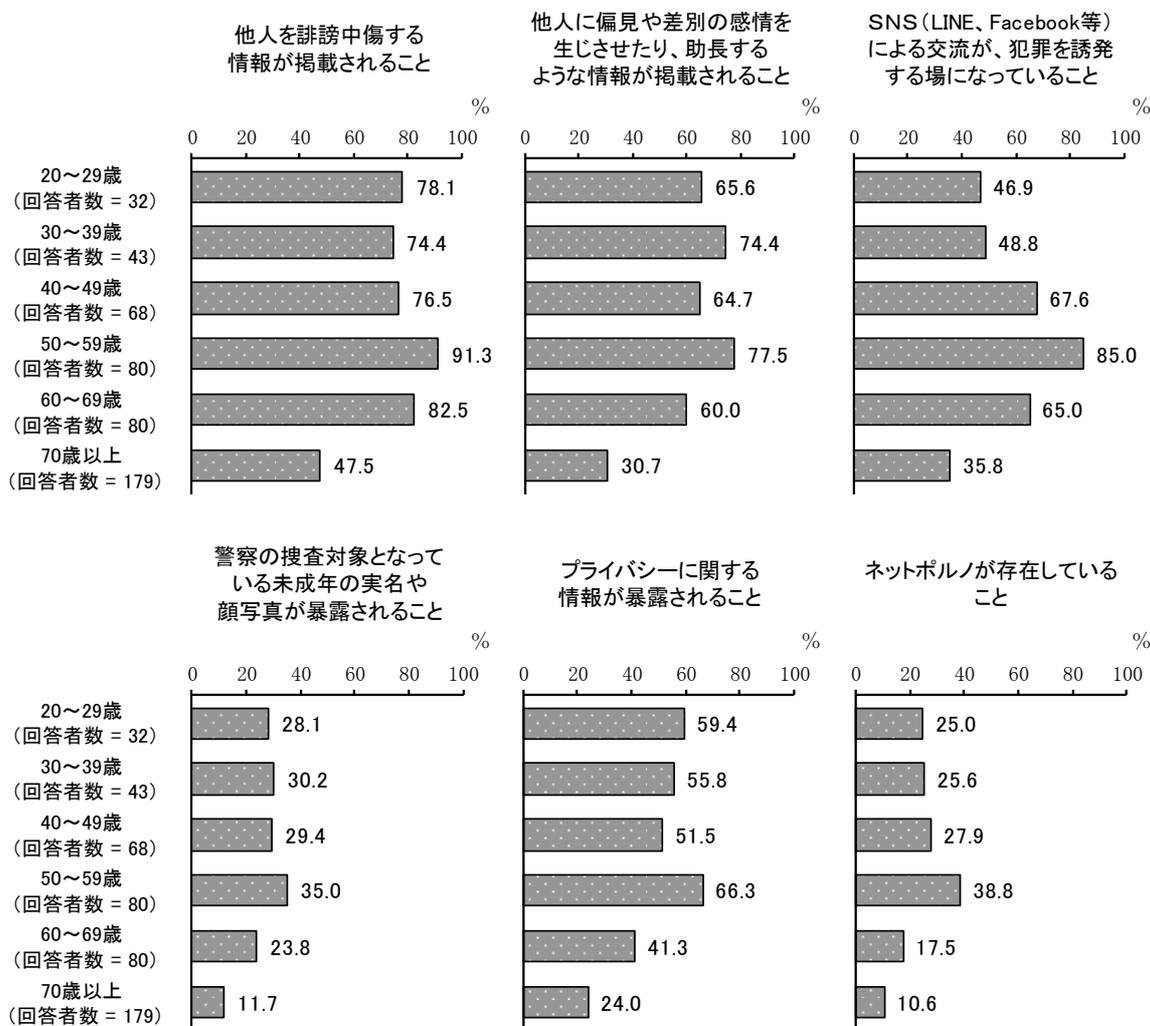
性別でみると、男性に比べ、女性で「警察の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真が暴露されること」の割合が高くなっています。



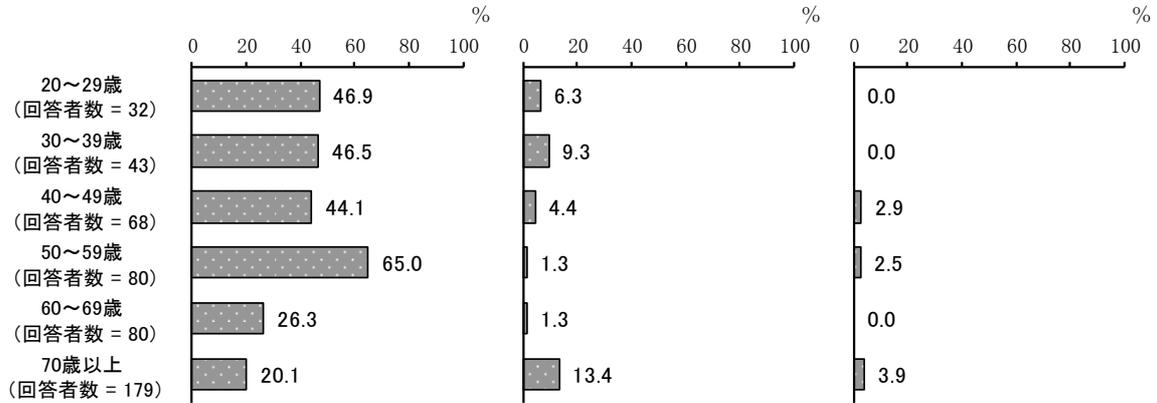
問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

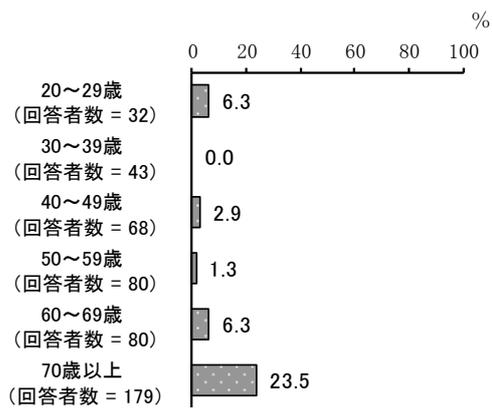
年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」「SNS（LINE、Facebook等）による交流が、犯罪を誘発する場になっていること」の割合が高くなっています。



リベンジポルノが行なわれていること(元交際相手等の性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに暴露する行為)



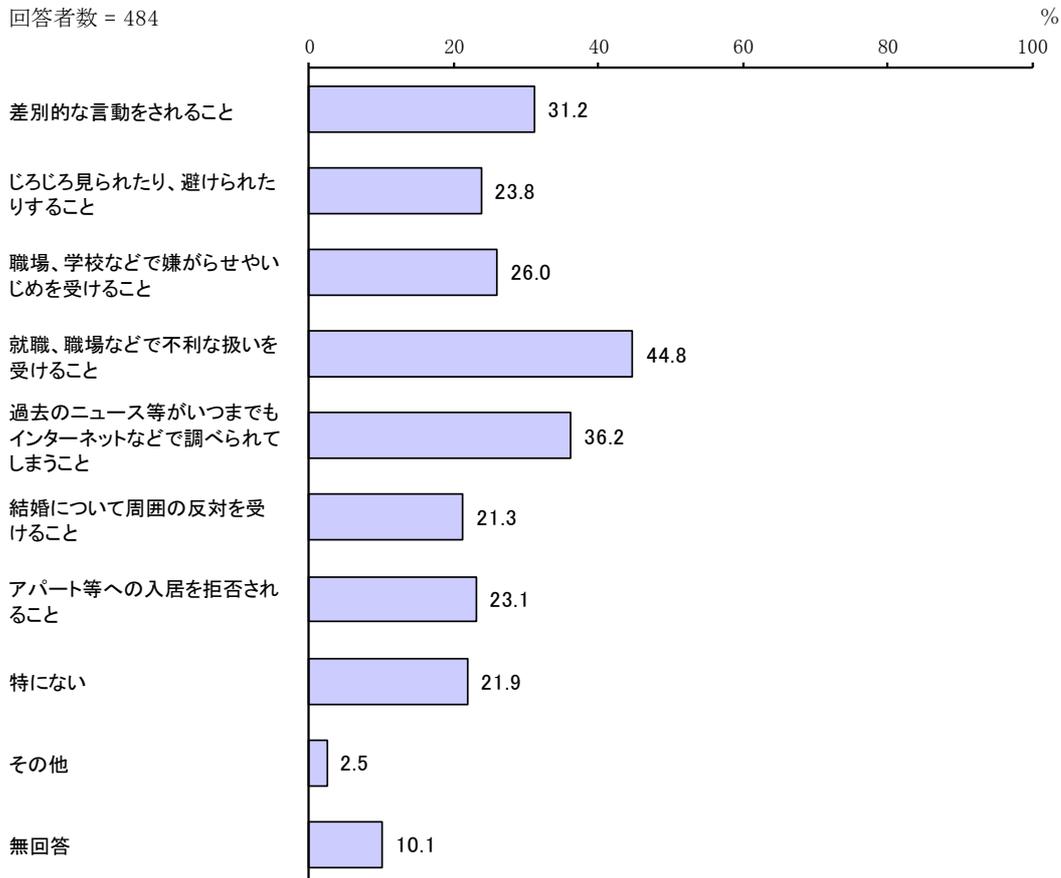
無回答



(8) 刑を終えた人の人権について

問 20 刑を終えた人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

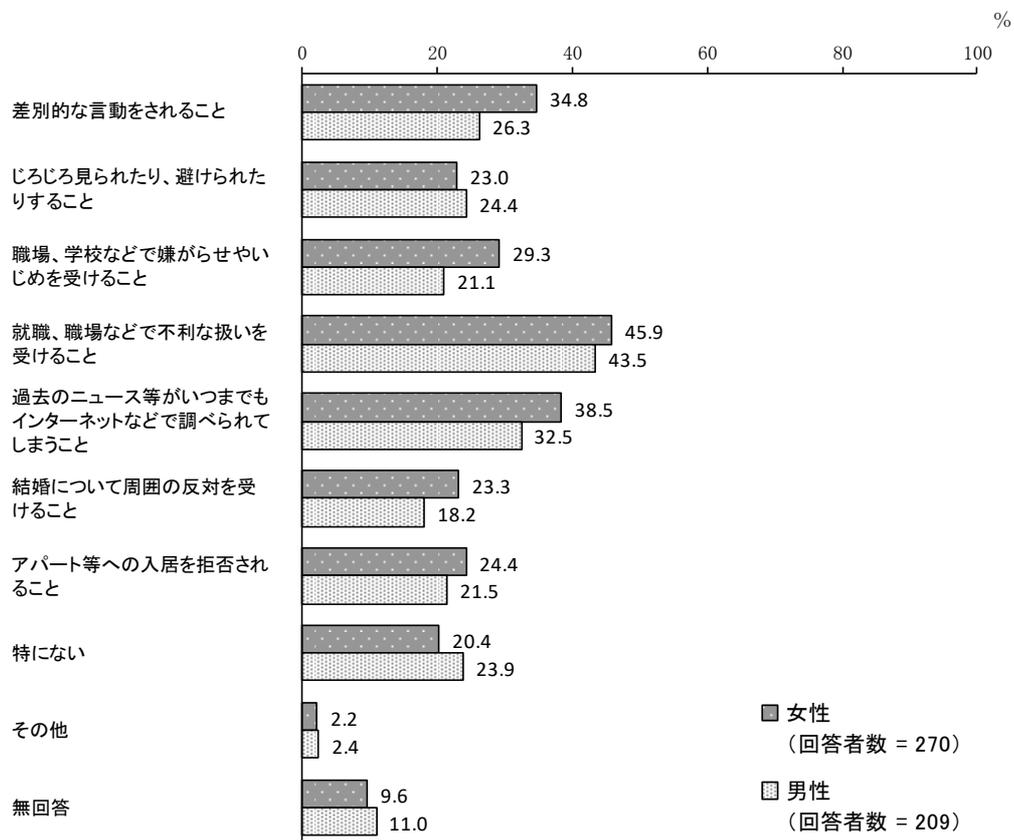
「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「過去のニュース等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」の割合が 36.2%、「差別的な言動をされること」の割合が 31.2%となっています。



問 20 刑を終えた人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

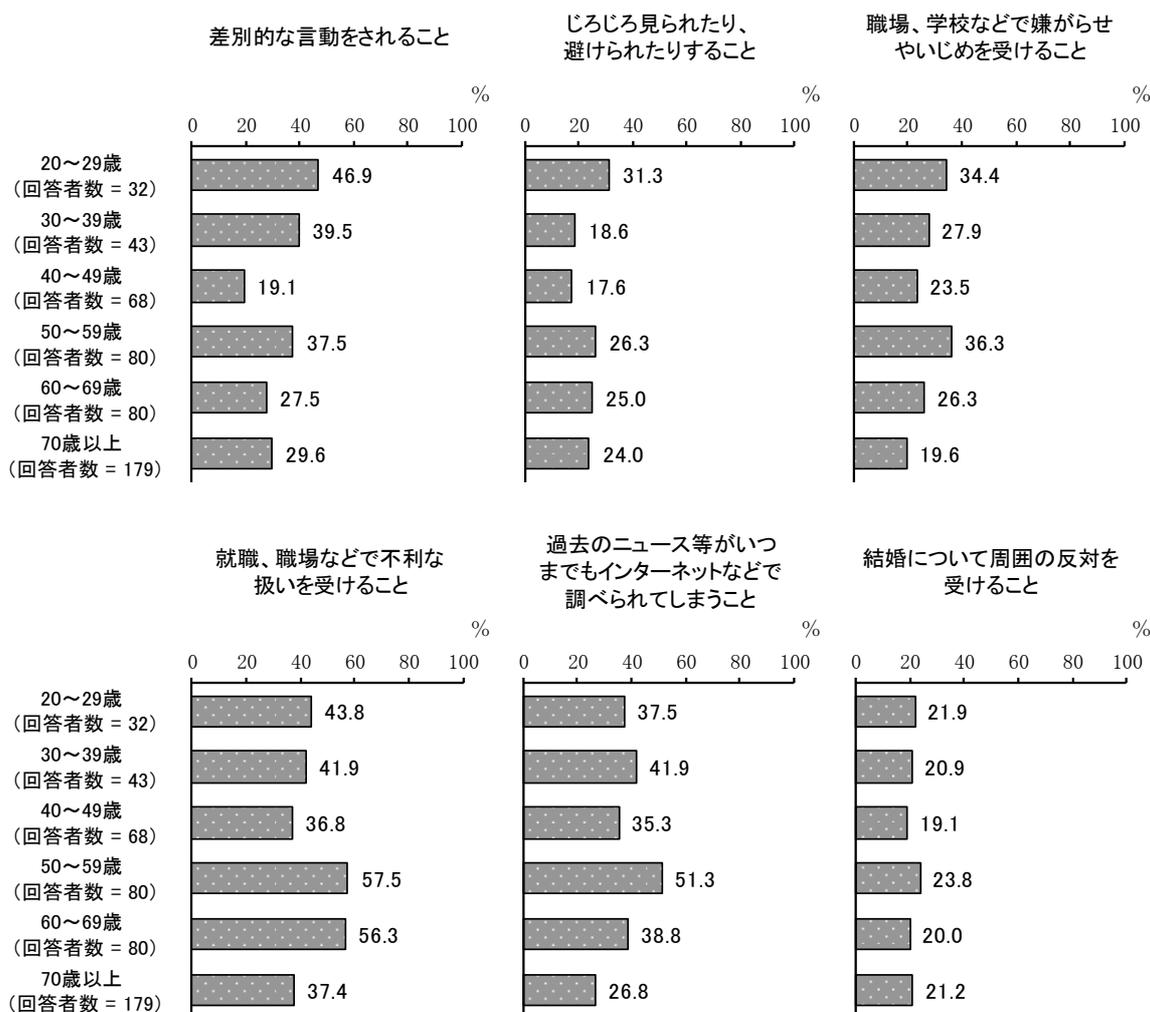
性別でみると、男性に比べ、女性で「差別的な言動をされること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「過去のニュース等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」「結婚について周囲の反対を受けること」の割合が高くなっています。

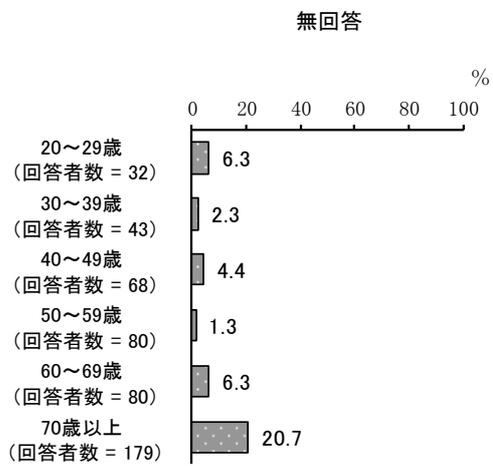
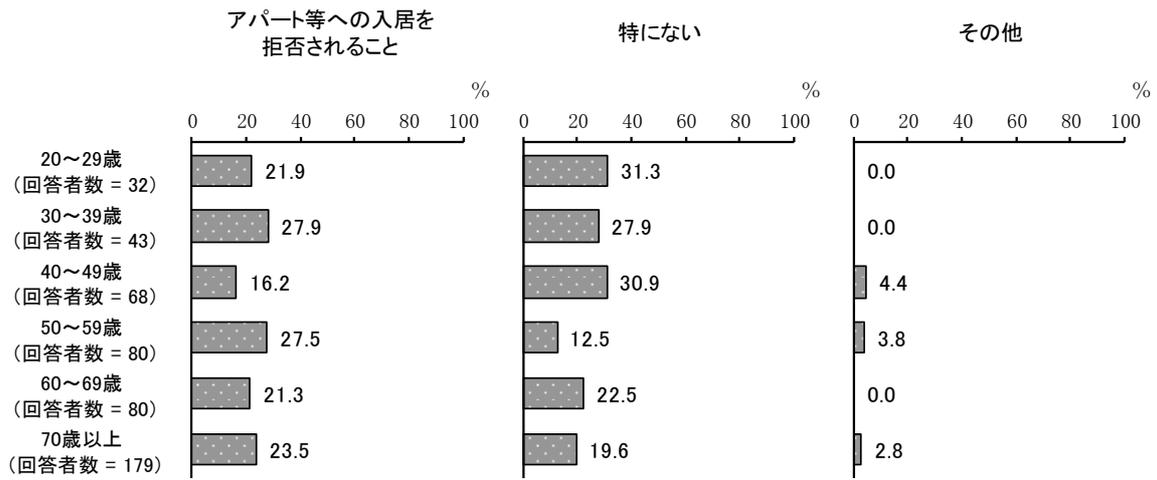


問 20 刑を終えた人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「差別的な言動をされること」の割合が、50～59歳で「過去のニュース等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」の割合が高くなっています。また、50～59歳、60～69歳で「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。



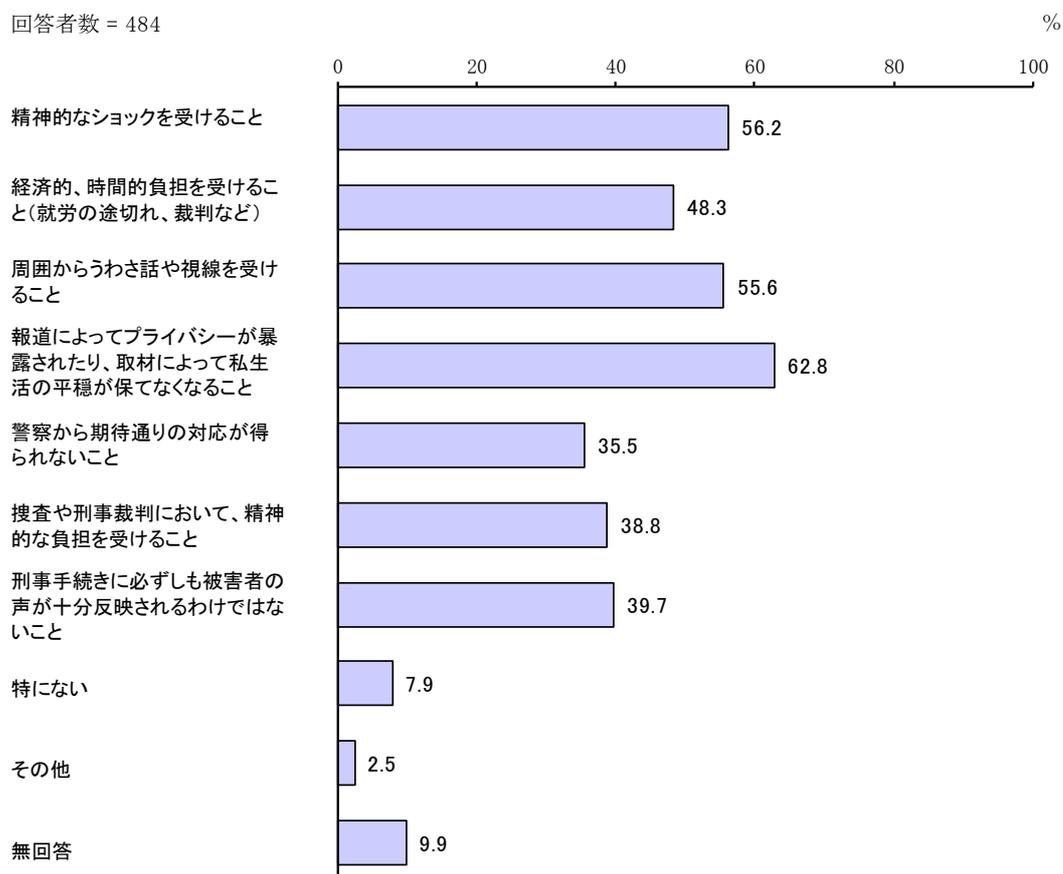


(9) 犯罪被害者の人権について

問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「精神的なショックを受けること」の割合が 56.2%、「周囲からうわさ話や視線を受けること」の割合が 55.6%となっています。

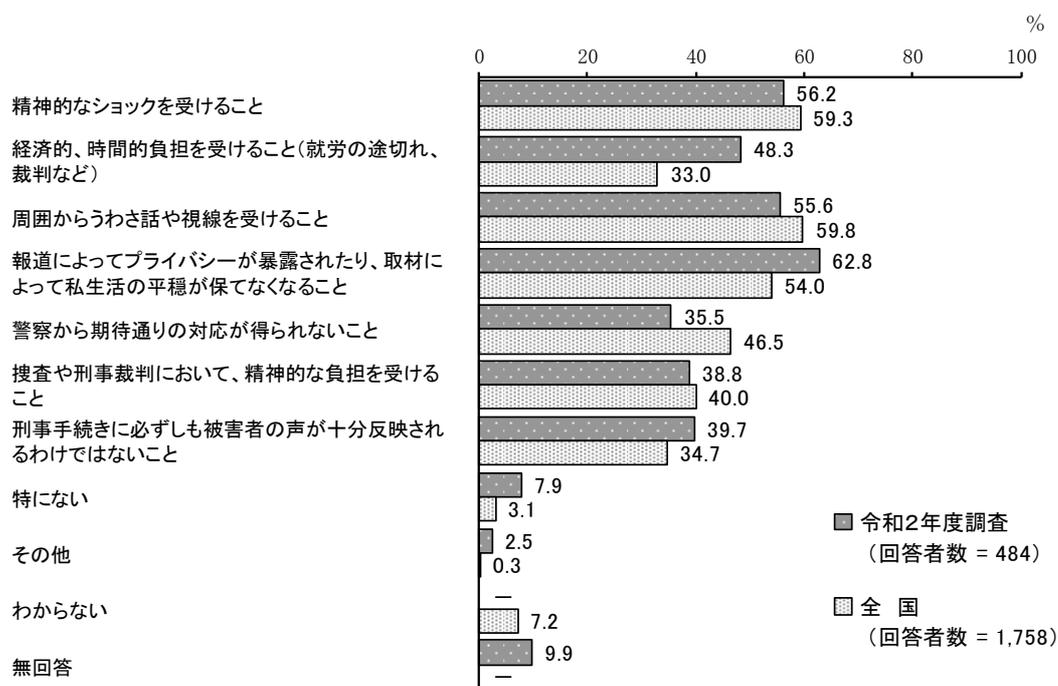
回答者数 = 484



問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「経済的、時間的負担を受けること（就労の途切れ、裁判など）」「報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が高くなっています。一方、「警察から期待通りの対応が得られないこと」の割合が低くなっています。

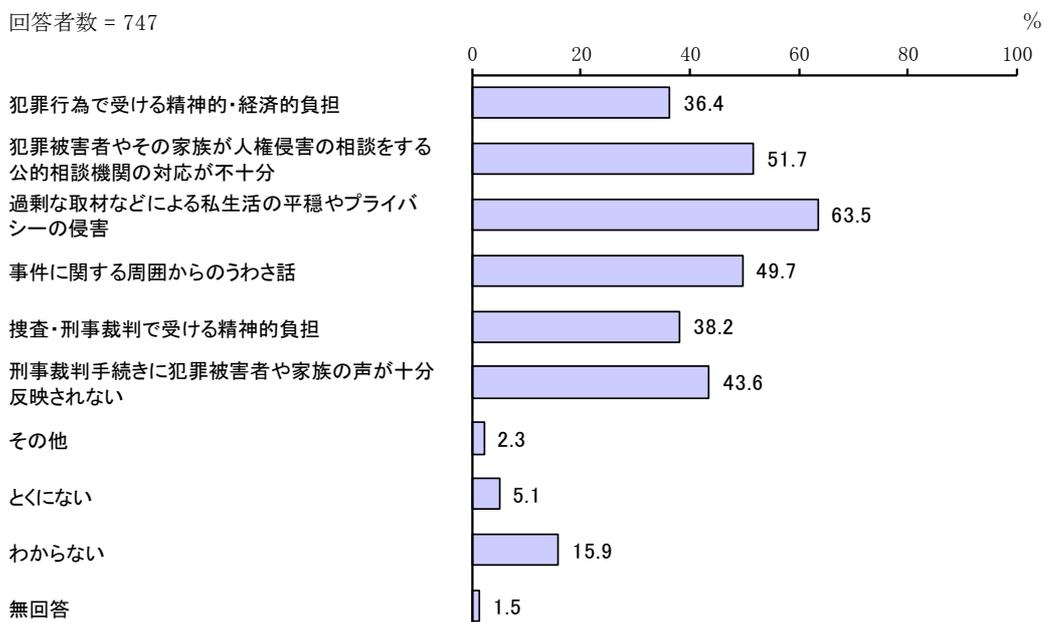


※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【参考 平成18年度調査】

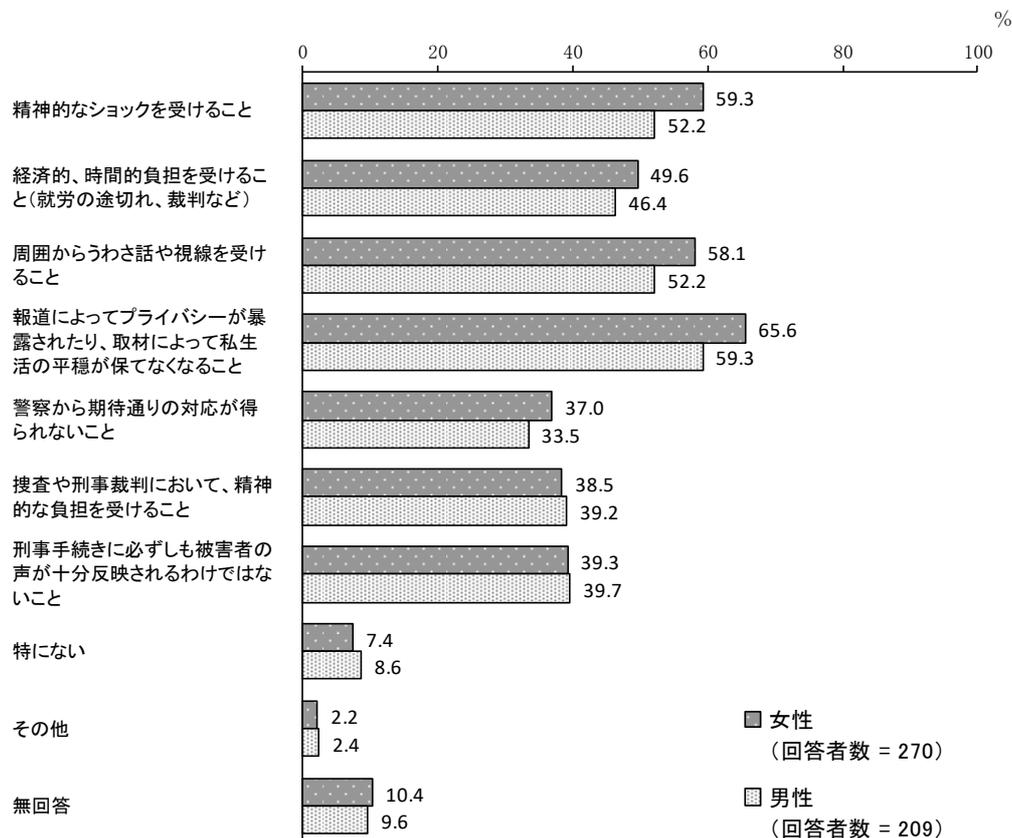
平成18年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。



問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

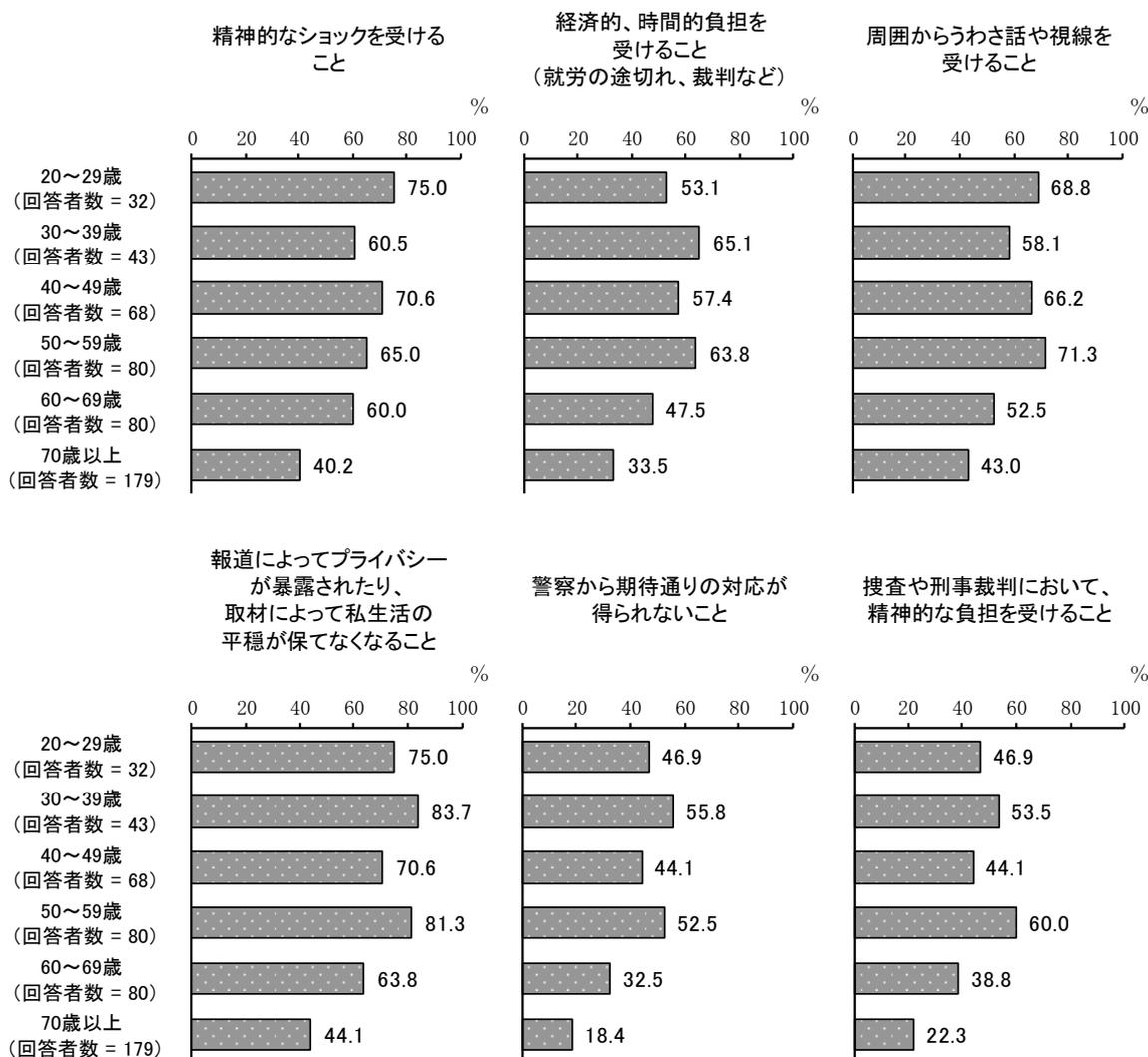
性別でみると、男性に比べ、女性で「精神的なショックを受けること」「周囲からうわさ話や視線を受けること」「報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が高くなっています。

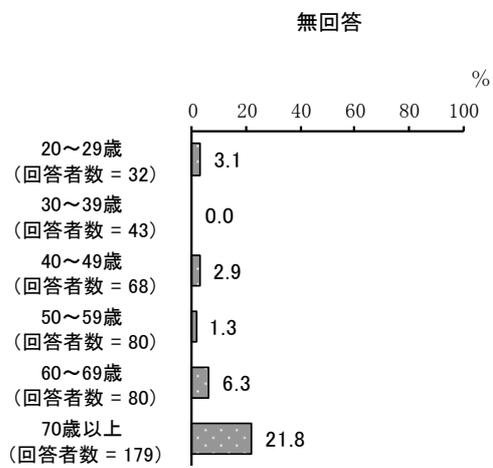
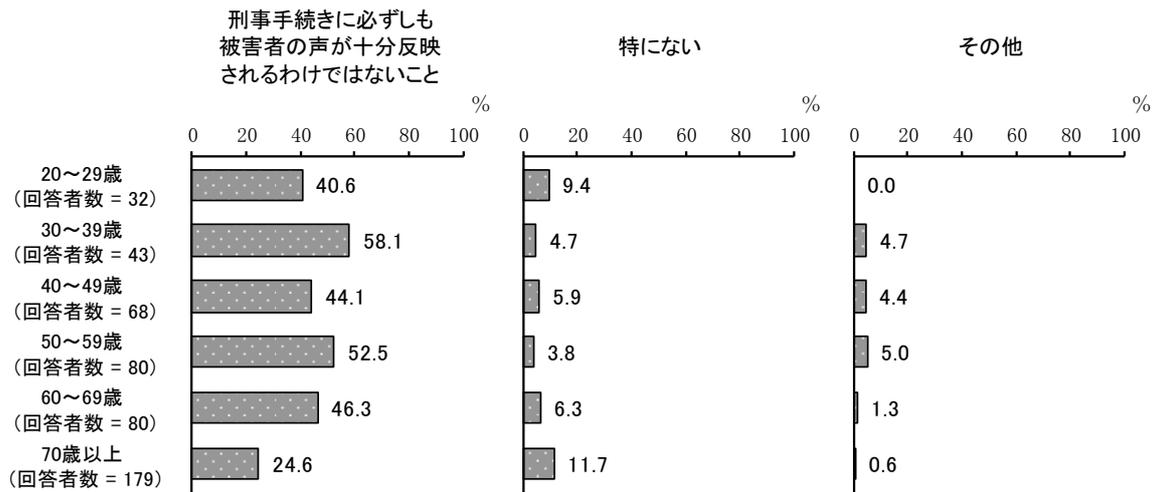


問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、40～49歳で「精神的なショックを受けること」の割合が、30～39歳、50～59歳で「報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が高くなっています。

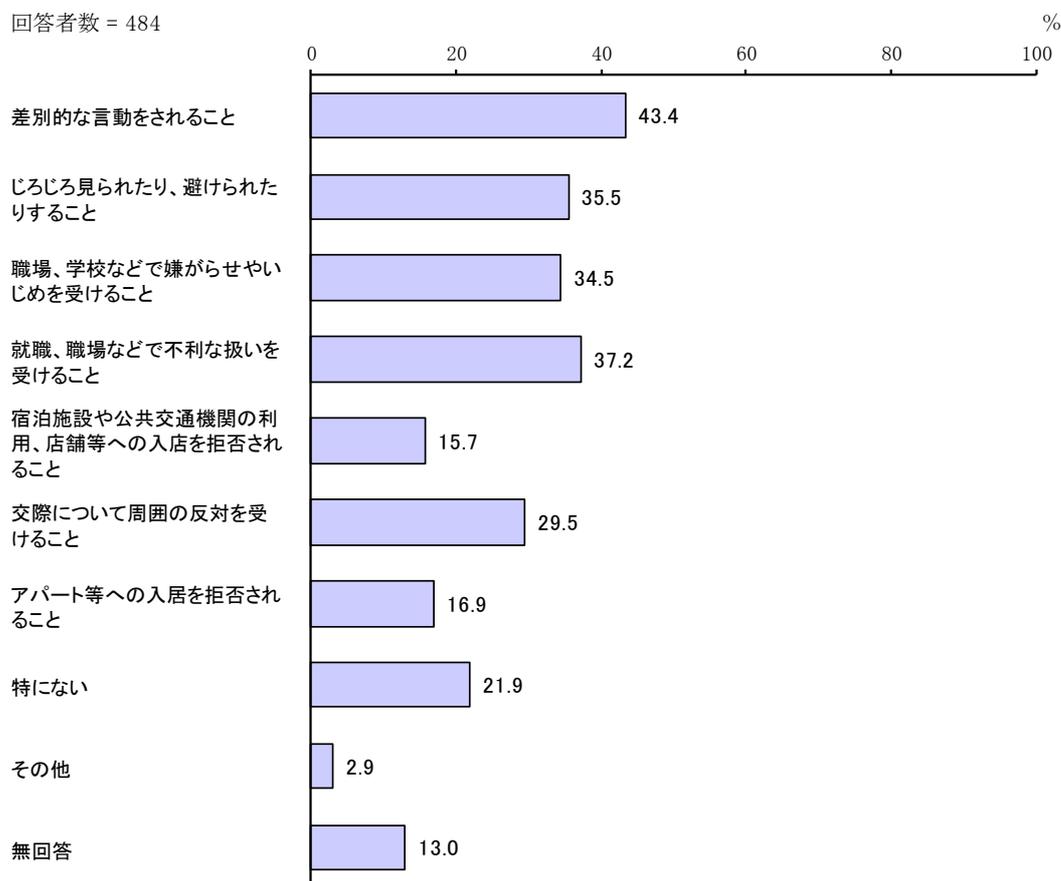




(10) 性的マイノリティの人権について

問 22 性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

「差別的な言動をされること」の割合が43.4%と最も高く、次いで「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が37.2%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の割合が35.5%となっています。



問 22 性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

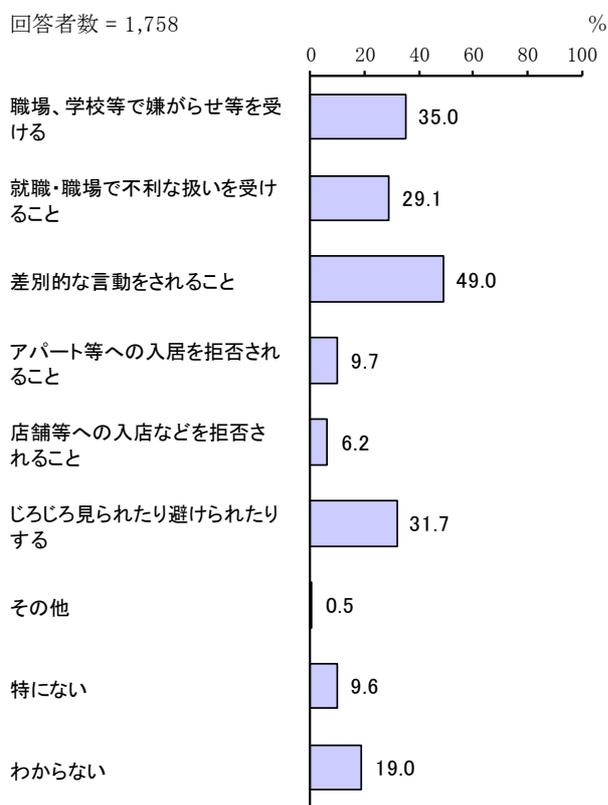
【参考 全国調査】

全国調査では、性的指向と性自認で設問が分かれており、設問内容及び選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

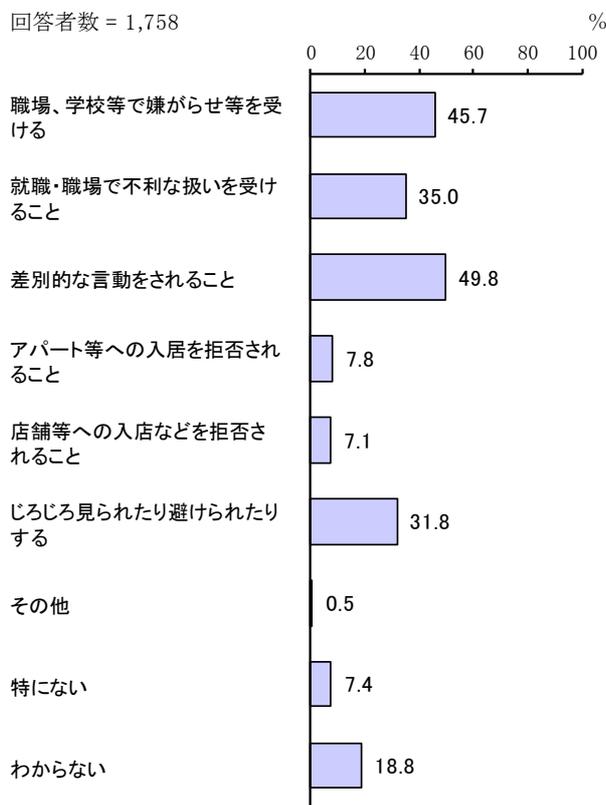
（全国調査）問 あなたは、異性愛、同性愛、両性愛といった性的指向に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中からいくつかあげてください。

（全国調査）問 あなたは、生物学的な性とところの性が一致しない性同一性障害者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中からいくつかあげてください。

【性的指向】



【性自認】

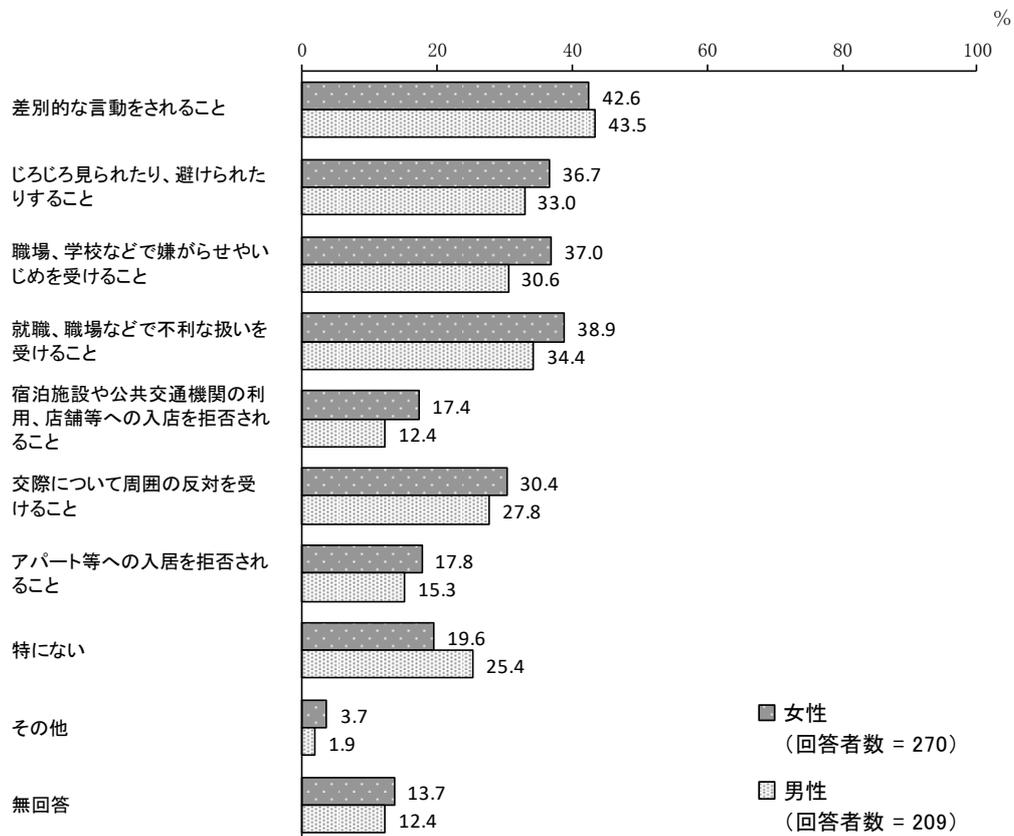


※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 22 性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

【性別】

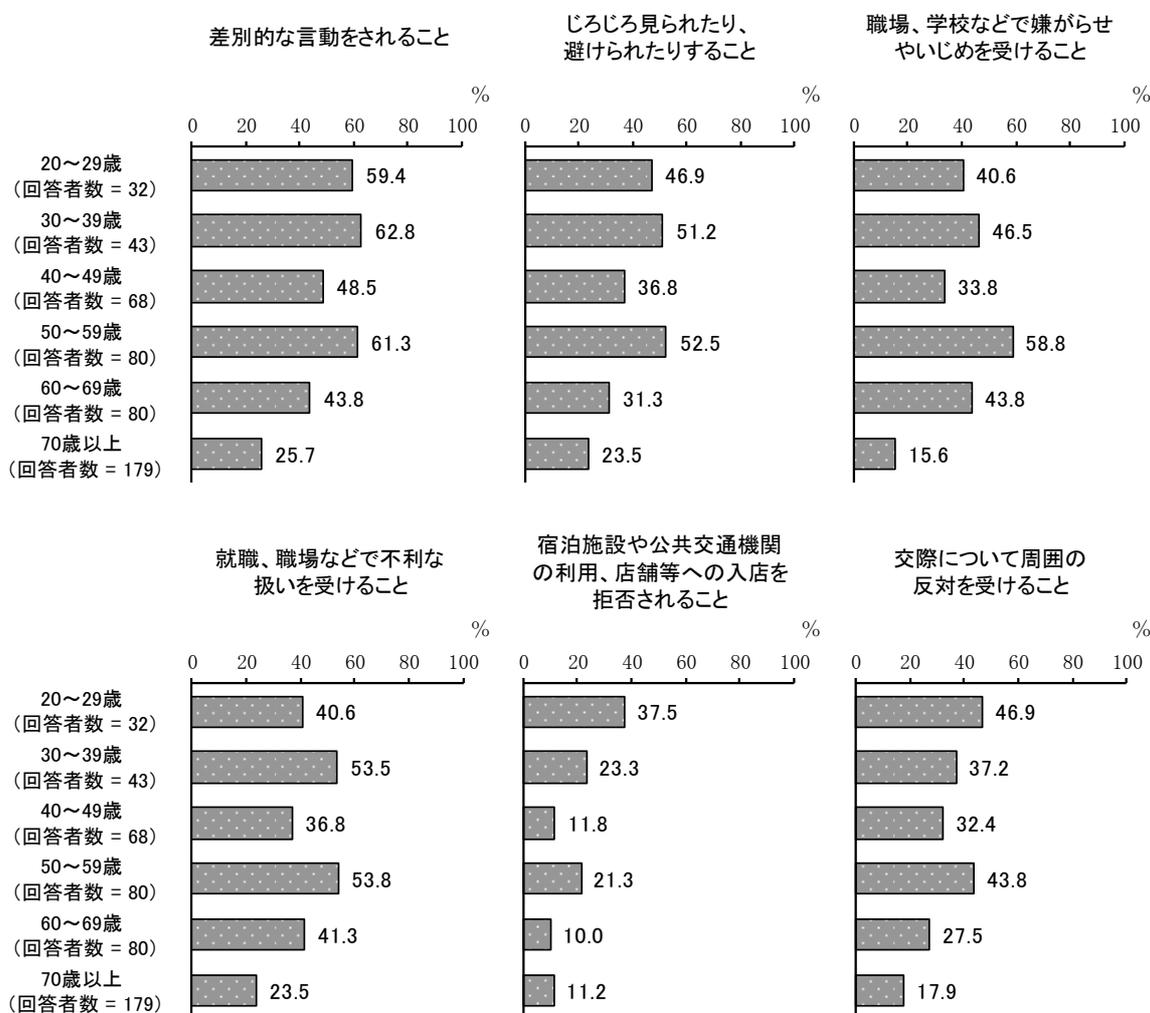
性別でみると、男性に比べ、女性で「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「特にない」の割合が高くなっています。

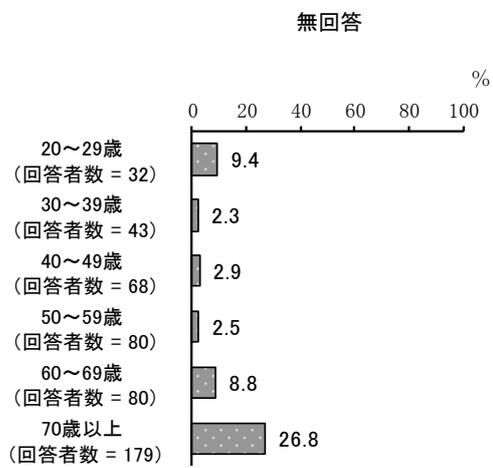
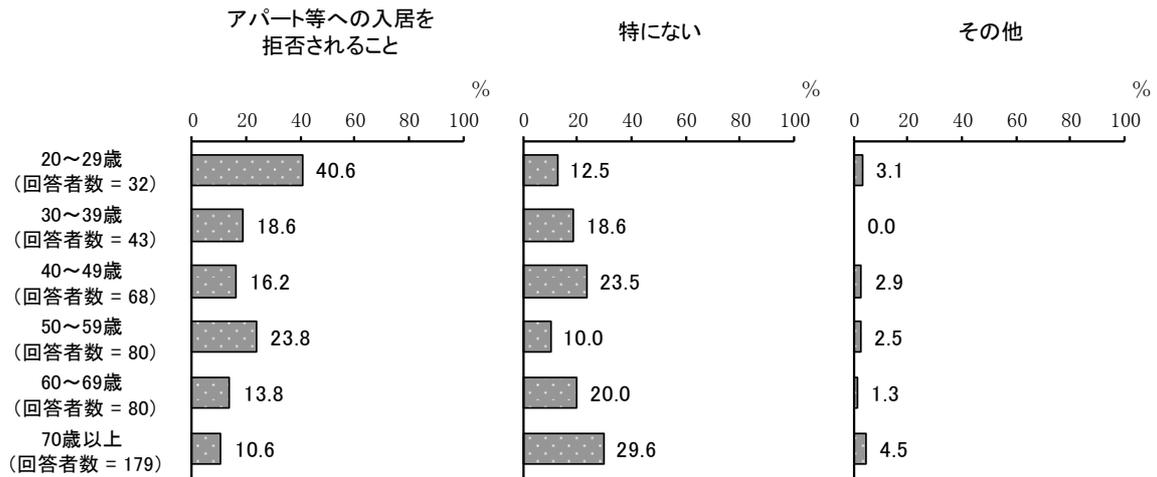


問 22 性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳、50～59歳で「差別的な言動をされること」の割合が高くなっています。

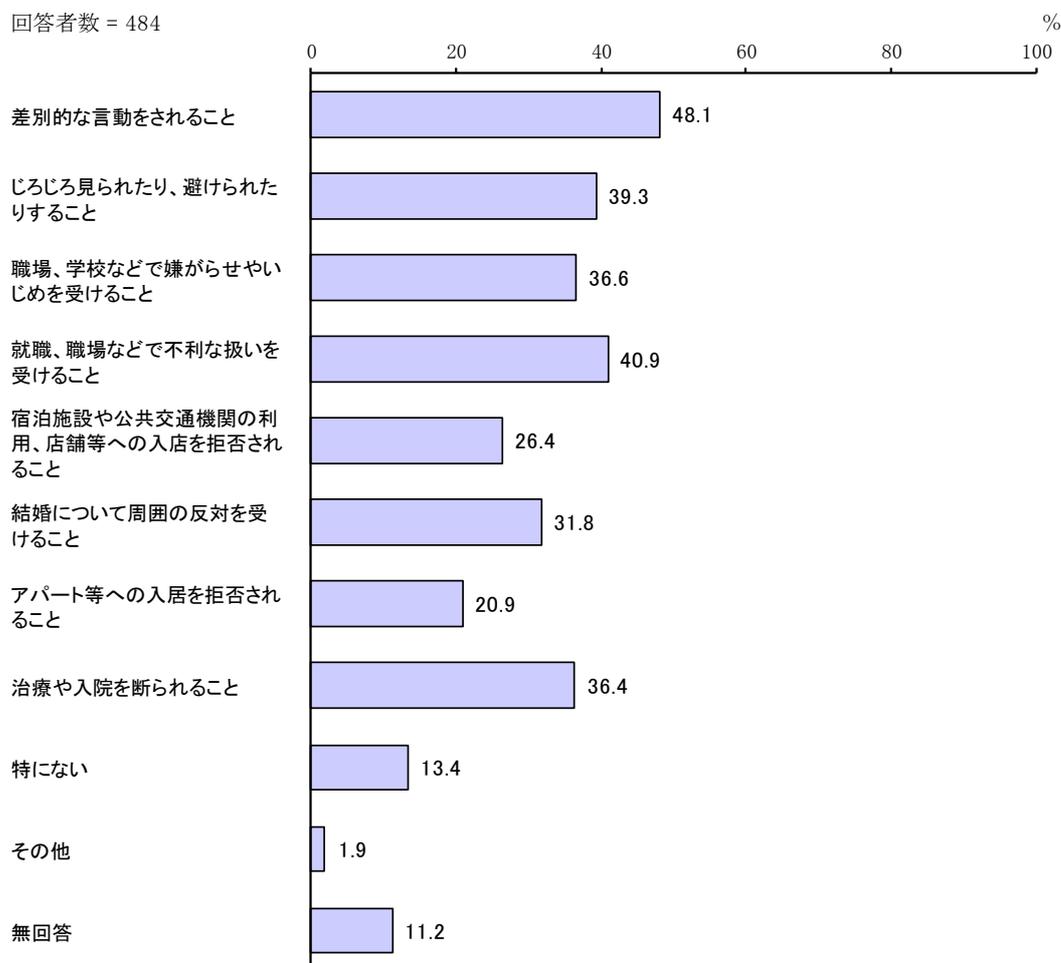




(11) 病気・感染症について

問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

「差別的な言動をされること」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が 40.9%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」の割合が 39.3%となっています。



問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

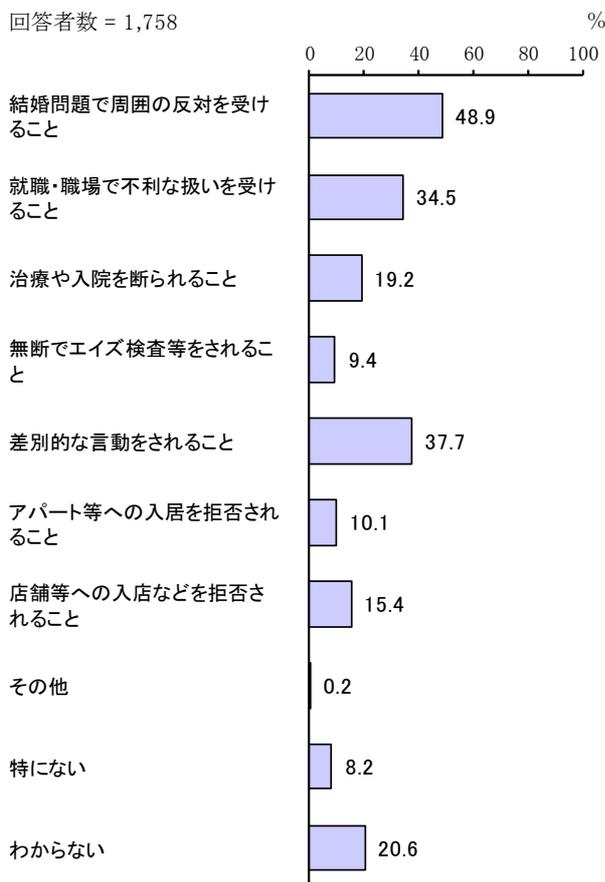
【参考 全国調査】

全国調査では、エイズ患者・HIV感染者等とハンセン病患者・回復者等で設問が分かれており、設問内容及び選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

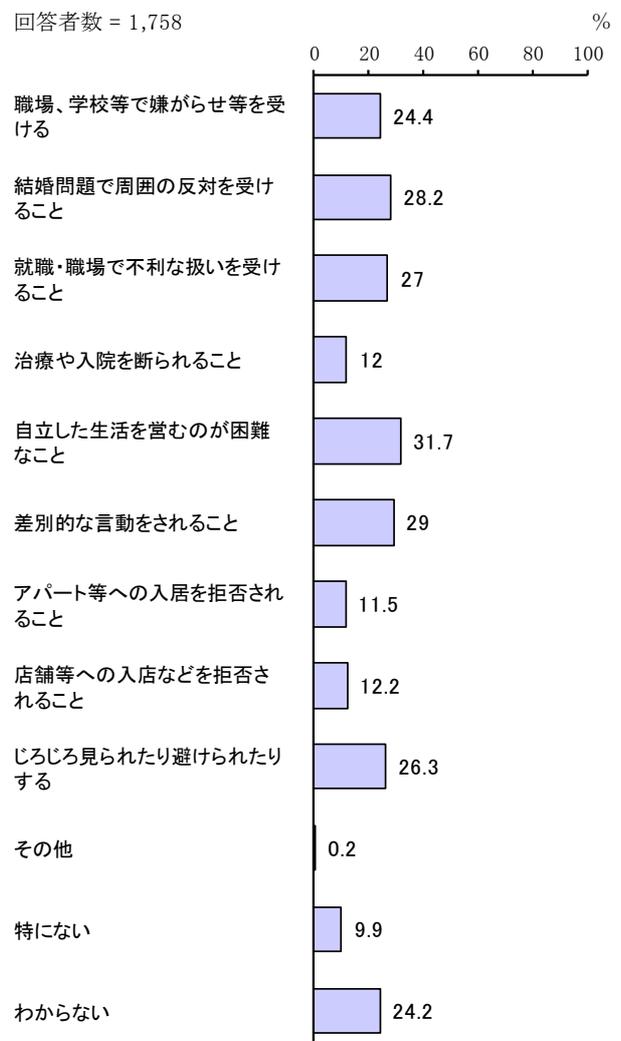
(全国調査) 問 あなたは、エイズ患者・HIV感染者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中からいくつでもあげてください。

(全国調査) 問 あなたは、ハンセン病患者・回復者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中からいくつでもあげてください。

【エイズ患者・HIV感染者等】



【ハンセン病患者・回復者等】



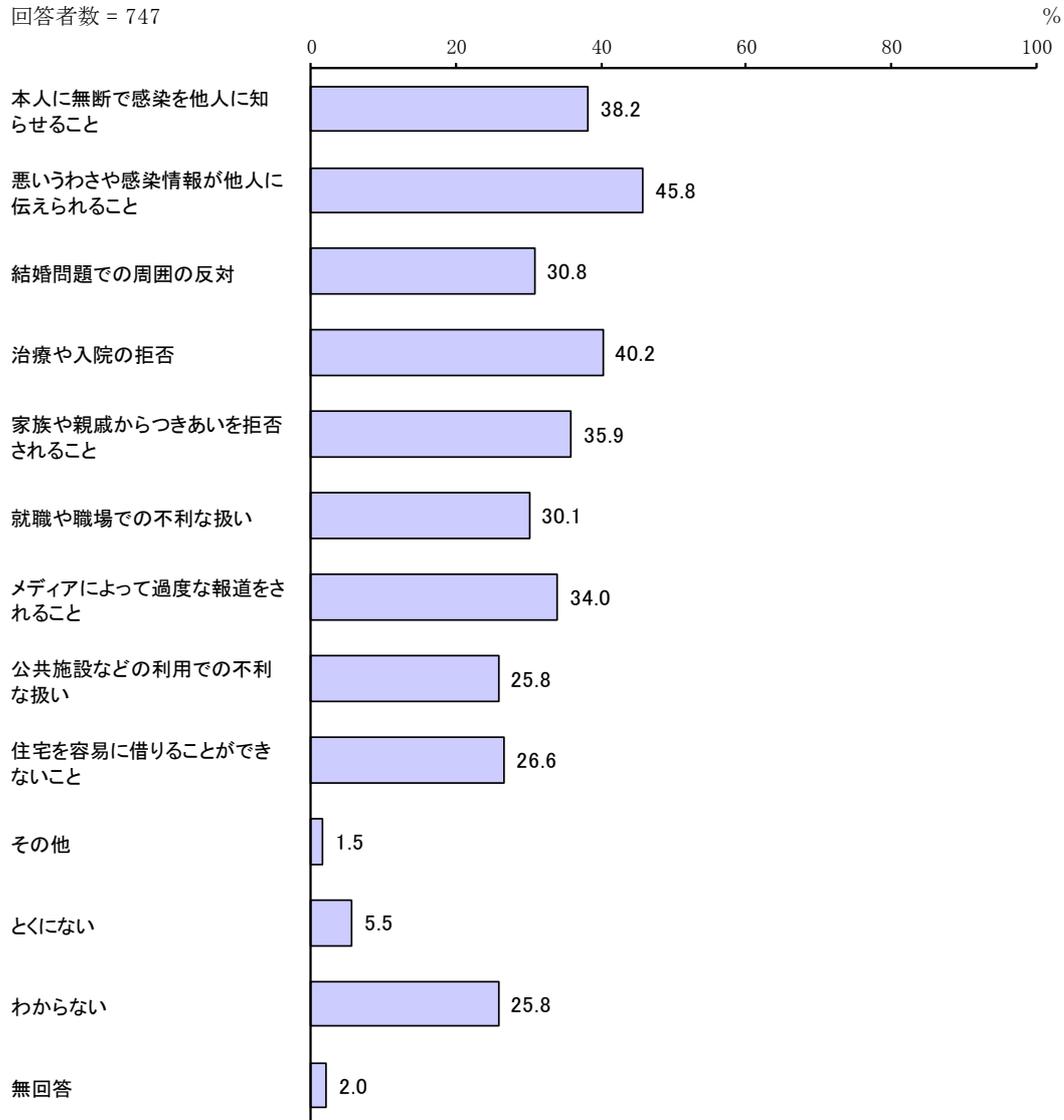
※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

【参考 平成 18 年度調査】

平成 18 年度調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

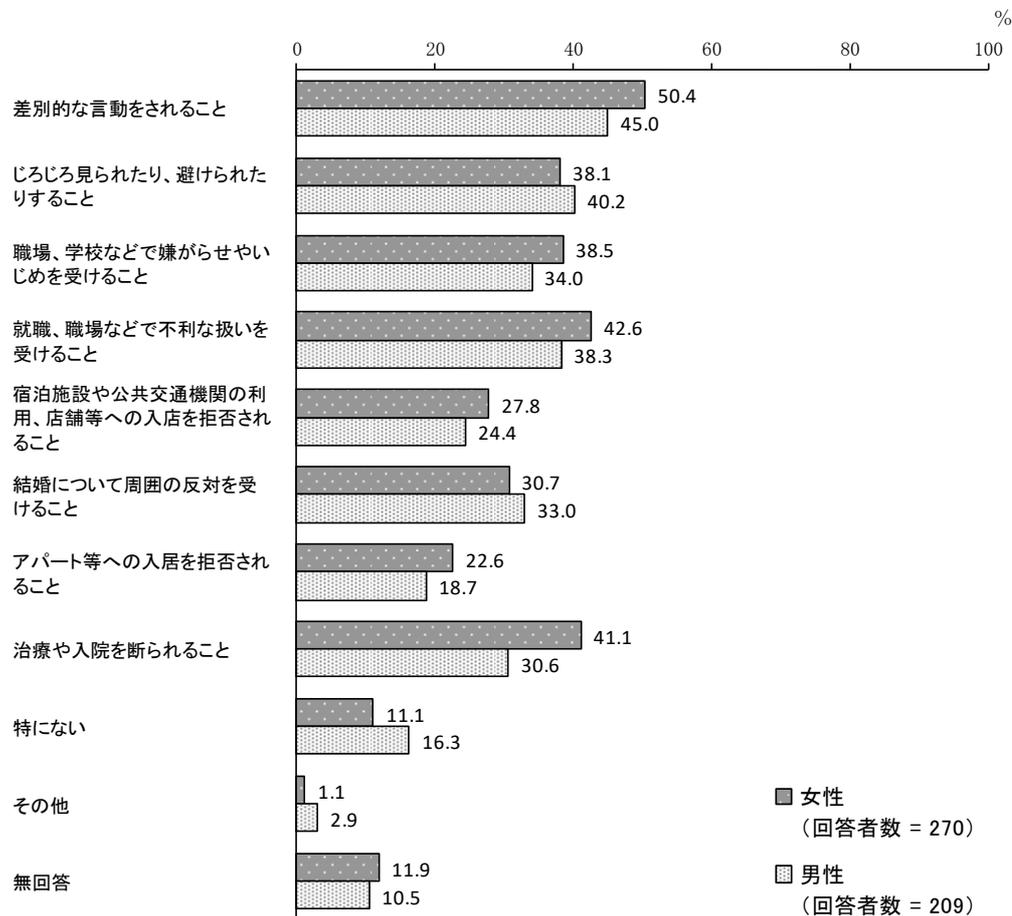
回答者数 = 747



問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

【性別】

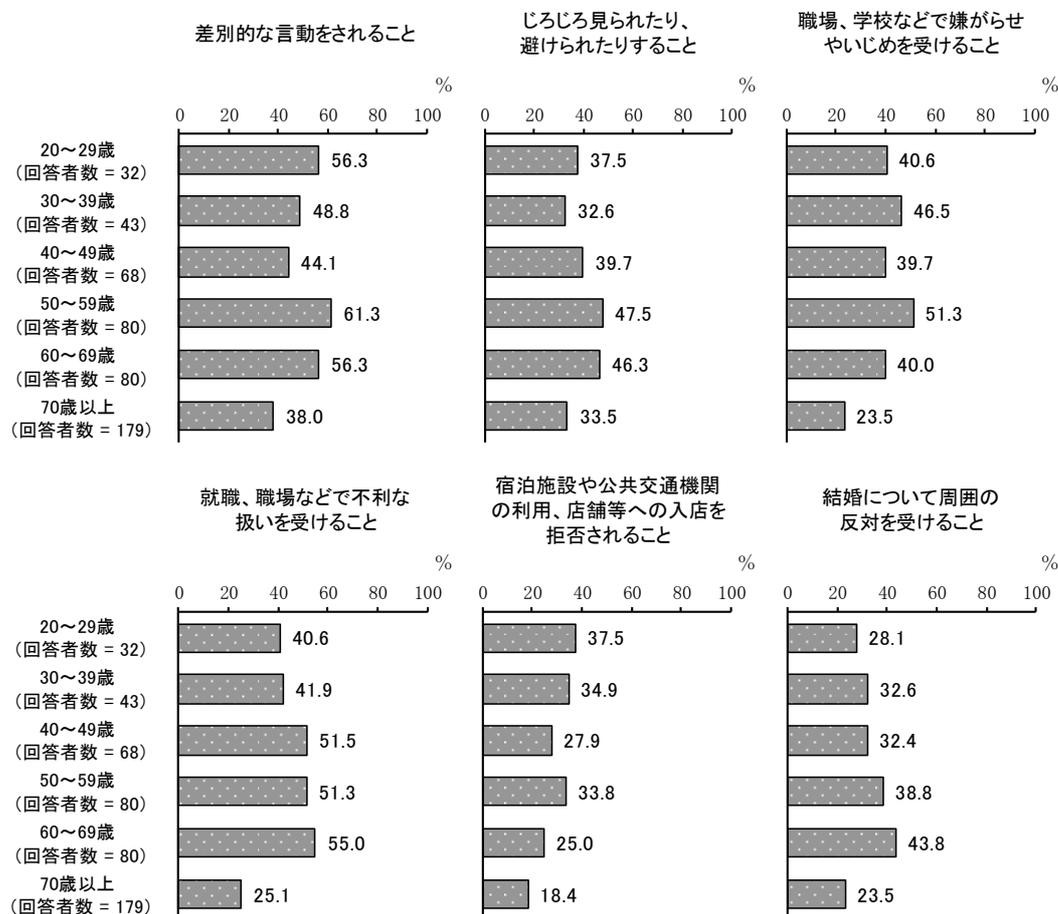
性別でみると、男性に比べ、女性で「差別的な言動をされること」「治療や入院を断られること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「特にない」の割合が高くなっています。

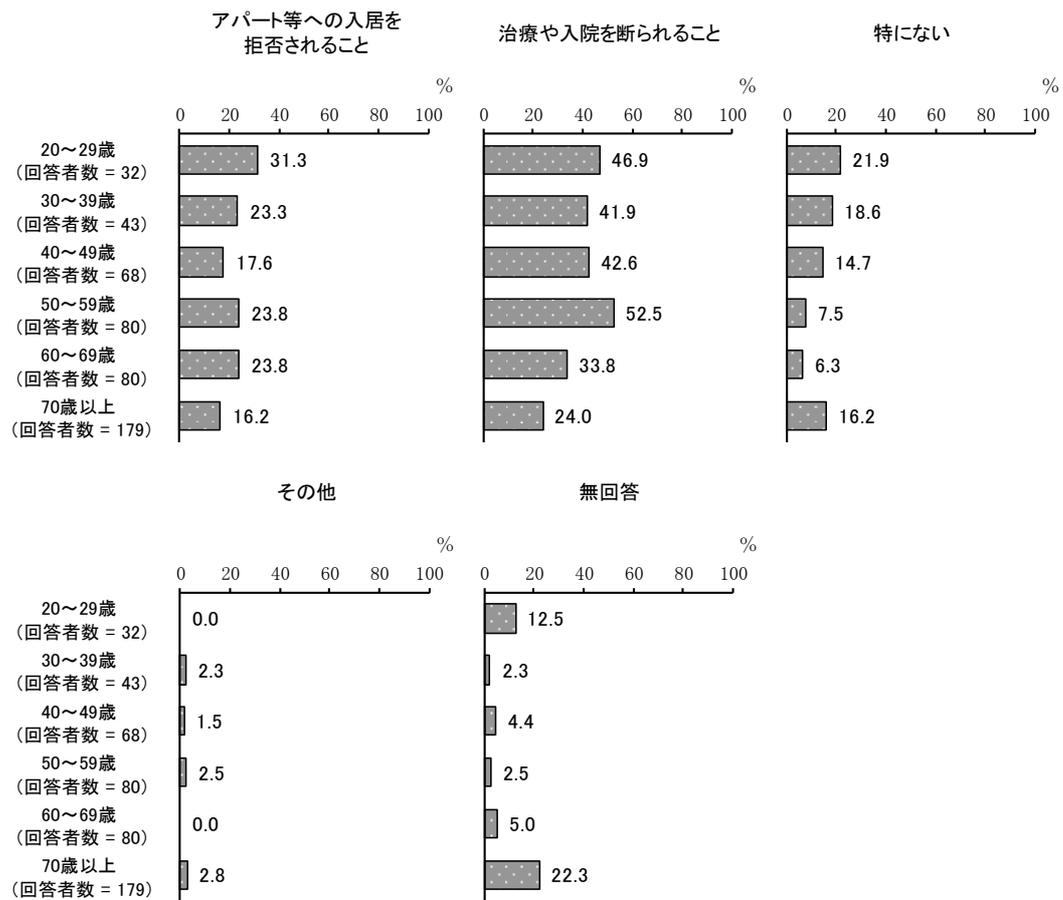


問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50～59歳で「差別的な言動をされること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「治療や入院を断られること」の割合が、60～69歳で「就職、職場などで不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。

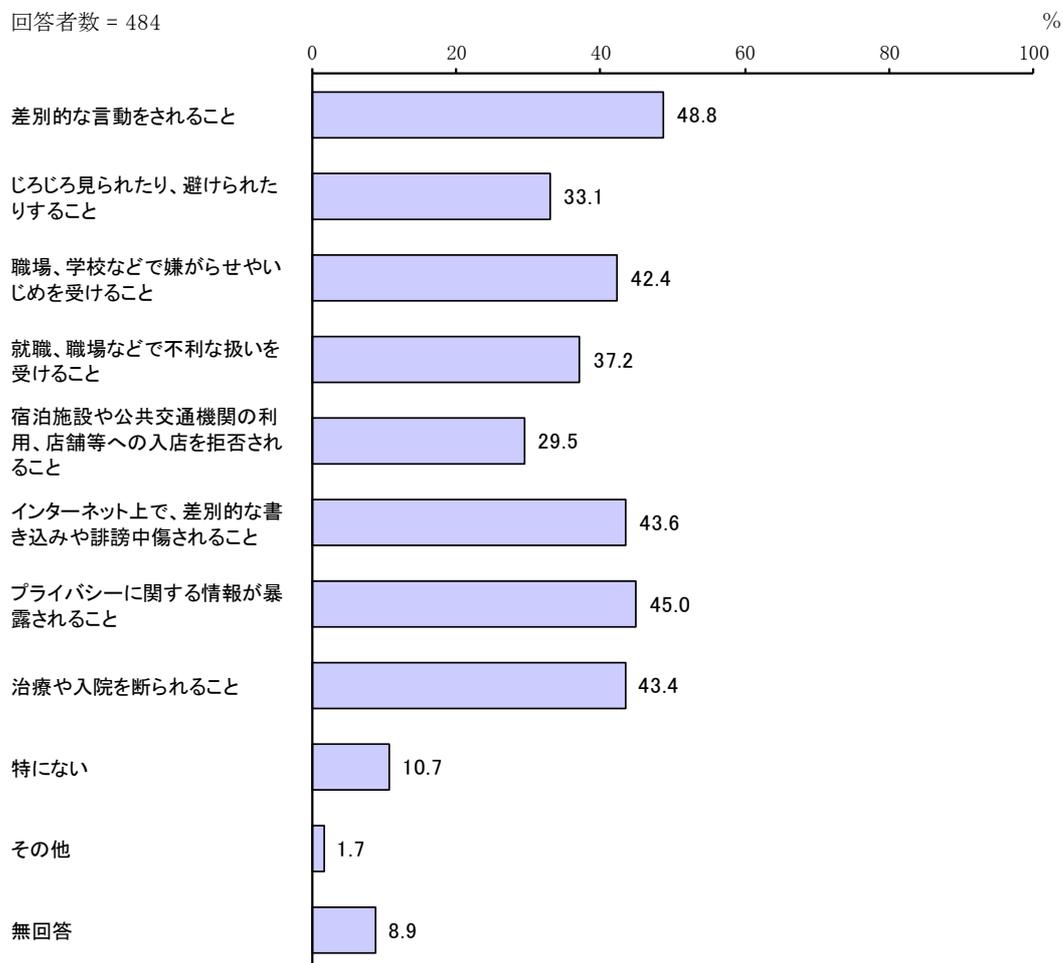




問 24 新型コロナウイルス感染症の患者や回復者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

「差別的な言動をされること」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が暴露されること」の割合が 45.0%、「インターネット上で、差別的な書き込みや誹謗中傷されること」の割合が 43.6%となっています。

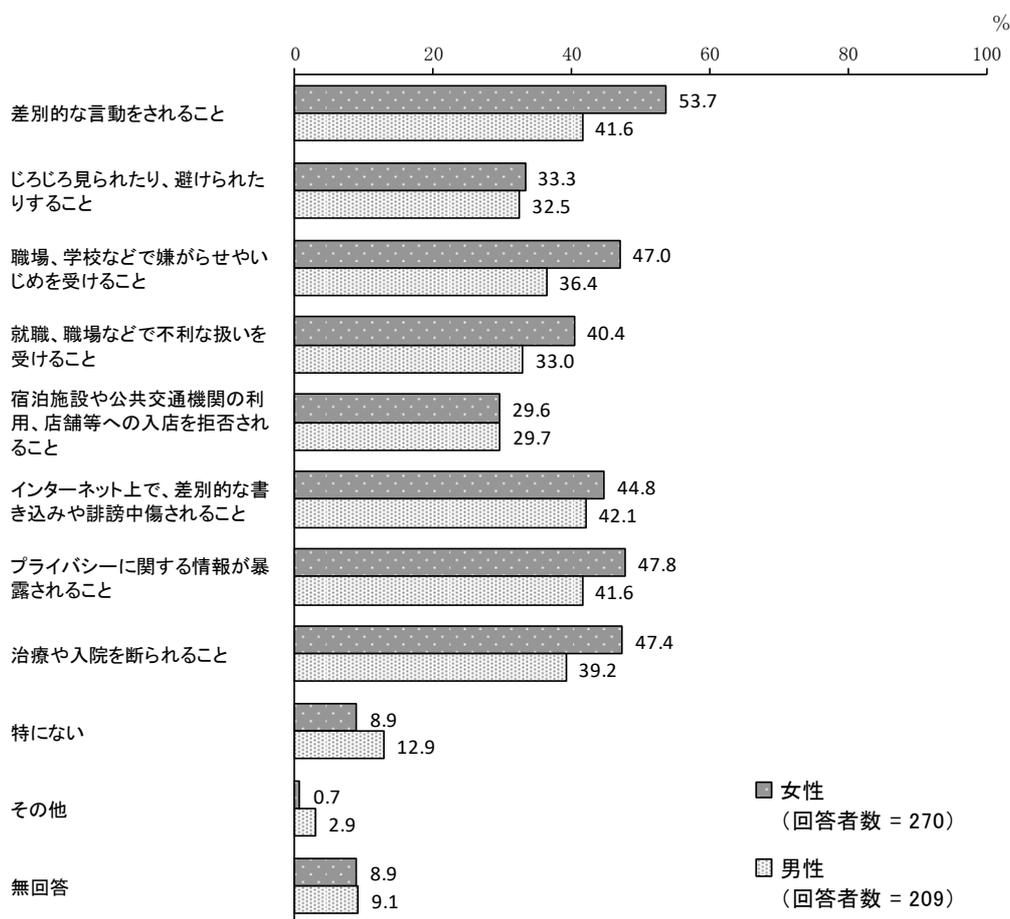
回答者数 = 484



問 24 新型コロナウイルス感染症の患者や回復者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

【性別】

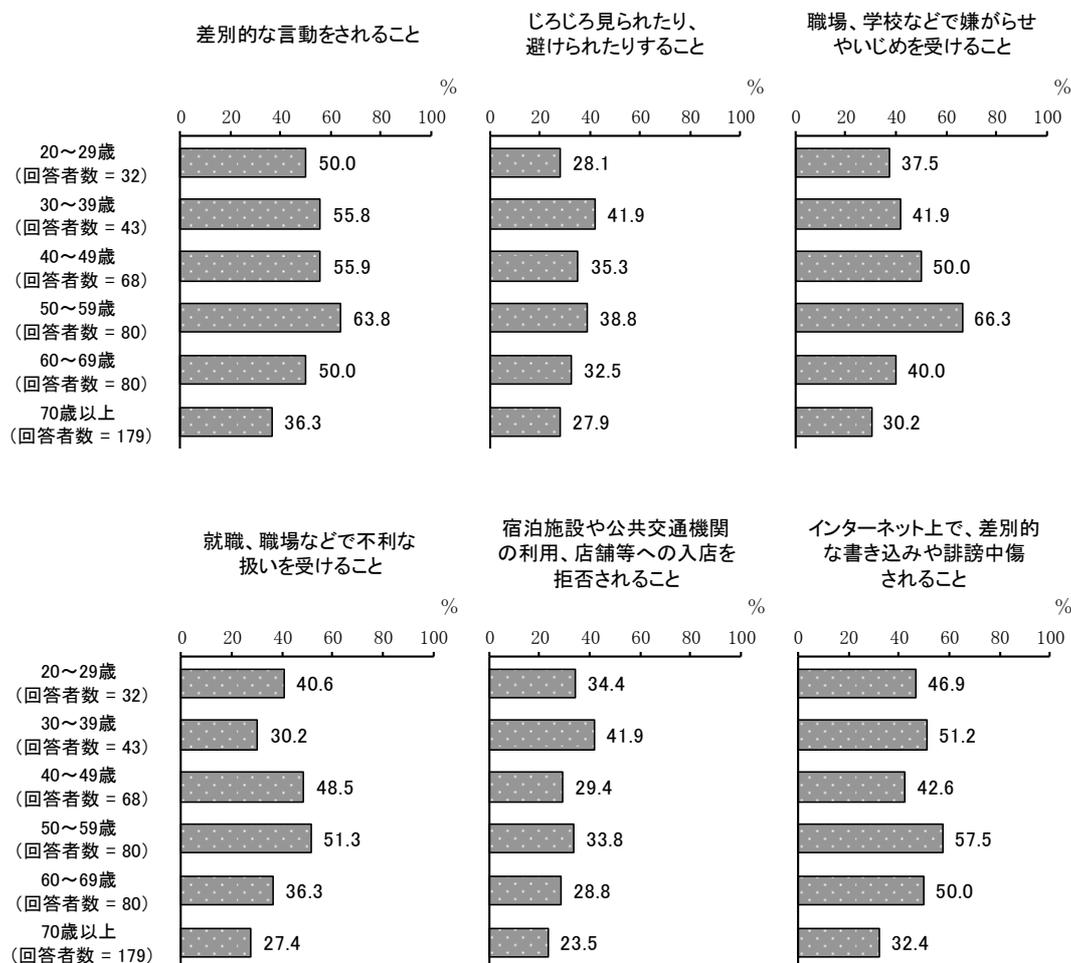
性別でみると、男性に比べ、女性で「差別的な言動をされること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」「就職、職場などで不利な扱いを受けること」「プライバシーに関する情報が暴露されること」「治療や入院を断られること」の割合が高くなっています。

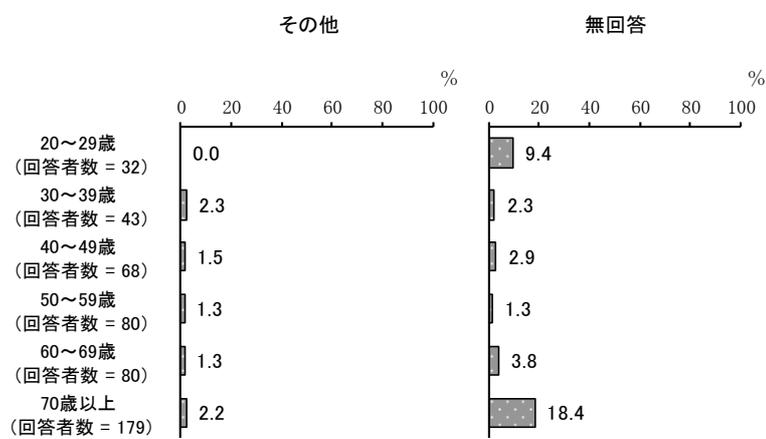
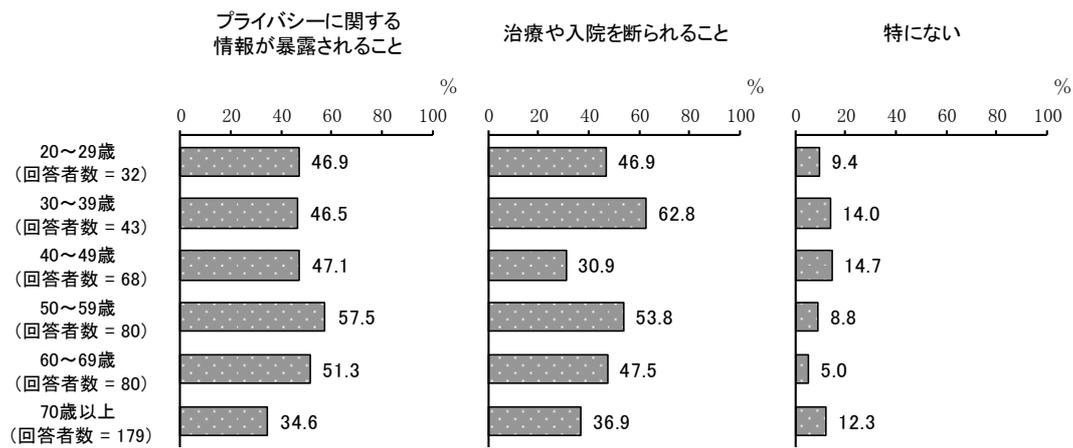


問 24 新型コロナウイルス感染症の患者や回復者の人権に関して、どのような人権課題
があると思いますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～39歳で「治療や入院を断られること」の割合が、50～59歳で「差別的な言動をされること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」の割合が高くなっています。



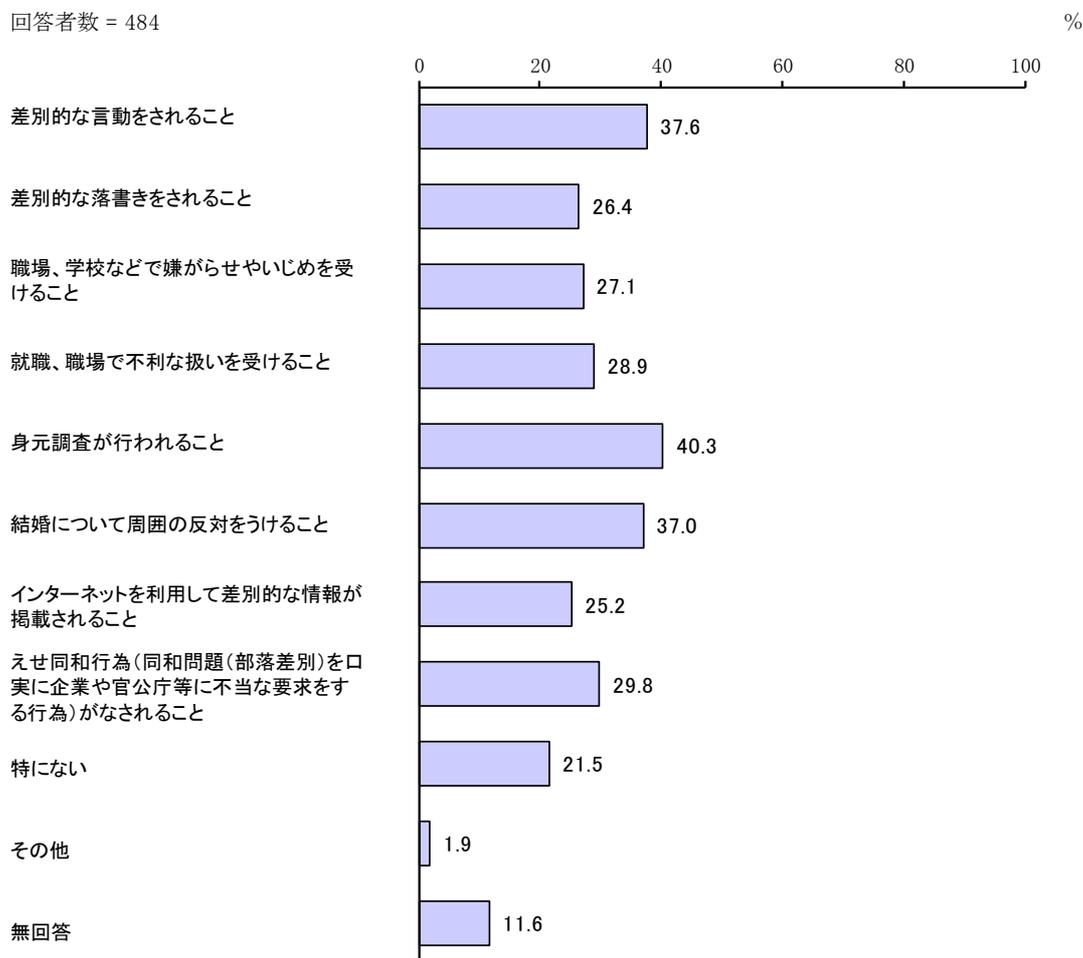


(12) 部落差別等の同和問題について

問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「身元調査が行われること」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」の割合が 37.6%、「結婚について周囲の反対をうけること」の割合が 37.0%となっています。

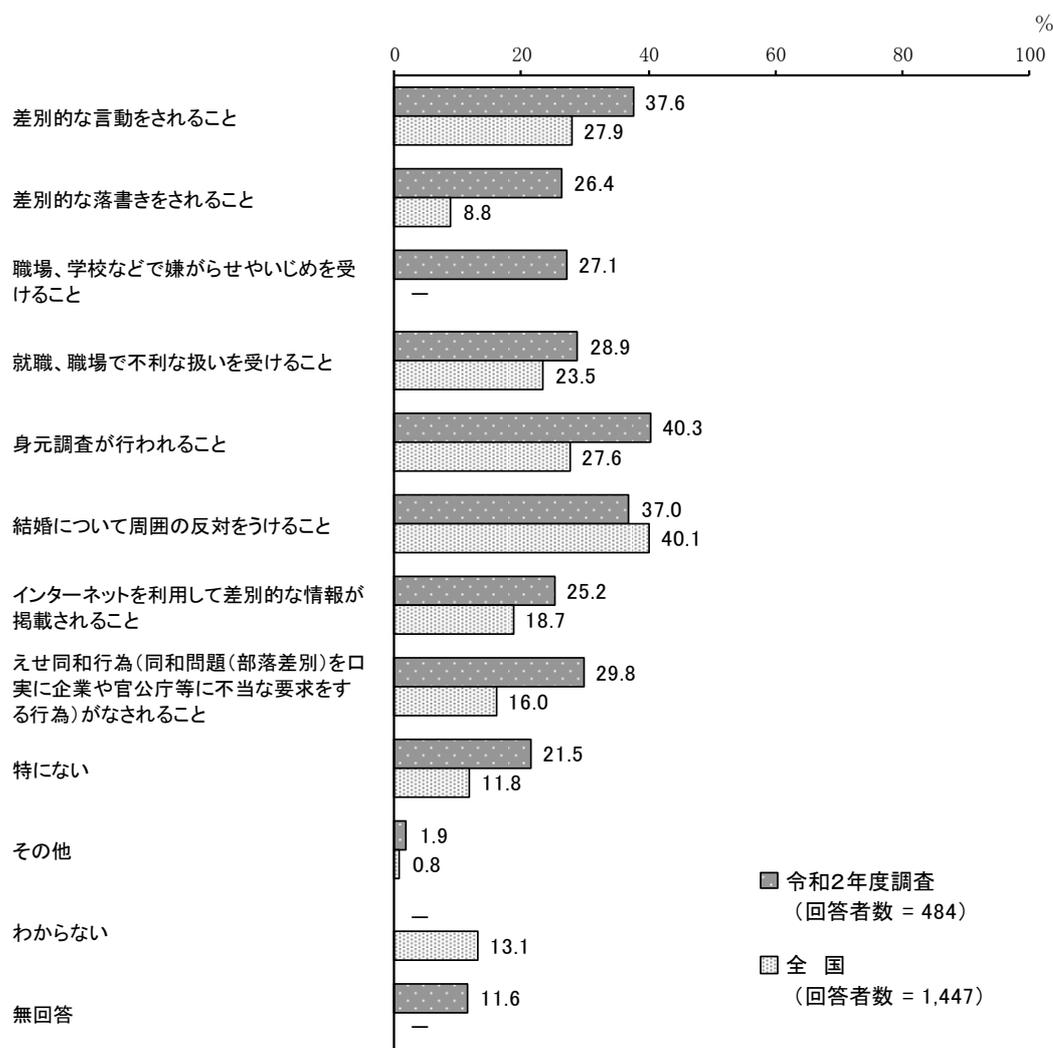
回答者数 = 484



問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「差別的な言動をされること」「差別的な落書きをされること」「就職、職場で不利な扱いを受けること」「身元調査が行われること」「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」「えせ同和行為（同和问题（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）がなされること」「特にない」の割合が高くなっています。



※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

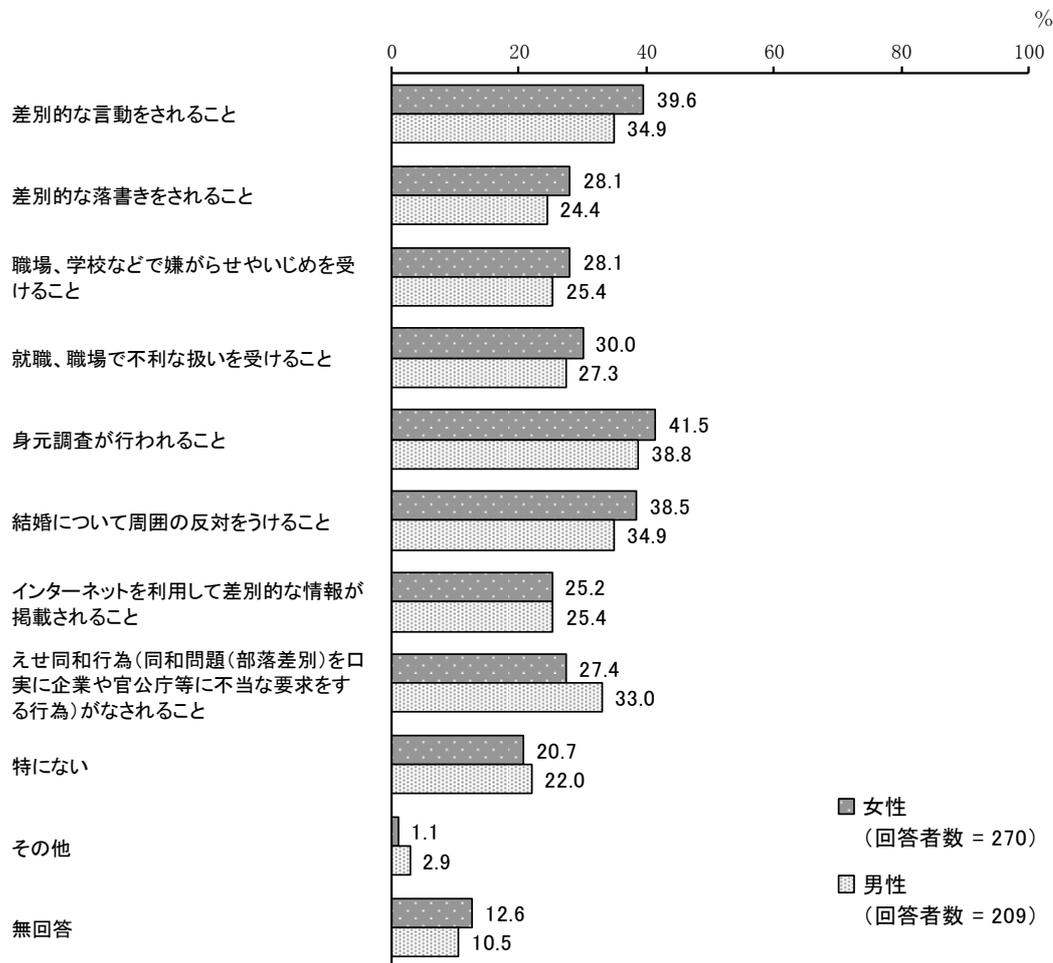
※全国調査では、「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」の選択肢はありません。

また、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

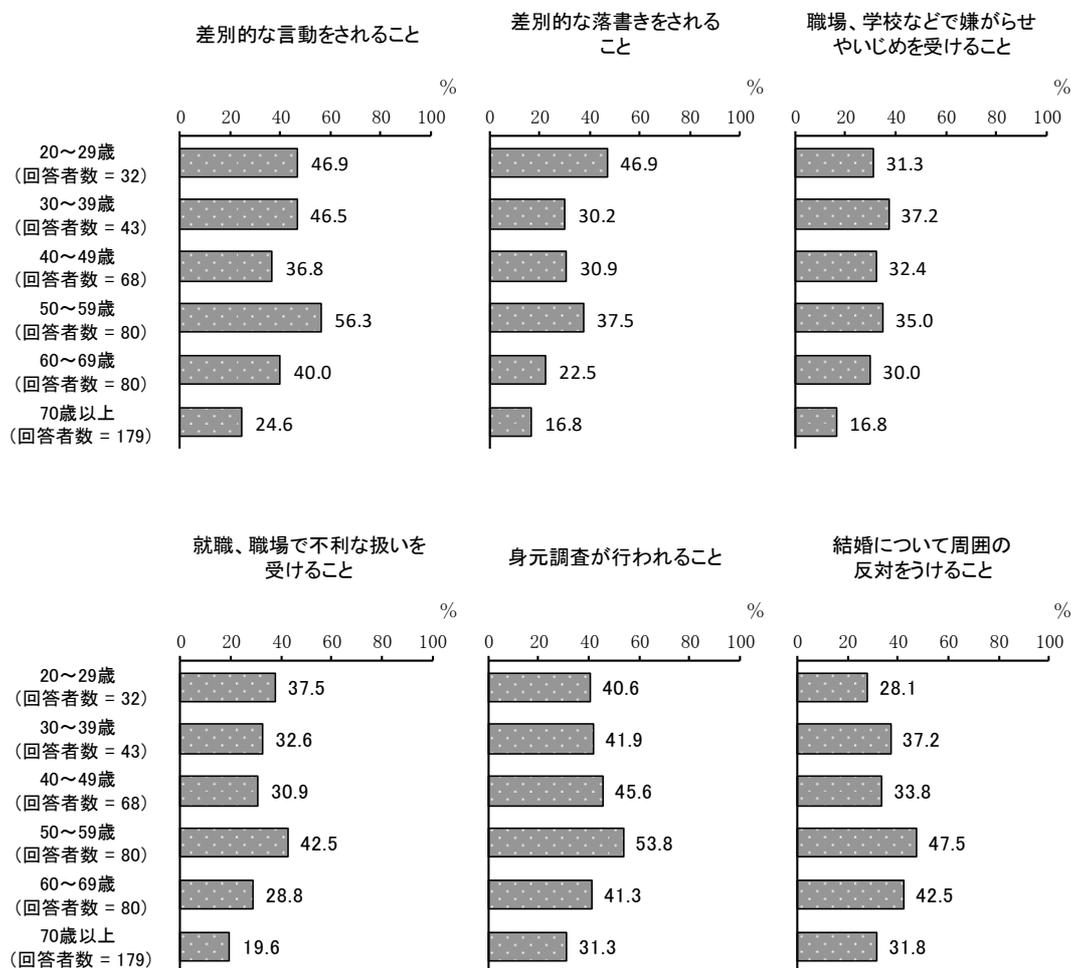
性別でみると、女性に比べ、男性で「えせ同和行為（同和問題（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）がなされること」の割合が高くなっています。

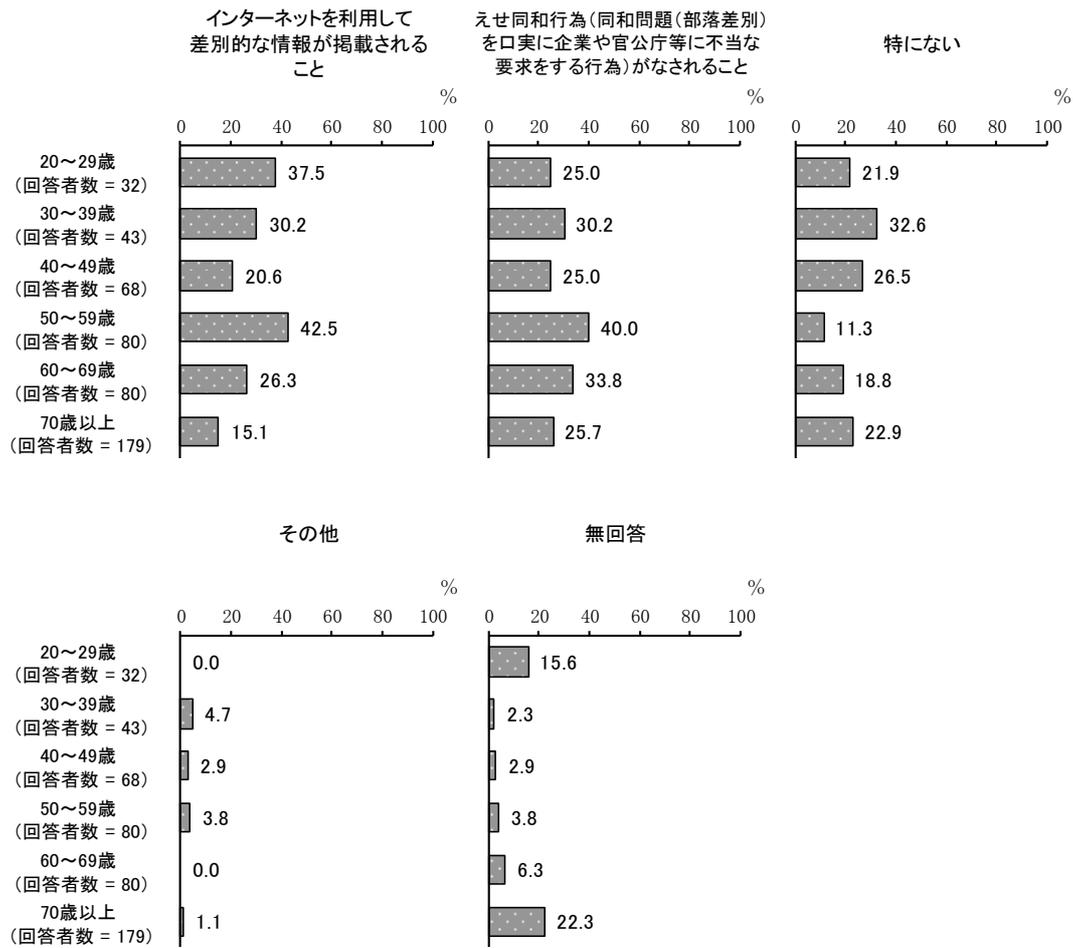


問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

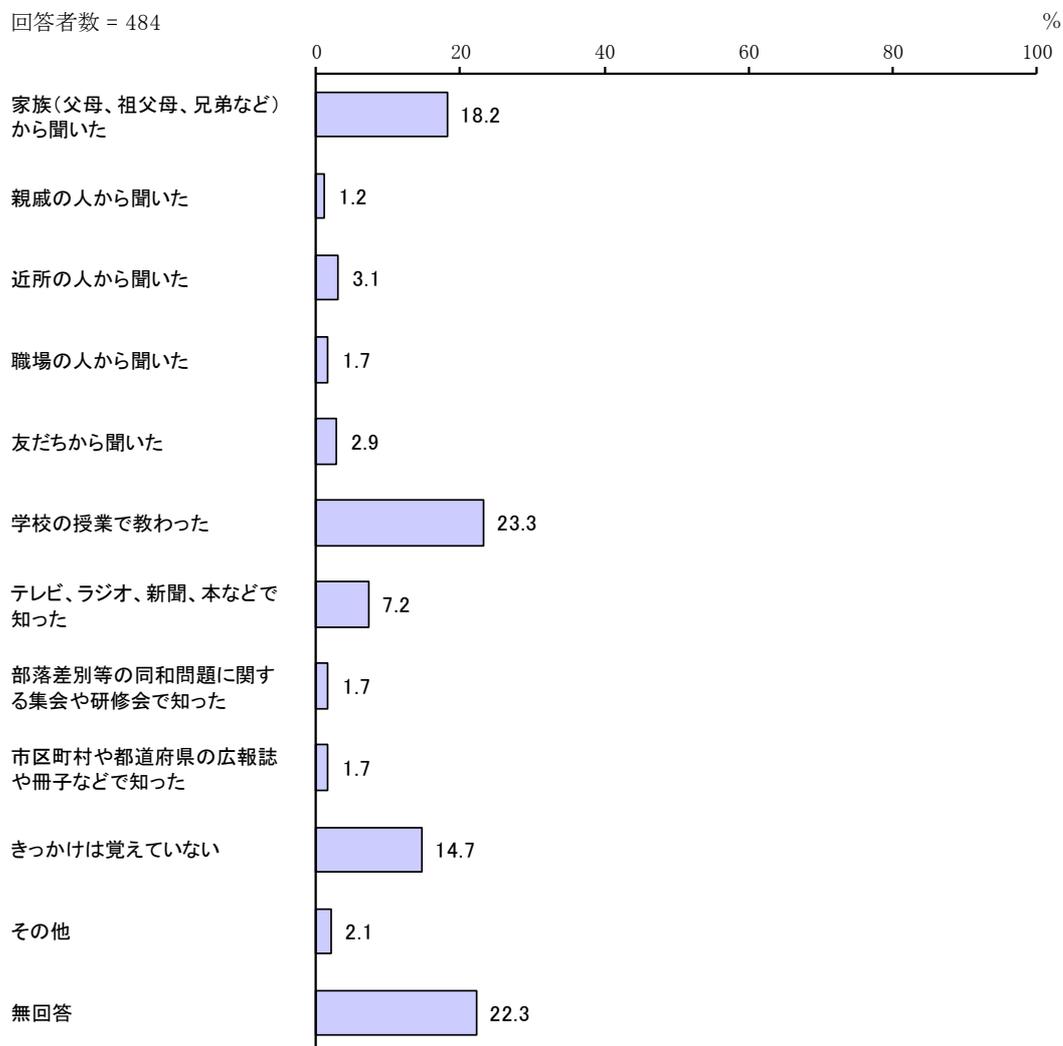
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「差別的な落書きをされること」の割合が、50～59歳で「差別的な言動をされること」の割合が高くなっています。





問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。
(○は1つ)

「学校の授業で教わった」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「家族（父母、祖父母、兄弟など）から聞いた」の割合が 18.2%、「きっかけは覚えていない」の割合が 14.7%となっています。

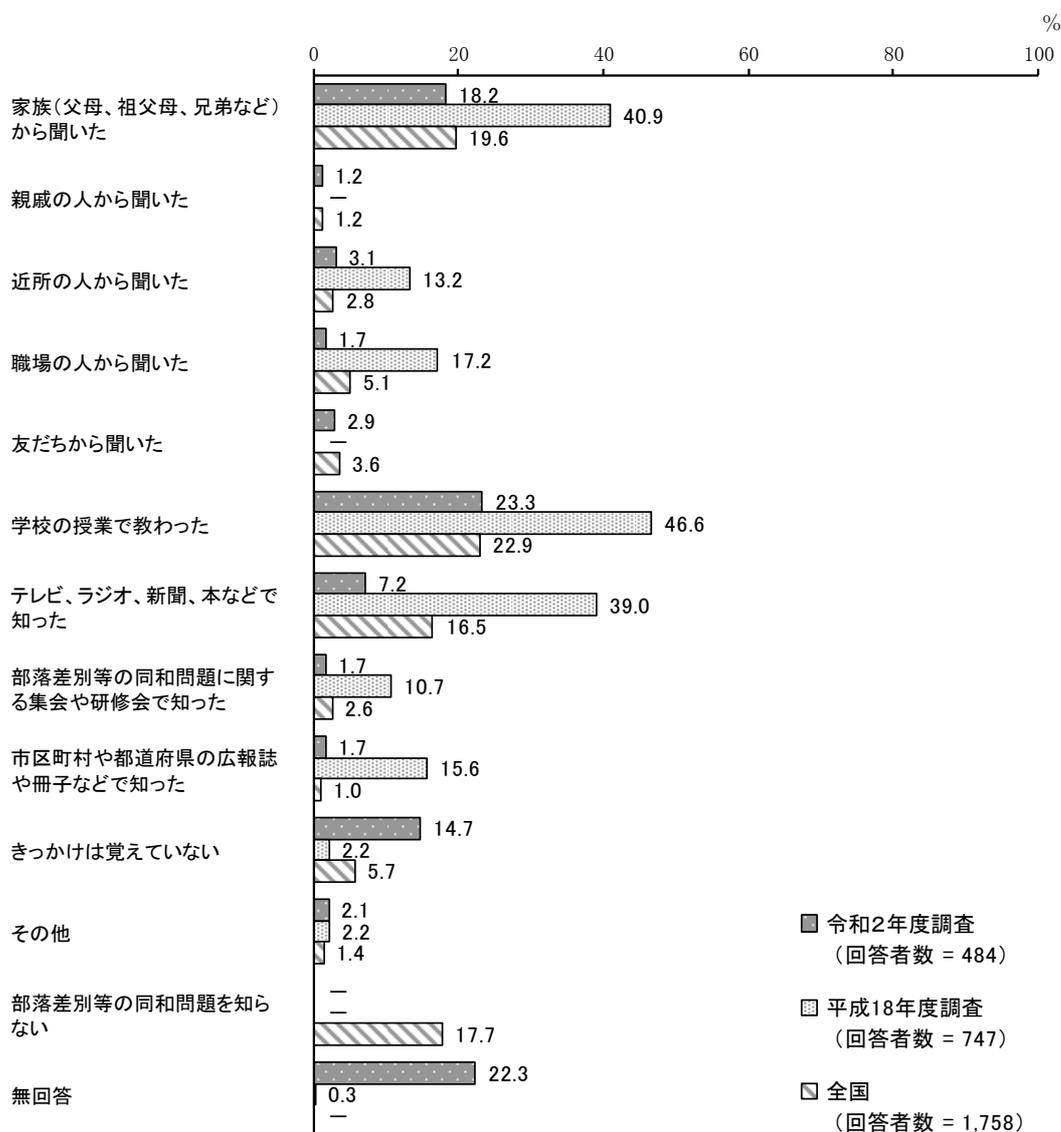


問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。
(○は1つ)

【平成 18 年度調査・全国調査との比較】

平成 18 年度調査と比較すると、「きっかけは覚えていない」の割合が高くなっています。一方、「家族（父母、祖父母、兄弟など）から聞いた」「近所の人から聞いた」「職場の人から聞いた」「学校の授業で教わった」「テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った」「部落差別等の同和問題に関する集会や研修会で知った」「市区町村や都道府県の広報誌や冊子などで知った」の割合が低くなっています。

全国と比較すると、「きっかけは覚えていない」の割合が高くなっています。一方、「テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った」の割合が低くなっています。



※令和 2 年度調査では、「部落差別等の同和問題を知らない」の選択肢はありません。

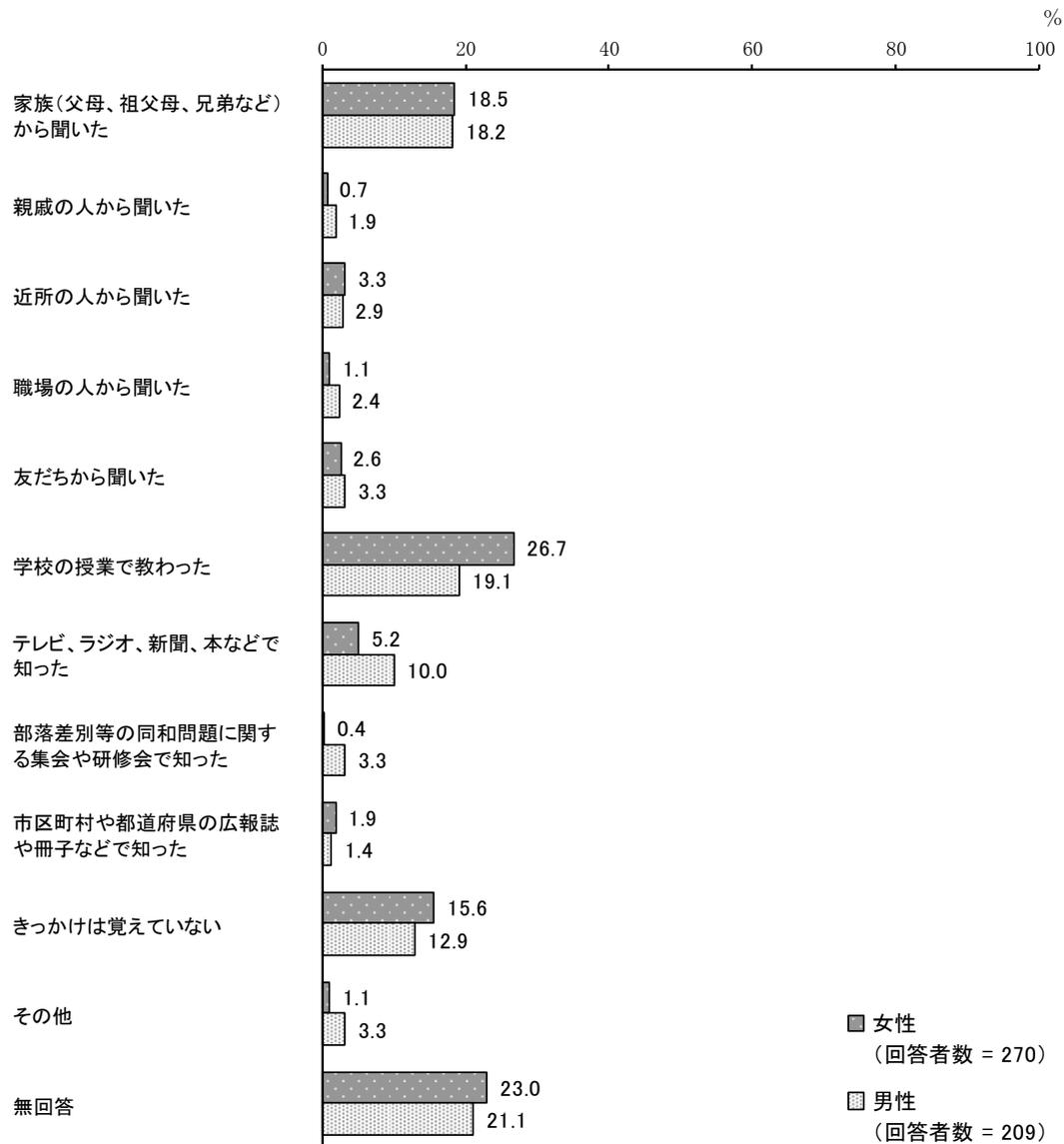
※平成 18 年度調査では、「親戚の人から聞いた」「友だちから聞いた」「部落差別等の同和問題を知らない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「部落差別等の同和問題を知らない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。
(○は1つ)

【性別】

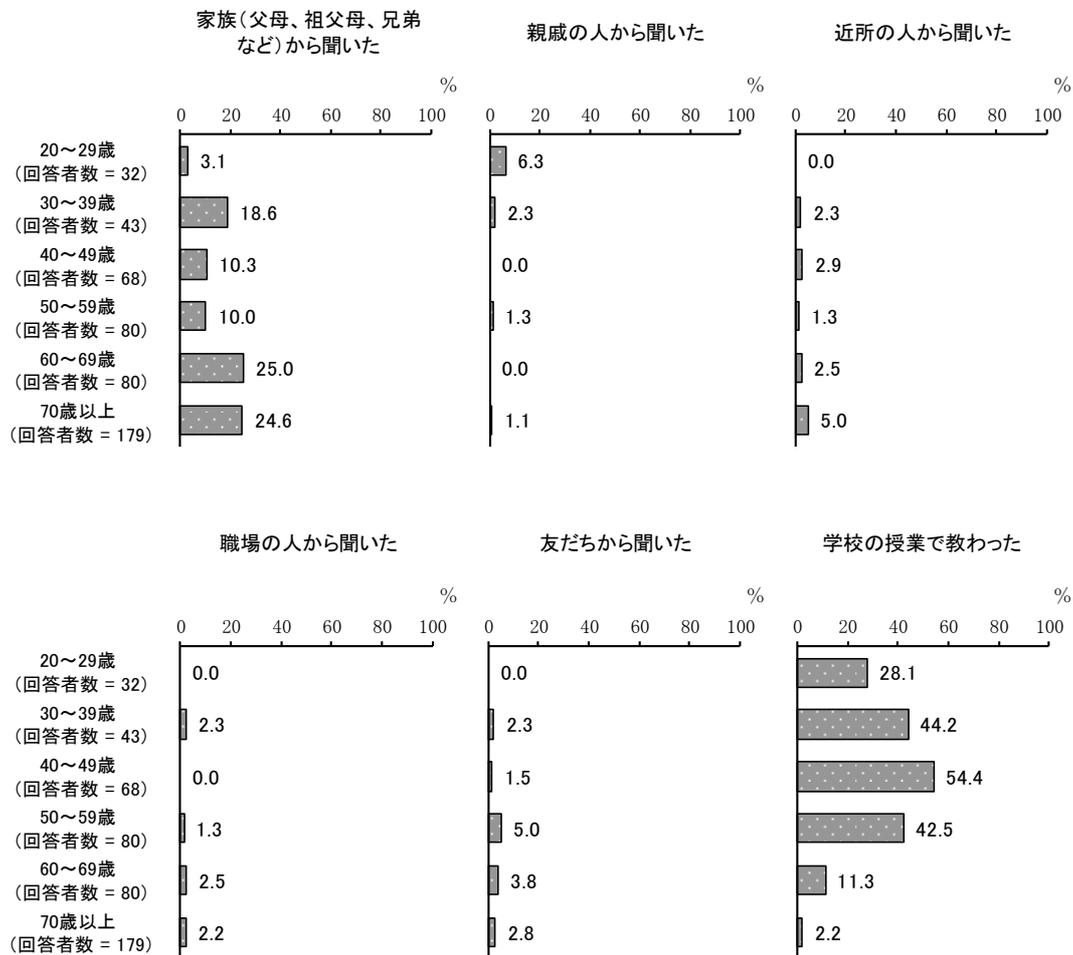
性別でみると、男性に比べ、女性で「学校の授業で教わった」の割合が高くなっています。

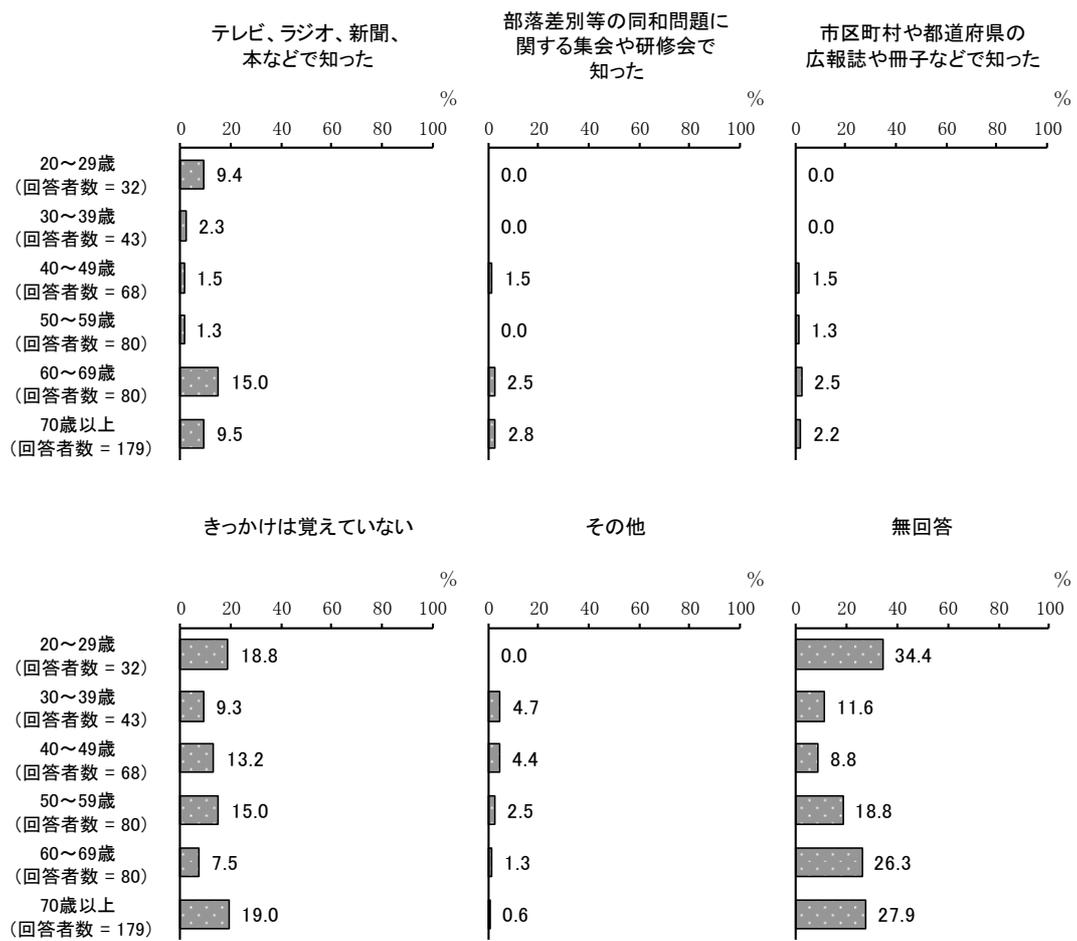


問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。
(○は1つ)

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40～49歳で「学校の授業で教わった」の割合が、60～69歳、70歳以上で「家族（父母、祖父母、兄弟など）から聞いた」の割合が高くなっています。

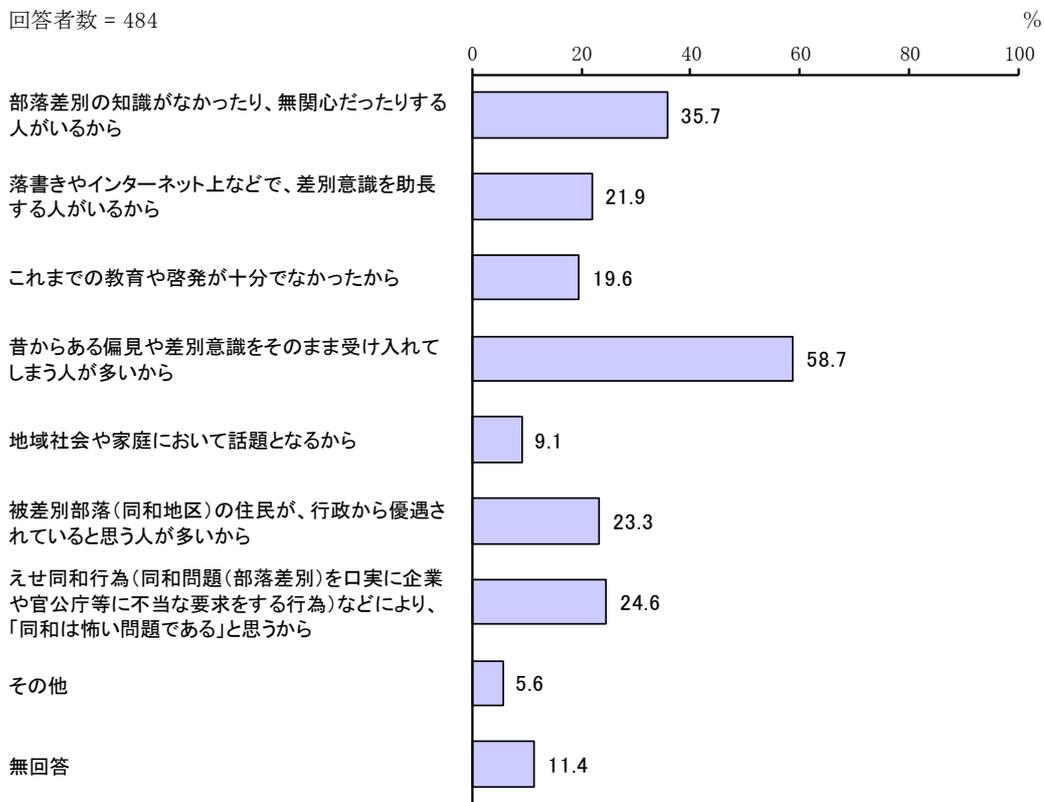




問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

「昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人が多いから」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」の割合が 35.7%、「えせ同和行為(同和问题(部落差別))を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)などにより、「同和は怖い問題である」と思うから」の割合が 24.6%となっています。

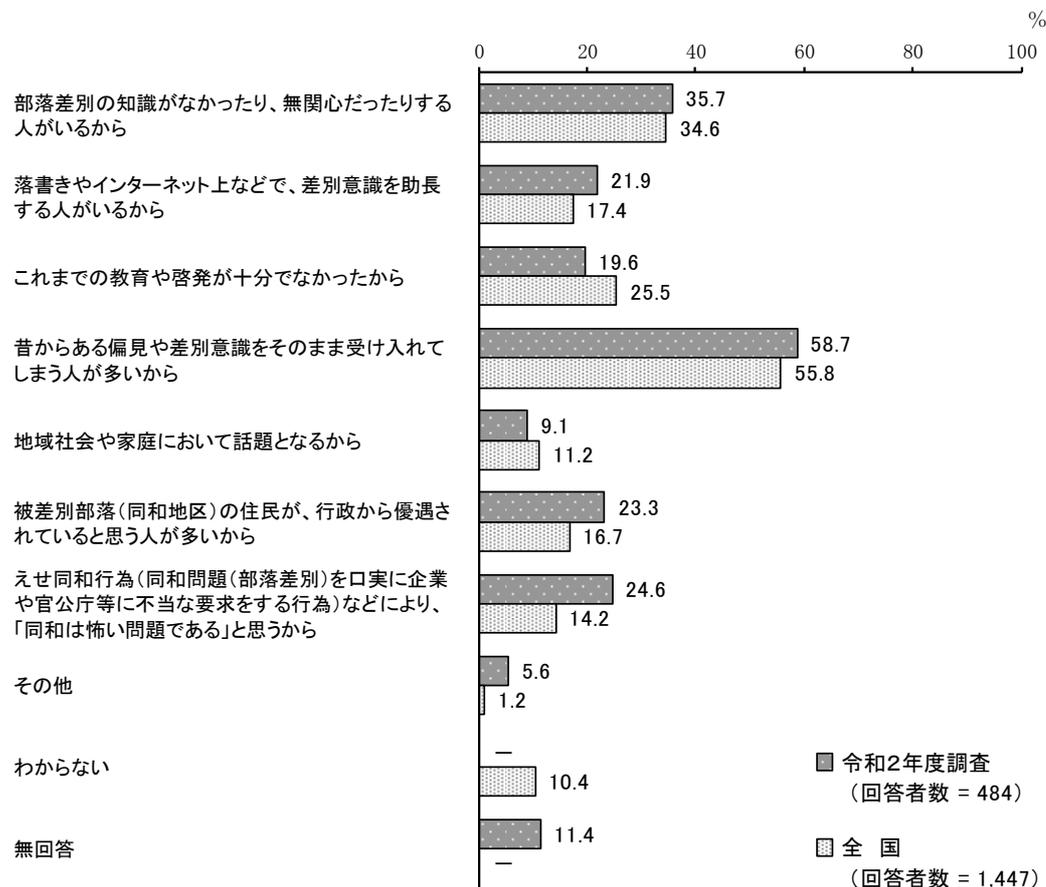
回答者数 = 484



問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「被差別部落（同和地区）の住民が、行政から優遇されていると思う人が多いから」「えせ同和行為（同和问题（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）などにより、「同和は怖い問題である」と思うから」の割合が高くなっています。一方、「これまでの教育や啓発が十分でなかったから」の割合が低くなっています。



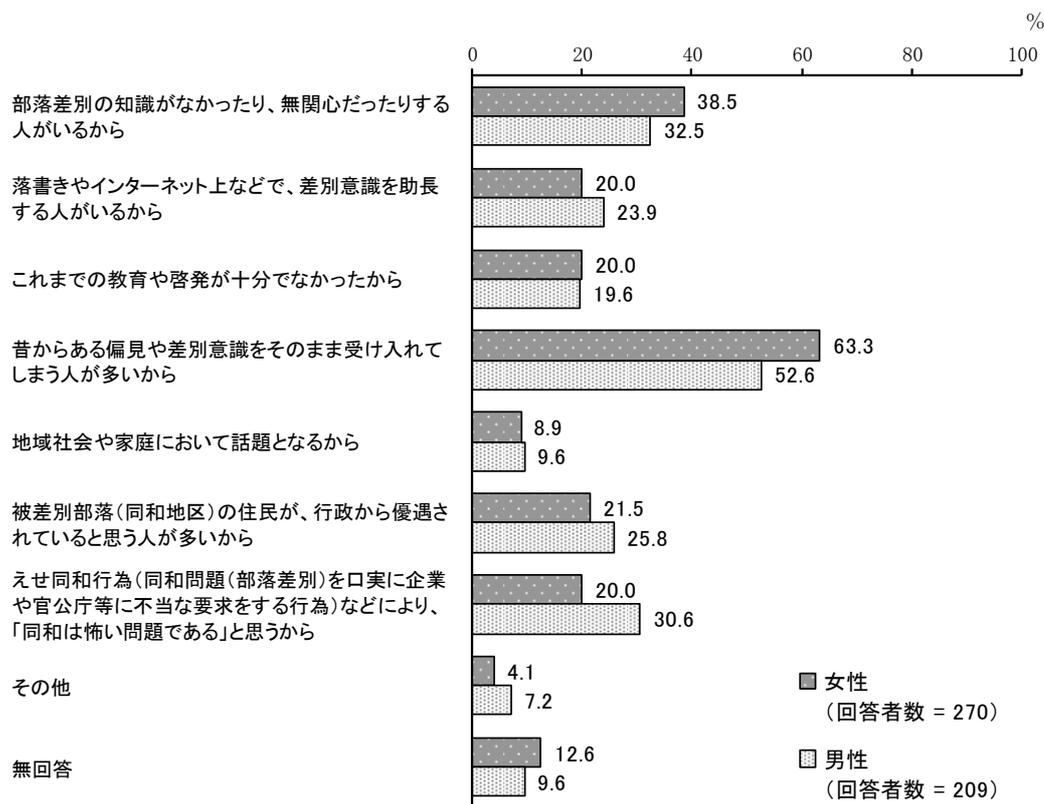
※令和2年度調査では、「わからない」の選択肢はありません。

※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

【性別】

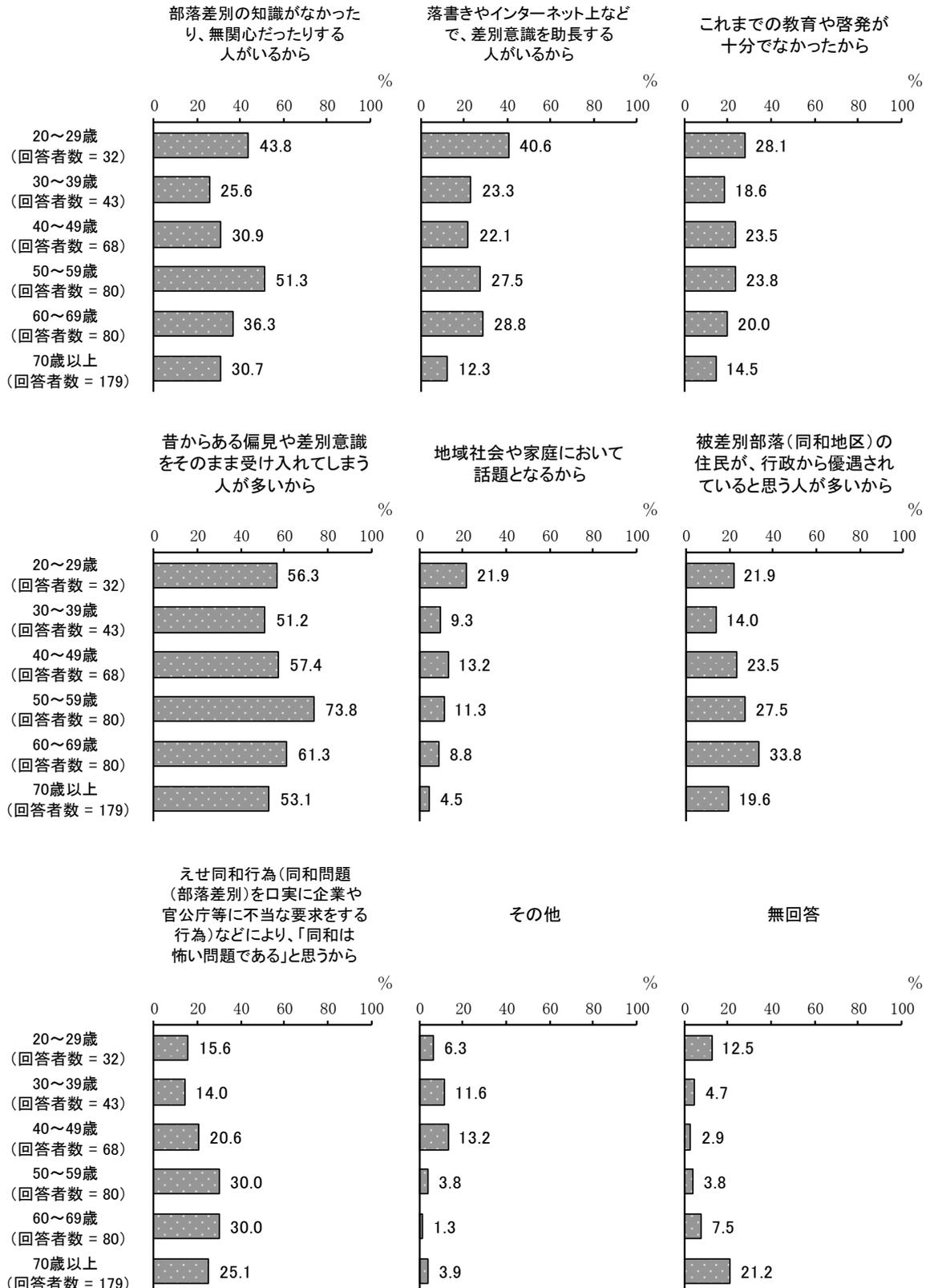
性別でみると、男性に比べ、女性で「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」「昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人が多いから」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「えせ同和行為（同和問題（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）などにより、「同和は怖い問題である」と思うから」の割合が高くなっています。



問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

【年齢別】

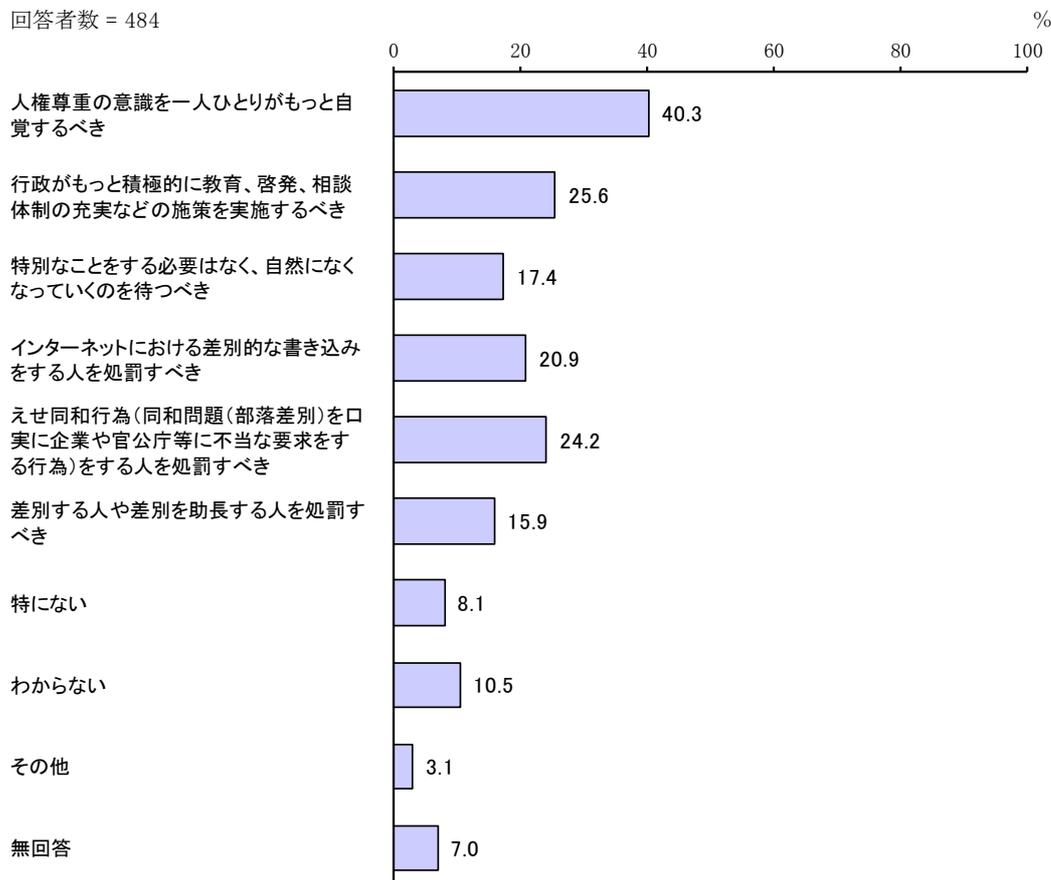
年齢別でみると、すべての年齢で「昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人が多いから」の割合が最も高くなっています。



問 28 部落差別等の同和問題を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「行政がもっと積極的に教育、啓発、相談体制の充実などの施策を実施すべき」の割合が 25.6%、「えせ同和行為（同和問題（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）をする人を処罰すべき」の割合が 24.2%となっています。

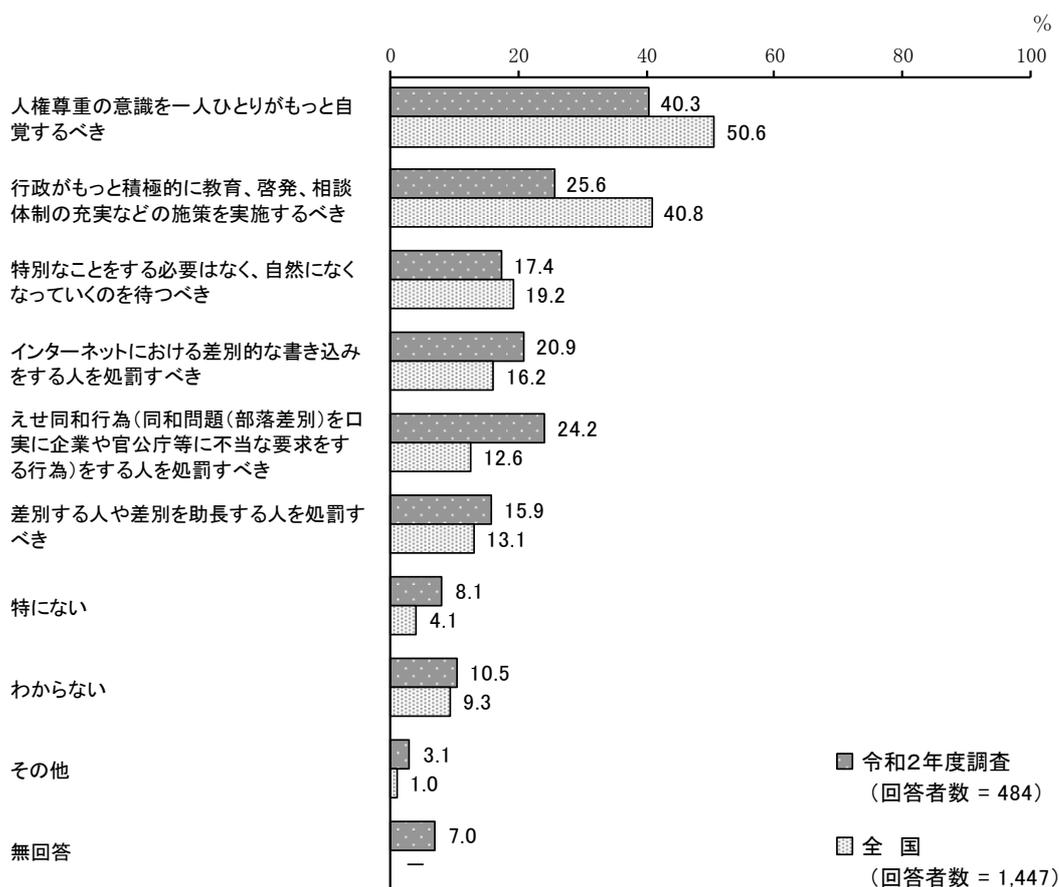
回答者数 = 484



問 28 部落差別等の同和問題を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

【全国調査との比較】

全国と比較すると、「えせ同和行為（同和問題（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）をする人を処罰すべき」の割合が高くなっています。一方、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」「行政がもっと積極的に教育、啓発、相談体制の充実などの施策を実施すべき」の割合が低くなっています。

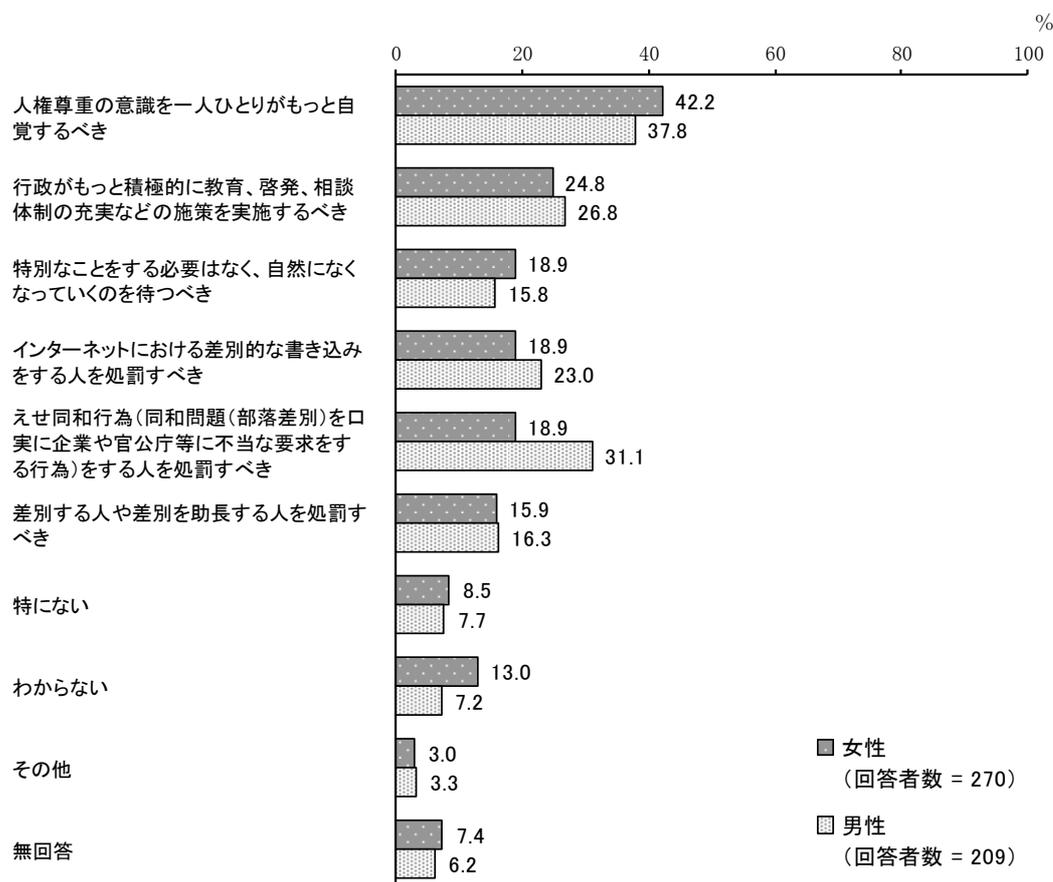


※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

問 28 部落差別等の同和問題を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

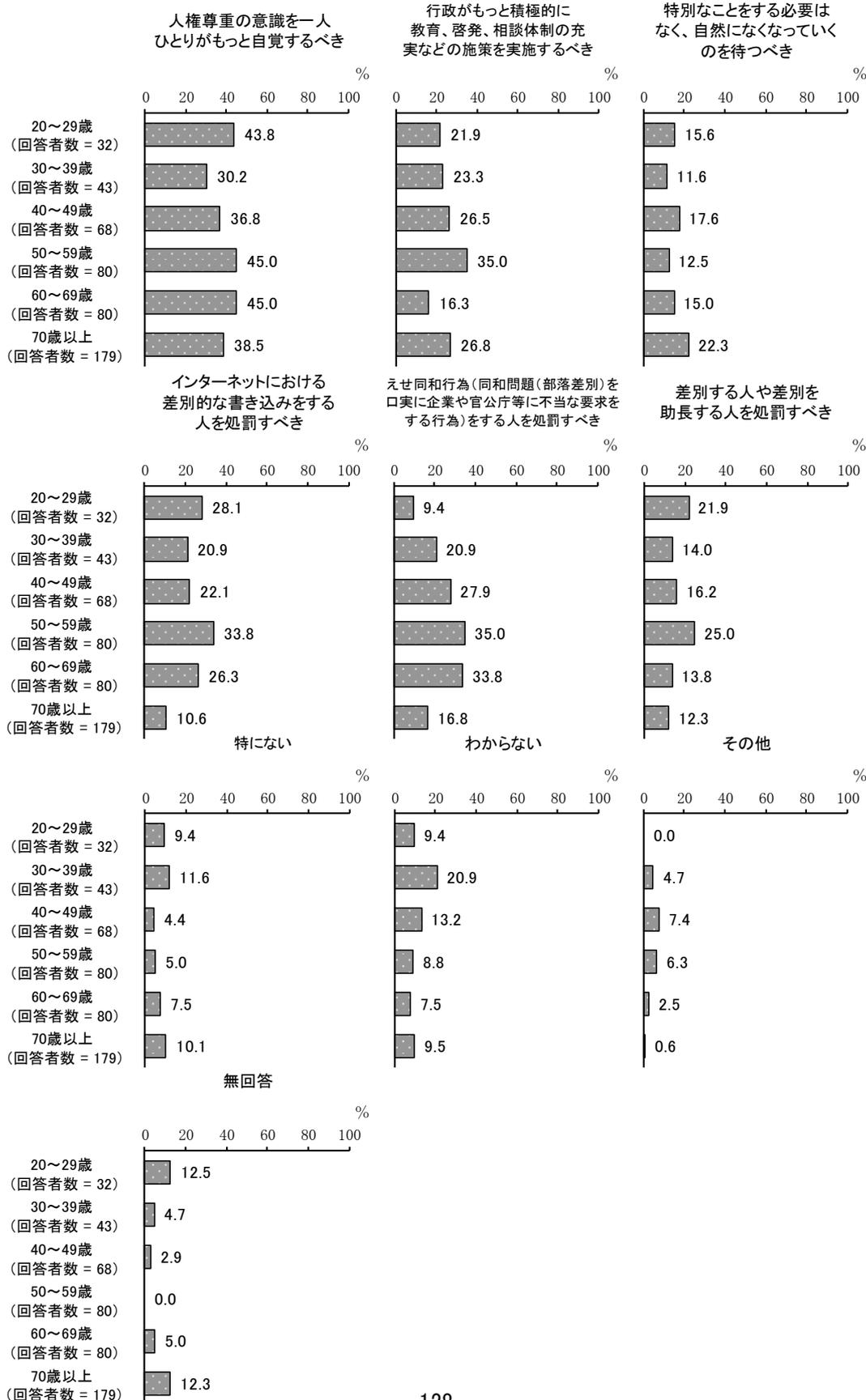
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「えせ同和行為（同和問題（部落差別）を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為）をする人を処罰すべき」の割合が高くなっています。



問 28 部落差別等の同和問題を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

【年齢別】

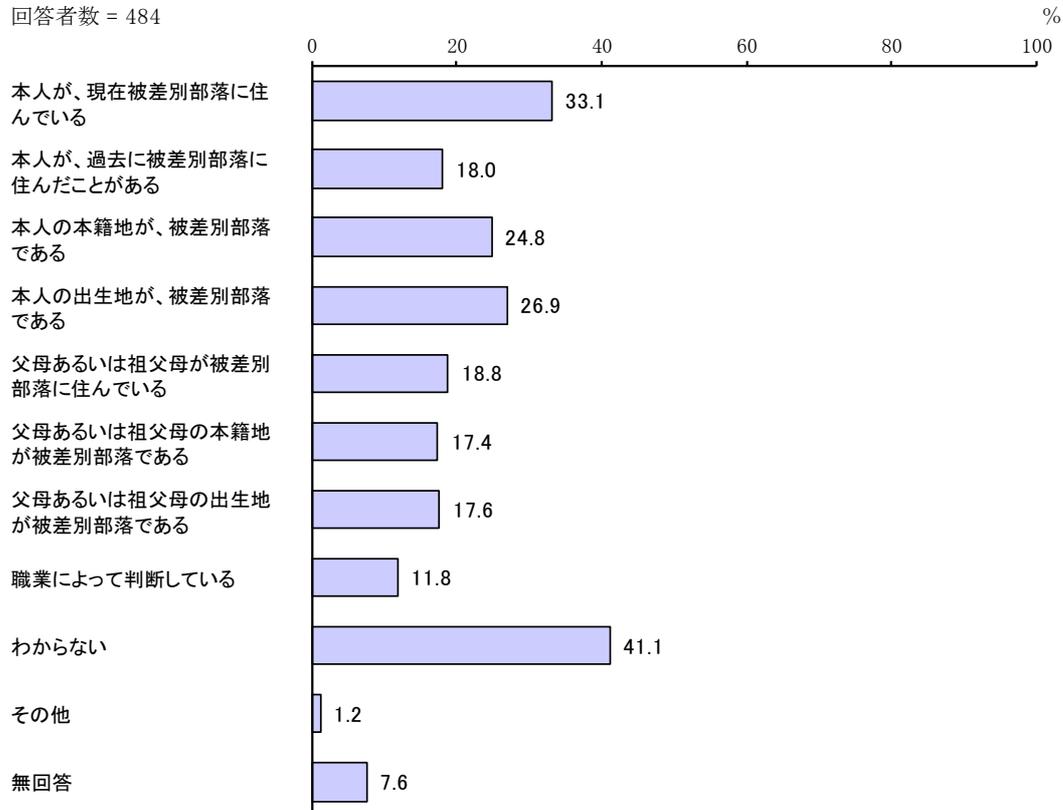
年齢別でみると、すべての年齢で「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」の割合が最も高くなっています。



問 29 世間では、どのようなことで被差別部落出身者と判断していると思いますか。
(〇はいくつでも)

「わからない」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「本人が、現在被差別部落に住んでいる」の割合が 33.1%、「本人の出生地が、被差別部落である」の割合が 26.9%となっています。

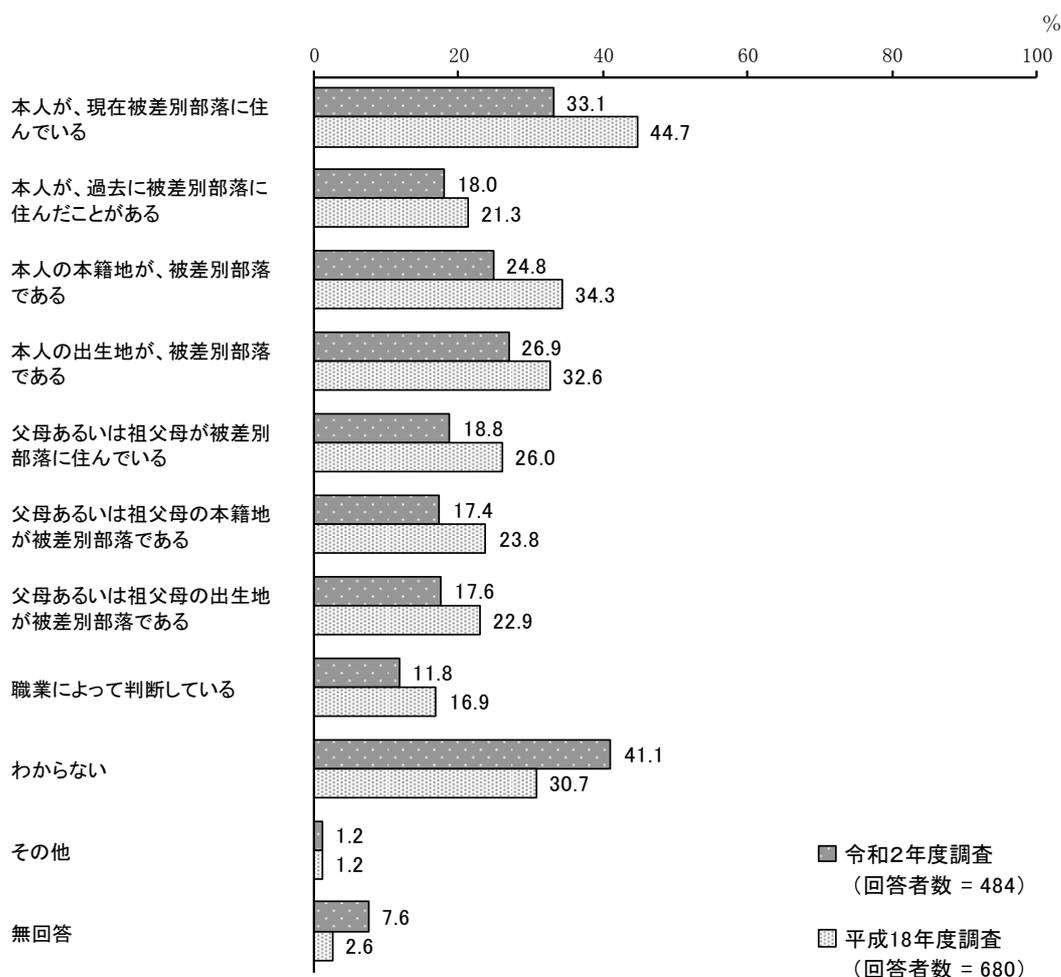
回答者数 = 484



問 29 世間では、どのようなことで被差別部落出身者と判断していると思いますか。
(〇はいくつでも)

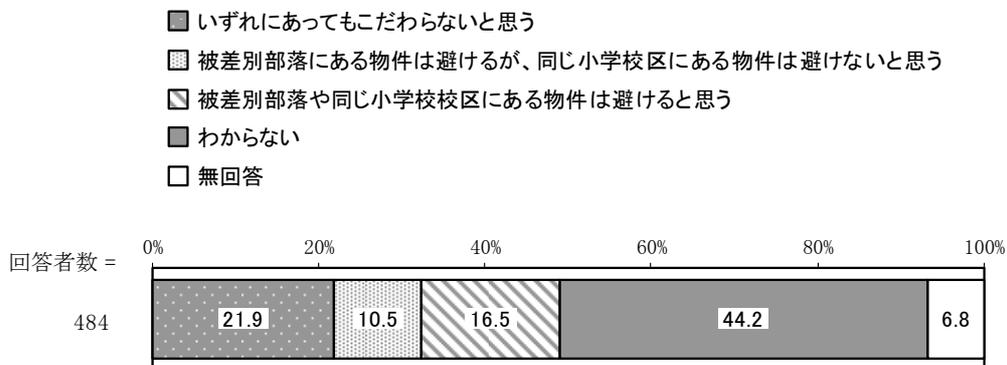
【平成 18 年度調査との比較】

平成 18 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「本人が、現在被差別部落に住んでいる」「本人の本籍地が、被差別部落である」「本人の出生地が、被差別部落である」「父母あるいは祖父母が被差別部落に住んでいる」「父母あるいは祖父母の本籍地が被差別部落である」「父母あるいは祖父母の出生地が被差別部落である」「職業によって判断している」の割合が低くなっています。



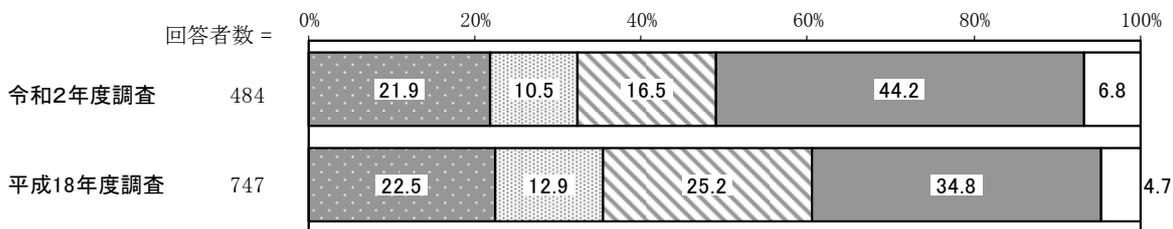
問 30 あなたが、家やマンションを購入したり、借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、被差別部落や同じ小学校校区にある物件は避けることがありますか。
(○は1つ)

「わからない」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「いずれにあってもこだわらないと思う」の割合が 21.9%、「被差別部落や同じ小学校校区にある物件は避けると思う」の割合が 16.5%となっています。



【平成 18 年度調査との比較】

平成 18 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「被差別部落や同じ小学校校区にある物件は避けると思う」の割合が低くなっています。



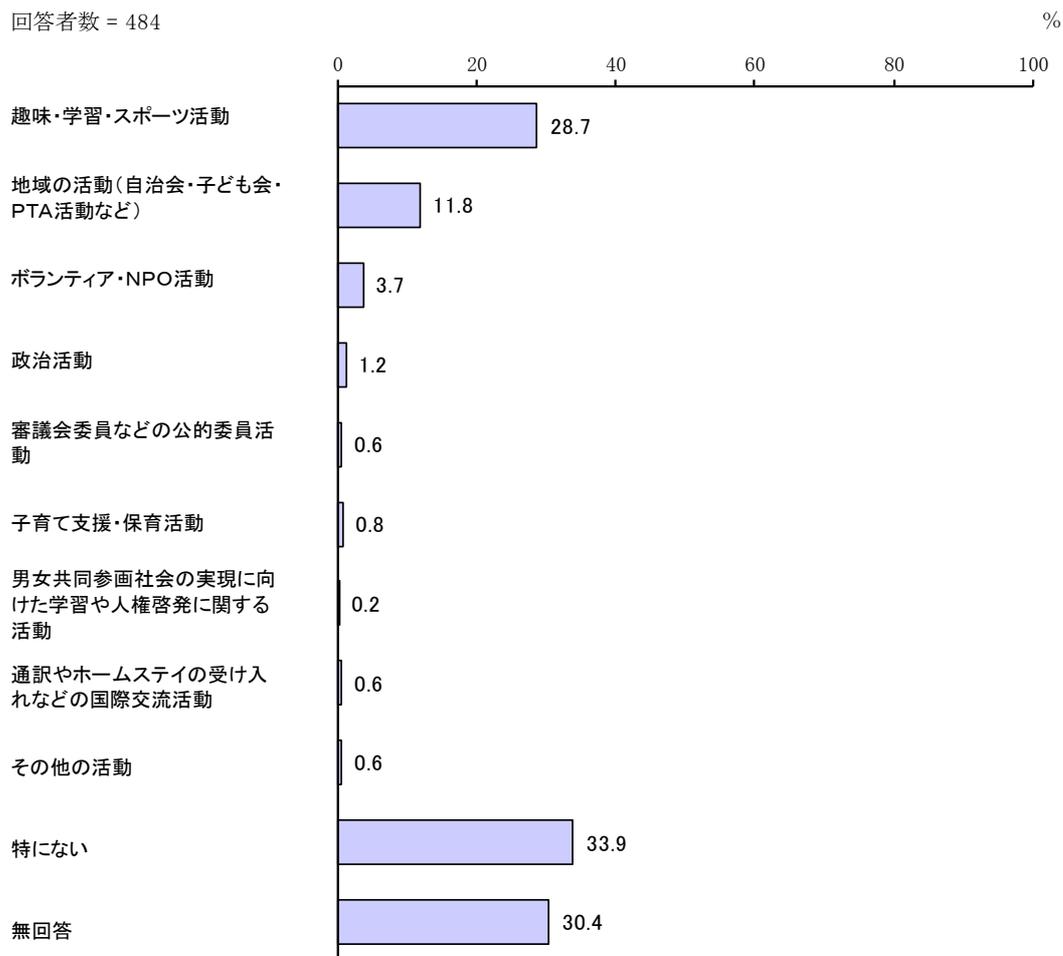
3 男女共同参画

(1) 地域や家庭での生活について

問31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【現在している活動】

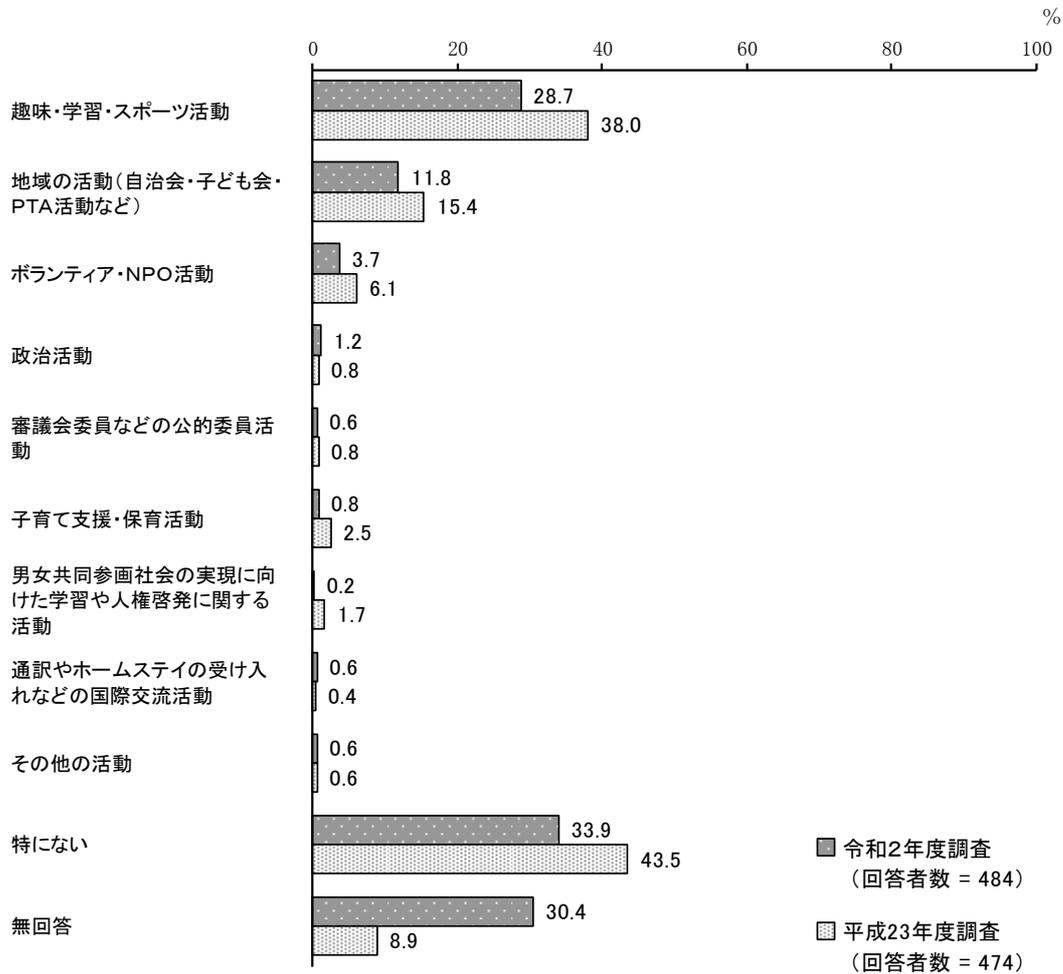
「特にない」の割合が33.9%と最も高く、次いで「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が28.7%、「地域の活動（自治会・子ども会・PTA活動など）」の割合が11.8%となっています。



問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「趣味・学習・スポーツ活動」「特にない」の割合が低くなっています。



問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の青年層、壮年層で「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が高くなっています。

単位：％

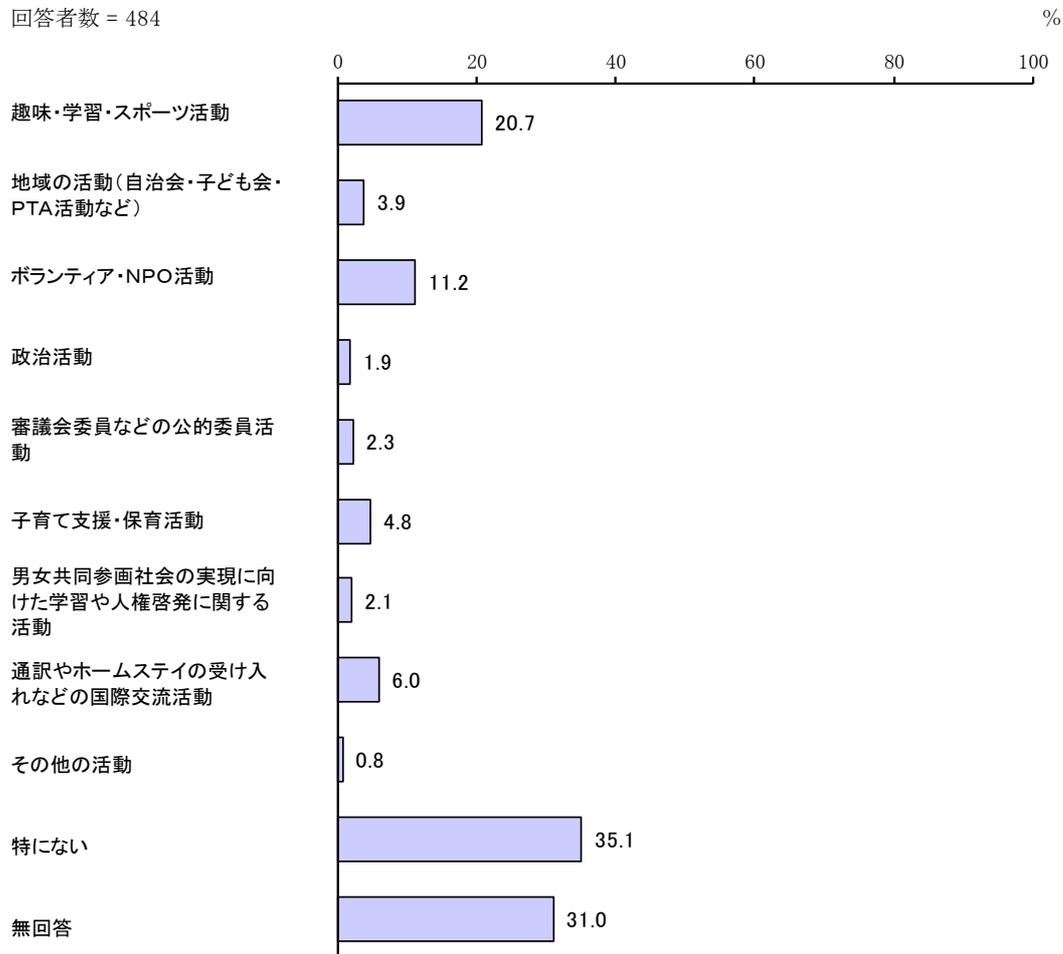
区分	有効回答数(件)	趣味・学習・スポーツ活動	地域の活動(自治会・子ども会・PTA活動など)	ボランティア・NPO活動	政治活動	審議会委員などの公的委員活動	子育て支援・保育活動	男女共同参画社会の実現に向けた学習や人権啓発に関する活動	通訳やホームステイの受け入れなどの国際交流活動	その他の活動	特にない	無回答
女性 青年層(20～39歳)	44	27.3	9.1	2.3	—	—	—	—	2.3	—	40.9	22.7
壮年層(40～59歳)	90	36.7	16.7	3.3	3.3	1.1	4.4	1.1	2.2	1.1	34.4	20.0
熟年層(60歳以上)	135	26.7	14.1	5.2	0.7	—	—	—	—	—	31.1	36.3
男性 青年層(20～39歳)	30	36.7	—	—	—	—	—	—	—	3.3	36.7	23.3
壮年層(40～59歳)	55	38.2	12.7	3.6	—	—	—	—	—	1.8	36.4	14.5
熟年層(60歳以上)	124	17.7	8.9	3.2	1.6	1.6	—	—	—	—	33.1	43.5

問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【今後、始めたい活動】

「特にない」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が 20.7%、「ボランティア・NPO活動」の割合が 11.2%となっています。

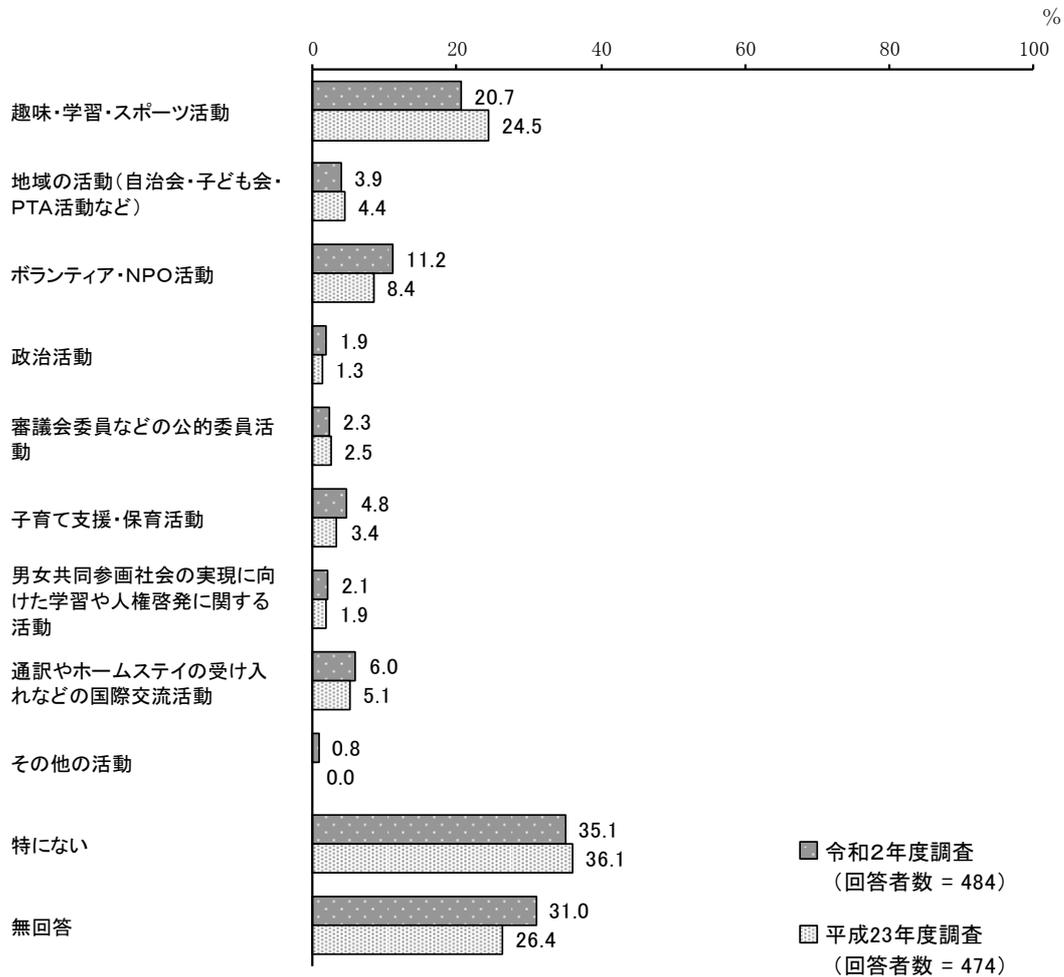
回答者数 = 484



問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が高くなっています。

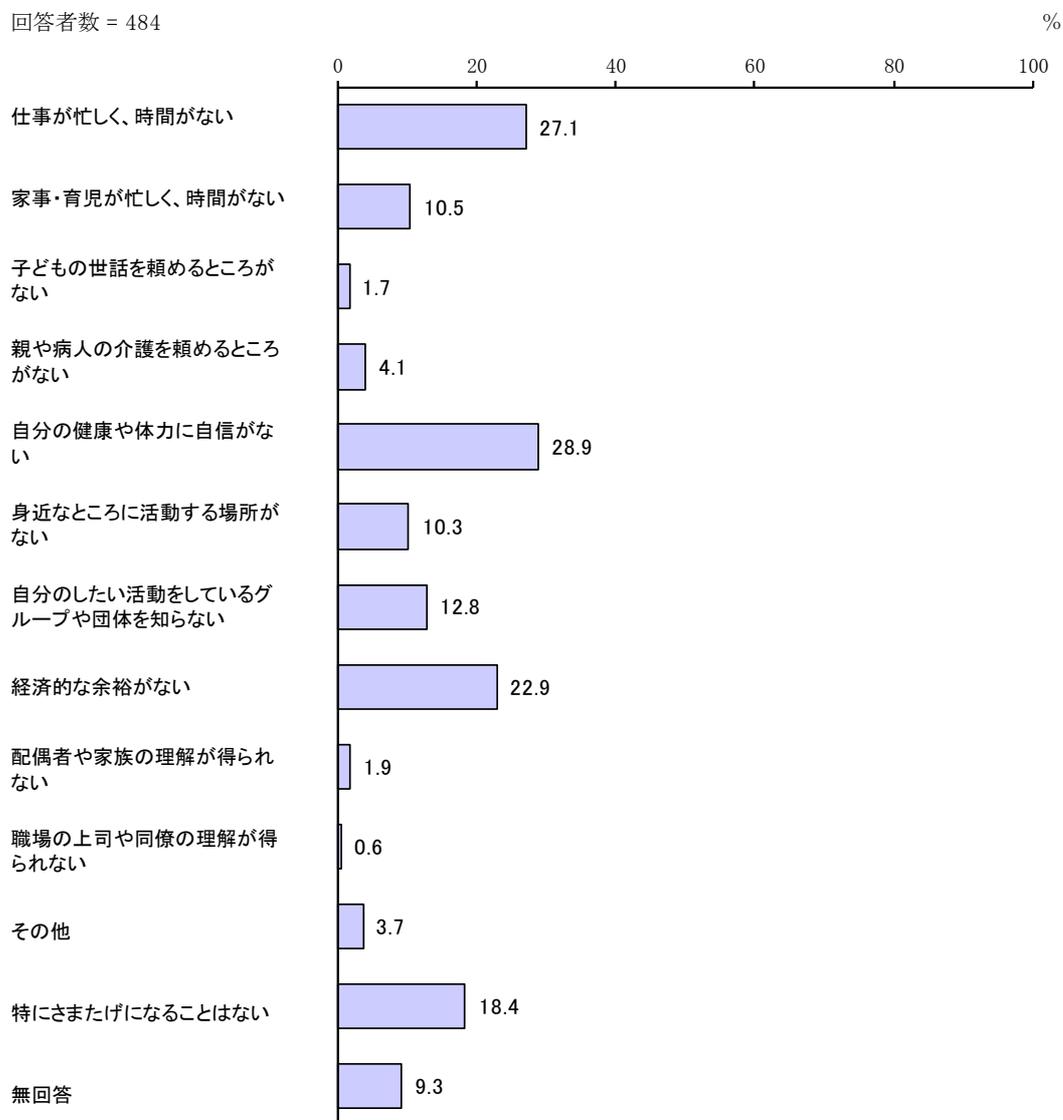
単位：％

区分	有効回答数(件)	趣味・学習・スポーツ活動	地域の活動(自治会・子ども会・PTA活動など)	ボランティア・NPO活動	政治活動	審議会委員などの公的委員活動	子育て支援・保育活動	男女共同参画社会の実現に向けた学習や人権啓発に関する活動	通訳やホームステイの受け入れなどの国際交流活動	その他の活動	特になし	無回答
女性 青年層(20～39歳)	44	29.5	4.5	11.4	—	—	2.3	—	9.1	—	34.1	20.5
壮年層(40～59歳)	90	23.3	4.4	16.7	2.2	1.1	14.4	2.2	10.0	1.1	34.4	22.2
熟年層(60歳以上)	135	14.1	2.2	5.2	2.2	1.5	2.2	3.0	2.2	0.7	34.1	45.2
男性 青年層(20～39歳)	30	36.7	3.3	—	3.3	3.3	3.3	—	13.3	—	36.7	13.3
壮年層(40～59歳)	55	18.2	10.9	9.1	1.8	3.6	3.6	1.8	3.6	—	49.1	21.8
熟年層(60歳以上)	124	20.2	1.6	16.9	1.6	2.4	1.6	2.4	4.0	1.6	30.6	34.7

問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(〇は3つまで)

「自分の健康や体力に自信がない」の割合が28.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しく、時間がない」の割合が27.1%、「経済的な余裕がない」の割合が22.9%となっています。

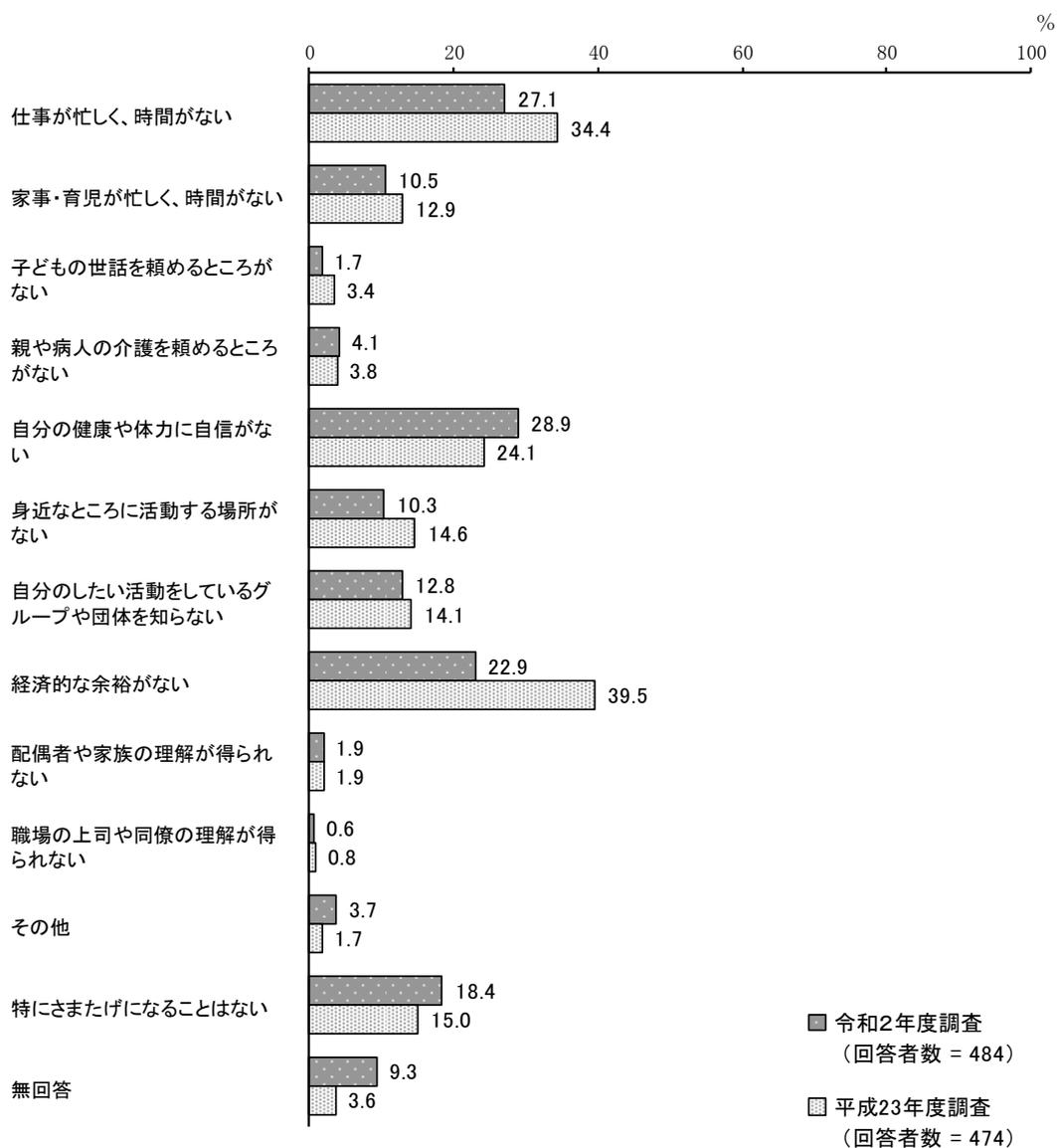
回答者数 = 484



問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(〇は3つまで)

【平成 23 年度調査との比較】

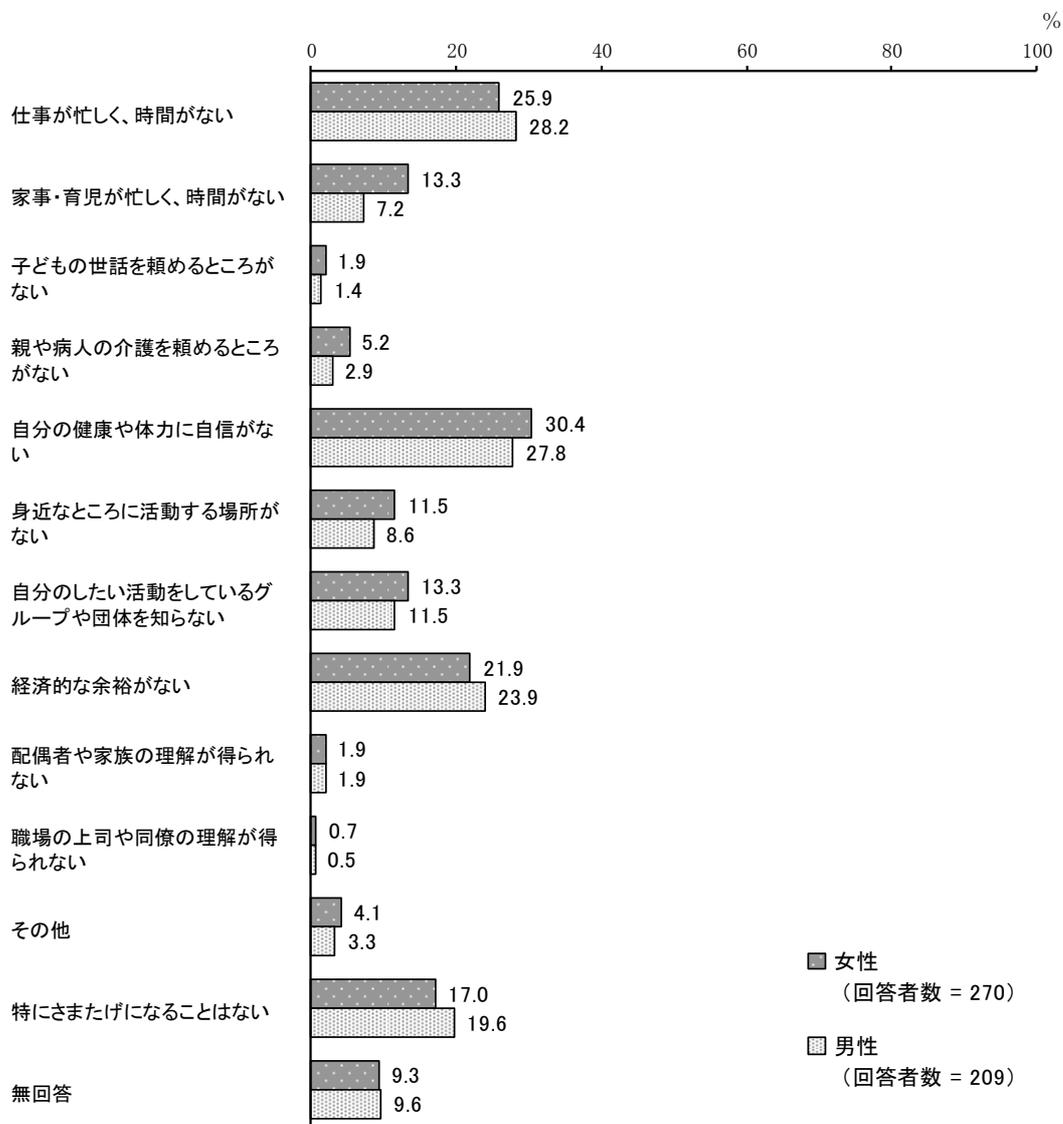
平成 23 年度調査と比較すると、「仕事が忙しく、時間がない」「経済的な余裕がない」の割合が低くなっています。



問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(〇は3つまで)

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事・育児が忙しく、時間がない」の割合が高くなっています。



問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(○は3つまで)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層、壮年層で「仕事が忙しく、時間がない」の割合が高くなっています。また、女性、男性ともに熟年層で「自分の健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。

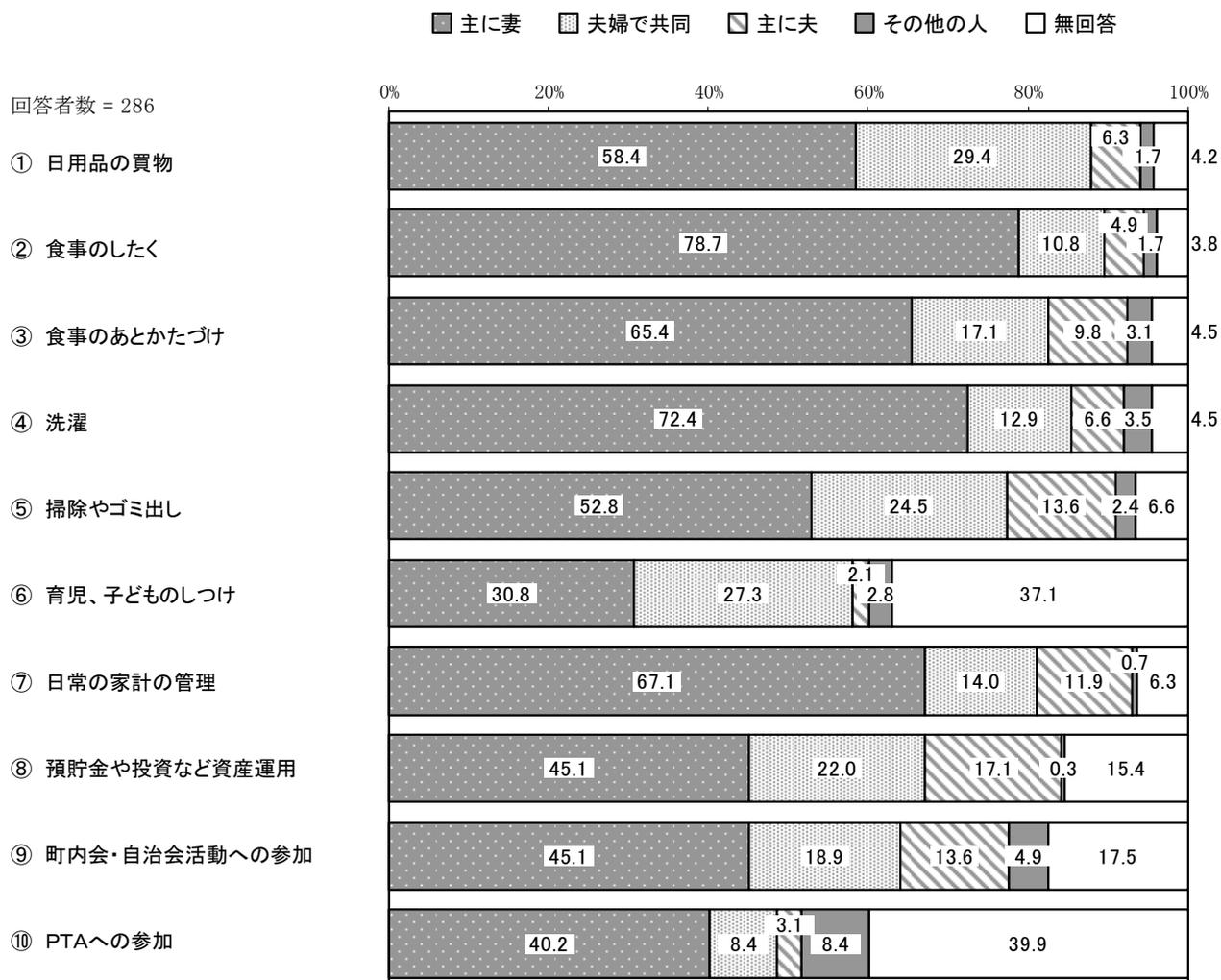
単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事が忙しく、時間がない	家事・育児が忙しく、時間がない	子どもの世話を頼めるところがいない	親や病人の介護を頼めるところがいない	自分の健康や体力に自信がない	身近なところに活動する場所がない
女性 青年層(20～39歳)	44	61.4	31.8	9.1	—	20.5	13.6
壮年層(40～59歳)	90	38.9	22.2	1.1	10.0	18.9	10.0
熟年層(60歳以上)	135	5.9	1.5	—	3.7	41.5	11.9
男性 青年層(20～39歳)	30	50.0	16.7	6.7	—	10.0	13.3
壮年層(40～59歳)	55	52.7	9.1	1.8	9.1	16.4	5.5
熟年層(60歳以上)	124	12.1	4.0	—	0.8	37.1	8.9

区分	自分のしたい活動をしていて、グループや団体を知らない	経済的な余裕がない	配偶者や家族の理解が得られない	職場の上司や同僚の理解が得られない	その他	特にさまたげになることはない	無回答
女性 青年層(20～39歳)	22.7	25.0	—	2.3	2.3	2.3	—
壮年層(40～59歳)	15.6	33.3	3.3	1.1	3.3	12.2	4.4
熟年層(60歳以上)	8.9	13.3	1.5	—	5.2	24.4	15.6
男性 青年層(20～39歳)	13.3	40.0	—	—	—	16.7	3.3
壮年層(40～59歳)	12.7	9.1	3.6	1.8	5.5	16.4	3.6
熟年層(60歳以上)	10.5	26.6	1.6	—	3.2	21.8	13.7

問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

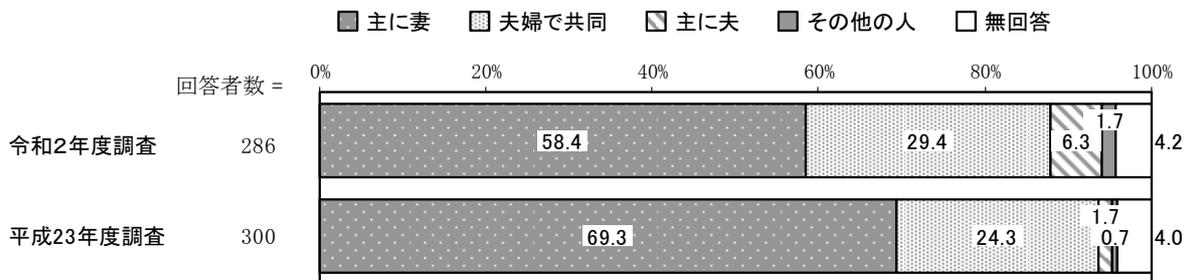
『② 食事のしたく』で「主に妻」の割合が、『① 日用品の買物』で「夫婦で共同」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

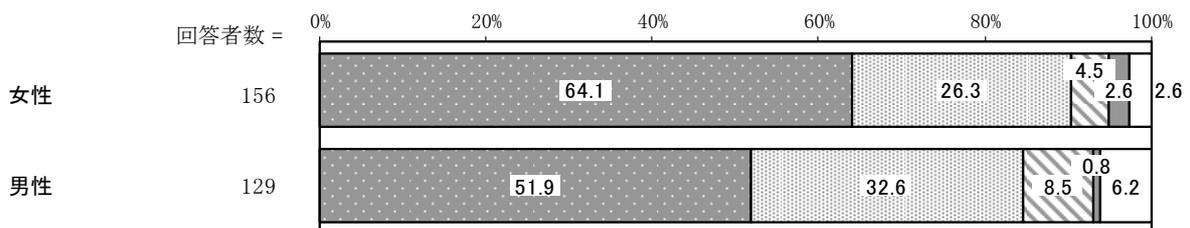
① 日用品の買物

平成 23 年度調査と比較すると、「夫婦で共同」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



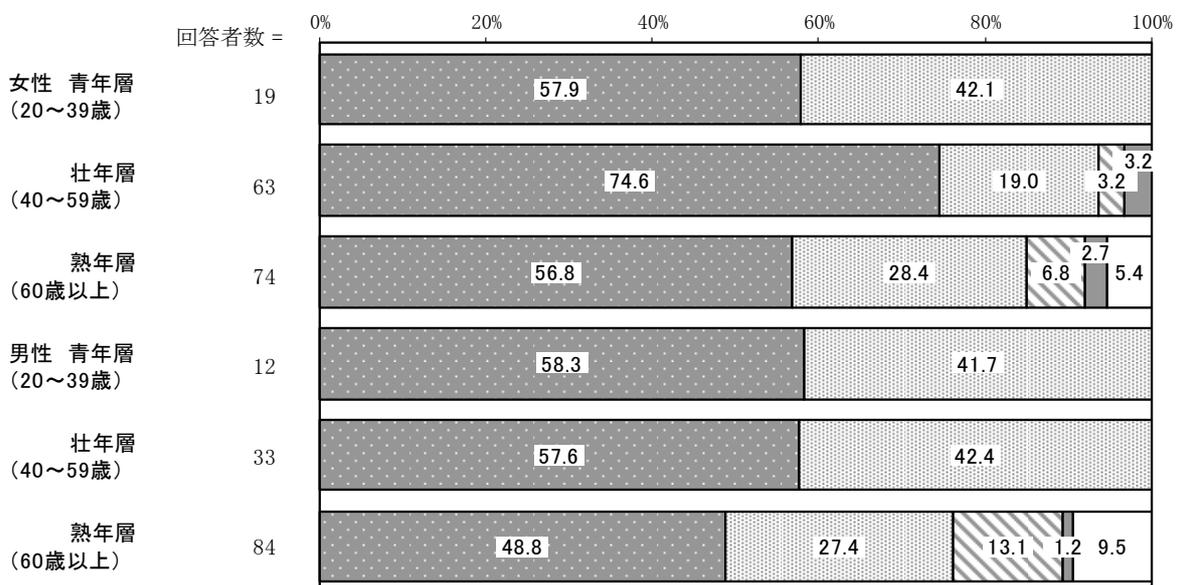
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「夫婦で共同」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

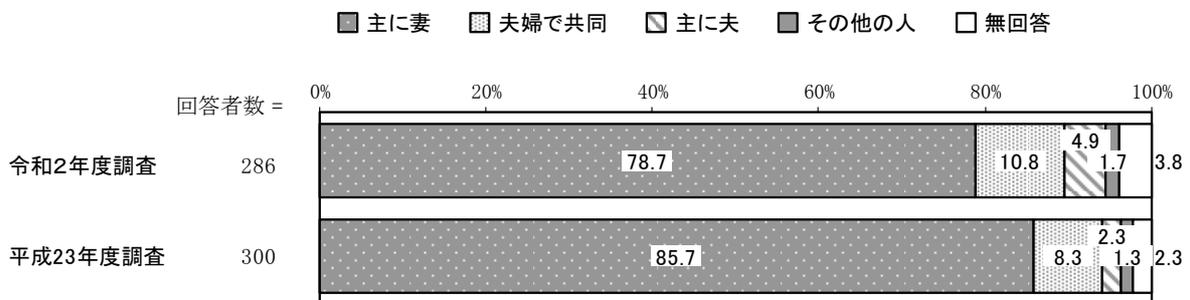
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

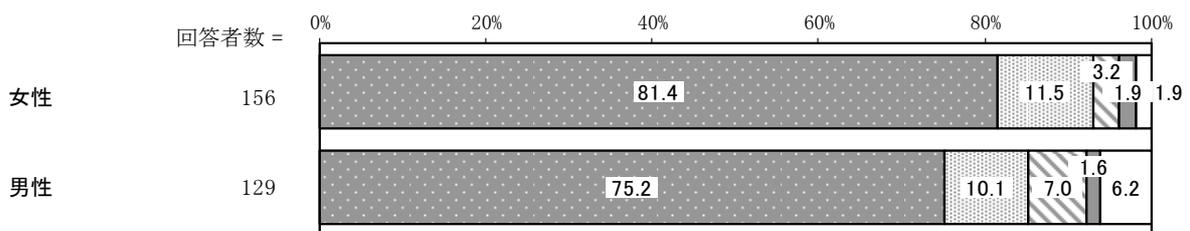
② 食事のしたく

平成 23 年度調査と比較すると、「主に妻」の割合が低くなっています。



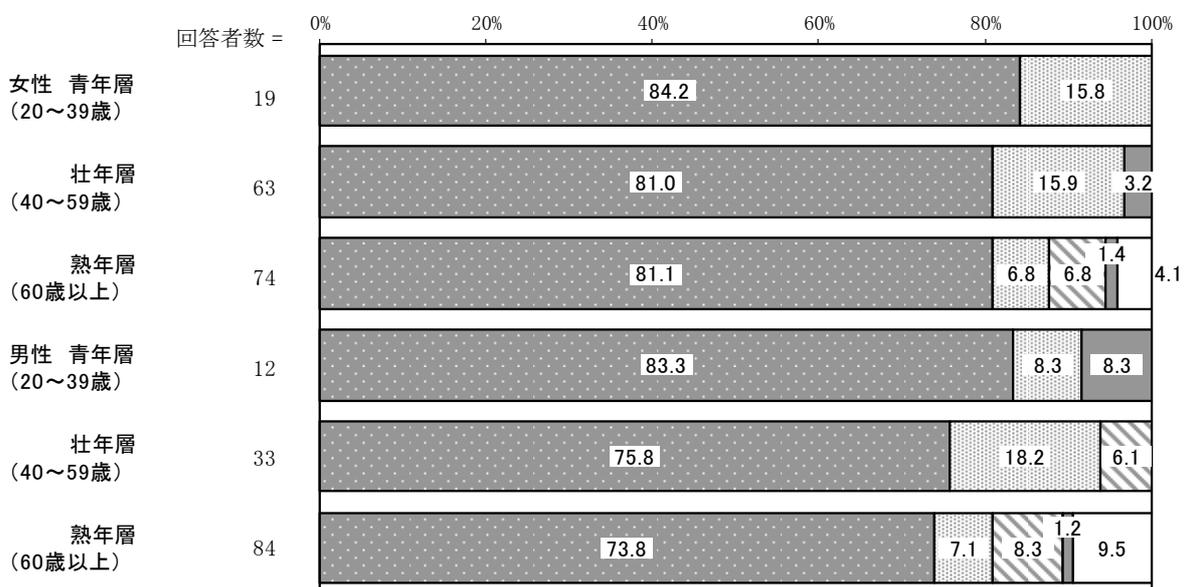
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

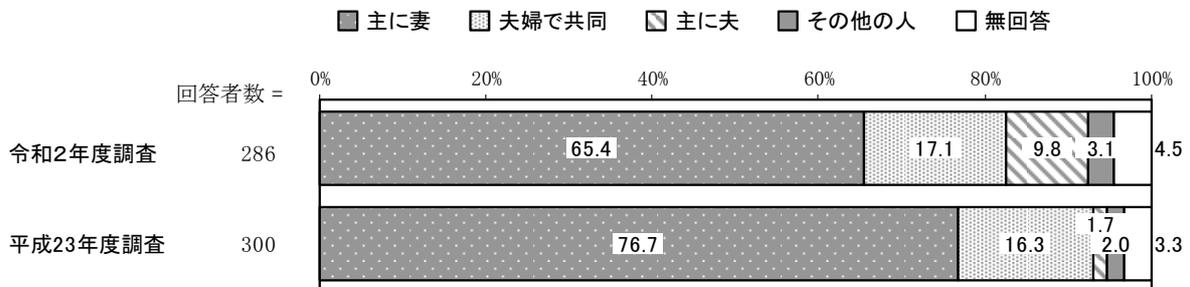
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

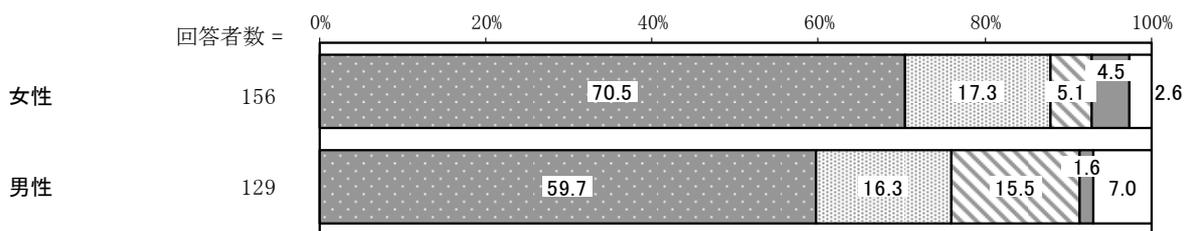
③ 食事のあとかたづけ

平成 23 年度調査と比較すると、「主に夫」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



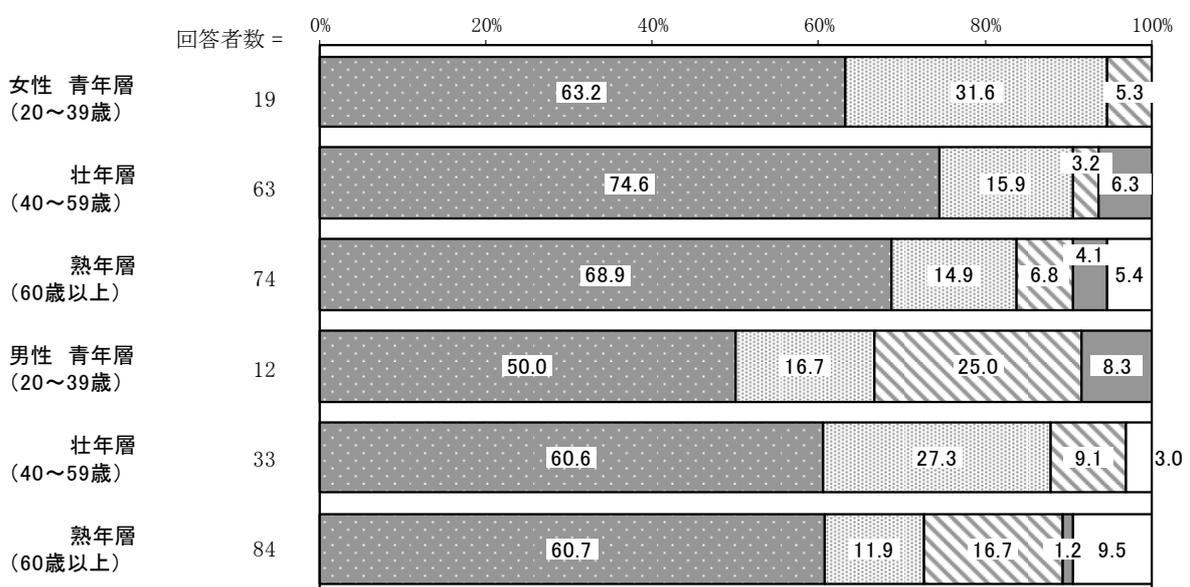
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「主に夫」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

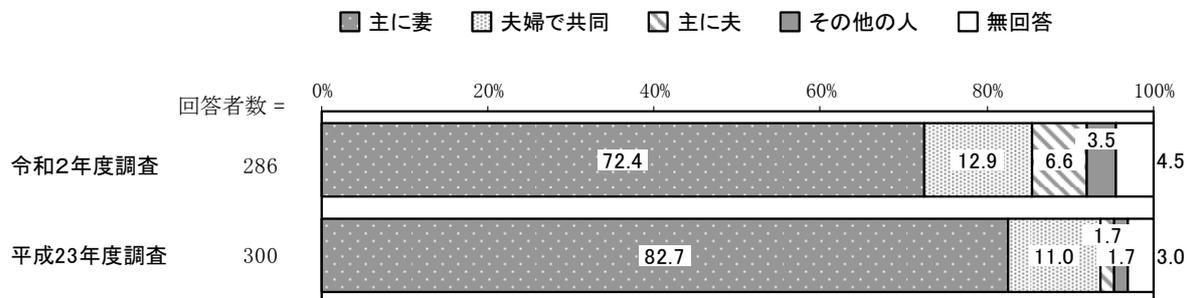
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層、熟年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

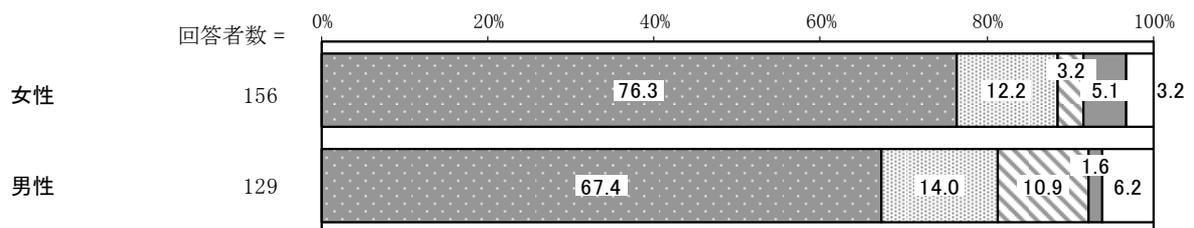
④ 洗濯

平成 23 年度調査と比較すると、「主に妻」の割合が低くなっています。



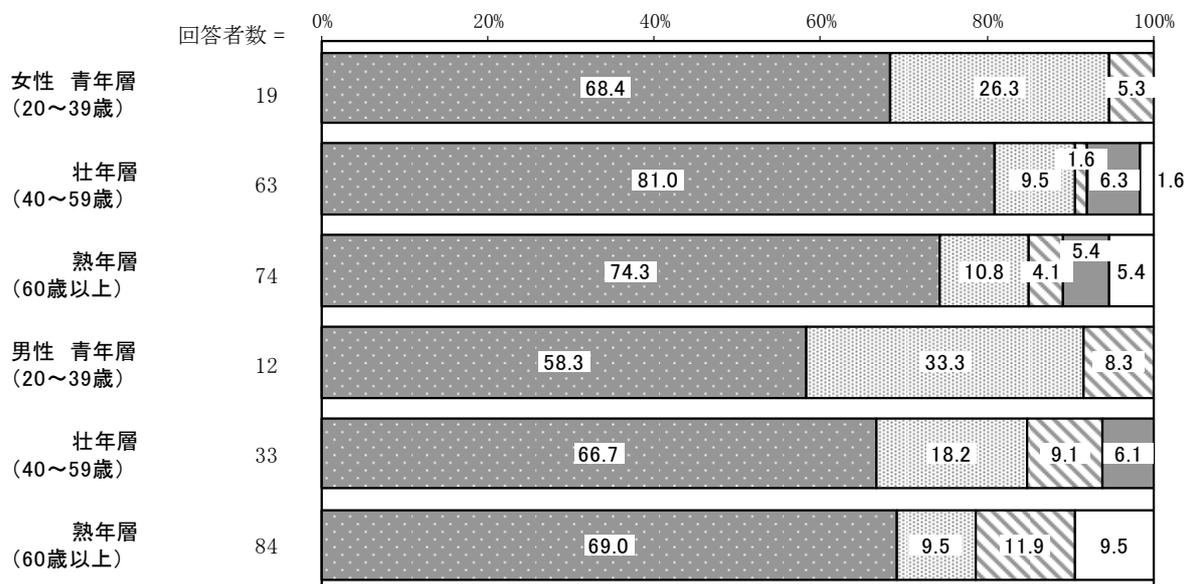
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「主に夫」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

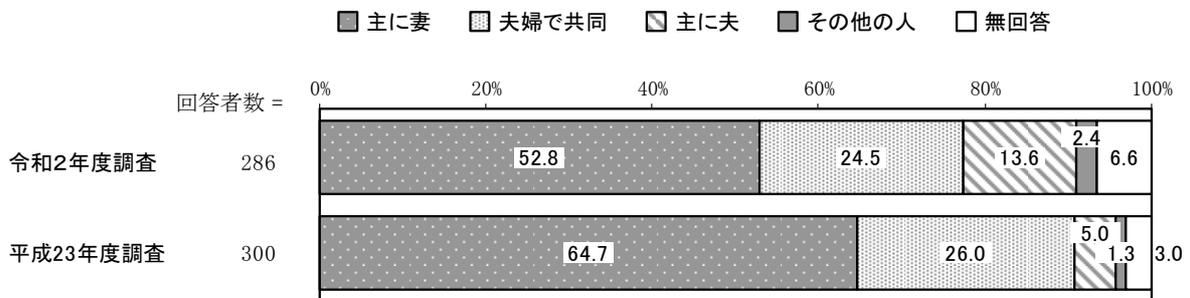
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層、熟年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

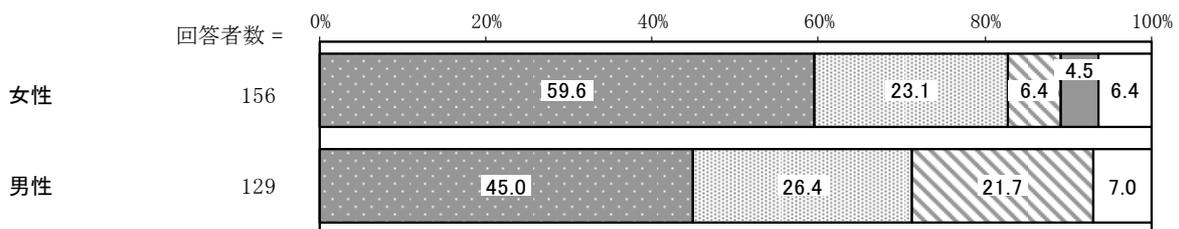
⑤ 掃除やゴミ出し

平成 23 年度調査と比較すると、「主に夫」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



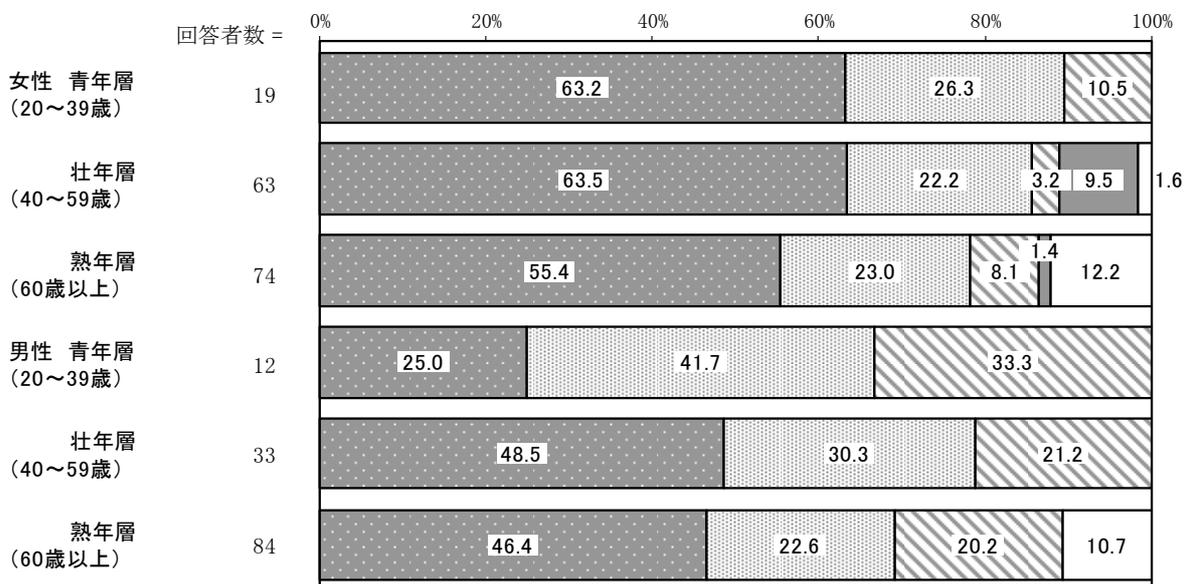
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「主に夫」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

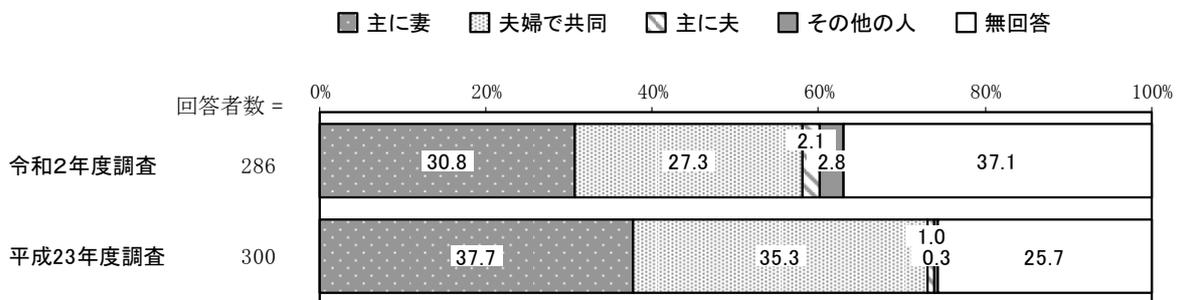
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の壮年層、熟年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

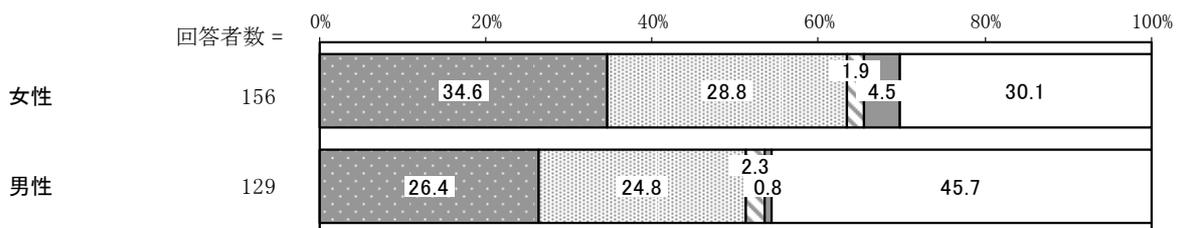
⑥ 育児、子どものしつけ

平成 23 年度調査と比較すると、「主に妻」「夫婦で共同」の割合が低くなっています。



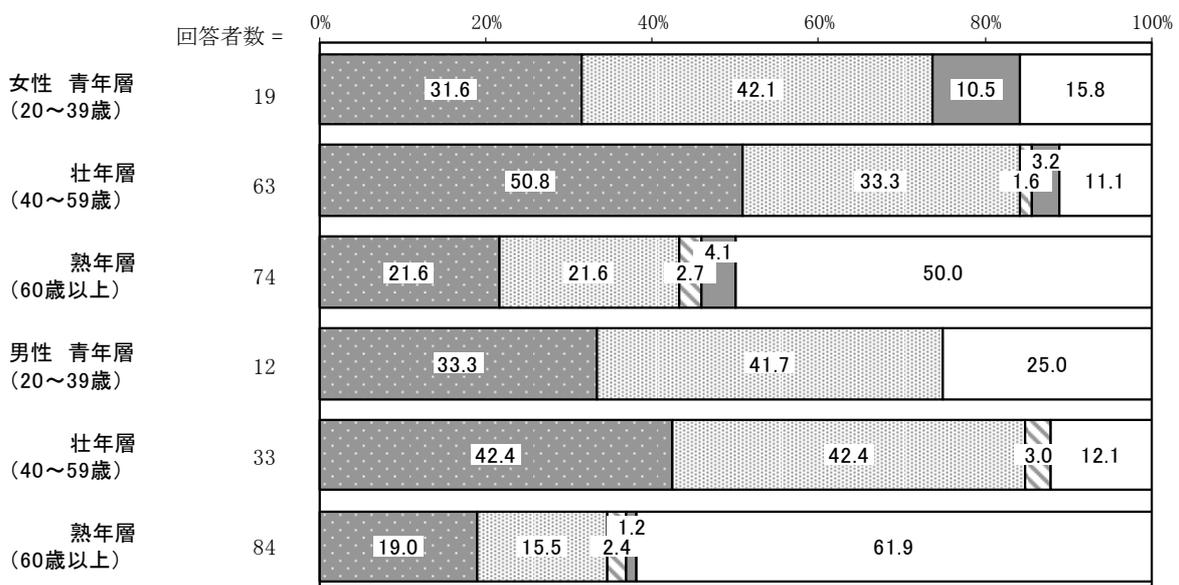
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

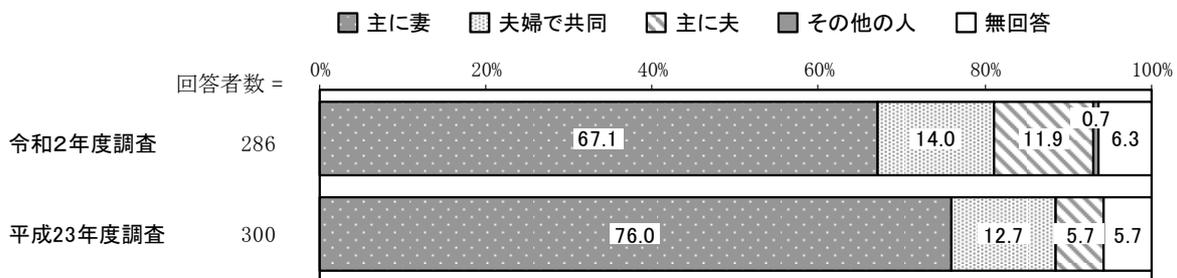
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

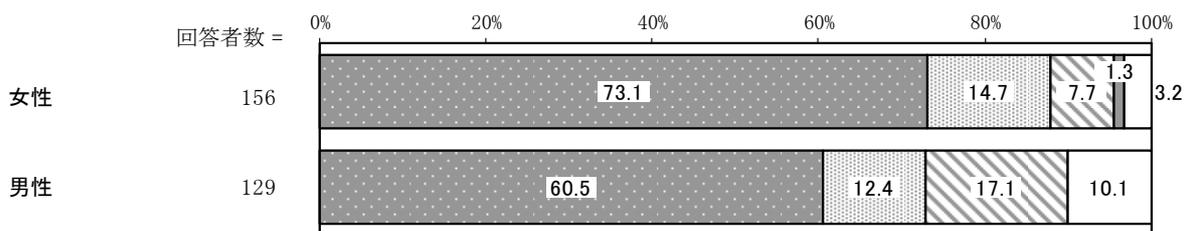
⑦ 日常の家計の管理

平成 23 年度調査と比較すると、「主に夫」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



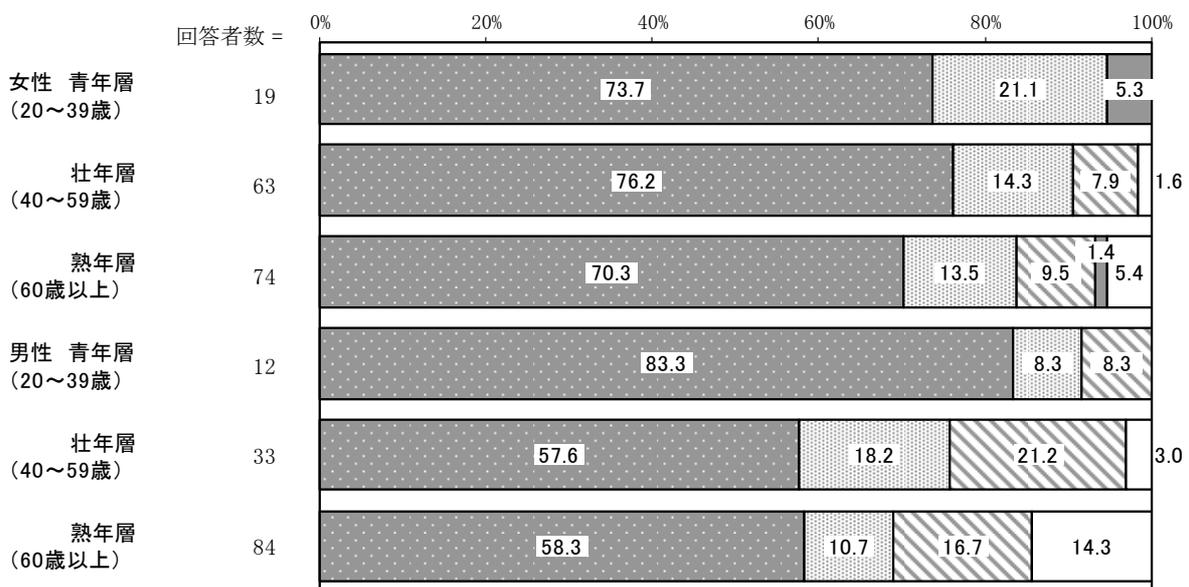
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「主に夫」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

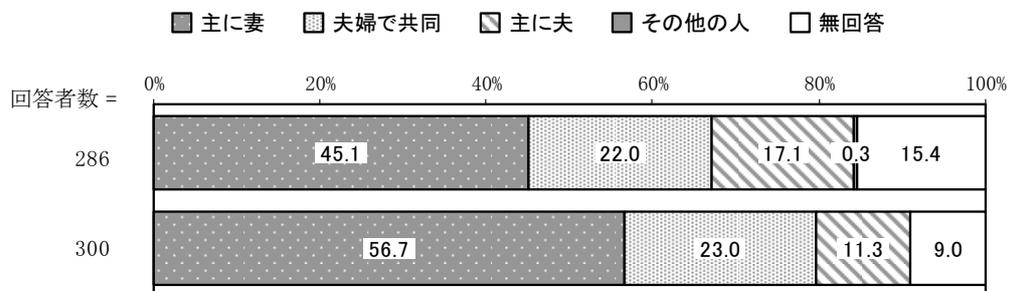
性・年齢層別でみると、他に比べ、男性の青年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

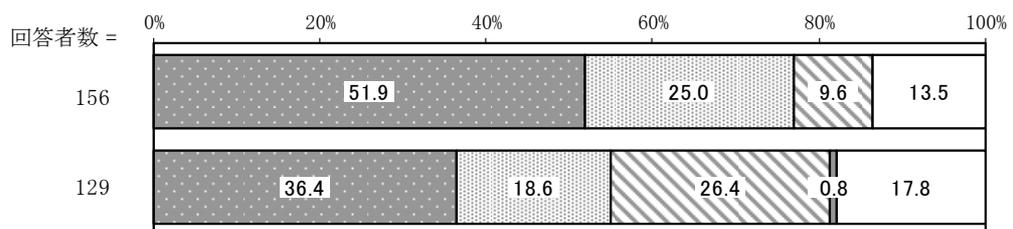
⑧ 預貯金や投資など資産運用

平成 23 年度調査と比較すると、「主に夫」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



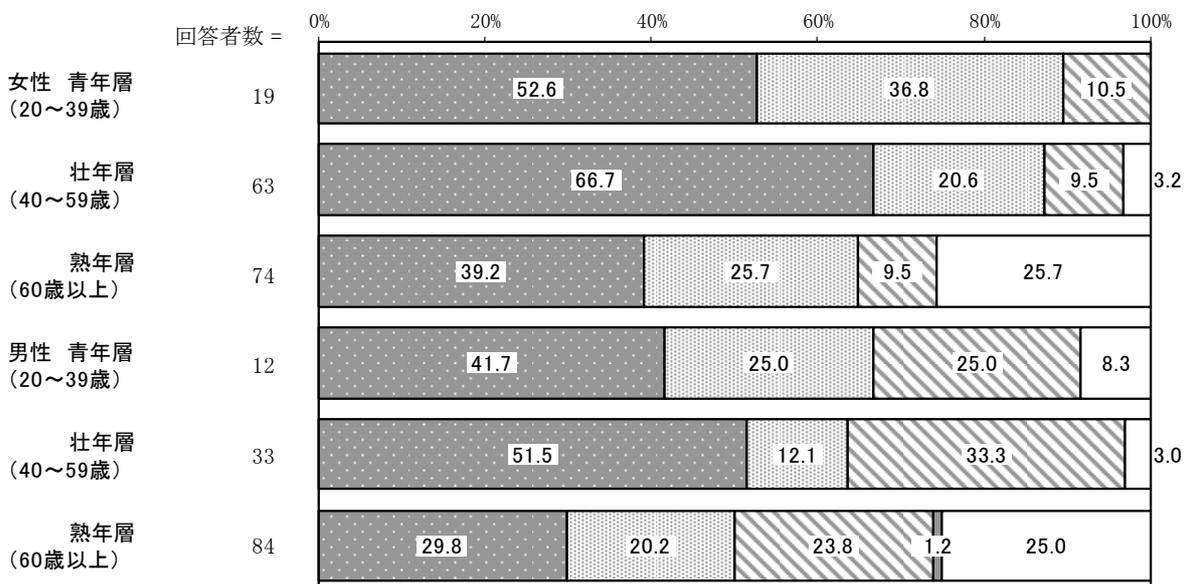
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」「夫婦で共同」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「主に夫」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

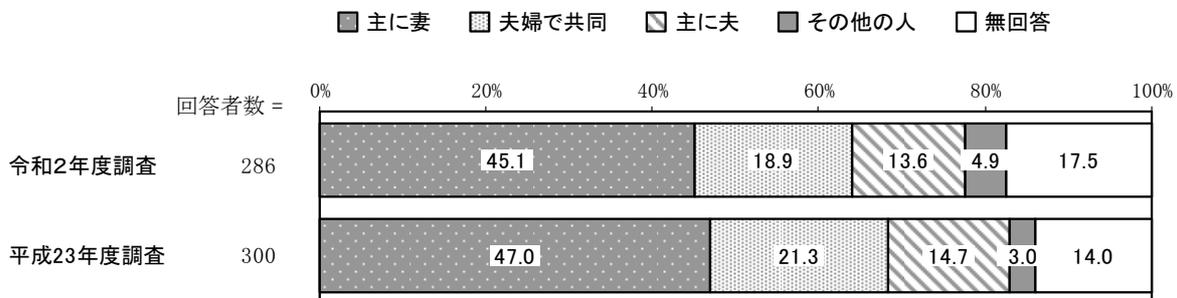
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

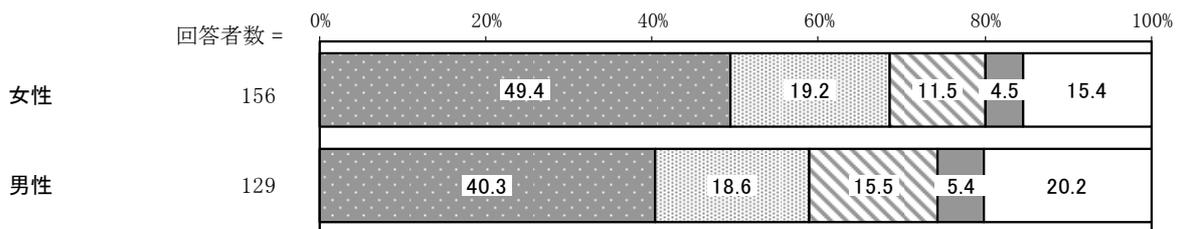
⑨ 町内会・自治会活動への参加

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



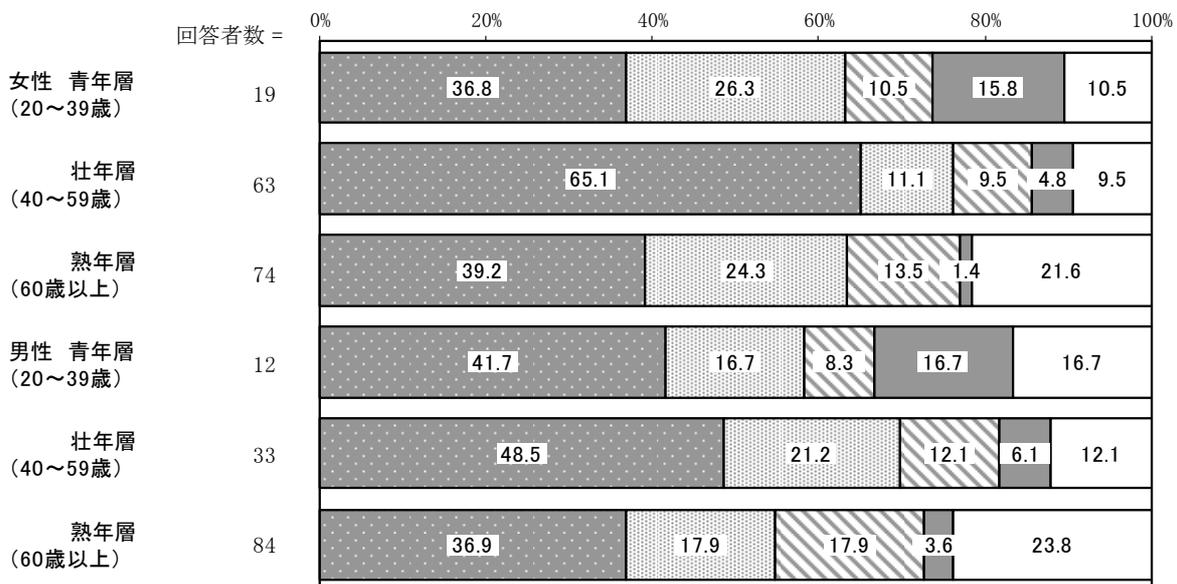
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

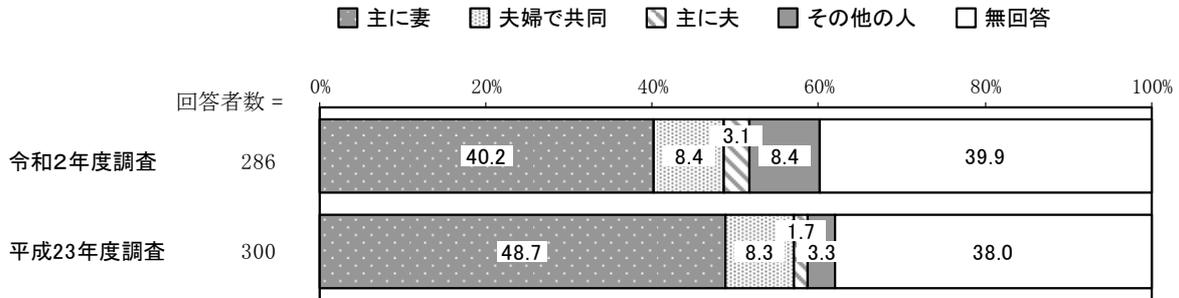
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



問 33 配偶者（妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む）のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか（いましたか）。

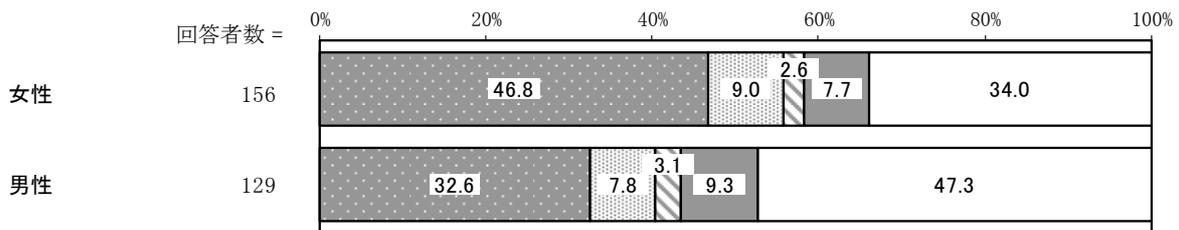
⑩ P T A への参加

平成 23 年度調査と比較すると、「その他の人」の割合が高くなっています。一方、「主に妻」の割合が低くなっています。



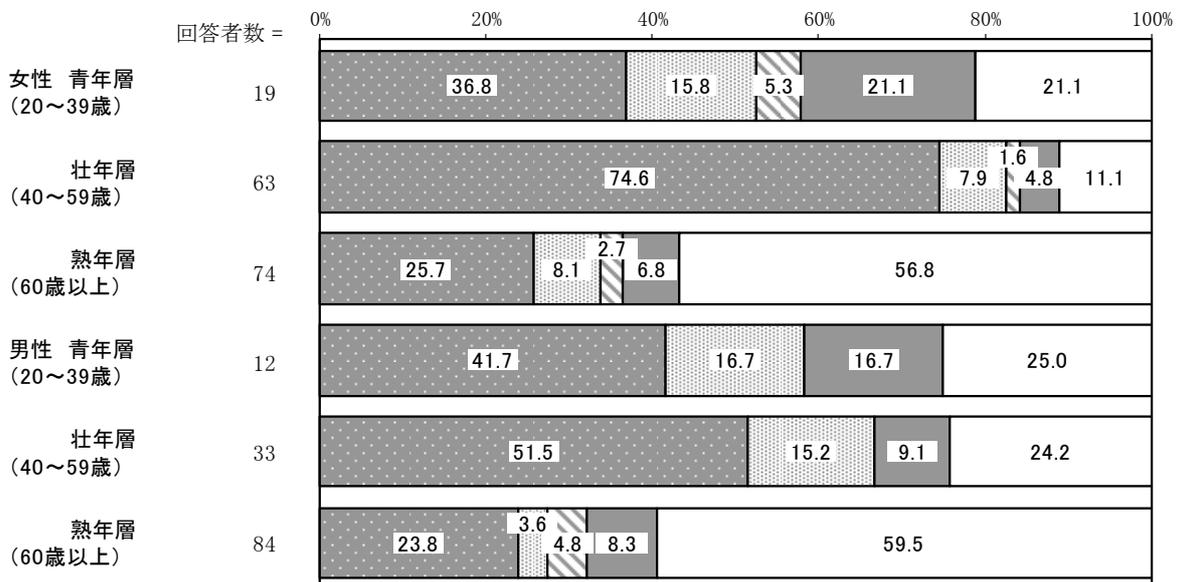
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「主に妻」の割合が高くなっています。



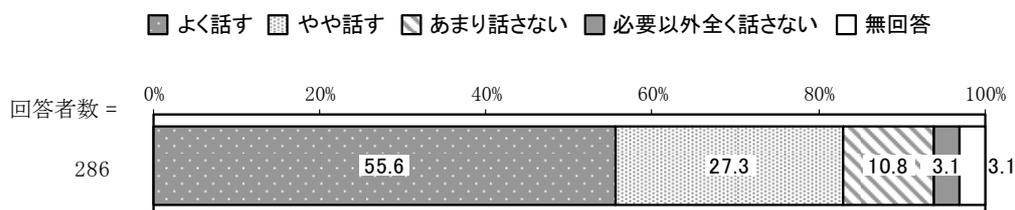
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「主に妻」の割合が高くなっています。



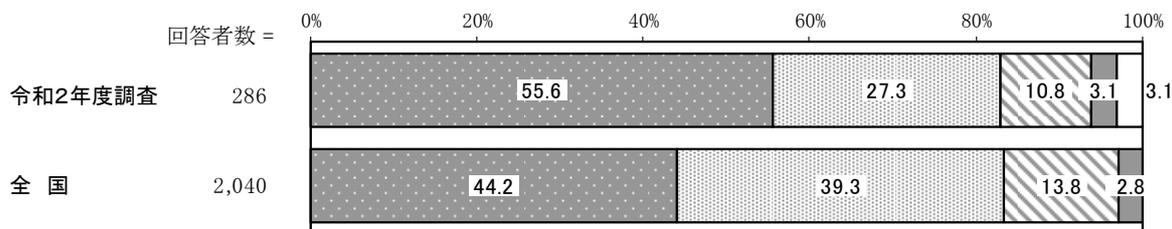
問 34 配偶者とは、よく話をしますか。

「よく話す」の割合が55.6%と最も高く、次いで「やや話す」の割合が27.3%、「あまり話さない」の割合が10.8%となっています。



【全国調査との比較】

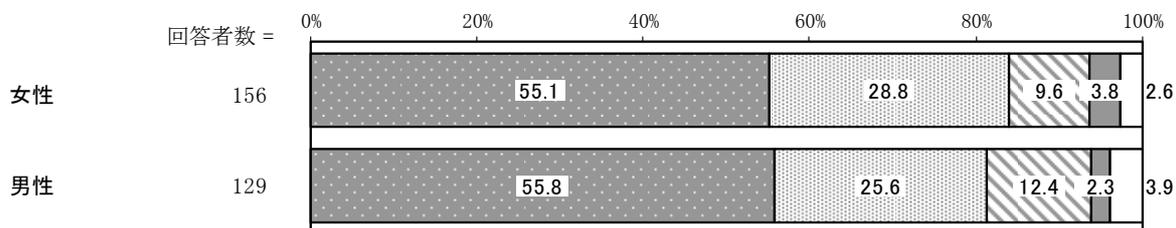
全国と比較すると、「よく話す」の割合が高くなっています。また、「やや話す」の割合が低くなっています。



※全国調査では、無回答を除いています。

【性別】

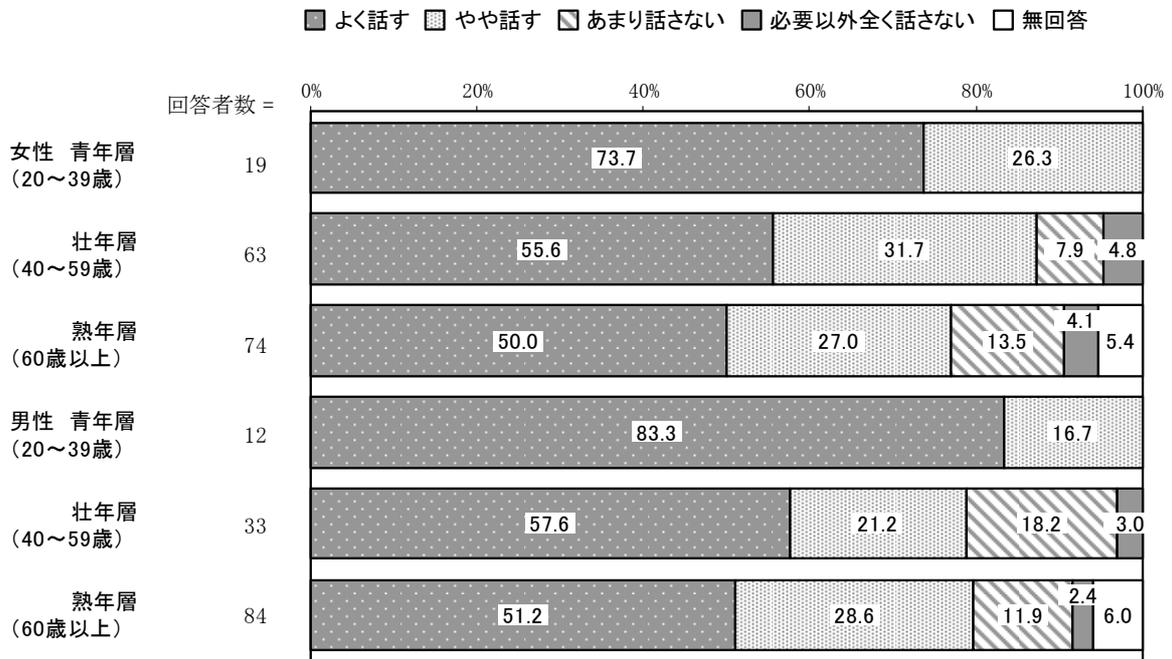
性別で見ると、大きな差異はみられません。



問 34 配偶者とは、よく話をしますか。

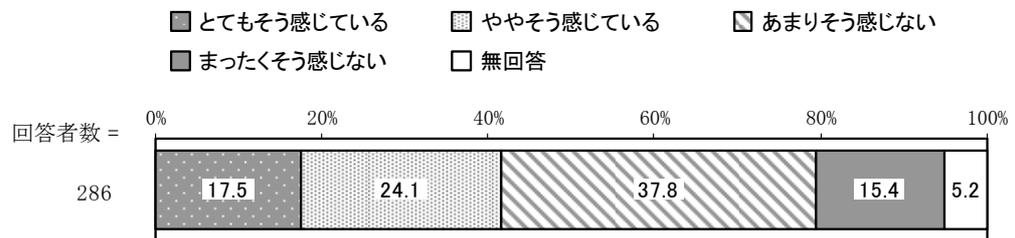
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、女性、男性ともに年齢層が高くなるにつれ「よく話す」の割合が低くなっています。



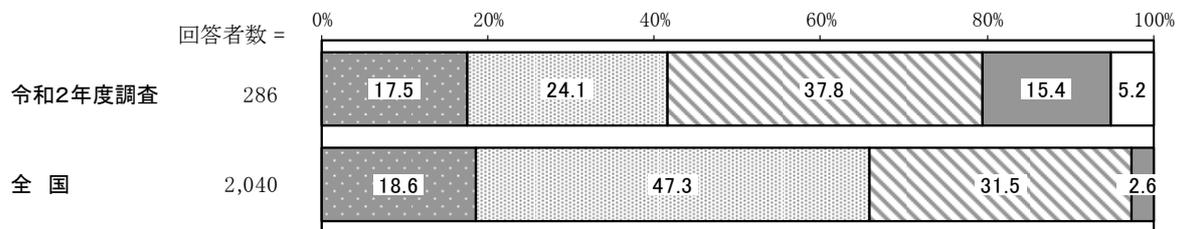
問 35 配偶者とは、もっと会話が必要だと感じていますか。

「あまりそう感じない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「ややそう感じている」の割合が24.1%、「とてもそう感じている」の割合が17.5%となっています。



【全国調査との比較】

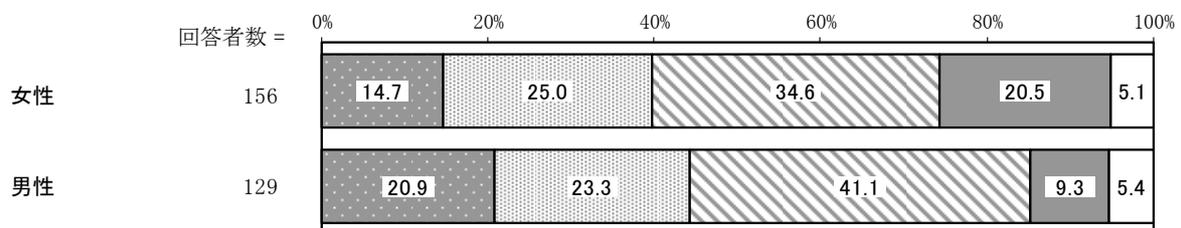
全国と比較すると、「あまりそう感じない」「まったくそう感じない」の割合が高くなっています。一方、「ややそう感じている」の割合が低くなっています。



※全国調査では、無回答を除いています。

【性別】

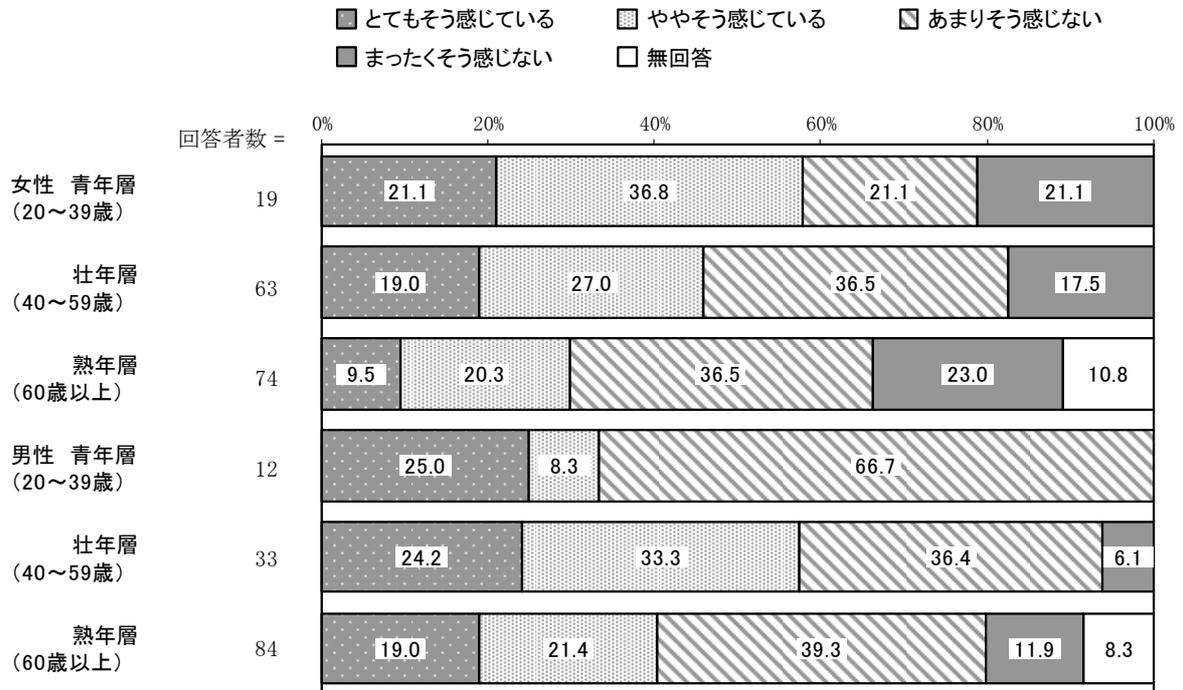
性別でみると、男性に比べ、女性で「まったくそう感じない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「とてもそう感じている」「あまりそう感じない」の割合が高くなっています。



問 35 配偶者とは、もっと会話が必要だと感じていますか。

【性・年齢層別】

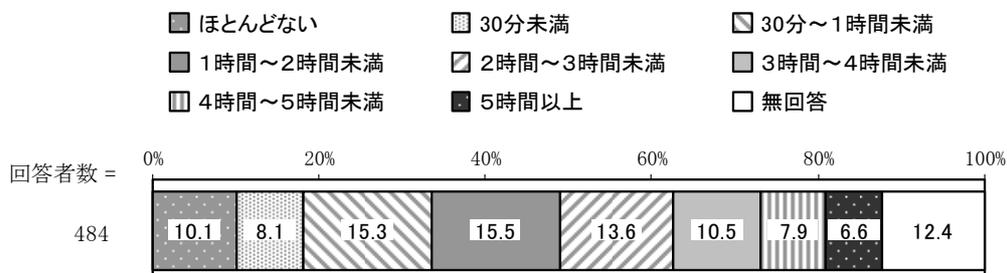
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の青年層、壮年層で「とてもそう感じている」の割合が高くなっています。



問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事（育児や介護等を含む）に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。

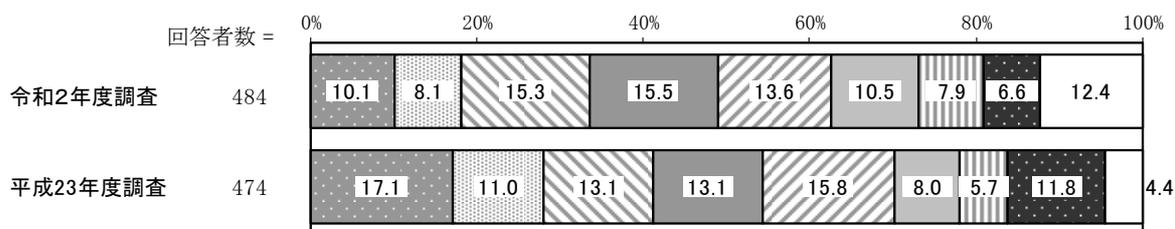
<平日>

「1時間～2時間未満」の割合が15.5%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が15.3%、「2時間～3時間未満」の割合が13.6%となっています。



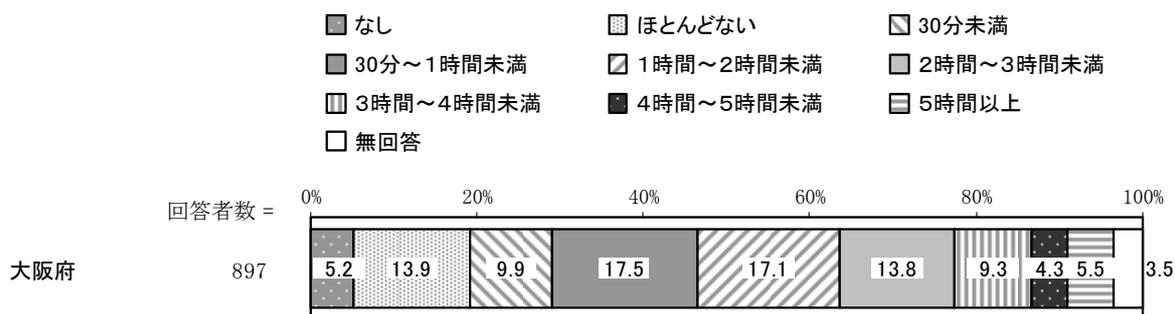
【平成23年度調査との比較】

平成23年度調査と比較すると、「ほとんどない」「5時間以上」の割合が低くなっています。



【参考 大阪府調査】

大阪府調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

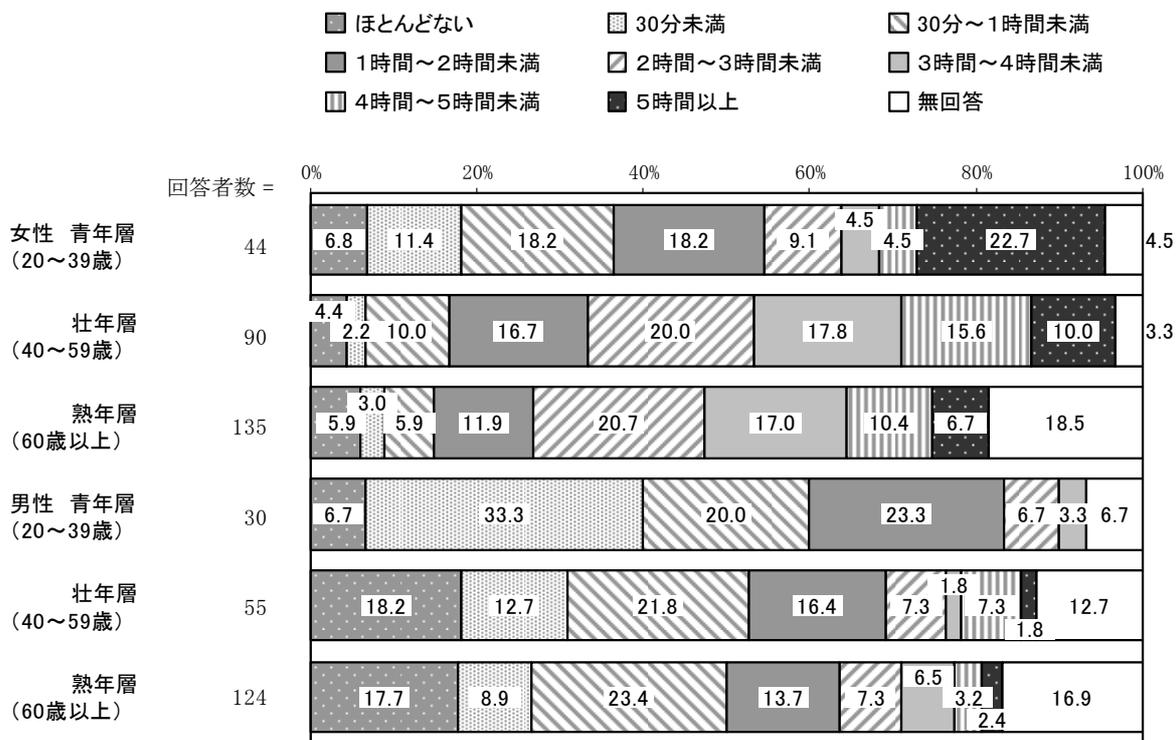


問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事（育児や介護等を含む）に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。

<平日>

【性・年齢層別】

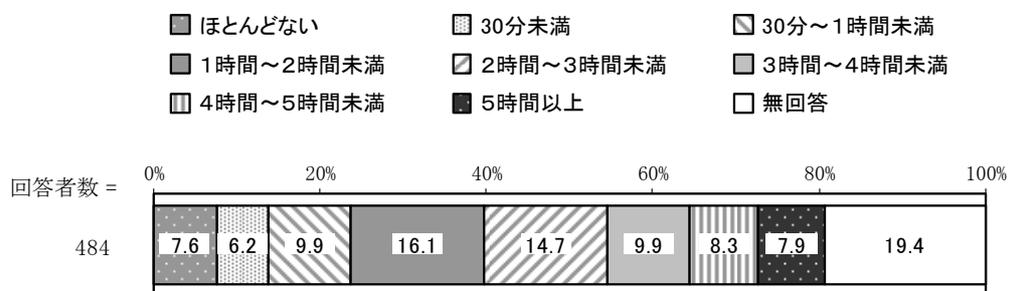
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層で「5時間以上」の割合が、男性の青年層で「30分未満」の割合が高くなっています。



問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事（育児や介護等を含む）に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれのくらいですか。

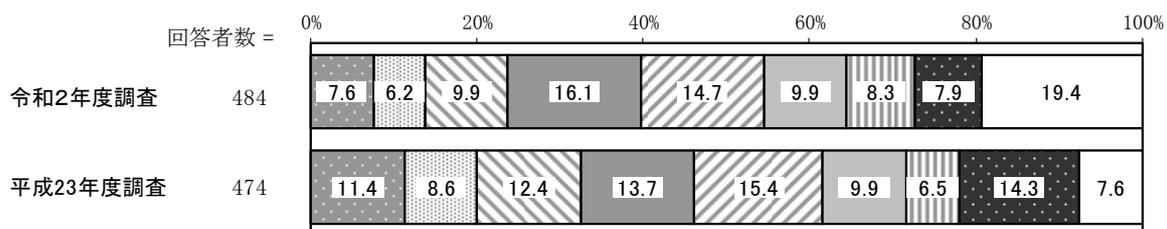
<休日>

「1時間～2時間未満」の割合が16.1%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が14.7%となっています。



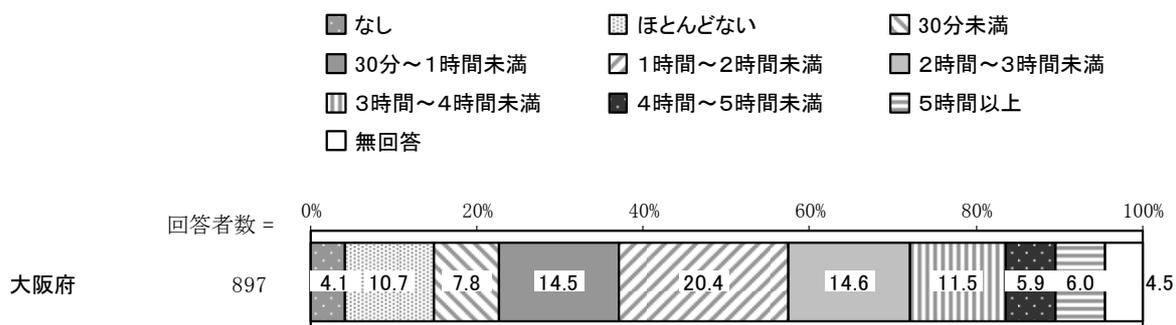
【平成 23 年度調査との比較】

令和2年度調査では、「無回答」の割合が高くなっていますが、平成23年度調査と比較すると、「5時間以上」の割合が低くなっています。



【参考 大阪府調査】

大阪府調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。

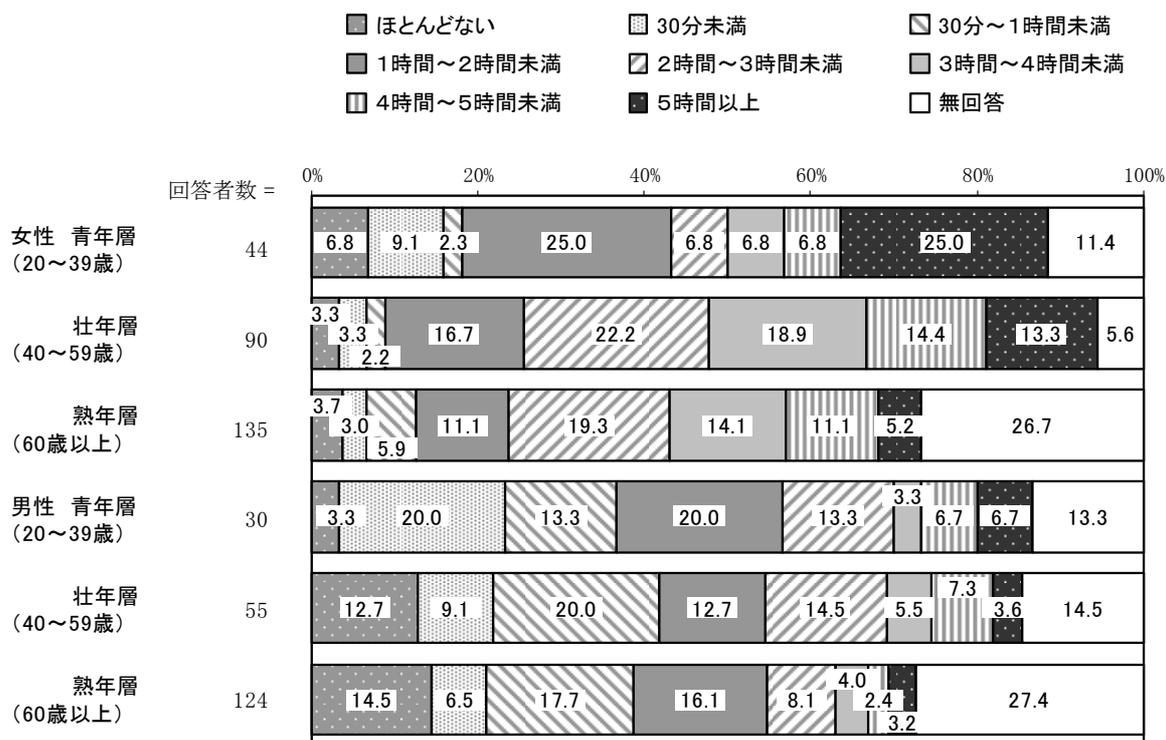


問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事（育児や介護等を含む）に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。

<休日>

【性・年齢層別】

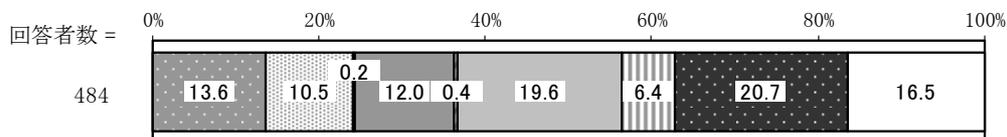
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層で「1時間～2時間未満」「5時間以上」の割合が、男性の青年層で「30分未満」「1時間～2時間未満」の割合が高くなっています。また、男性の壮年層で「30分～1時間未満」の割合が高くなっています。



問 37 あなたのご家庭では、男女の役割はどうなっていますか。(〇は1つ)

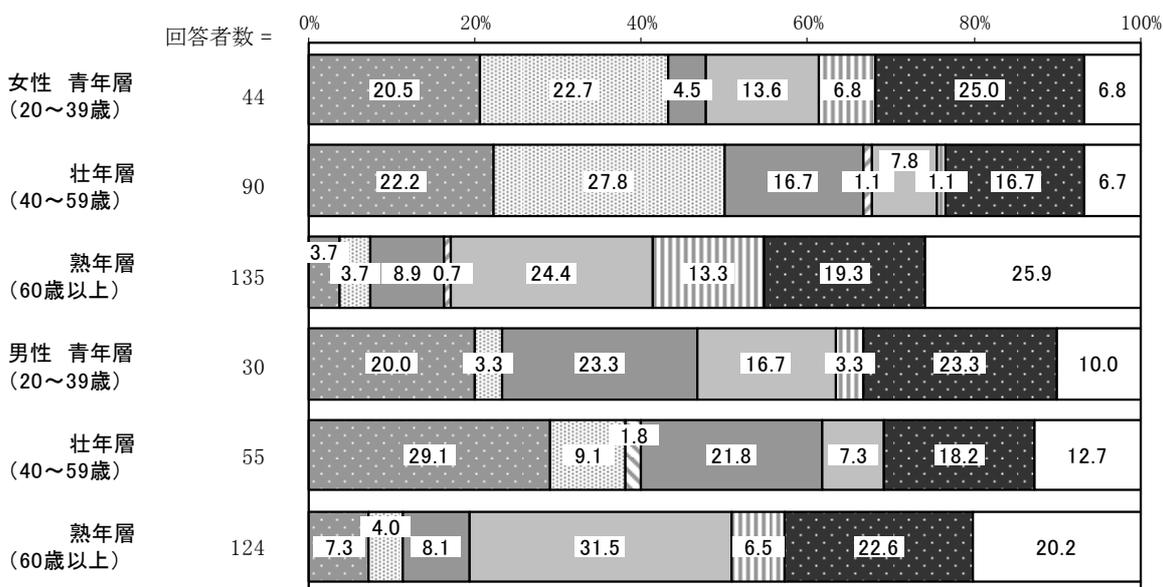
「該当しない(分担する男性または女性がいない)」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「男女の役割は固定せずに、夫婦にあったかたちで行っている」の割合が 19.6%、「男女共に仕事をもち、家庭のことについても共に協力して行っている」の割合が 13.6%となっています。

- 男女共に仕事をもち、家庭のことについても共に協力して行っている
- ▨ 男女共に仕事をもち、家庭のことについては女性の役割である
- ▩ 男女共に仕事をもち、家庭のことについては男性の役割である
- 男性は仕事に専念し、家庭のことについては主に女性の役割である
- ▨ 女性は仕事に専念し、家庭のことについては主に男性の役割である
- ▩ 男女の役割は固定せずに、夫婦にあったかたちで行っている
- その他
- 該当しない(分担する男性または女性がいない)
- 無回答



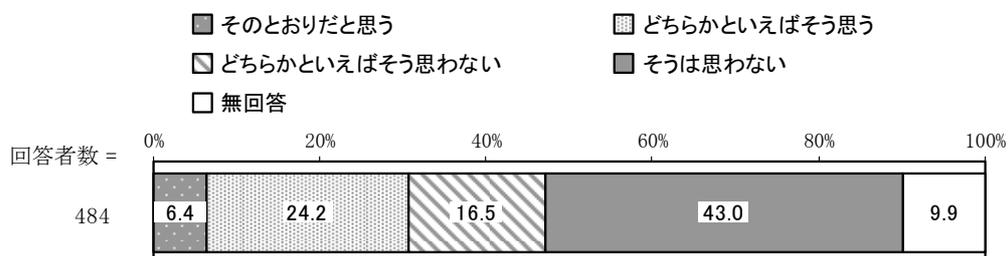
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「男女共に仕事をもち、家庭のことについては女性の役割である」の割合が、男性の壮年層で「男女共に仕事をもち、家庭のことについても共に協力して行っている」の割合が高くなっています。また、女性、男性ともに熟年層で「男女の役割は固定せずに、夫婦にあったかたちで行っている」の割合が高くなっています。



問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(〇は1つ)

「そうは思わない」の割合が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が24.2%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が16.5%となっています。

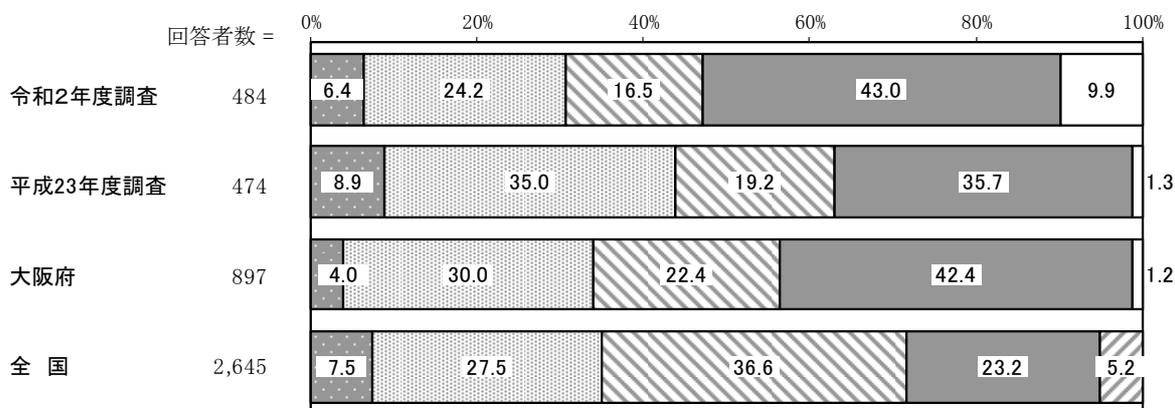


【平成 23 年度調査・大阪府調査・全国調査との比較】

令和 2 年度調査では、「無回答」の割合が高くなっていますが、平成 23 年度調査と比較すると、「そうは思わない」の割合が高くなっています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」の割合が低くなっています。

全国と比較すると、「そうは思わない」の割合が高くなっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」「わからない」の割合が低くなっています。

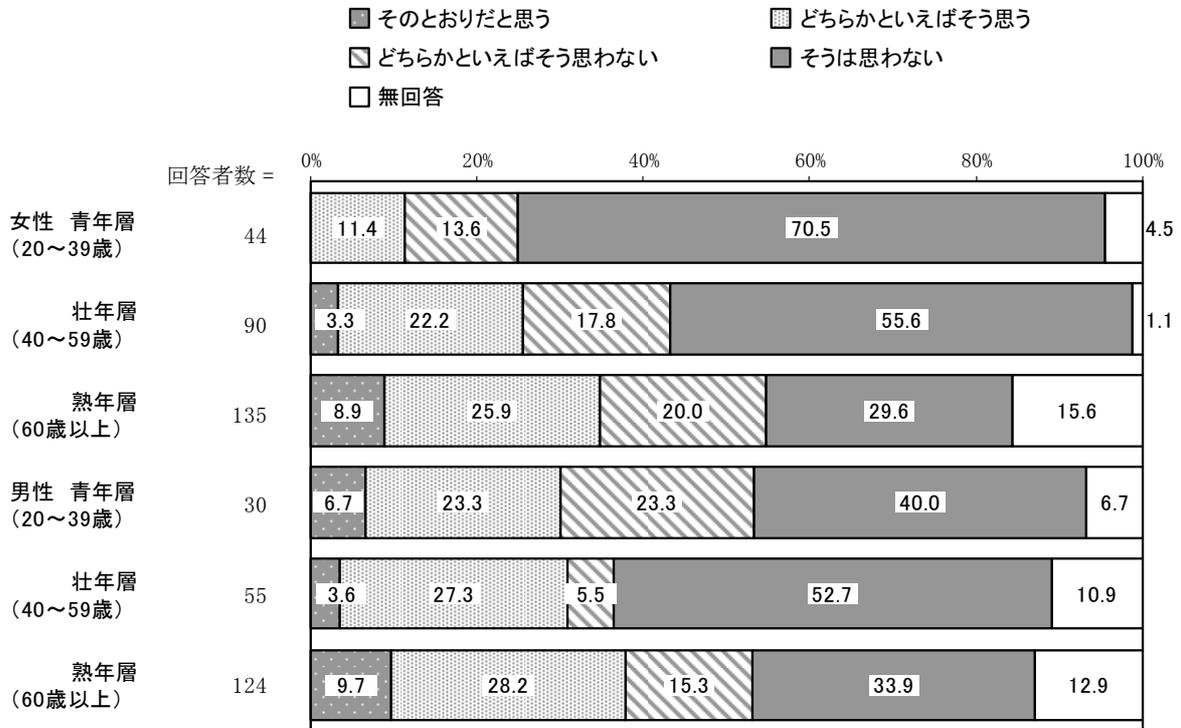


※全国調査では、無回答を除いています。

問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

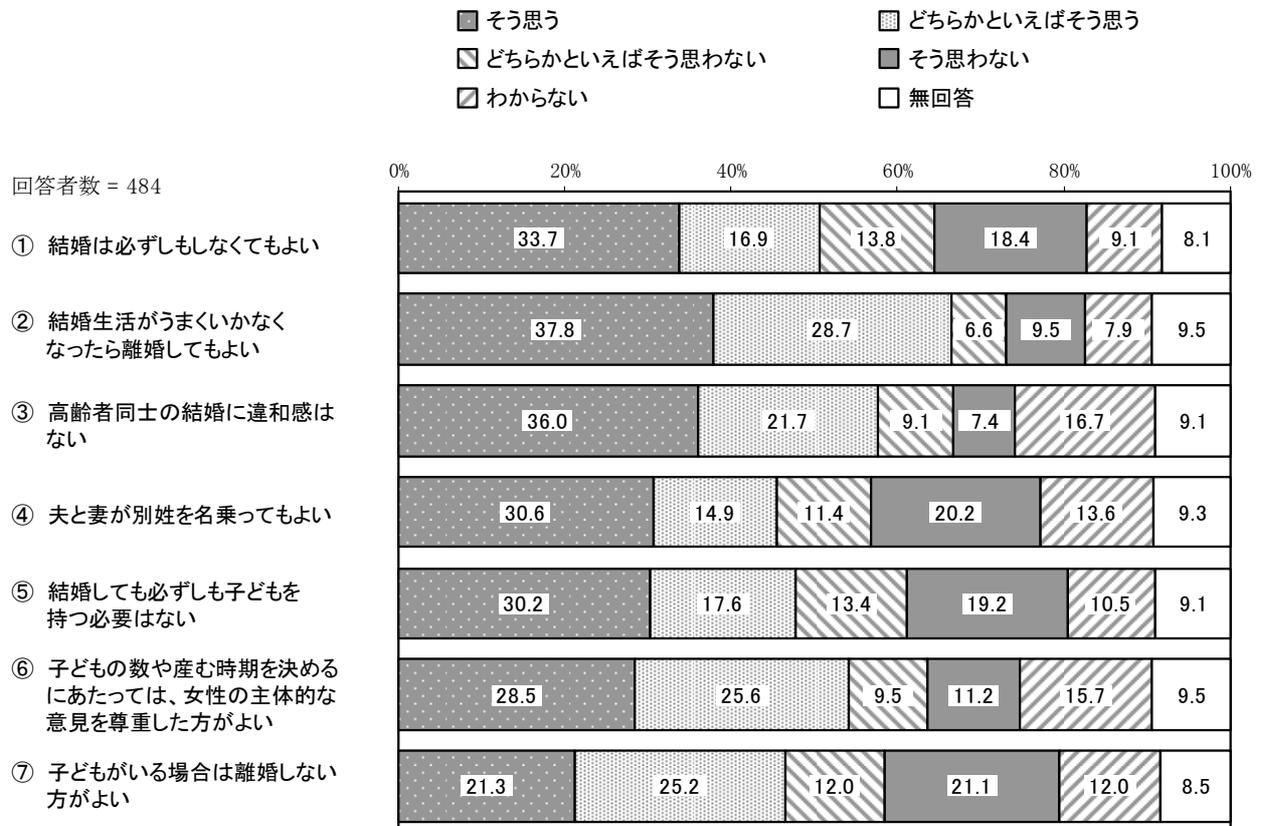
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに熟年層で“そう思う”の割合が高くなっています。



問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

『② 結婚生活がうまくいかなかったら離婚してもよい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。



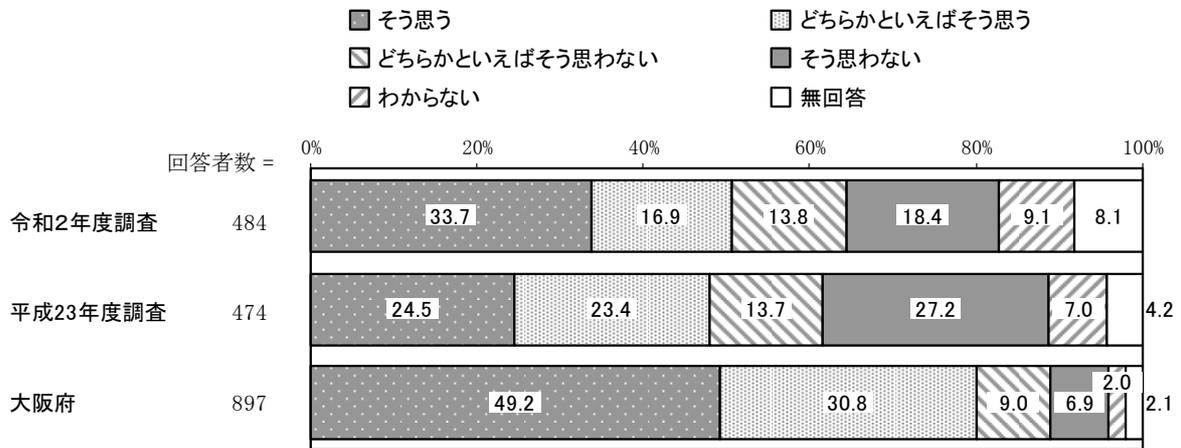
問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

① 結婚は必ずしもしなくてもよい

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

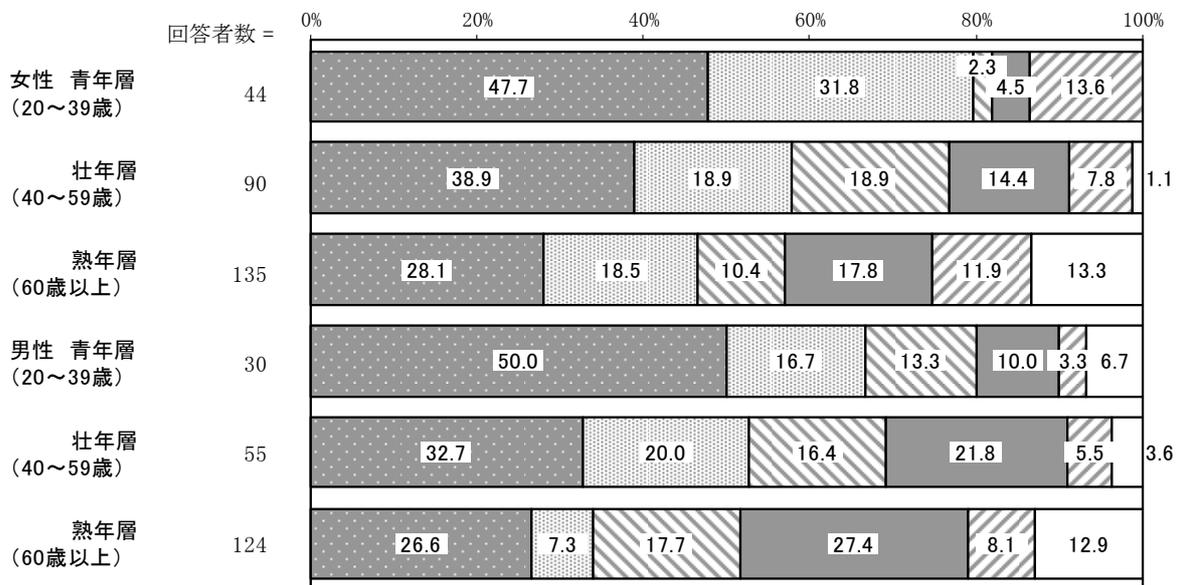
平成 23 年度調査と比較すると、“そう思わない”の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

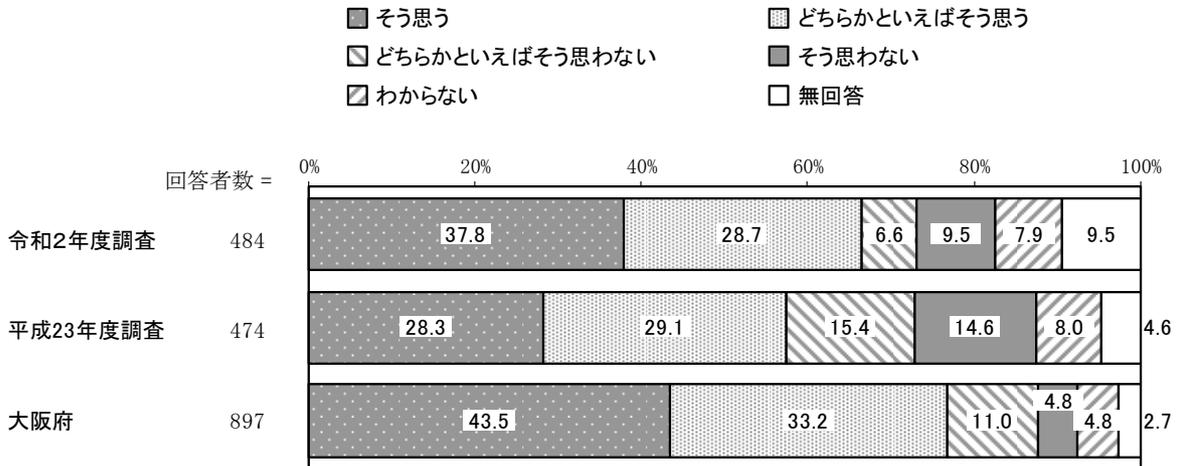


問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

② 結婚生活がうまくいかなくなったら離婚してもよい

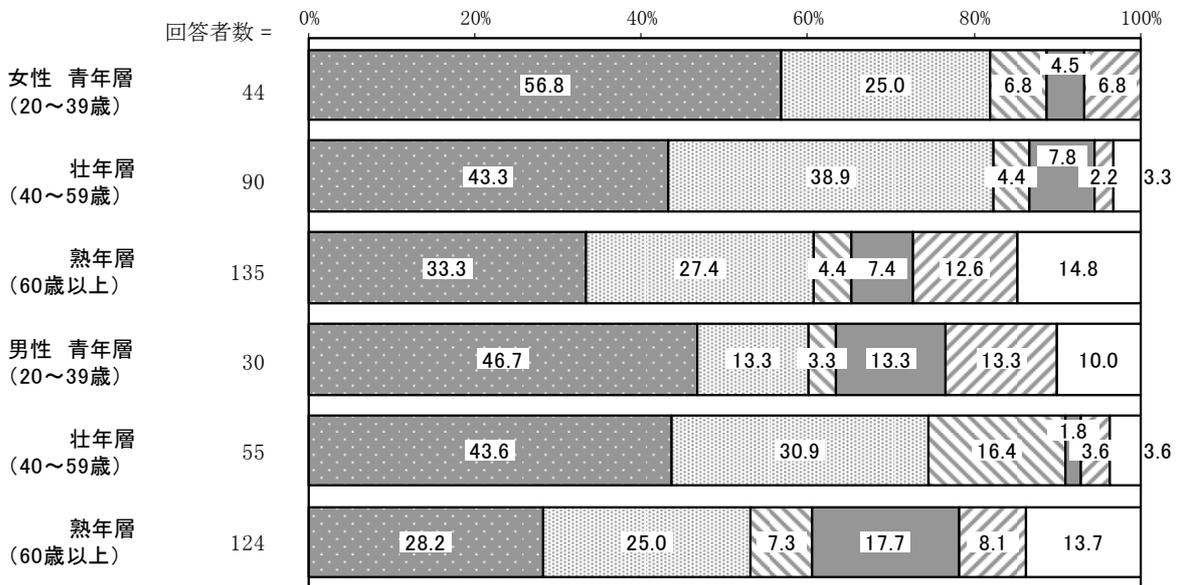
【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が高くなっています。
 大阪府と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

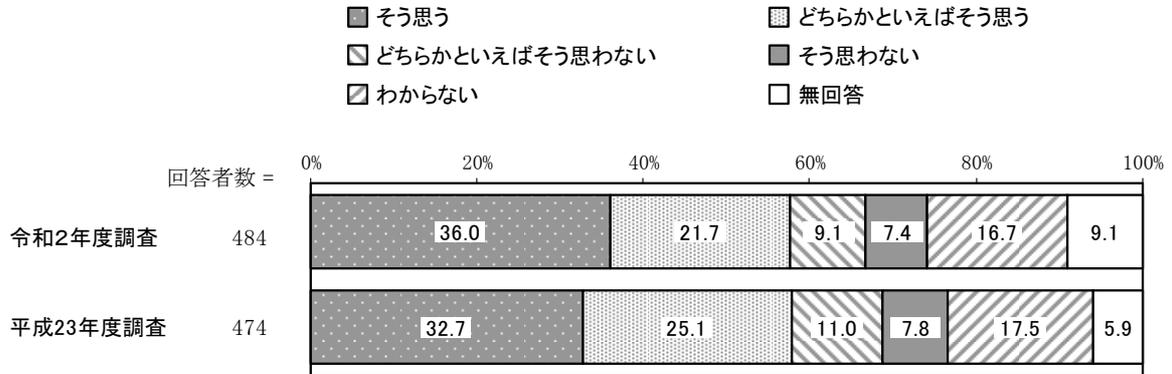


問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

③ 高齢者同士の結婚に違和感はない

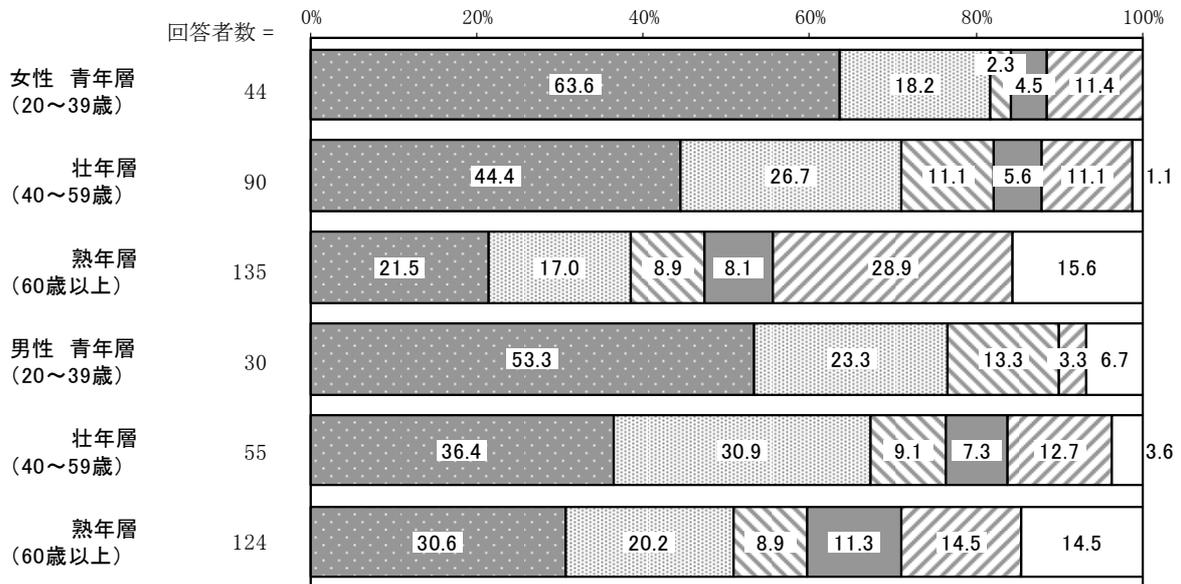
【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

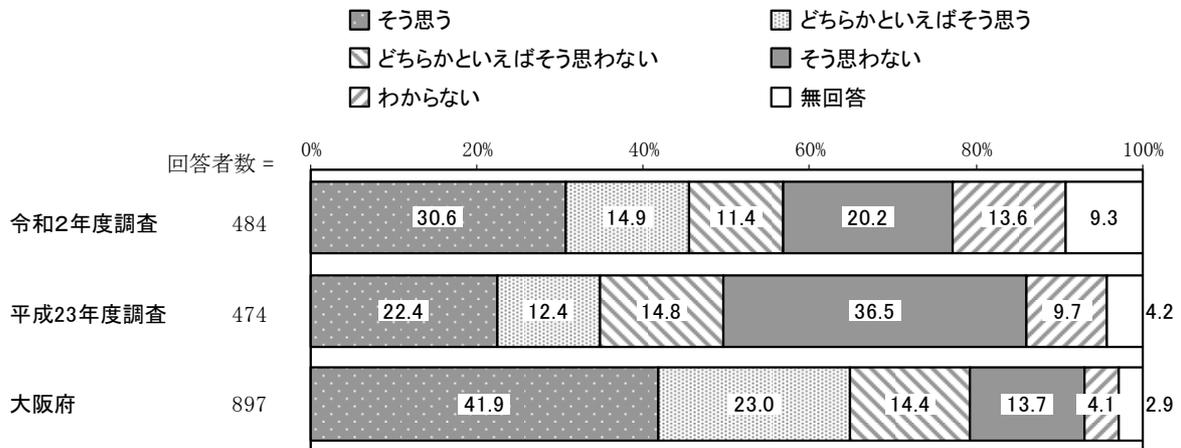


問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

④ 夫と妻が別姓を名乗ってもよい

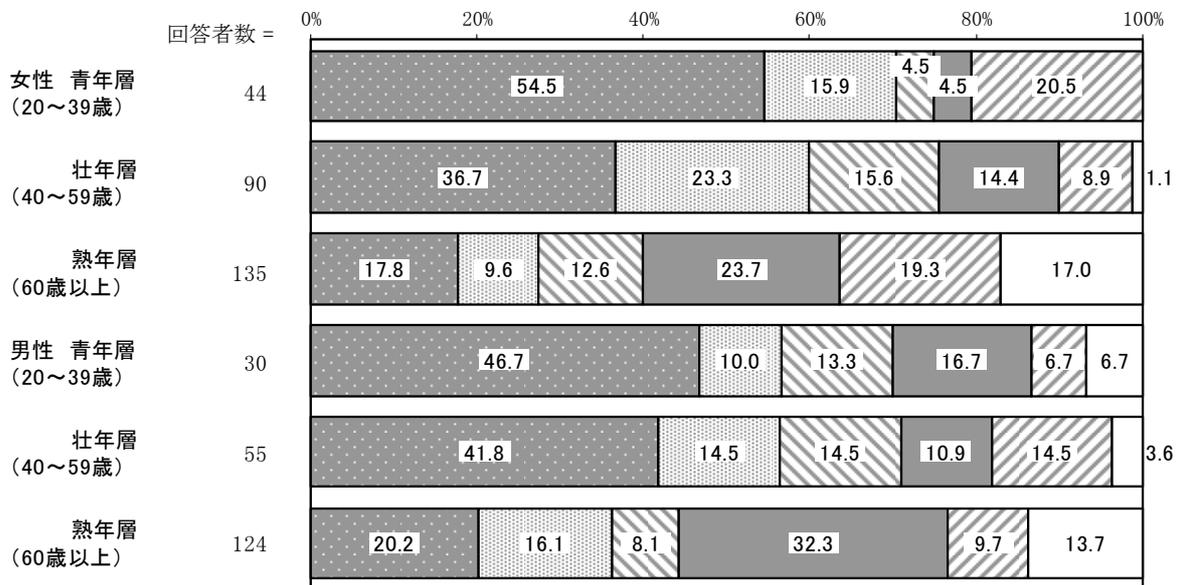
【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が高くなっています。
 大阪府と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層、壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。



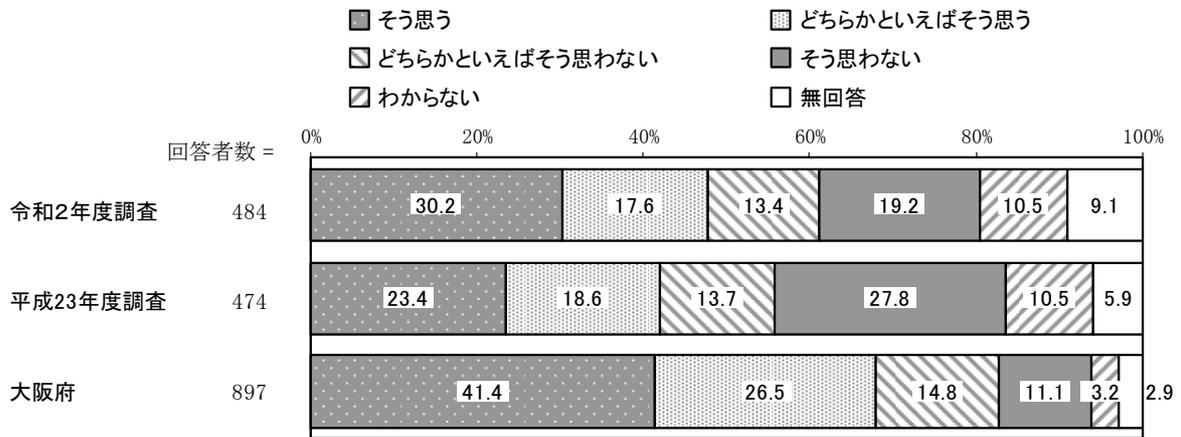
問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

⑤ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

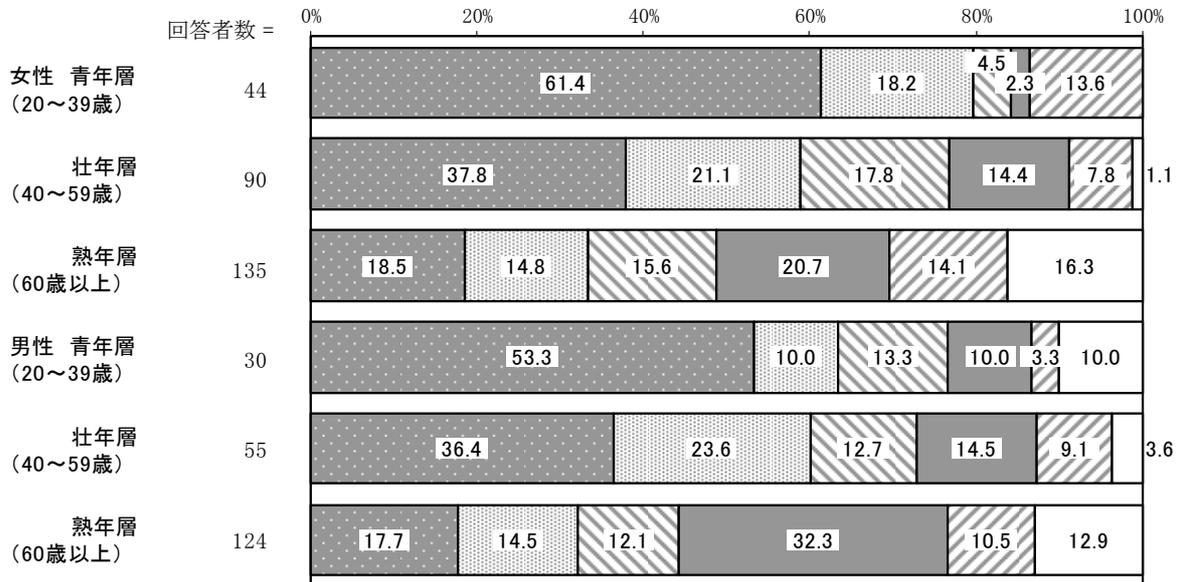
平成 23 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が高くなっています。

大阪府と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

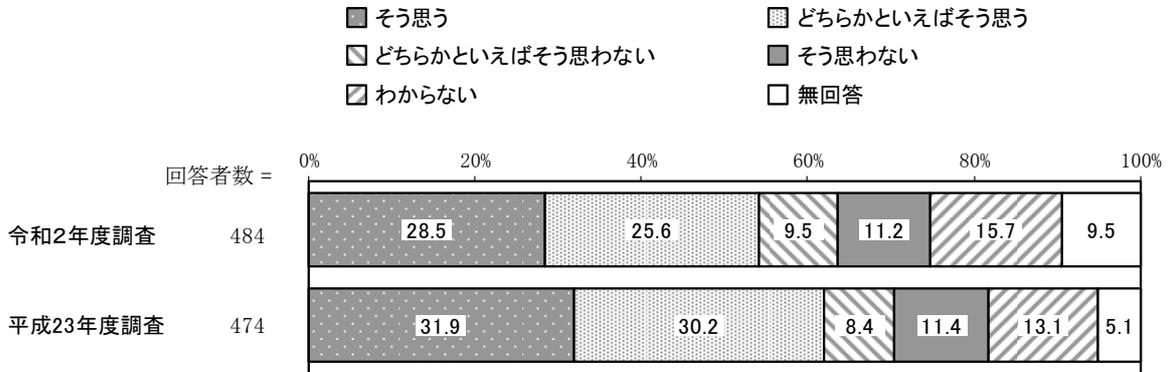
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層、壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。



問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

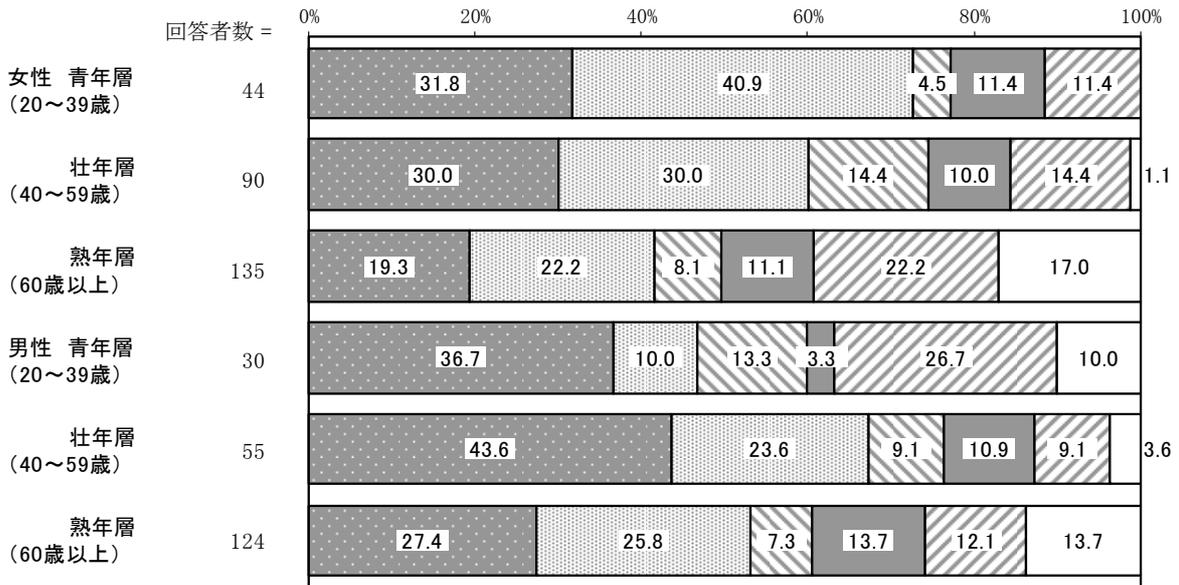
⑥ 子どもの数や産む時期を決めるにあたっては、女性の主体的な意見を尊重した方がよい
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、男性の壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

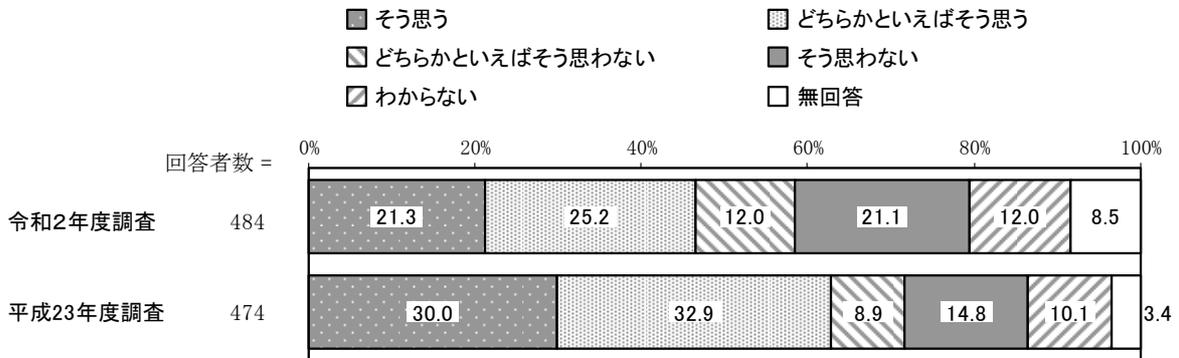


問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

⑦ 子どもがいる場合は離婚しない方がよい

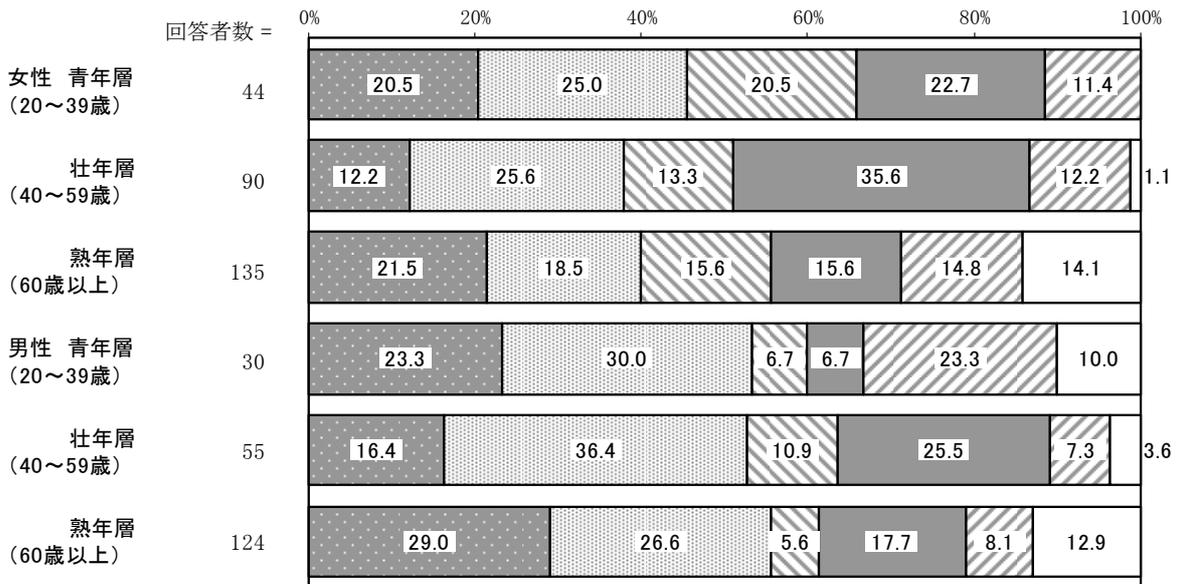
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が低くなっています。



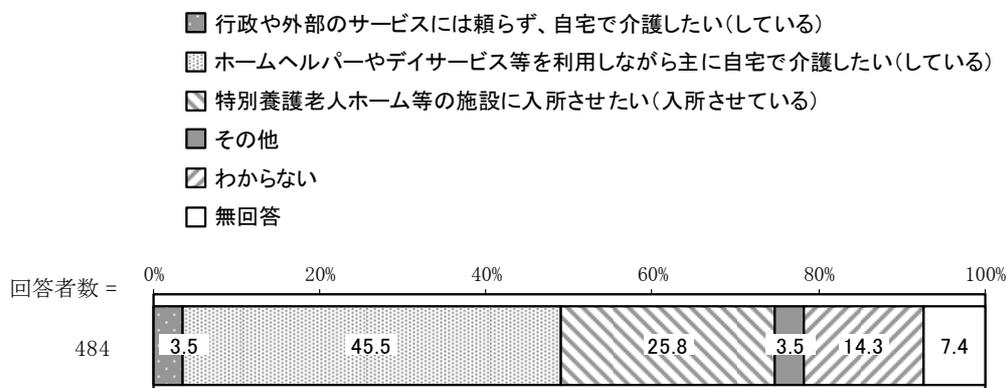
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層で“そう思う”の割合が高くなっています。



問 40 あなたは、自分の家族の中に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

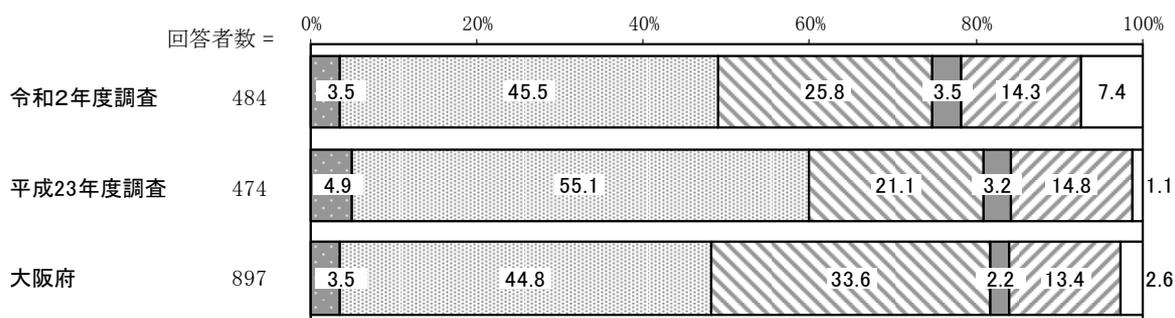
「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)」の割合が 25.8%、「わからない」の割合が 14.3%となっています。



【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)」の割合が低くなっています。

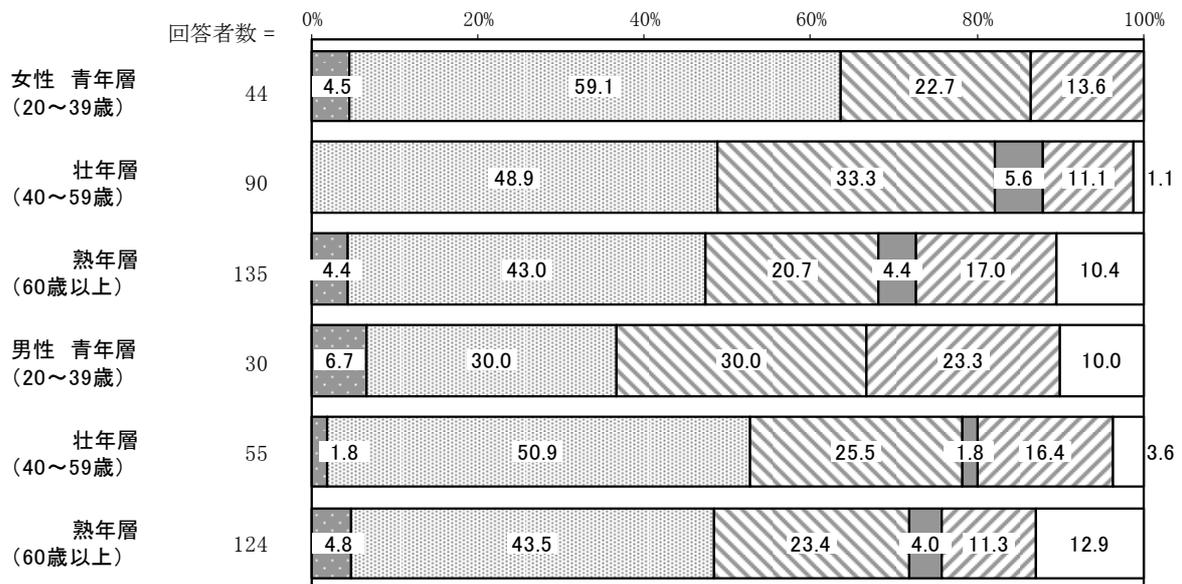


問 40 あなたは、自分の家族の中に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

【性・年齢層別】

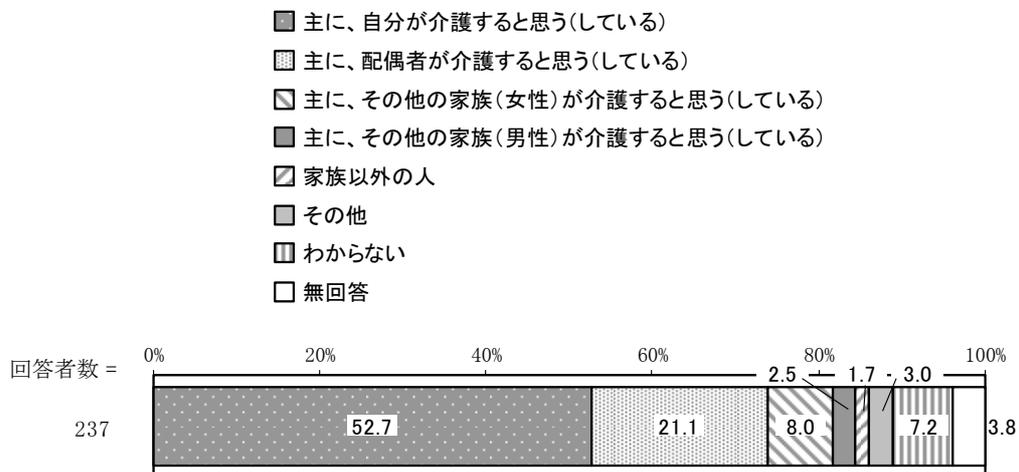
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の壮年層で「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)」の割合が高くなっています。

- 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護したい(している)
- ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)
- 特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)
- その他
- わからない
- 無回答



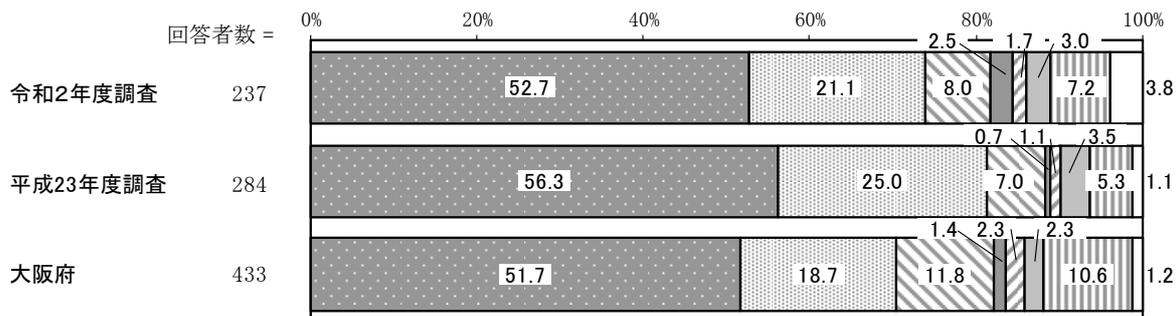
問 40－1 問 40 で「1」または「2」を回答された方におうかがいします。自宅で介護する場合、主に誰が介護することになると思いますか（していますか）。
 (○は1つ)

「主に、自分が介護すると思う（している）」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「主に、配偶者が介護すると思う（している）」の割合が 21.1%となっています。



【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
 大阪府と比較しても、大きな変化はみられません。

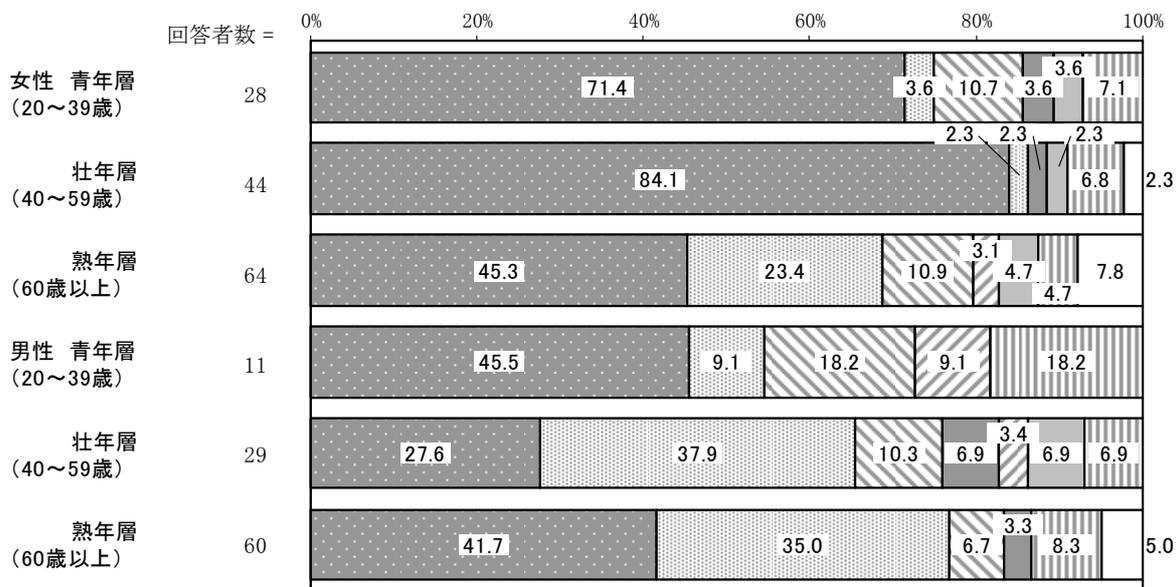


問 40-1 問 40 で「1」または「2」を回答された方におうかがいします。自宅で介護する場合、主に誰が介護することになると思いますか（していますか）。
 (○は1つ)

【性・年齢層別】

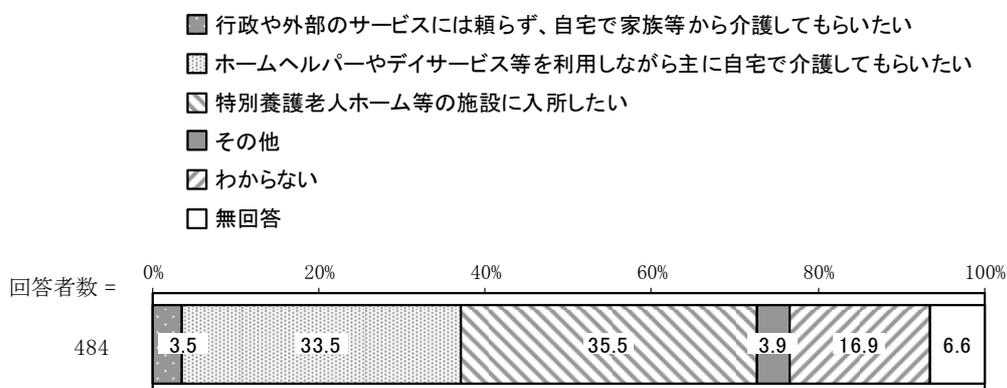
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、男性の青年層で「主に、自分が介護すると思う（している）」の割合が高くなっています。また、男性の壮年層、熟年層で「主に、配偶者が介護すると思う（している）」の割合が高くなっています。

- 主に、自分が介護すると思う(している)
- ▨ 主に、配偶者が介護すると思う(している)
- ▧ 主に、その他の家族(女性)が介護すると思う(している)
- 主に、その他の家族(男性)が介護すると思う(している)
- ▩ 家族以外の人
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



問 41 もしあなたが介護を要する状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。(〇は1つ)

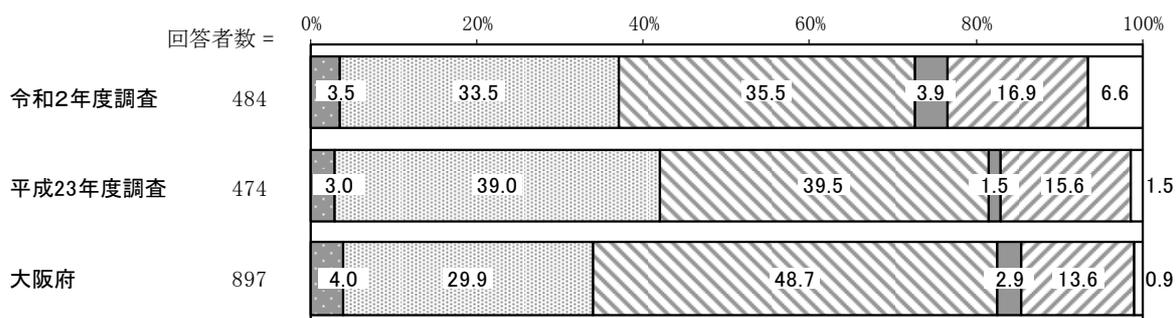
「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」の割合が35.5%と最も高く、次いで「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい」の割合が33.5%、「わからない」の割合が16.9%となっています。



【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい」の割合が低くなっています。

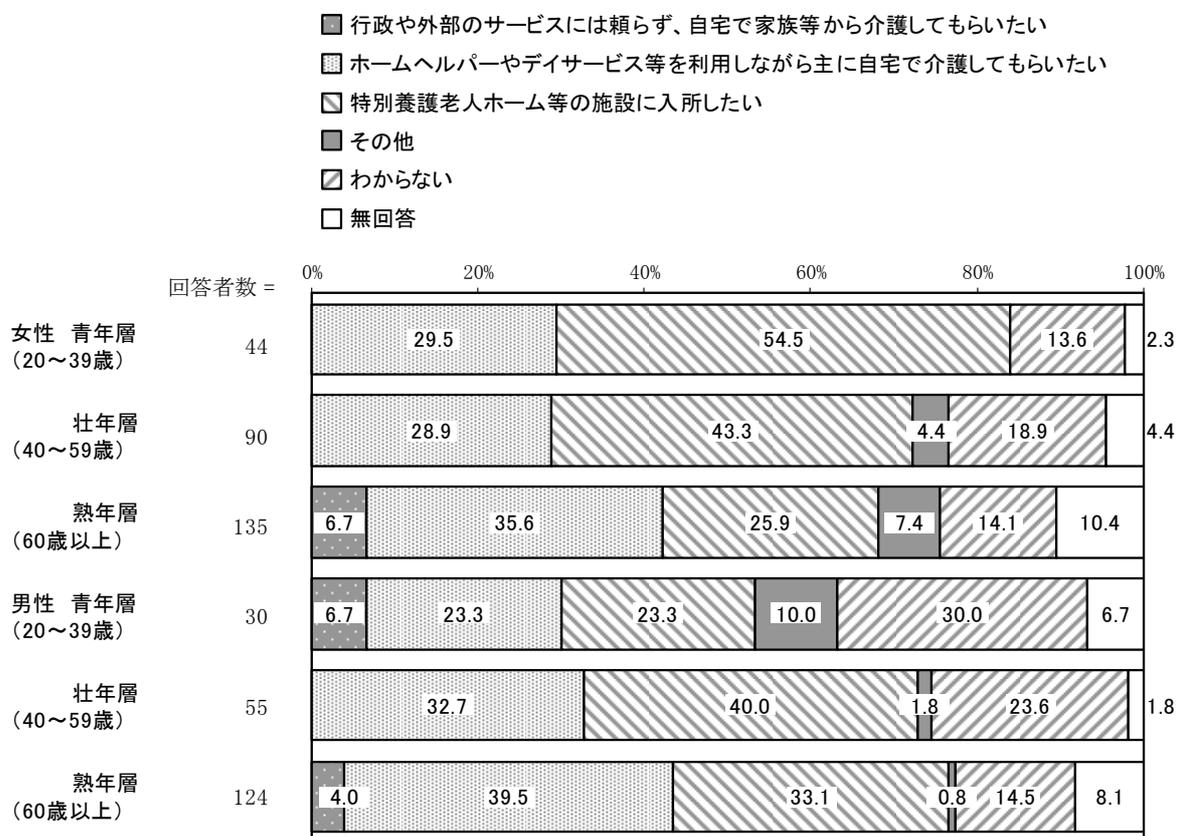
大阪府と比較すると、「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」の割合が低くなっています。



問 41 もしあなたが介護を要する状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。(〇は1つ)

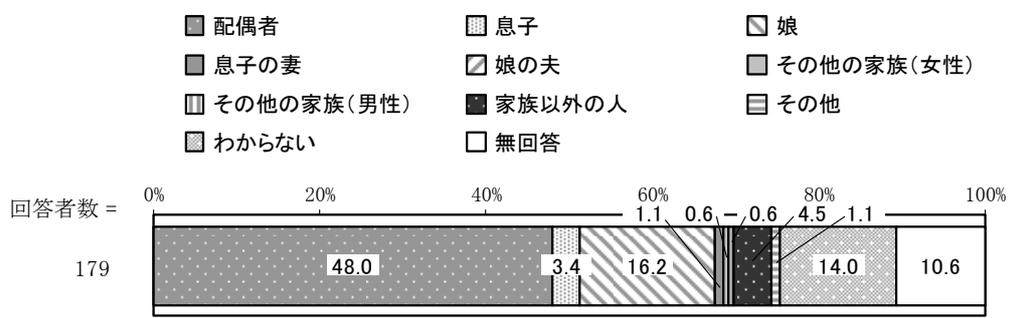
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の壮年層で「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」の割合が高くなっています。



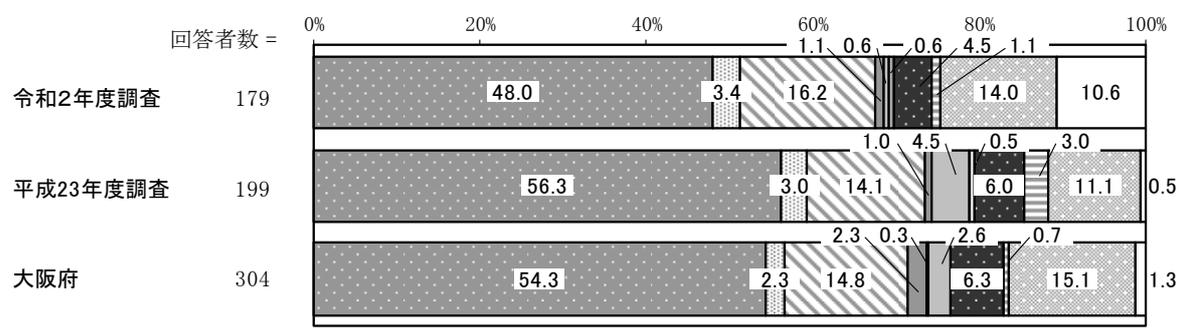
問 41-1 問 41 で「1」または「2」とを回答された方におうかがいします。自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。(〇は1つ)

「配偶者」の割合が48.0%と最も高く、次いで「娘」の割合が16.2%、「わからない」の割合が14.0%となっています。



【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

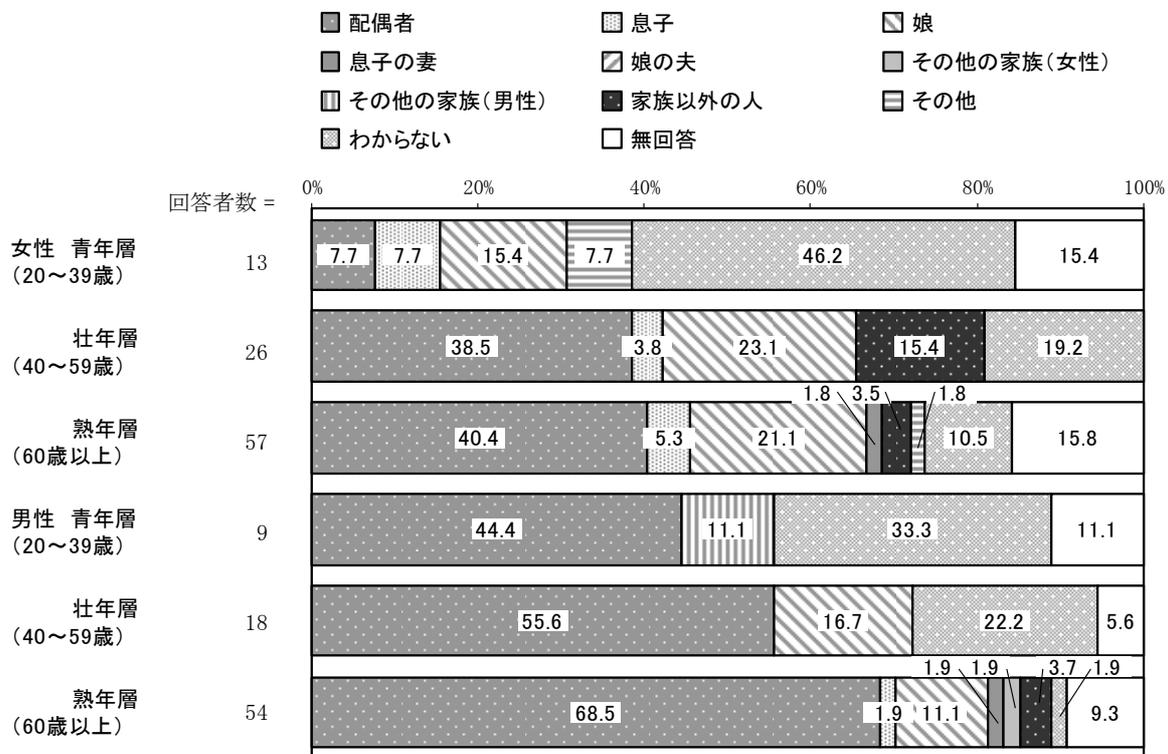
平成 23 年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が低くなっています。大阪府と比較しても、大きな変化はみられません。



問 41-1 問 41 で「1」または「2」とを回答された方におうかがいします。自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。(○は1つ)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、女性、男性ともに年齢層が高くなるにつれ「配偶者」の割合が高くなっています。



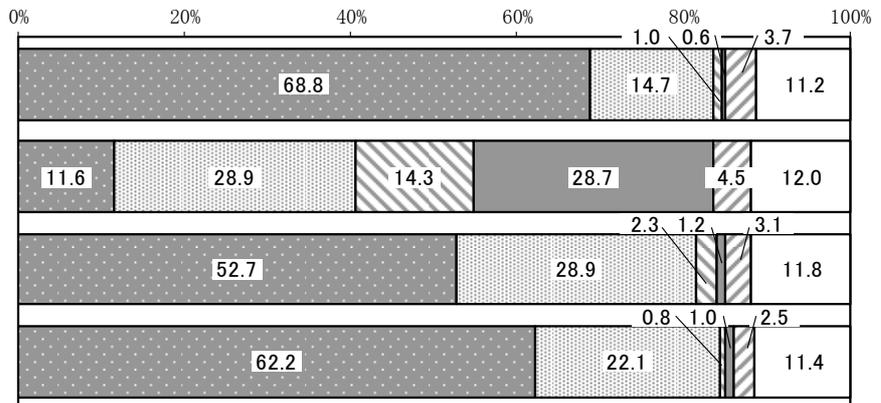
問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

『② 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい』で「どちらかといえばそう思う」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高くなっています。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

回答者数 = 484

- ① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい
- ② 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい
- ③ 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい
- ④ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい

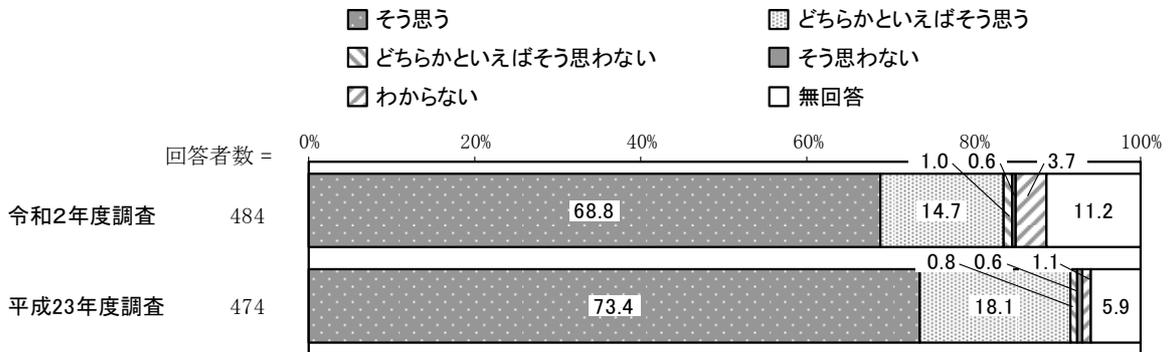


問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい

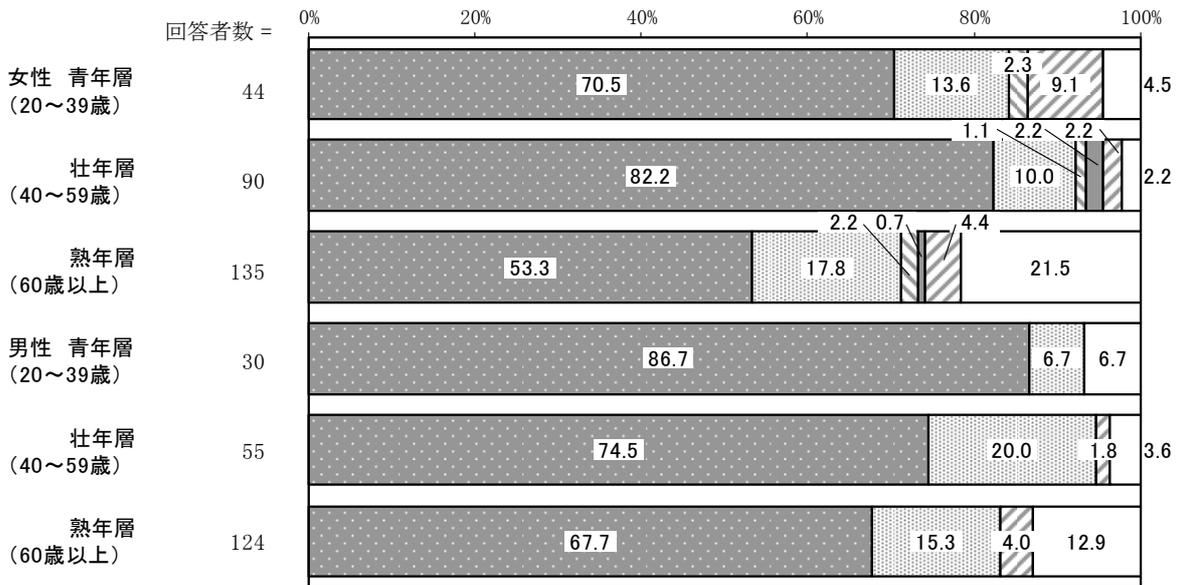
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、男性の青年層、壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

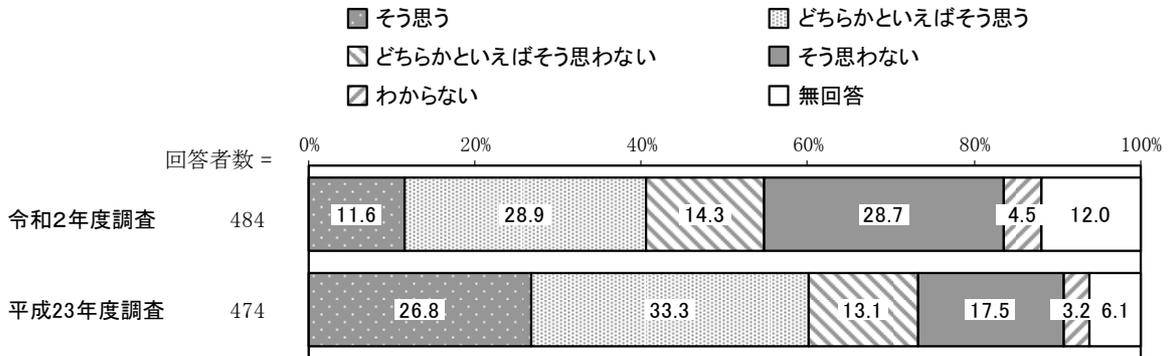


問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

② 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい

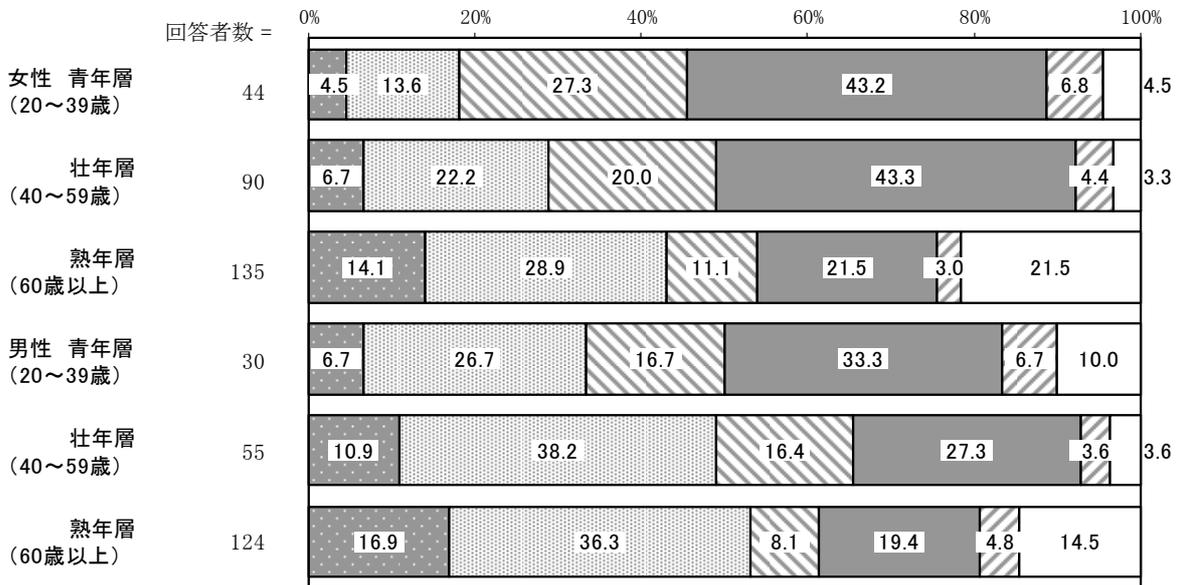
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が高くなっています。一方、「そう思う」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、女性、男性ともに年齢層が高くなるにつれ“そう思う”の割合が高くなっています。

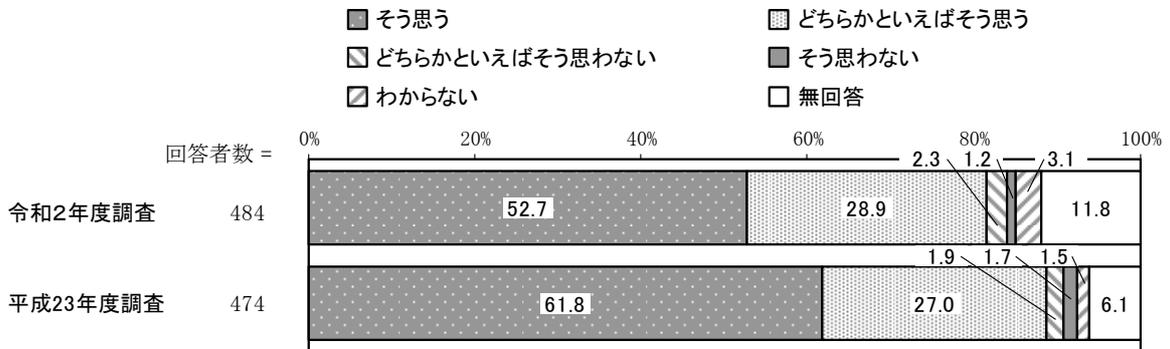


問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

③ 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい

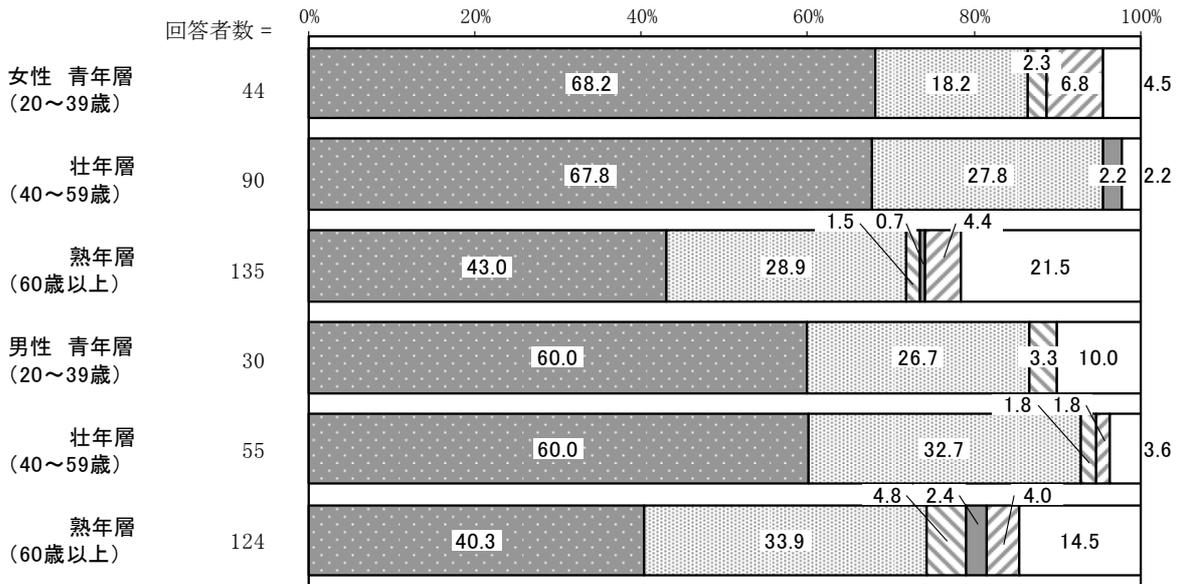
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。

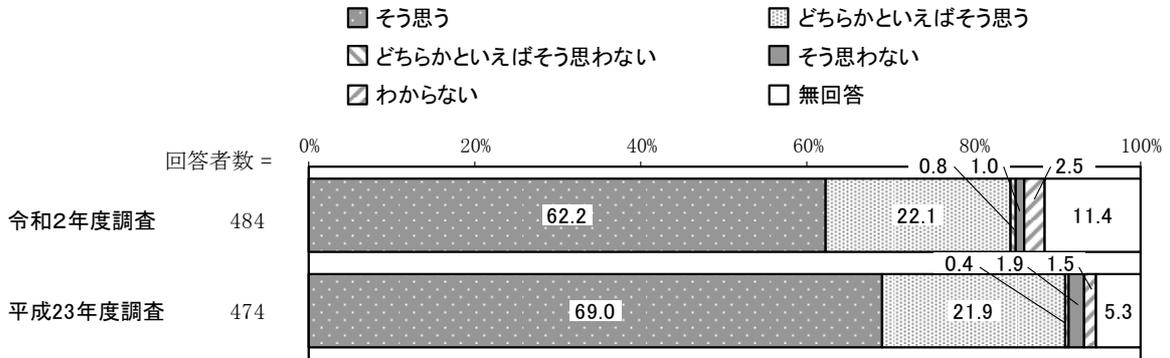


問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

④ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい

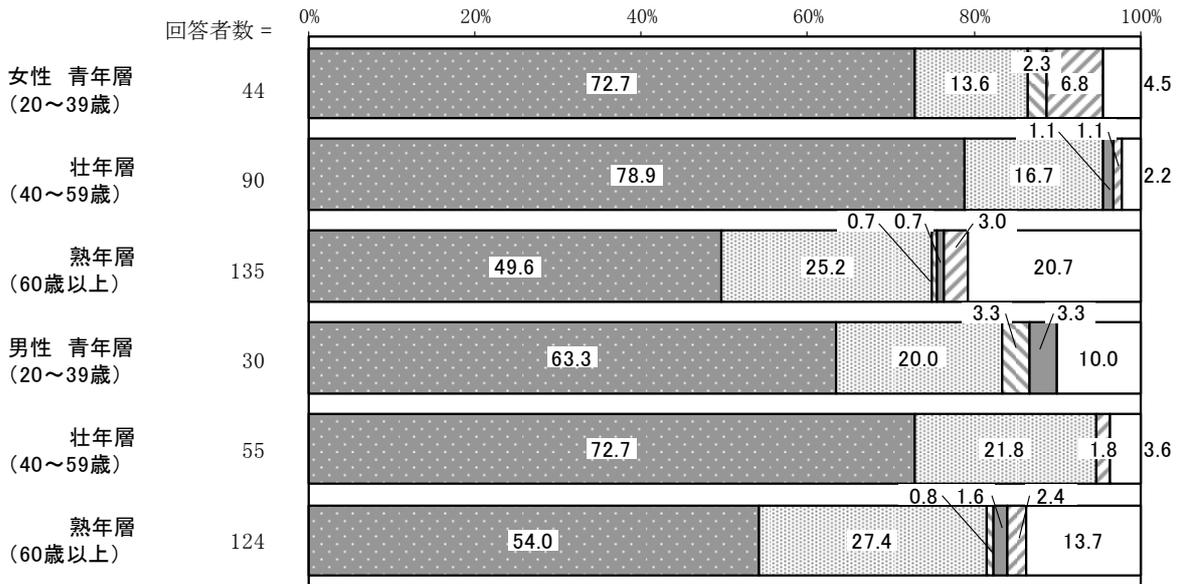
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

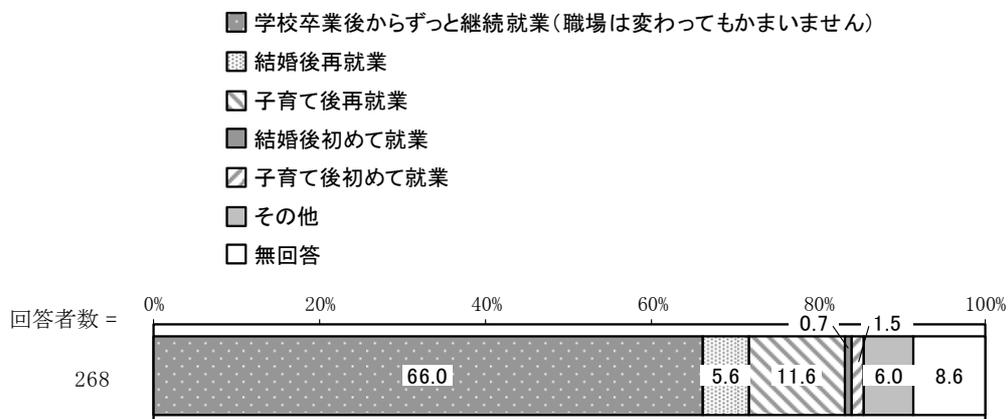
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で“そう思う”の割合が高くなっています。



(2) 仕事（職業）について

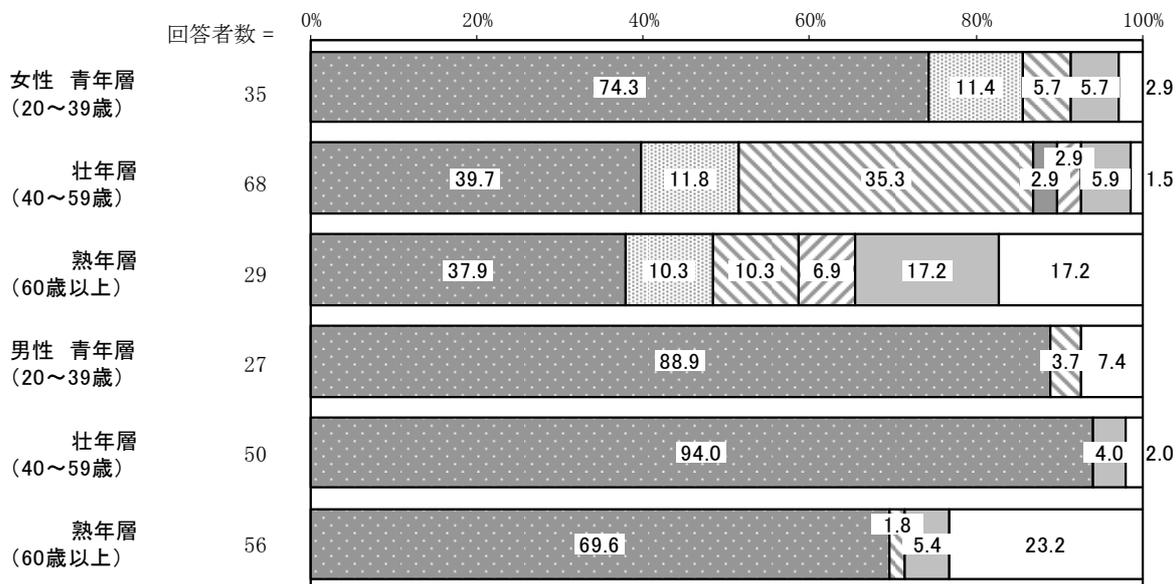
問 43 現在、仕事についているすべての方におたずねします。これまでどのような働き方をしていますか。(〇は1つ)

「学校卒業後からずっと継続就業（職場は変わってもかまいません）」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「子育て後再就業」の割合が 11.6%となっています。



【性・年齢層別】

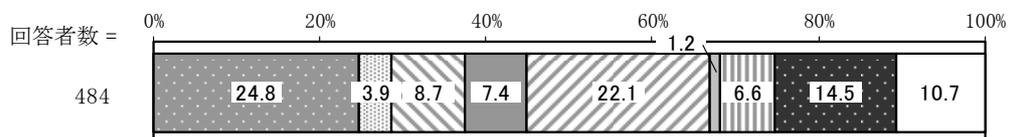
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層、壮年層で「学校卒業後からずっと継続就業（職場は変わってもかまいません）」の割合が高くなっています。



問 44 すべての方におうかがいします。女性の仕事の仕方として、あなたが望ましいと思うものは次のどれですか。(〇は1つ)

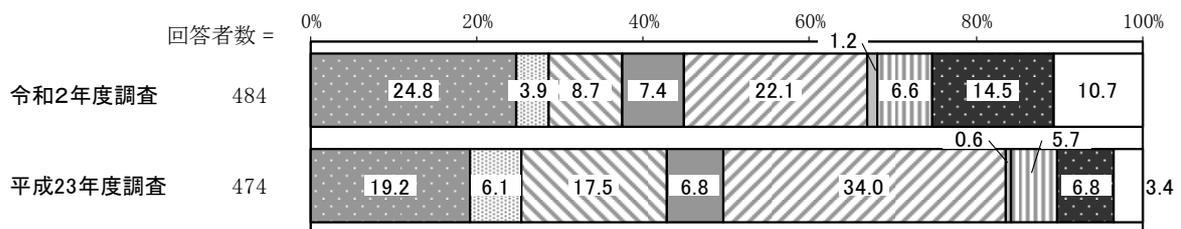
「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい」の割合が 22.1%、「わからない」の割合が 14.5%となっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
- 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい
- 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後フルタイムで仕事をする方がよい
- 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい
- 仕事にはつかない方がよい
- その他
- わからない
- 無回答



【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」「わからない」の割合が高くなっています。一方、「子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい」「子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい」の割合が低くなっています。

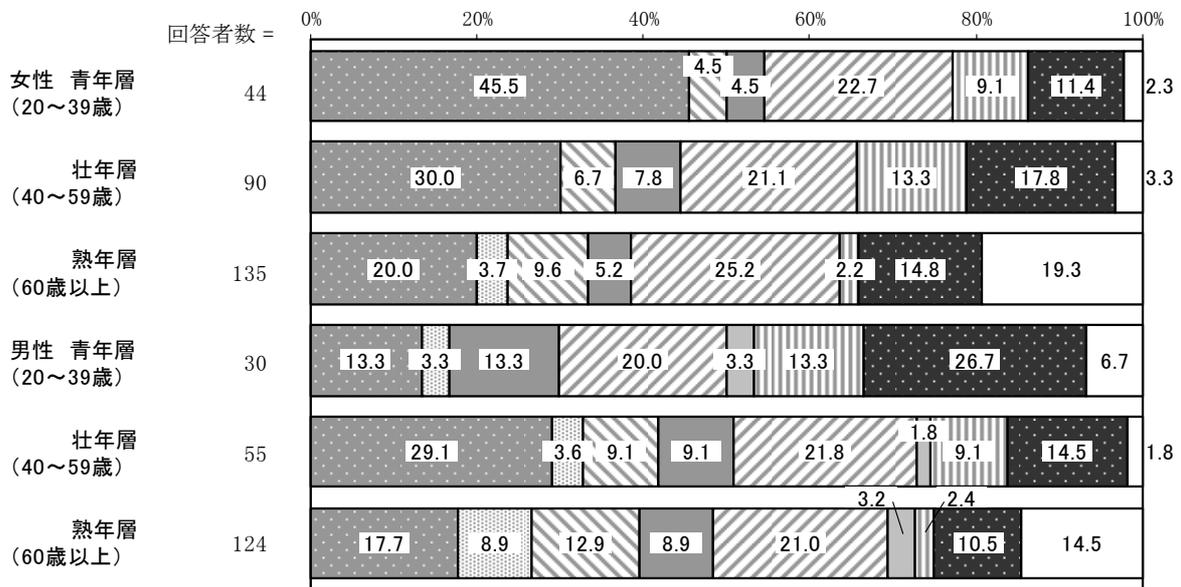


問 44 すべての方におうかがいします。女性の仕事の仕方として、あなたが望ましいと思うものは次のどれですか。(〇は1つ)

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、男性の壮年層で「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が高くなっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- ▨ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
- ▩ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい
- 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後フルタイムで仕事をする方がよい
- ▨ 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい
- ▩ 仕事にはつかない方がよい
- その他
- わからない
- 無回答

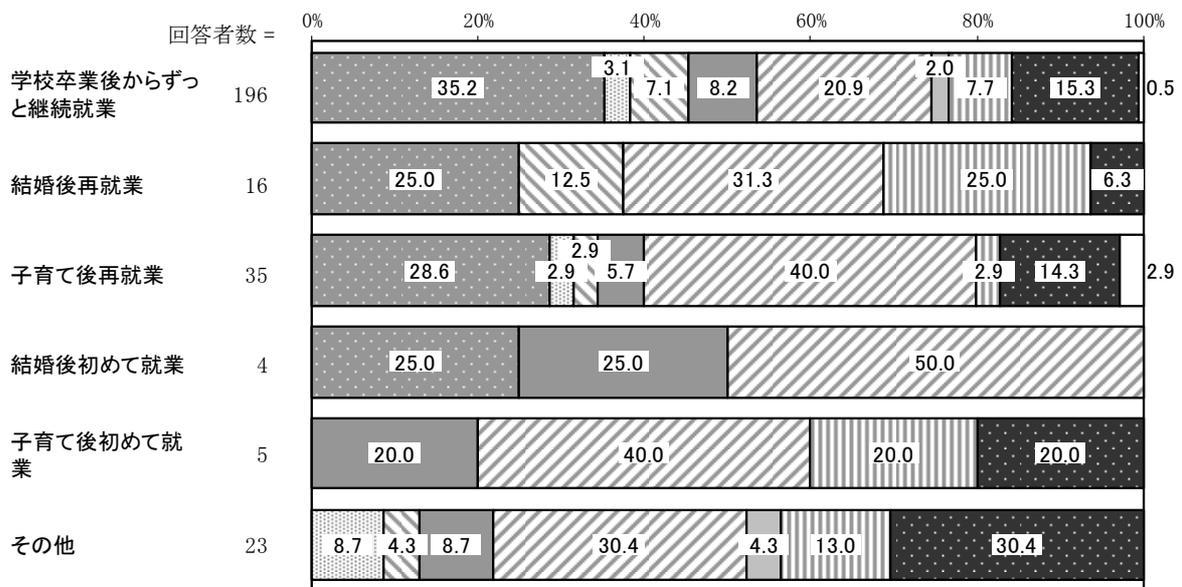


問 44 すべての方におうかがいします。女性の仕事の仕方として、あなたが望ましいと思うものは次のどれですか。(〇は1つ)

【働き方別】

働き方別でみると、他に比べ、学校卒業後からずっと継続就業（職場は変わってもかまいません）で「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が、子育て後再就業で「子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい」の割合が高くなっています。

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- ▨ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
- ▧ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい
- 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後フルタイムで仕事をする方がよい
- ▨ 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい
- ▧ 仕事にはつかない方がよい
- その他
- わからない
- 無回答

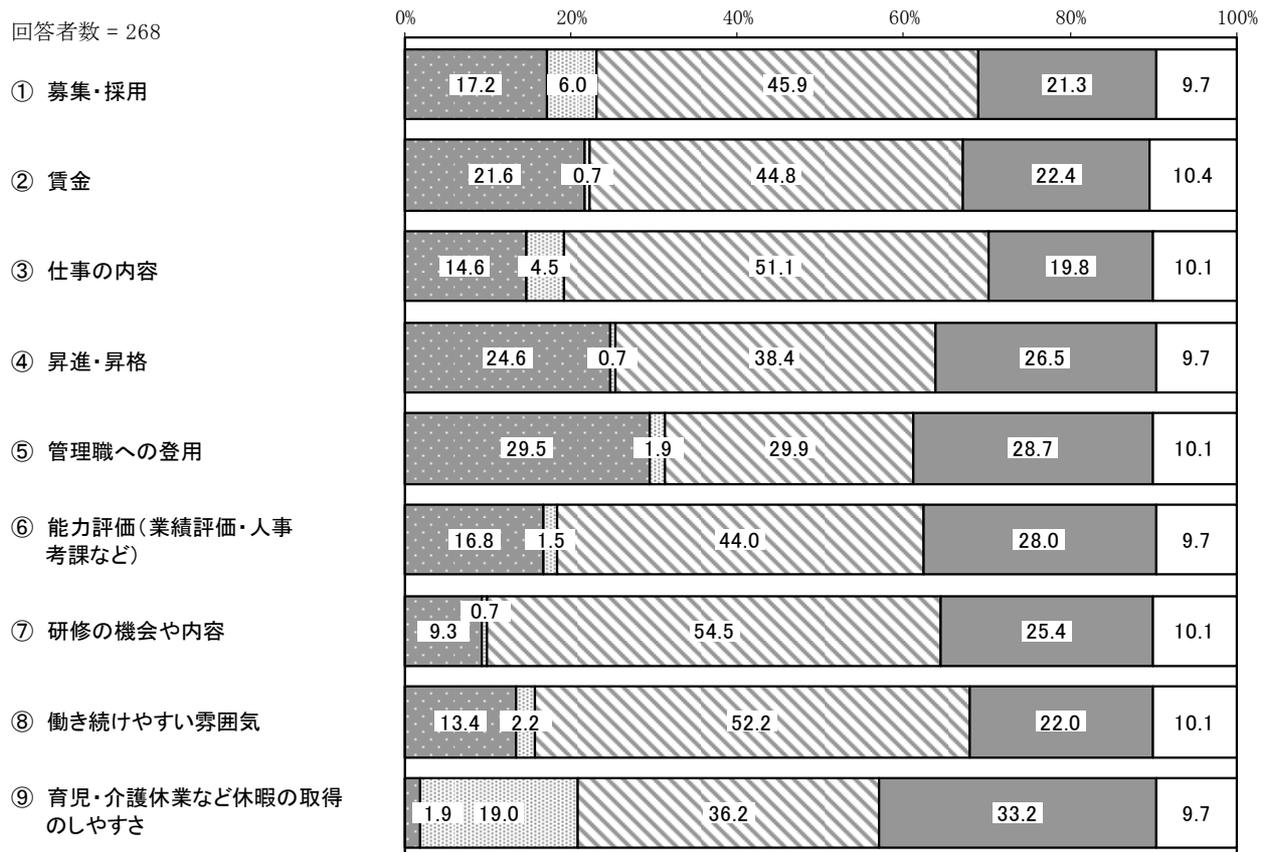


問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

『⑤ 管理職への登用』で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。また、『⑨ 育児・介護休業など休暇の取得のしやすさ』で「女性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

- 男性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- 平等である
- わからない
- 無回答

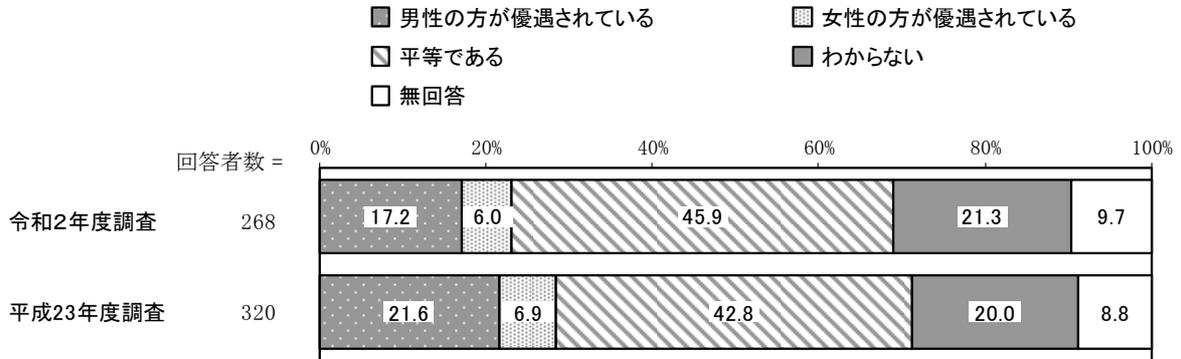
回答者数 = 268



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

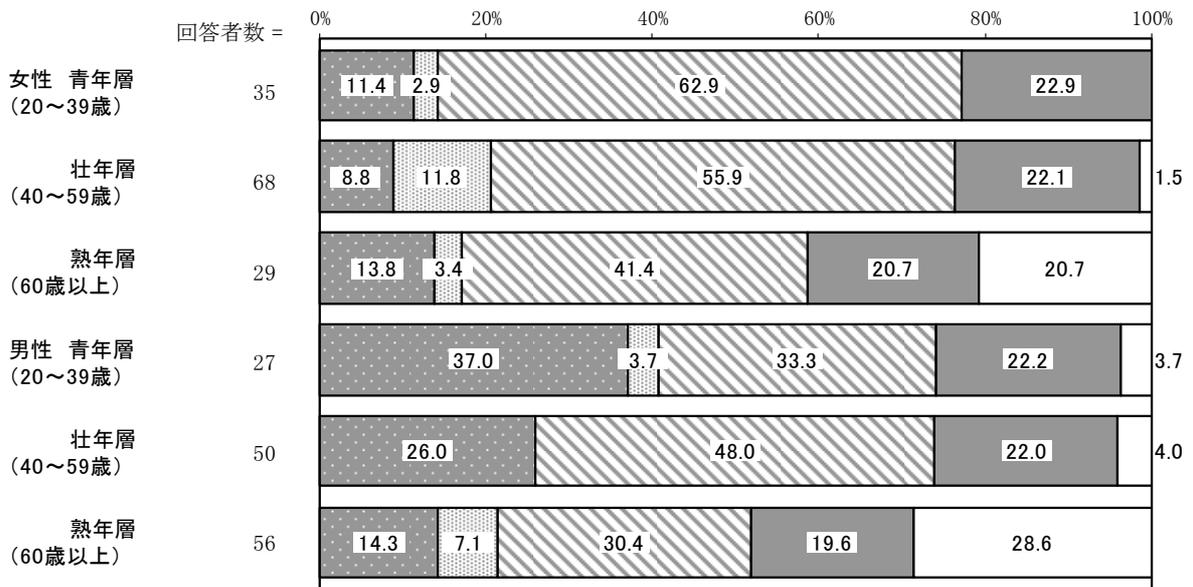
① 募集・採用

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢層別】

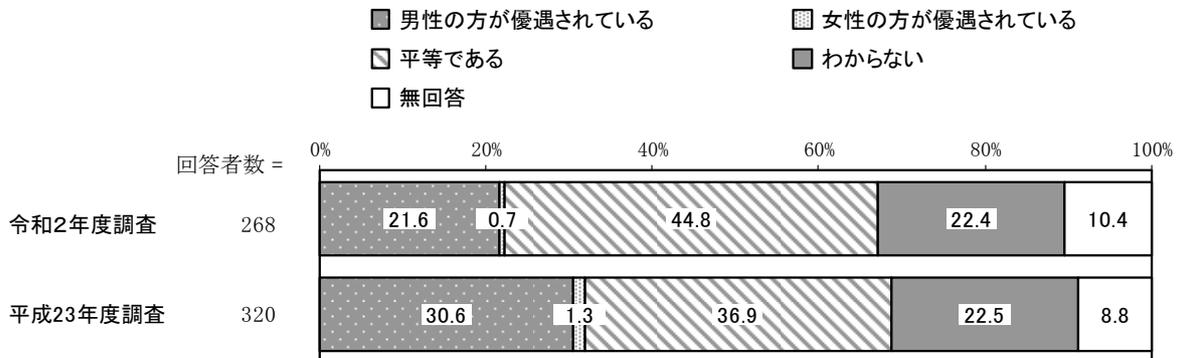
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層で「平等である」の割合が高くなっています。また、男性の青年層で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

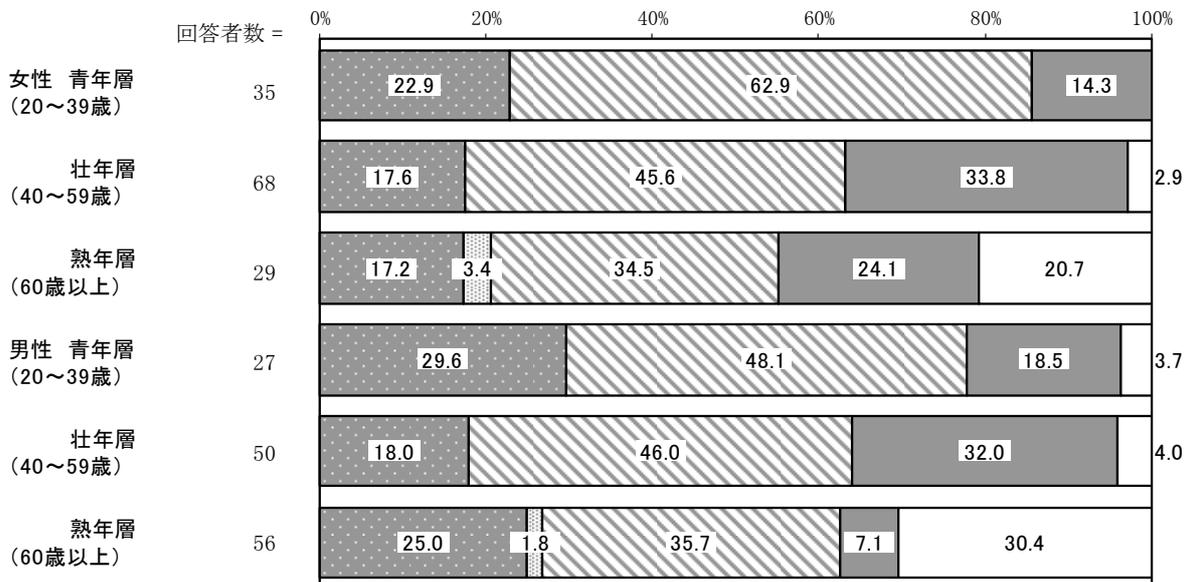
② 賃金

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

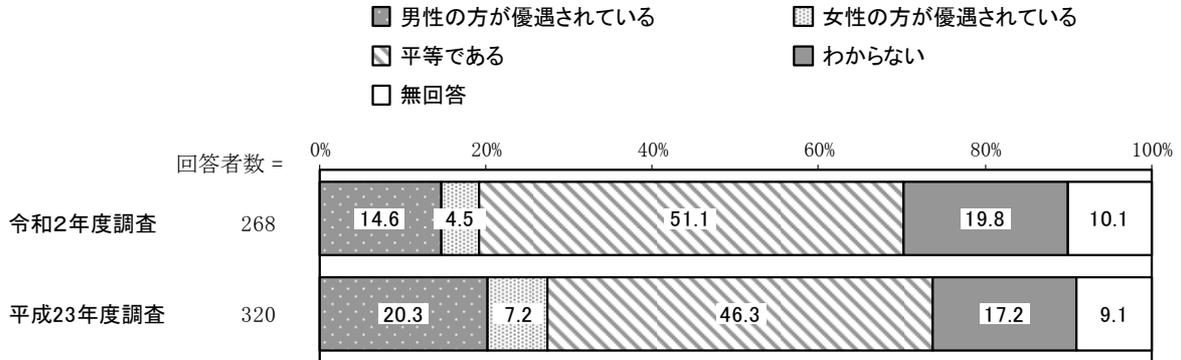
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層で「平等である」の割合が高くなっています。また、男性の青年層で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

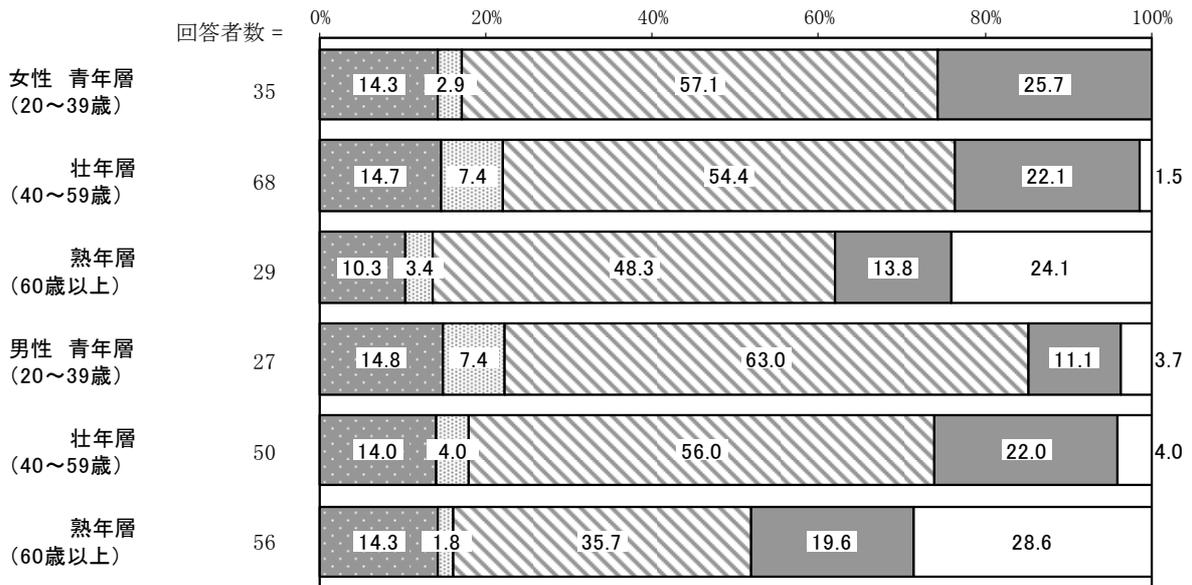
③ 仕事の内容

平成 23 年度調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

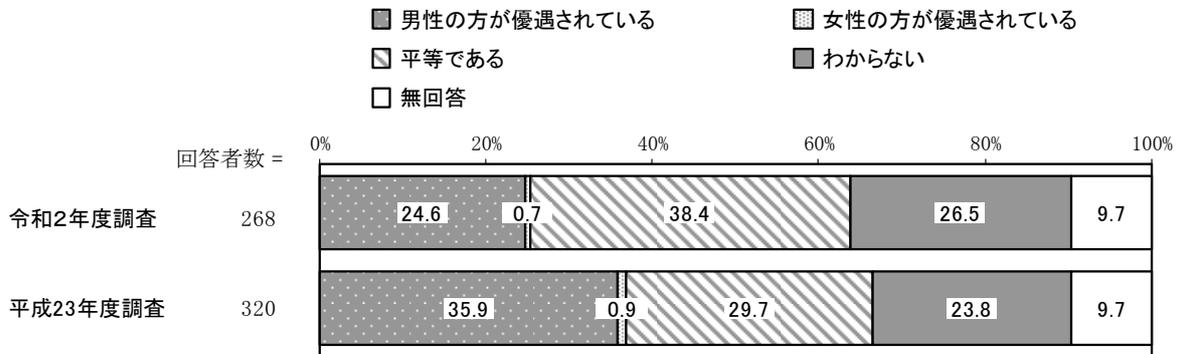
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の青年層で「平等である」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

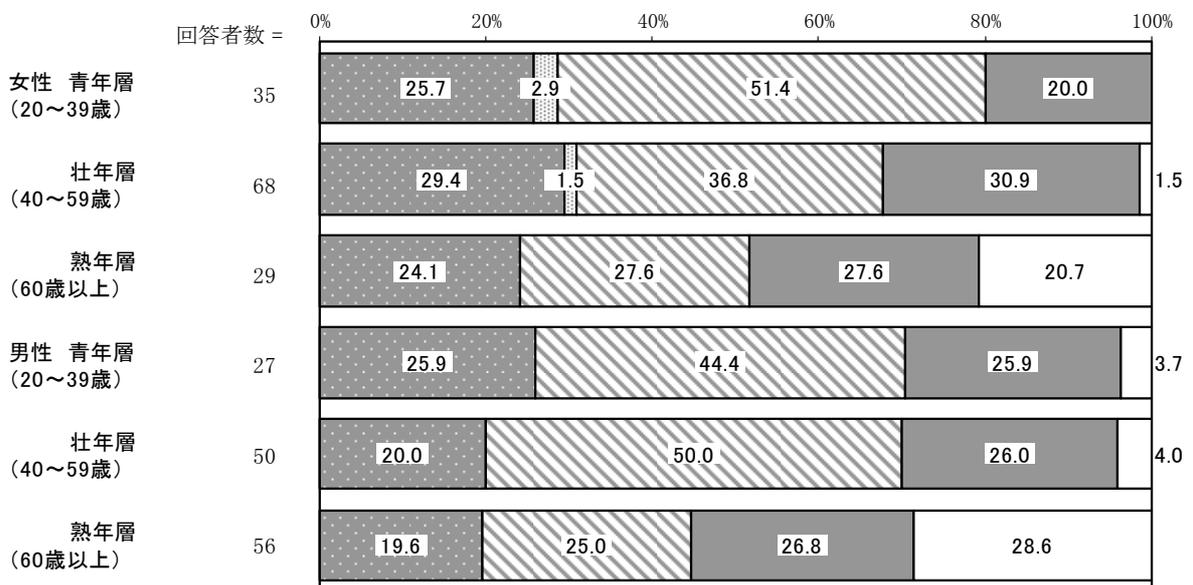
④ 昇進・昇格

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

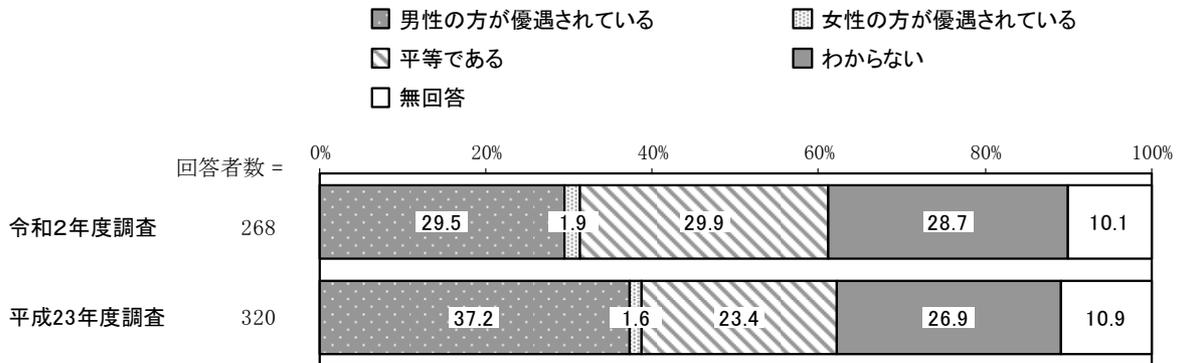
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の壮年層で「平等である」の割合が高くなっています。また、女性の壮年層、男性の青年層で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

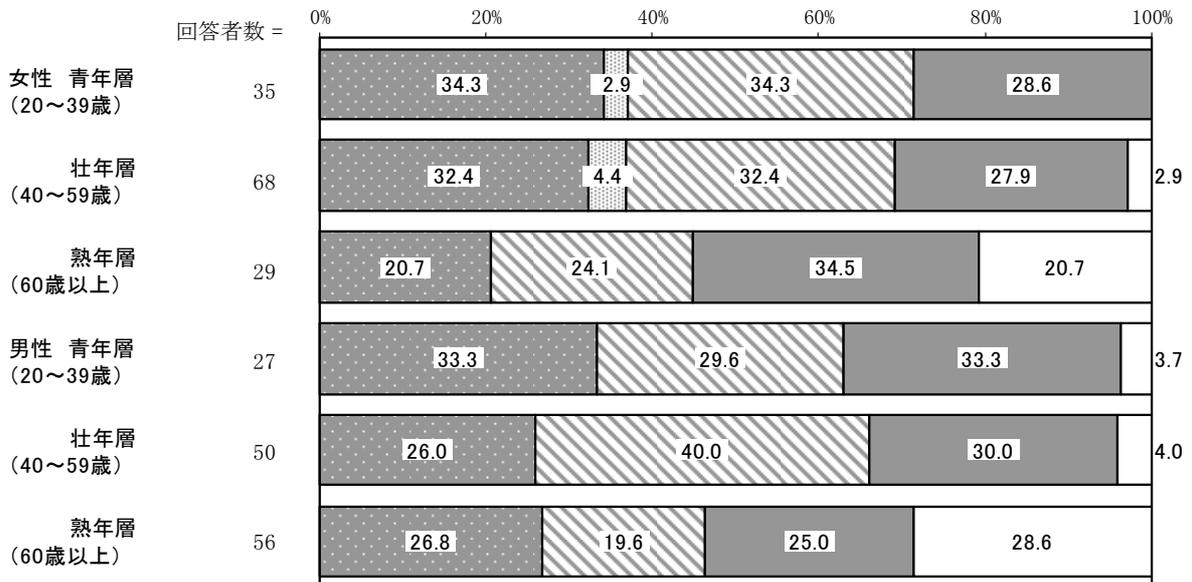
⑤ 管理職への登用

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

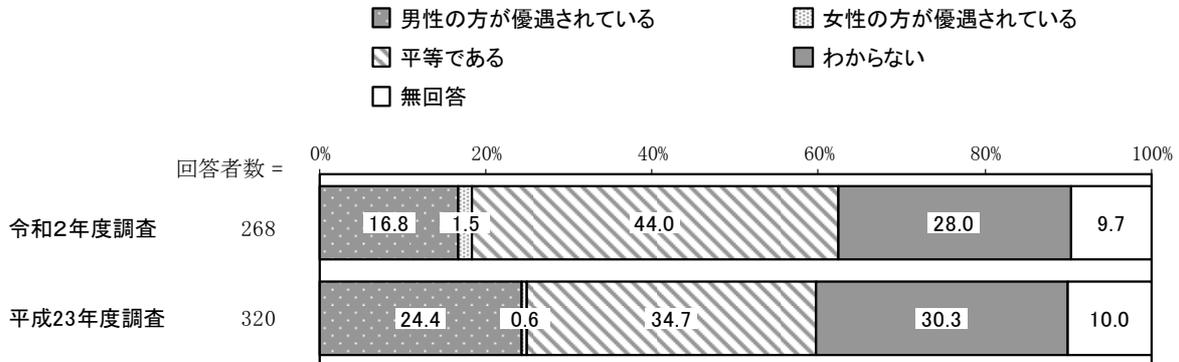
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の青年層で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

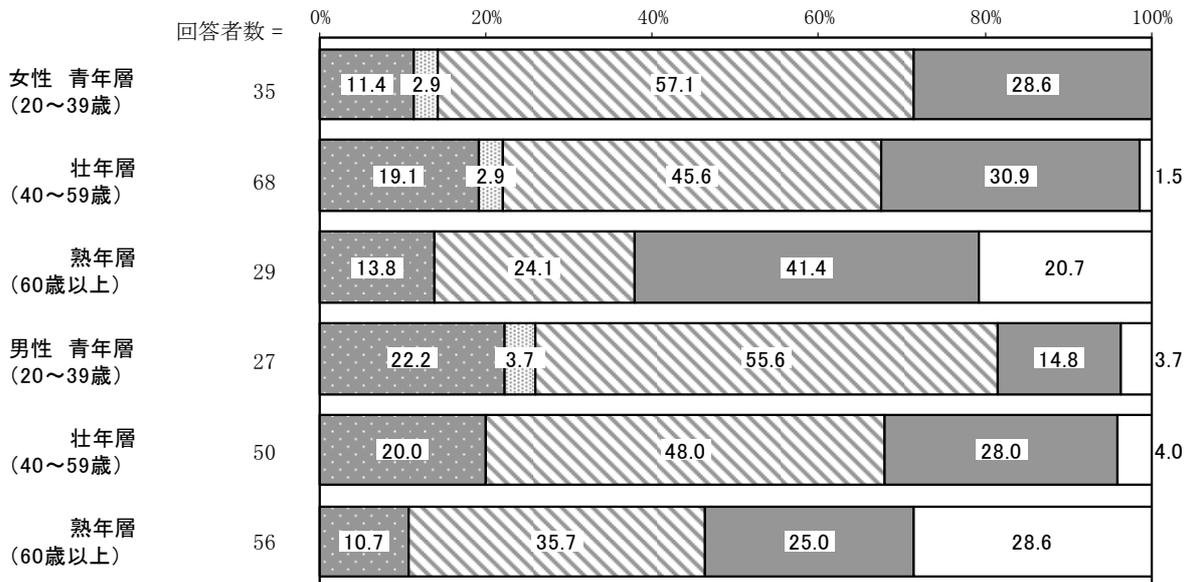
⑥ 能力評価（業績評価・人事考課など）

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

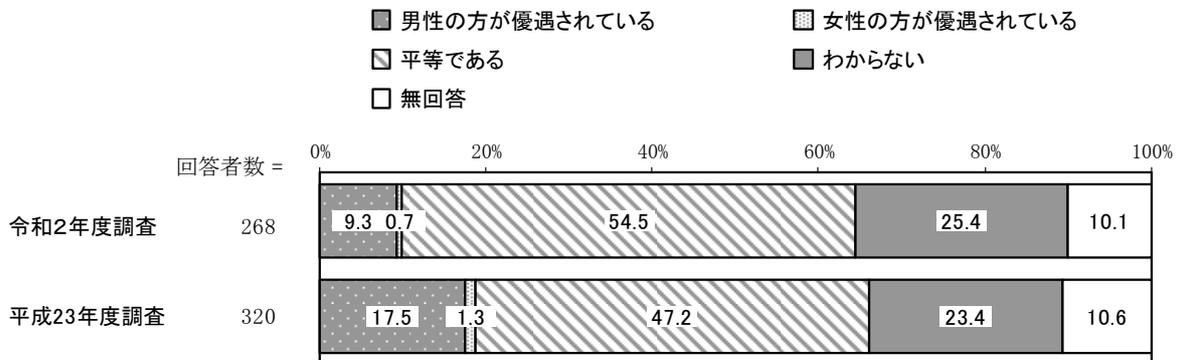
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層で「平等である」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

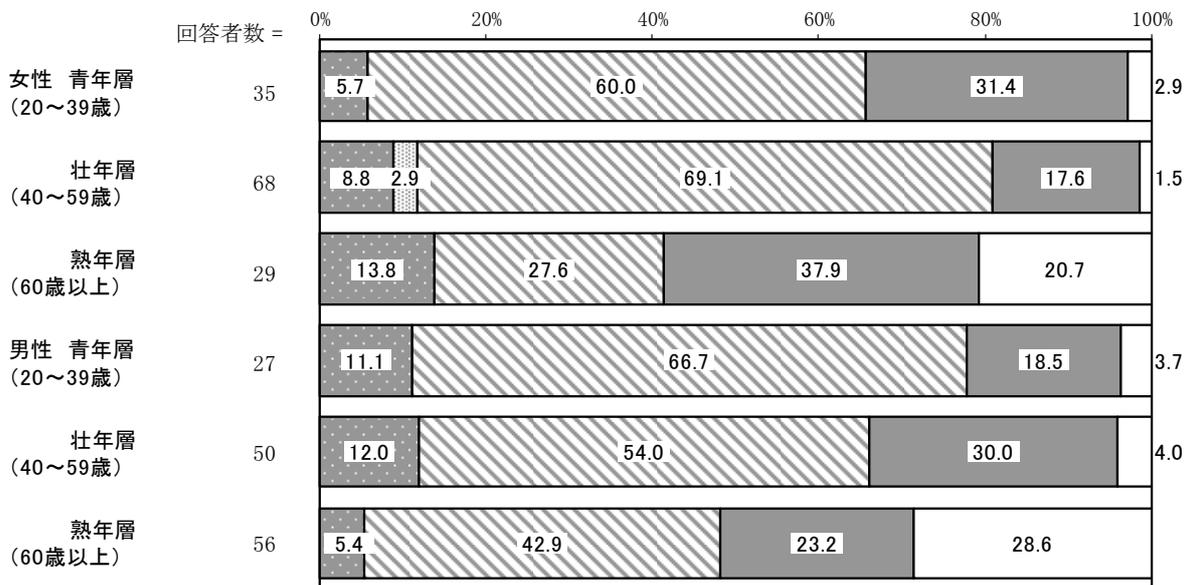
⑦ 研修の機会や内容

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

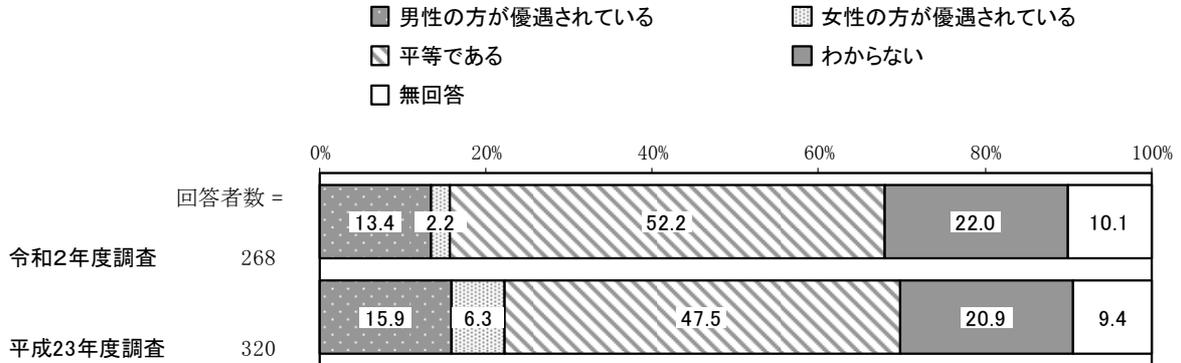
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、男性の青年層で「平等である」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

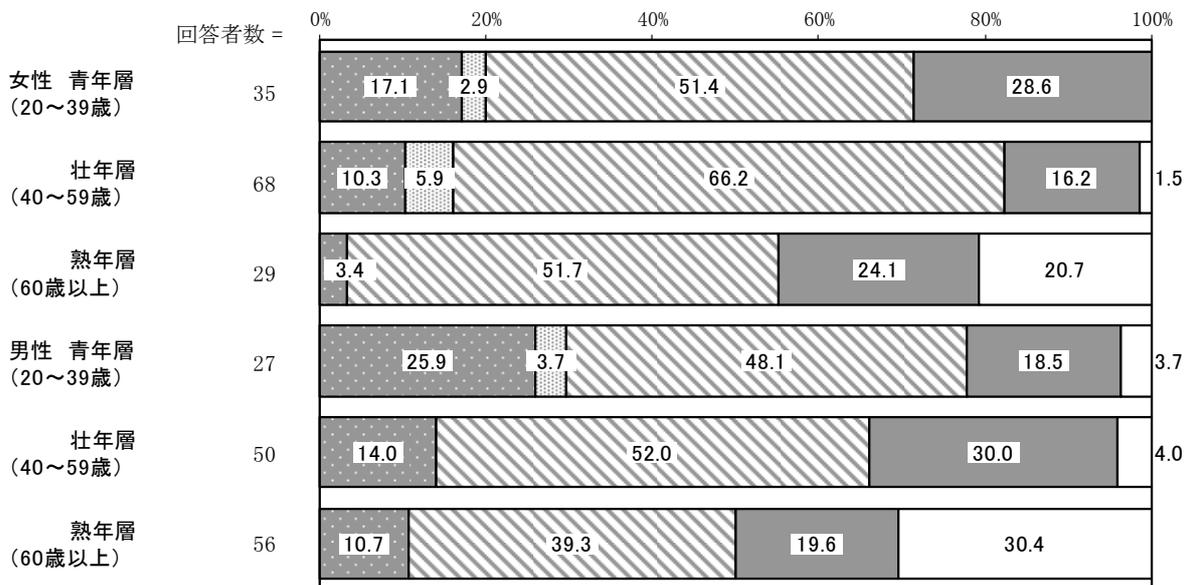
⑧ 働き続けやすい雰囲気

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢層別】

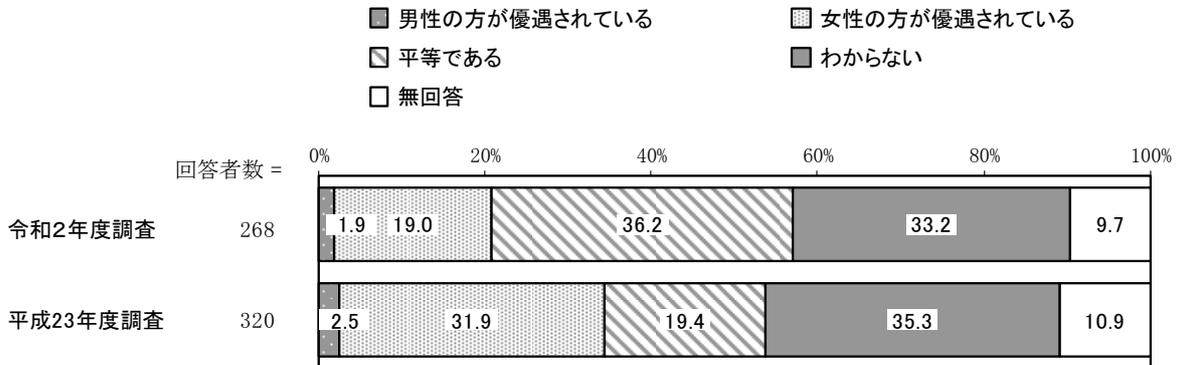
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「平等である」の割合が高くなっています。また、男性の青年層で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

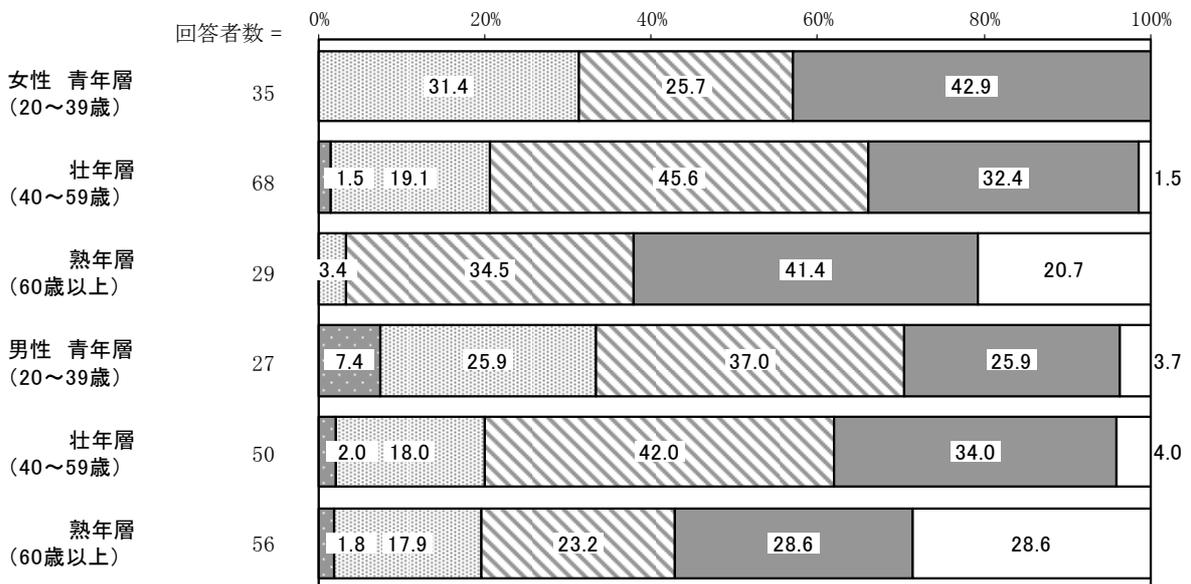
⑨ 育児・介護休業など休暇の取得のしやすさ

平成 23 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が高くなっています。一方、「女性の方が優遇されている」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

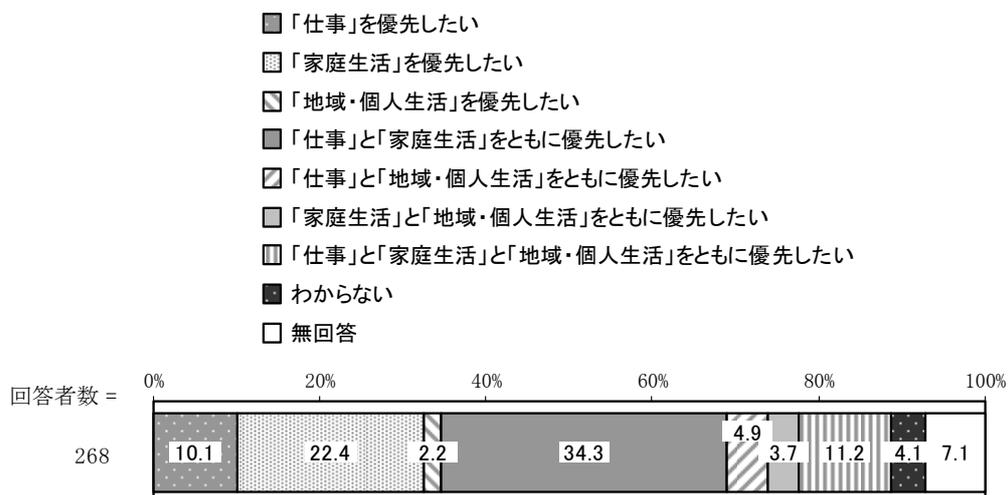
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層で「女性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。また、女性の壮年層、男性の壮年層で「平等である」の割合が高くなっています。



問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(1) あなたの希望に近いものはどれですか。

「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先したい」の割合が 22.4%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい」の割合が 11.2%となっています。

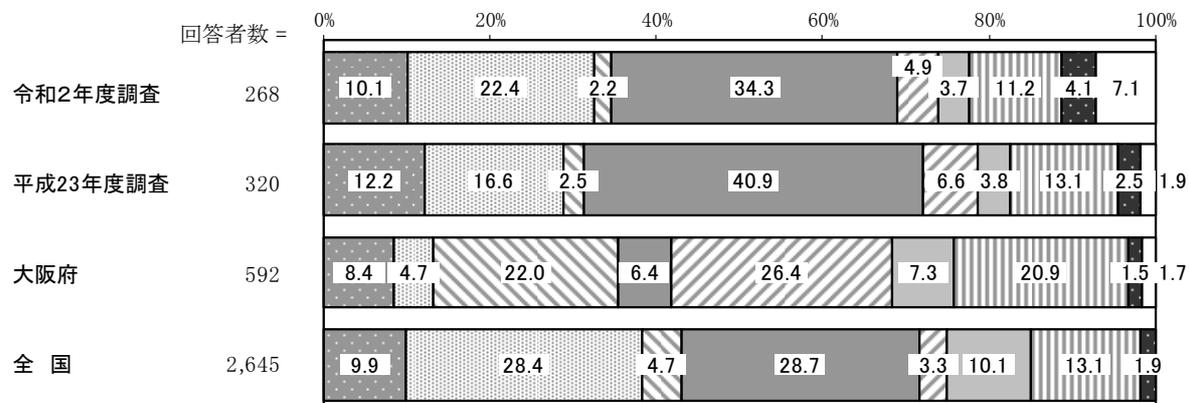


【平成 23 年度調査・大阪府調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「家庭生活」を優先したい」の割合が高くなっています。一方、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「家庭生活」を優先したい」「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が高くなっています。一方、「地域・個人生活」を優先したい」「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい」の割合が低くなっています。

全国と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が高くなっています。一方、「家庭生活」を優先したい」「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

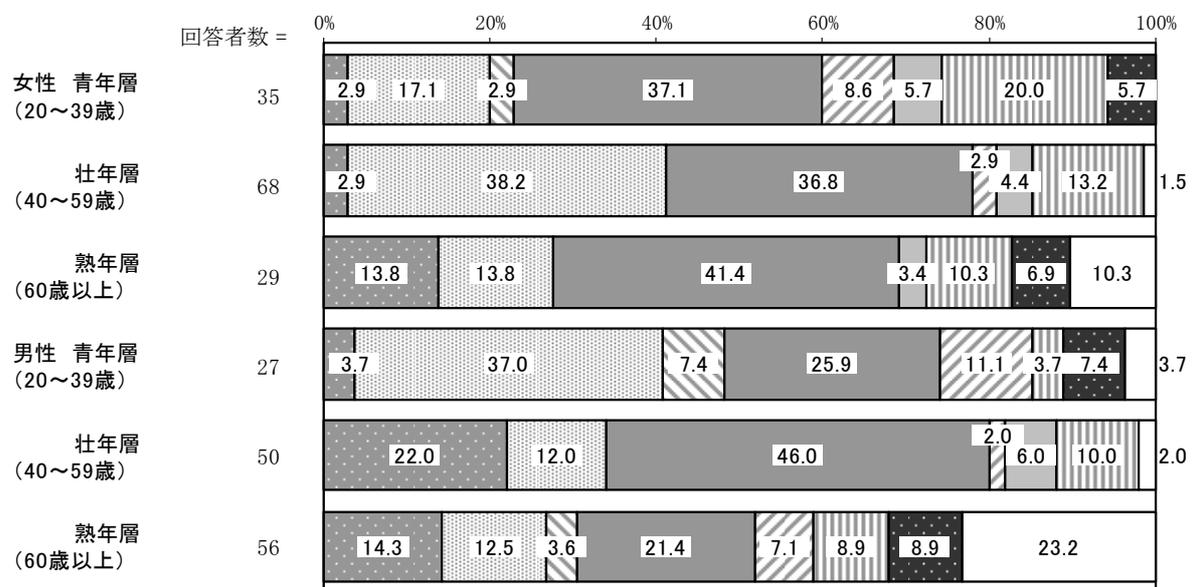
問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(1) あなたの希望に近いものはどれですか。

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の熟年層、男性の壮年層で「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が高くなっています。

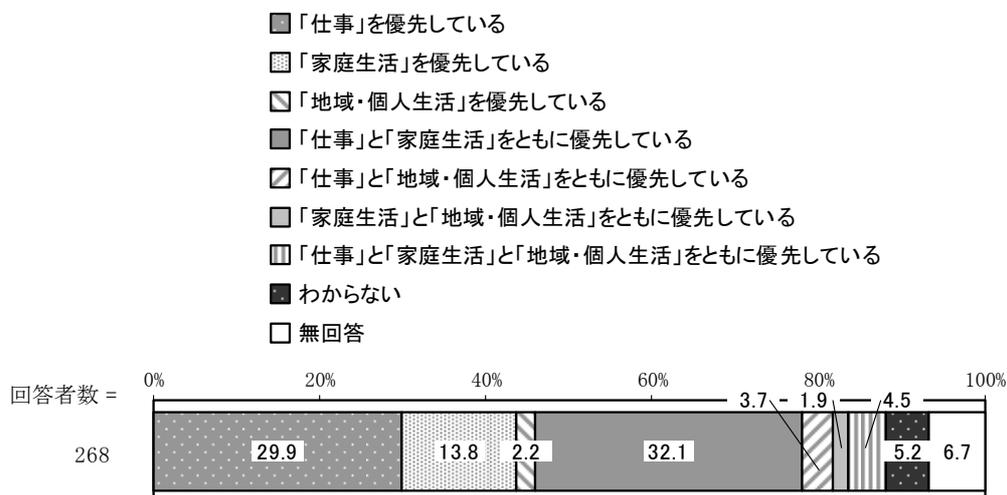
- 「仕事」を優先したい
- ▨ 「家庭生活」を優先したい
- ▩ 「地域・個人生活」を優先したい
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- ▨ 「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい
- ▩ 「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい
- ▨ ▩ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい
- わからない
- 無回答



問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。

「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「仕事」を優先している」の割合が 29.9%、「家庭生活」を優先している」の割合が 13.8%となっています。

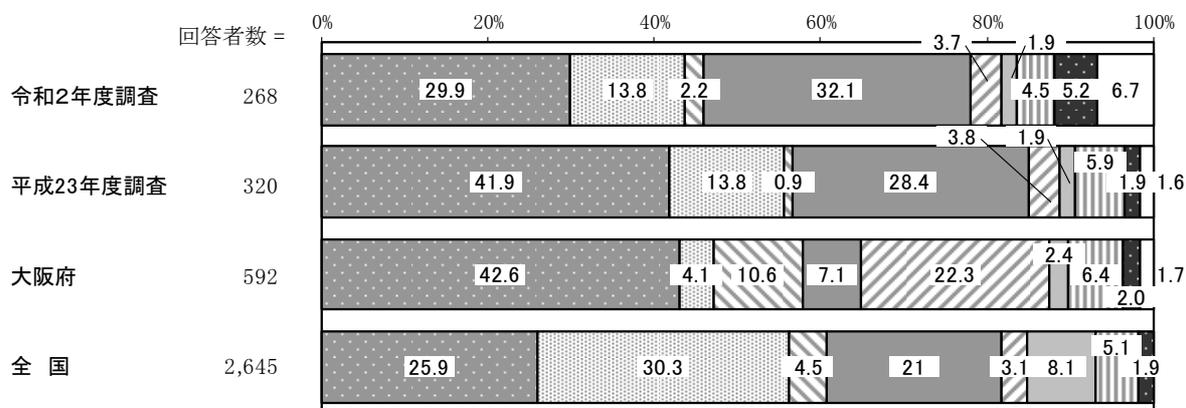


【平成 23 年度調査・大阪府調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「仕事」を優先している」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「家庭生活」を優先している」「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が高くなっています。一方、「仕事」を優先している」「地域・個人生活」を優先している」「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先している」の割合が低くなっています。

全国と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が高くなっています。一方、「家庭生活」を優先している」「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

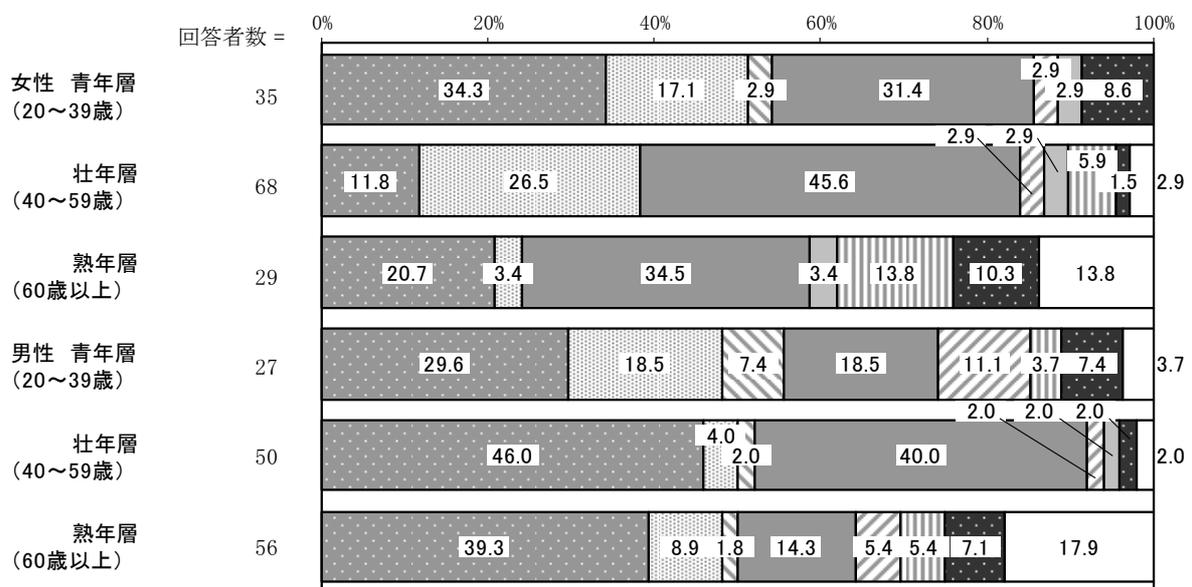
問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が、男性の壮年層で「仕事」を優先している」の割合が高くなっています。

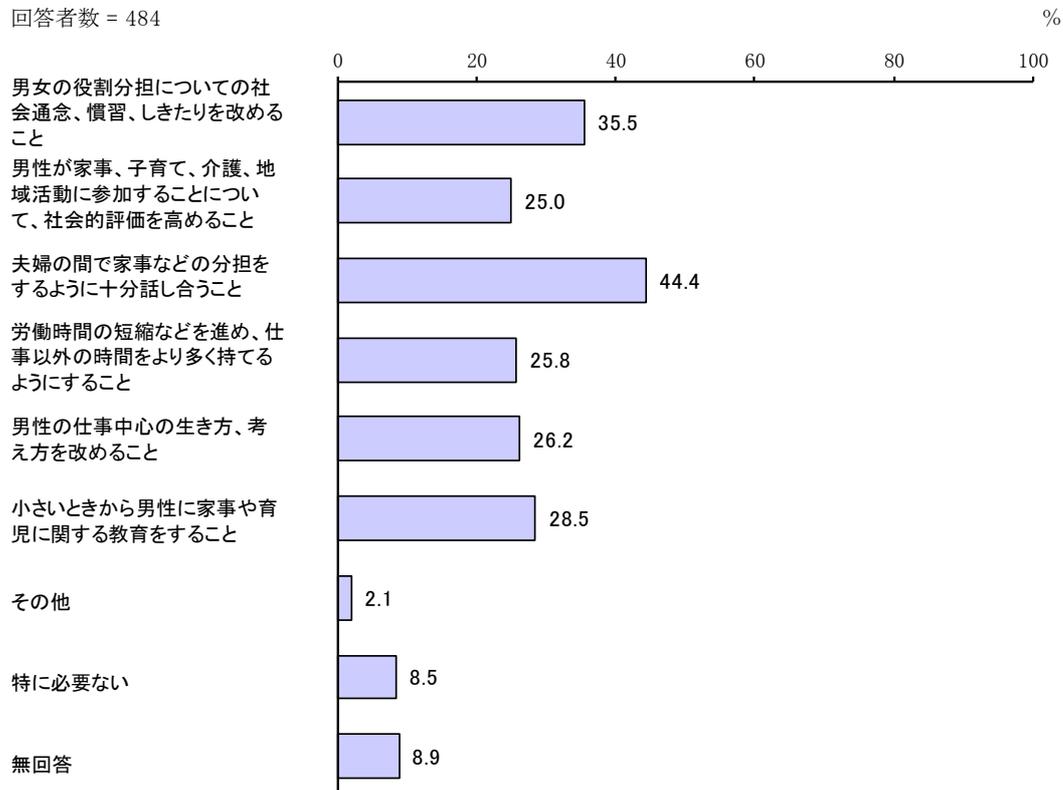
- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- 「地域・個人生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先している
- 「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している
- わからない
- 無回答



問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」の割合が44.4%と最も高く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が35.5%、「小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が28.5%となっています。

回答者数 = 484

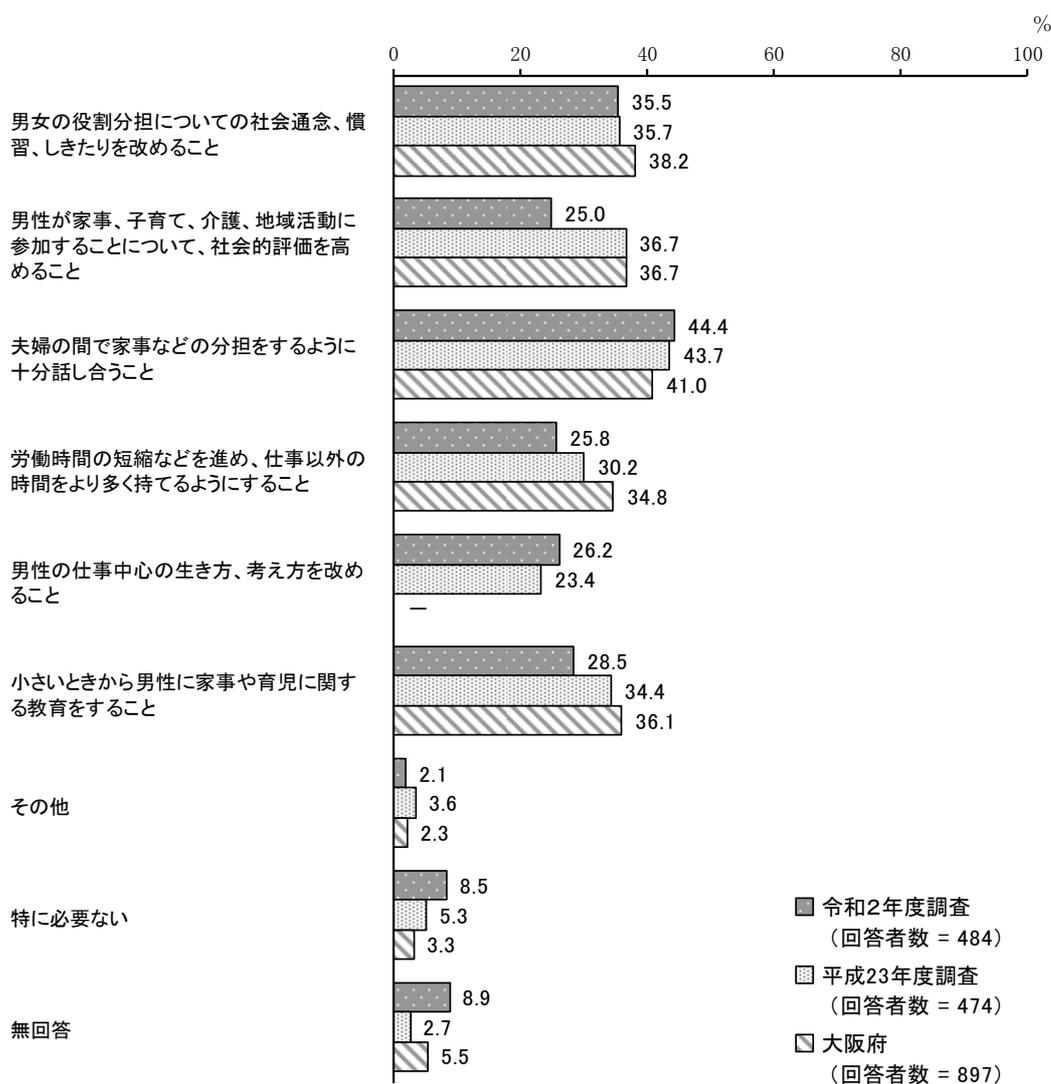


問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること」「小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「特に必要ない」の割合が高くなっています。一方、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること」「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」「小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が低くなっています。

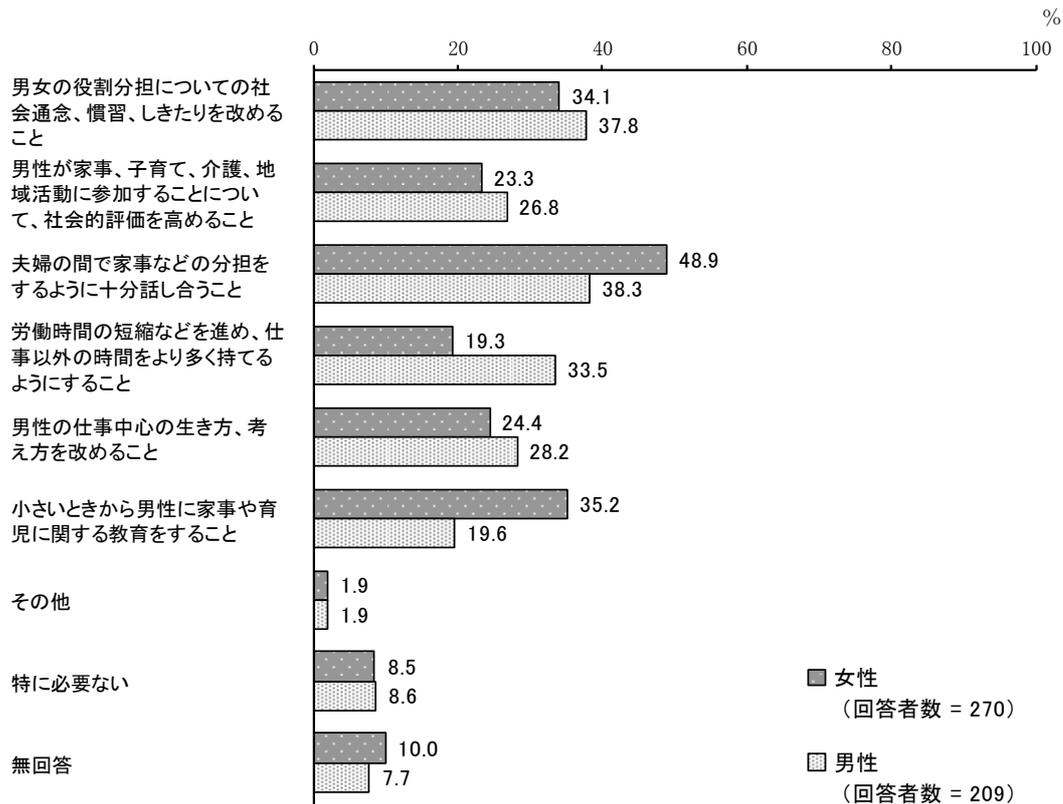


※大阪府調査では、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」の選択肢はありません。

問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【性別】

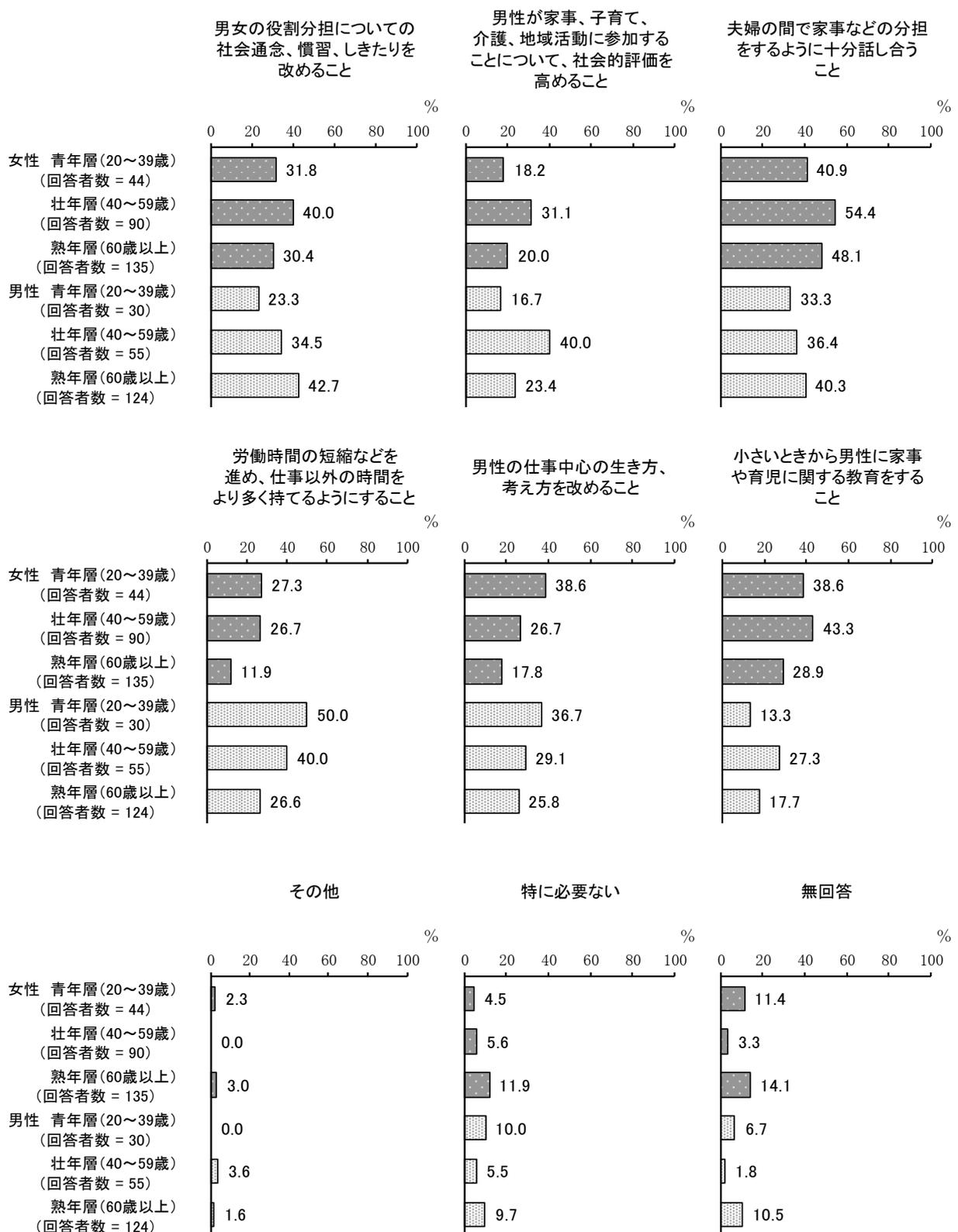
性別で見ると、男性に比べ、女性で「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」「小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」の割合が高くなっています。



問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【性・年齢層別】

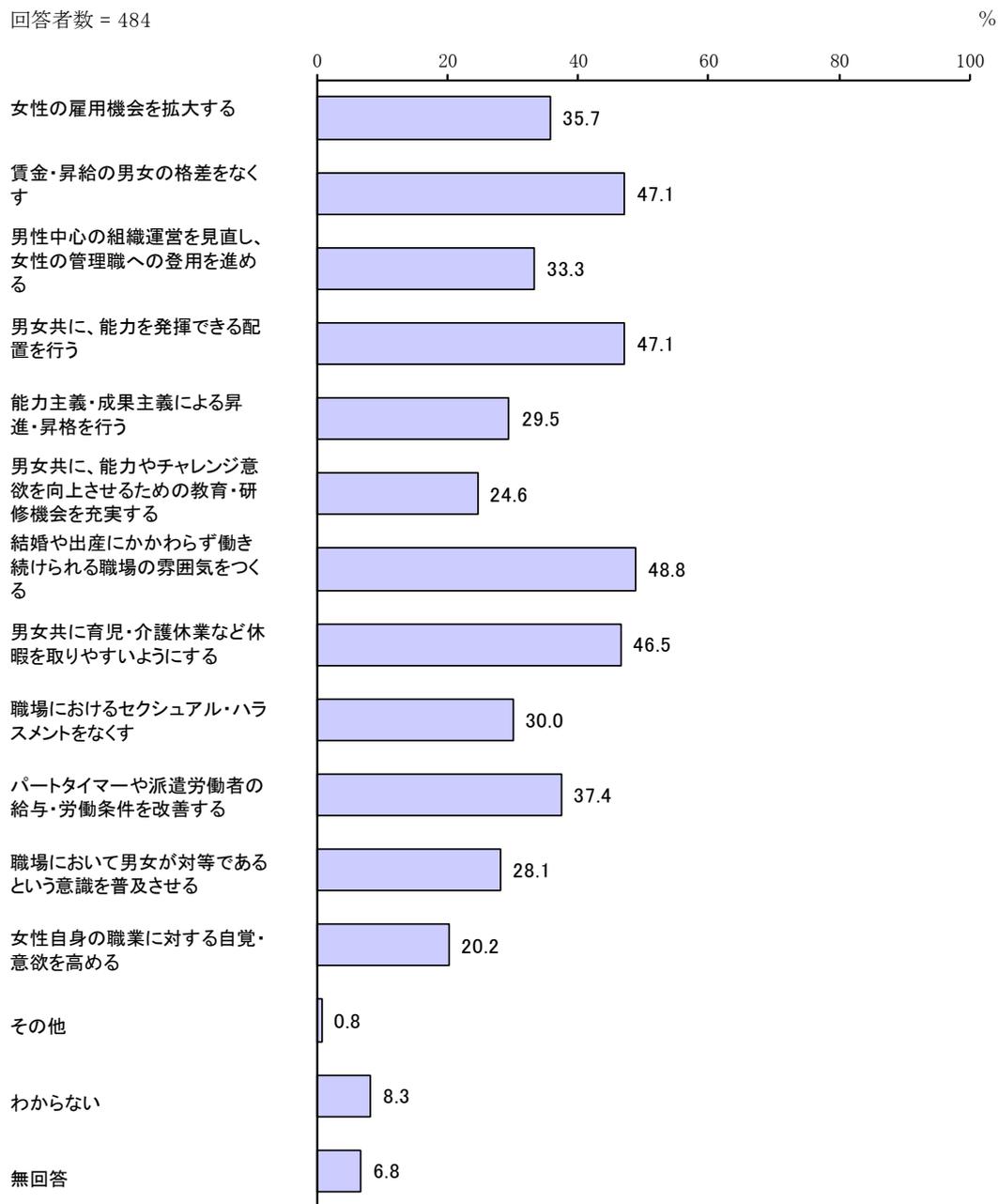
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層で「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」の割合が、男性の青年層で「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」の割合が高くなっています。



問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「賃金・昇給の男女の格差をなくす」、「男女共に、能力を発揮できる配置を行う」の割合が 47.1%となっています。

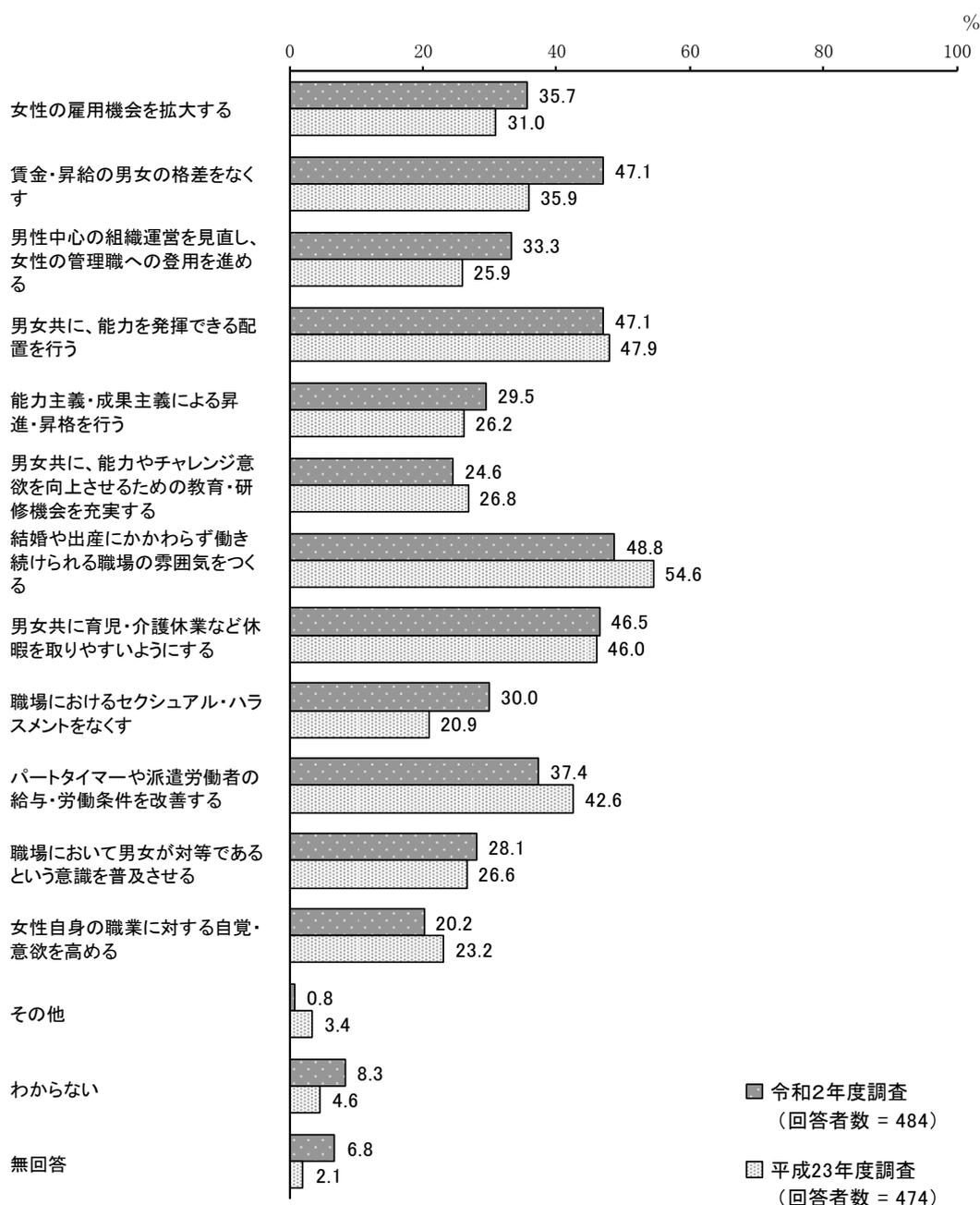
回答者数 = 484



問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

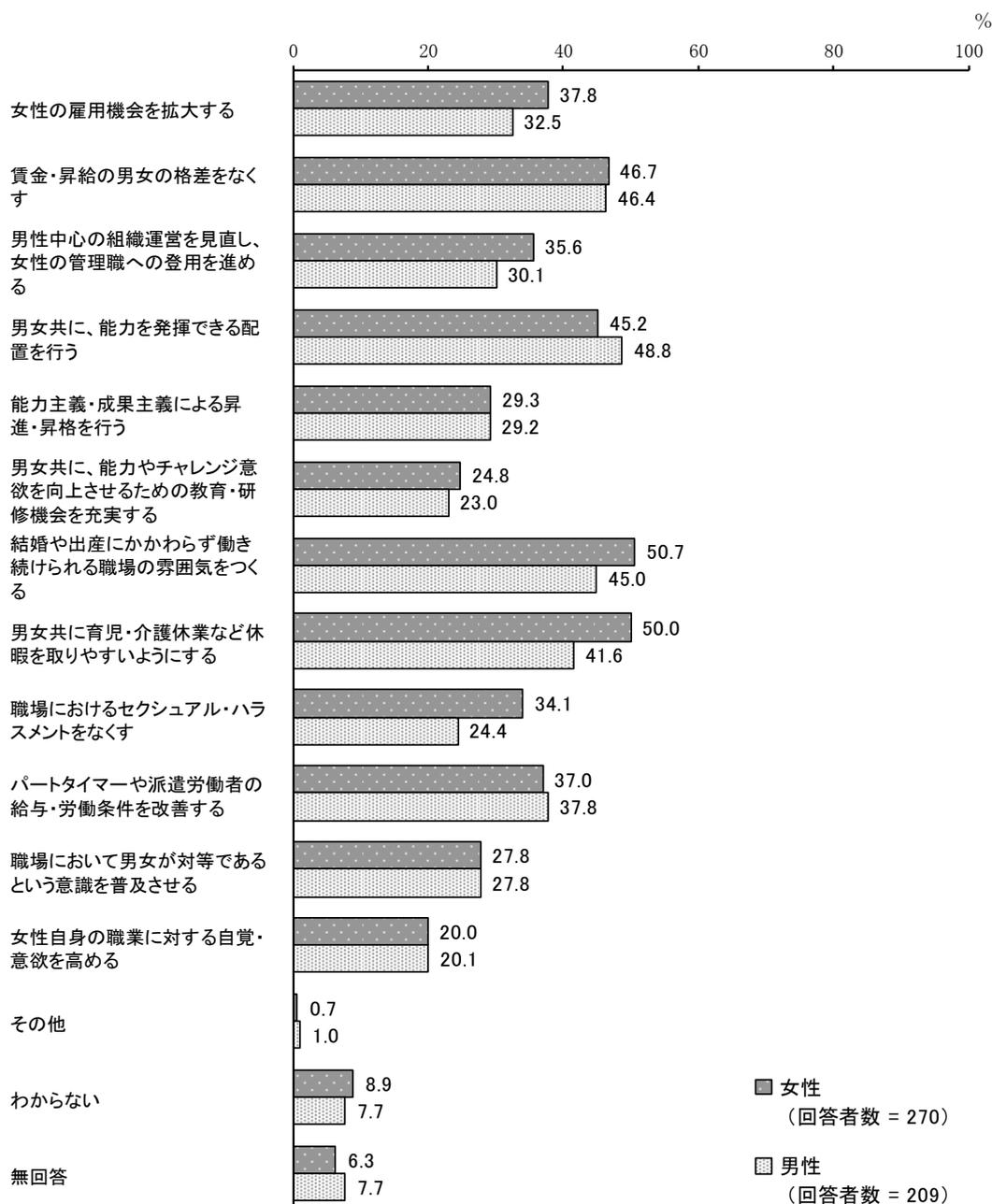
平成 23 年度調査と比較すると、「賃金・昇給の男女の格差をなくす」「男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める」「職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす」の割合が高くなっています。一方、「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」「パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する」の割合が低くなっています。



問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

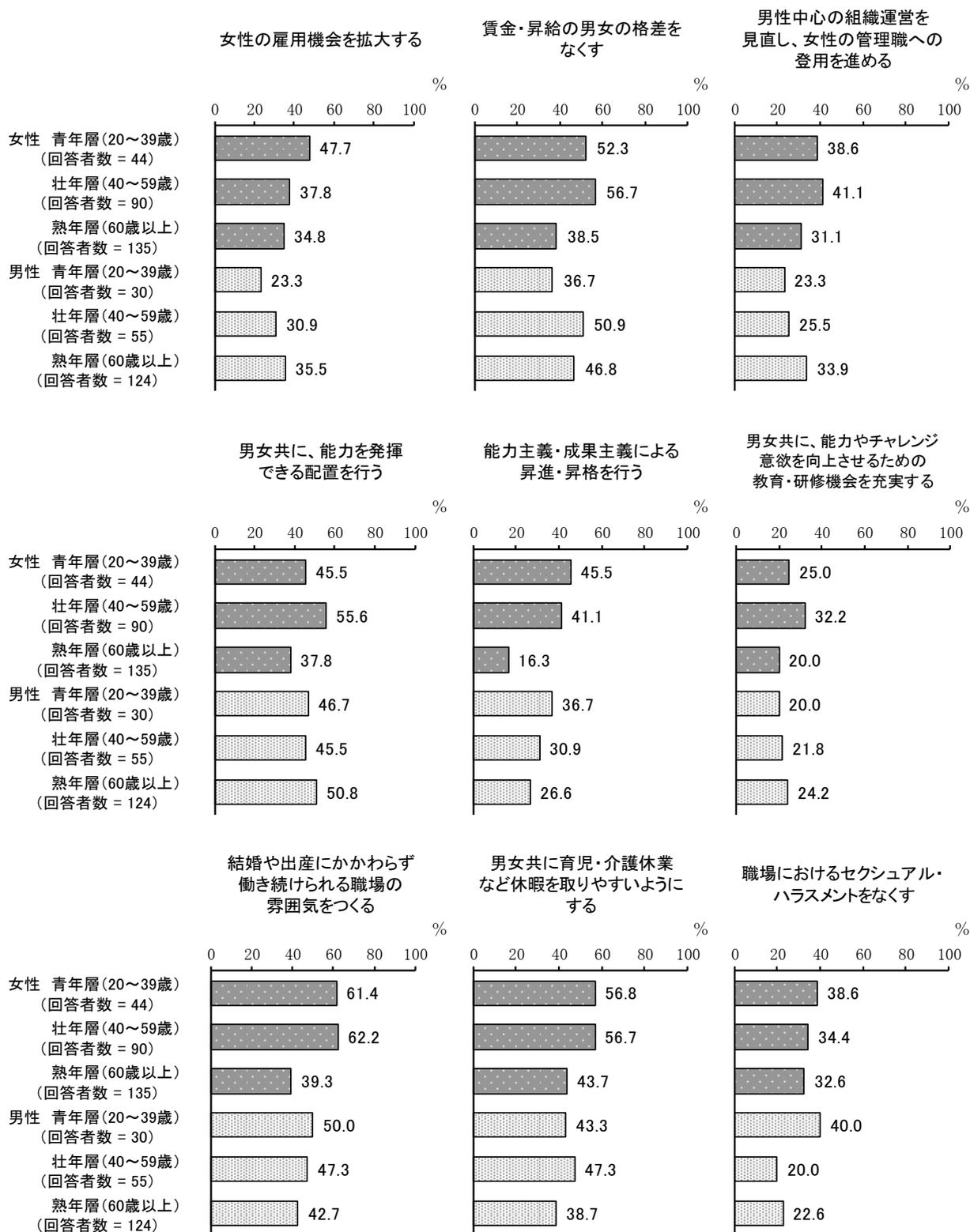
性別でみると、男性に比べ、女性で「女性の雇用機会を拡大する」「男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める」「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」「男女共に育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」「職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす」の割合が高くなっています。

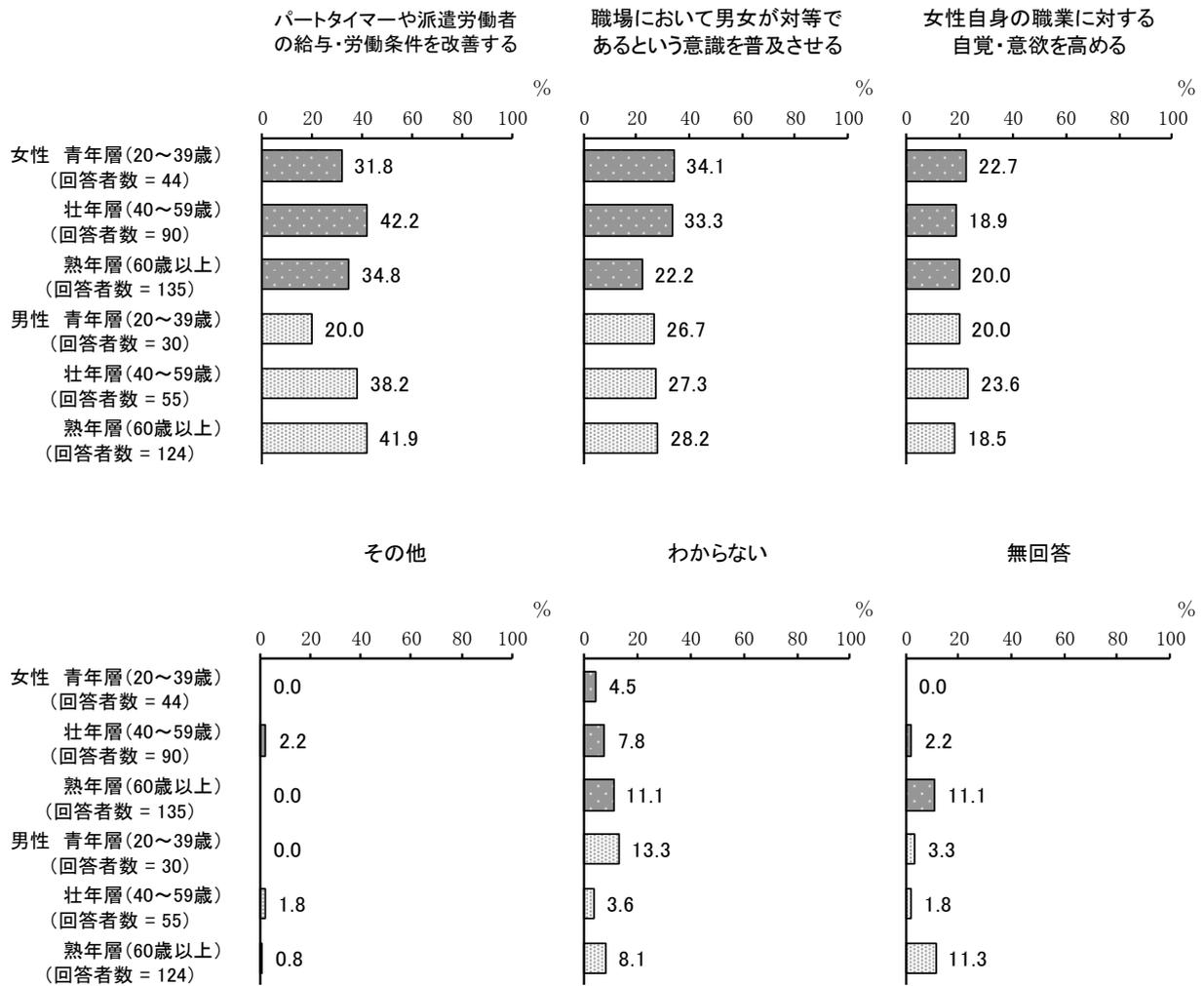


問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の青年層で「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」の割合が高くなっています。





問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の正規雇用で「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる」の割合が、男性の自営業で「賃金・昇給の男女の格差をなくす」の割合が高くなっています。

単位：％

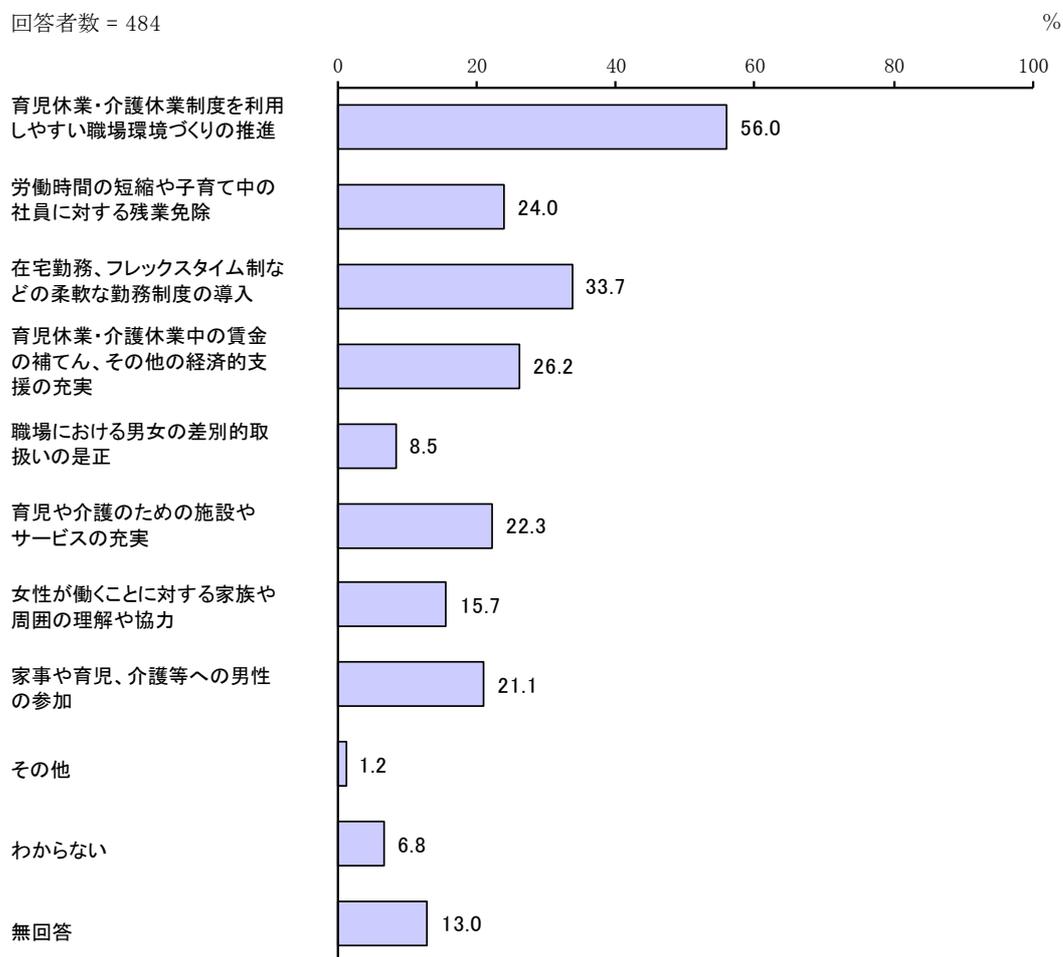
区分	有効回答数(件)	女性の雇用機会を拡大する	賃金・昇給の男女の格差をなくす	男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	男女共に、能力を発揮できる配置を行う	能力主義・成果主義による昇進・昇格を行う	男女共に、能力やチャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する	結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる
女性 自営業	15	33.3	53.3	46.7	60.0	46.7	26.7	46.7
正規雇用	40	47.5	60.0	42.5	55.0	55.0	35.0	65.0
非正規雇用	77	42.9	54.5	37.7	46.8	27.3	27.3	54.5
専業主婦・主夫	65	46.2	41.5	40.0	53.8	27.7	24.6	56.9
学生・無職	67	22.4	35.8	25.4	28.4	16.4	16.4	37.3
男性 自営業	22	36.4	68.2	54.5	54.5	50.0	36.4	50.0
正規雇用	68	26.5	50.0	25.0	45.6	35.3	25.0	47.1
非正規雇用	43	32.6	46.5	27.9	48.8	23.3	16.3	46.5
専業主婦・主夫	9	11.1	33.3	44.4	33.3	22.2	22.2	33.3
学生・無職	60	41.7	36.7	26.7	53.3	21.7	23.3	46.7

区分	男女共に育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する	職場において男女が対等であるという意識を普及させる	女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	その他	わからない	無回答
女性 自営業	53.3	33.3	20.0	20.0	26.7	6.7	—	6.7
正規雇用	62.5	32.5	27.5	37.5	30.0	—	2.5	—
非正規雇用	51.9	35.1	46.8	28.6	11.7	1.3	7.8	2.6
専業主婦・主夫	52.3	40.0	43.1	30.8	20.0	—	7.7	7.7
学生・無職	40.3	28.4	29.9	22.4	20.9	—	17.9	13.4
男性 自営業	50.0	18.2	40.9	31.8	18.2	—	9.1	—
正規雇用	48.5	30.9	27.9	26.5	29.4	—	4.4	2.9
非正規雇用	34.9	23.3	51.2	32.6	14.0	2.3	7.0	9.3
専業主婦・主夫	33.3	11.1	44.4	—	11.1	—	11.1	11.1
学生・無職	40.0	23.3	40.0	31.7	16.7	1.7	11.7	11.7

問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が 33.7%、「育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実」の割合が 26.2%となっています。

回答者数 = 484

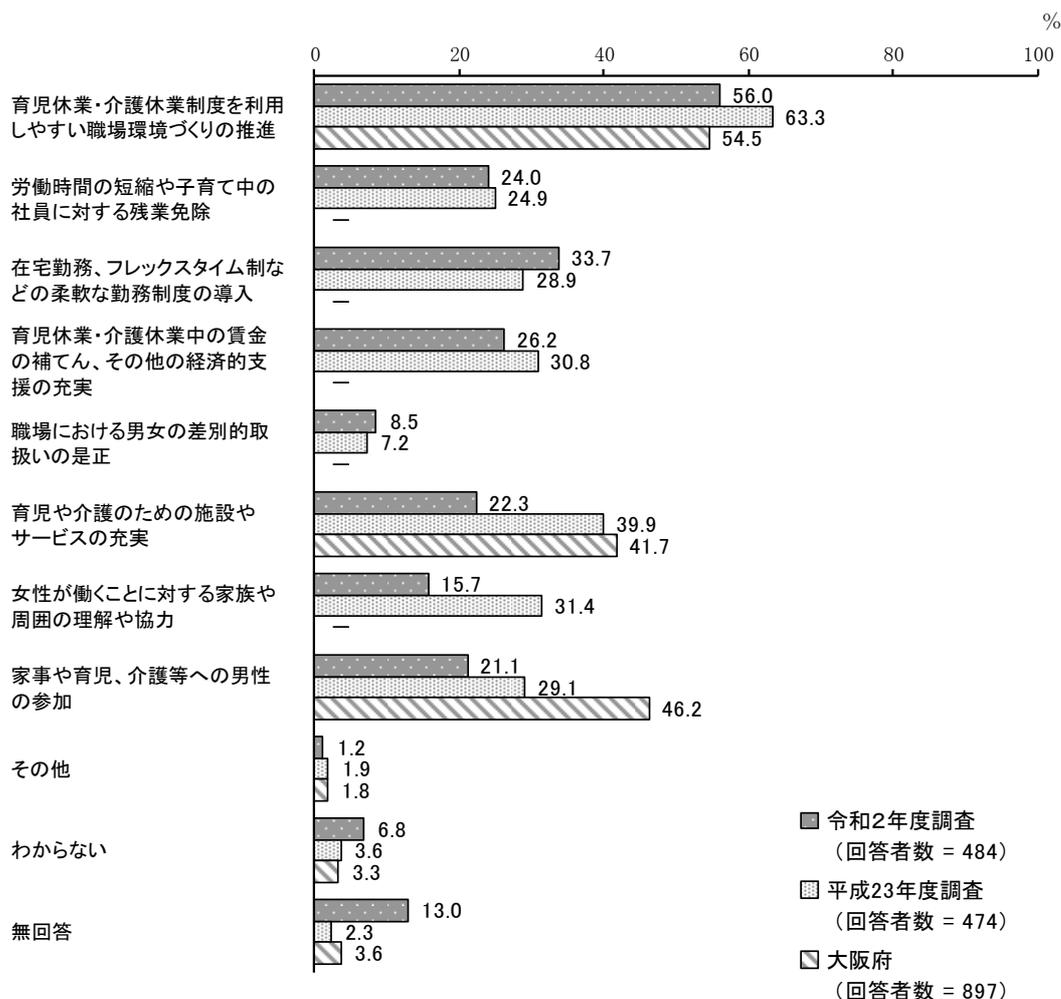


問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」「育児や介護のための施設やサービスの充実」「女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力」「家事や育児、介護等への男性の参加」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「育児や介護のための施設やサービスの充実」「家事や育児、介護等への男性の参加」の割合が低くなっています。

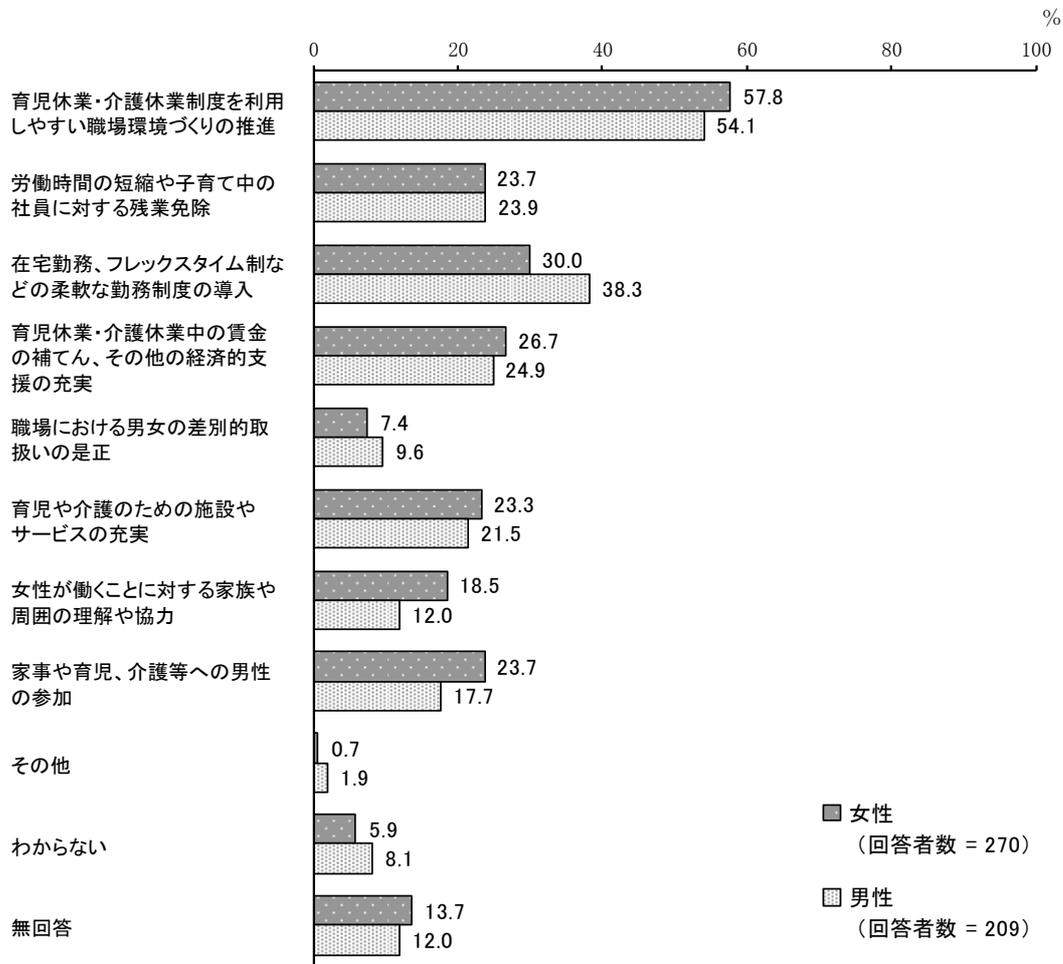


※大阪府調査では、「労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除」「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」「育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実」「職場における男女の差別的取扱いの是正」「女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力」の選択肢はありません。

問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【性別】

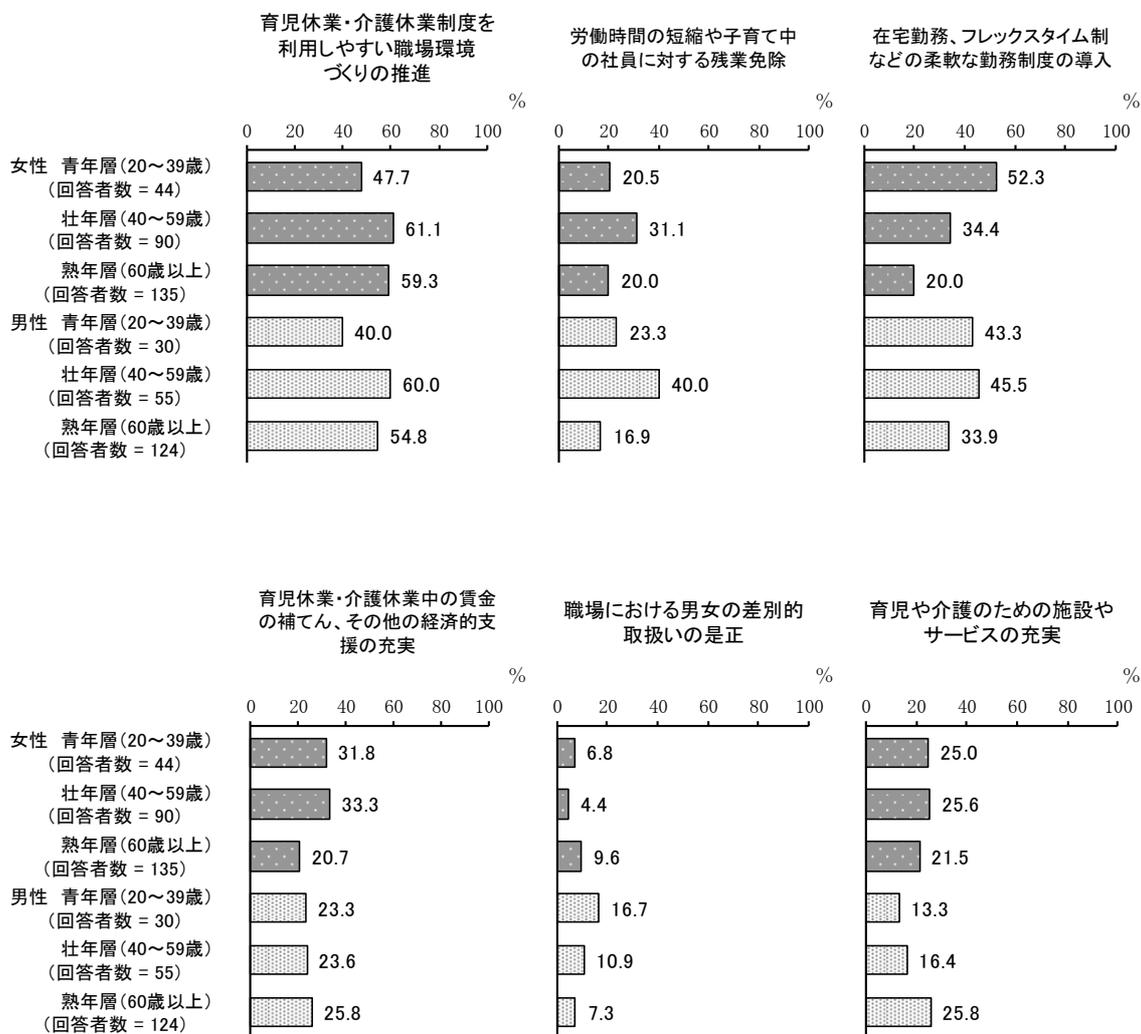
性別でみると、男性に比べ、女性で「女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力」「家事や育児、介護等への男性の参加」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が高くなっています。

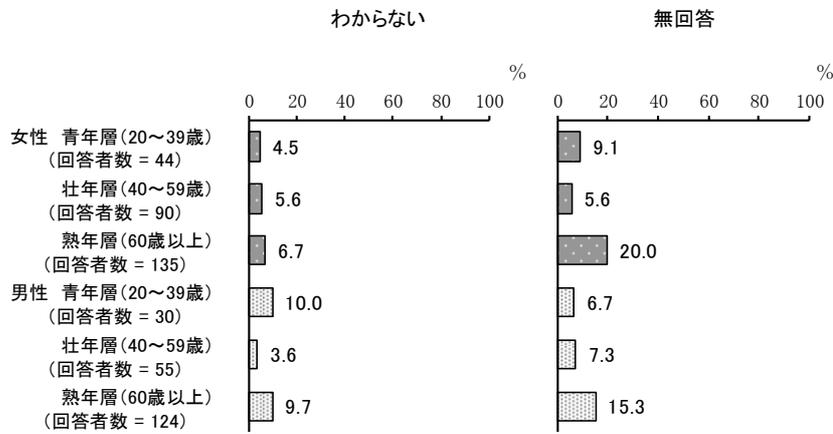
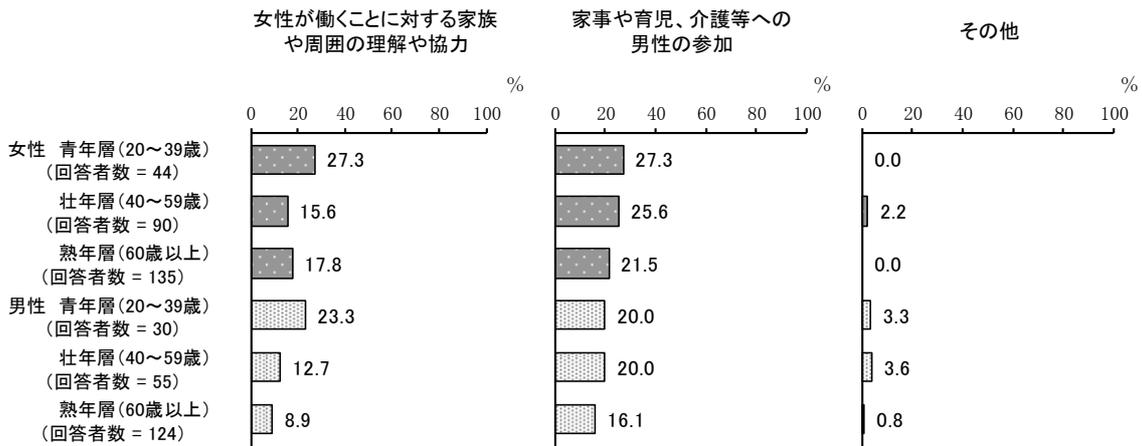


問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、熟年層、男性の壮年層で「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」の割合が高くなっています。





問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【性・職業別】

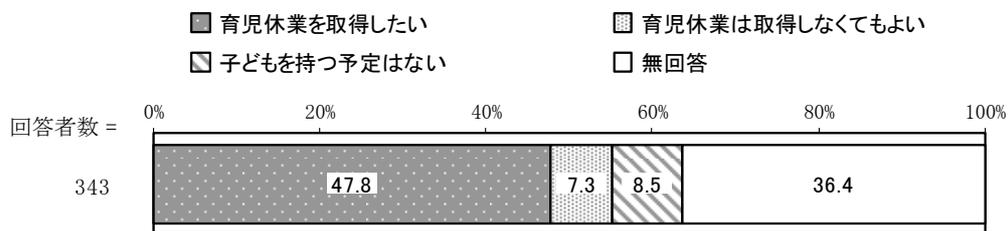
性・職業別でみると、他に比べ、女性の正規雇用、専業主婦・主夫、男性の自営業で「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進」の割合が高くなっています。また、男性の自営業で「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進	労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除	在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実	職場における男女の差別的取扱いの是正	育児や介護のための施設やサービスの充実	女性の理解や協力	家事や育児、介護等への男性の参加	その他	わからない	無回答
女性 自営業	15	46.7	26.7	46.7	20.0	20.0	40.0	13.3	20.0	6.7	—	6.7
正規雇用	40	67.5	25.0	45.0	37.5	5.0	17.5	20.0	30.0	2.5	2.5	7.5
非正規雇用	77	55.8	31.2	22.1	29.9	3.9	28.6	23.4	24.7	—	5.2	9.1
専業主婦・主夫	65	69.2	27.7	35.4	26.2	9.2	21.5	12.3	23.1	—	3.1	15.4
学生・無職	67	46.3	9.0	22.4	20.9	7.5	17.9	17.9	20.9	—	13.4	22.4
男性 自営業	22	63.6	27.3	63.6	9.1	18.2	9.1	4.5	13.6	—	4.5	13.6
正規雇用	68	54.4	29.4	44.1	29.4	13.2	19.1	13.2	20.6	1.5	4.4	7.4
非正規雇用	43	48.8	18.6	37.2	27.9	7.0	27.9	16.3	16.3	4.7	9.3	11.6
専業主婦・主夫	9	66.7	22.2	22.2	33.3	—	44.4	11.1	22.2	—	11.1	11.1
学生・無職	60	53.3	20.0	26.7	21.7	5.0	23.3	11.7	18.3	1.7	11.7	15.0

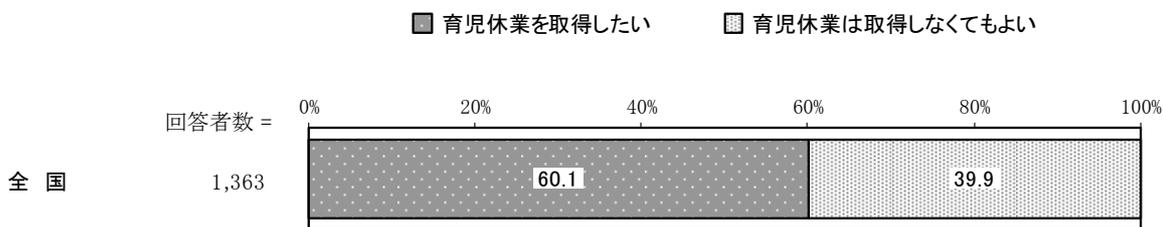
問 50 あなたは、育児休業取得の環境（会社の体制や収入面の条件等）が整ったならば、子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思いますか。

「育児休業を取得したい」の割合が 47.8%と最も高くなっています。



【参考 全国調査】

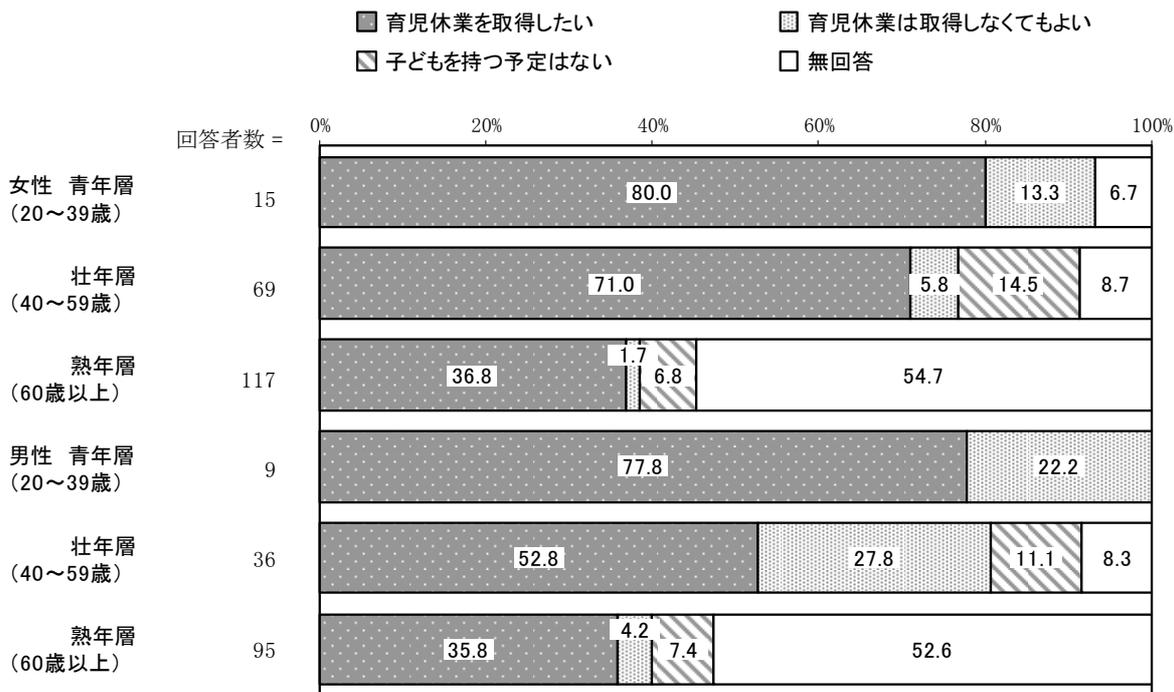
全国調査では、選択肢が異なるため、参考として掲載しています。



※全国調査では、無回答を除いています。

【性・年齢層別】

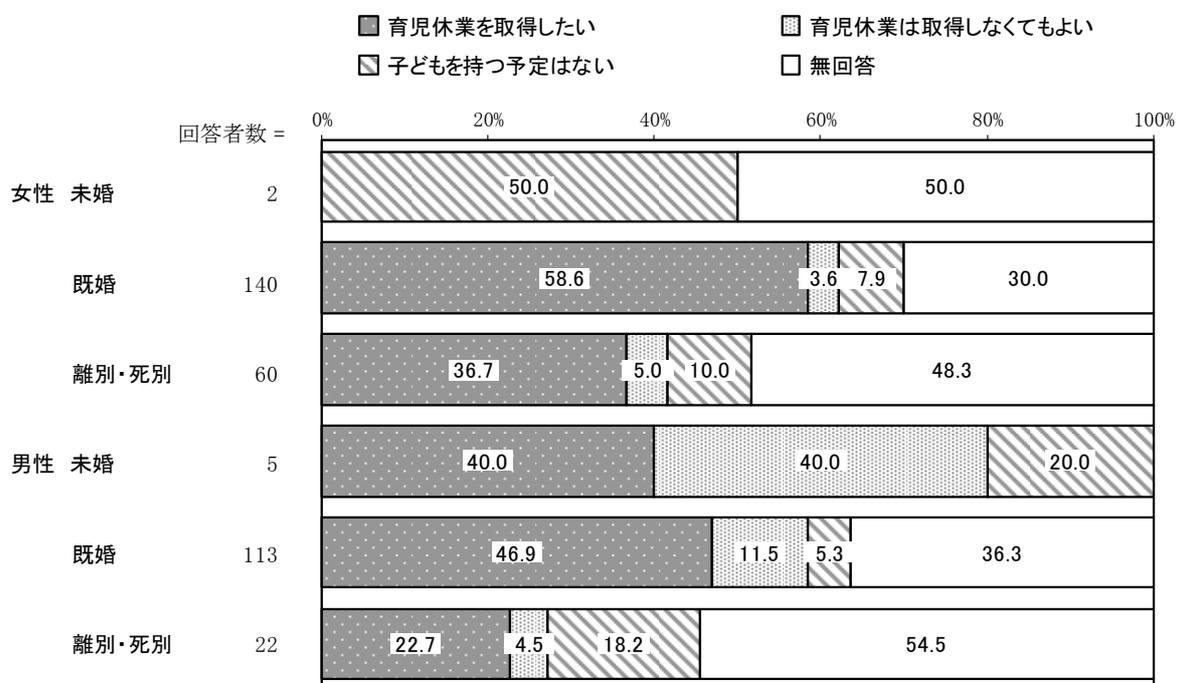
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層で「育児休業を取得したい」の割合が高くなっています。



問 50 あなたは、育児休業取得の環境（会社の体制や収入面の条件等）が整ったならば、子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思いますか。

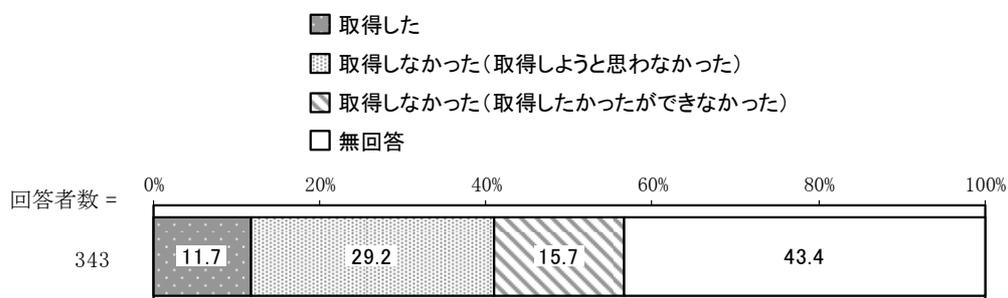
【性・結婚の状況別】

性・結婚の状況別でみると、他に比べ、女性の既婚、男性の既婚で「育児休業を取得したい」の割合が高くなっています。



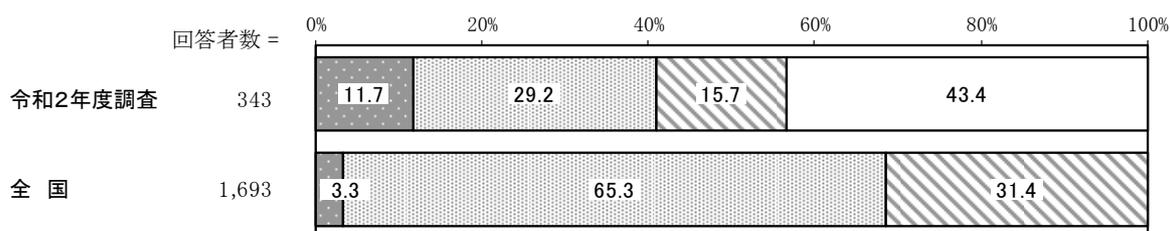
問 51 お子様が生れたときの育児休業の取得について、ご回答ください。

「取得しなかった（取得しようと思わなかった）」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「取得しなかった（取得したかったができなかった）」の割合が 15.7%、「取得した」の割合が 11.7%となっています。



【全国調査との比較】

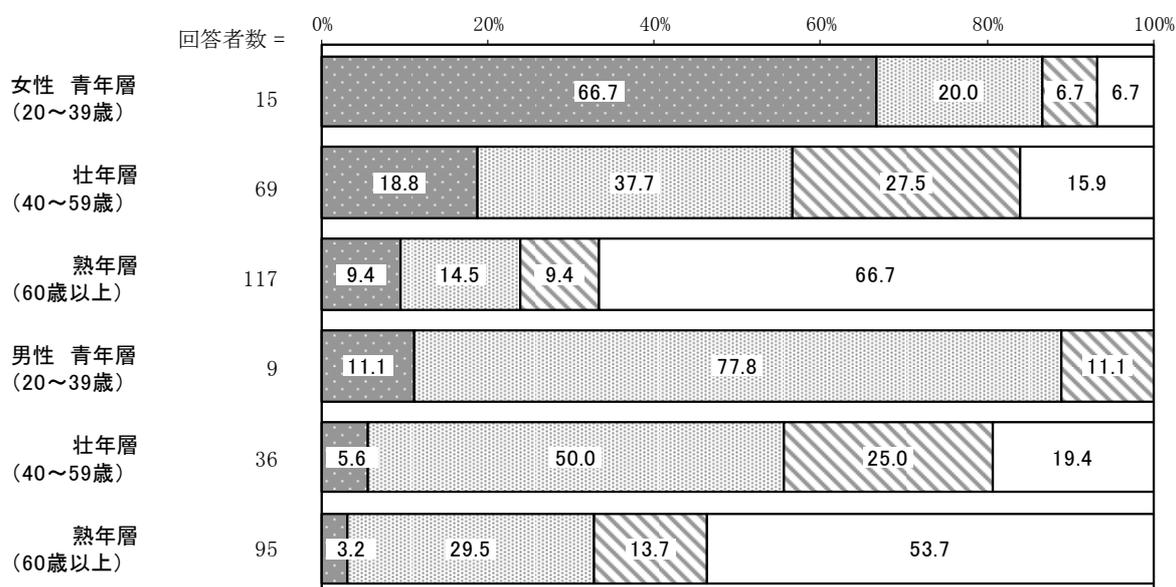
全国と比較すると、「取得した」の割合が高くなっています。一方、「取得しなかった（取得しようと思わなかった）」「取得しなかった（取得したかったができなかった）」の割合が低くなっています。



※全国調査では、無回答を除いています。

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層で「取得しなかった（取得しようと思わなかった）」の割合が高くなっています。



(3) ハラスメントについて

問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

『⑪ 「男のくせに」「女のくせに」などの性差別的な発言』『⑫ 女性だけにお茶くみや掃除、私用を強要』『⑬ 男性だけに力仕事を強要』『⑭ 「男の子」「女の子」「おじさん」「おばさん」などと人格を認めないような発言』で「受けたことも見聞きしたこともない」の割合が低くなっています。

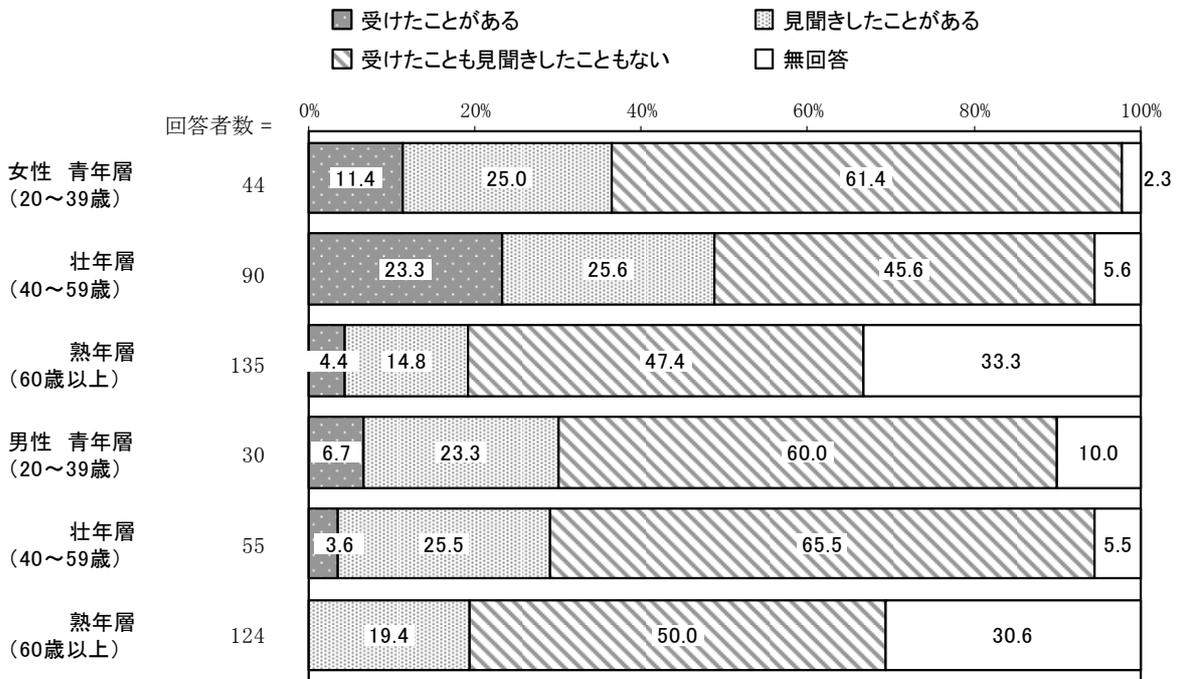


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

① 性的な内容の話（猥談）や電話、メールをする

【性・年齢層別】

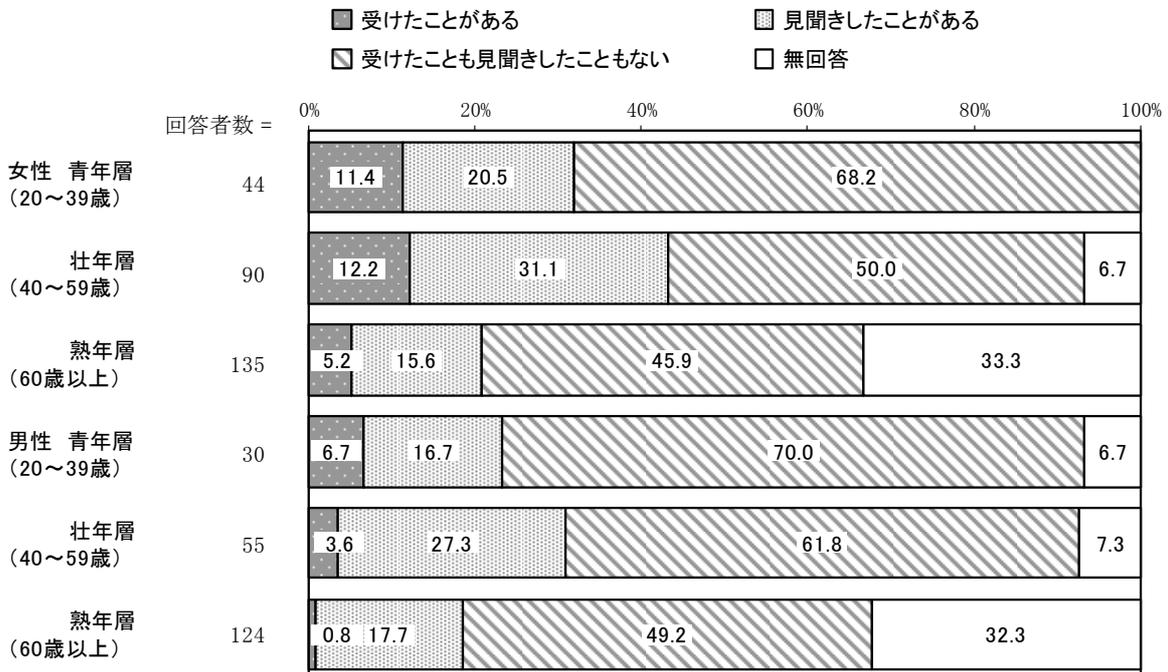
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



② スリーサイズなど身体的特徴を話題にする

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の青年層、壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

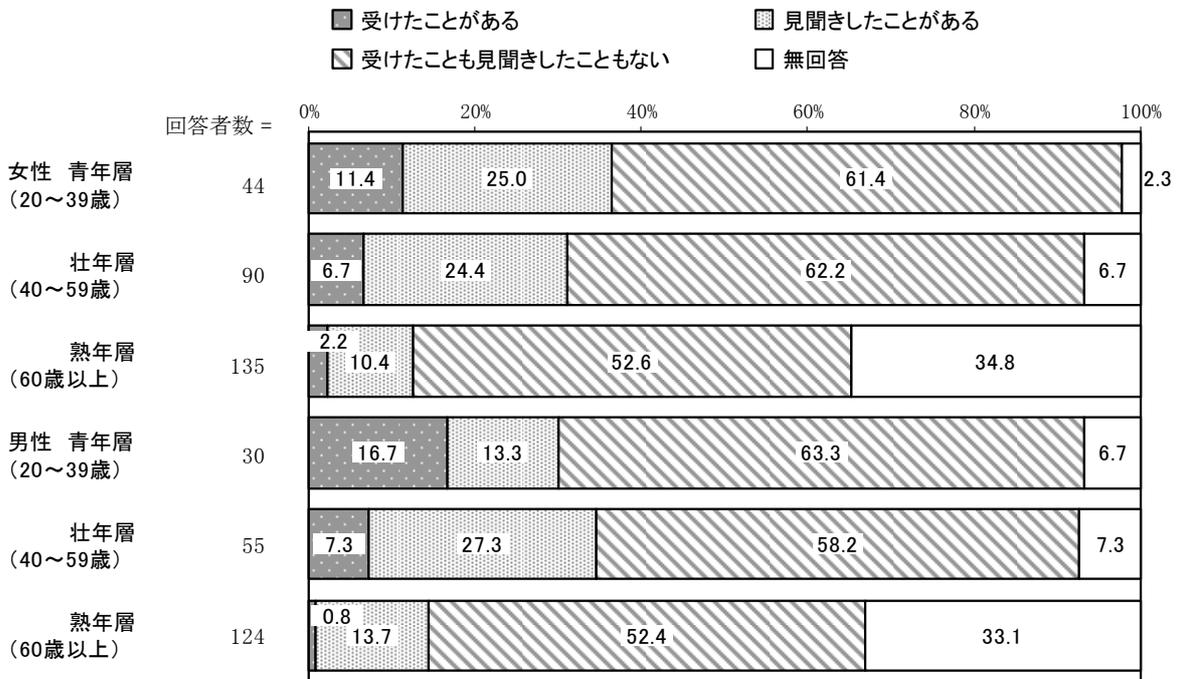


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

③ 性的な経験、性生活に関することについて質問する

【性・年齢層別】

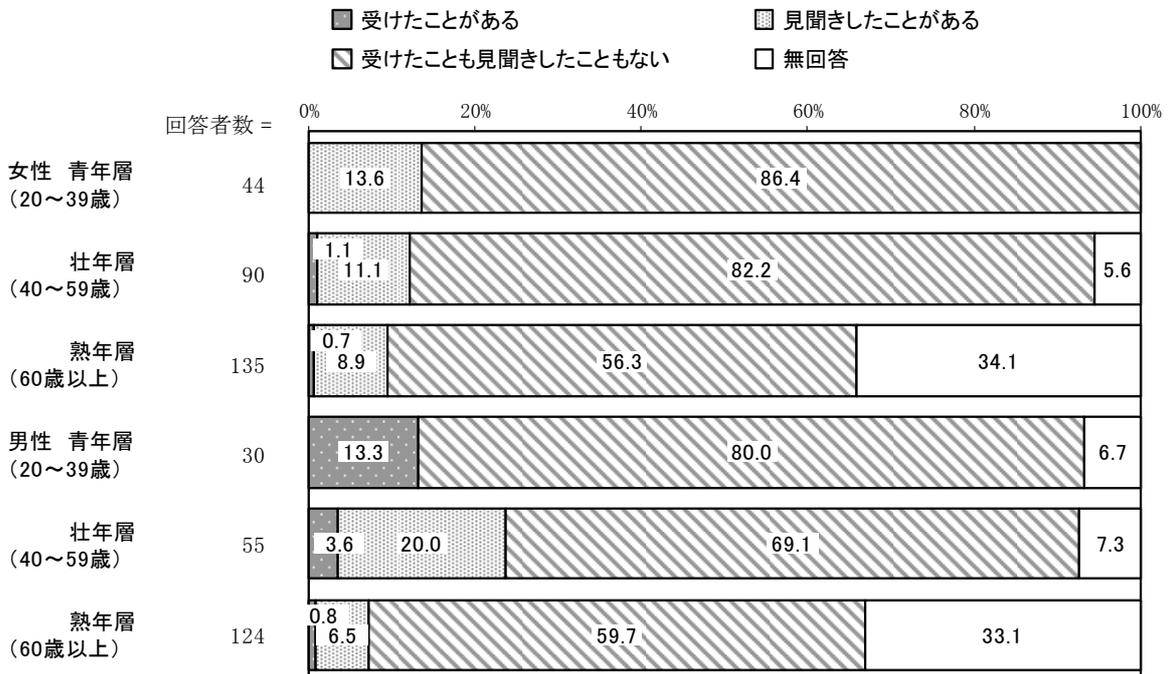
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



④ 性的な噂を流す

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、男性の青年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

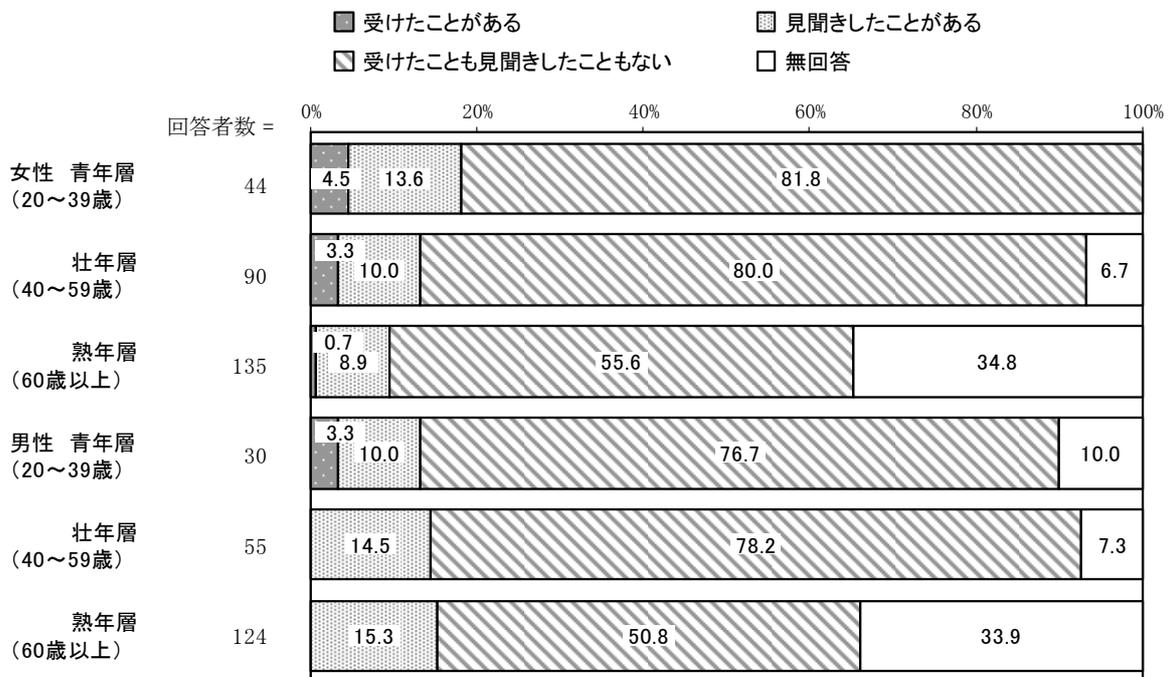


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

⑤ ノードや水着姿の写真が人目につくところに貼ってある

【性・年齢層別】

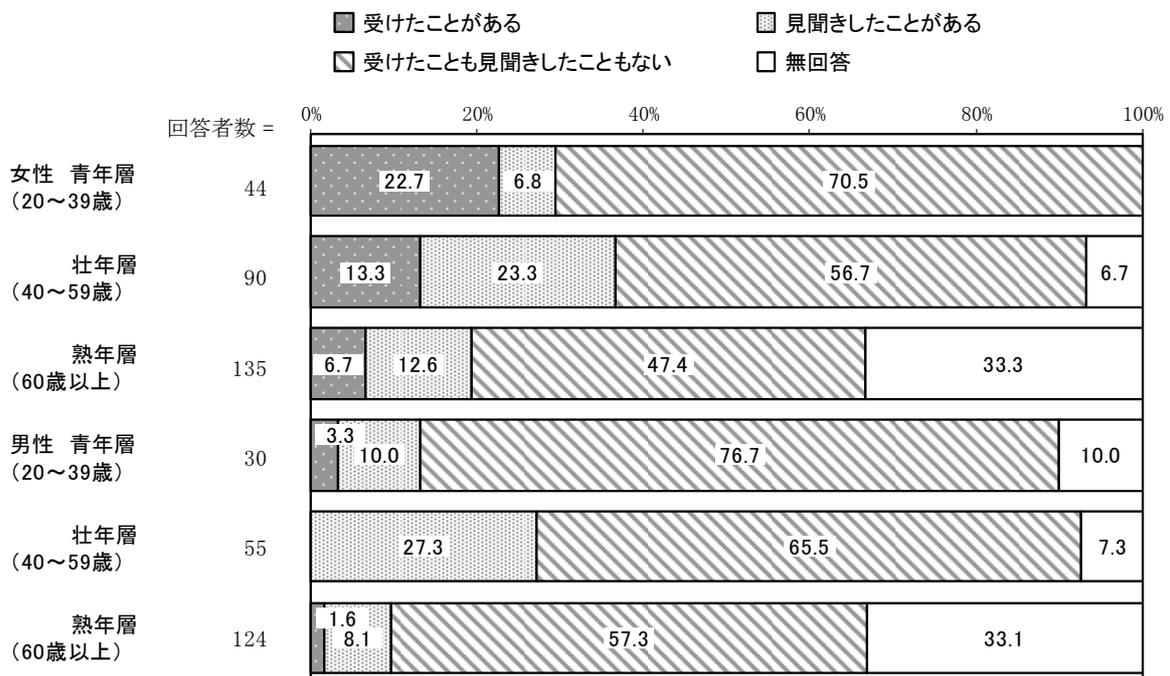
性・年齢層別でみると、他に比べ、男性の壮年層、熟年層で「見聞きしたことがある」の割合が高くなっています。



⑥ じろじろと身体を見られた

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

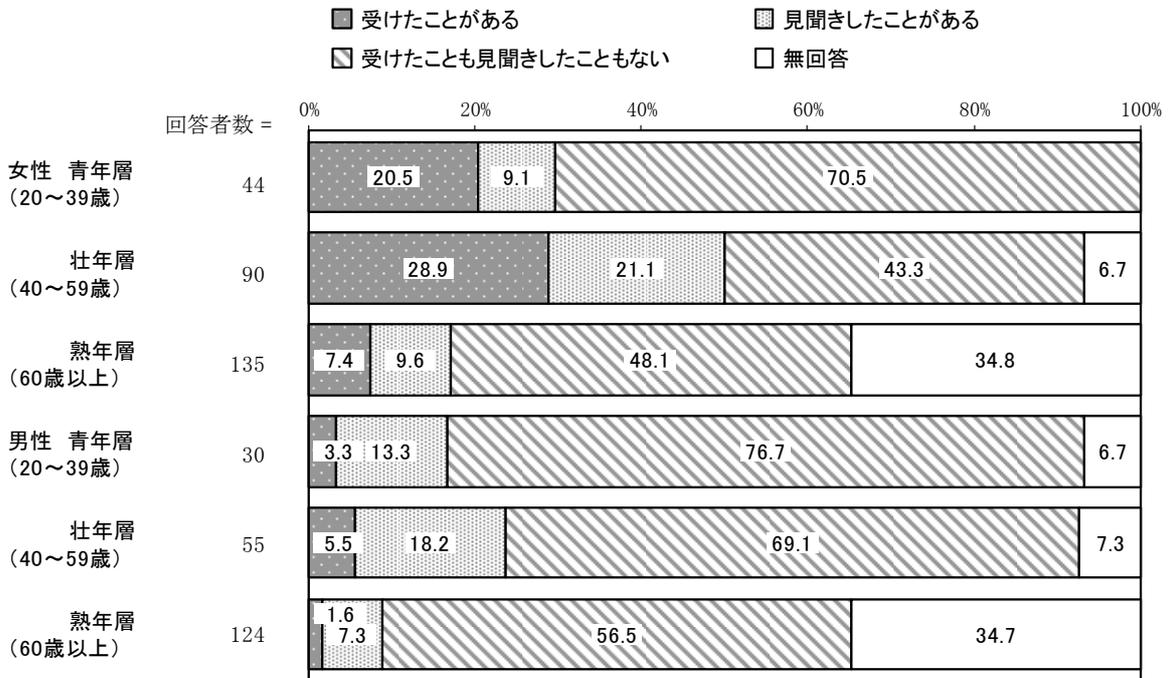


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

⑦ 不必要に身体を触られた

【性・年齢層別】

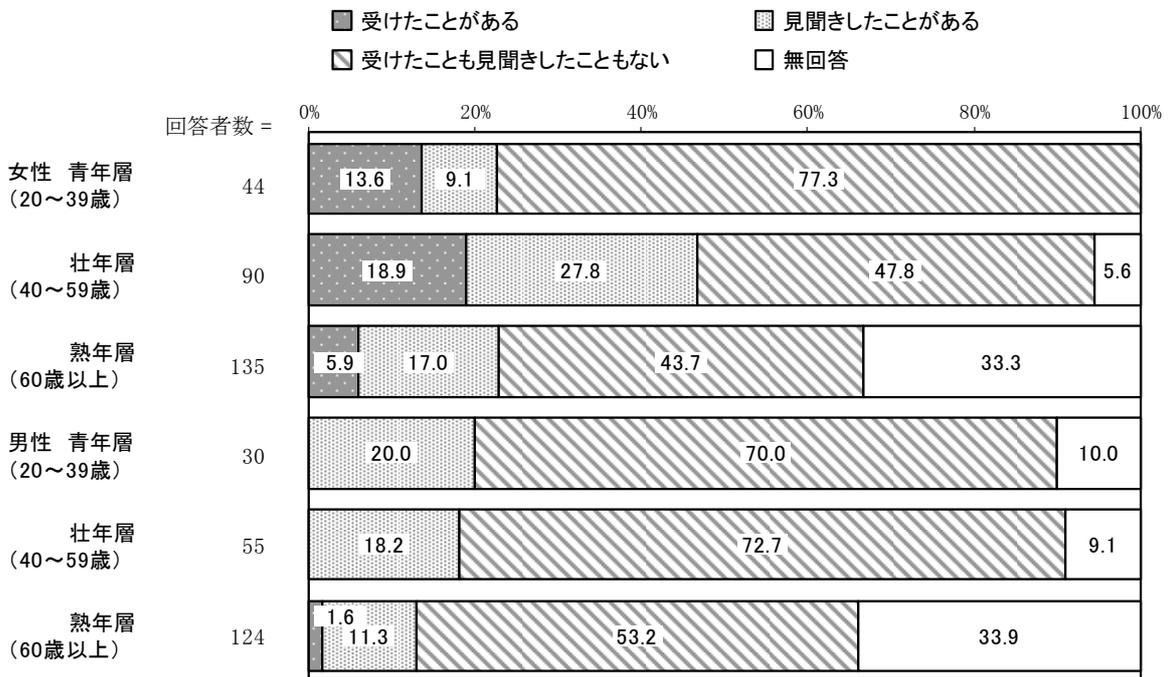
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



⑧ 食事やデートにしつこく誘う

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

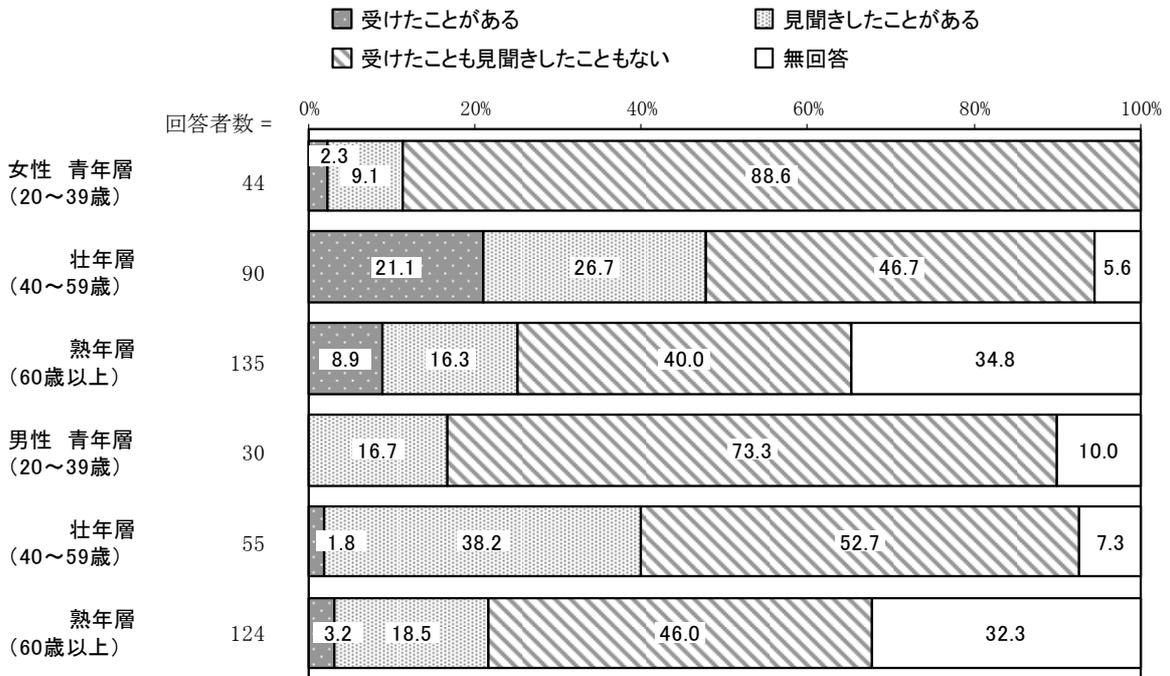


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

⑨ 宴席でお酌やデュエットを強要

【性・年齢層別】

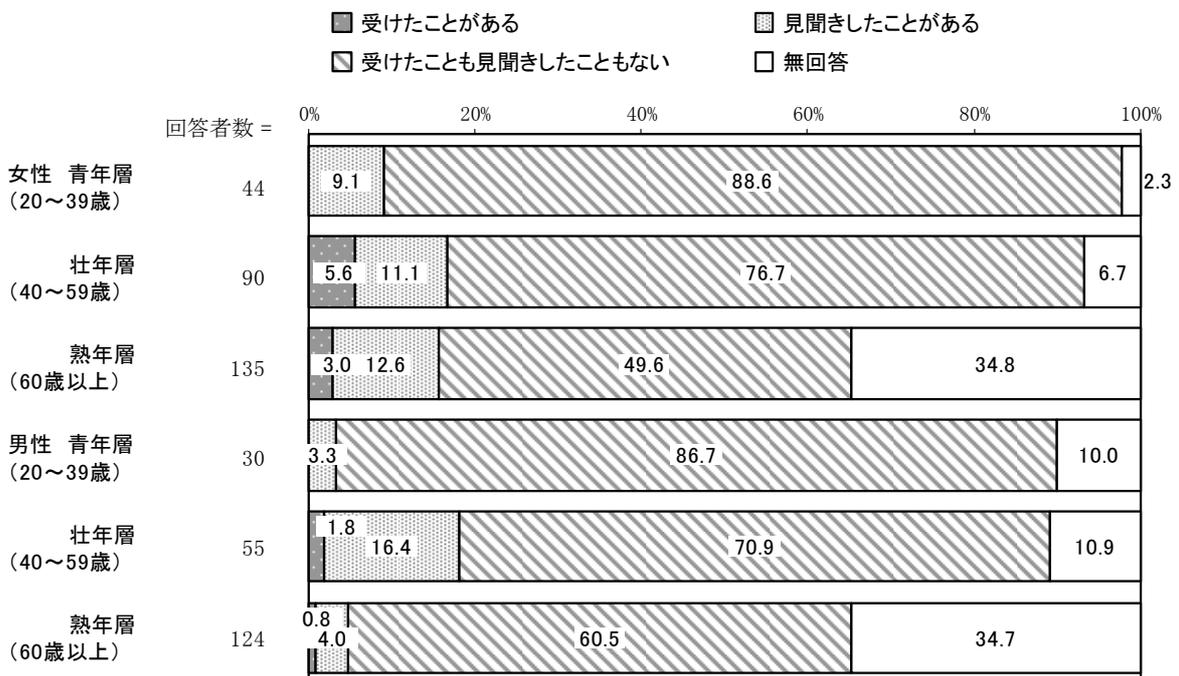
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



⑩ 立場を利用して性的関係をせまられた

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、男性の壮年層で「見聞きしたことがある」の割合が高くなっています。

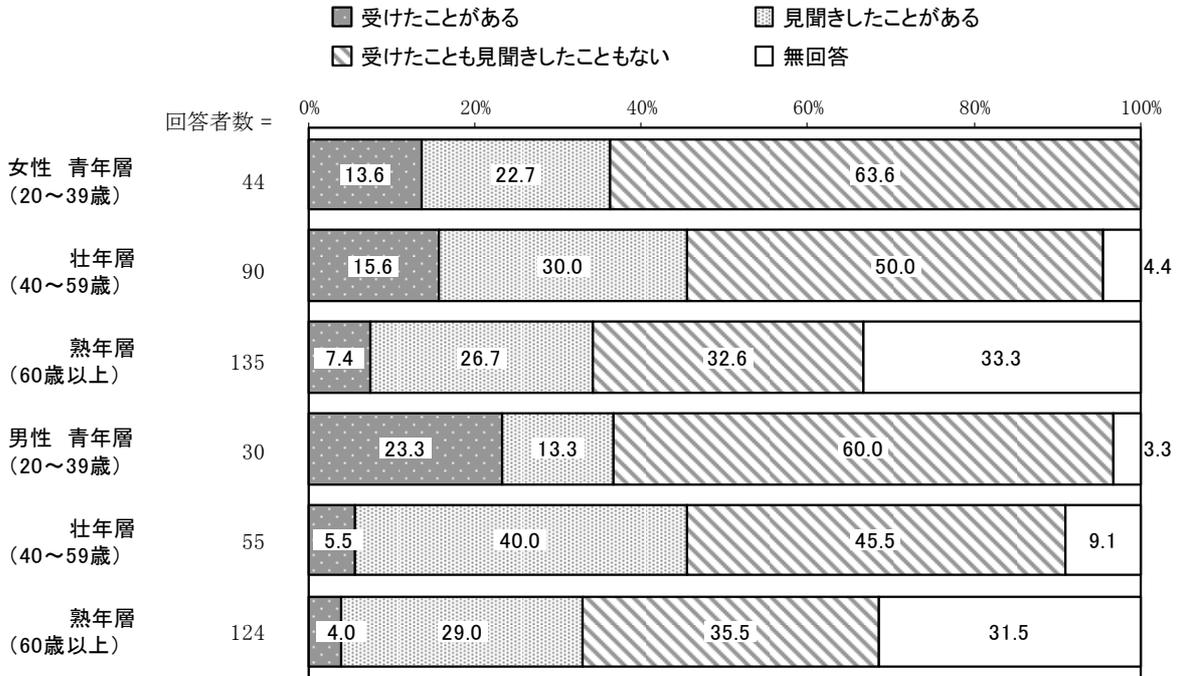


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

⑪ 「男のくせに」「女のくせに」などの性差別的な発言

【性・年齢層別】

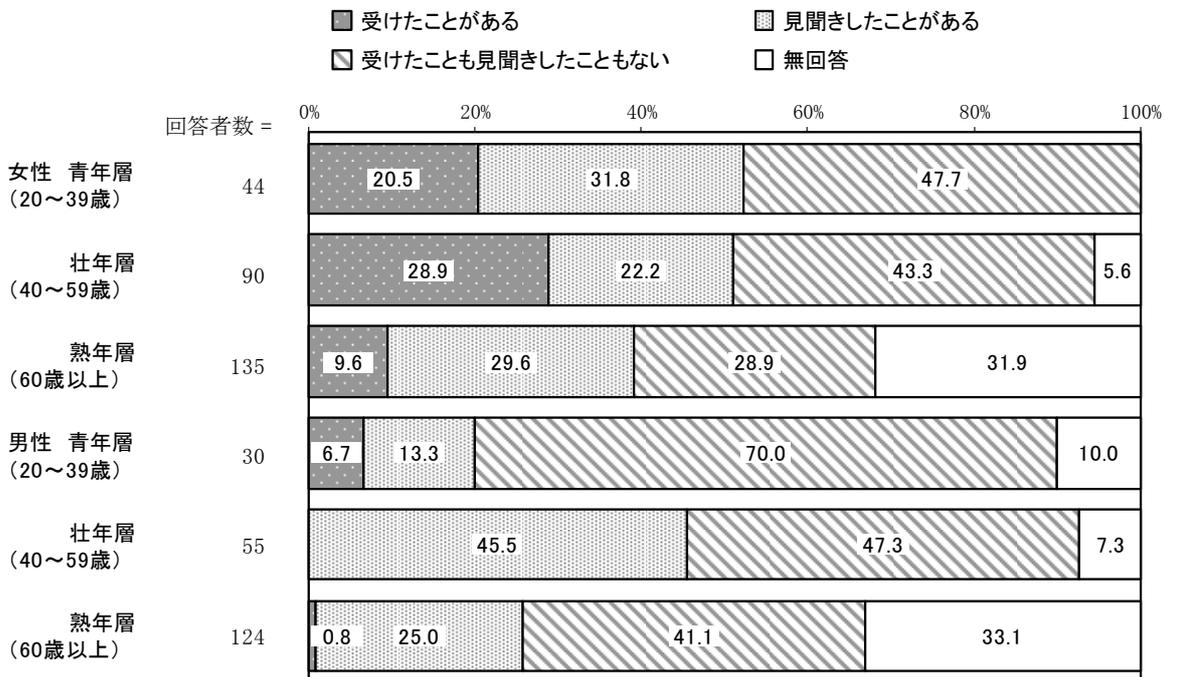
性・年齢層別で見ると、他に比べ、男性の青年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



⑫ 女性だけにお茶くみや掃除、私用を強要

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。

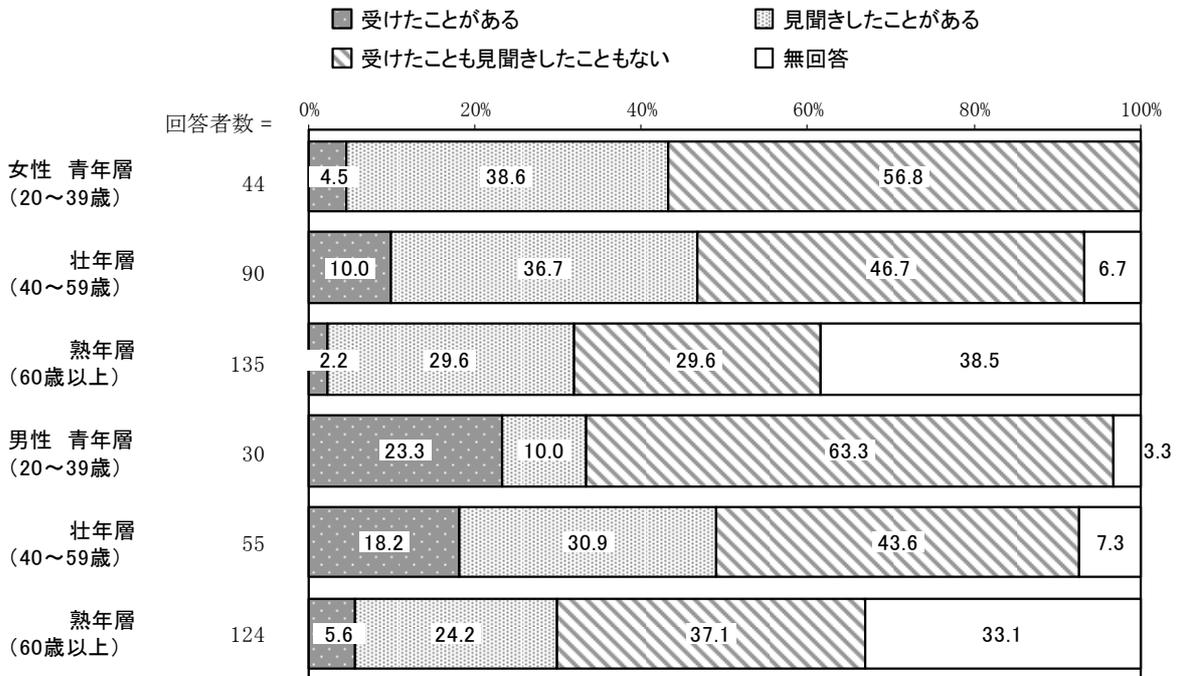


問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

⑬ 男性だけに力仕事を強要

【性・年齢層別】

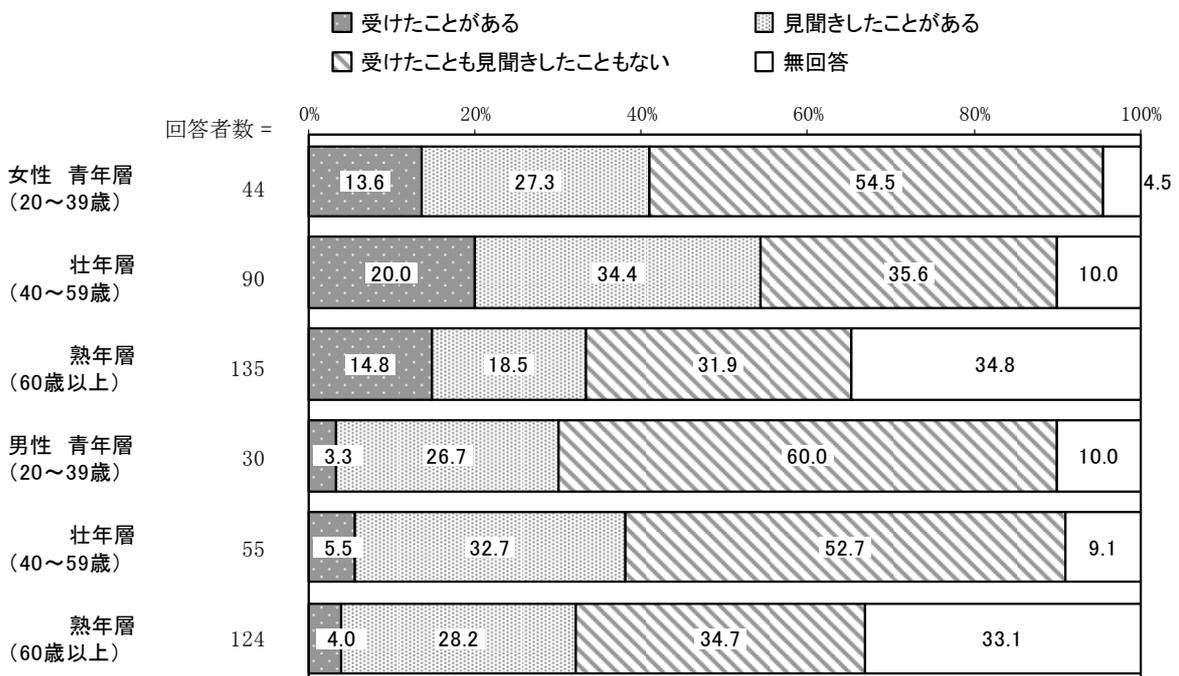
性・年齢層別で見ると、他に比べ、男性の青年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



⑭ 「男の子」「女の子」「おじさん」「おばさん」などと人格を認めないような発言

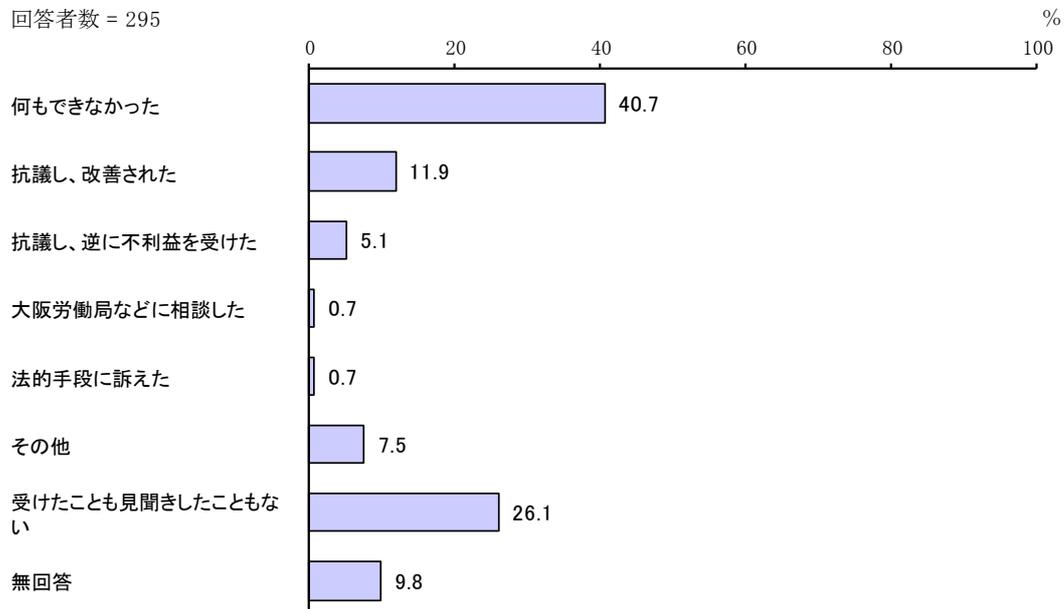
【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で「受けたことがある」の割合が高くなっています。



問 52-1 問 52 のセクシュアル・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)
(〇はいくつでも)

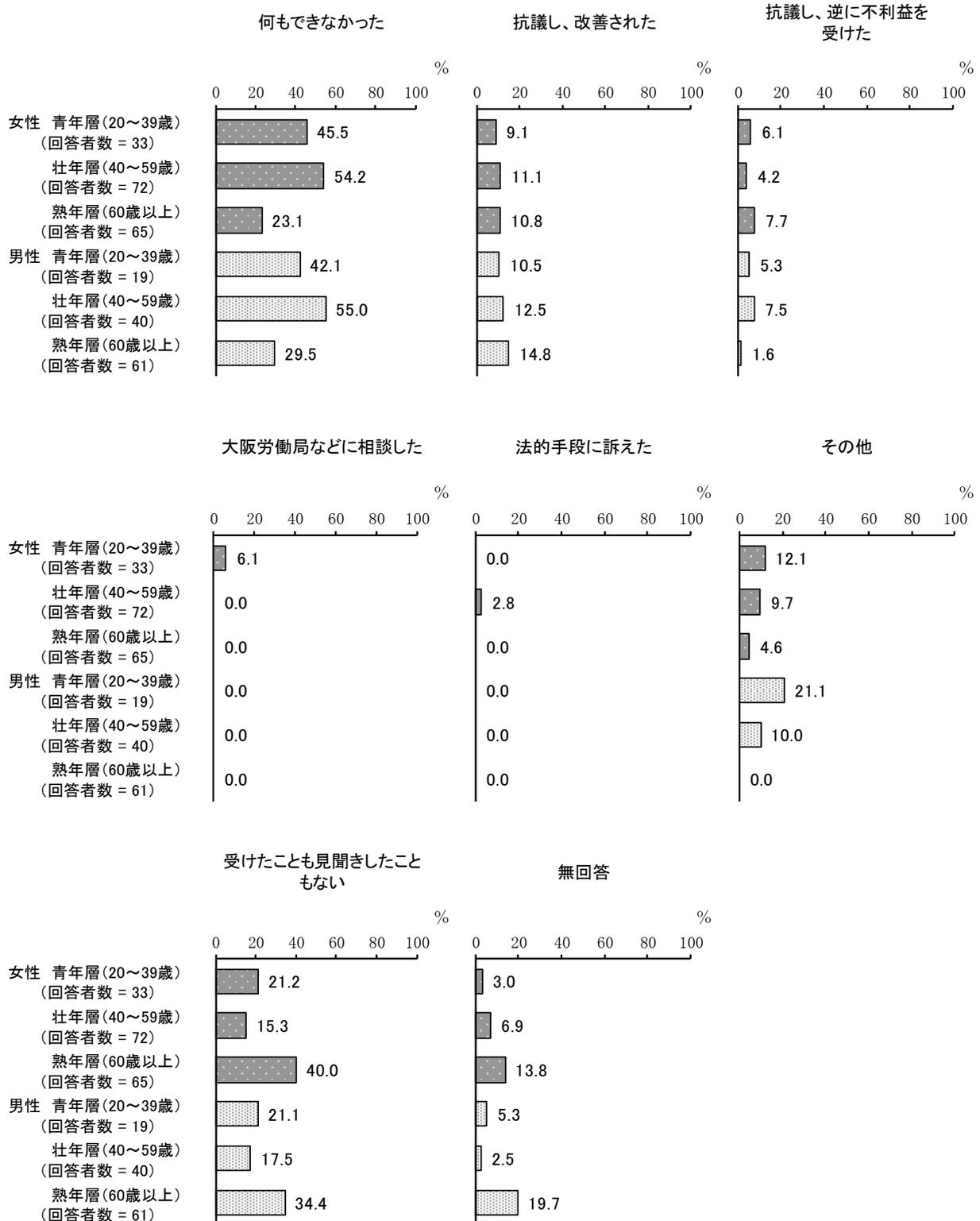
「何もできなかった」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「受けたことも見聞きしたこともない」の割合が 26.1%、「抗議し、改善された」の割合が 11.9%となっています。



問 52-1 問 52 のセクシュアル・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)
(○はいくつでも)

【性・年齢層別】

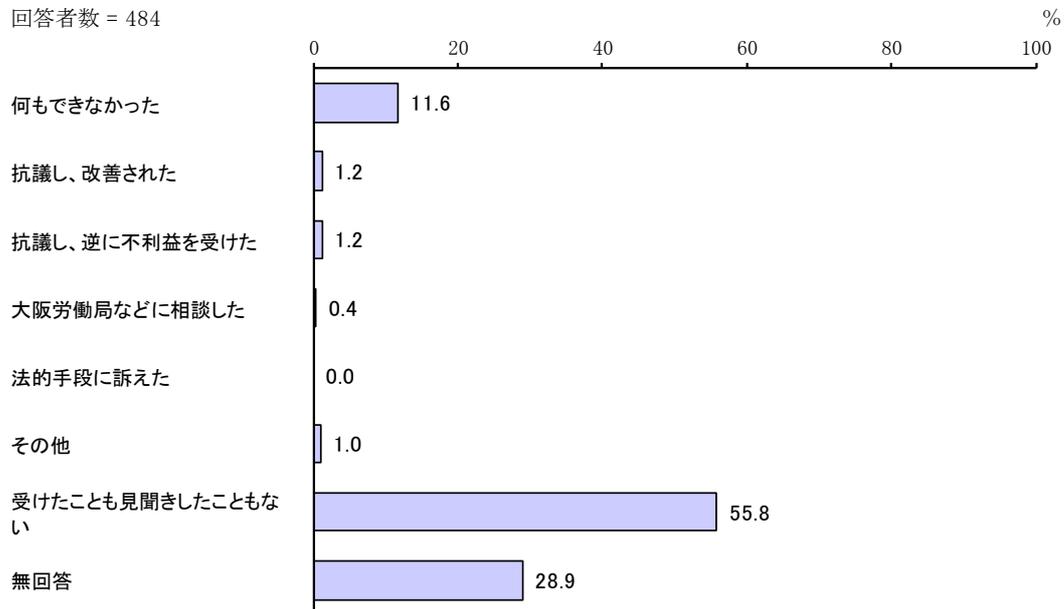
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で「何もできなかった」の割合が高くなっています。



問 53 マタニティ・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。(〇はいくつでも))

「受けたことも見聞きしたこともない」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「何もできなかった」の割合が 11.6%となっています。

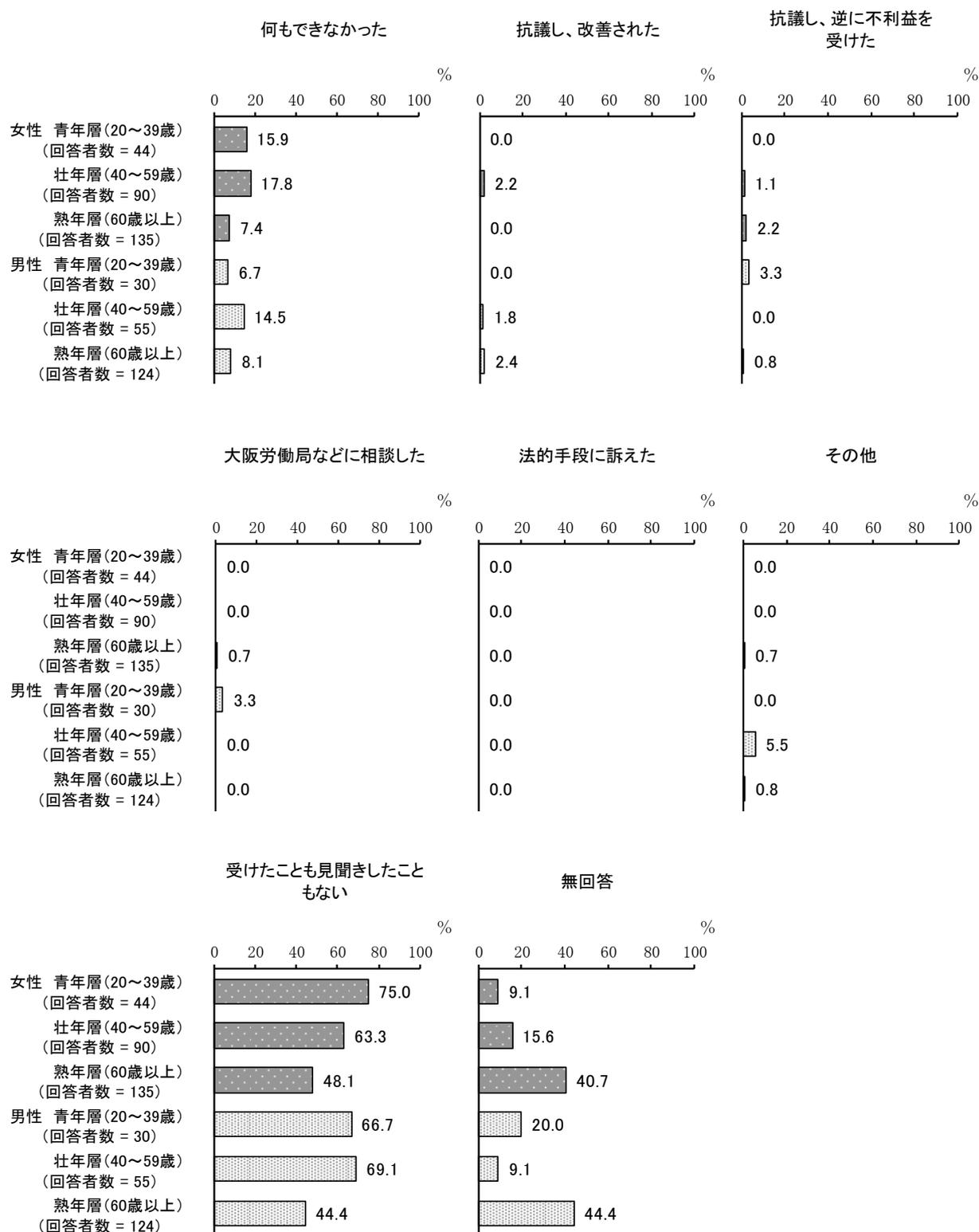
回答者数 = 484



問 53 マタニティ・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。(〇はいくつでも))

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の壮年層で「何もできなかった」の割合が高くなっています。

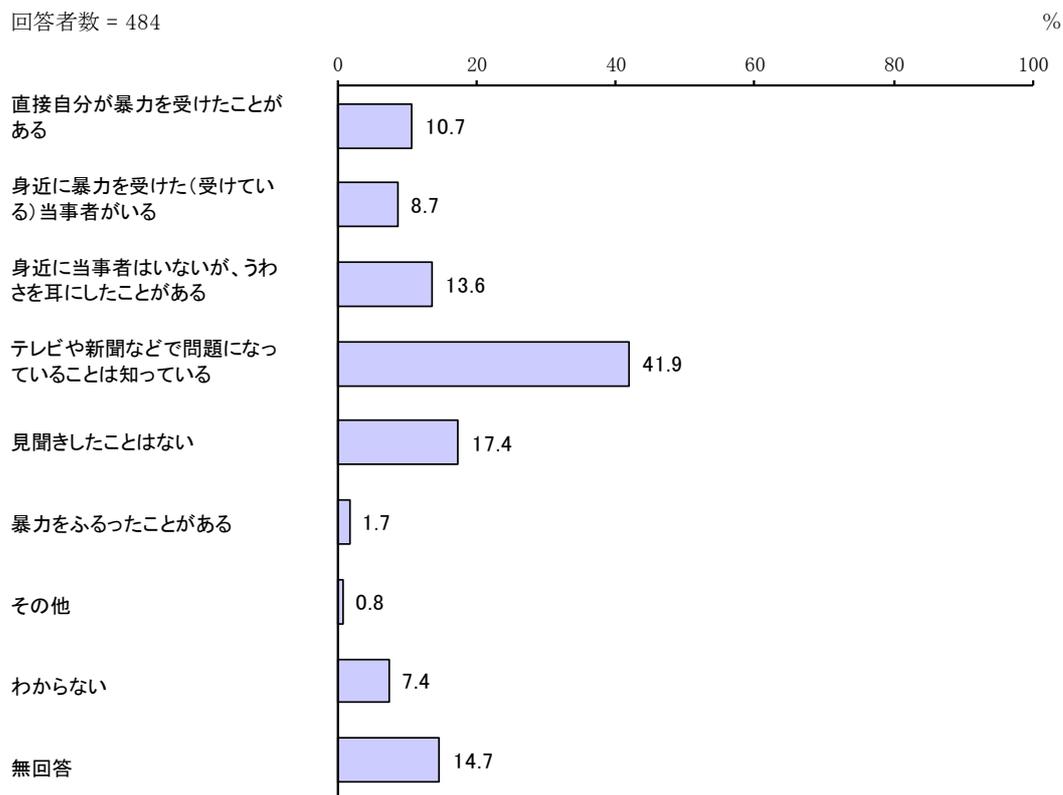


(4) ドメスティック・バイオレンス (DV) について

問 54 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人など）から暴力（身体的なものだけではなく、心理的なものなど）を受けた経験や見聞きしたことがありますか。
(○はいくつでも)

「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「見聞きしたことはない」の割合が 17.4%、「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」の割合が 13.6%となっています。

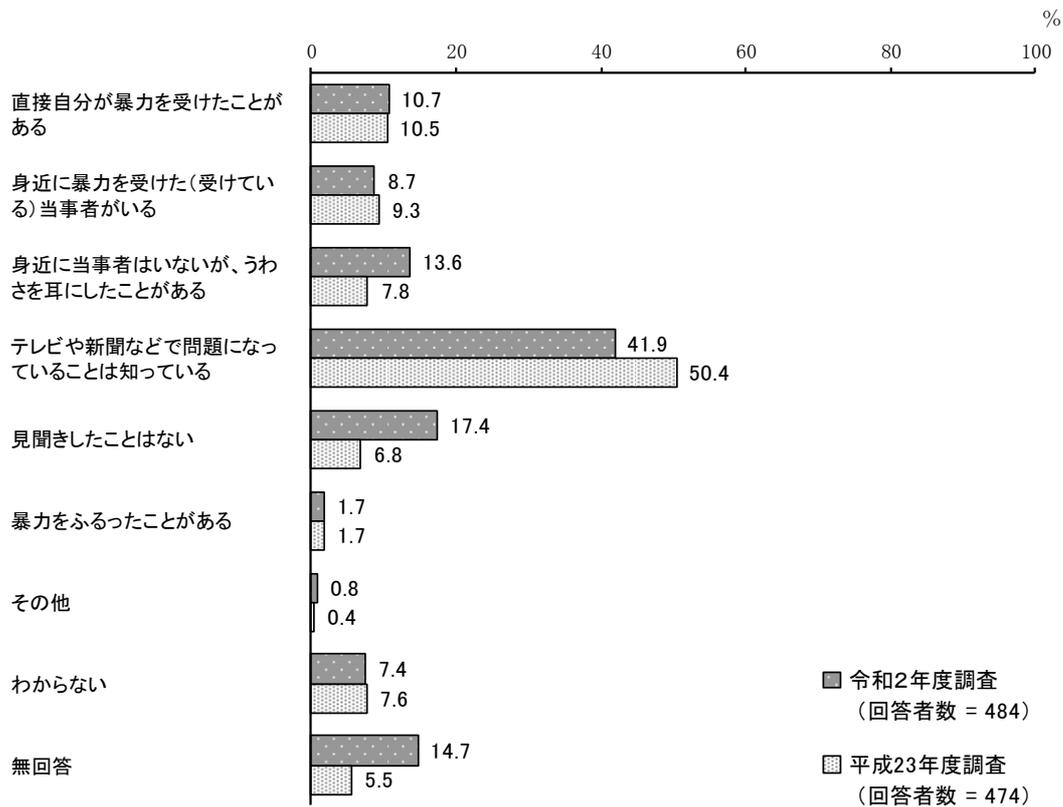
回答者数 = 484



問 54 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人など）から暴力（身体的なものだけではなく、心理的なものなど）を受けた経験や見聞きしたことがありますか。
 （〇はいくつでも）

【平成 23 年度調査との比較】

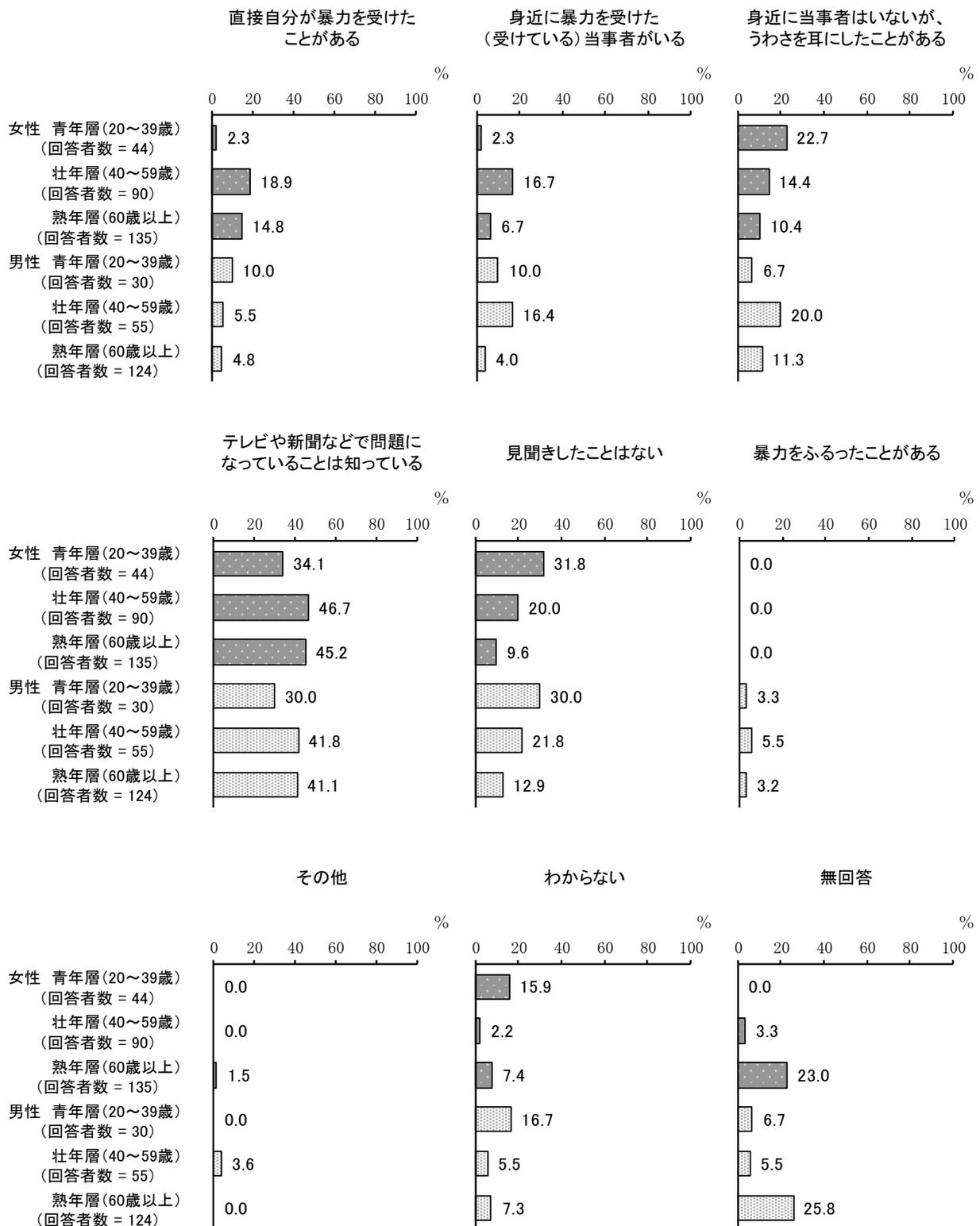
平成 23 年度調査と比較すると、「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」「見聞きしたことはない」の割合が高くなっています。一方、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合が低くなっています。



問 54 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人など）から暴力（身体的なものだけではなく、心理的なものなど）を受けた経験や見聞きしたことがありますか。
（○はいくつでも）

【性・年齢層別】

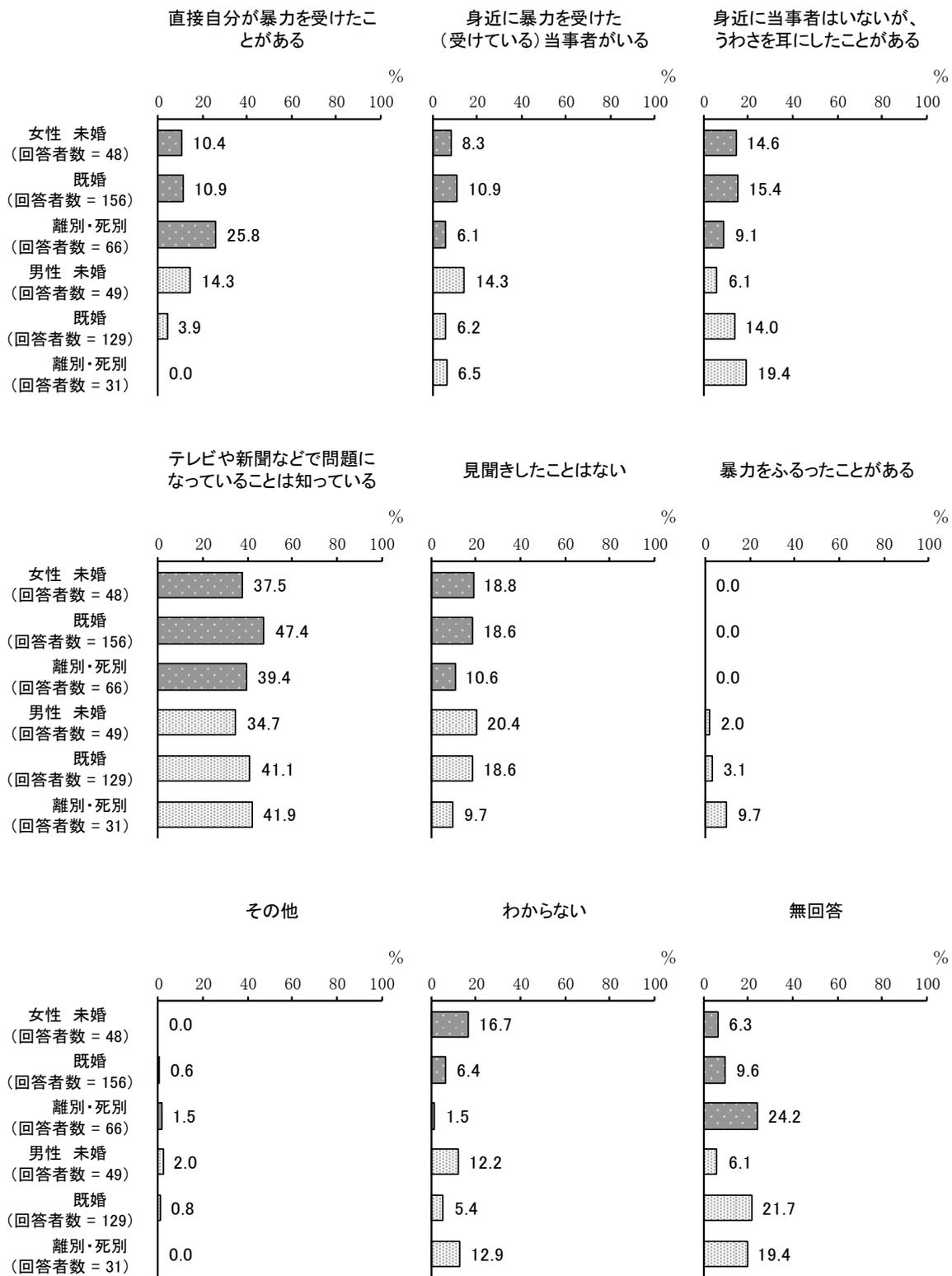
性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層、熟年層で「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合が高くなっています。



問 54 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人など）から暴力（身体的なものだけではなく、心理的なものなど）を受けた経験や見聞きしたことがありますか。
 （〇はいくつでも）

【性・結婚の状況別】

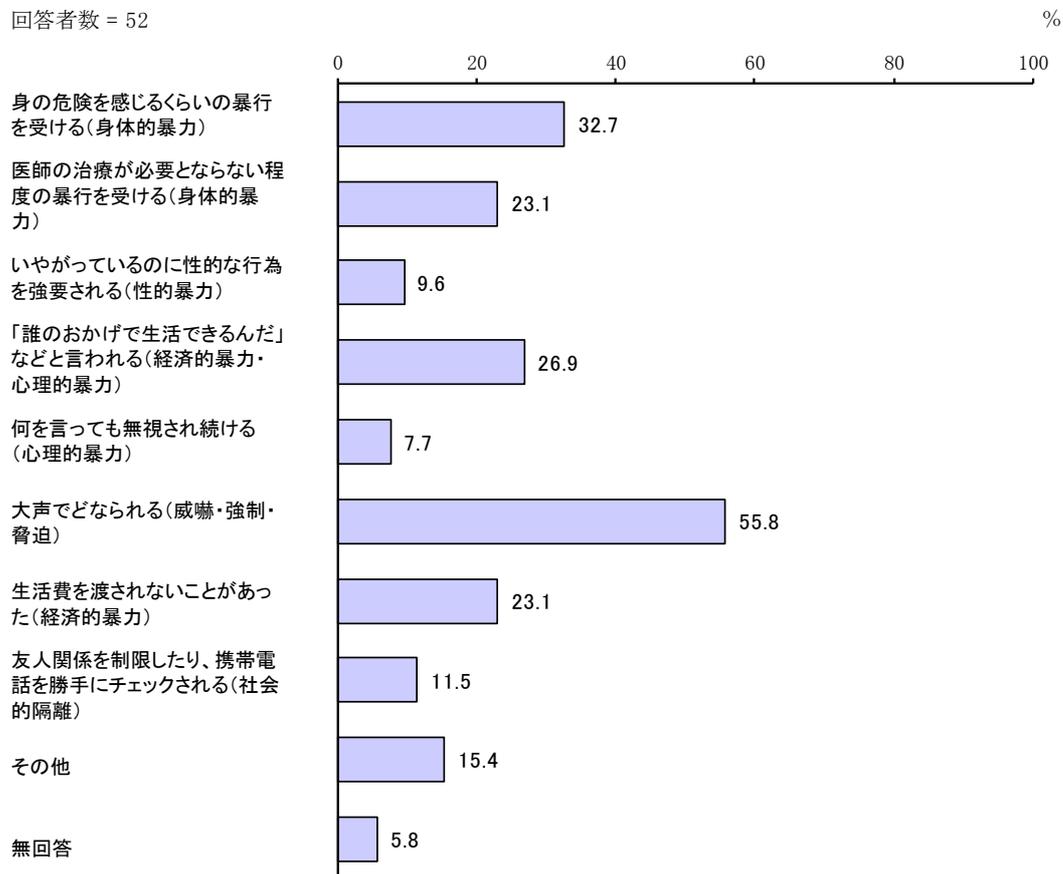
性・結婚の状況別でみると、他に比べ、女性の既婚、男性の既婚、離別・死別で「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合が高くなっています。



問 54-1 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。それはどのような暴力ですか。(〇はいくつでも)

「大声でどなられる(威嚇・強制・脅迫)」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「身の危険を感じるくらいの暴行を受ける(身体的暴力)」の割合が 32.7%、「誰のおかげで生活できるんだ」などと言われる(経済的暴力・心理的暴力)の割合が 26.9%となっています。

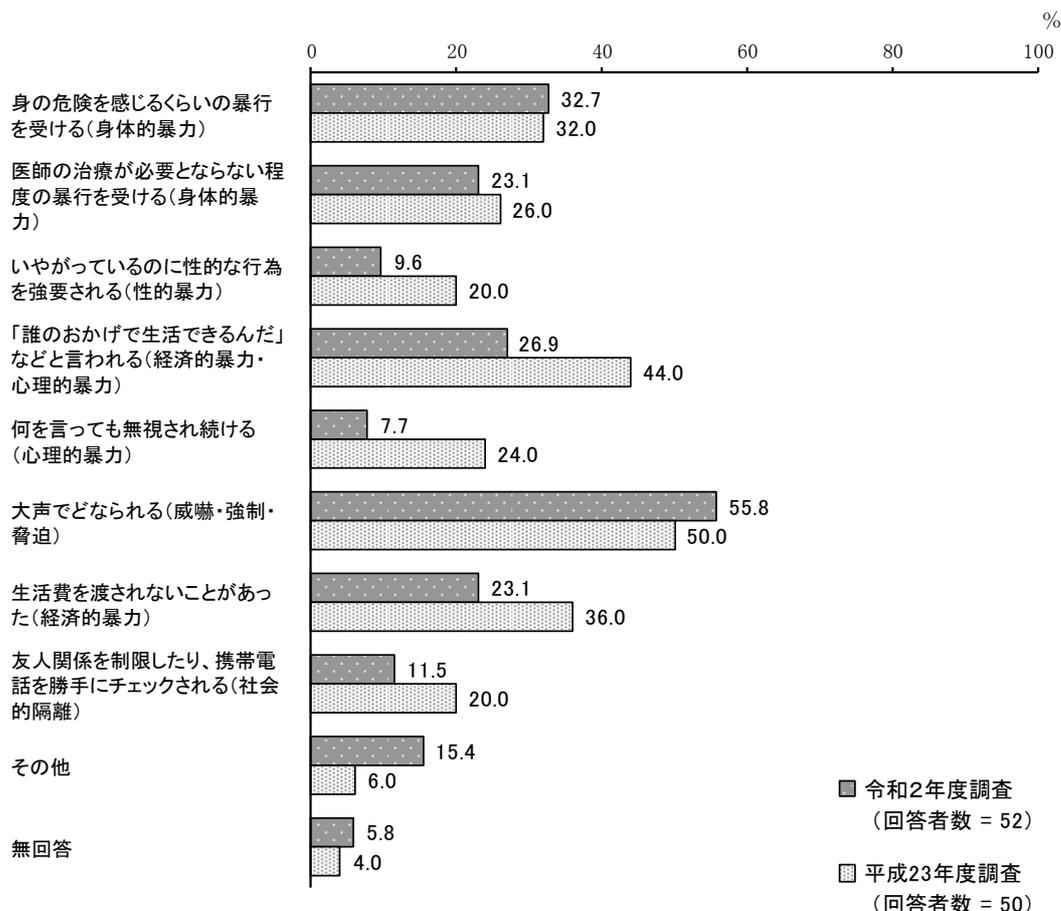
回答者数 = 52



問 54-1 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。それはどのような暴力ですか。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

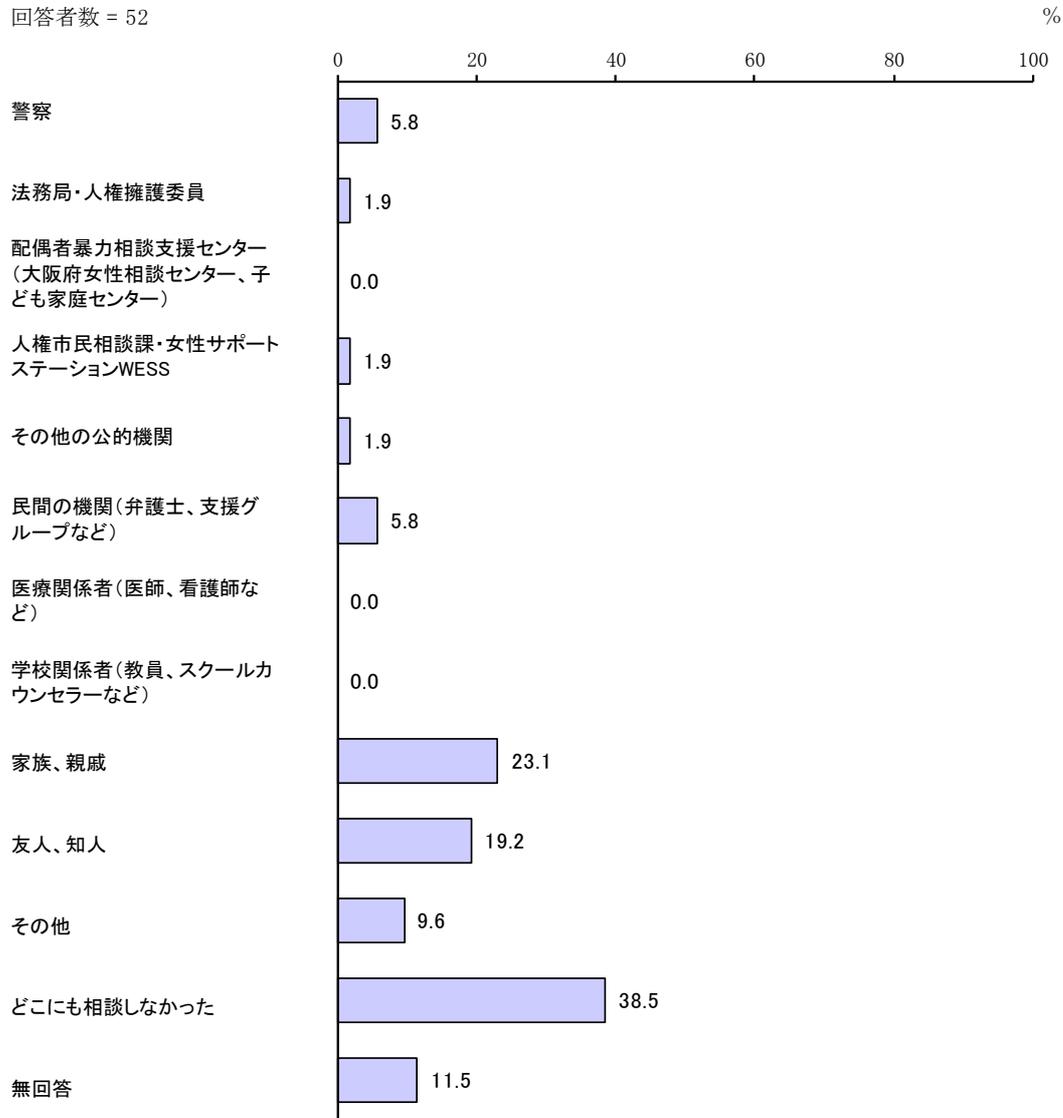
平成 23 年度調査と比較すると、「大声でどなられる(威嚇・強制・脅迫)」の割合が高くなっています。一方、「いやがっているのに性的な行為を強要される(性的暴力)」「誰のおかげで生活できるんだ」などと言われる(経済的暴力・心理的暴力)」「何を言っても無視され続ける(心理的暴力)」「生活費を渡されないことがあった(経済的暴力)」「友人関係を制限したり、携帯電話を勝手にチェックされる(社会的隔離)」の割合が低くなっています。



問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

「どこにも相談しなかった」の割合が38.5%と最も高く、次いで「家族、親戚」の割合が23.1%、「友人、知人」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 52

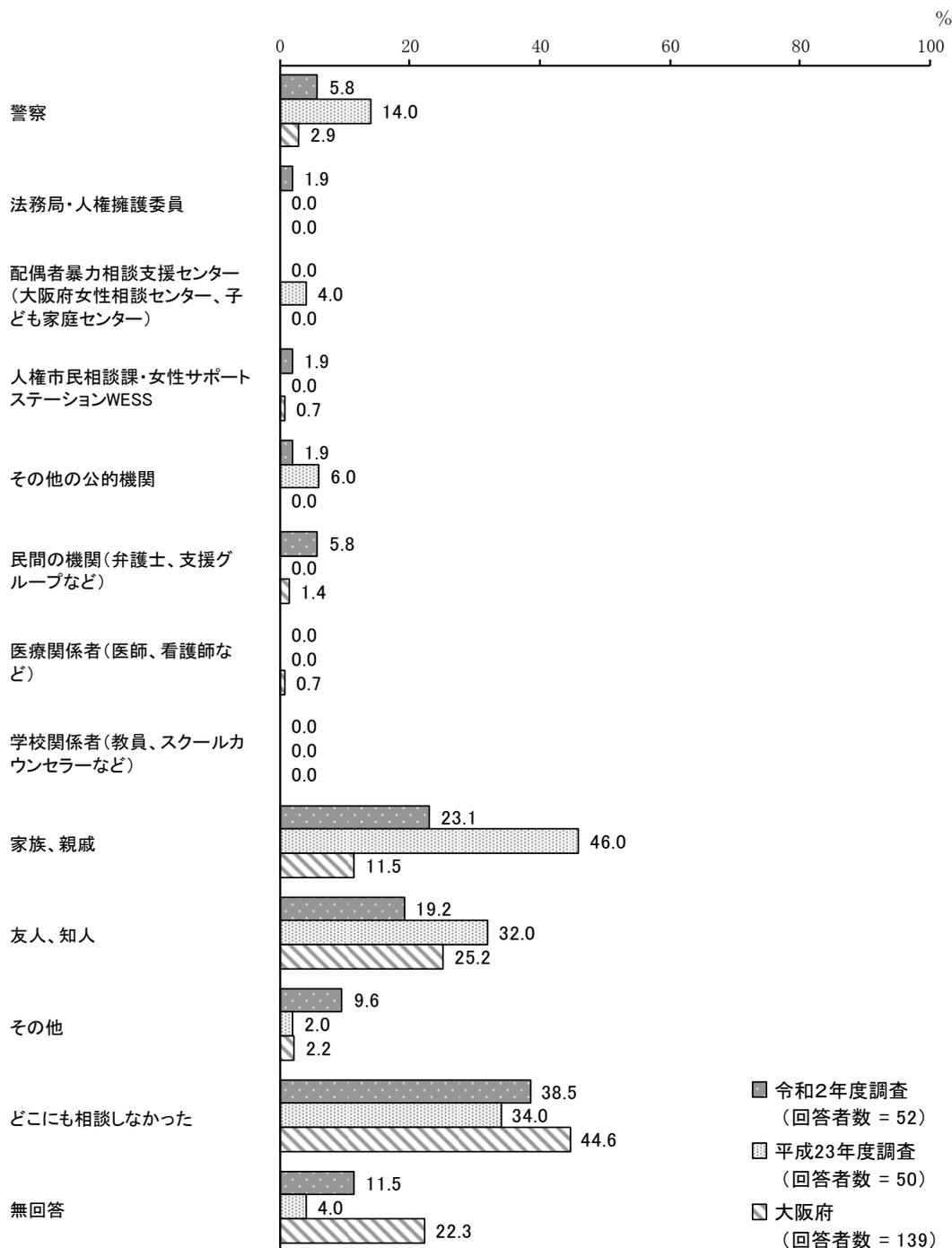


問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「民間の機関（弁護士、支援グループなど）」の割合が高くなっています。一方、「警察」「家族、親戚」「友人、知人」の割合が低くなっています。

大阪府と比較すると、「家族、親戚」の割合が高くなっています。一方、「友人、知人」「どこにも相談しなかった」の割合が低くなっています。

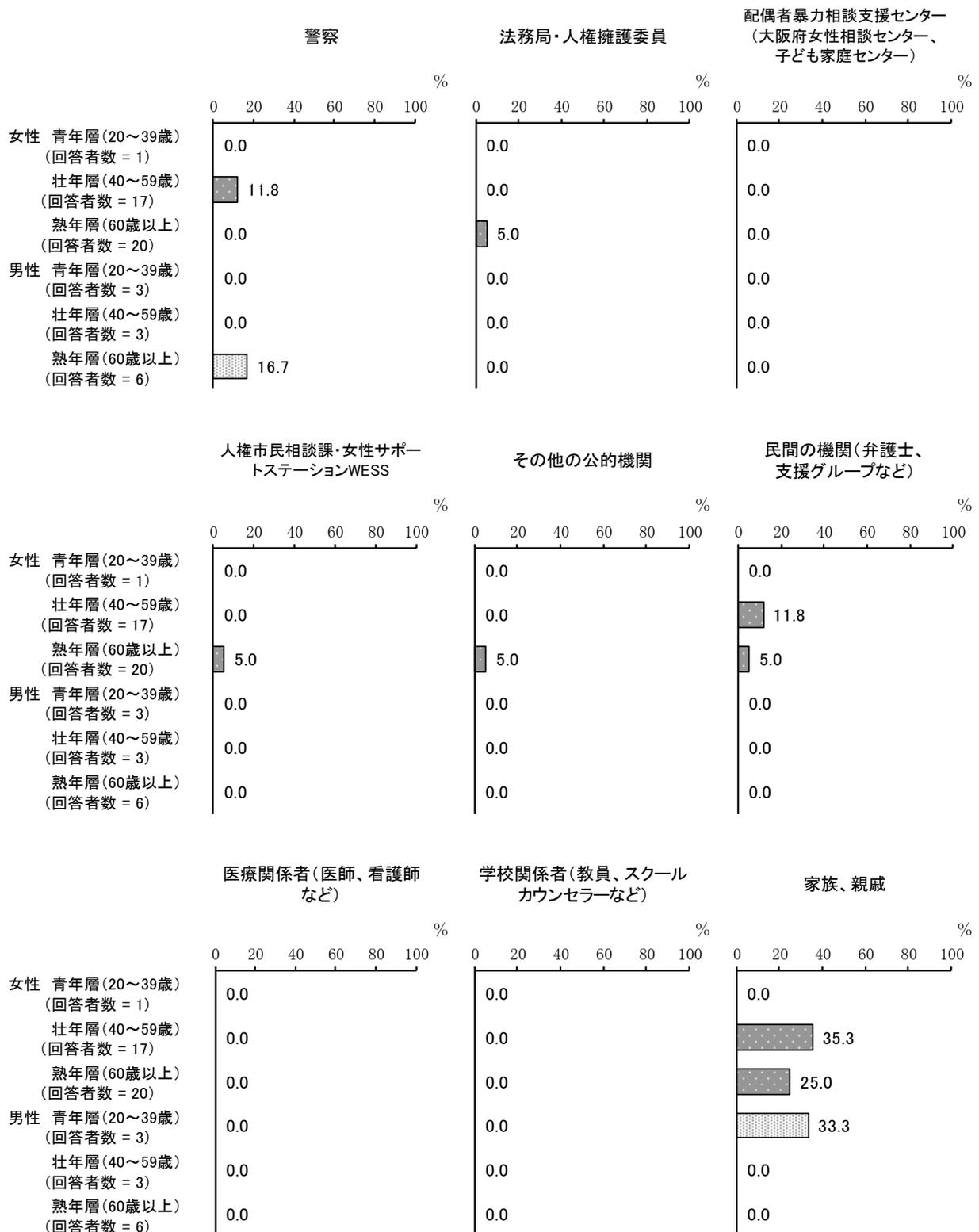


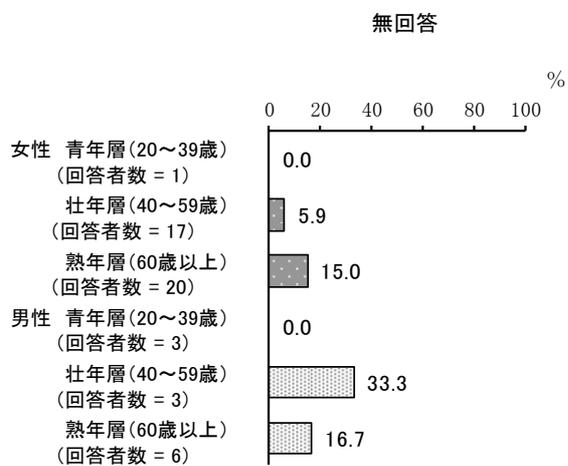
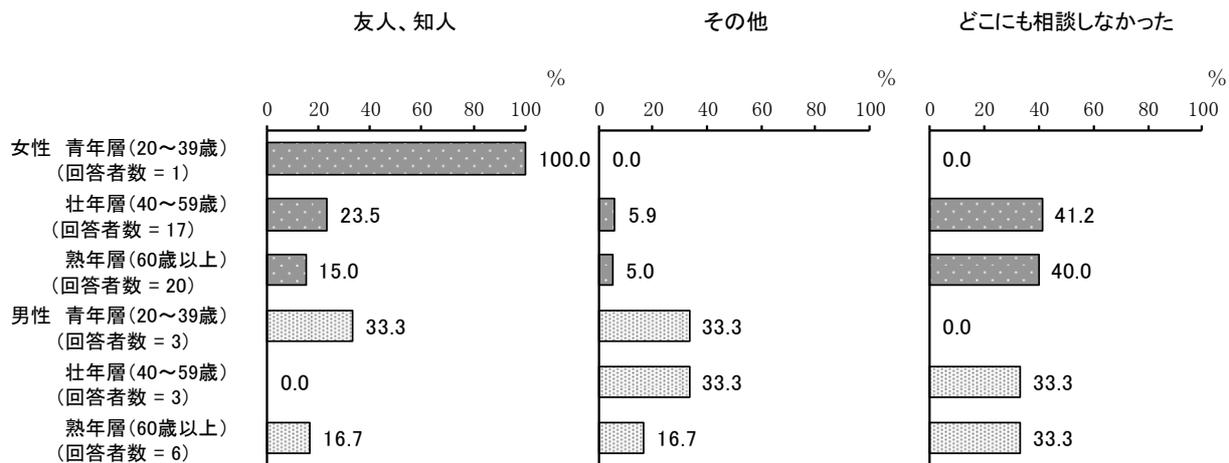
※大阪府調査では、「人権市民相談課・女性サポートステーション WESS」の選択肢は、「市町村など役所の相談窓口で相談した」となっています。

問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

有効回答数が一桁の項目が、半数以上あるため傾向の確認ができませんが、「家族、親戚」「友人、知人」「その他」「どこにも相談しなかった」に回答がいくつかあります。

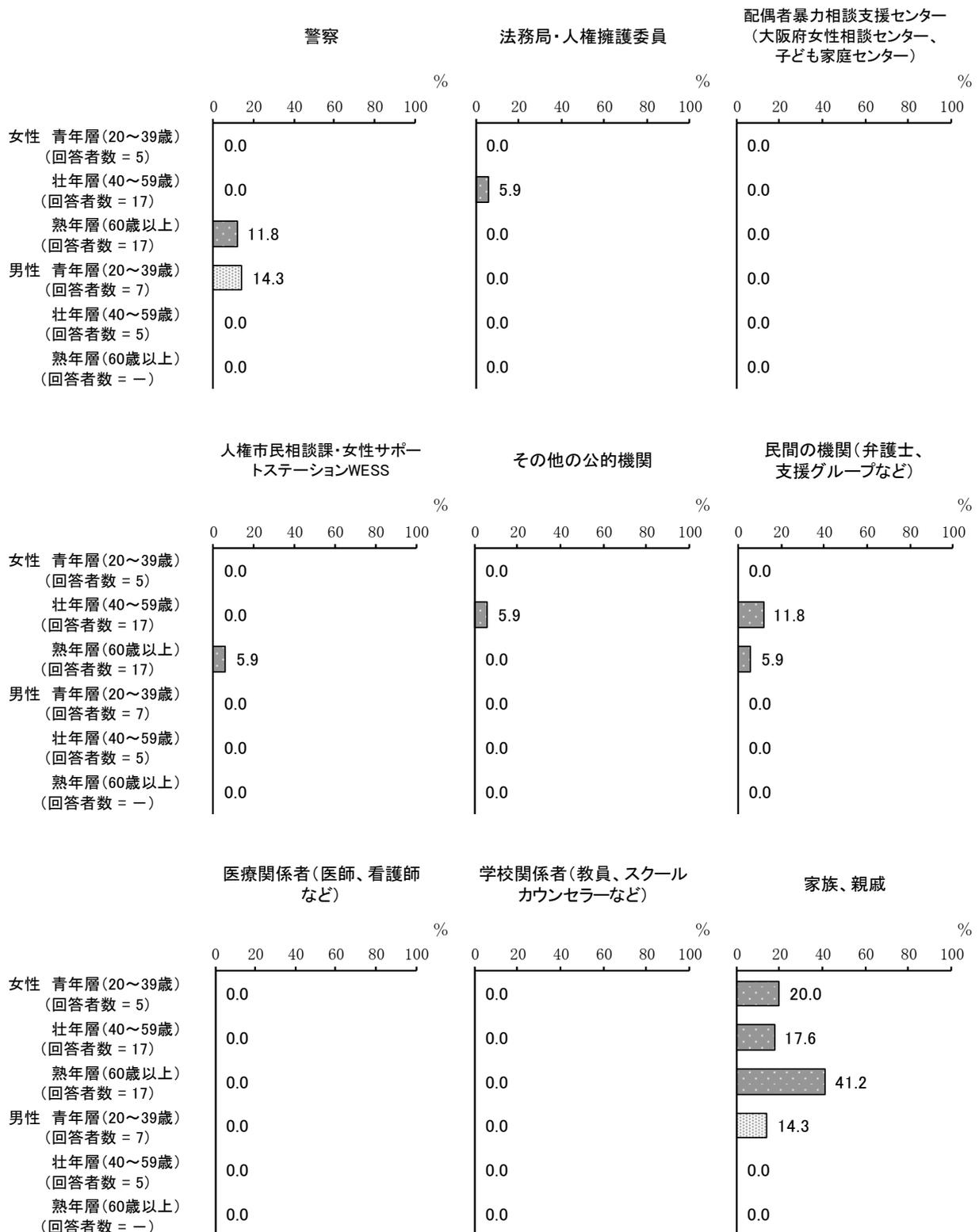


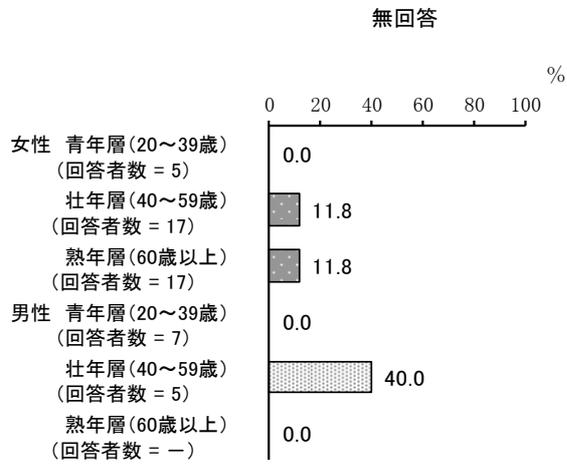
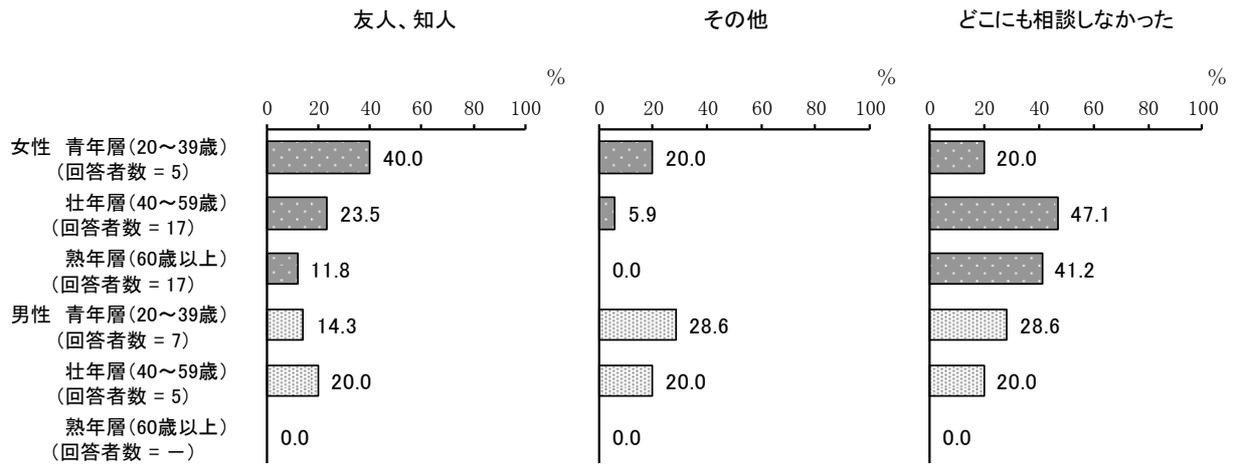


問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

【性・結婚の状況別】

有効回答数が少ないため、(回答者数=51人)、傾向の確認はできませんが、「家族、親戚」「友人、知人」「その他」「どこにも相談しなかった」に回答がいくつかあります。

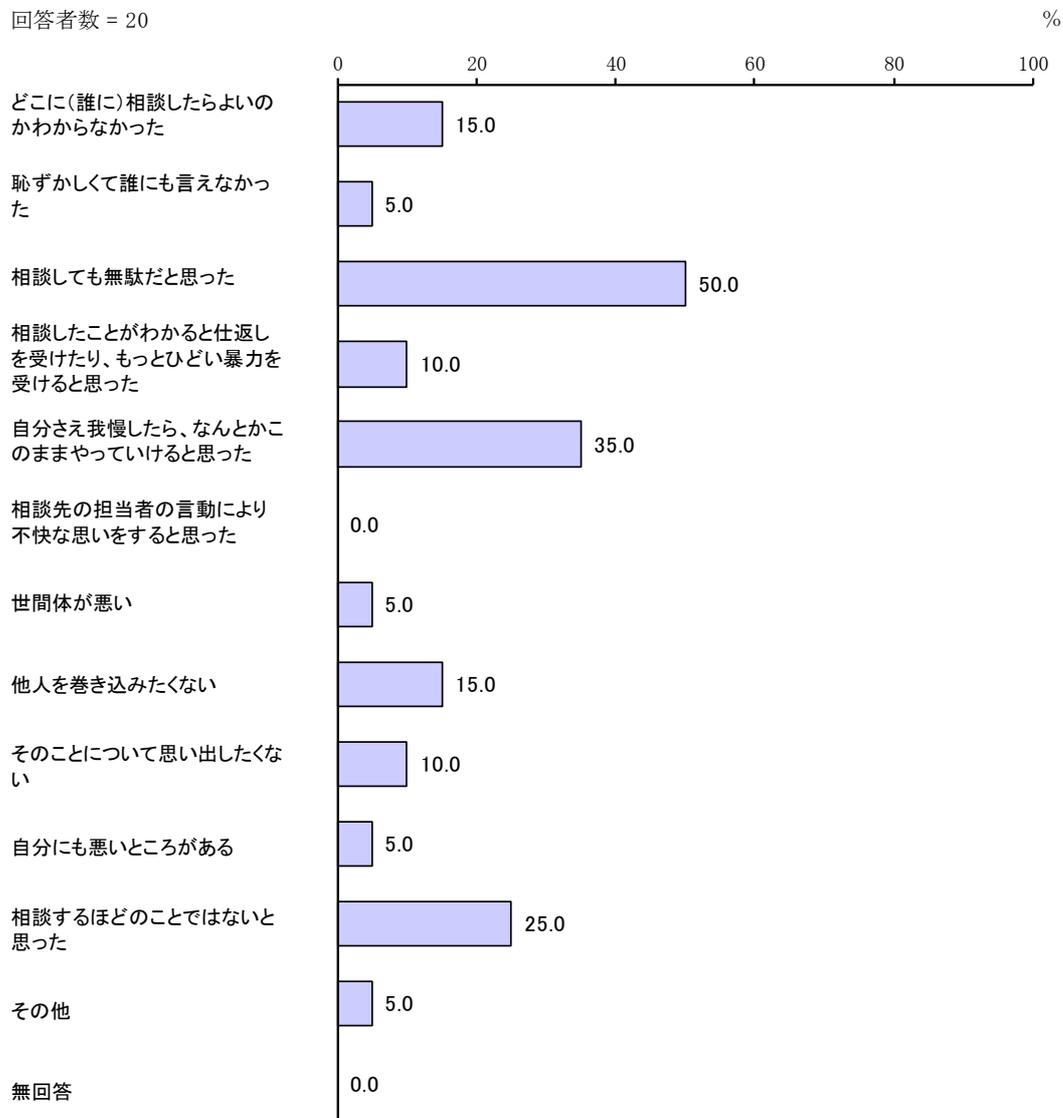




問 54-3 問 54-2で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

「相談しても無駄だと思った」の割合が50.0%と最も高く、次いで「自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った」の割合が35.0%、「相談するほどのことではないと思った」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 20

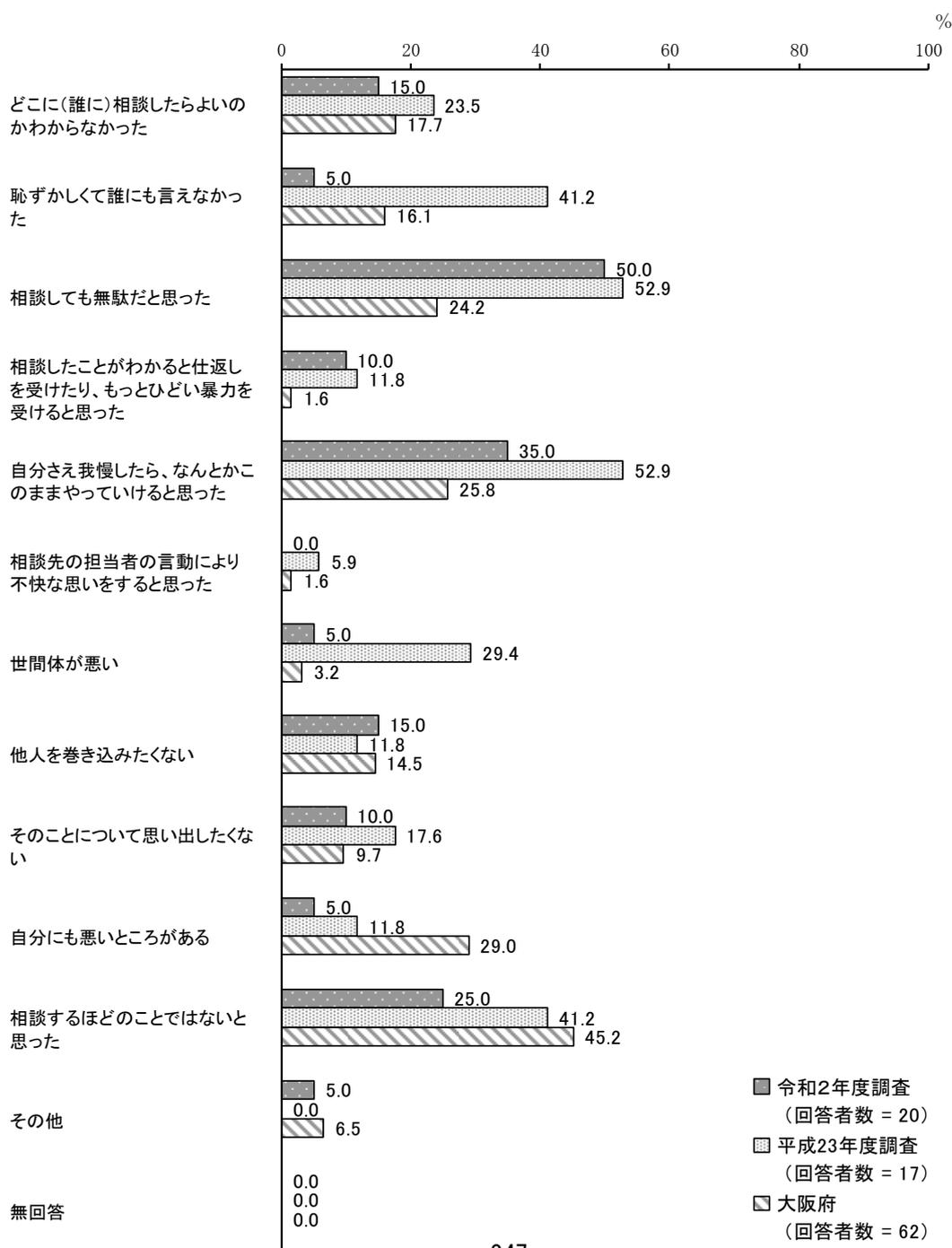


問 54-3 問 54-2で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査・大阪府調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「どこに（誰に）相談したらよいのかわからなかった」「恥ずかしくて誰にも言えなかった」「自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った」「相談先の担当者の言動により不快な思いをすと思った」「世間体が悪い」「そのことについて思い出したくない」「自分にも悪いところがある」「相談するほどのことではないと思った」の割合が低くなっています。

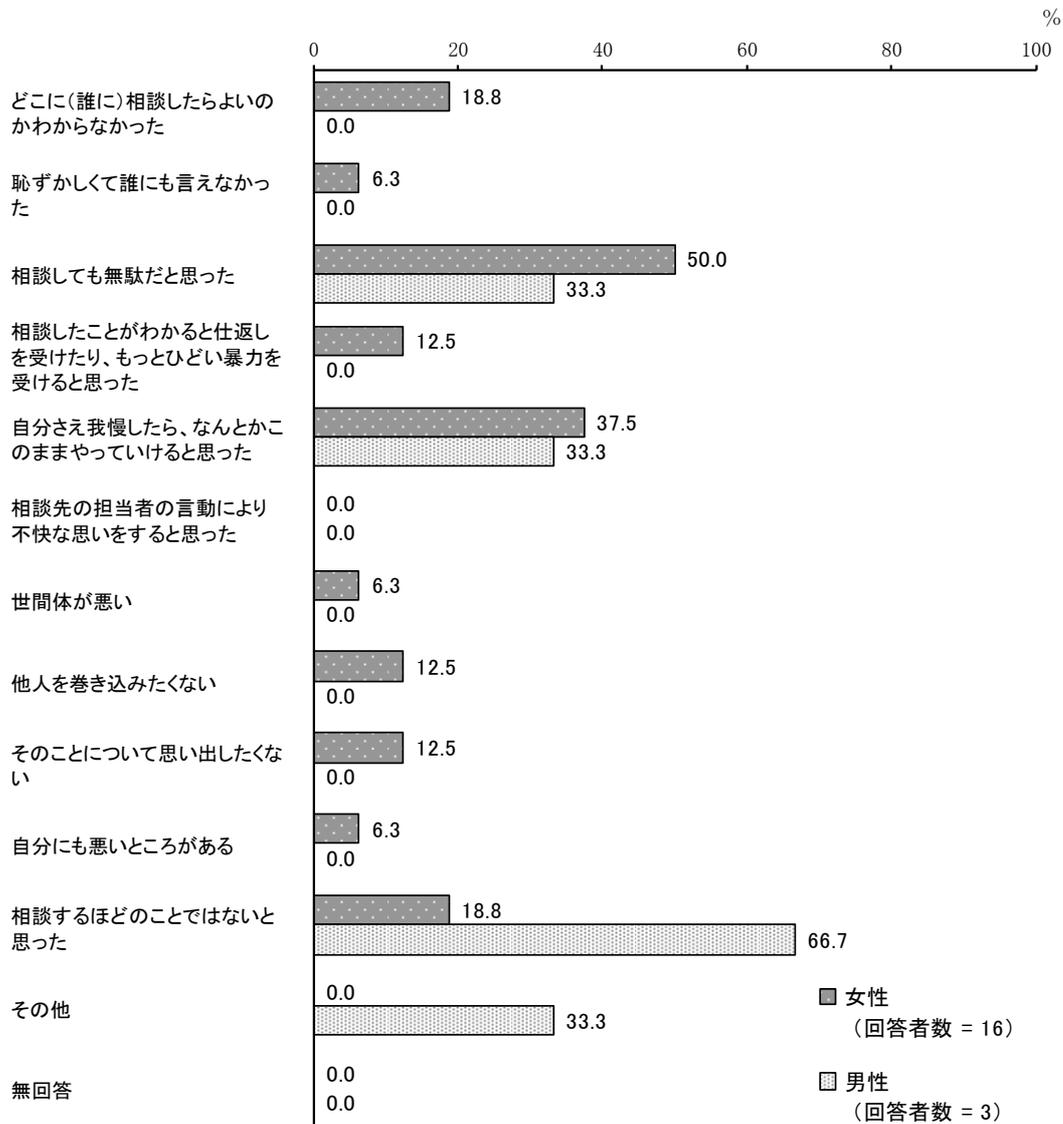
大阪府と比較すると、「相談しても無駄だと思った」「相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った」「自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った」の割合が高くなっています。一方、「恥ずかしくて誰にも言えなかった」「自分にも悪いところがある」「相談するほどのことではないと思った」の割合が低くなっています。



問 54-3 問 54-2で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【性別】

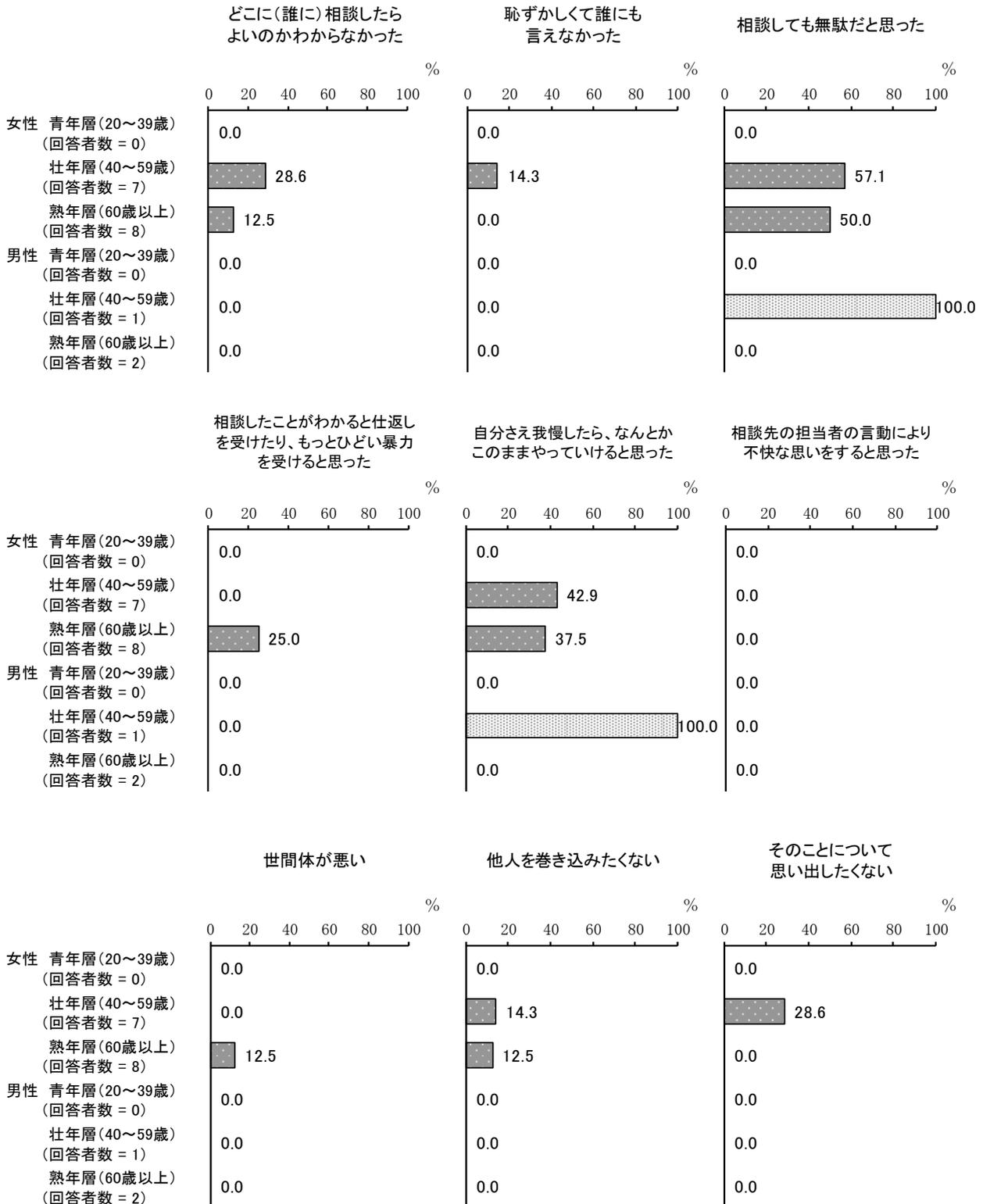
有効回答数が少ないため（女性回答数=16人、男性回答数=3人）傾向は確認できませんが、女性では「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った」に、男性では「相談するほどのことではないと思った」に回答がいくつかあります。

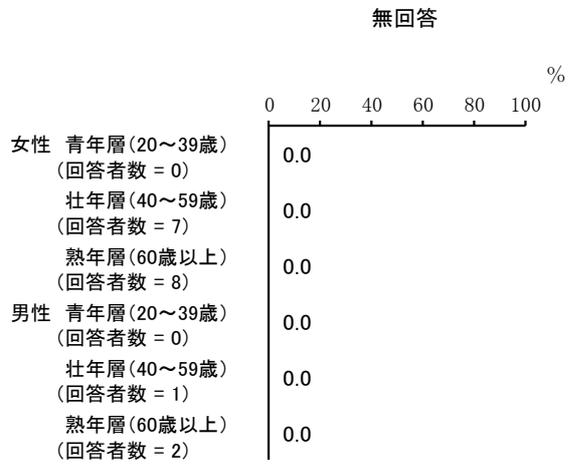
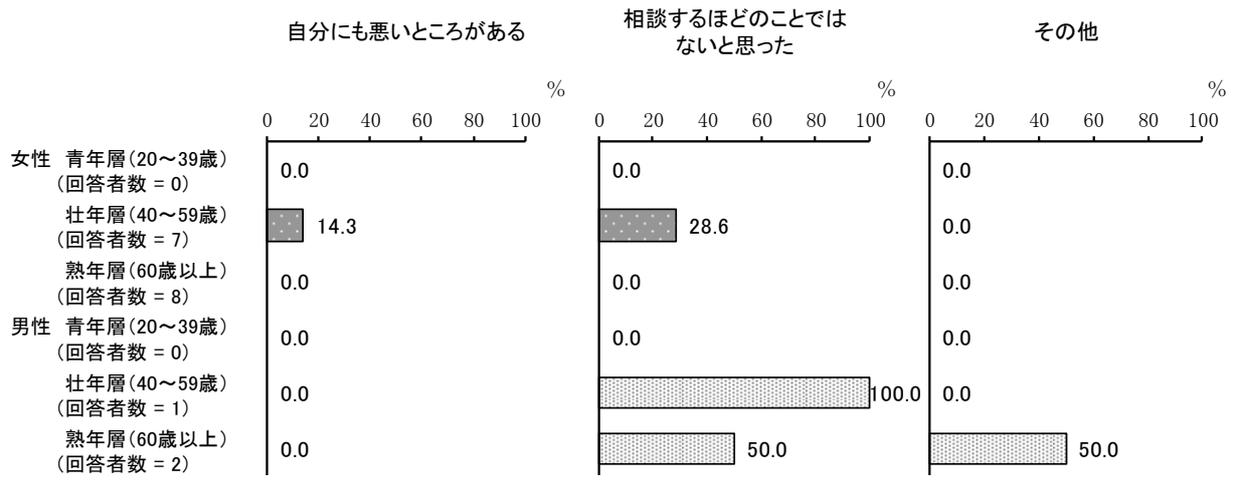


問 54-3 問 54-2で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

有効回答数が少ないため、(回答者数=18人)、傾向の確認はできませんが、「相談しても無駄だと思った」「自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った」「相談するほどのことではないと思った」に回答がいくつかあります。

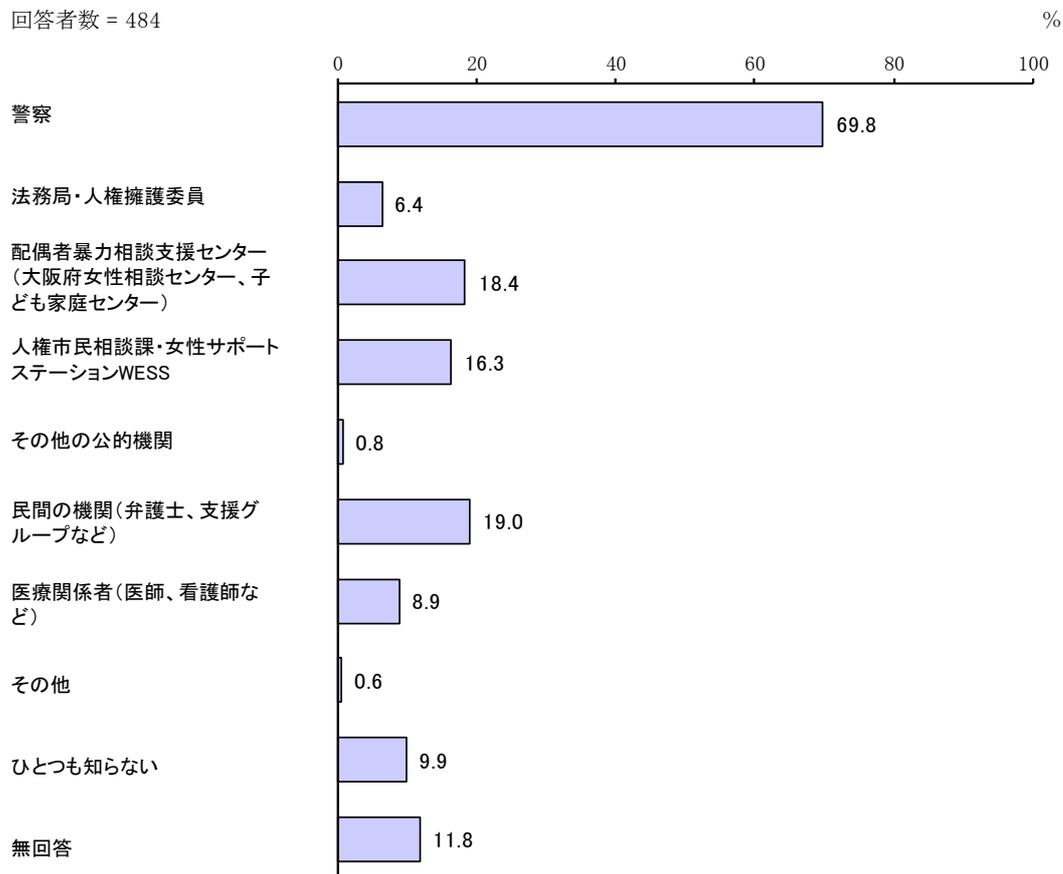




問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人など親しい人からの暴力）について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

「警察」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「民間の機関（弁護士、支援グループなど）」の割合が 19.0%、「配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター）」の割合が 18.4%となっています。

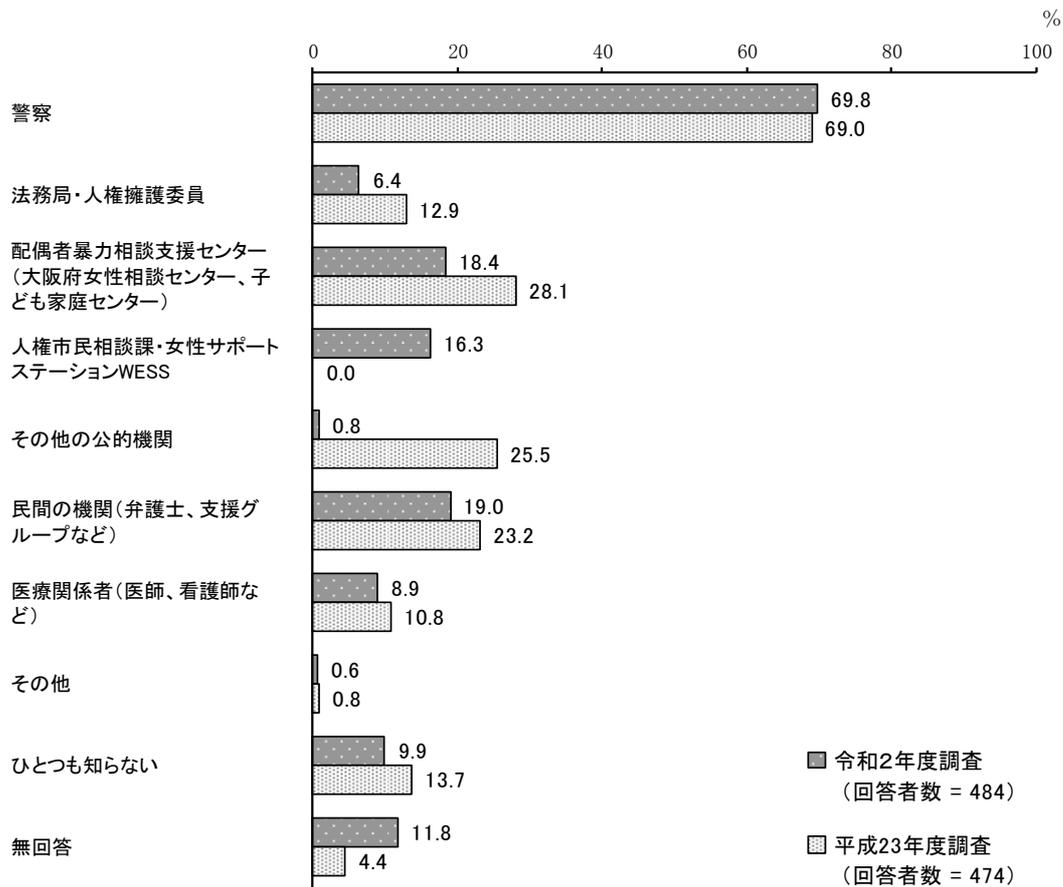
回答者数 = 484



問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人など親しい人からの暴力）について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

【平成 23 年度調査との比較】

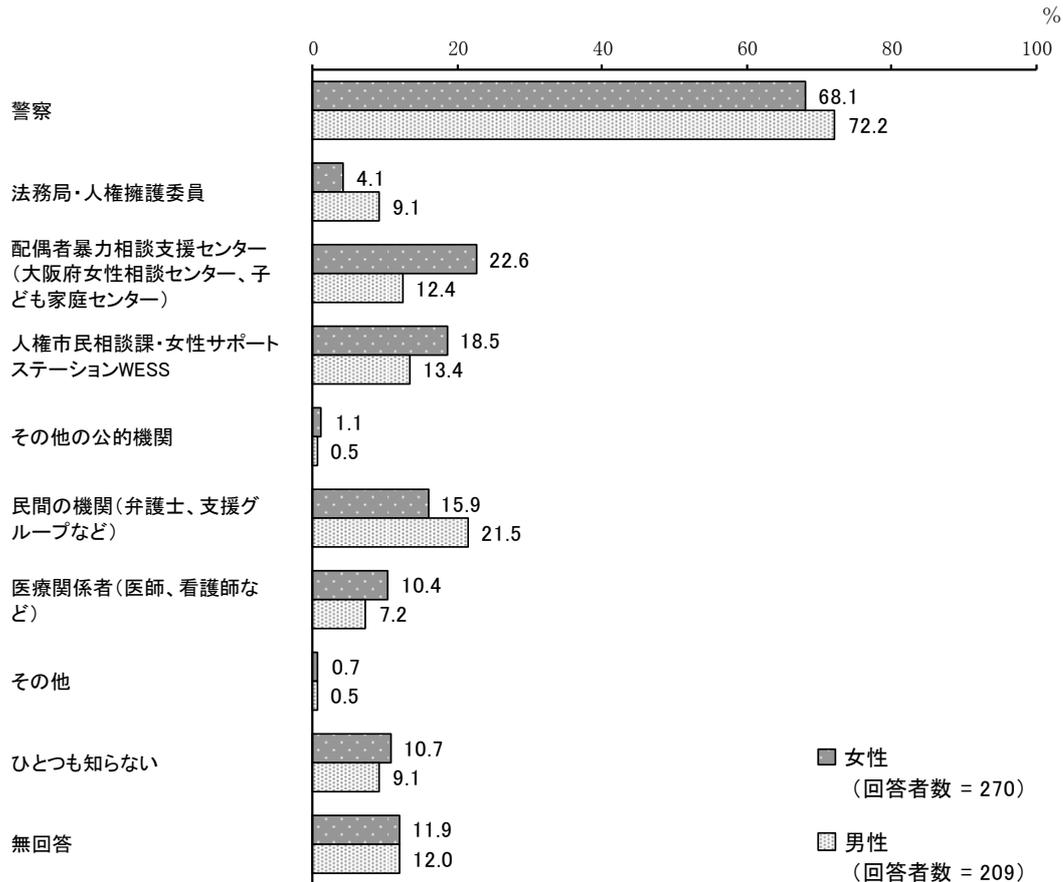
平成 23 年度調査と比較すると、「人権市民相談課・女性サポートステーション WESS」の割合が高くなっています。一方、「法務局・人権擁護委員」「配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター）」「その他の公的機関」の割合が低くなっています。



問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人など親しい人からの暴力）について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

【性別】

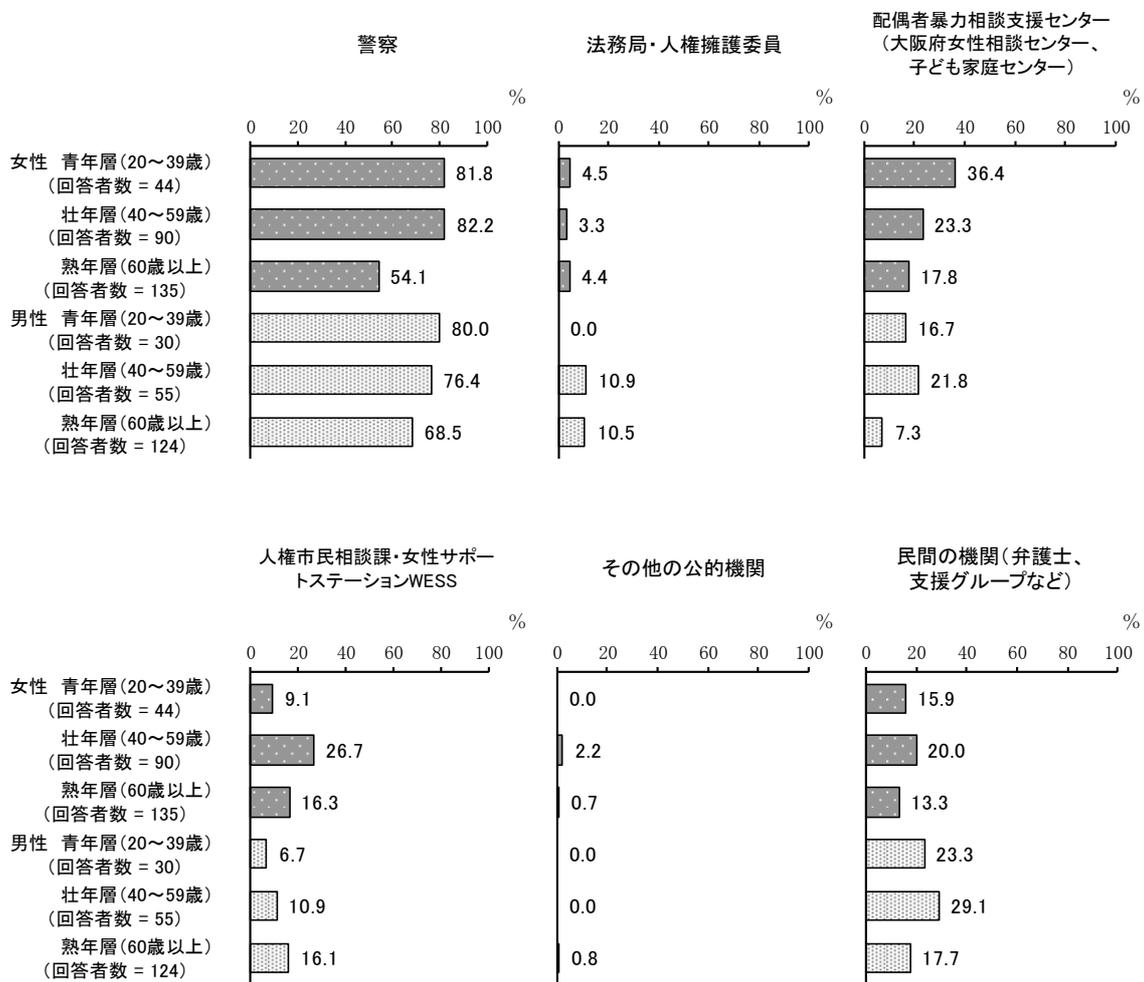
性別で見ると、男性に比べ、女性で「配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター）」「人権市民相談課・女性サポートステーションWESS」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「民間の機関（弁護士、支援グループなど）」の割合が高くなっています。

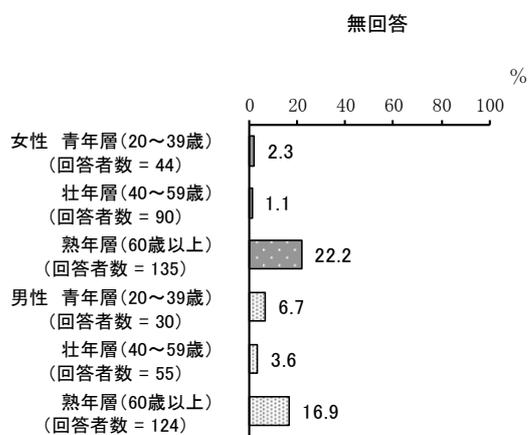
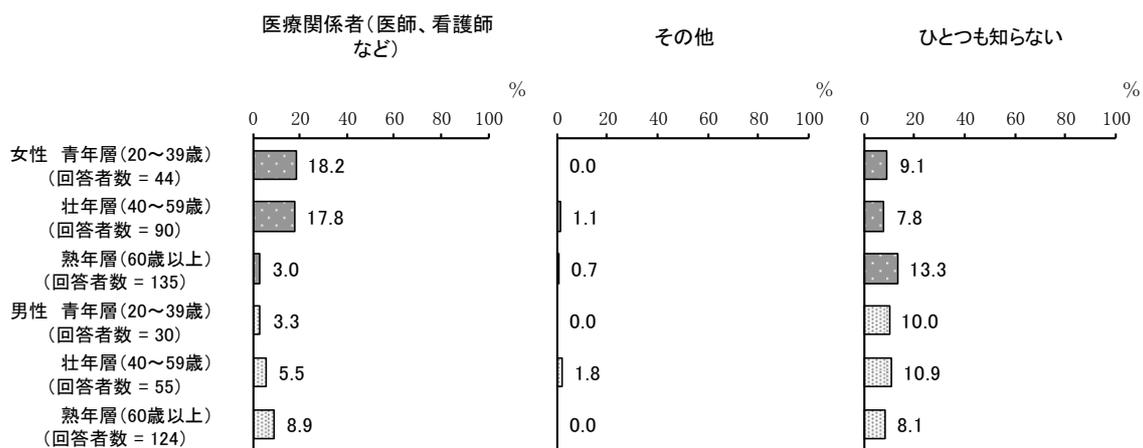


問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人など親しい人からの暴力）について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、男女ともにすべての年齢層で「警察」の割合が最も高くなっています。

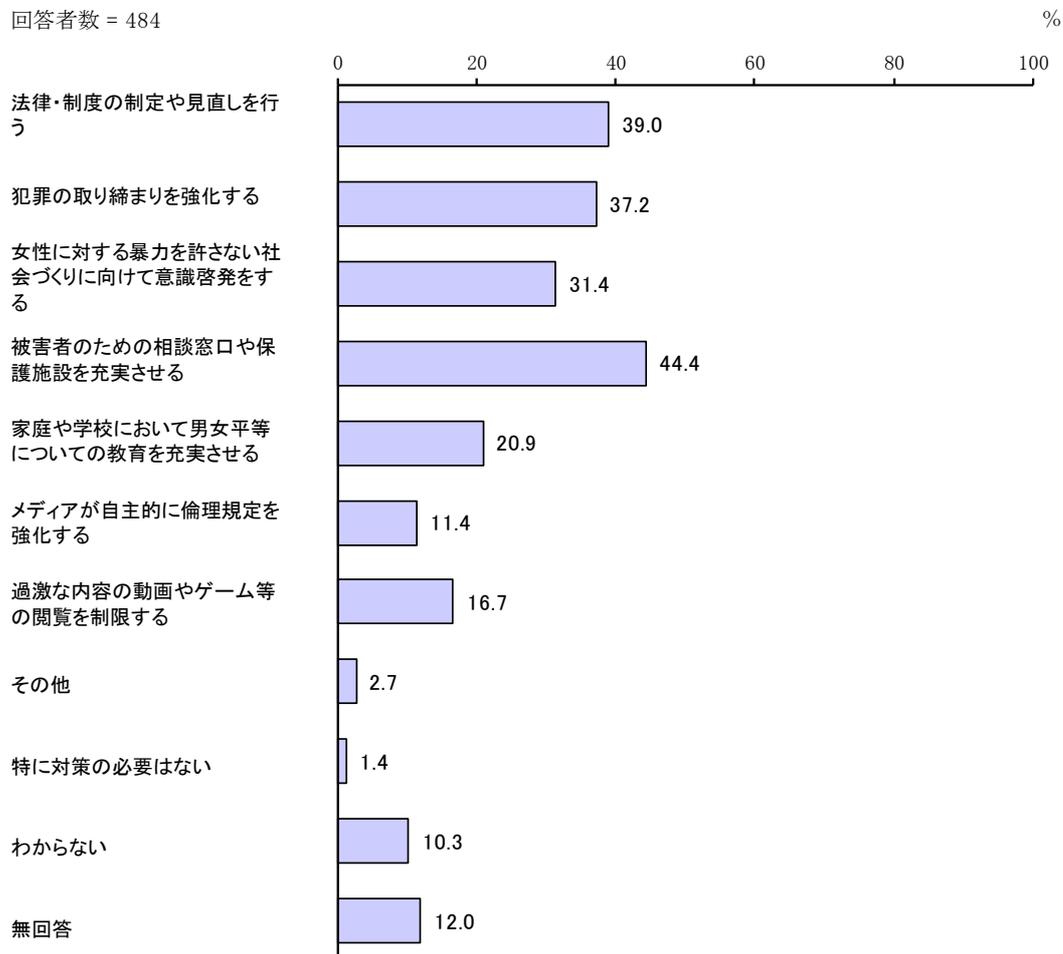




問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が 39.0%、「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が 37.2%となっています。

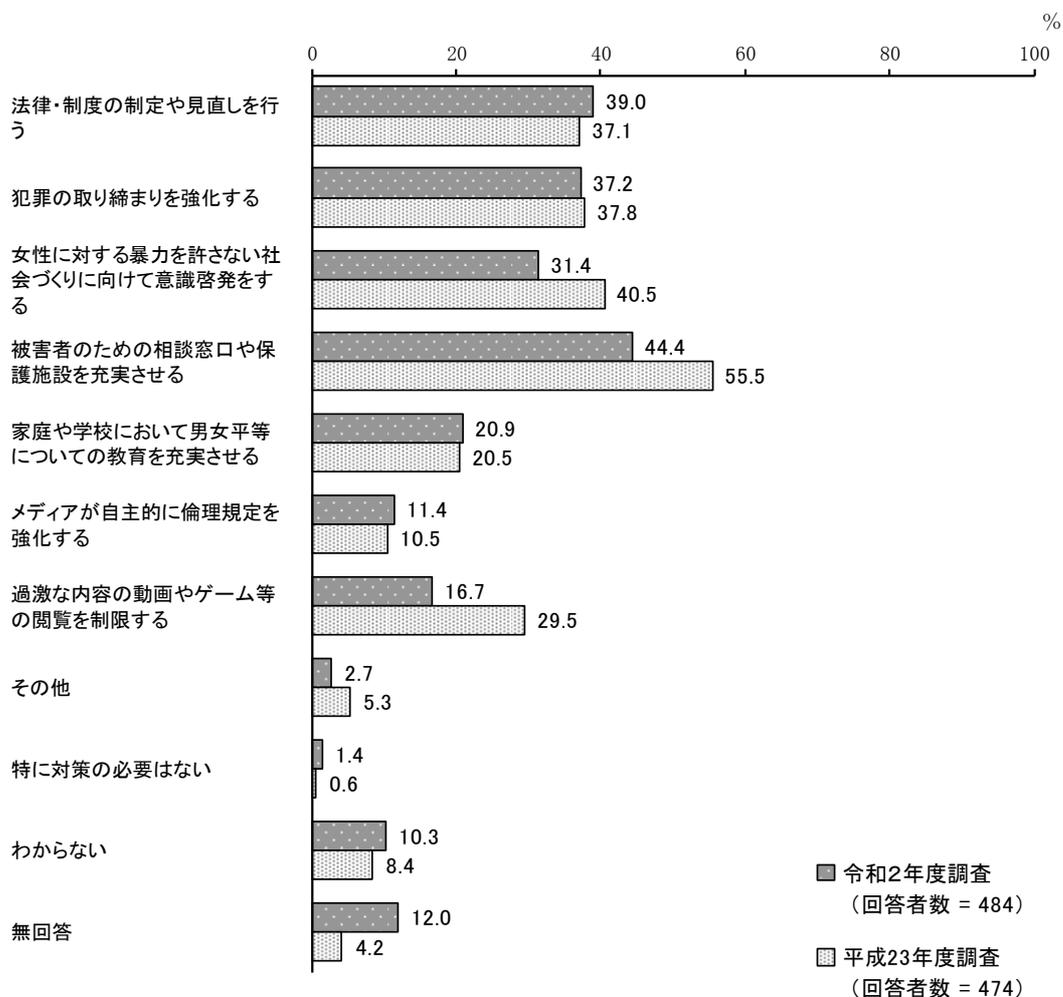
回答者数 = 484



問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

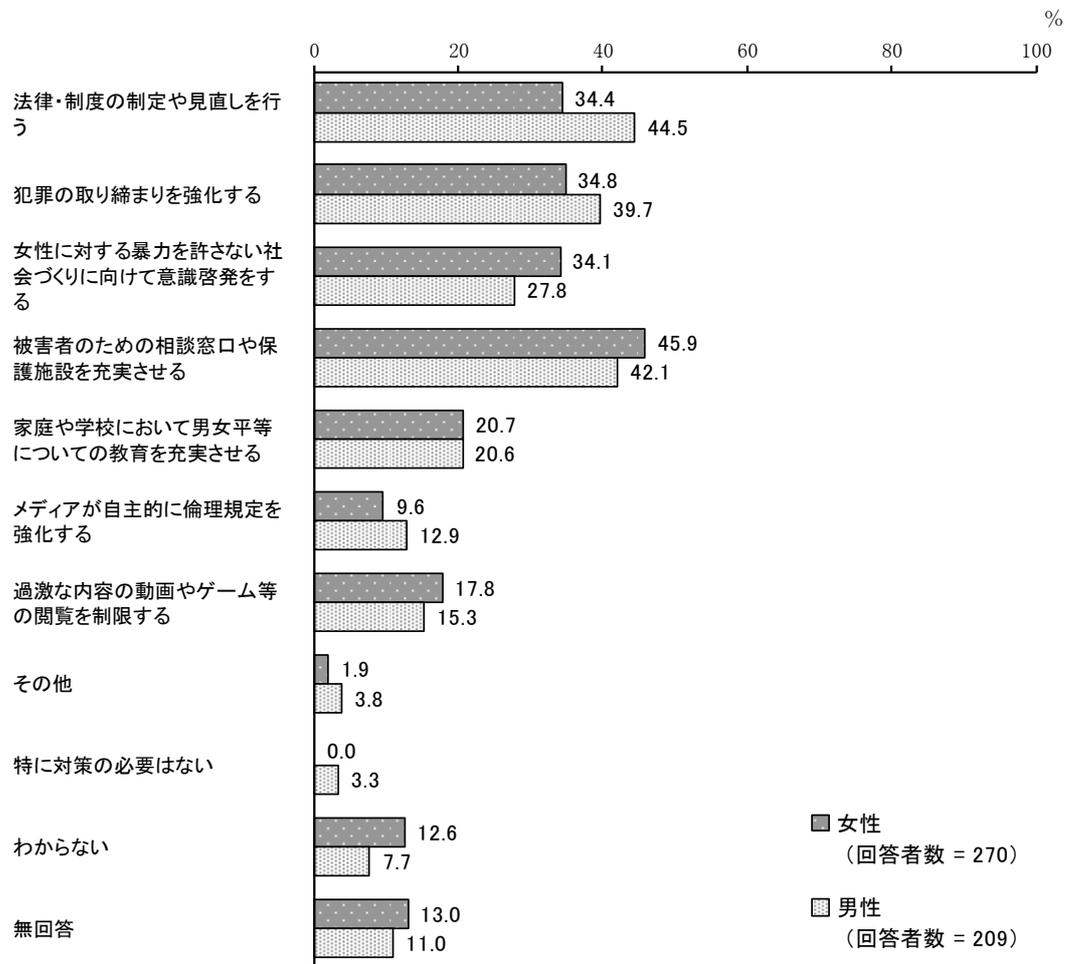
平成 23 年度調査と比較すると、「女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする」「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」「過激な内容の動画やゲーム等の閲覧を制限する」の割合が低くなっています。



問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【性別】

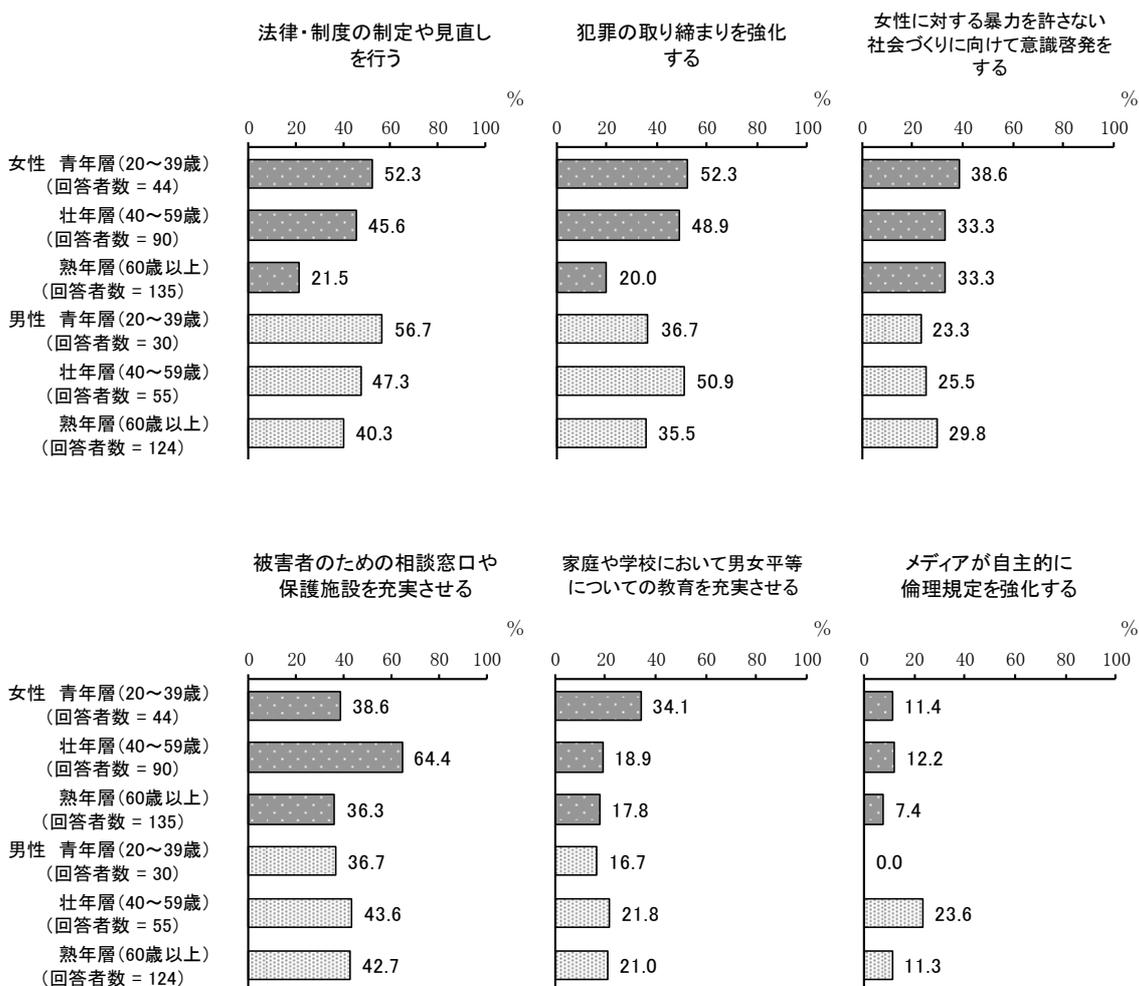
性別で見ると、男性に比べ、女性で「女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が高くなっています。

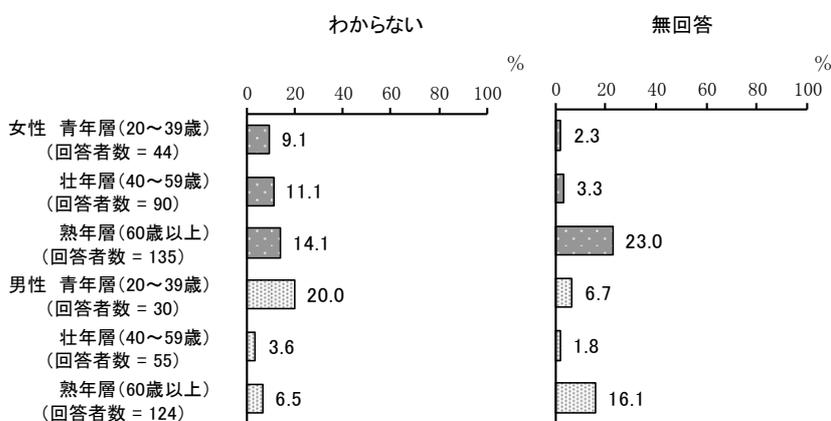
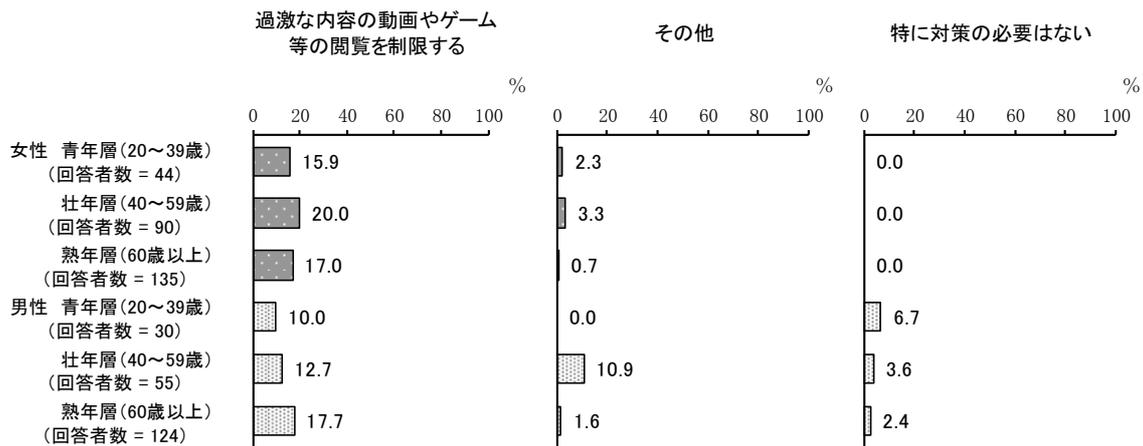


問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が高くなっています。また、女性の青年層、男性の壮年層で「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が、女性の壮年層で「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」の割合が高くなっています。

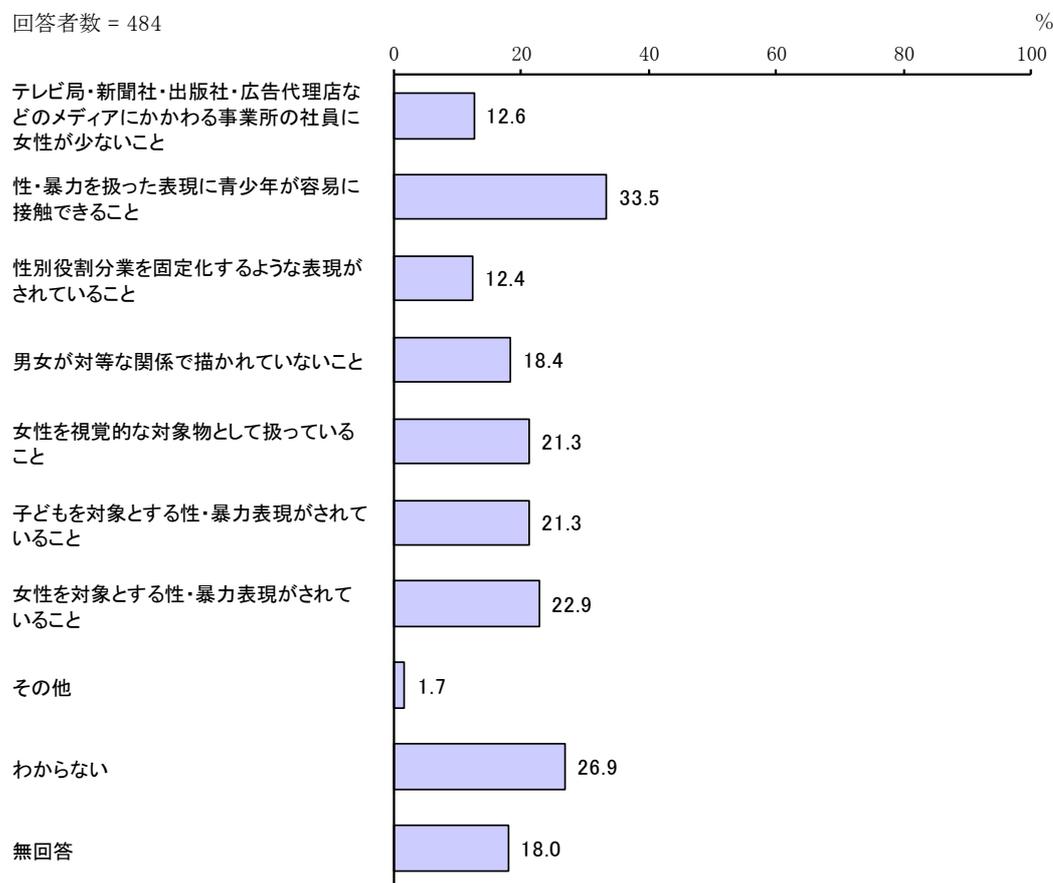




問 57 メディア（テレビ・新聞・雑誌・インターネットなど）における人権尊重において、問題だと考えられるのはどの点ですか。（〇はいくつでも）

「性・暴力を扱った表現に青少年が容易に接触できること」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.9%、「女性を対象とする性・暴力表現がされていること」の割合が 22.9%となっています。

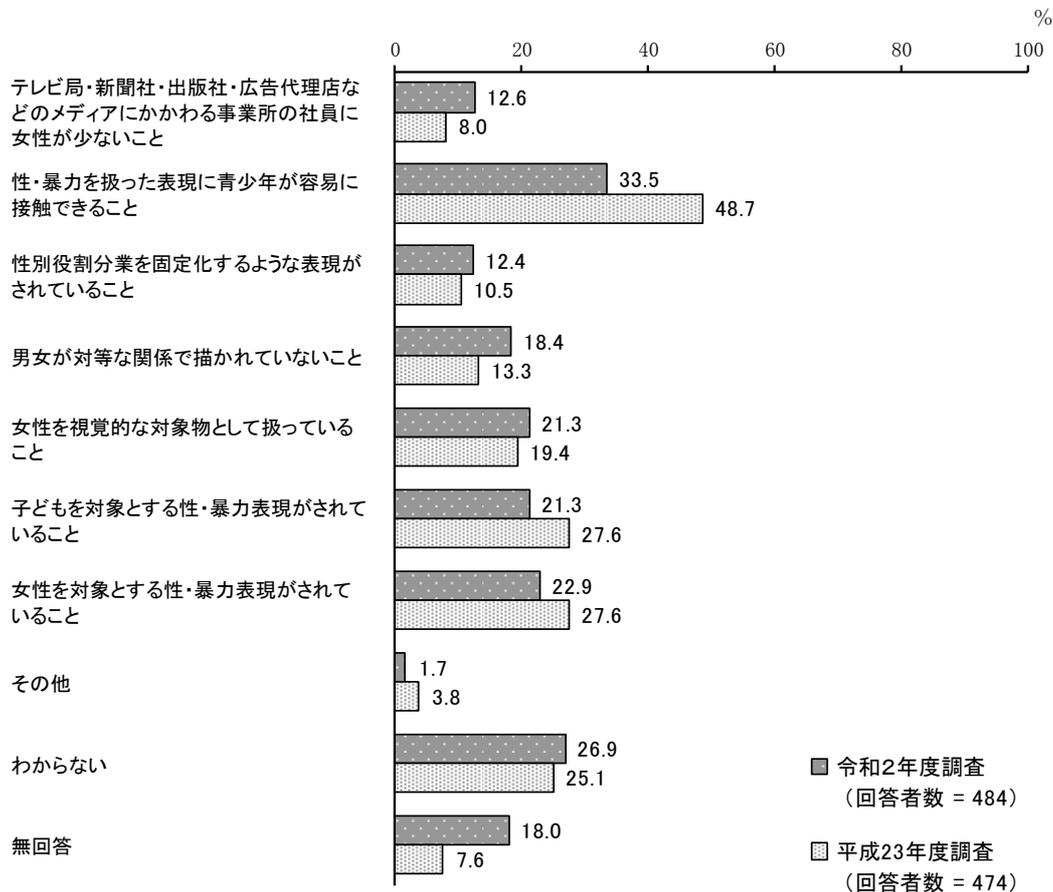
回答者数 = 484



問 57 メディア（テレビ・新聞・雑誌・インターネットなど）における人権尊重において、問題だと考えられるのはどの点ですか。（〇はいくつでも）

【平成 23 年度調査との比較】

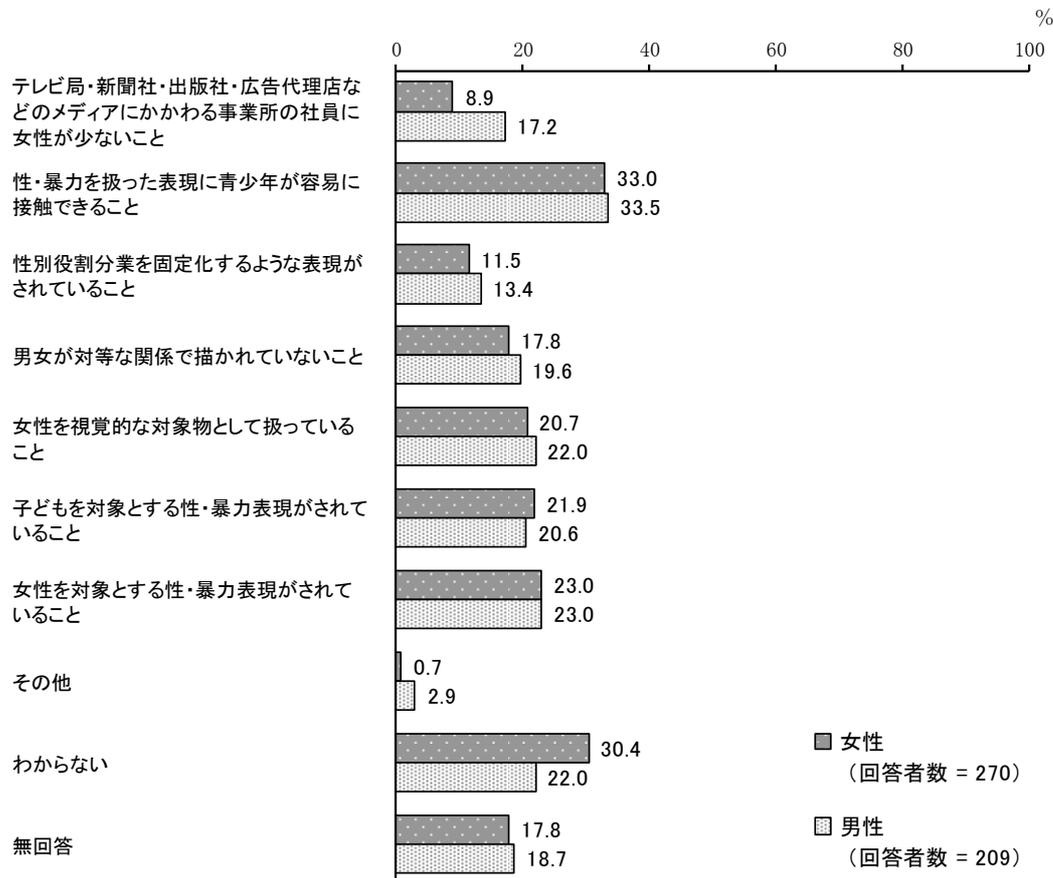
平成 23 年度調査と比較すると、「男女が対等な関係で描かれていないこと」の割合が高くなっています。一方、「性・暴力を扱った表現に青少年が容易に接触できること」「子どもを対象とする性・暴力表現がされていること」の割合が低くなっています。



問 57 メディア（テレビ・新聞・雑誌・インターネットなど）における人権尊重において、問題だと考えられるのはどの点ですか。（〇はいくつでも）

【性別】

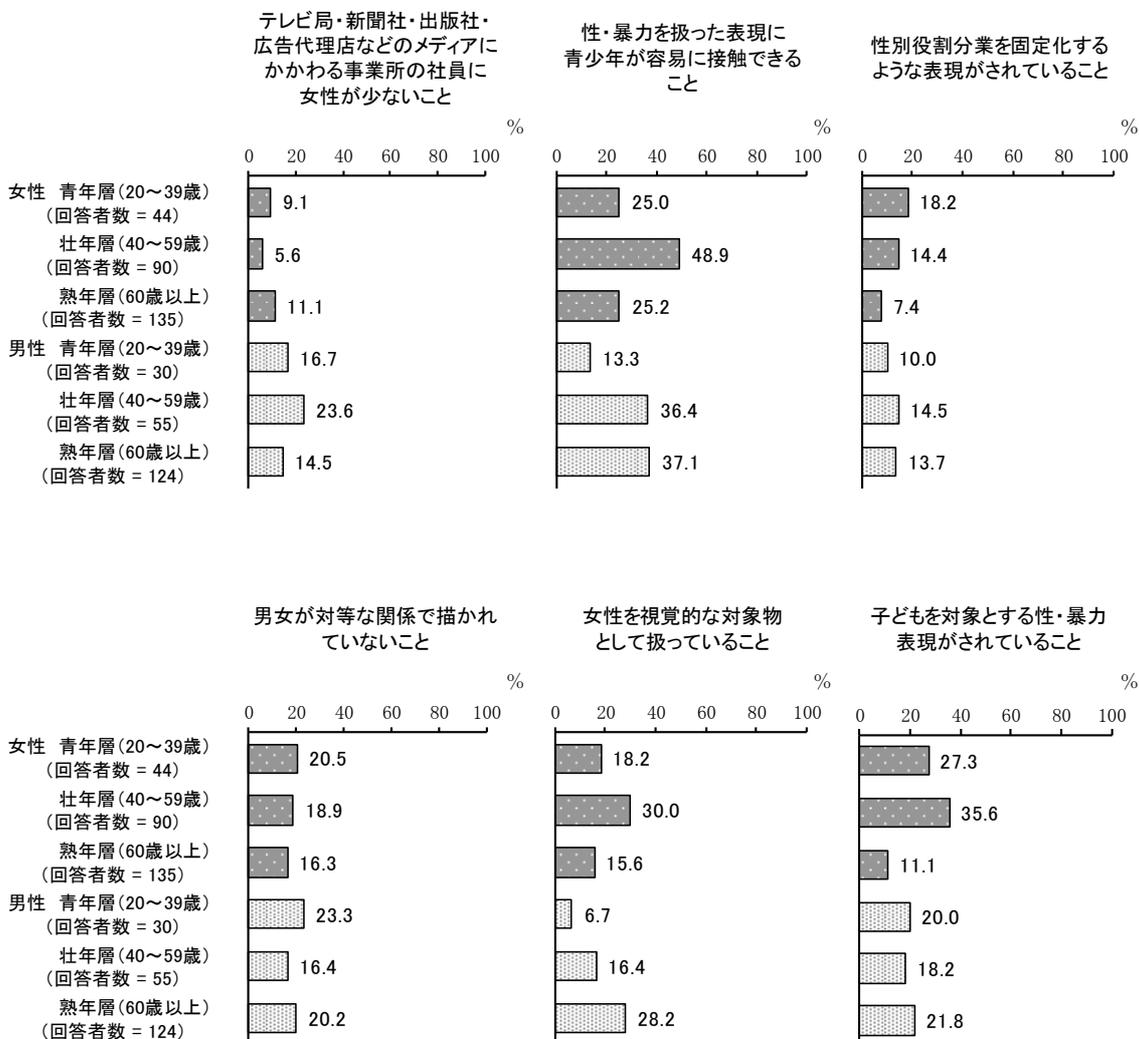
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「テレビ局・新聞社・出版社・広告代理店などのメディアにかかわる事業所の社員に女性が少ないこと」の割合が高くなっています。

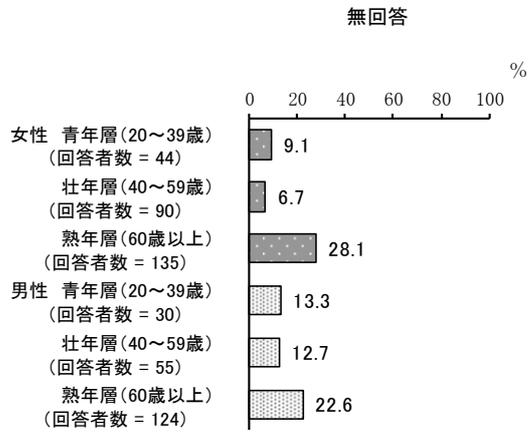
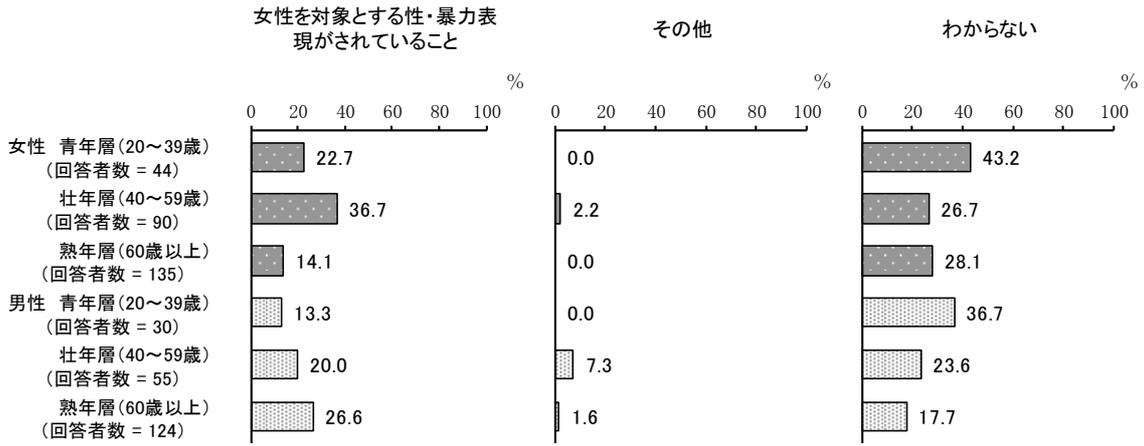


問 57 メディア（テレビ・新聞・雑誌・インターネットなど）における人権尊重において、問題だと考えられるのはどの点ですか。（〇はいくつでも）

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層、熟年層で「性・暴力を扱った表現に青少年が容易に接触できること」の割合が高くなっています。





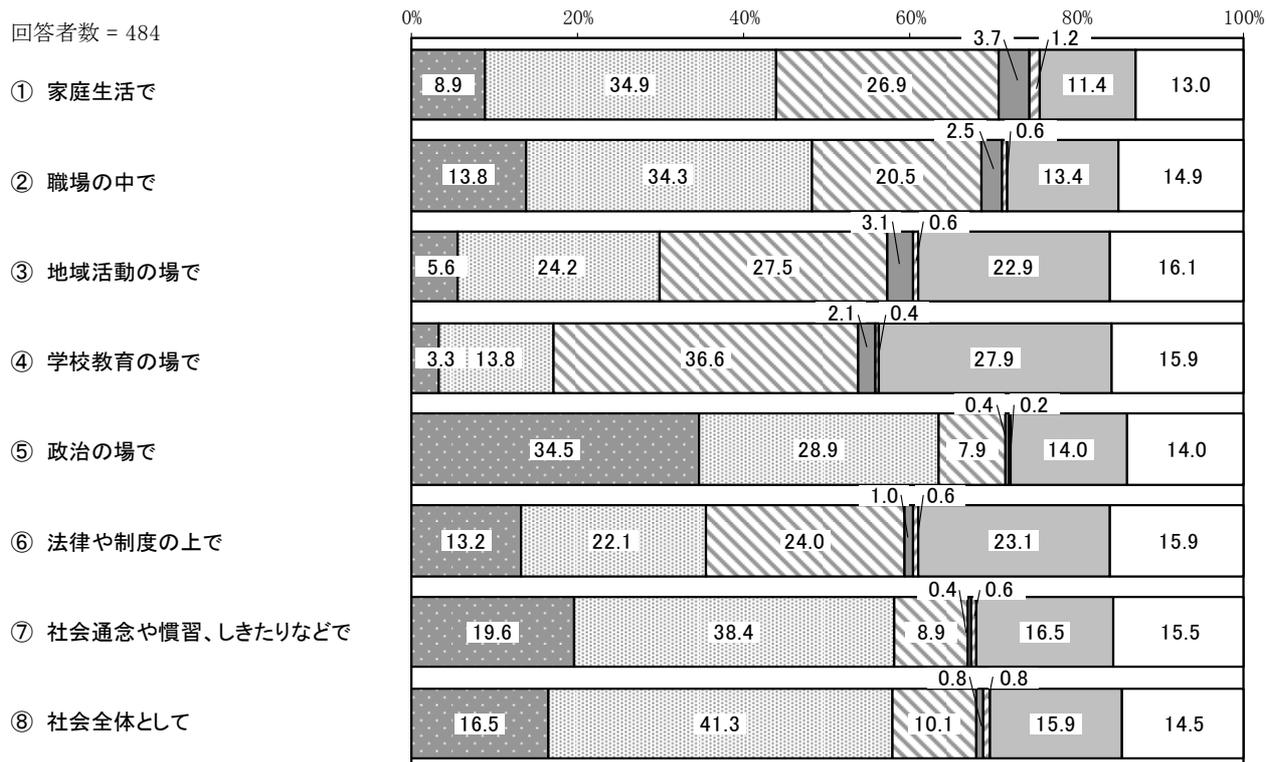
(5) 男女共同参画社会について

問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

『⑤ 政治の場で』で「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」をあわせた“男性優遇”の割合が高くなっています。

- 男性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

回答者数 = 484



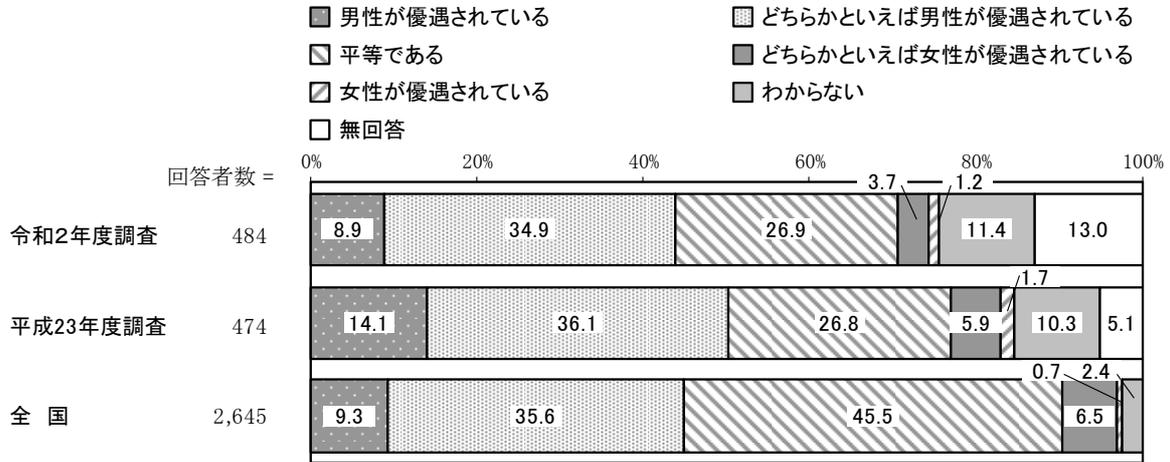
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

① 家庭生活で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“男性優遇”の割合が低くなっています。

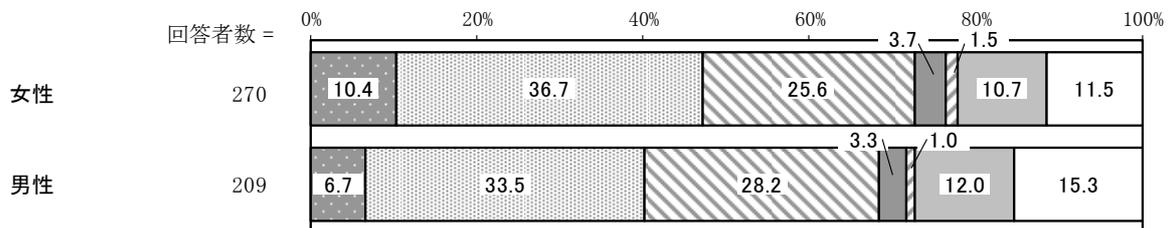
全国と比較すると、「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

【性別】

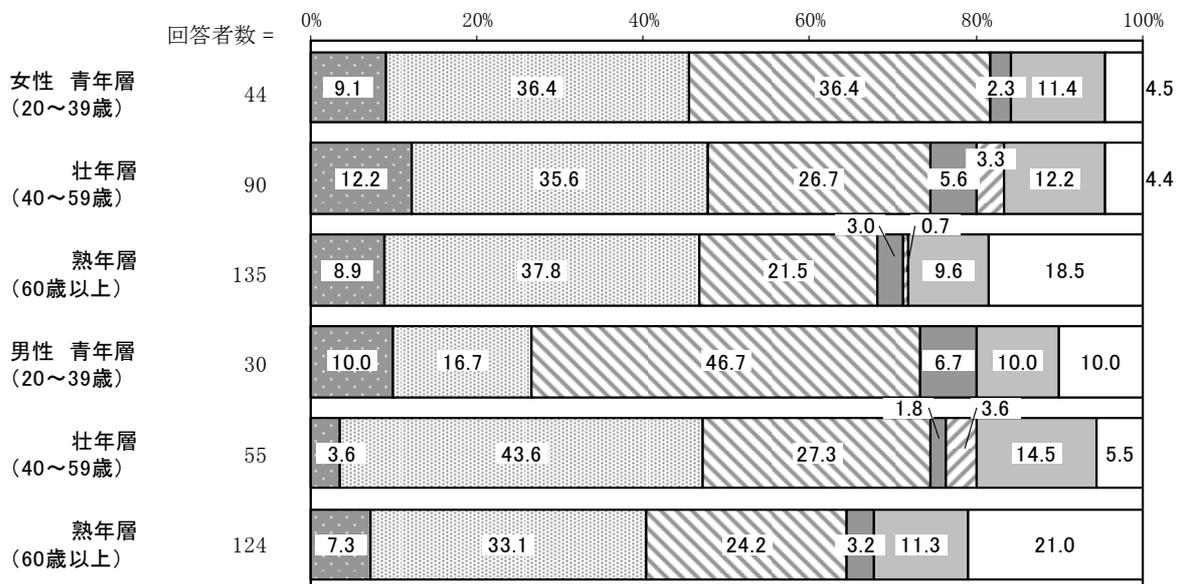
性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、男性の壮年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。

また、女性、男性ともに青年層で「平等である」の割合が高くなっています。



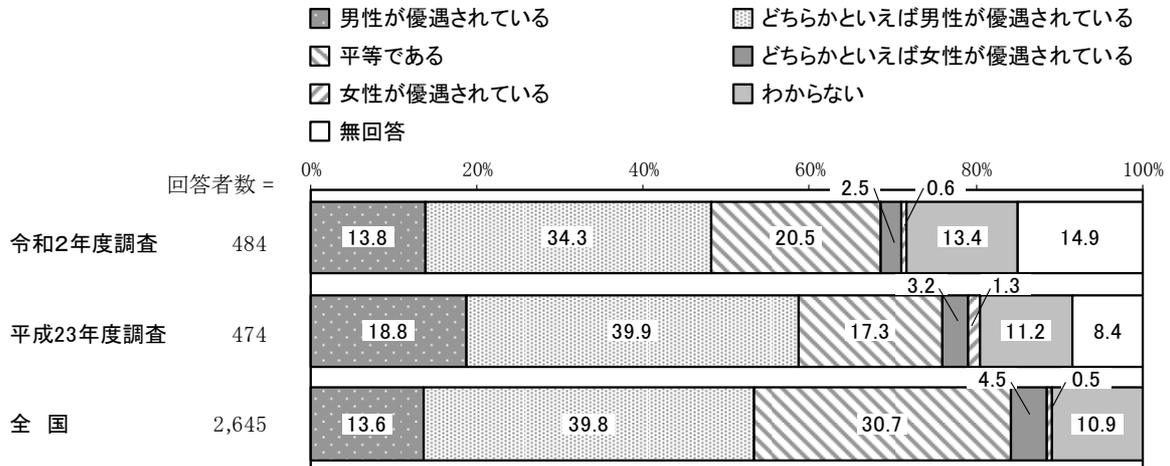
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

② 職場の中で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“男性優遇”の割合が低くなっています。

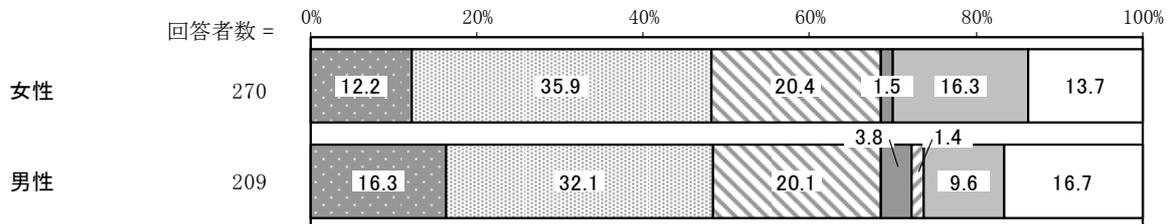
全国と比較すると、“男性優遇”「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

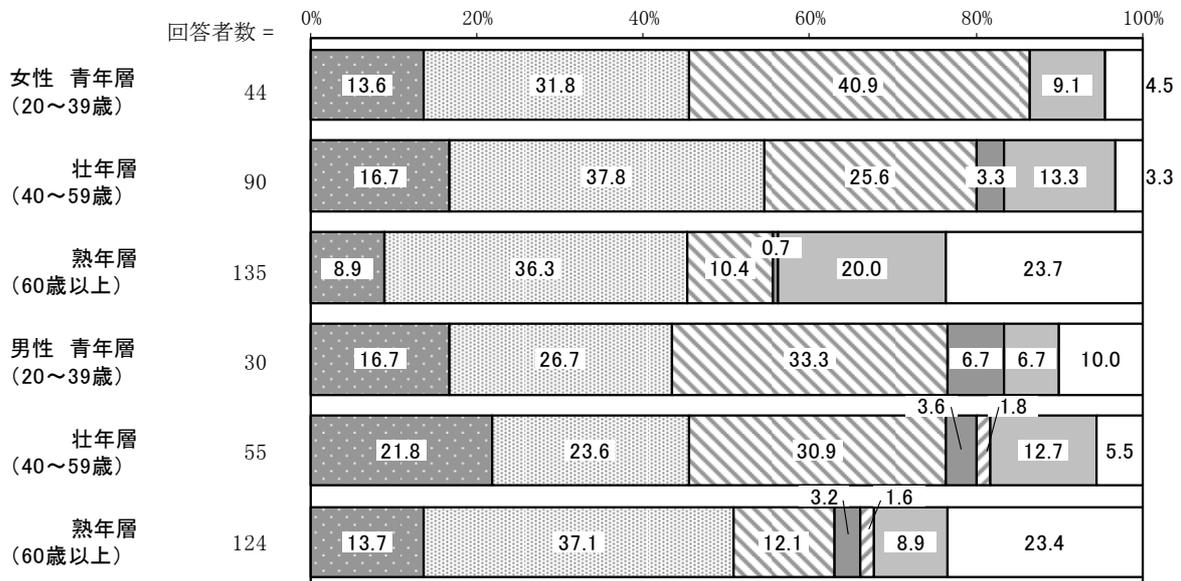
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の熟年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。



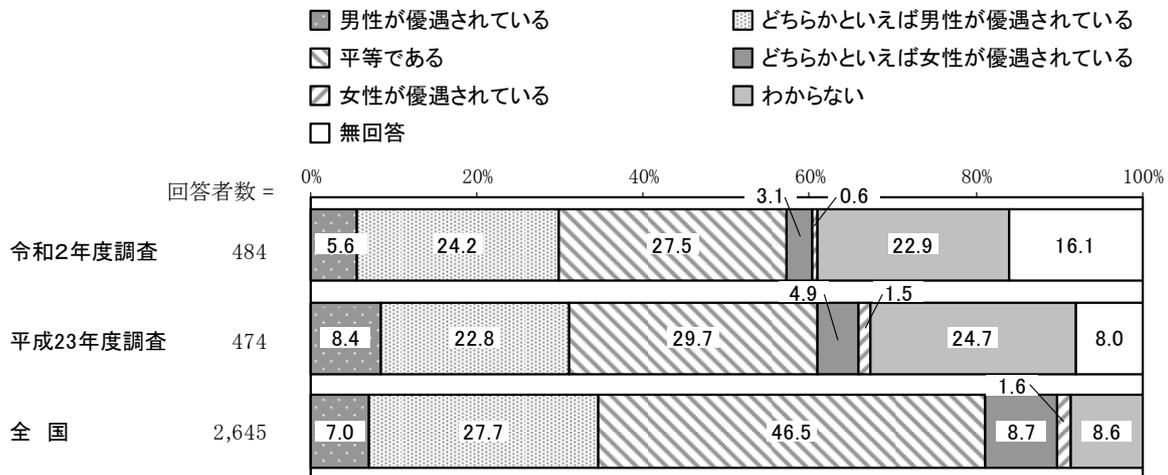
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

③ 地域活動の場で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

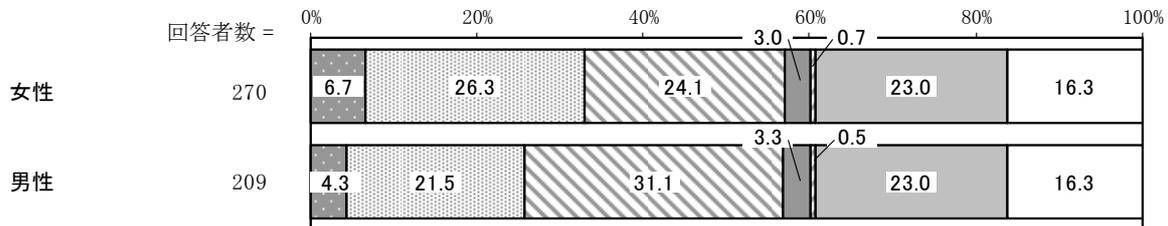
全国と比較すると、「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

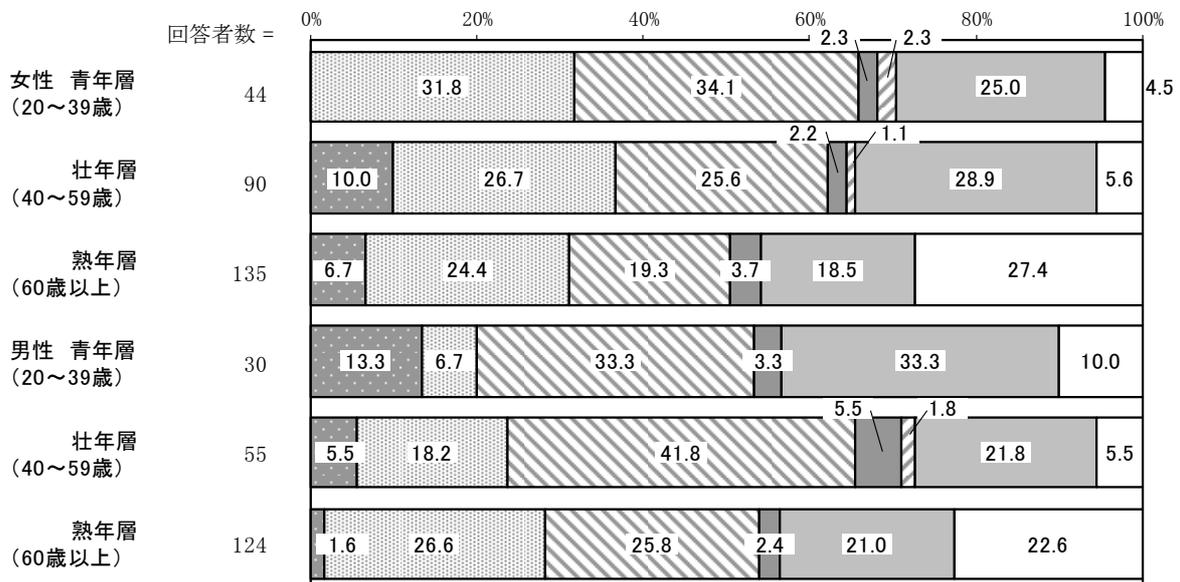
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の熟年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。また、男性の壮年層で「平等である」の割合が高くなっています。



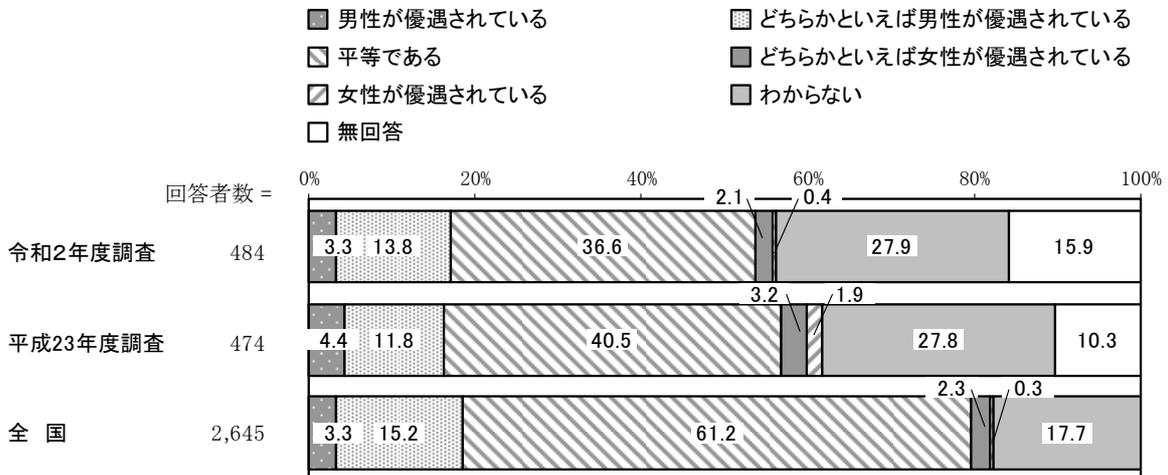
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

④ 学校教育の場で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

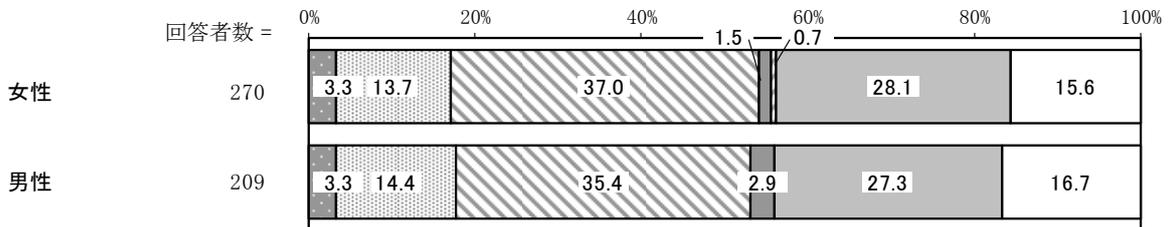
全国と比較すると、「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

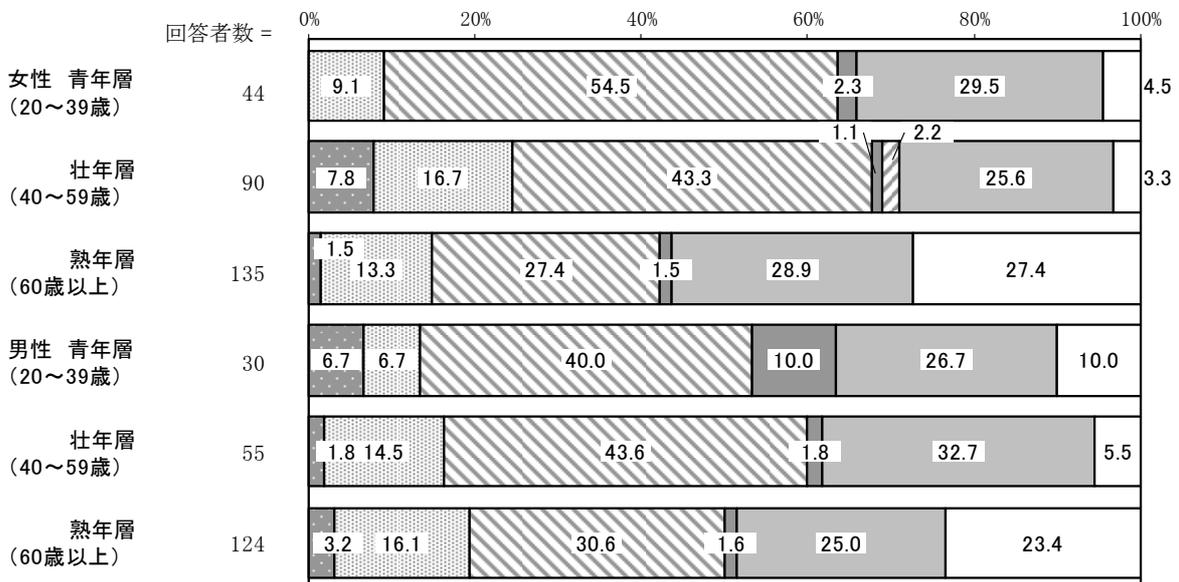
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、男性の青年層、壮年層で「平等である」の割合が高くなっています。



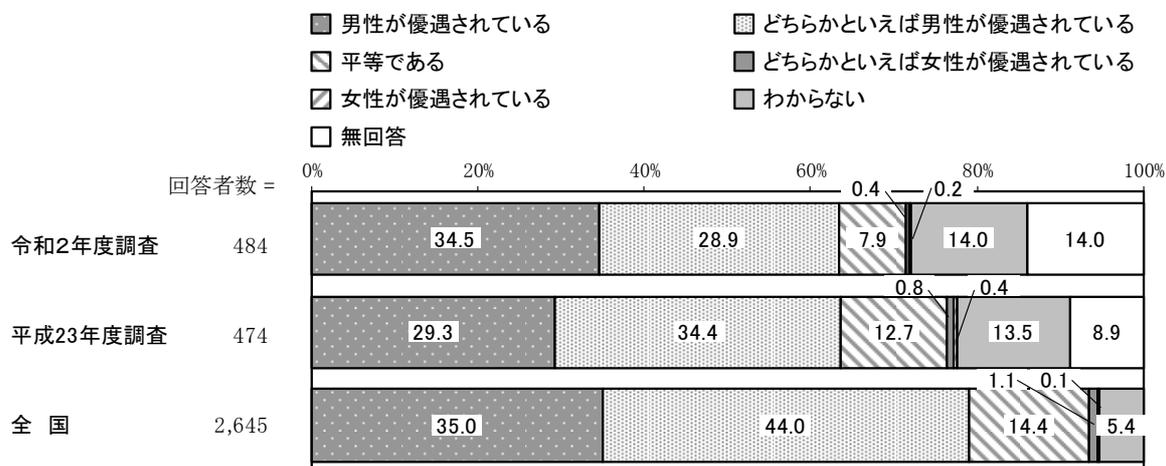
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

⑤ 政治の場で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

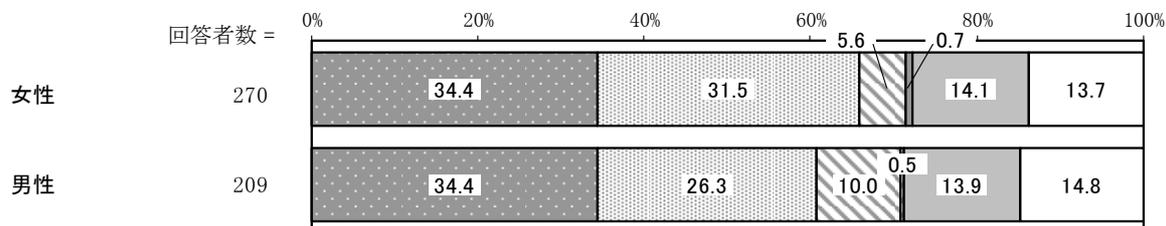
全国と比較すると、“男性優遇”「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

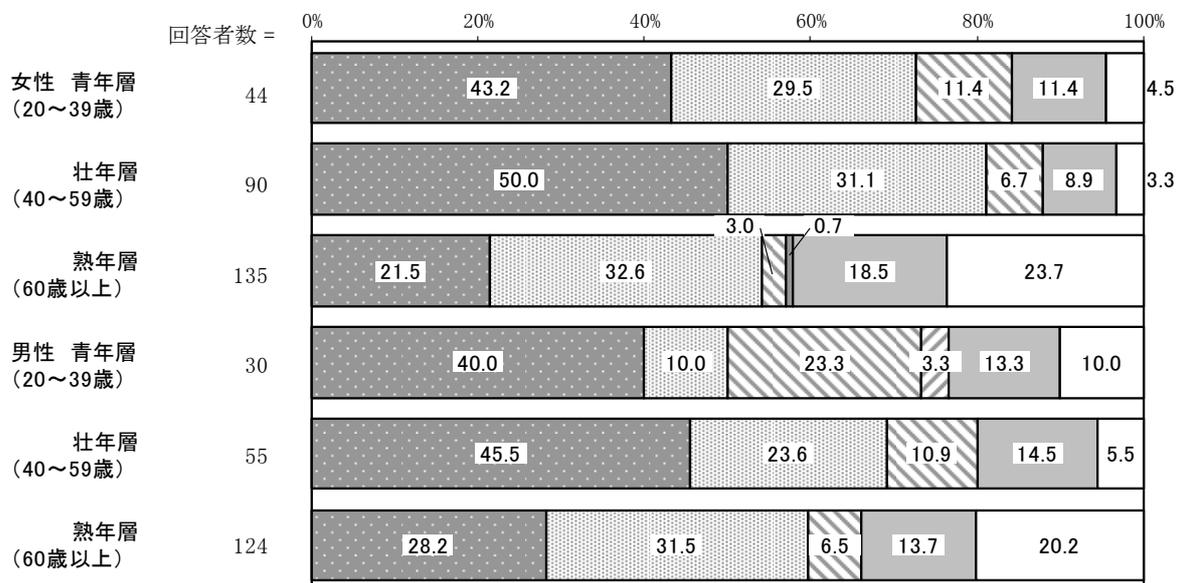
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。



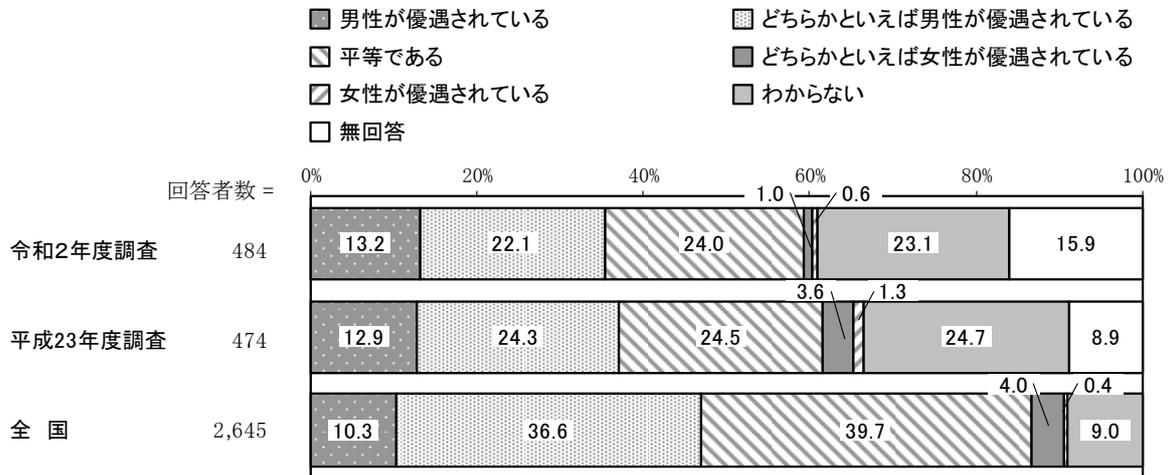
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

⑥ 法律や制度の上で

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

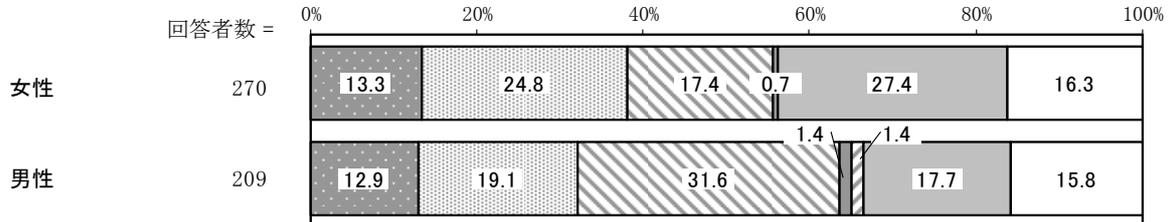
全国と比較すると、“男性優遇”「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

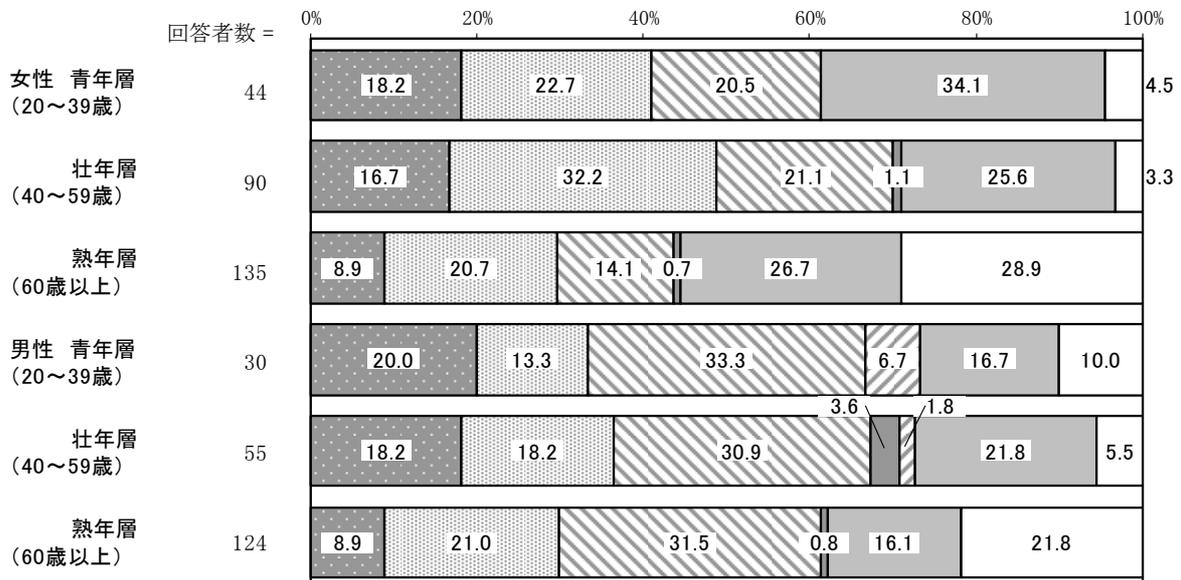
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらかといえば男性が優遇されている」「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の青年層、壮年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。



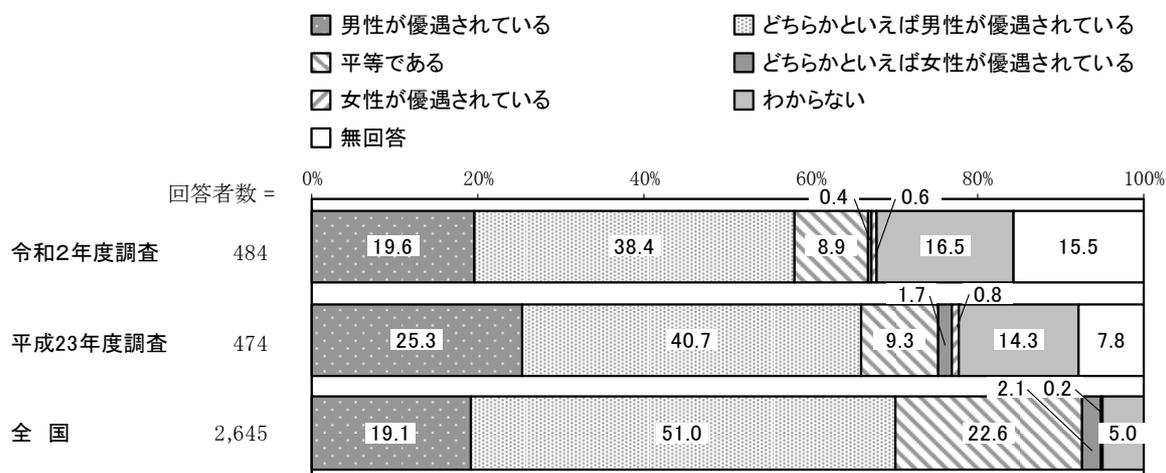
問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

⑦ 社会通念や慣習、しきたりなどで

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、“男性優遇”の割合が低くなっています。

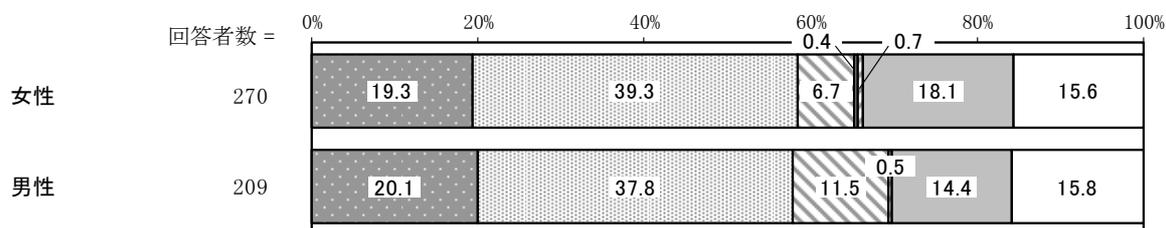
全国と比較すると、“男性優遇”「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

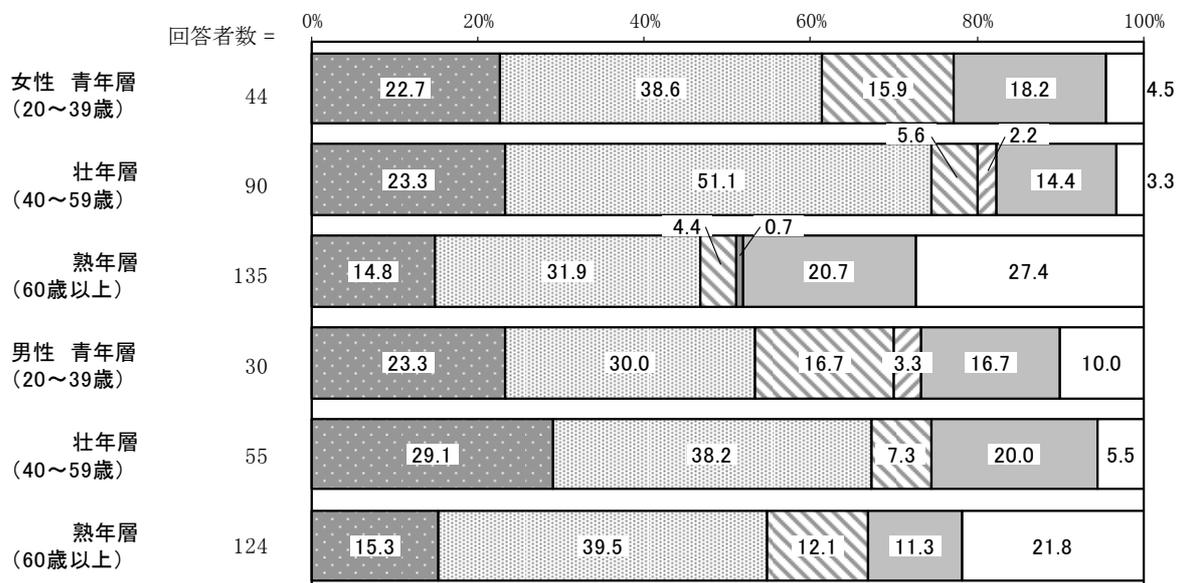
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。

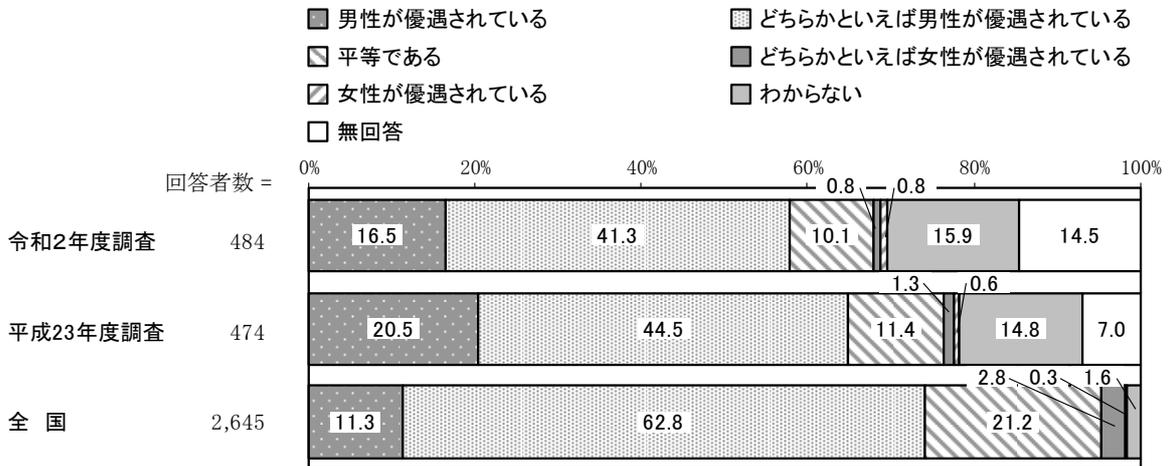


問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

⑧ 社会全体として

【平成 23 年度調査・全国調査との比較】

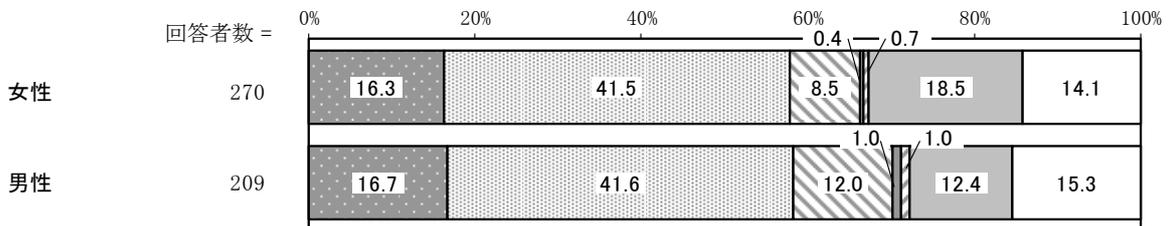
平成 23 年度調査と比較すると、“男性優遇”の割合が低くなっています。
 全国と比較すると、“男性優遇”「平等である」の割合が低くなっています。



※全国調査では、「わからない」の選択肢の中に「無回答」を含んでいます。

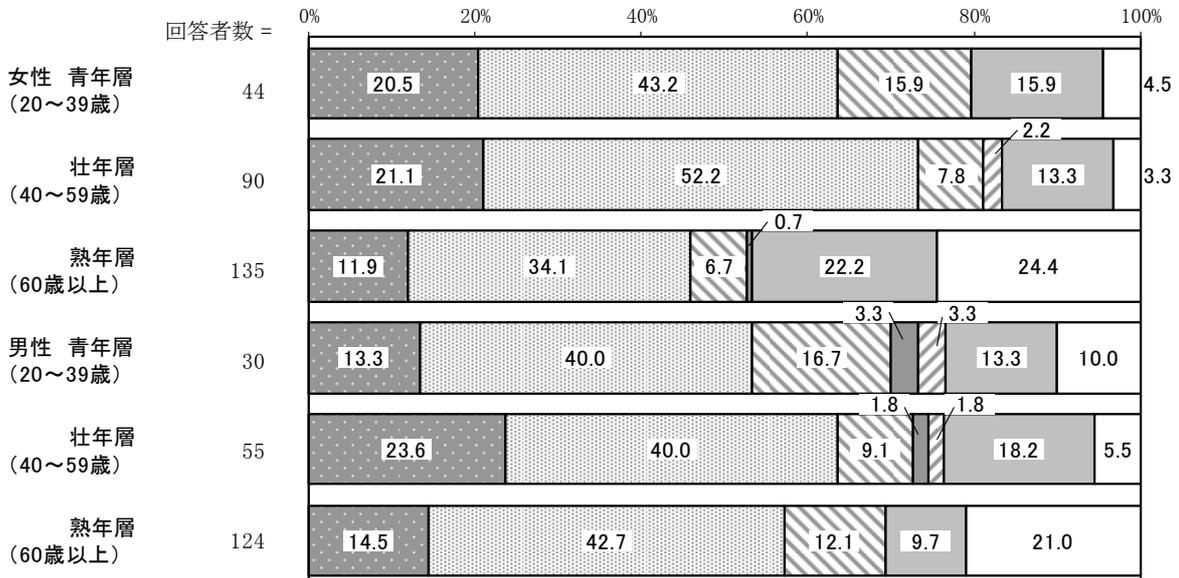
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



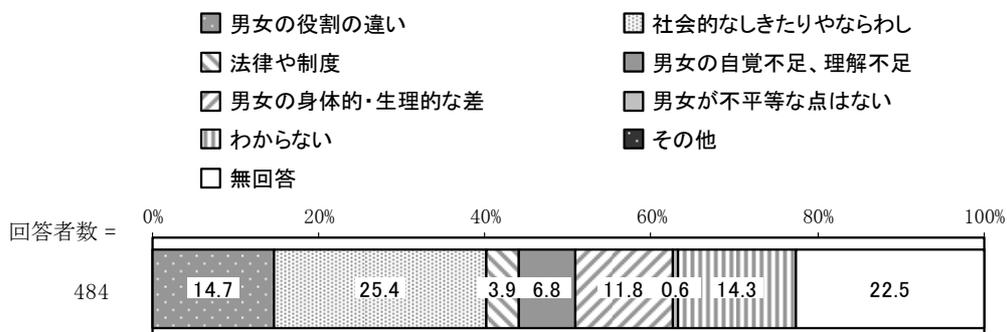
【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに壮年層で“男性優遇”の割合が高くなっています。



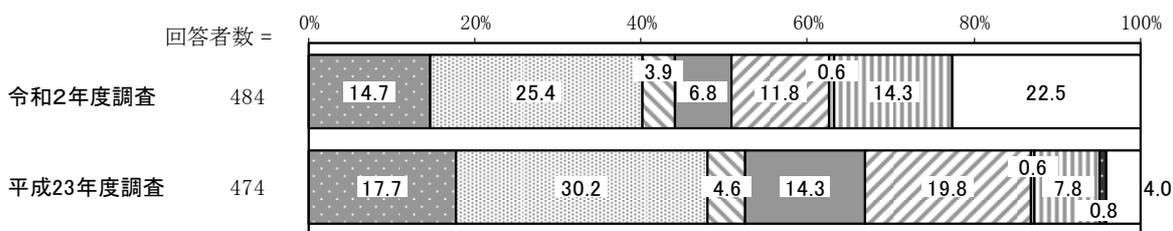
問 59 社会のいろいろな面で男女が不平等な点があるとすれば、その原因はどこにあるとあなたはお考えですか。(〇は1つ)

「社会的なしきたりやならわし」の割合が25.4%と最も高く、次いで「男女の役割の違い」の割合が14.7%、「わからない」の割合が14.3%となっています。



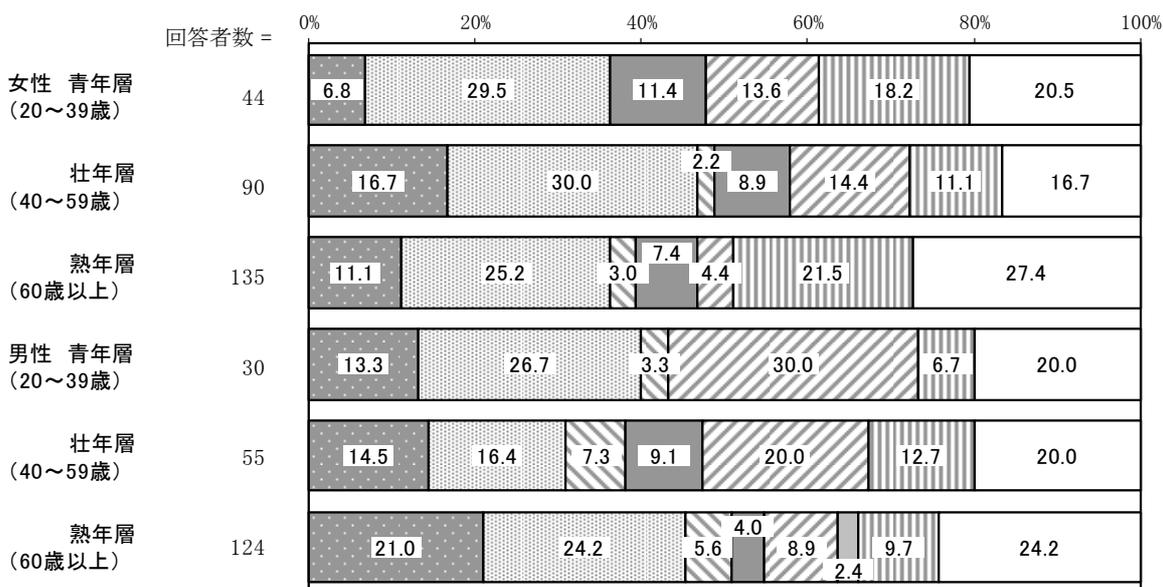
【平成23年度調査との比較】

平成23年度調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「男女の自覚不足、理解不足」「男女の身体的・生理的な差」の割合が低くなっています。



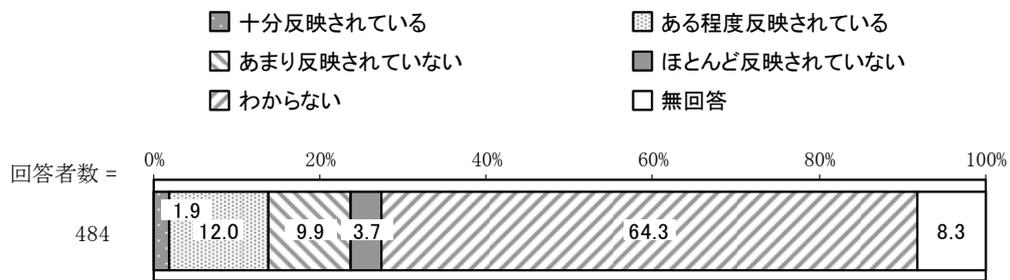
【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層で「社会的なしきたりやならわし」の割合が、男性の青年層で「男女の身体的・生理的な差」の割合が高くなっています。



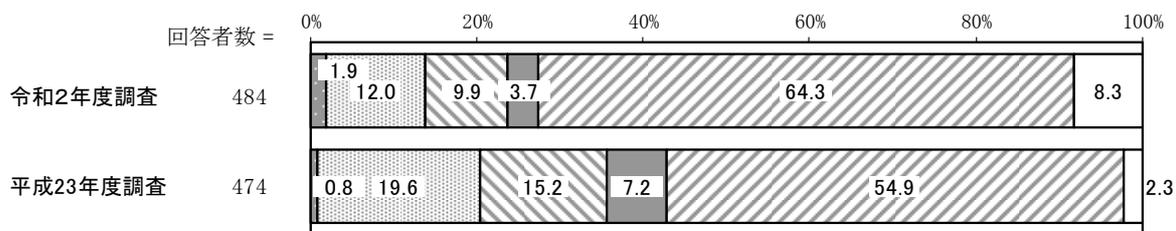
問 60 あなたは、門真市の行政サービスや市の方針に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(〇は1つ)

「十分反映されている」と「ある程度反映されている」をあわせた“反映されている”の割合が13.9%、「あまり反映されていない」と「ほとんど反映されていない」をあわせた“反映されていない”が13.6%、「わからない」の割合が64.3%となっています。



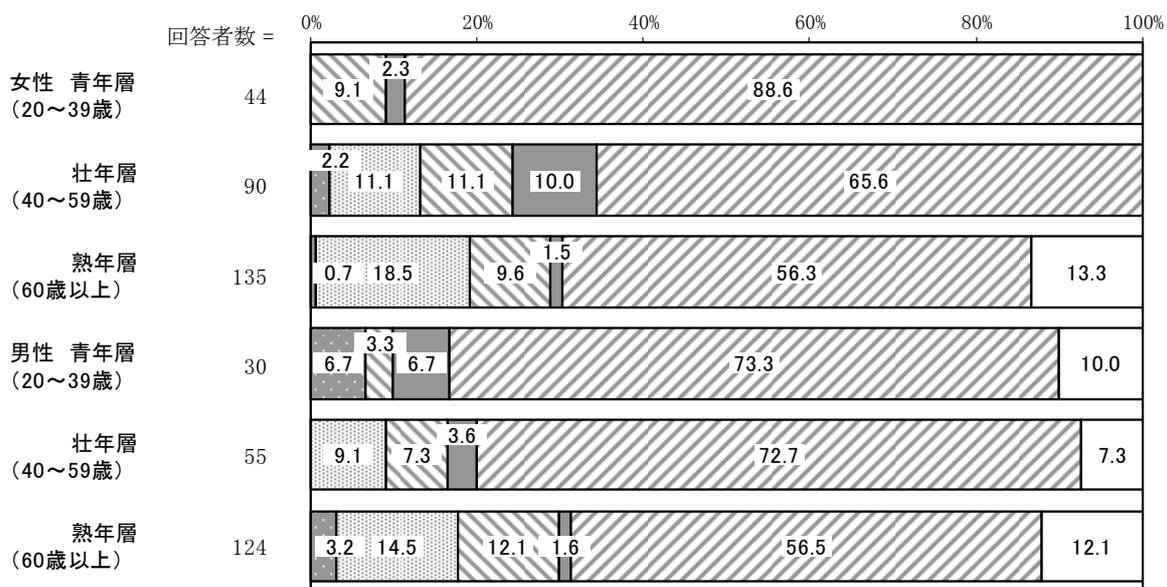
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「ある程度反映されている」「あまり反映されていない」の割合が低くなっています。



【性・年齢層別】

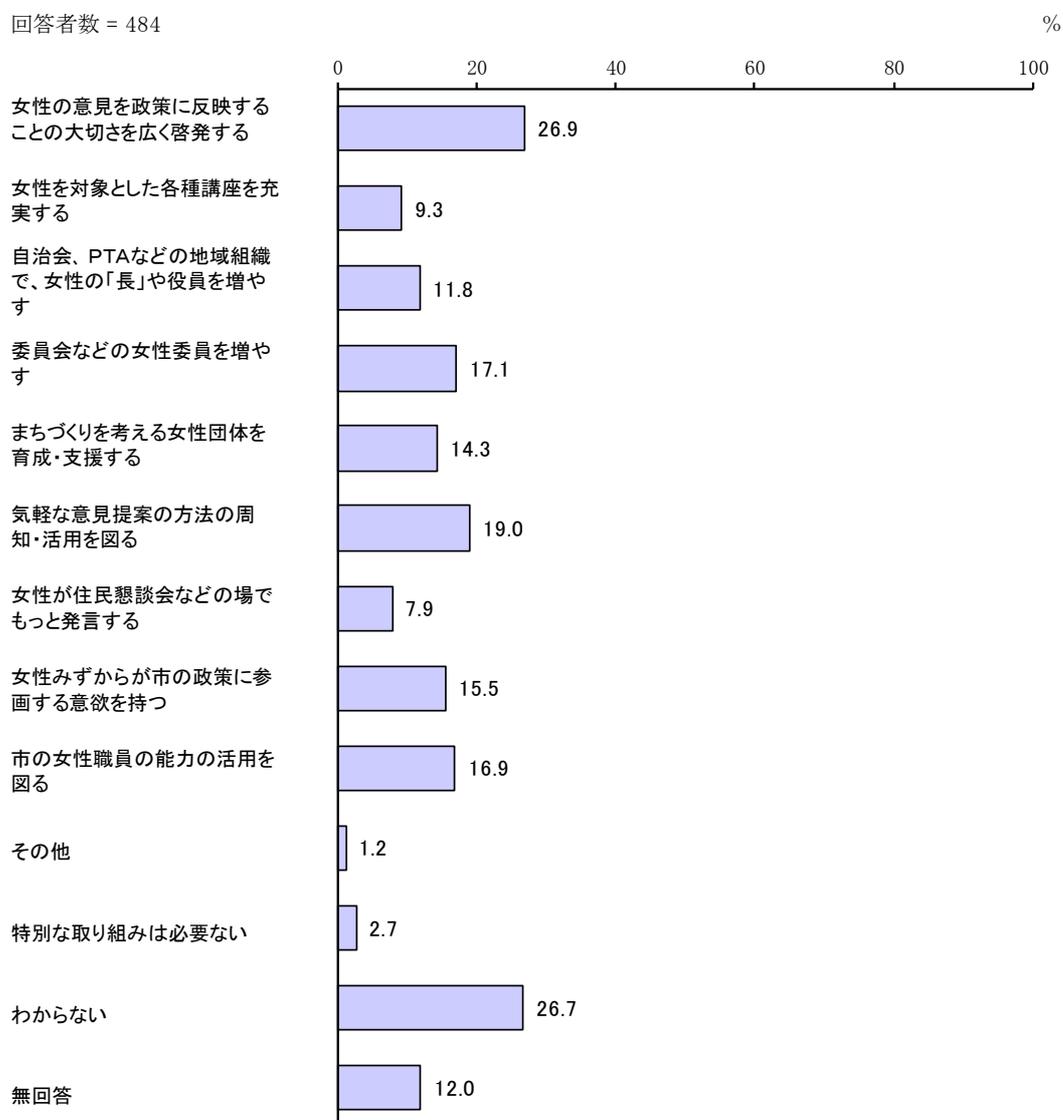
性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層で“反映されていない”の割合が高くなっています。



問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「女性の意見を政策に反映することの大切さを広く啓発する」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 26.7%、「気軽な意見提案の方法の周知・活用を図る」の割合が 19.0%となっています。

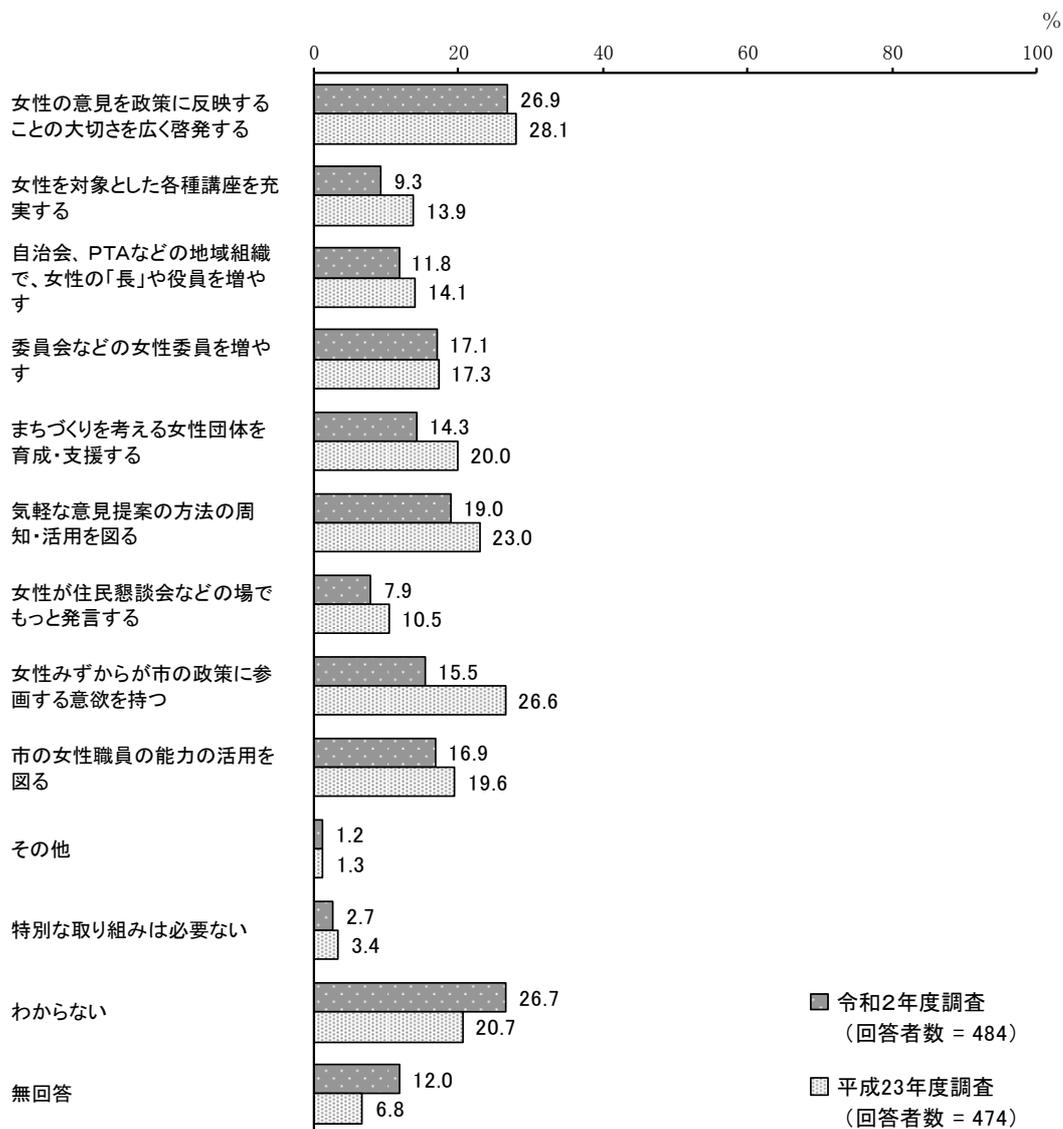
回答者数 = 484



問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

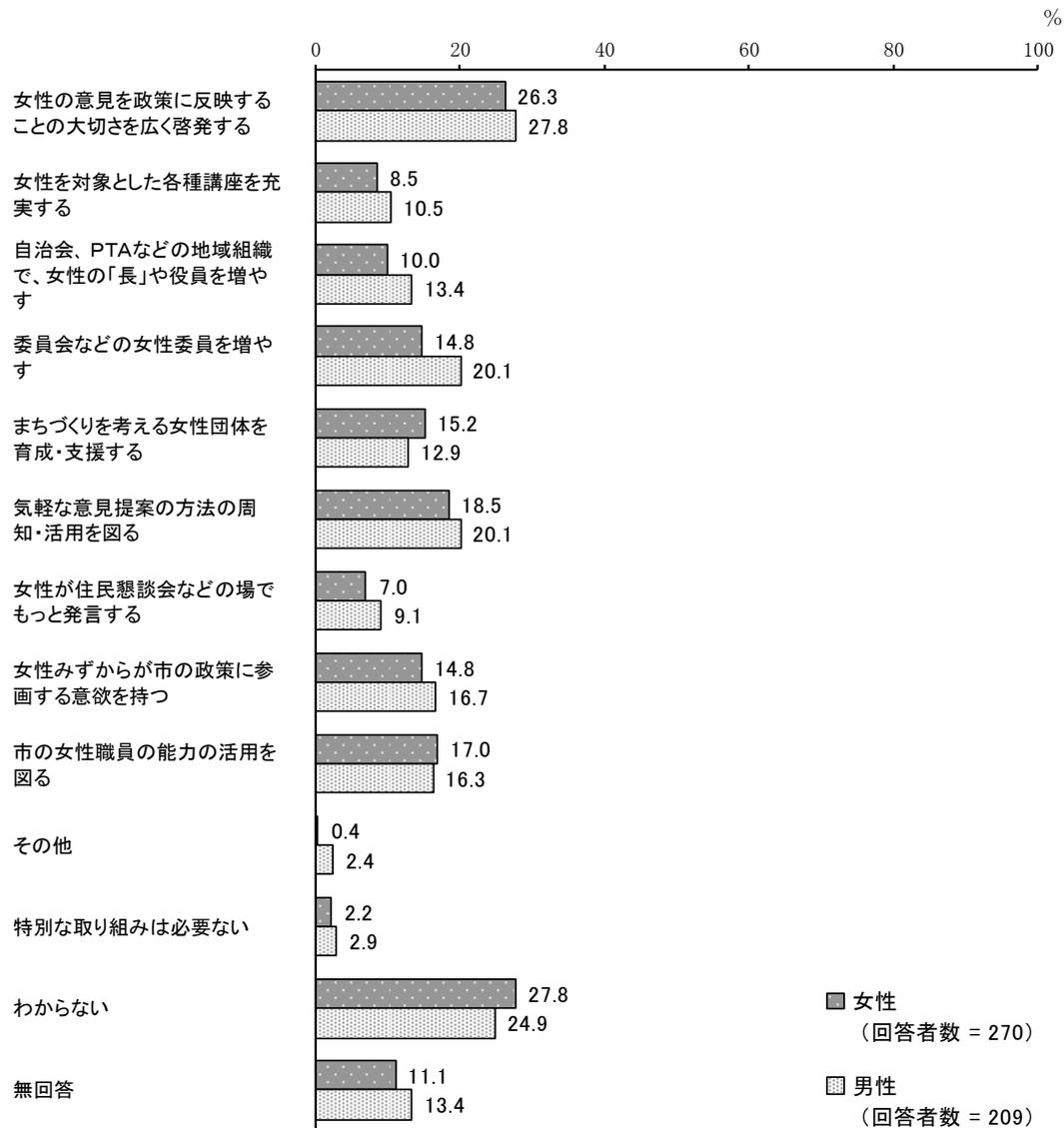
平成 23 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。一方、「まちづくりを考える女性団体を育成・支援する」「女性みずからが市の政策に参画する意欲を持つ」の割合が低くなっています。



問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【性別】

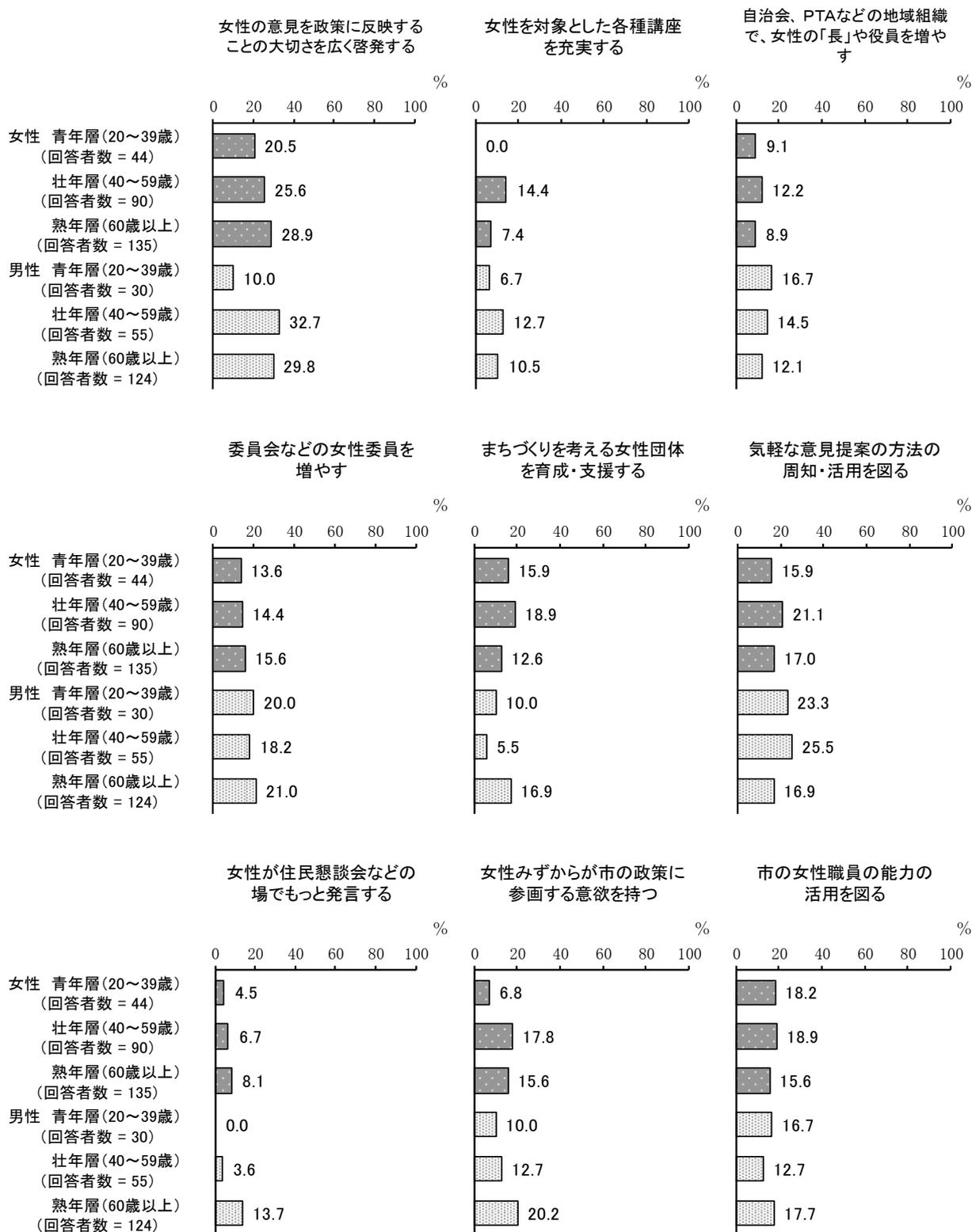
性別でみると、女性に比べ、男性で「委員会などの女性委員を増やす」の割合が高くなっています。

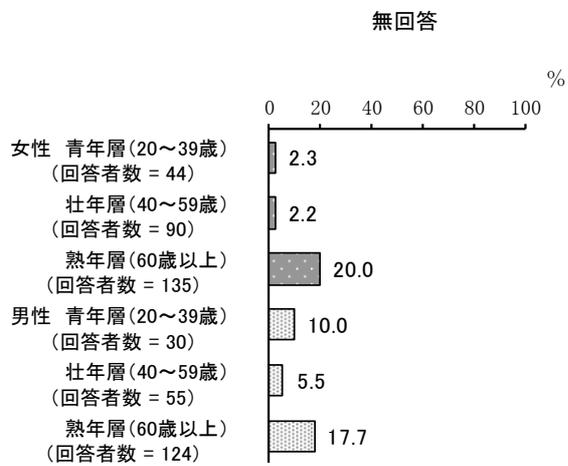
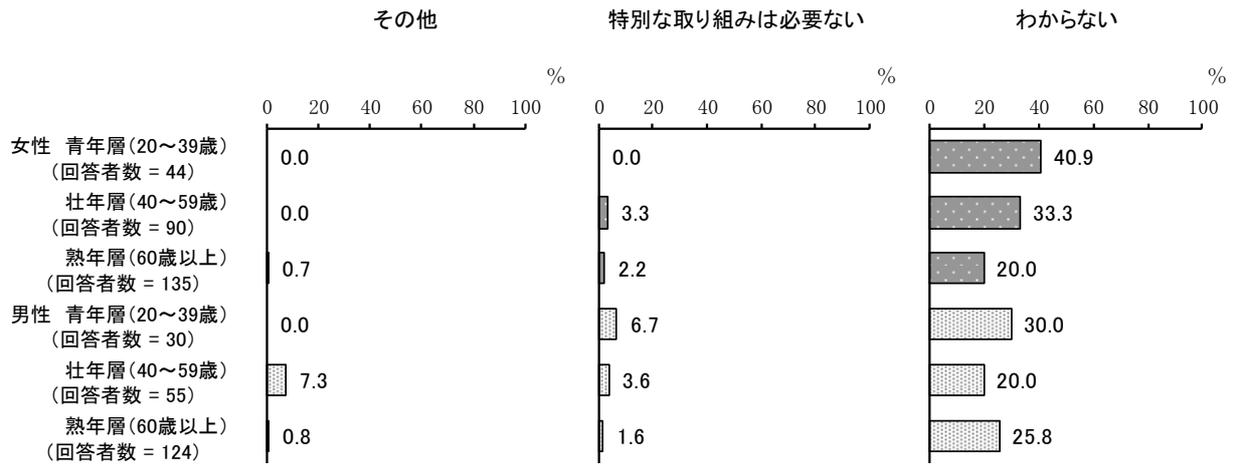


問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、熟年層、男性の熟年層で「女性の意見を政策に反映することの大切さを広く啓発する」の割合が高くなっています。





問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の自営業で「気軽な意見提案の方法の周知・活用を図る」の割合が、男性の自営業で「委員会などの女性委員を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	女性の意見を政策に反映することの大切さを広く啓発する	女性を対象とした各種講座を充実する	自治会、PTAなどの地域組織で、女性の「長」や役員を増やす	委員会などの女性委員を増やす	まちづくりを考える女性団体を育成・支援する	気軽な意見提案の方法の周知・活用を図る
女性 自営業	15	26.7	—	13.3	6.7	33.3	40.0
正規雇用	40	30.0	15.0	5.0	12.5	17.5	12.5
非正規雇用	77	19.5	9.1	13.0	19.5	18.2	22.1
専業主婦・主夫	65	36.9	12.3	10.8	15.4	12.3	16.9
学生・無職	67	22.4	3.0	9.0	13.4	9.0	14.9
男性 自営業	22	31.8	13.6	18.2	40.9	27.3	22.7
正規雇用	68	23.5	14.7	17.6	25.0	8.8	29.4
非正規雇用	43	30.2	4.7	11.6	4.7	16.3	7.0
専業主婦・主夫	9	22.2	—	—	33.3	22.2	22.2
学生・無職	60	30.0	10.0	11.7	18.3	10.0	20.0

区分	女性が住民懇談会などの場でもっと発言する	女性みずからが市の政策に参画する意欲を持つ	市の女性職員の能力の活用を図る	その他	特別な取り組みは必要ない	わからない	無回答
女性 自営業	6.7	20.0	13.3	—	—	13.3	13.3
正規雇用	2.5	15.0	27.5	—	2.5	25.0	2.5
非正規雇用	7.8	16.9	15.6	1.3	2.6	33.8	5.2
専業主婦・主夫	9.2	13.8	15.4	—	3.1	21.5	16.9
学生・無職	7.5	13.4	16.4	—	1.5	29.9	16.4
男性 自営業	13.6	22.7	31.8	—	4.5	22.7	4.5
正規雇用	8.8	16.2	19.1	4.4	2.9	20.6	8.8
非正規雇用	11.6	16.3	14.0	—	2.3	25.6	18.6
専業主婦・主夫	—	11.1	—	—	—	22.2	22.2
学生・無職	8.3	18.3	13.3	3.3	3.3	30.0	13.3

問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

『② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)』で「知らなかった」の割合が高くなっています。

■ よく知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らなかった □ 無回答

回答者数 = 484

① メディア・リテラシー
(メディアからの情報を読み解く能力)

② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
(性と生殖に関する健康と権利)

③ ジェンダー(社会的・文化的性差)

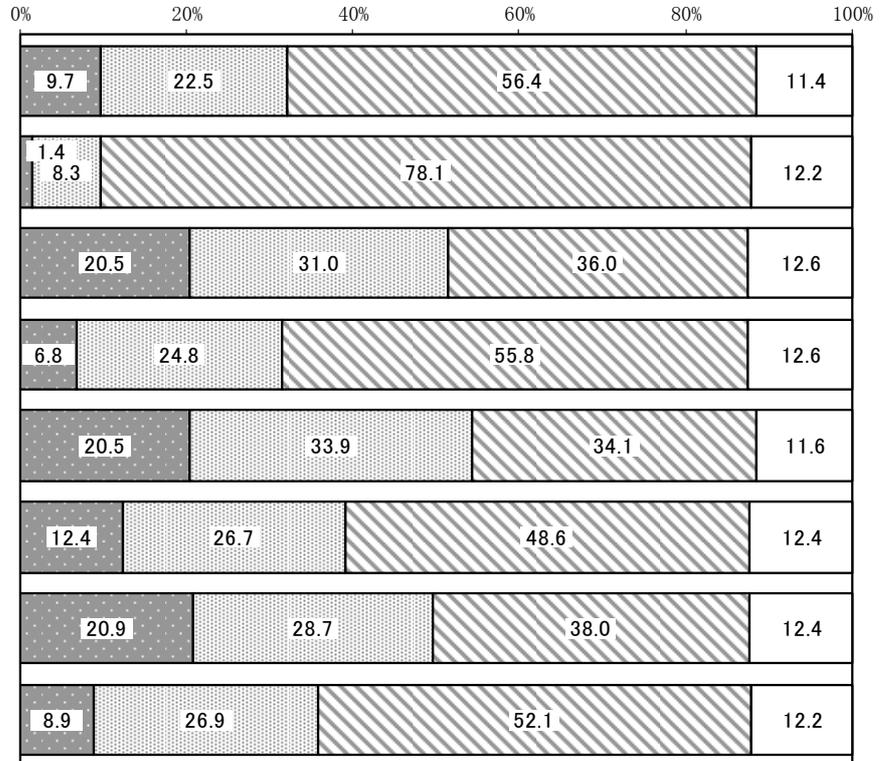
④ ポジティブ・アクション
(積極的格差是正措置)

⑤ ワーク・ライフ・バランス
(仕事と生活の調和)

⑥ ダイバーシティ
(多様な人材の活用)

⑦ LGBT

⑧ パートナーシップ宣誓証明制度

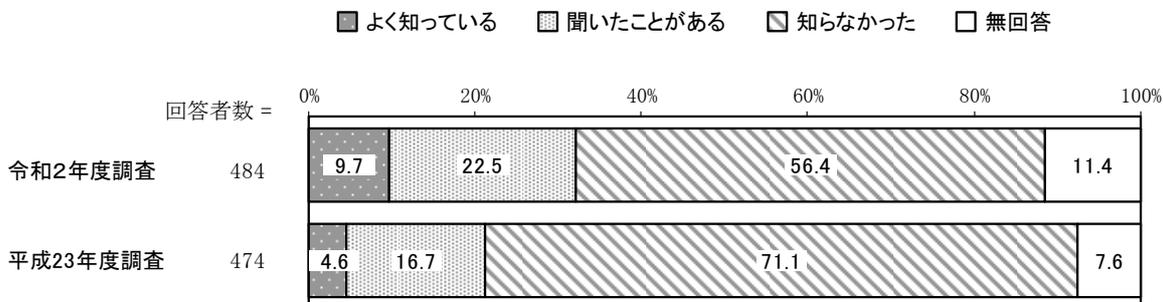


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

① メディア・リテラシー（メディアからの情報を読み解く能力）

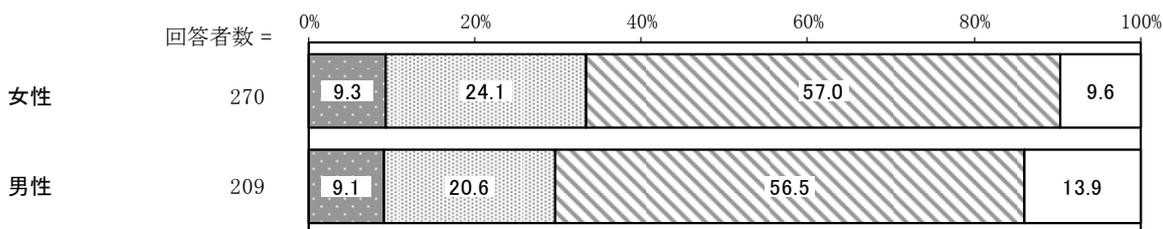
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「よく知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。一方、「知らなかった」の割合が低くなっています。



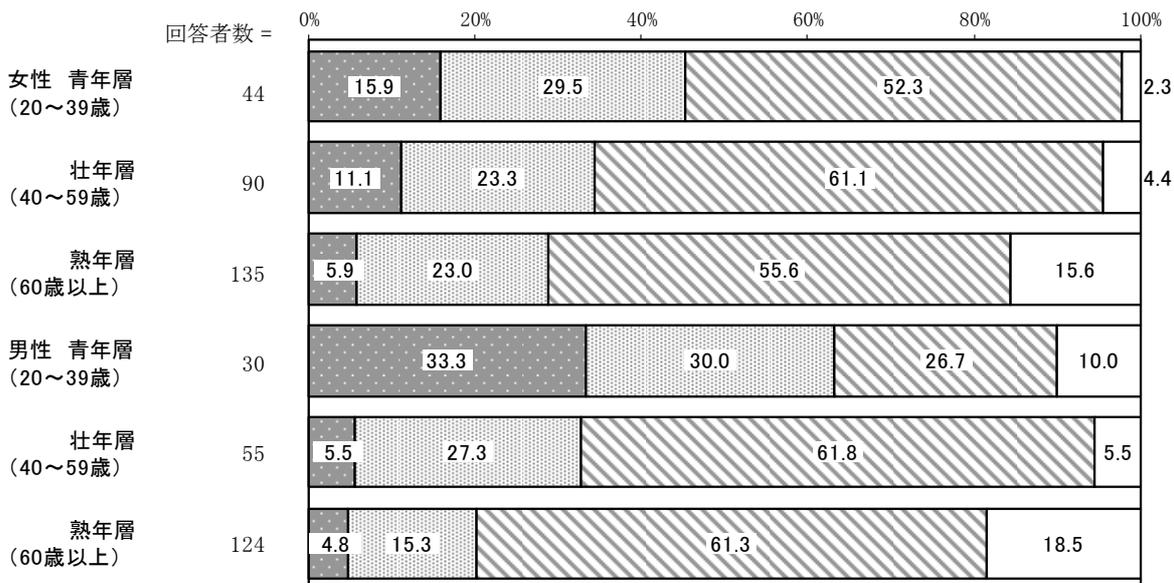
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の壮年層、男性の壮年層、熟年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

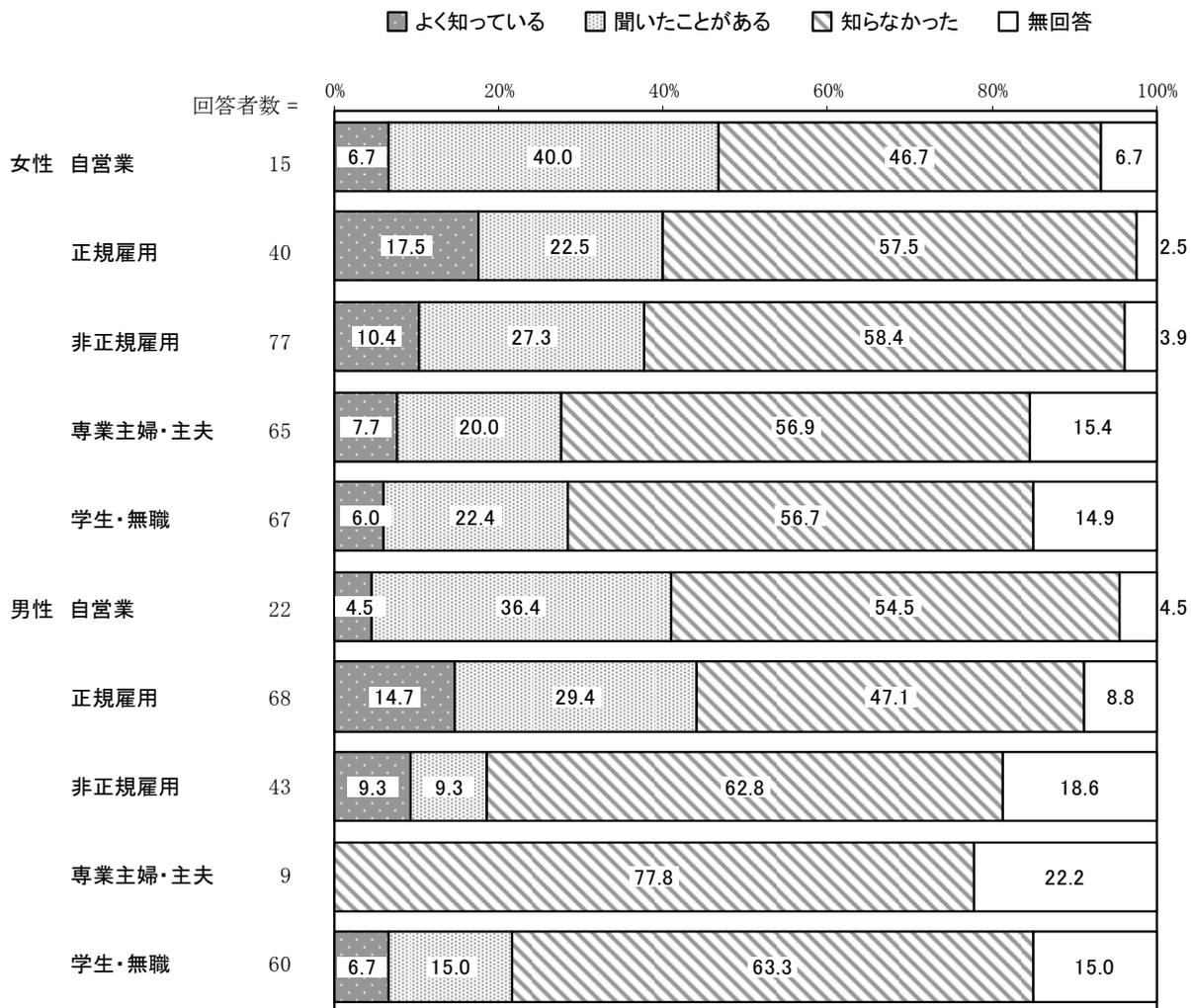


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

① メディア・リテラシー（メディアからの情報を読み解く能力）

【性・職業別】

性・職業別で見ると、他に比べ、女性では自営業を除いて「知らなかった」の割合が高くなっています。また、男性の非正規雇用、学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

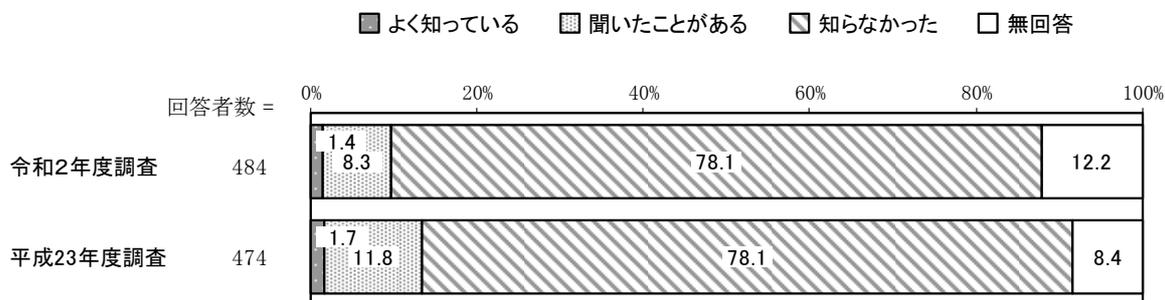


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

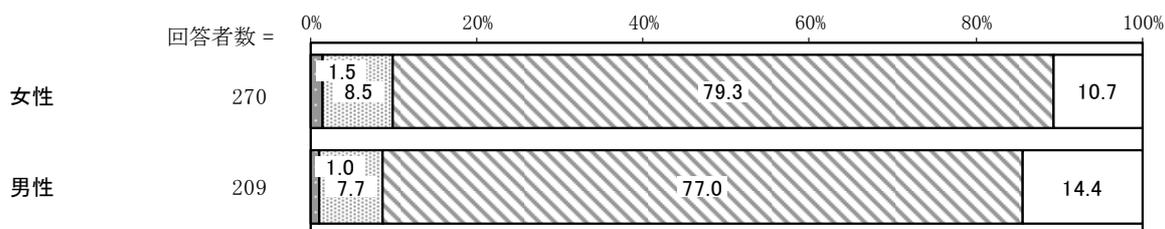
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



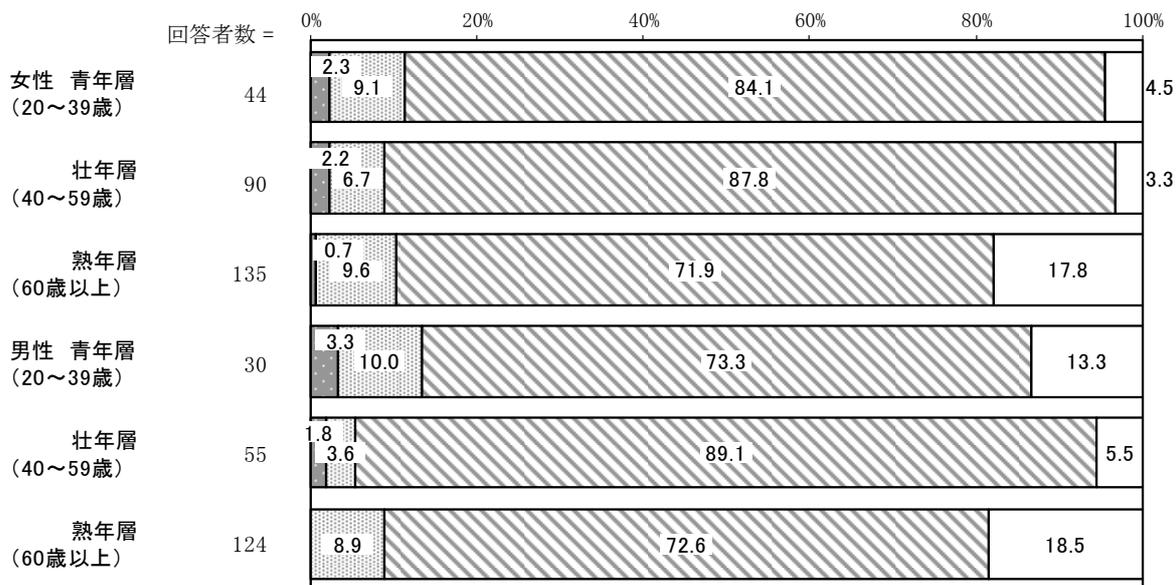
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の壮年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

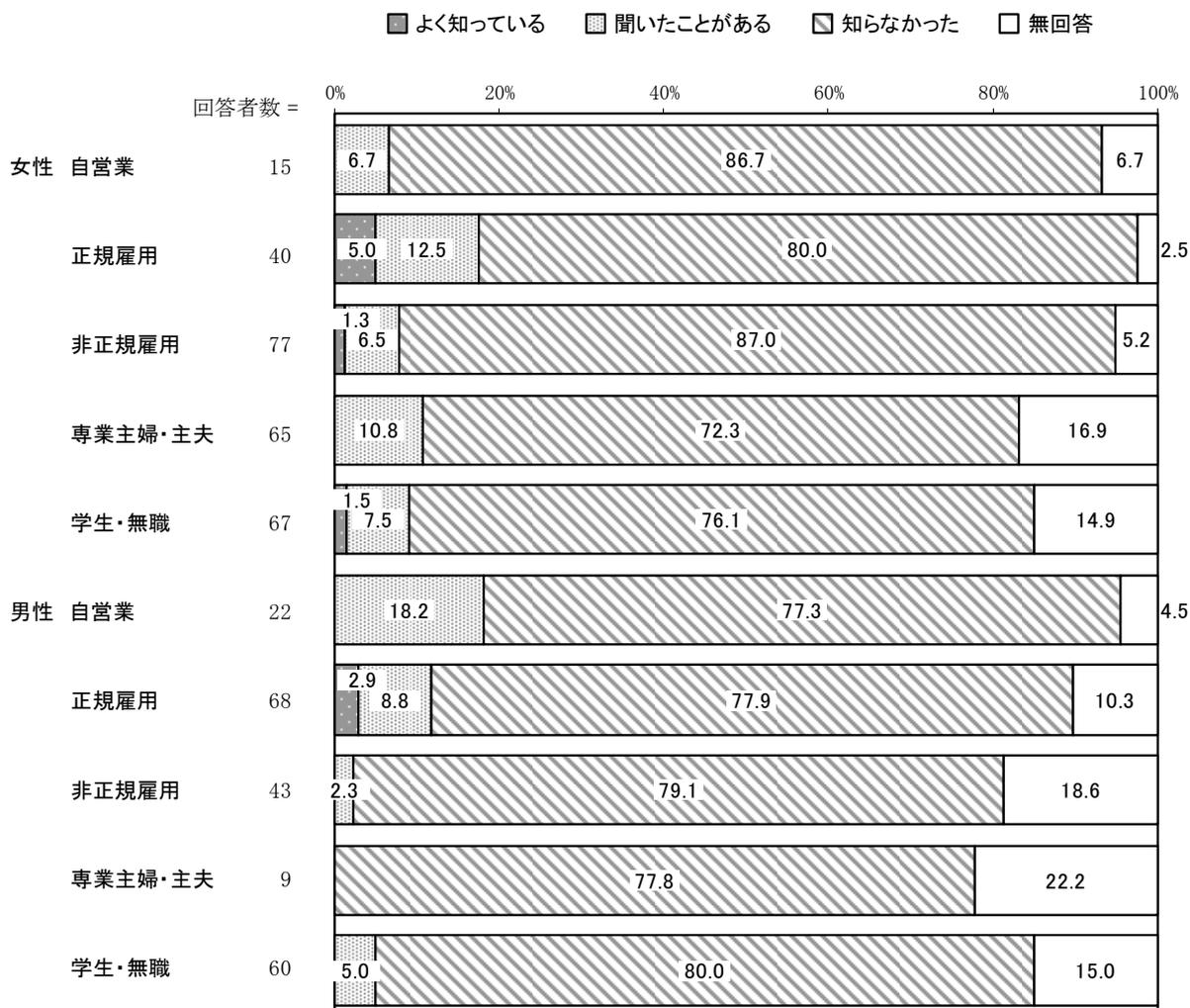


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の自営業、非正規雇用、男性の非正規雇用、学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

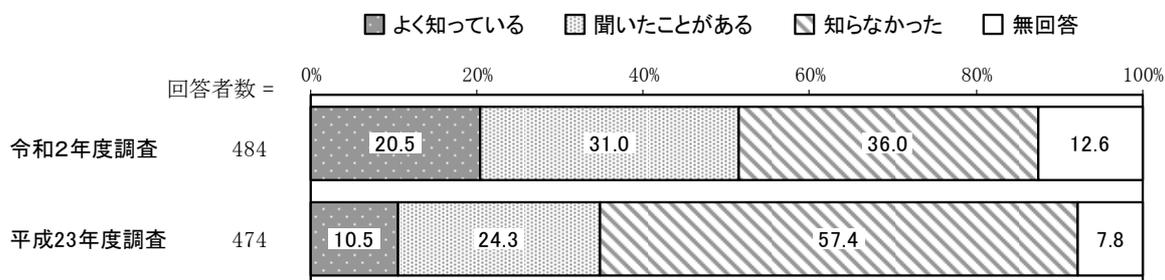


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

③ ジェンダー（社会的・文化的性差）

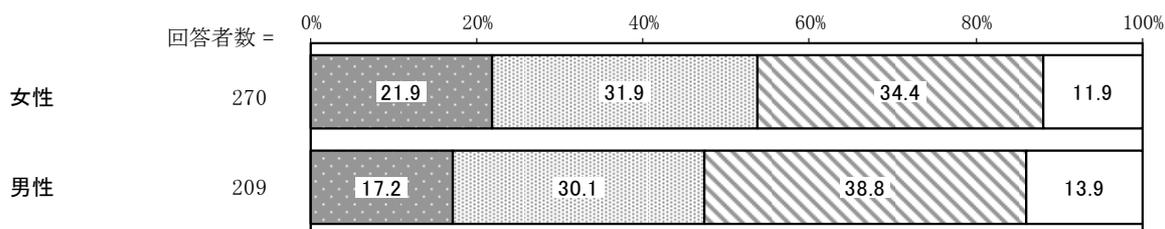
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「よく知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。一方、「知らなかった」の割合が低くなっています。



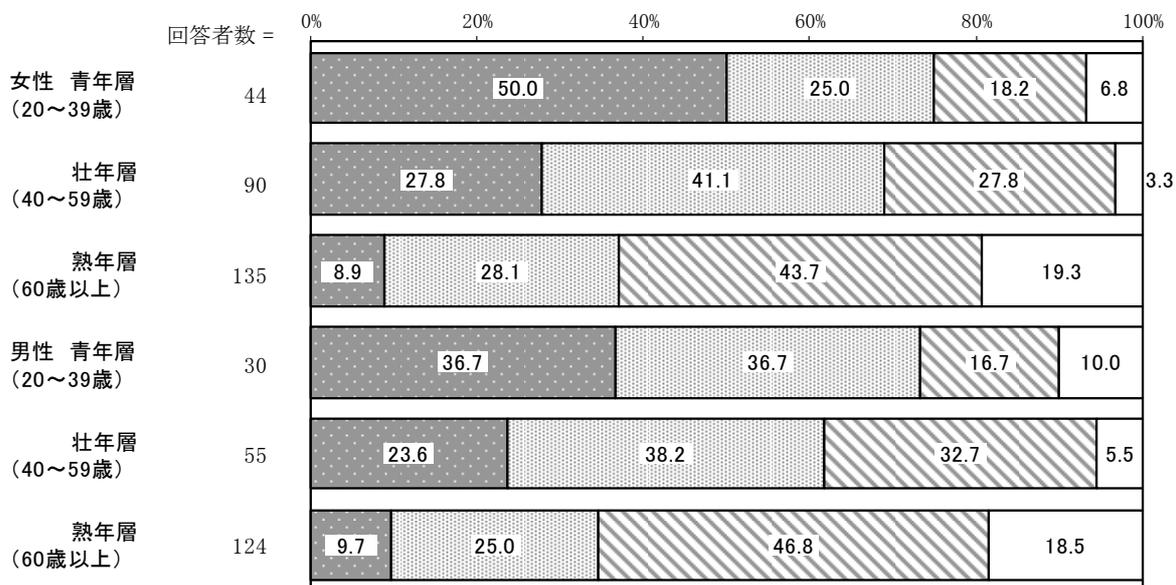
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに熟年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

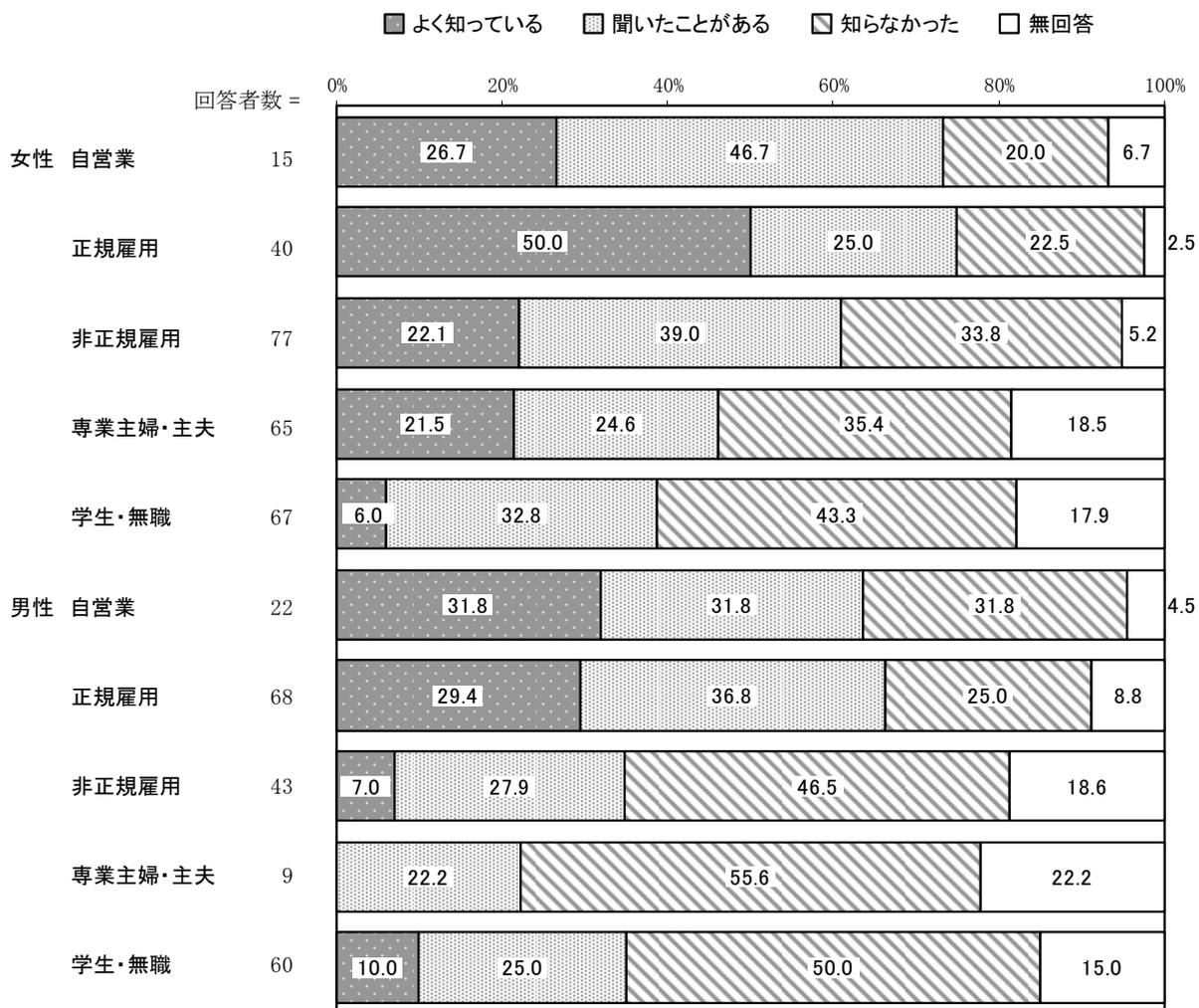


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

③ ジェンダー（社会的・文化的性差）

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性、男性ともに学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

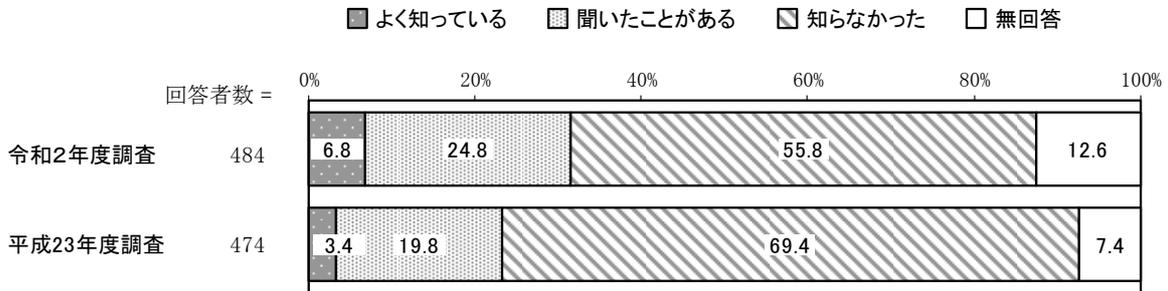


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

④ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）

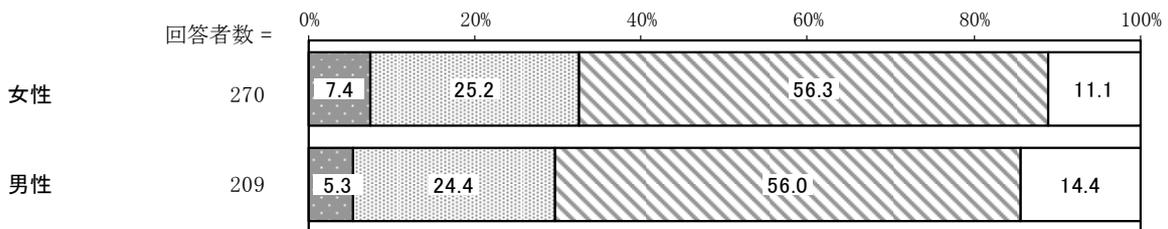
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「知らなかった」の割合が低くなっています。



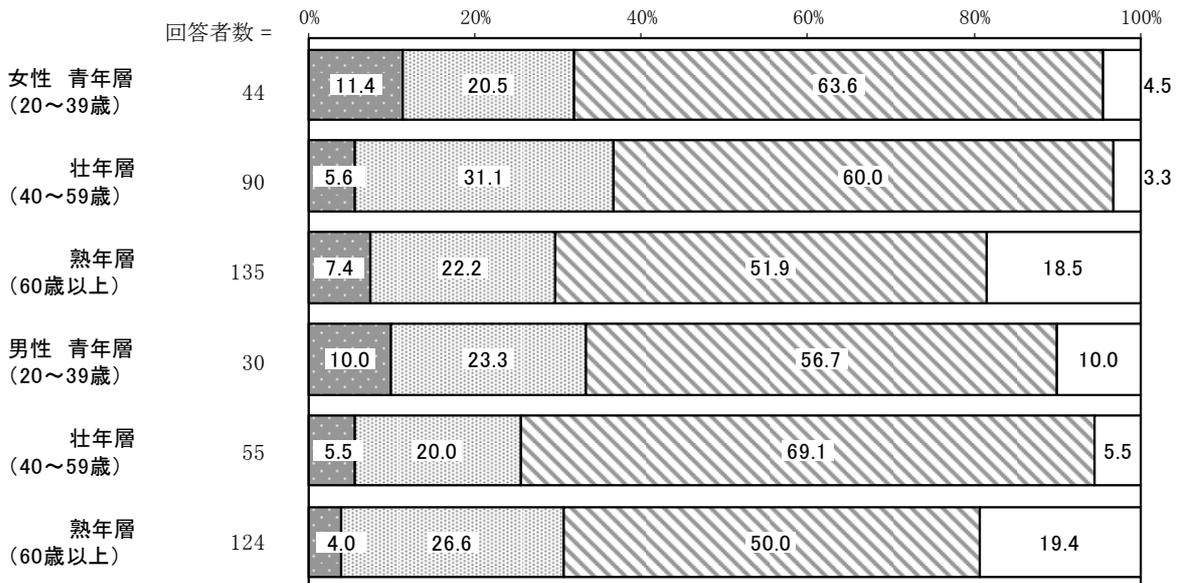
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性の青年層、壮年層、男性の壮年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

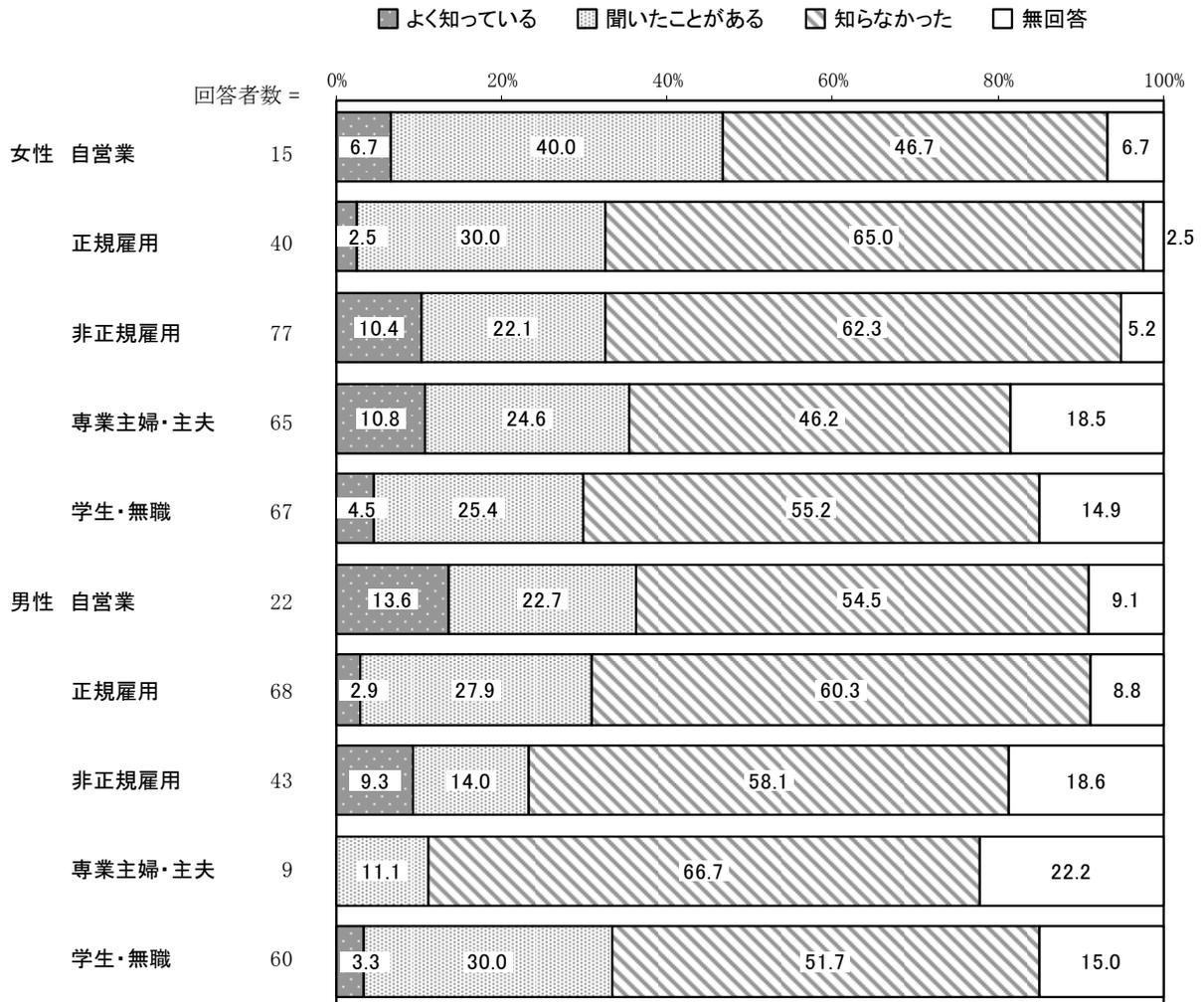


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

④ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の正規雇用、男性の正規雇用、非正規雇用で「知らなかった」の割合が高くなっています。

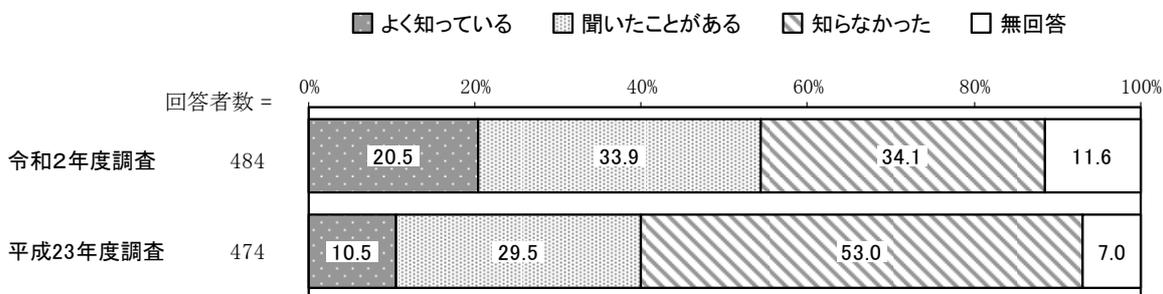


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

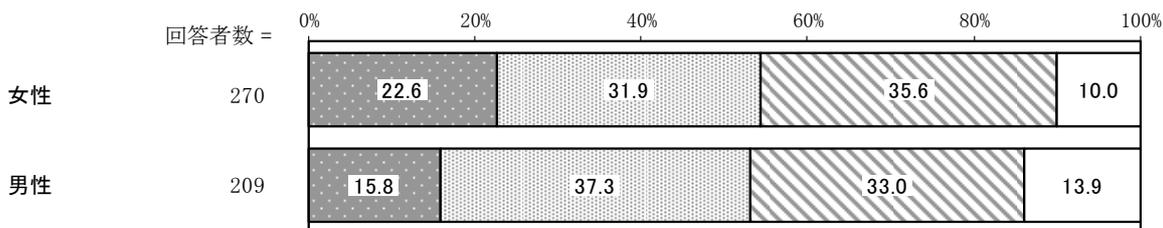
【平成 23 年度調査との比較】

平成 23 年度調査と比較すると、「よく知っている」の割合が高くなっています。一方、「知らなかった」の割合が低くなっています。



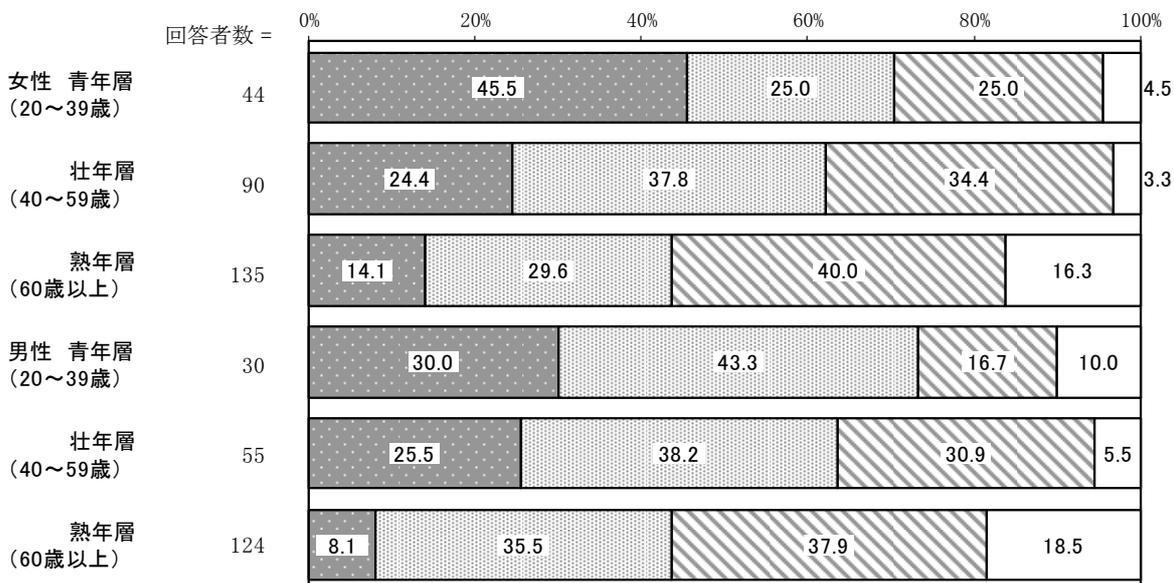
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「よく知っている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに熟年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

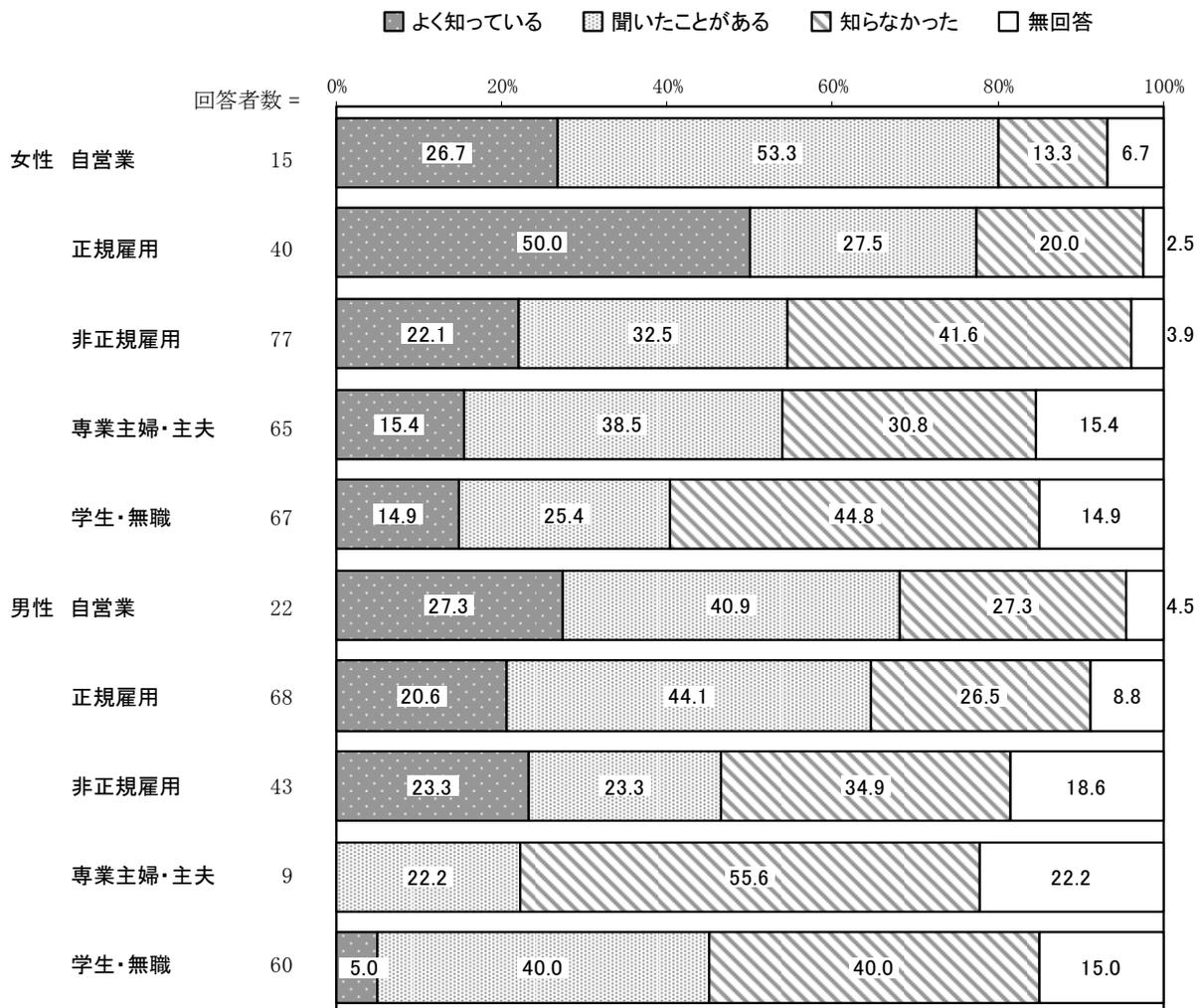


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

【性・職業別】

性・職業別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

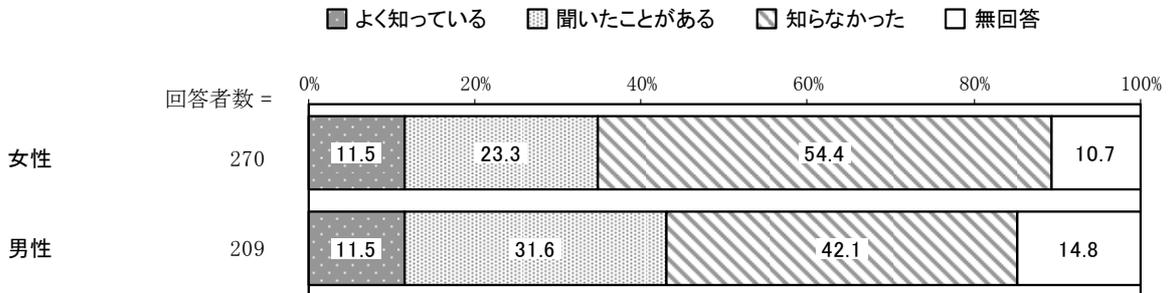


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑥ ダイバーシティ（多様な人材の活用）

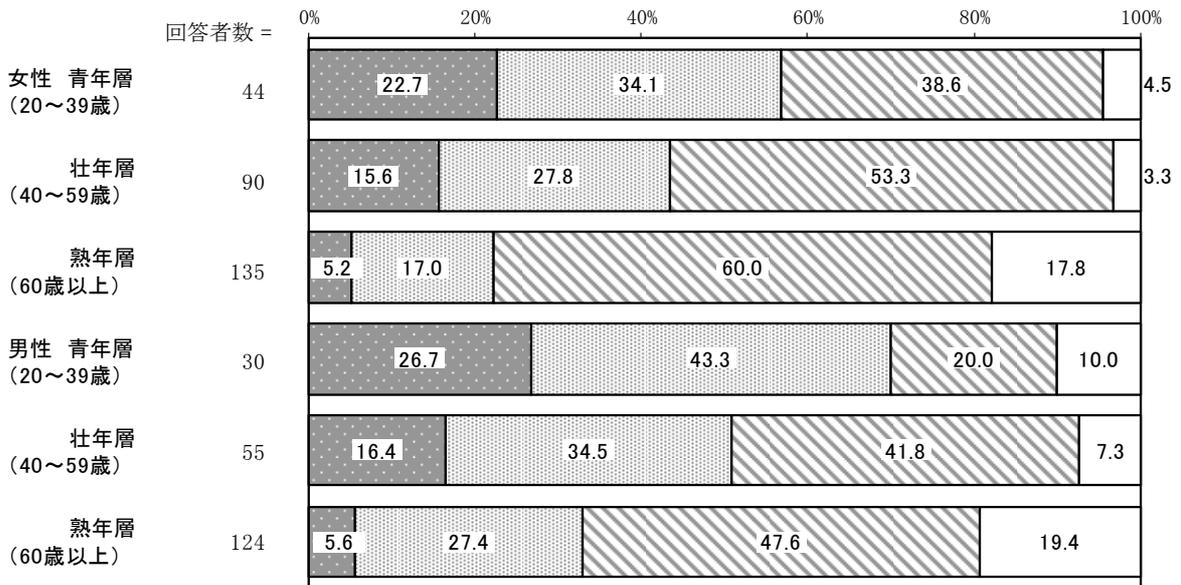
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知らなかった」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに熟年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

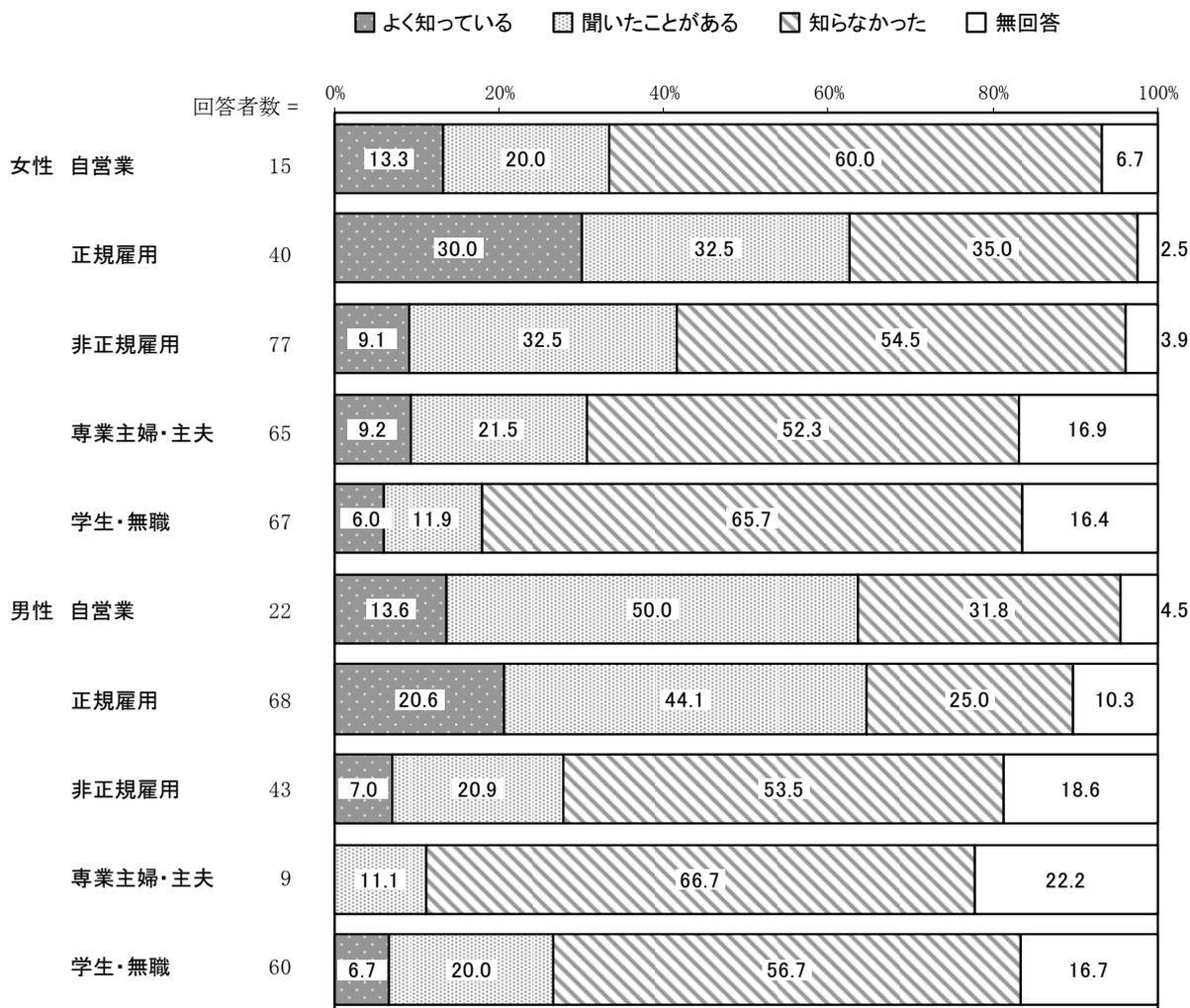


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑥ ダイバーシティ（多様な人材の活用）

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の学生・無職、男性の非正規雇用、学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

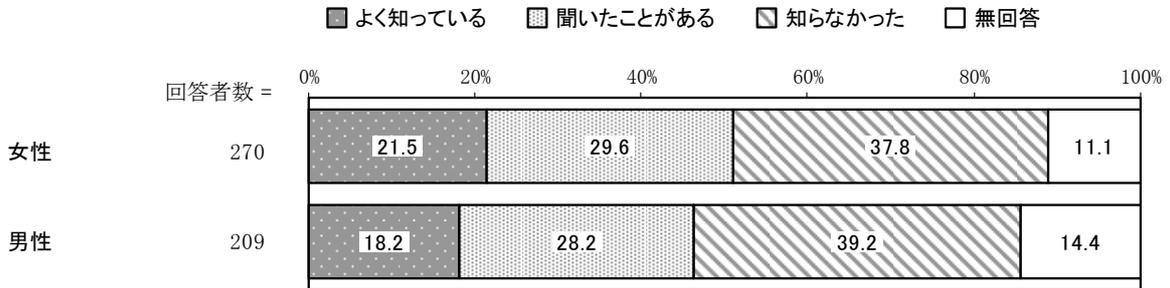


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑦ LGBT

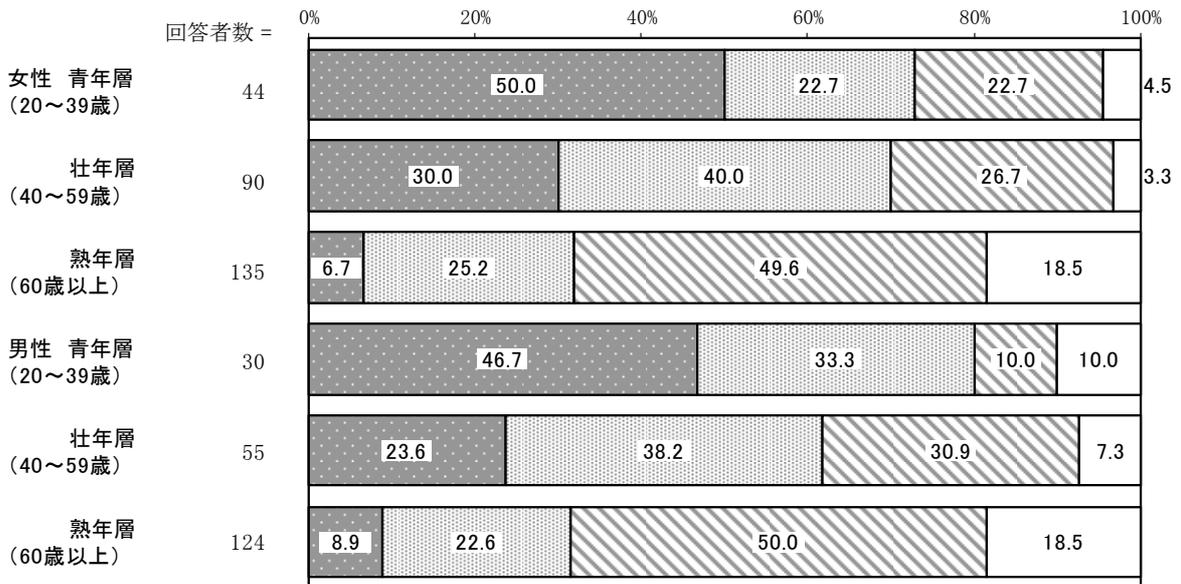
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに熟年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

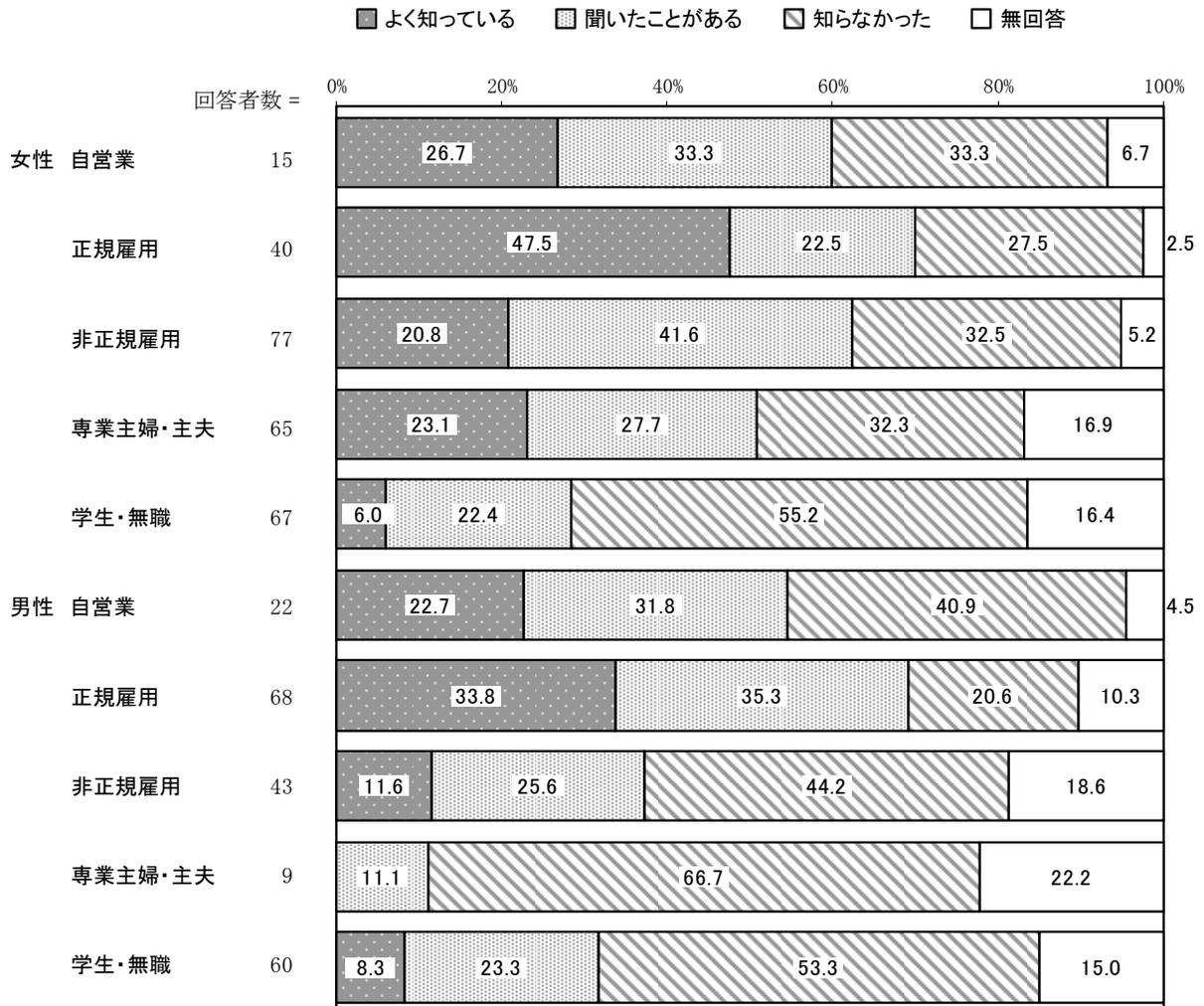


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つつ)

⑦ LGBT

【性・職業別】

性・職業別で見ると、他に比べ、女性、男性ともに学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。

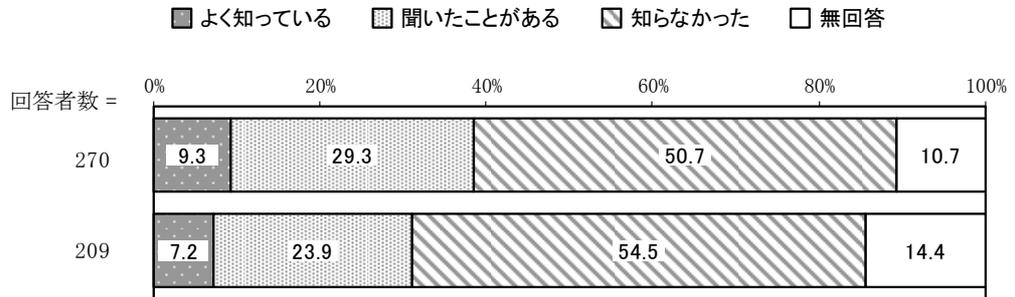


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑧ パートナーシップ宣誓証明制度

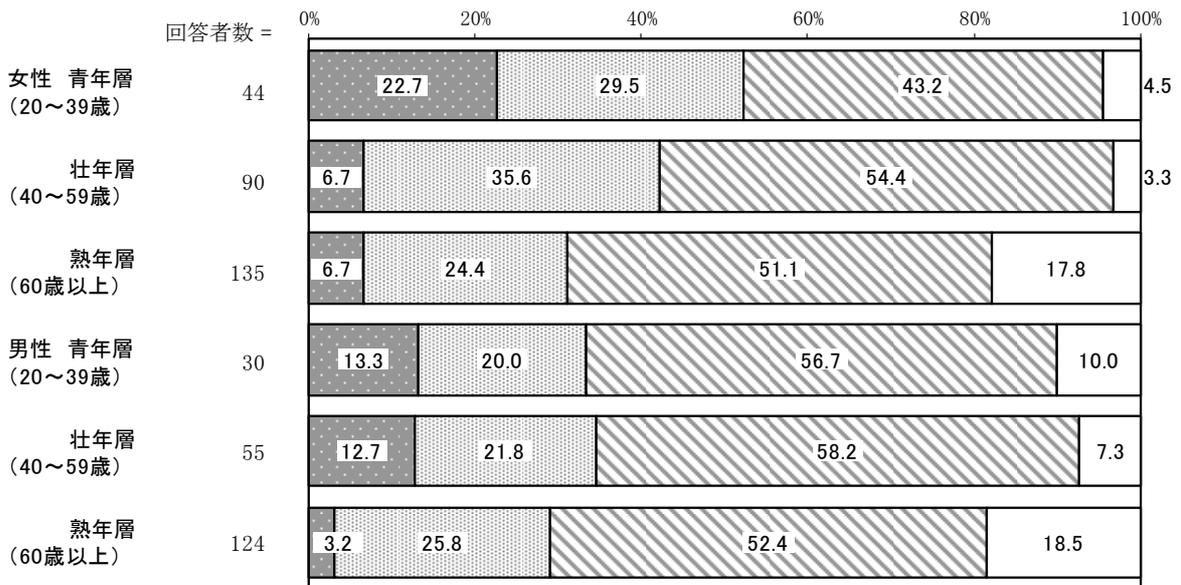
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



【性・年齢層別】

性・年齢層別で見ると、他に比べ、女性の壮年層、熟年層、男性の青年層、壮年層で「知らなかった」の割合が高くなっています。

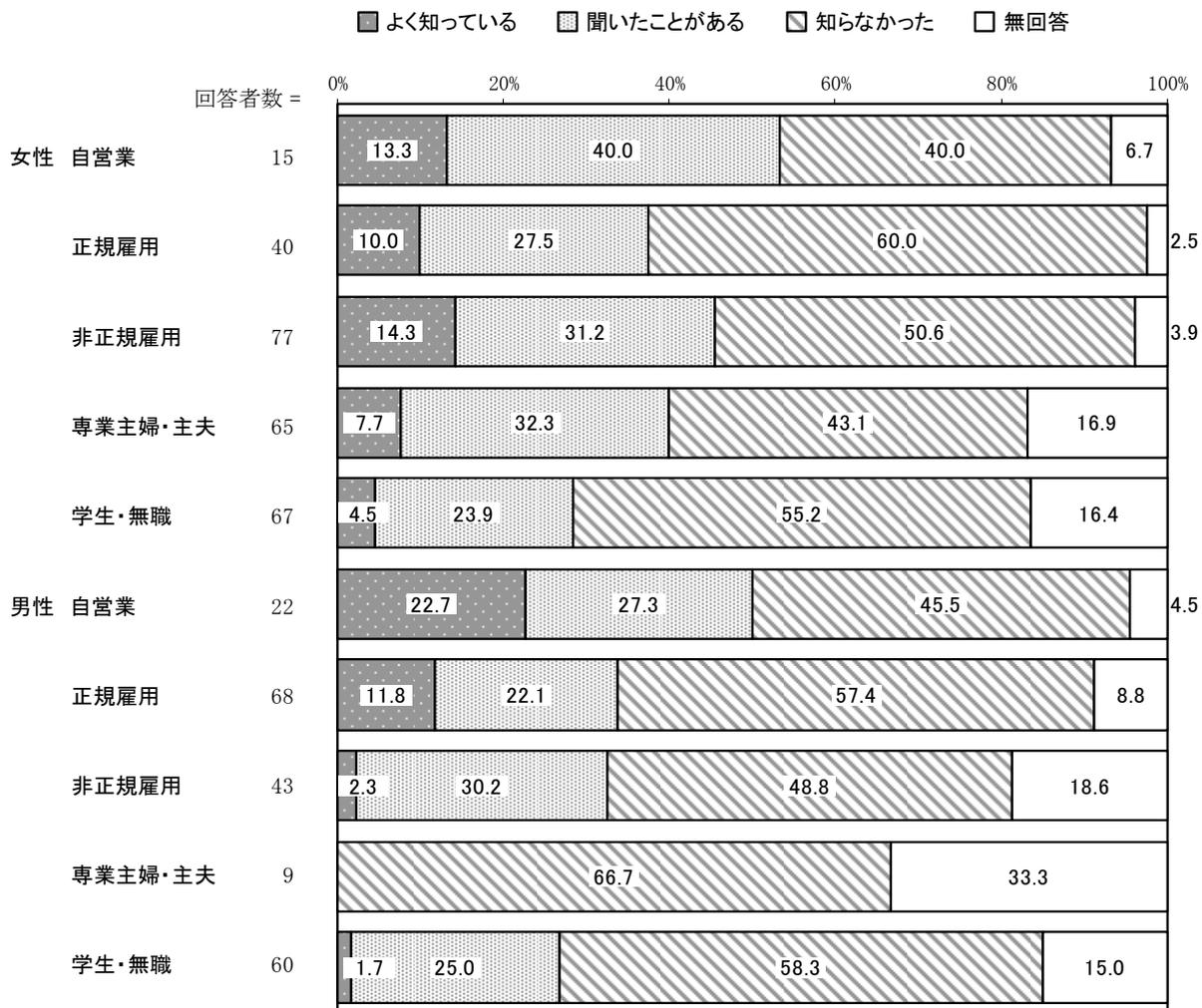


問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

⑧ パートナーシップ宣誓証明制度

【性・職業別】

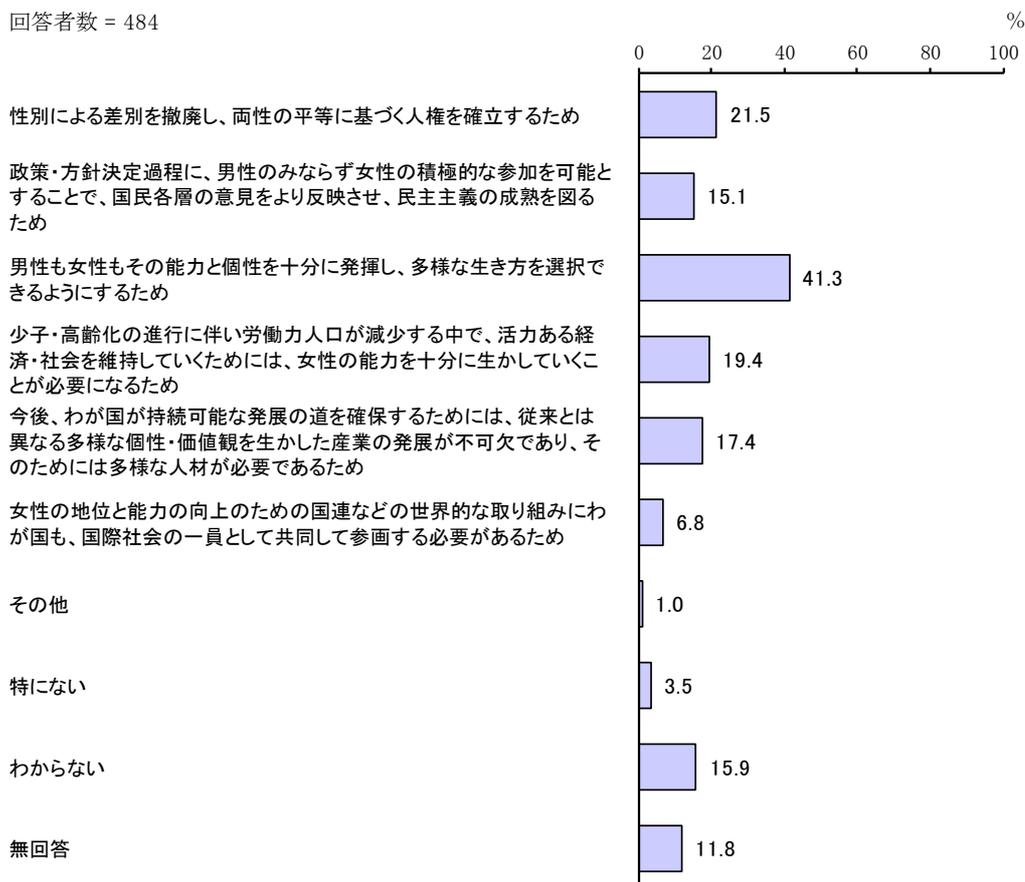
性・職業別で見ると、他に比べ、女性の正規雇用、男性の正規雇用、学生・無職で「知らなかった」の割合が高くなっています。



問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思いませんか。（あなたのお考えに近いもの2つまでに○）

「男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「性別による差別を撤廃し、両性の平等に基づく人権を確立するため」の割合が 21.5%、「少子・高齢化の進行に伴い労働力人口が減少する中で、活力ある経済・社会を維持していくためには、女性の能力を十分に生かしていくことが必要になるため」の割合が 19.4%となっています。

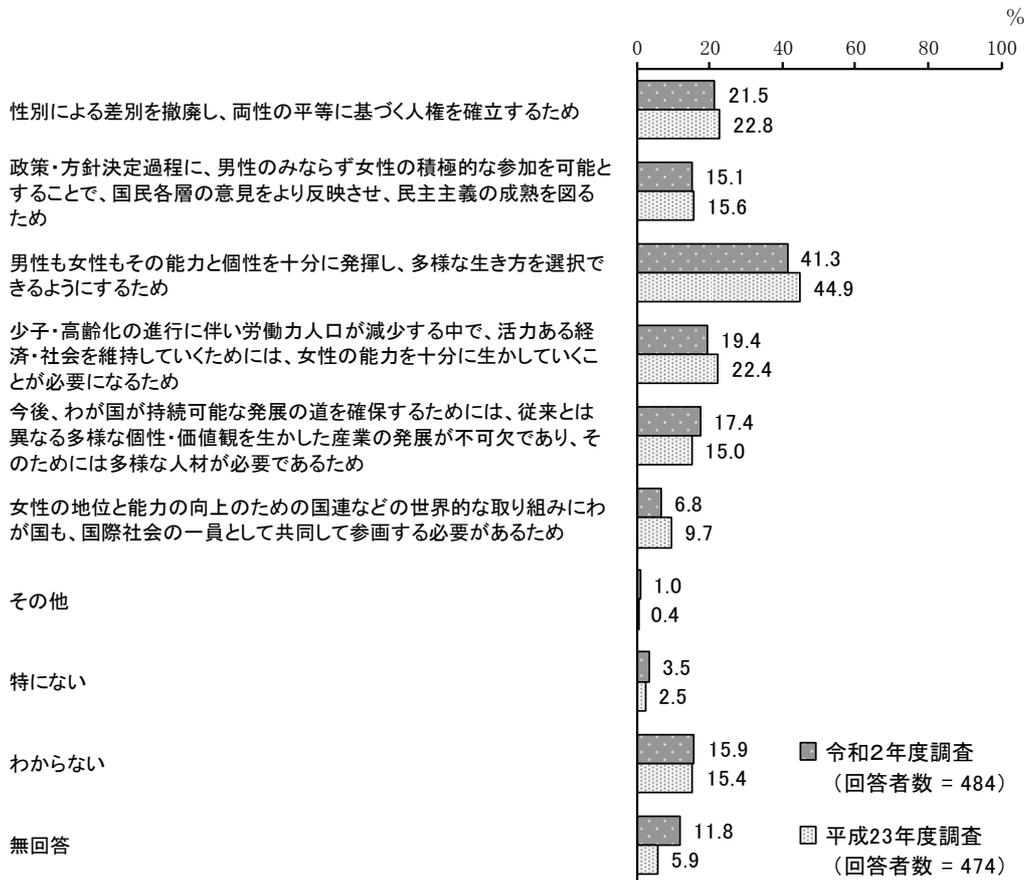
回答者数 = 484



問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思えますか。(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

【平成 23 年度調査との比較】

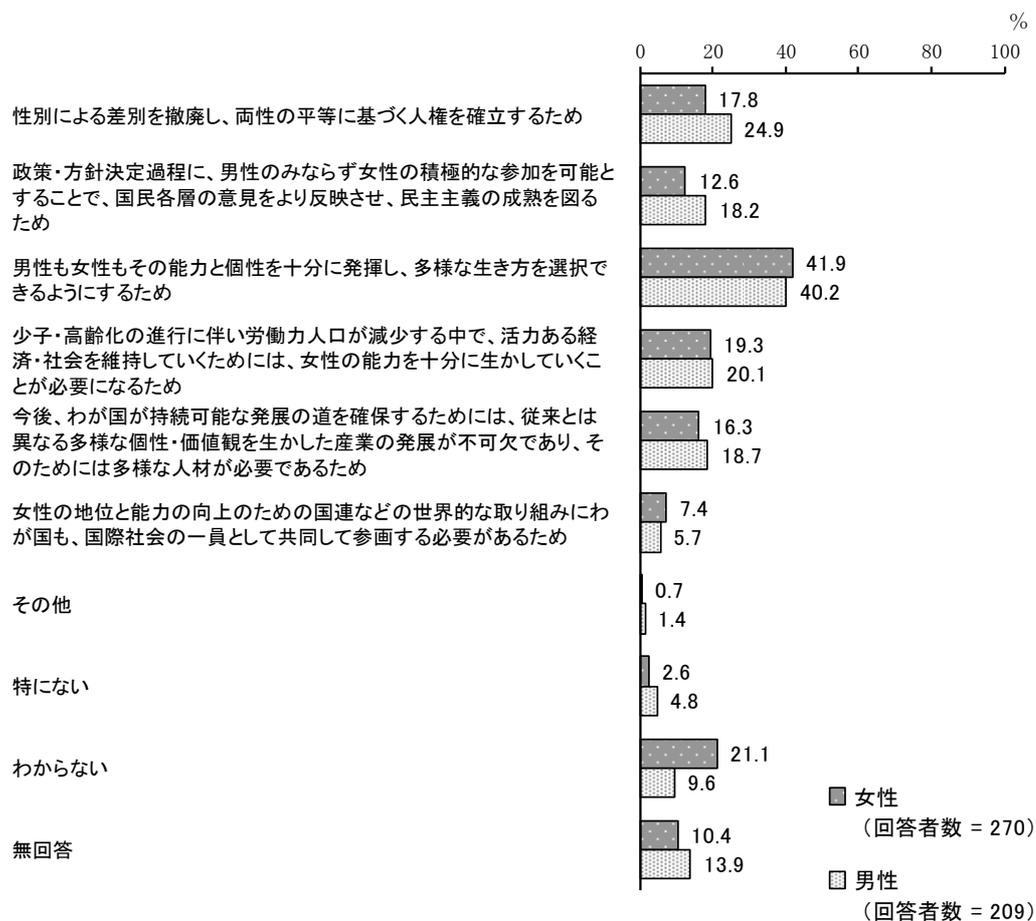
平成 23 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思いませんか。(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

【性別】

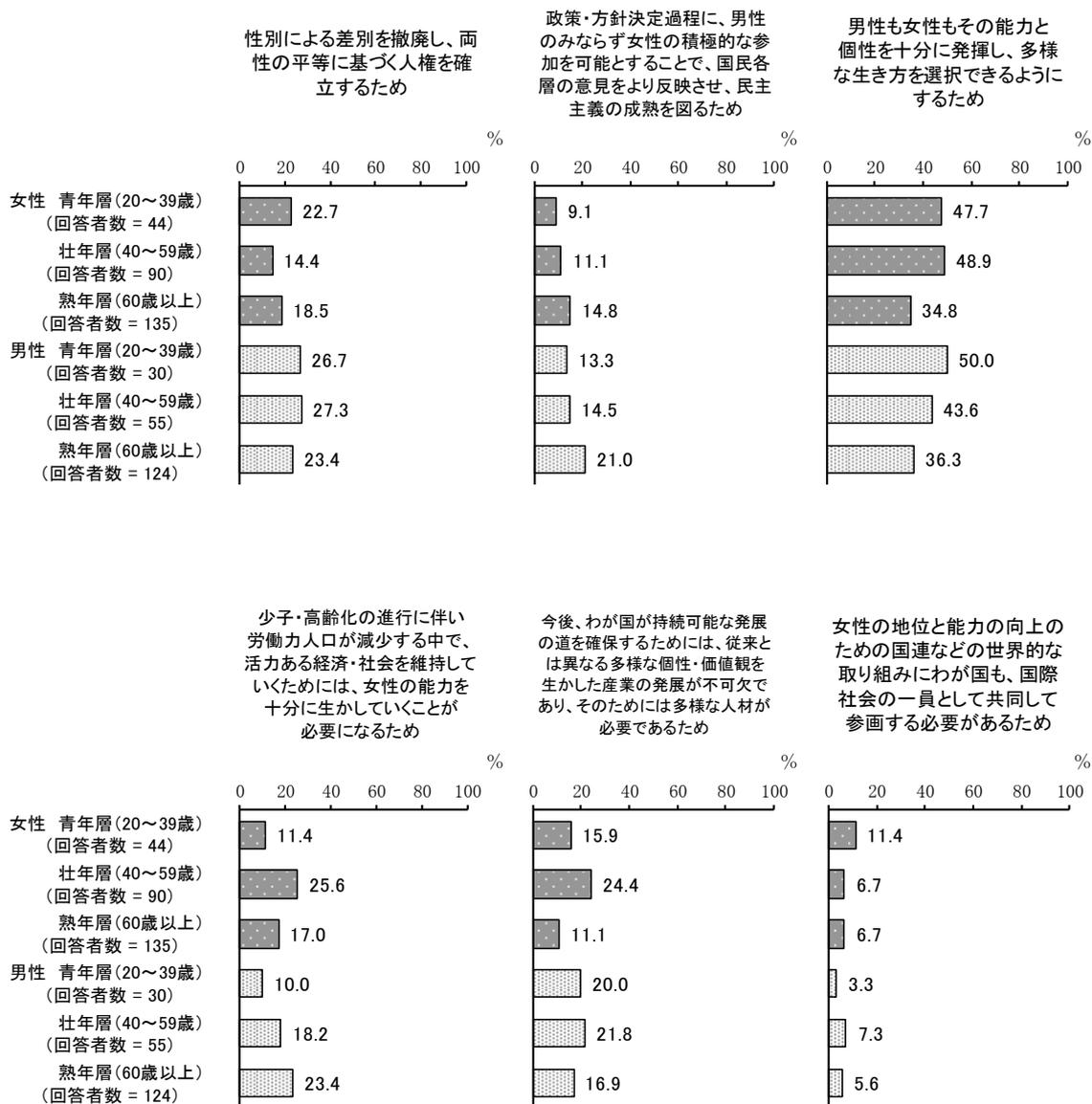
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「性別による差別を撤廃し、両性の平等に基づく人権を確立するため」「政策・方針決定過程に、男性のみならず女性の積極的な参加を可能とすることで、国民各層の意見をより反映させ、民主主義の成熟を図るため」の割合が高くなっています。

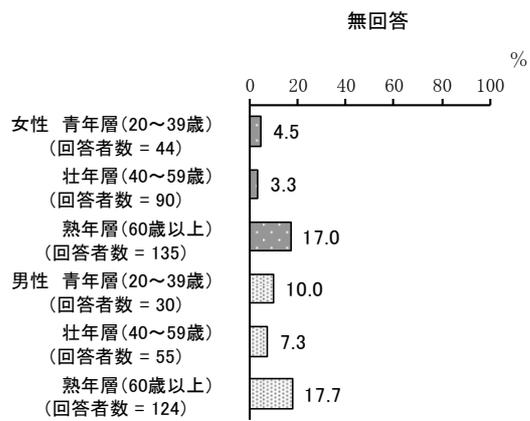
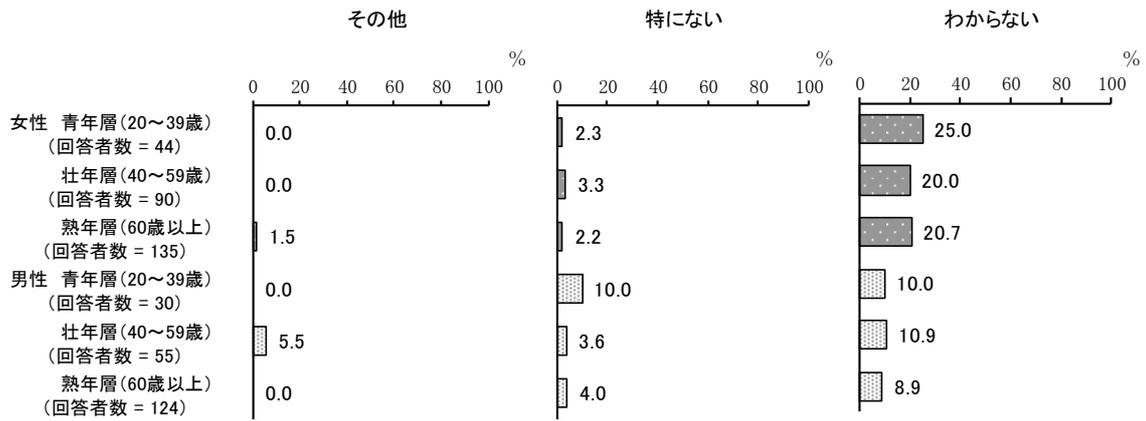


問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思いますか。(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、女性、男性ともにすべての年齢層で「男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため」の割合が最も高くなっています。





問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思いますか。(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性、男性ともに正規雇用で「男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため」の割合が高くなっています。

単位：%

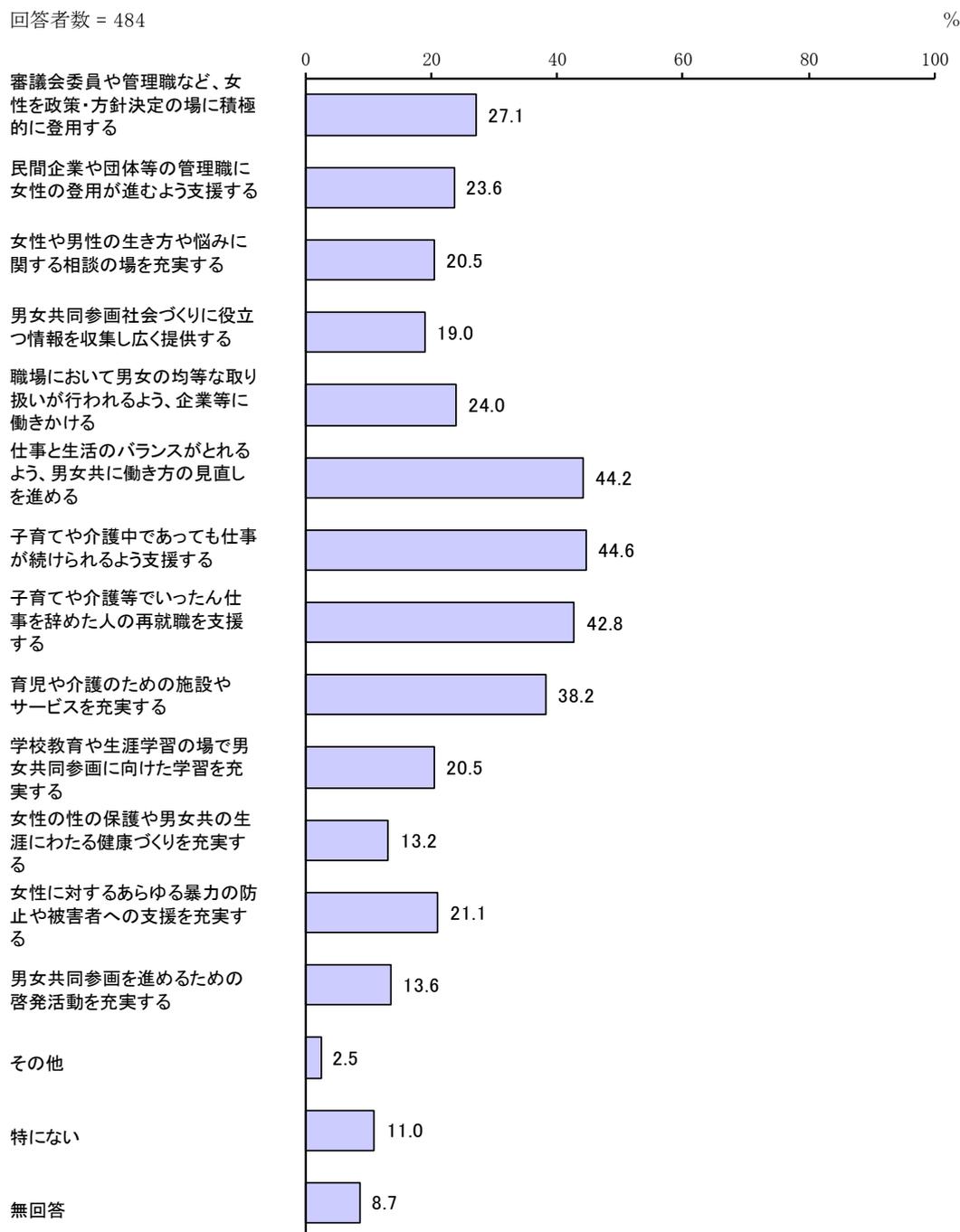
区分	有効回答数(件)	性別による差別を撤廃し、両性の平等に基づく人権を確立するため	政策・方針決定過程に、男性のみならず女性の積極的な参加を可能とすることで、国民各層の意見をより反映させ、民主主義の成熟を図るため	男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため	少子・高齢化の進行に伴い労働力人口が減少する中で、活力ある経済・社会を維持していくためには、女性の能力を十分に生かしていくことが必要になるため	今後、わが国が持続可能な発展の道を確保するためには、従来とは異なる多様な個性・価値を生かした産業の発展が不可欠であり、そのためには多様な人材が必要であるため
女性 自営業	15	—	13.3	33.3	20.0	20.0
正規雇用	40	20.0	10.0	52.5	12.5	30.0
非正規雇用	77	15.6	10.4	44.2	23.4	22.1
専業主婦・主夫	65	21.5	13.8	46.2	20.0	13.8
学生・無職	67	17.9	16.4	29.9	19.4	4.5
男性 自営業	22	22.7	13.6	36.4	31.8	36.4
正規雇用	68	25.0	22.1	44.1	17.6	22.1
非正規雇用	43	25.6	18.6	39.5	23.3	16.3
専業主婦・主夫	9	—	22.2	33.3	33.3	22.2
学生・無職	60	26.7	15.0	38.3	16.7	11.7

区分	女性の地位と能力の向上のための国連などの世界的な取り組みにわが国も、国際社会の一員として共同して参画する必要があるため	その他	特にない	わからない	無回答
女性 自営業	26.7	—	—	20.0	13.3
正規雇用	12.5	—	2.5	15.0	5.0
非正規雇用	3.9	1.3	3.9	24.7	3.9
専業主婦・主夫	9.2	1.5	3.1	12.3	12.3
学生・無職	3.0	—	1.5	28.4	17.9
男性 自営業	4.5	—	9.1	9.1	9.1
正規雇用	4.4	2.9	1.5	7.4	11.8
非正規雇用	7.0	—	7.0	11.6	11.6
専業主婦・主夫	—	—	11.1	—	33.3
学生・無職	8.3	1.7	5.0	13.3	15.0

問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が44.6%と最も高く、次いで「仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める」の割合が44.2%、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」の割合が42.8%となっています。

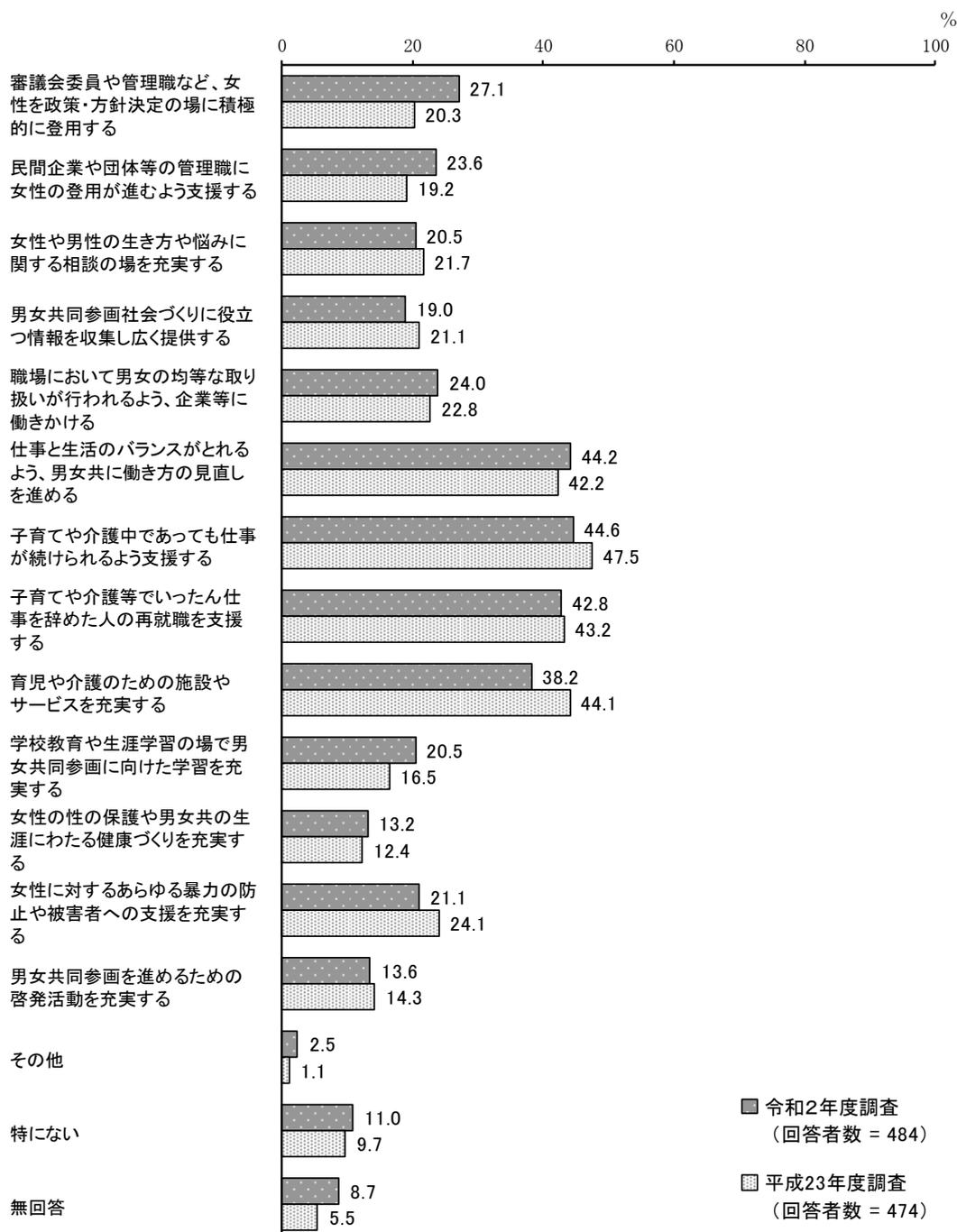
回答者数 = 484



問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

【平成 23 年度調査との比較】

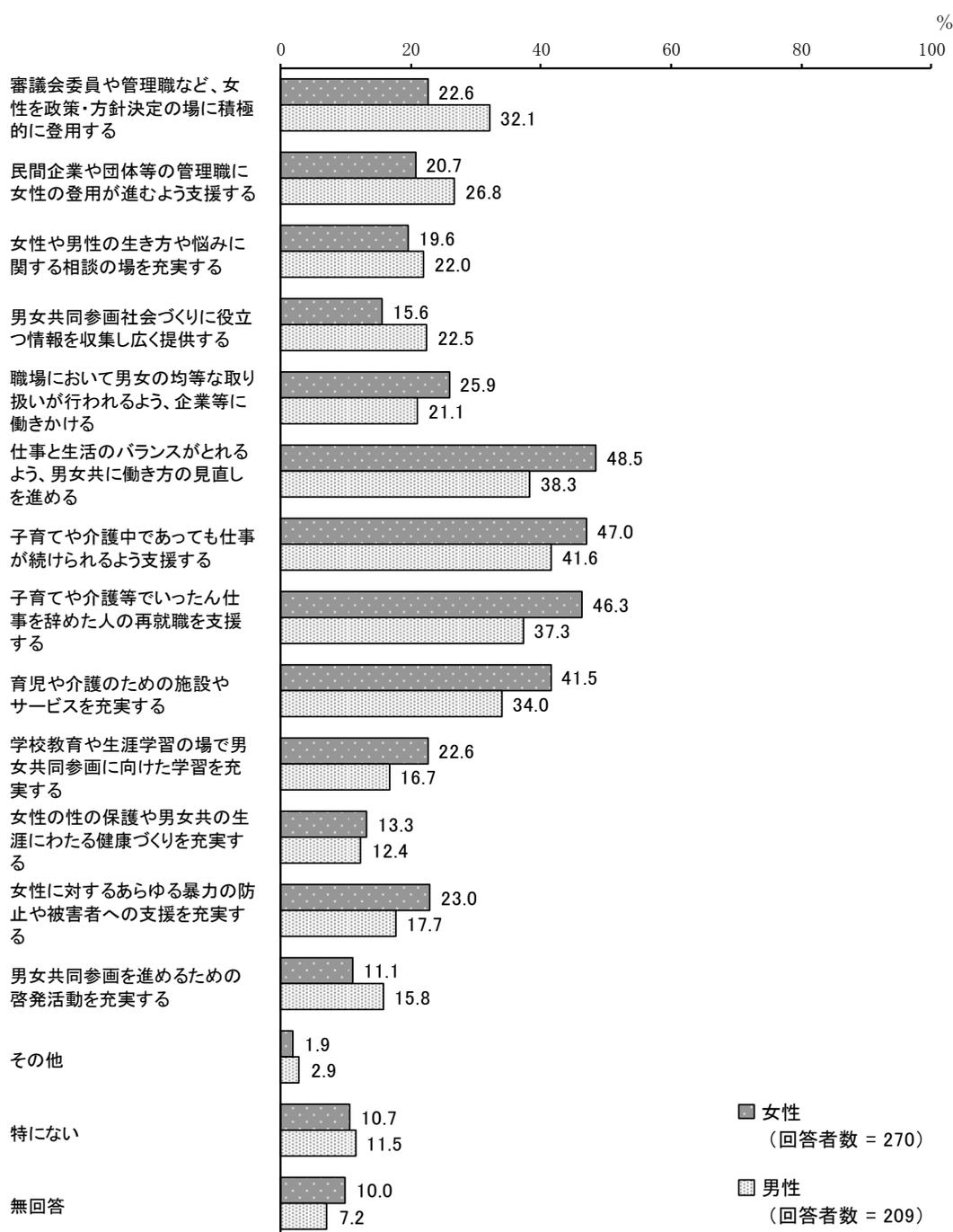
平成 23 年度調査と比較すると、「審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する」の割合が高くなっています。一方、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」の割合が低くなっています。



問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

【性別】

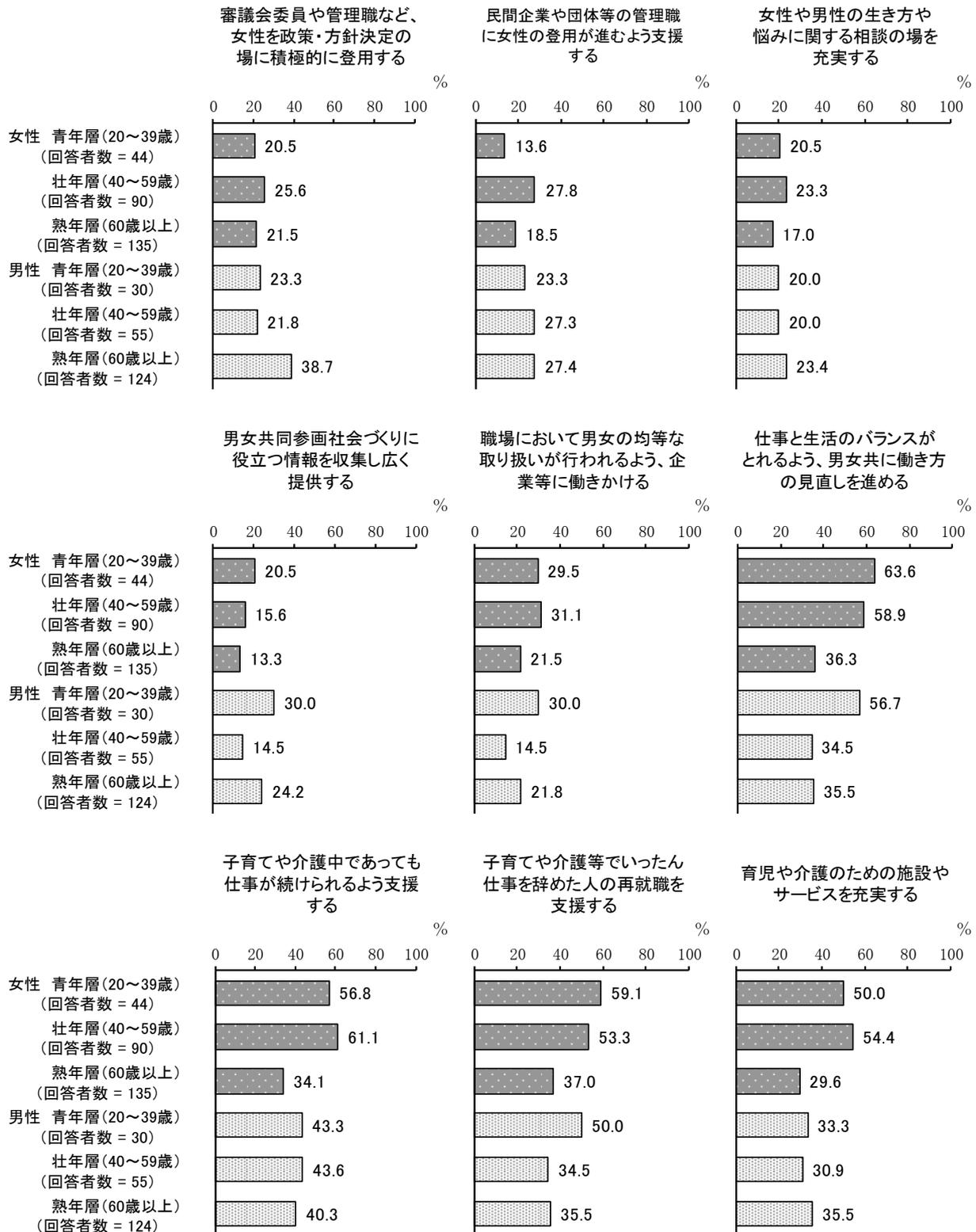
性別でみると、男性に比べ、女性で「仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める」「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」「育児や介護のための施設やサービスを充実する」「学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する」「女性に対するあらゆる暴力の防止や被害者への支援を充実する」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する」「民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する」「男女共同参画社会づくりに役立つ情報を収集し広く提供する」の割合が高くなっています。

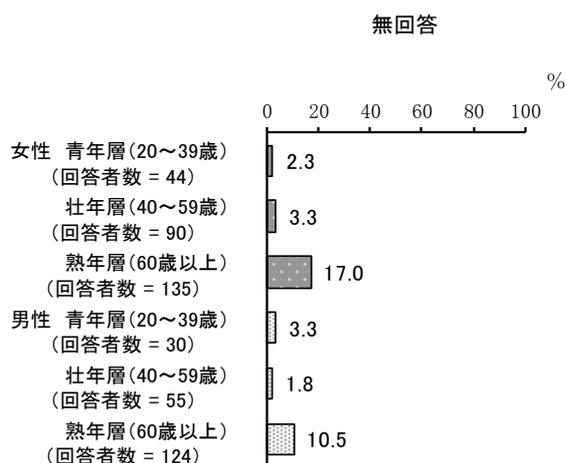
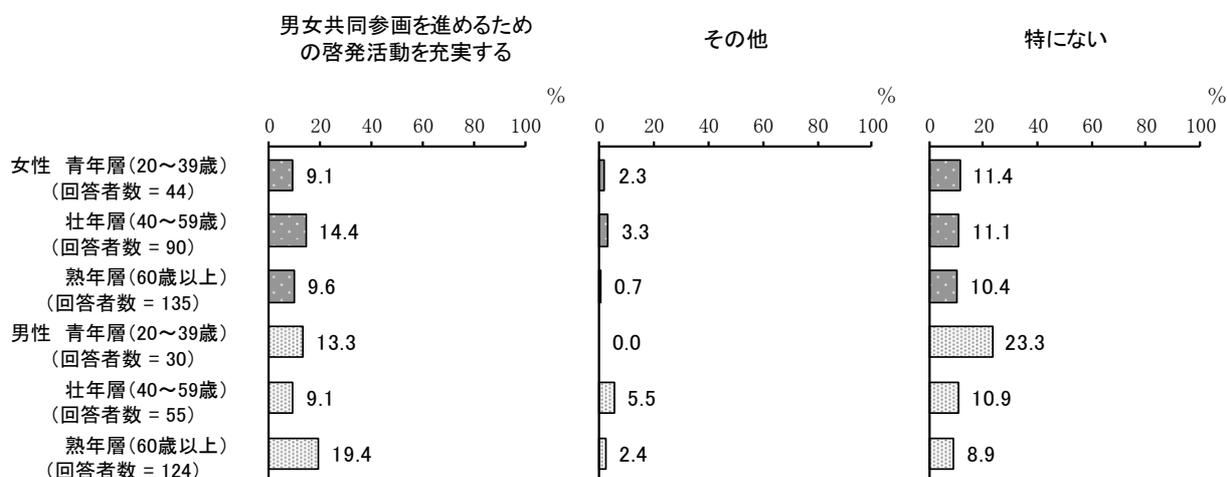
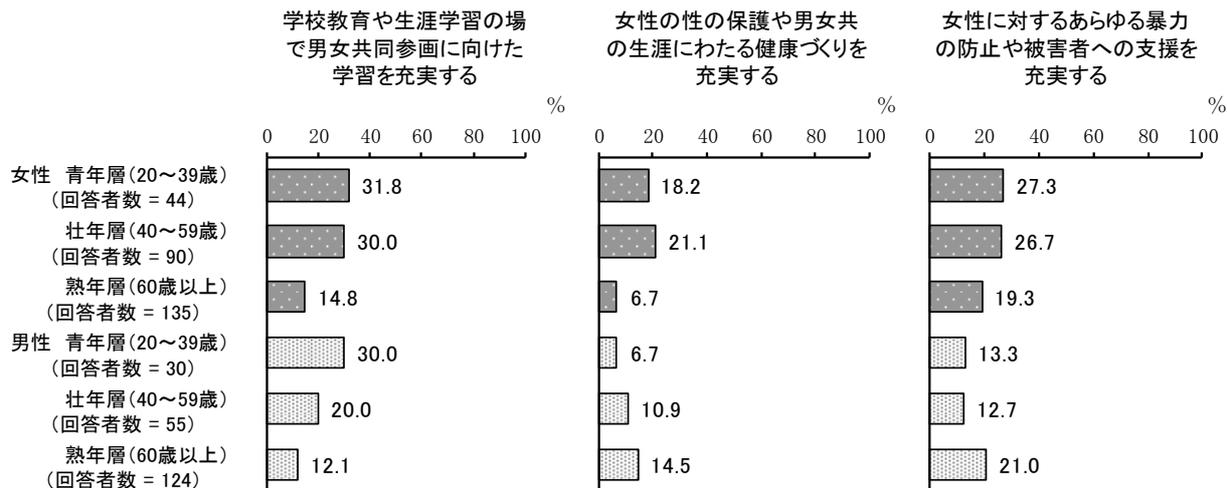


問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

【性・年齢層別】

性・年齢層別でみると、他に比べ、女性、男性ともに青年層で「仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める」の割合が高くなっています。また、女性の壮年層で「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が高くなっています。





問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

【性・職業別】

性・職業別でみると、他に比べ、女性の正規雇用、男性の自営業で「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が高くなっています。また、男性の自営業で「審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する	民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する	男女共同参画社会づくりに役立つ情報を収集し広く提供する	職場において男女の均等な取り扱いが行われるよう、企業等に働きかける	仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
女性 自営業	15	20.0	26.7	13.3	6.7	13.3	60.0	46.7	60.0
正規雇用	40	30.0	27.5	25.0	17.5	40.0	62.5	70.0	65.0
非正規雇用	77	19.5	15.6	20.8	18.2	27.3	58.4	50.6	49.4
専業主婦・主夫	65	27.7	24.6	18.5	13.8	20.0	50.8	43.1	40.0
学生・無職	67	19.4	19.4	17.9	14.9	25.4	28.4	35.8	34.3
男性 自営業	22	54.5	27.3	31.8	27.3	22.7	40.9	54.5	45.5
正規雇用	68	23.5	29.4	19.1	25.0	17.6	45.6	41.2	42.6
非正規雇用	43	27.9	18.6	20.9	25.6	20.9	32.6	44.2	27.9
専業主婦・主夫	9	22.2	11.1	33.3	22.2	22.2	33.3	55.6	22.2
学生・無職	60	35.0	28.3	18.3	15.0	23.3	35.0	38.3	40.0

区分	育児や介護のための施設やサービスを充実する	学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する	女性の性の保護や男女共の生涯にわたる健康づくりを充実する	女性に対するあらゆる暴力の防止や被害者への支援を充実する	男女共同参画を進めるための啓発活動を充実する	その他	特にない	無回答
女性 自営業	40.0	26.7	13.3	13.3	13.3	—	6.7	6.7
正規雇用	65.0	40.0	27.5	22.5	17.5	2.5	2.5	2.5
非正規雇用	42.9	23.4	14.3	35.1	11.7	2.6	13.0	2.6
専業主婦・主夫	43.1	18.5	10.8	20.0	7.7	—	9.2	10.8
学生・無職	25.4	16.4	7.5	16.4	9.0	3.0	14.9	20.9
男性 自営業	45.5	9.1	18.2	36.4	4.5	4.5	4.5	—
正規雇用	35.3	23.5	11.8	13.2	19.1	4.4	11.8	2.9
非正規雇用	32.6	16.3	14.0	14.0	14.0	—	9.3	11.6
専業主婦・主夫	44.4	11.1	11.1	—	—	—	11.1	11.1
学生・無職	28.3	13.3	10.0	20.0	18.3	1.7	15.0	10.0

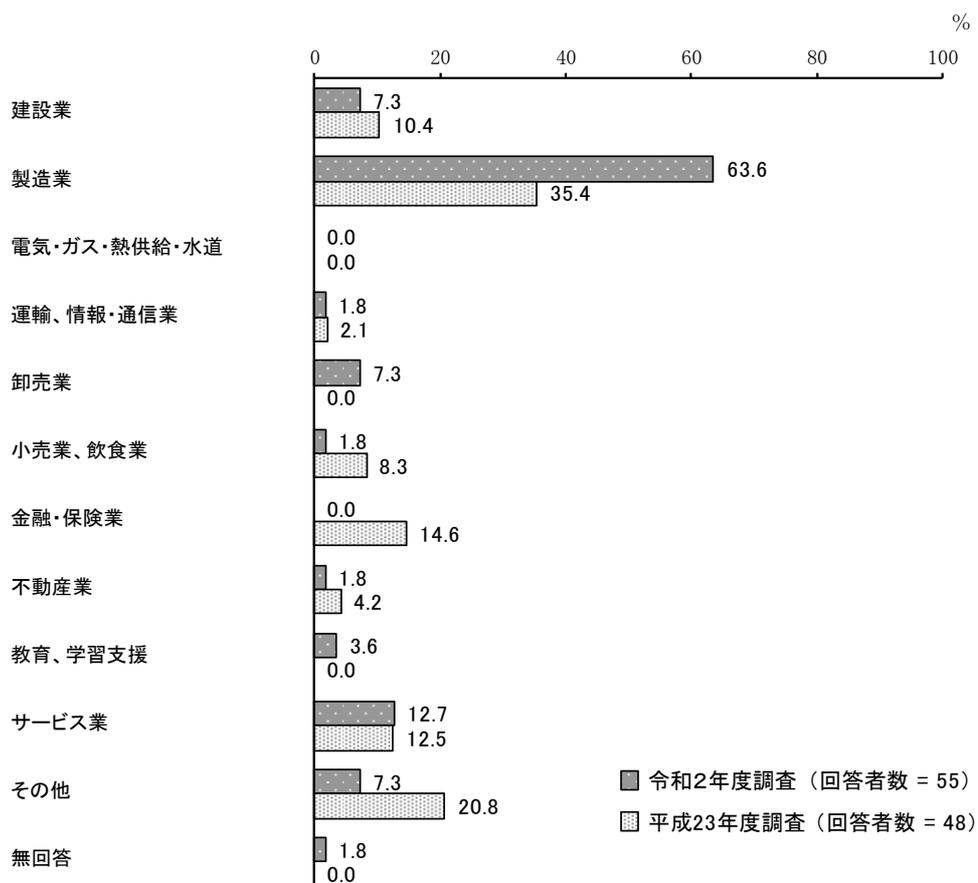
4 事業所調査

(1) 回答者属性

問1 貴社（事業所）の業種をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

「製造業」の割合が63.6%と最も高く、次いで「サービス業」の割合が12.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「製造業」「卸売業」の割合が高くなっています。一方、「小売業、飲食業」「金融・保険業」の割合が低くなっています。

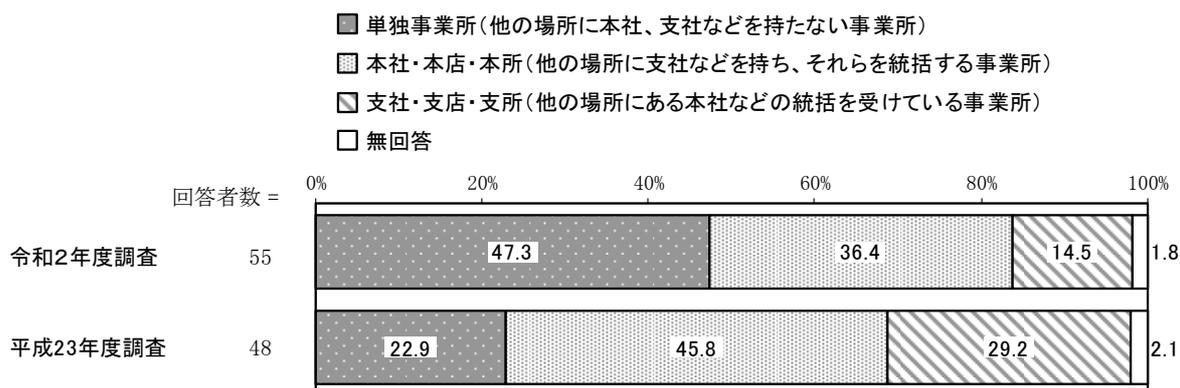


※「電気・ガス・熱供給・水道」「金融・保険業」と回答した企業は0件だったため、以下の集計では除外しています。

問2 貴社（事業所）《本調査票の送付先》は、組織上次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

「単独事業所（他の場所に本社、支社などを持たない事業所）」の割合が47.3%と最も高く、次いで「本社・本店・本所（他の場所に支社などをもち、それらを統括する事業所）」の割合が36.4%、「支社・支店・支所（他の場所にある本社などの統括を受けている事業所）」の割合が14.5%となっています。

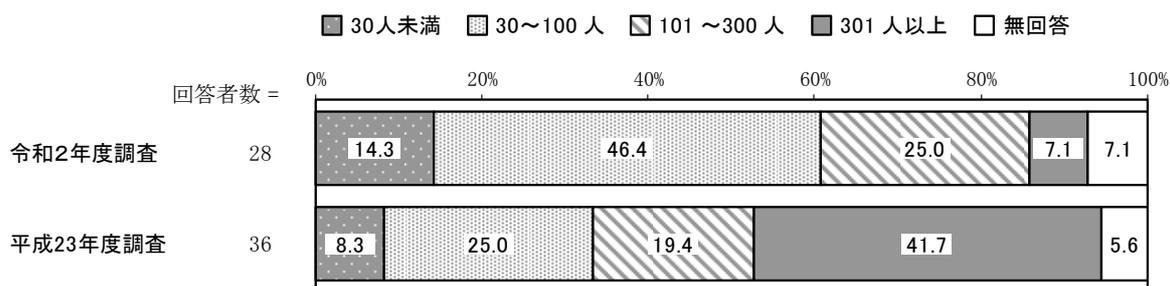
平成23年度調査と比較すると、「単独事業所（他の場所に本社、支社などを持たない事業所）」の割合が高くなっています。一方、「本社・本店・本所」「支社・支店・支所」の割合が低くなっています。



問2-1 問2で「本社・本店・本所」または「支社・支店・支所」を回答された方におうかがいします。貴社全体の従業員数（常時雇用者）は何人ですか。（1つに○）

「30～100人」の割合が46.4%と最も高く、次いで「101～300人」の割合が25.0%、「30人未満」の割合が14.3%となっています。

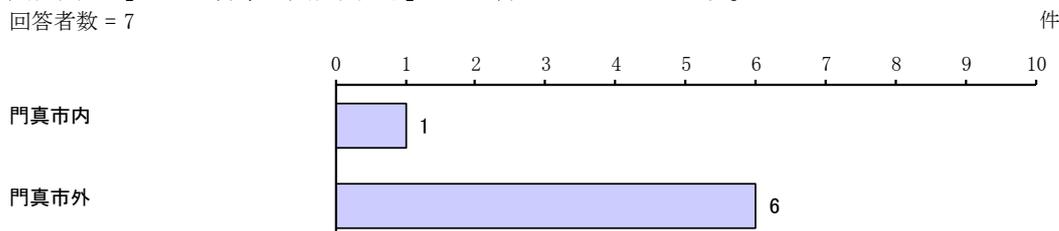
平成23年度調査と比較すると、「30人未満」「30～100人」「101～300人」の割合が高くなっています。一方、「301人以上」の割合が低くなっています。



問2-2 問2で「支社・支店・支所」を回答された方におうかがいします。本社の所在地はどちらですか。（どちらかに○）

「門真市内」が1件、「門真市外」が6件となっています。

回答者数 = 7



問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

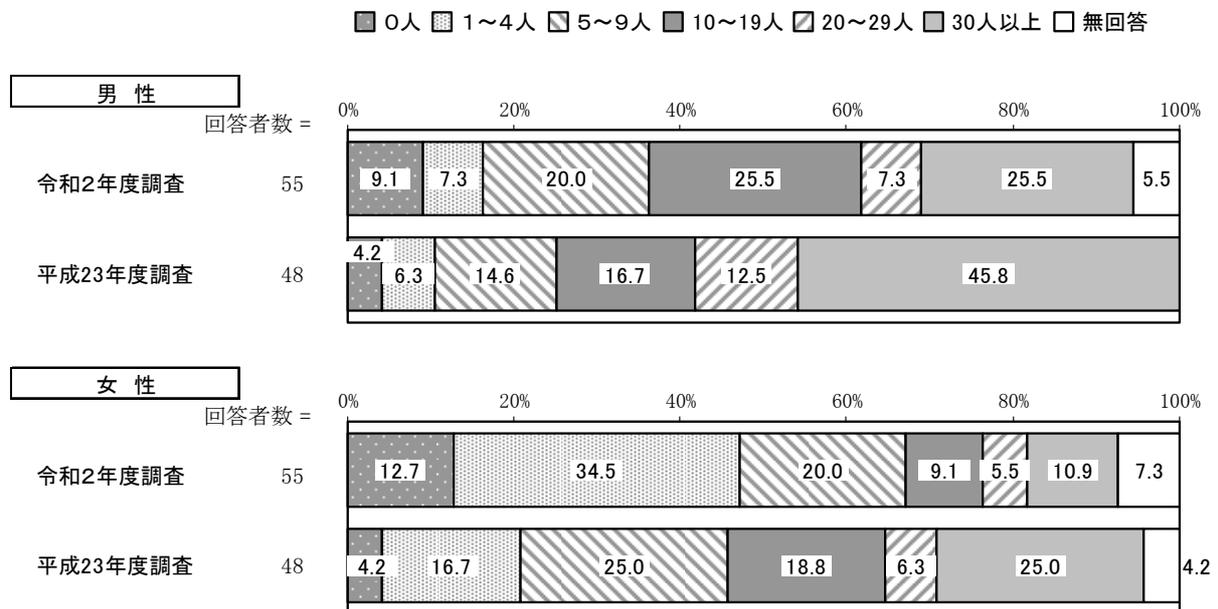
(1) 正規従業員数

男性では、「10～19人」「30人以上」の割合が25.5%と最も高く、次いで「5～9人」の割合が20.0%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「5～9人」「10～19人」の割合が高くなっています。一方、「20～29人」「30人以上」の割合が低くなっています。

女性では、「1～4人」の割合が34.5%と最も高く、次いで「5～9人」の割合が20.0%、「0人」の割合が12.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0人」「1～4人」の割合が高くなっています。一方、「5～9人」「10～19人」「30人以上」の割合が低くなっています。



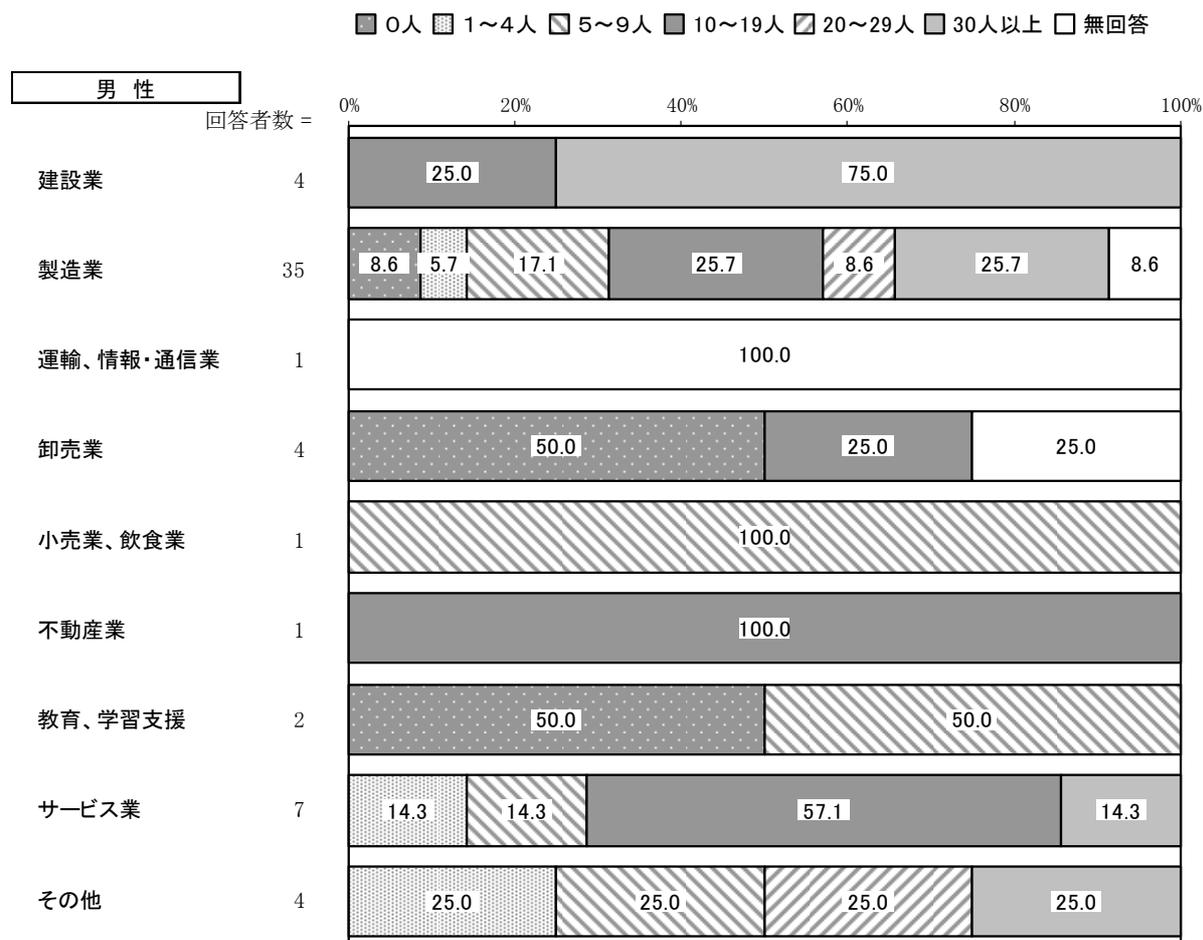
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(1) 正規従業員数

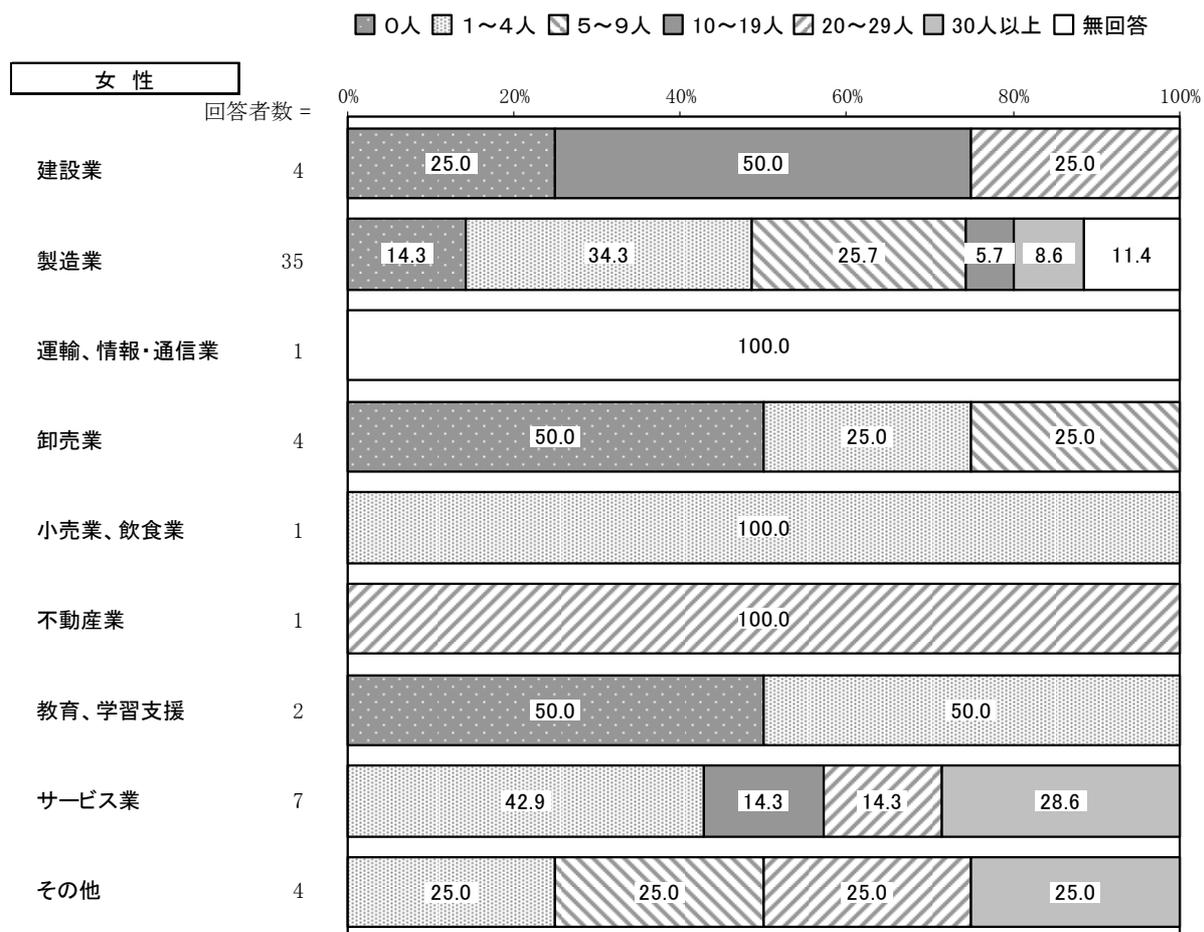
【業種別】

業種別でみると、他に比べ、男性では、製造業で「30人以上」の割合が高くなっています。また、サービス業で「1～4人」「10～19人」の割合が高くなっています。

一方、女性では、製造業で「0人」「5～9人」の割合が、サービス業で「1～4人」「10～19人」「20～29人」「30人以上」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

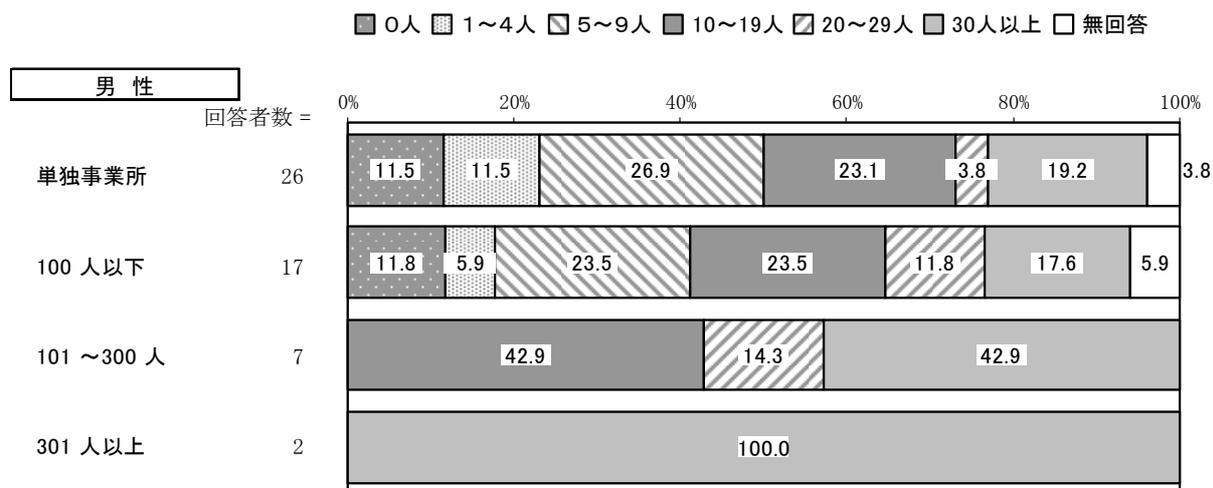
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(1) 正規従業員数

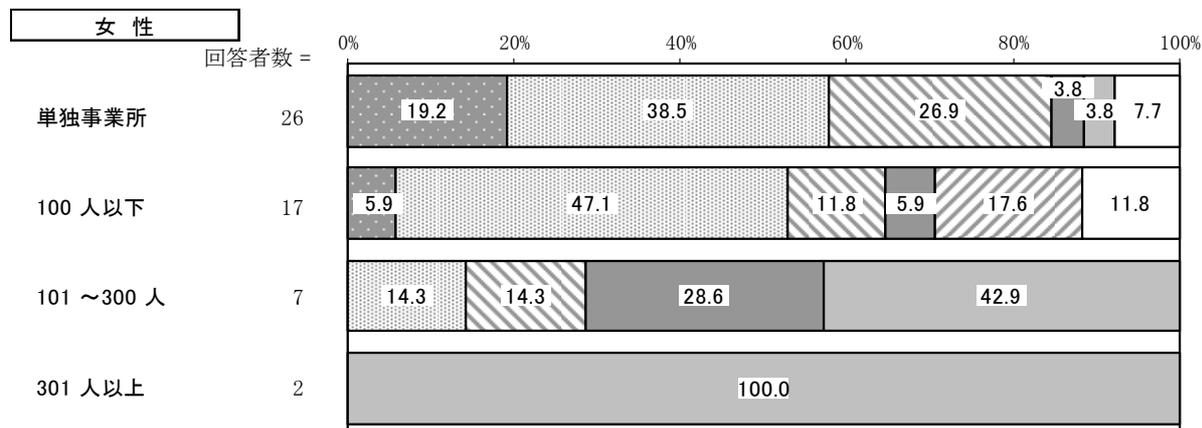
【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、男性では、単独事業所で「1～4人」の割合が、100人以下で「30人以上」の割合が高くなっています。

女性では、単独事業所で「0人」「5～9人」の割合が高くなっています。また、100人以下で「1～4人」「20～29人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

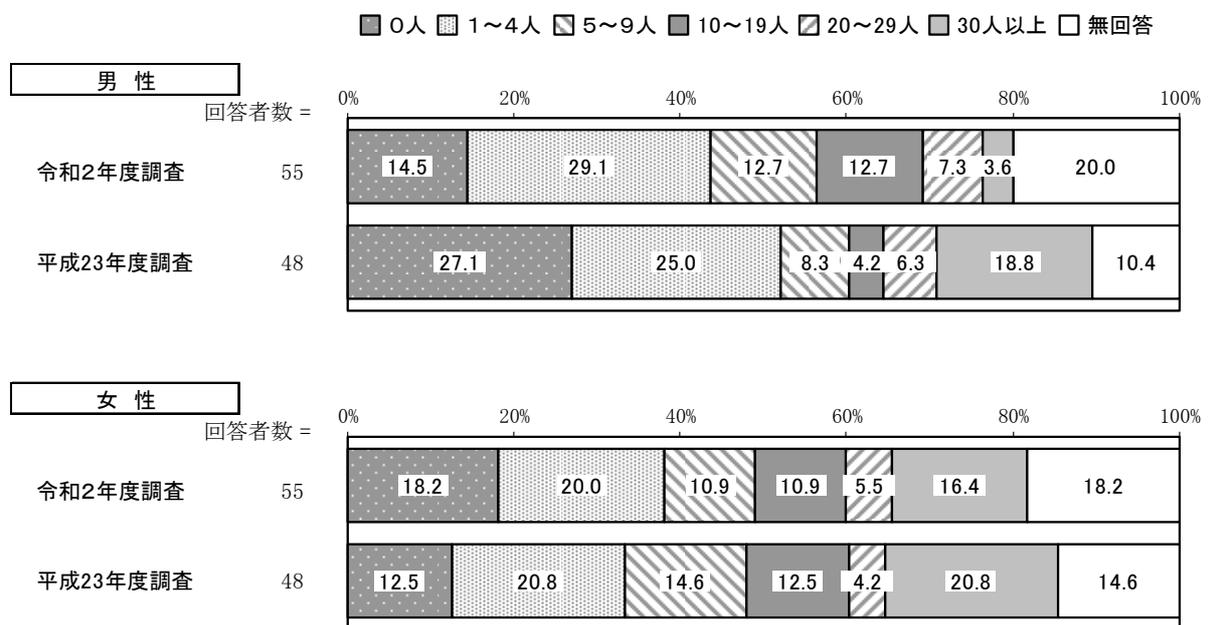
(2) パート・アルバイト・派遣等の臨時従業員

男性では、「1～4人」の割合が29.1%と最も高く、次いで「0人」の割合が14.5%、「5～9人」「10～19人」の割合が12.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「10～19人」の割合が高くなっています。一方、「0人」「30人以上」の割合が低くなっています。

女性では、「1～4人」の割合が20.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が18.2%、「30人以上」の割合が16.4%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0人」の割合が高くなっています。



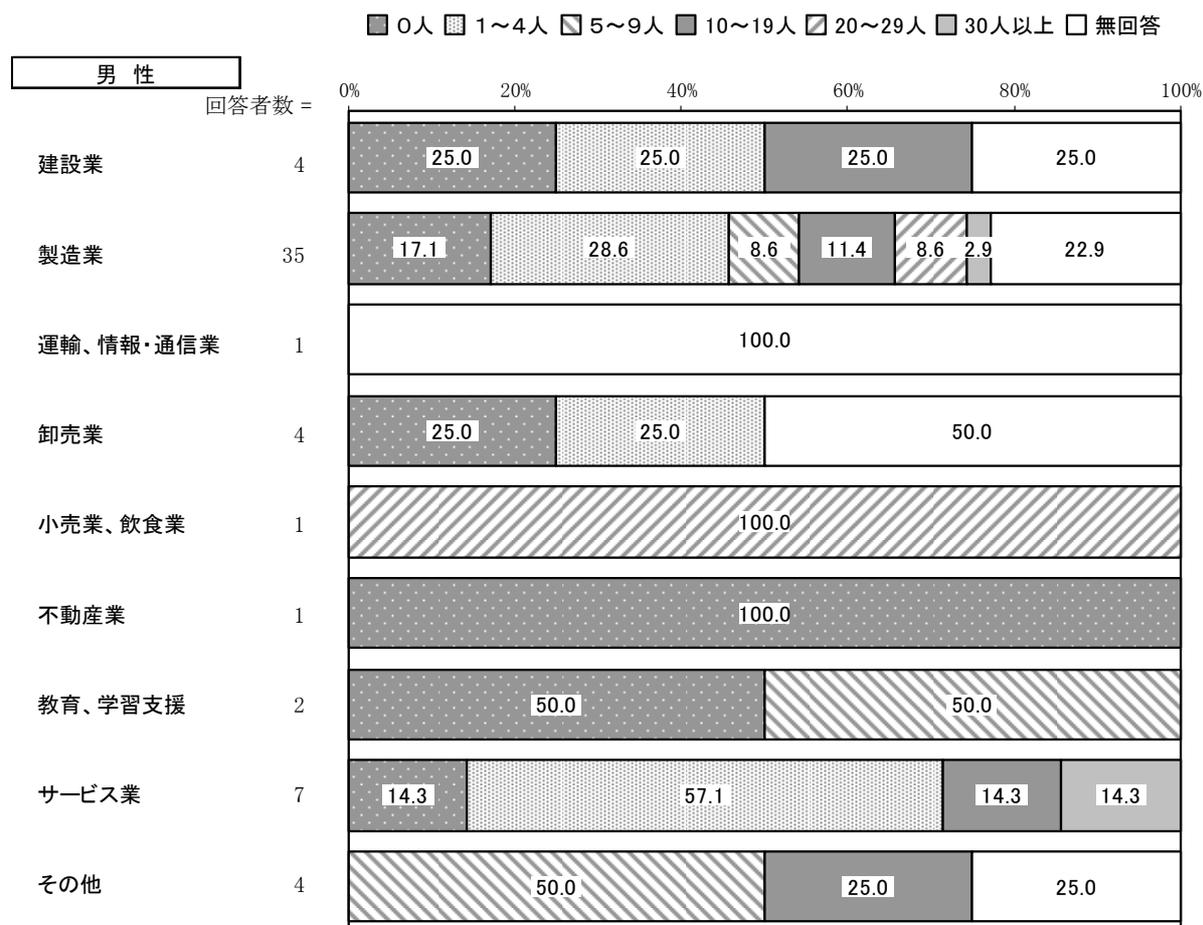
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(2) パート・アルバイト・派遣等の臨時従業員

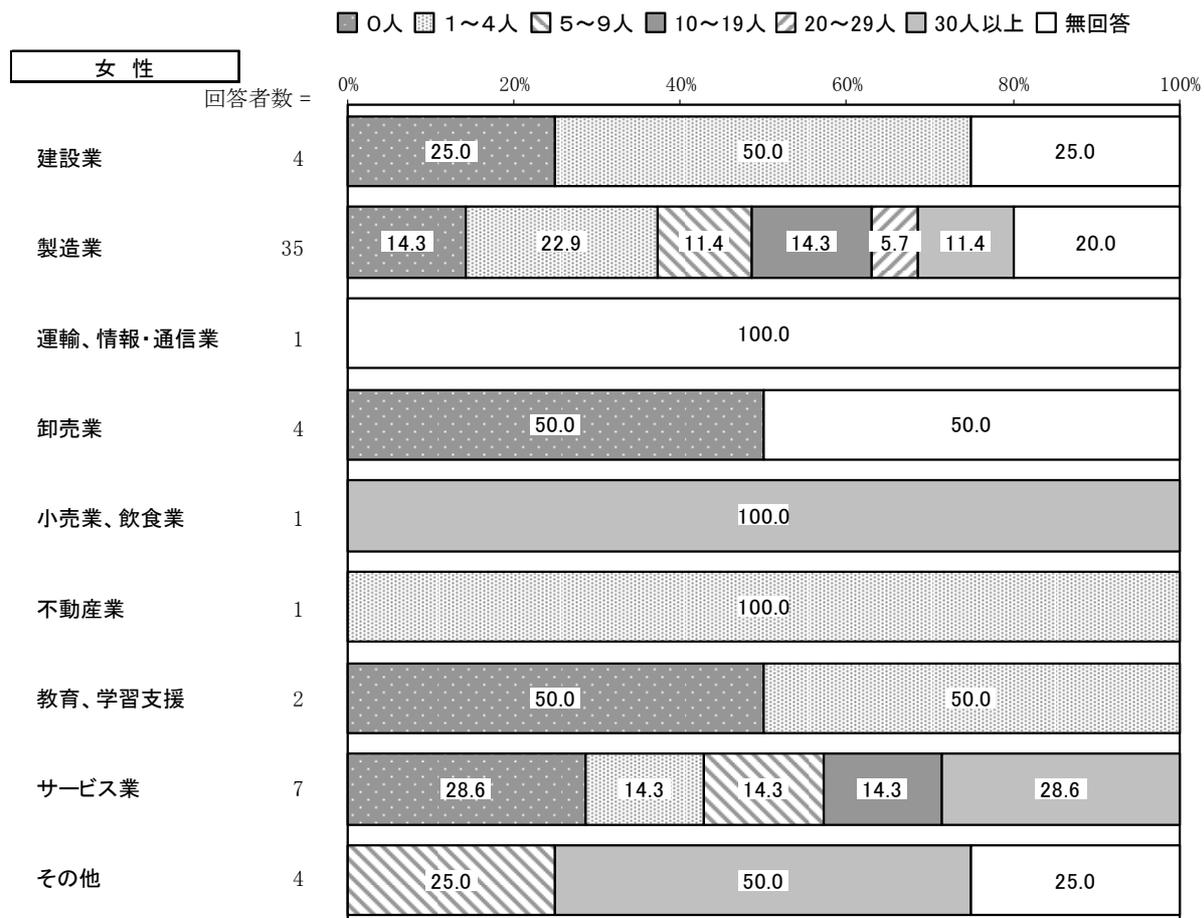
【業種別】

業種別でみると、他に比べ、男性では、サービス業で「1～4人」「30人以上」の割合が高くなっています。

女性では、サービス業で「0人」「30人以上」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

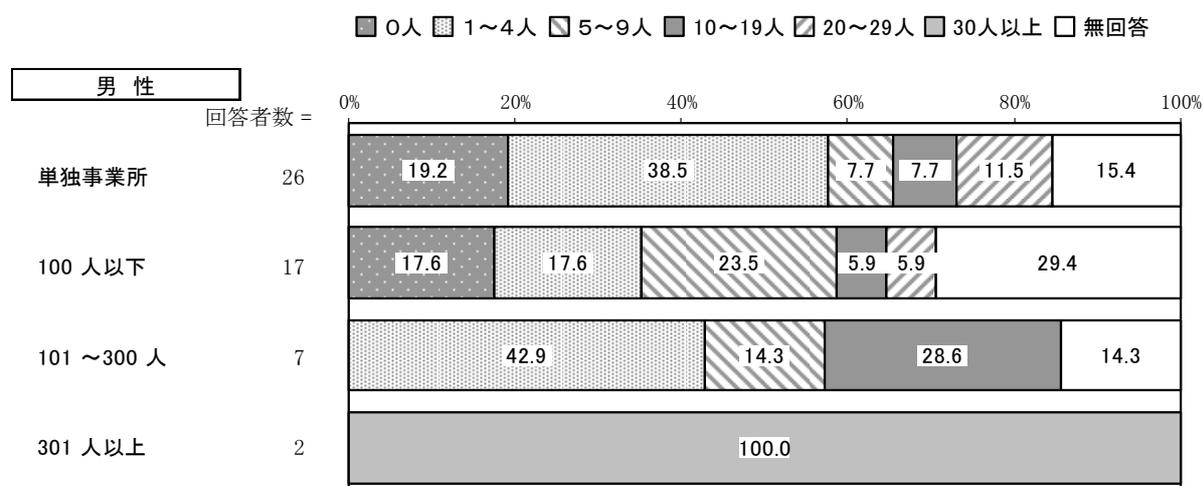
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(2) パート・アルバイト・派遣等の臨時従業員

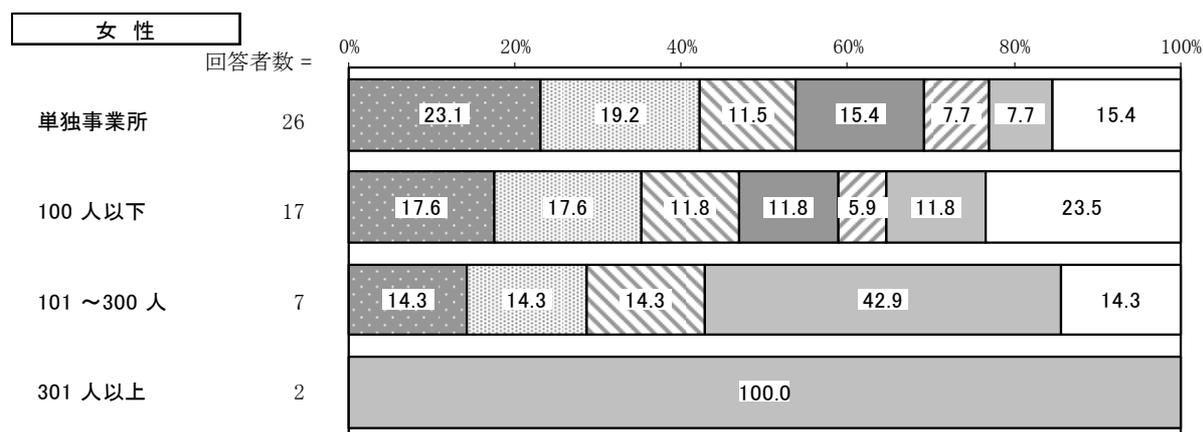
【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、男性では、単独事業所、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「1～4人」「10～19人」の割合が高くなっています。

女性では、単独事業所で「0人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「30人以上」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

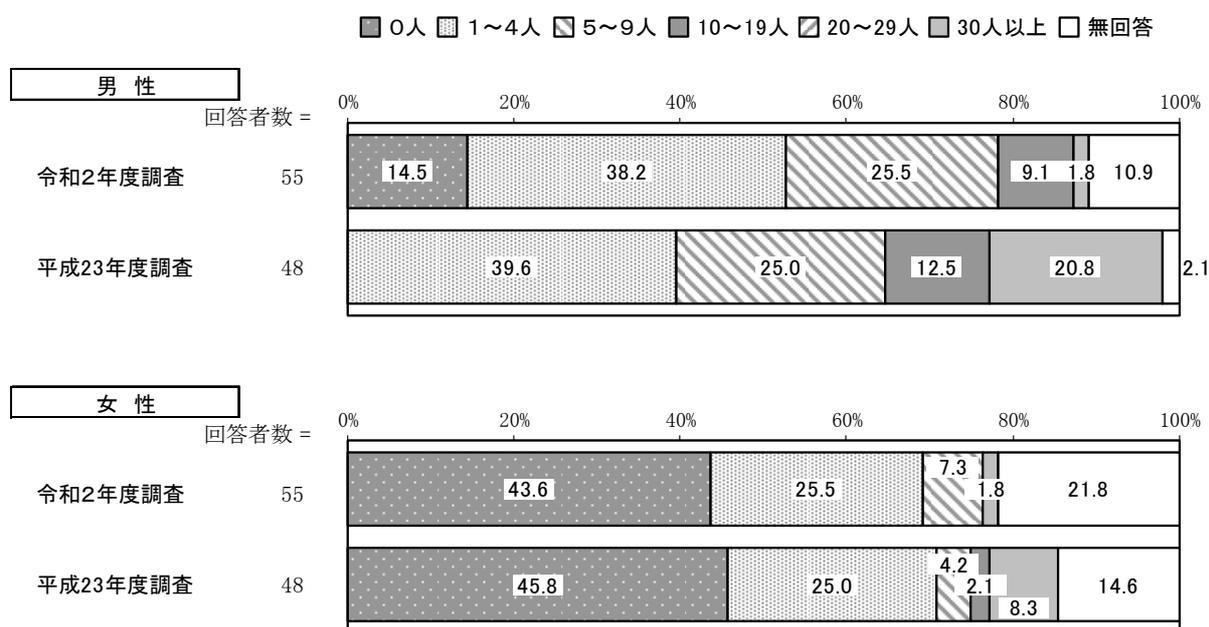
(3) 管理職数

男性では、「1～4人」の割合が38.2%と最も高く、次いで「5～9人」の割合が25.5%、「0人」の割合が14.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0人」の割合が高くなっています。一方、「30人以上」の割合が低くなっています。

女性では、「0人」の割合が43.6%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が25.5%、「5～9人」の割合が7.3%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「30人以上」の割合が低くなっています。



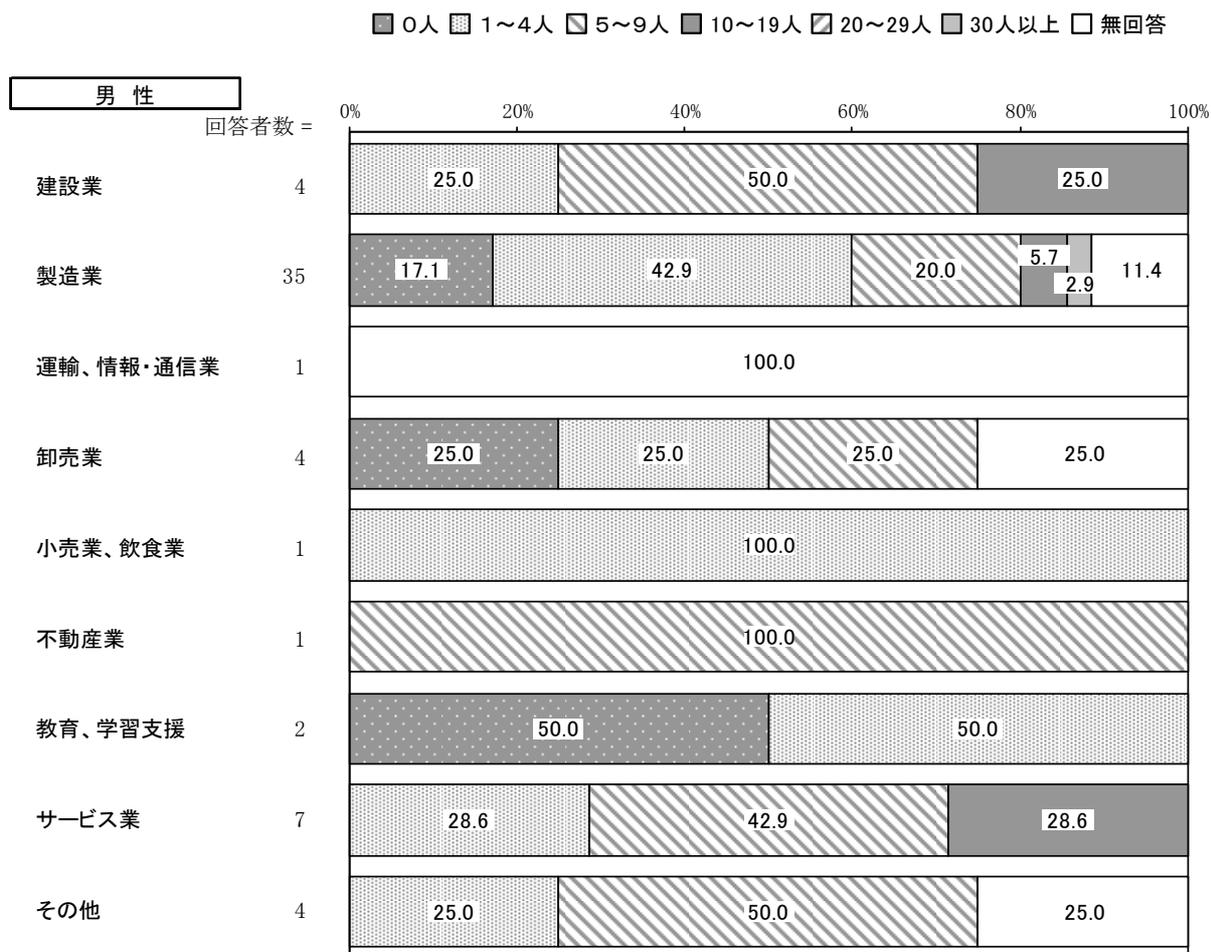
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(3) 管理職数

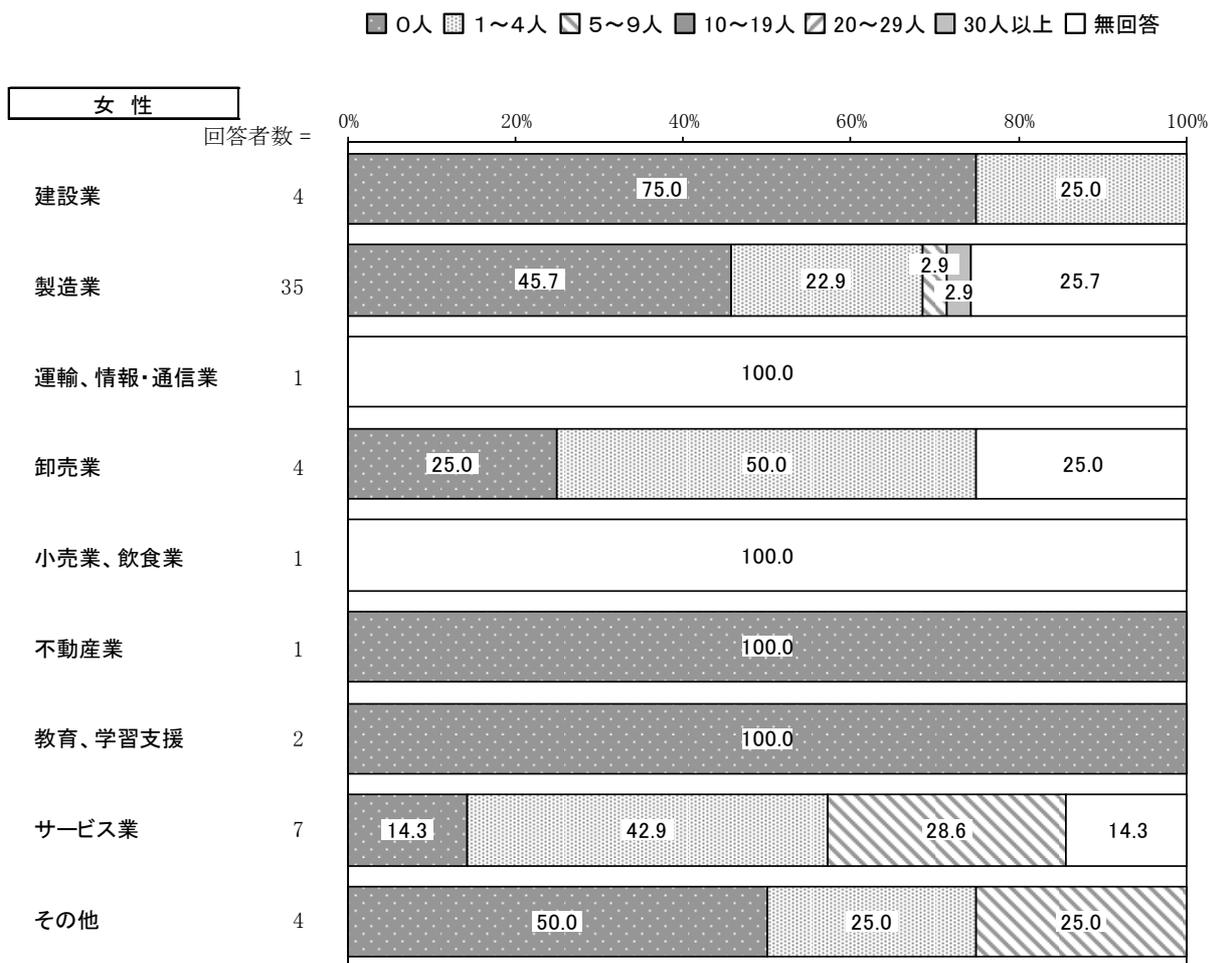
【業種別】

業種別で見ると、他に比べ、男性では、サービス業で「5～9人」「10～19人」の割合が高くなっています。また、製造業で「1～4人」の割合が高くなっています。

女性では、製造業で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

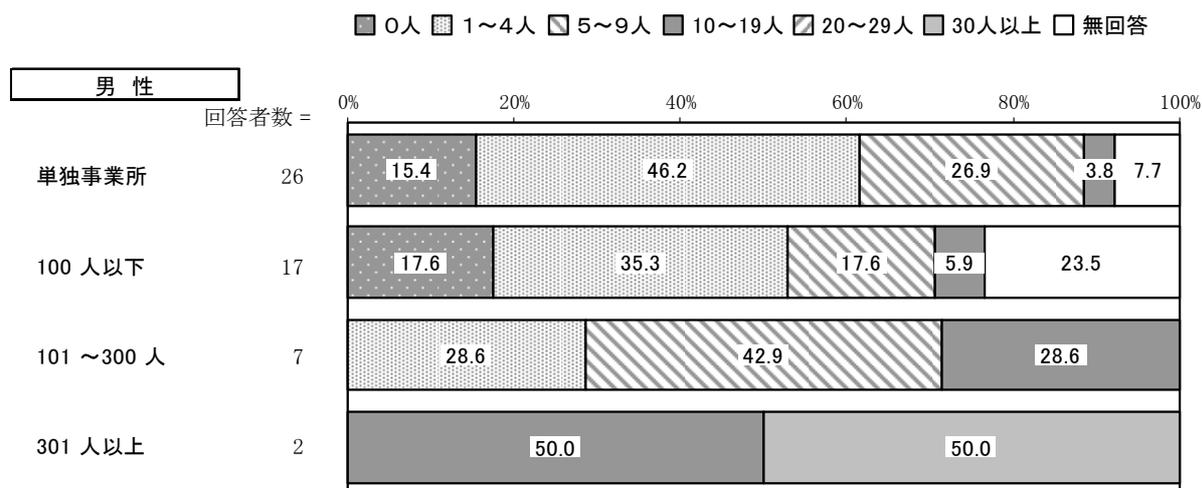
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(3) 管理職数

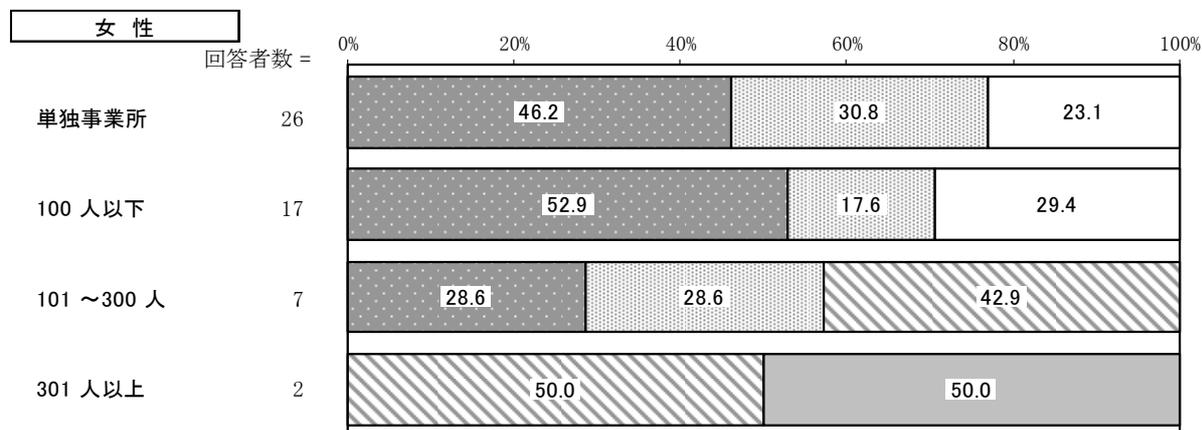
【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、男性では、単独事業所で「1～4人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「5～9人」「10～19人」の割合が高くなっています。

女性では、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「5～9人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

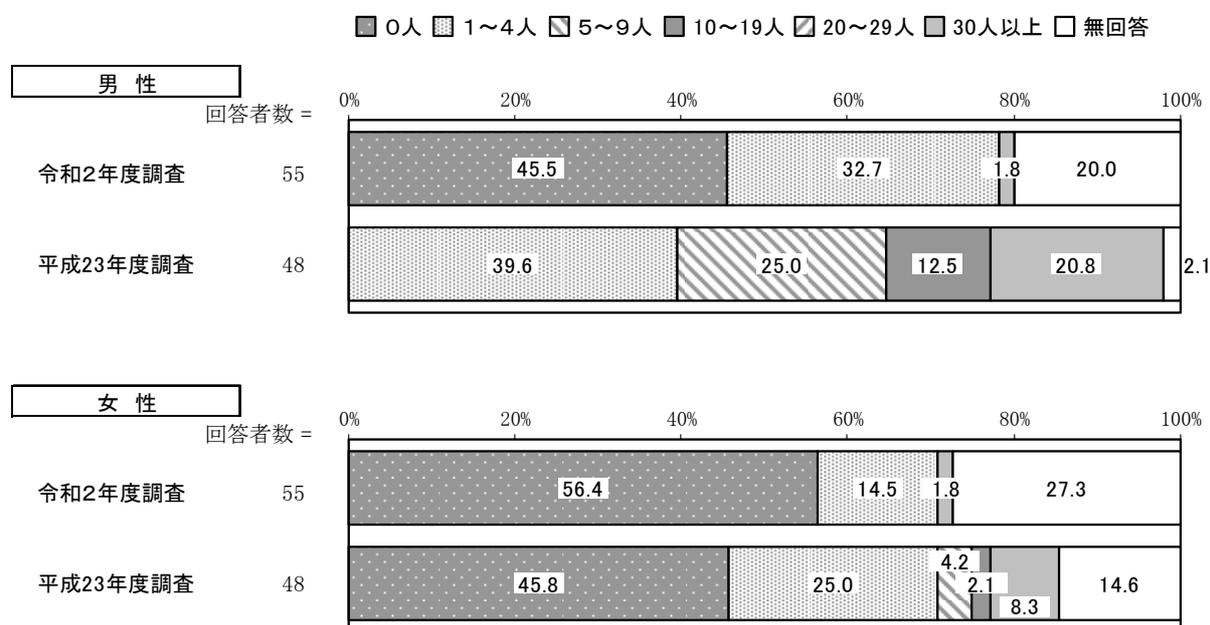
(4) 障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める）

男性では、「0人」の割合が45.5%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が32.7%、「30人以上」の割合が1.8%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0人」の割合が高くなっています。一方、「1～4人」「5～9人」「10～19人」「30人以上」の割合が低くなっています。

女性では、「0人」の割合が56.4%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が14.5%、「30人以上」の割合が1.8%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「0人」の割合が高くなっています。一方、「1～4人」「30人以上」の割合が低くなっています。



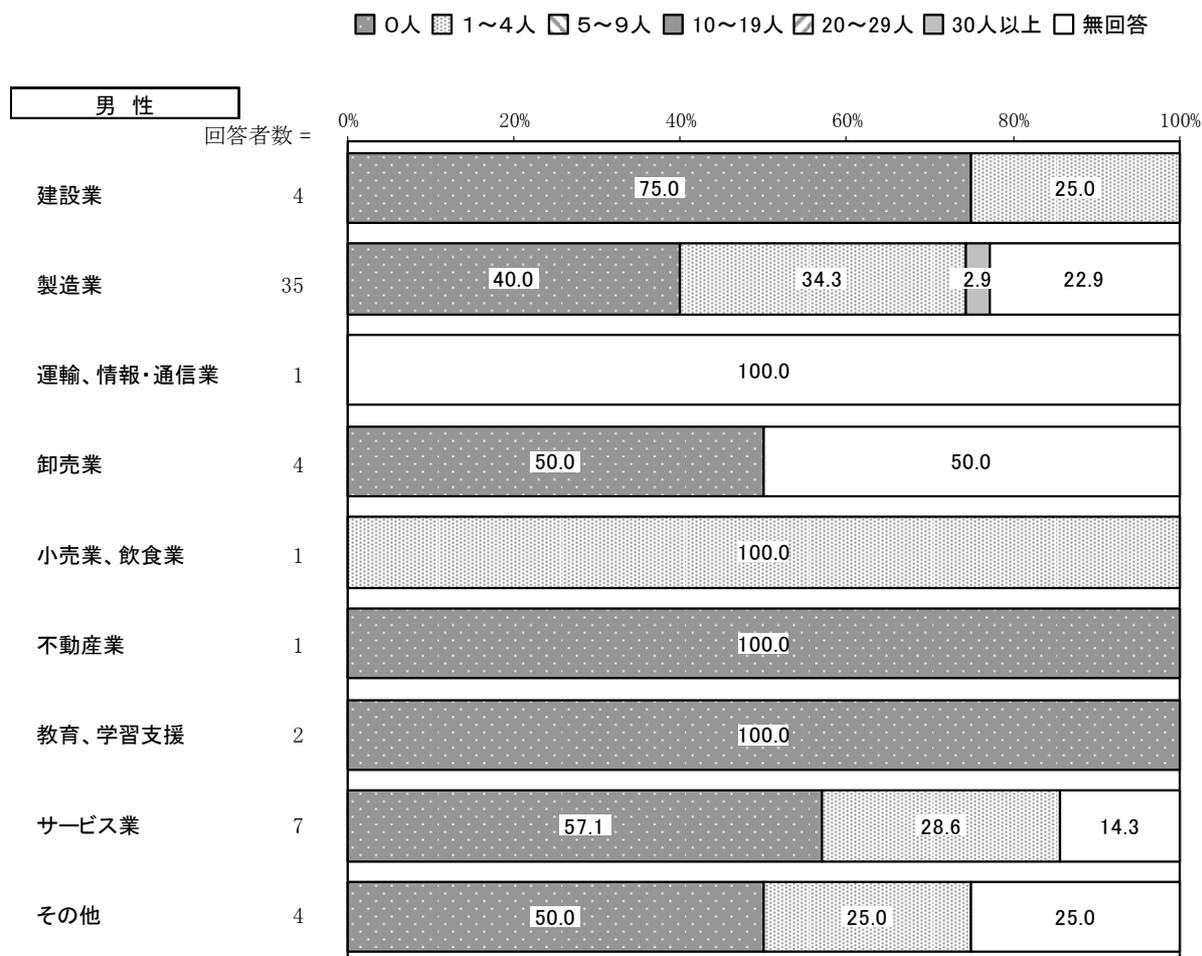
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

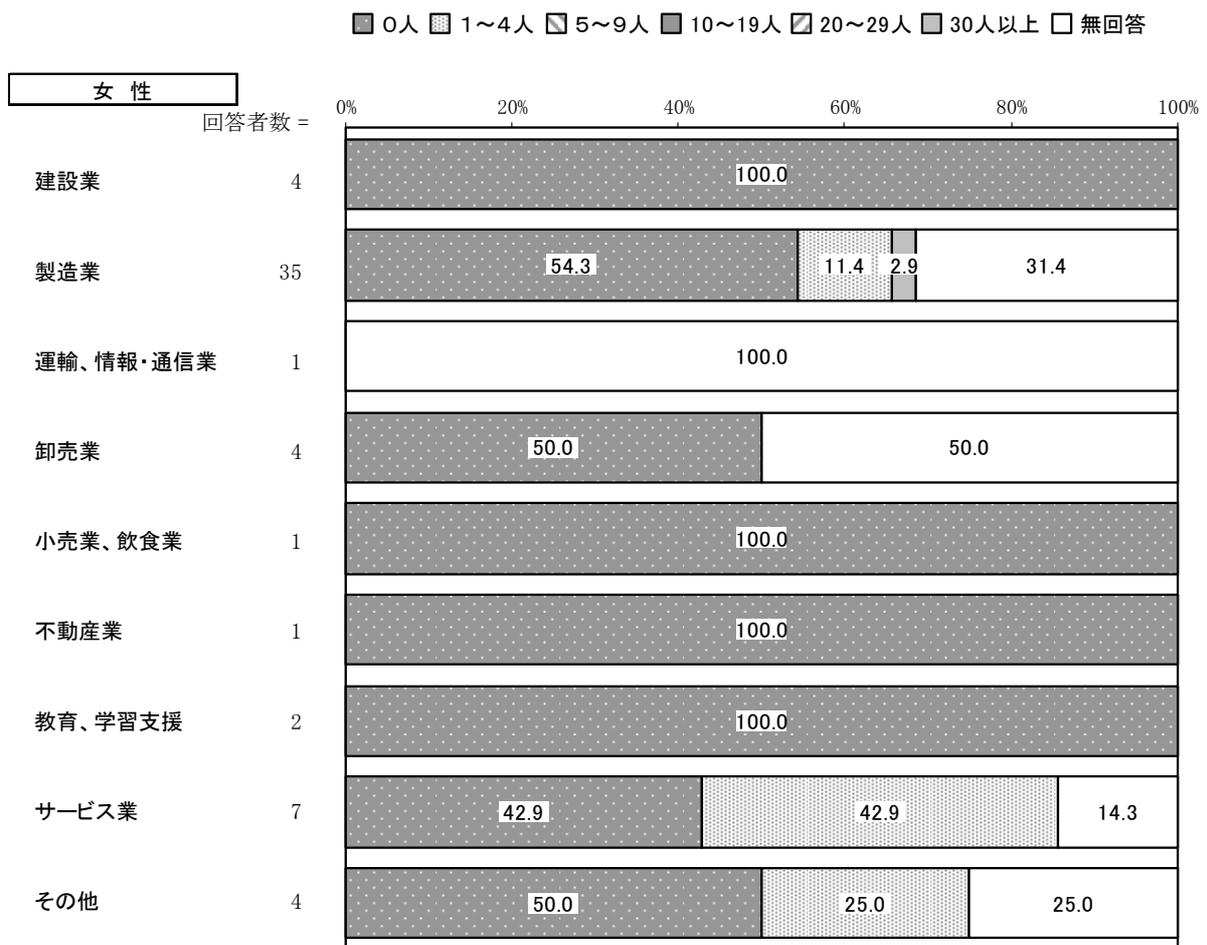
(4) 障害者雇用者数 (障害者雇用促進法で定める)

【業種別】

業種別でみると、他に比べ、男性では、サービス業で「0人」の割合が高くなっています。女性では、製造業で「0人」の割合が、サービス業で「1～4人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

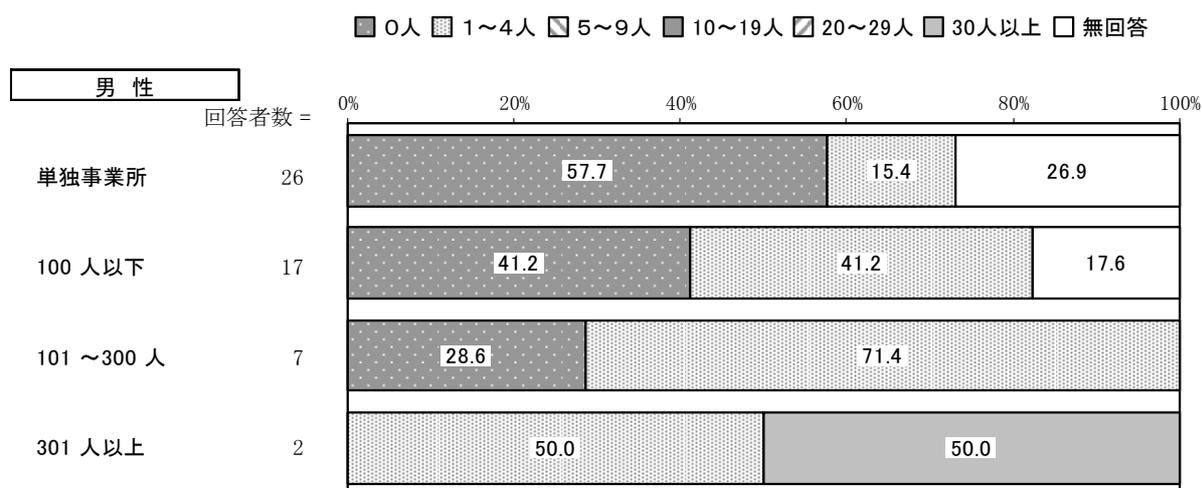
※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(4) 障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める）

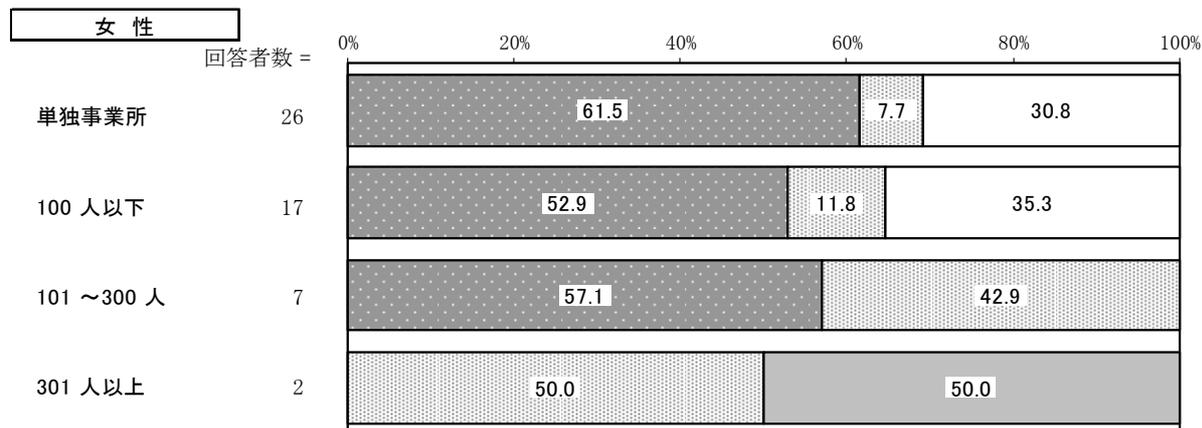
【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、男性では、単独事業所で「0人」の割合が高くなっています。

女性では、単独事業所で「0人」の割合が、101～300人で「1～4人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

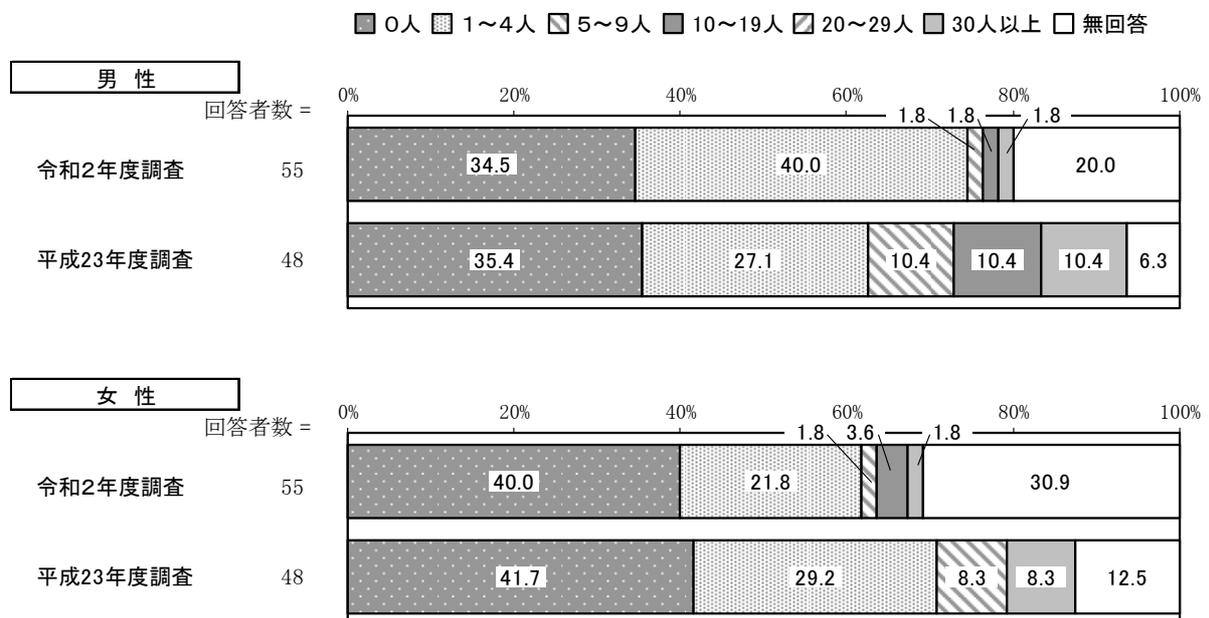
(5) 前年度（令和2年度）の新規採用者数（正規）

男性では、「1～4人」の割合が40.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が34.5%、「5～9人」の割合が1.8%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「1～4人」の割合が高くなっています。一方、「5～9人」「10～19人」「30人以上」の割合が低くなっています。

女性では、「0人」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が21.8%、「10～19人」の割合が3.6%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「1～4人」「5～9人」「30人以上」の割合が低くなっています。



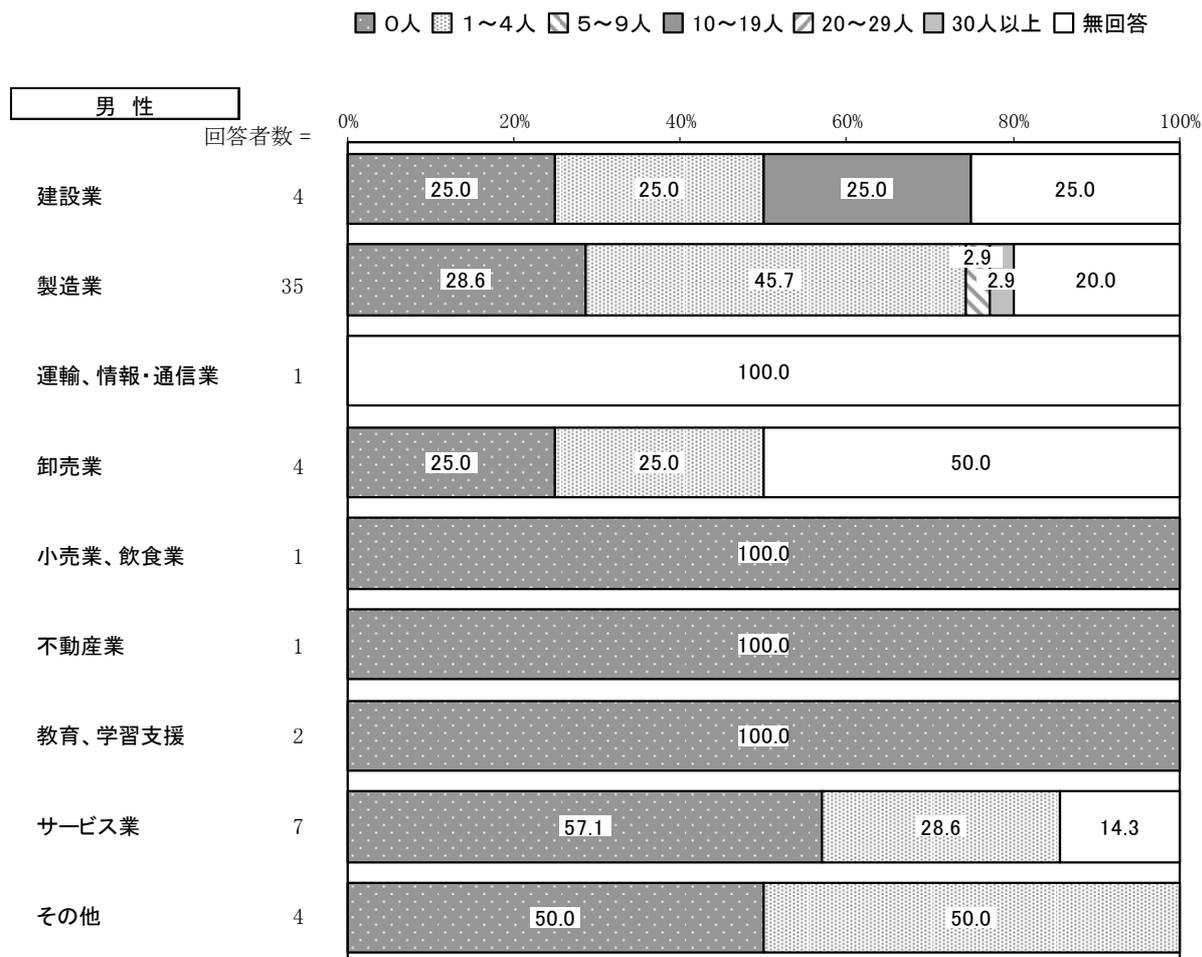
問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。
 ※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(5) 前年度（令和2年度）の新規採用者数（正規）

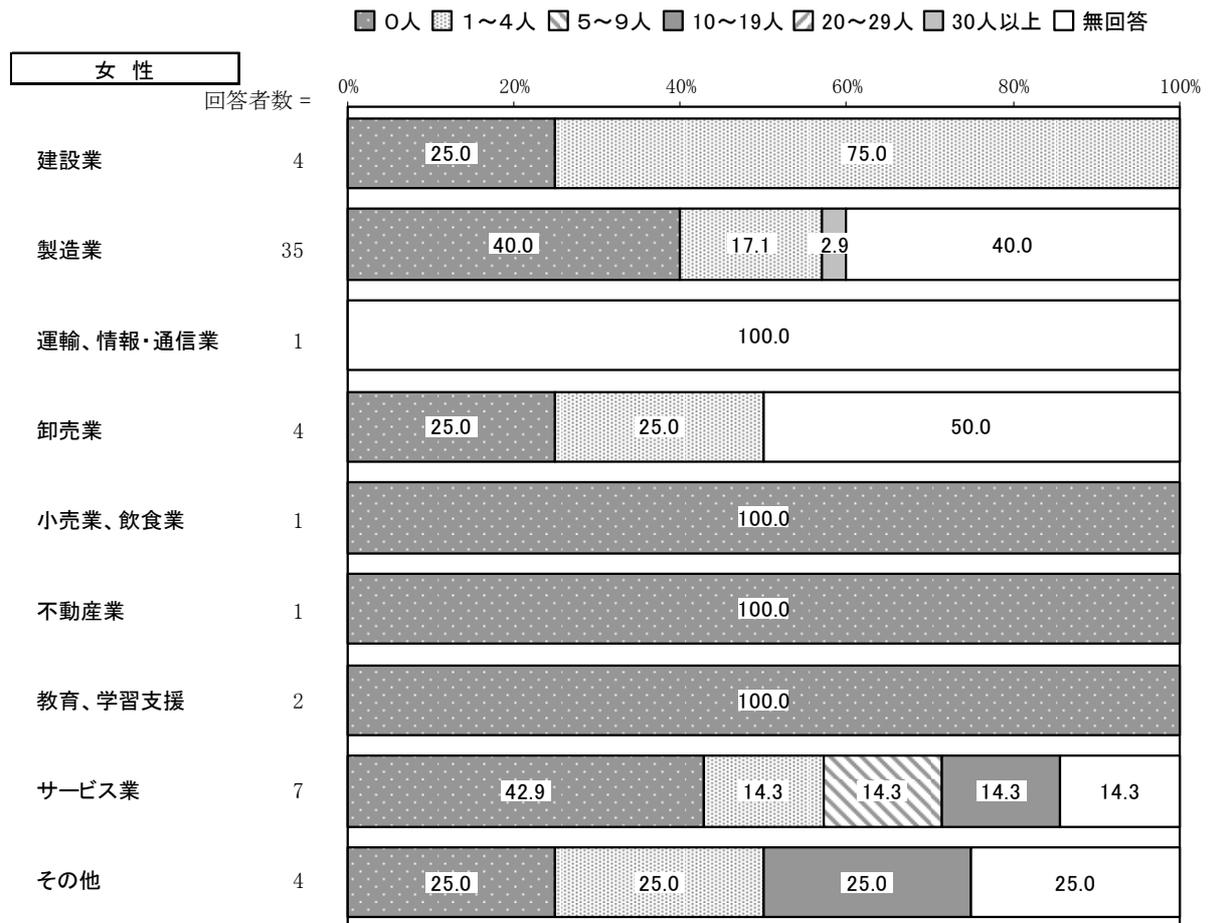
【業種別】

業種別でみると、他に比べ、男性では、サービス業で「0人」の割合が、製造業で「1～4人」の割合が高くなっています。

女性では、サービス業で「5～9人」「10～19人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

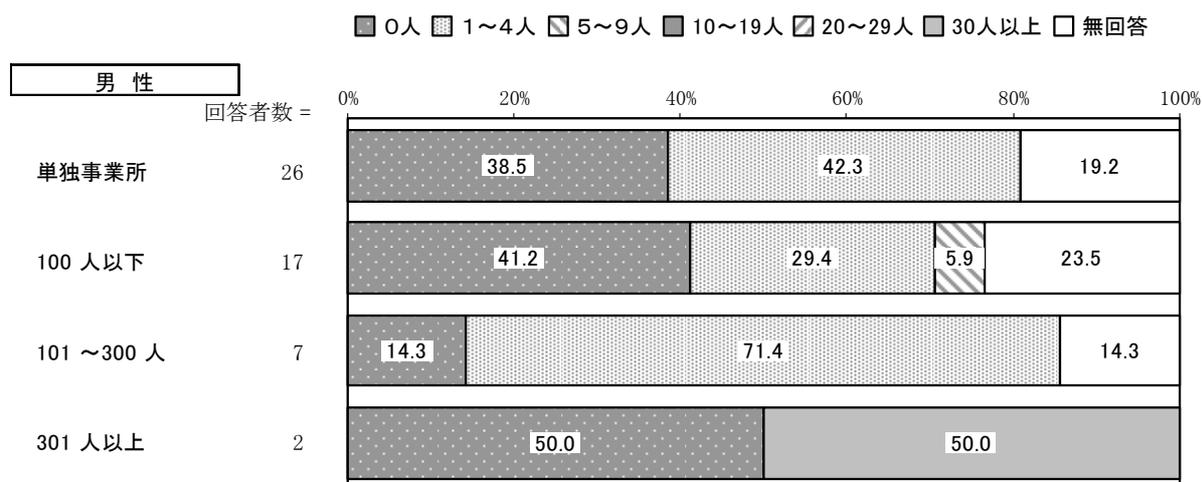
※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

(5) 前年度(令和2年度)の新規採用者数(正規)

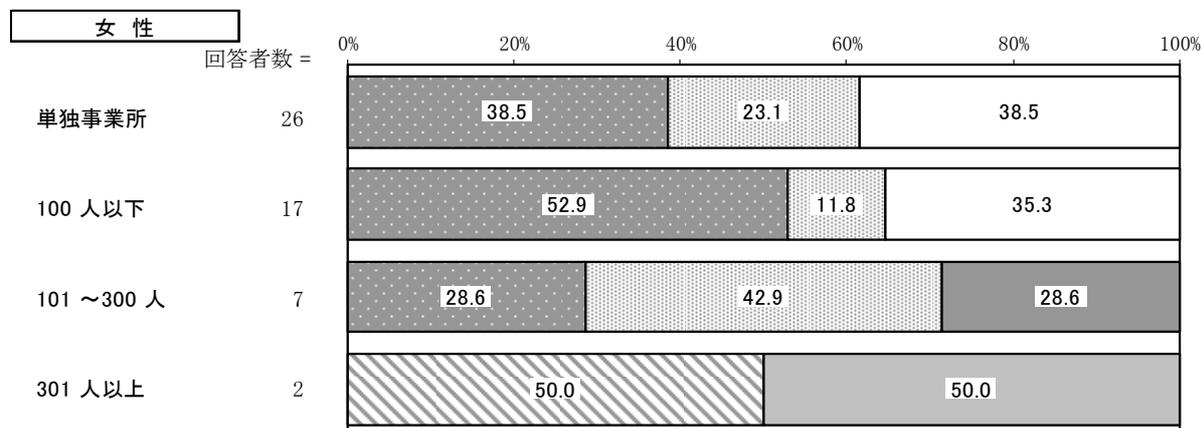
【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、男性では、101～300人で「1～4人」の割合が高くなっています。

女性では、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「1～4人」「10～19人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

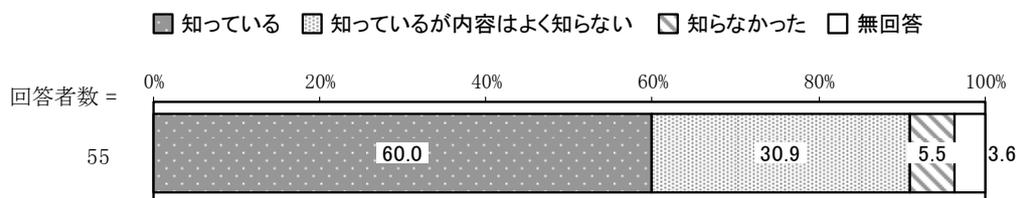


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

(2) 男女が働きやすい職場環境への取り組みについて

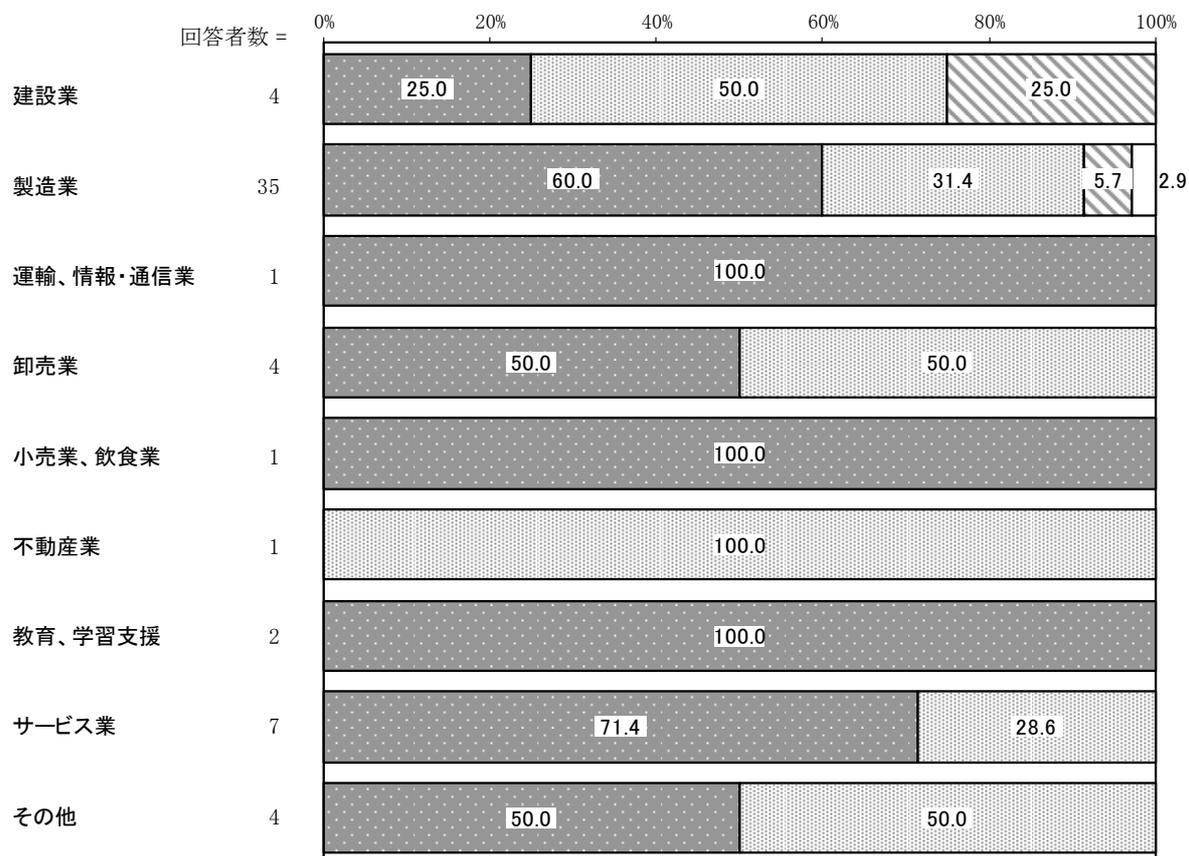
問4 令和2年6月から職場におけるハラスメント防止対策が強化され、パワーハラスメント措置が事業主の義務（注※中小事業主は令和4年4月1日から）になりましたが、ご存知でしたか。（1つに○）

「知っている」の割合が60.0%と最も高く、次いで「知っているが内容はよく知らない」の割合が30.9%となっています。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「知っている」の割合が高くなっています。

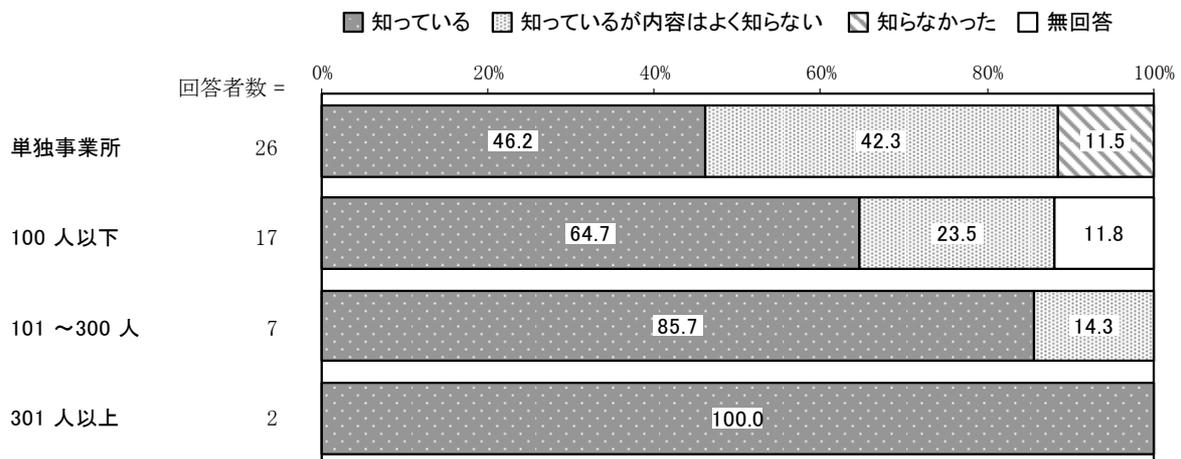


※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問4 令和2年6月から職場におけるハラスメント防止対策が強化され、パワーハラスメント措置が事業主の義務（注※中小事業主は令和4年4月1日から）になりましたが、ご存知でしたか。（1つに○）

【企業規模・従業員数別】

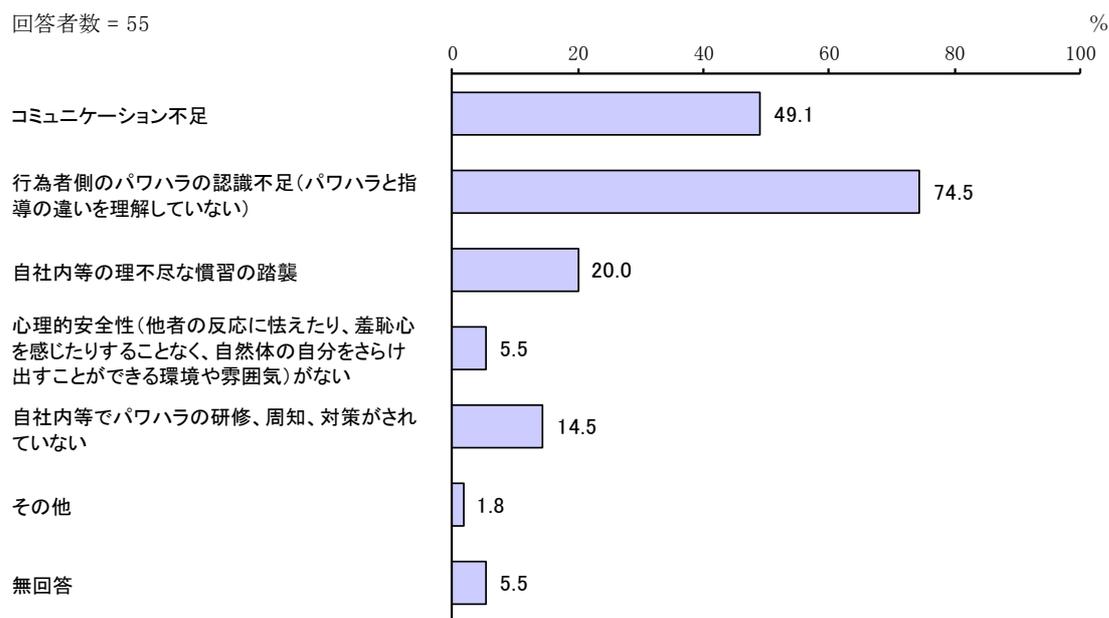
企業規模・従業員数別でみると、従業員数が多くなるにつれ「知っている」の割合が高く、少なくなるにつれ「知っているが内容はよく知らない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問5 パワーハラスメント（以降、「パワハラ」と記載）が発生する原因は何だと思いませんか。（主なもの2つまで）

「行為者側のパワハラの認識不足（パワハラと指導の違いを理解していない）」の割合が74.5%と最も高く、次いで「コミュニケーション不足」の割合が49.1%、「自社内等の理不尽な慣習の踏襲」の割合が20.0%となっています。



問5 パワーハラスメント（以降、「パワハラ」と記載）が発生する原因は何だと思えますか。（主なもの2つまで）

【業種別】

業種別でみると、他に比べ、製造業で「コミュニケーション不足」の割合が、サービス業で「行為者側のパワハラの認識不足（パワハラと指導の違いを理解していない）」の割合が高くなっています。

単位：%

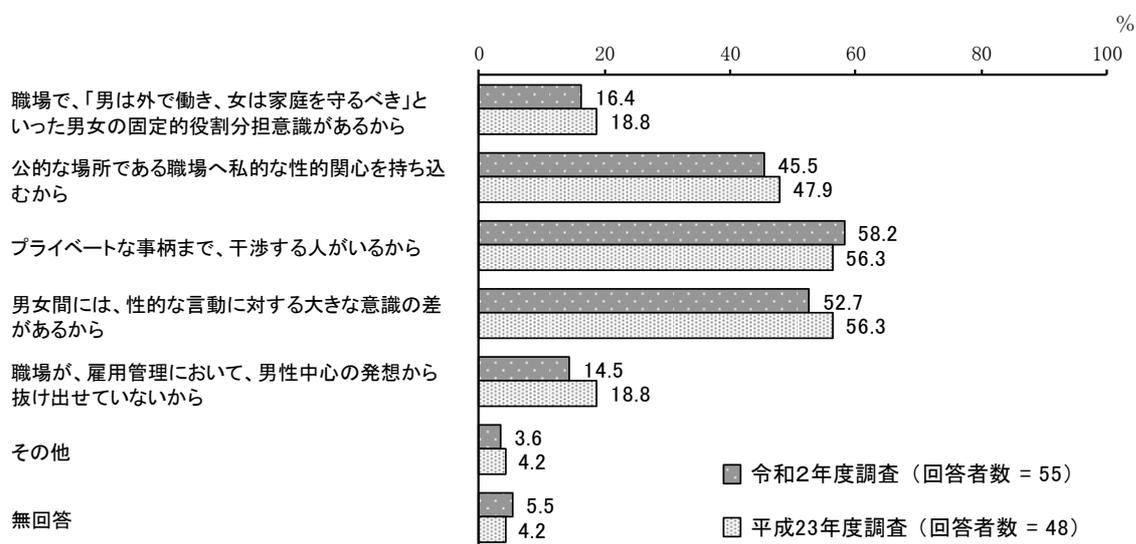
区分	有効回答数（件）	コミュニケーション不足	行為者側のパワハラの認識不足（パワハラと指導の違いを理解していない）	自社内等の理不尽な慣習の踏襲	心理的安全性（他者の反応に怯えたり、羞恥心を感じたりすることなく、自然体の自分をさらけ出すことができる環境や雰囲気）がない	自社内等でパワハラの研修、周知、対策がされていない	その他	無回答
建設業	4	25.0	100.0	25.0	—	25.0	—	—
製造業	35	51.4	74.3	22.9	5.7	14.3	2.9	2.9
運輸、情報・通信業	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—
卸売業	4	50.0	75.0	—	—	25.0	—	—
小売業、飲食業	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—
不動産業	1	—	100.0	—	—	—	—	—
教育、学習支援	2	50.0	100.0	—	50.0	—	—	—
サービス業	7	28.6	85.7	14.3	—	14.3	—	14.3
その他	4	75.0	50.0	25.0	—	—	—	—

※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問6 セクシュアル・ハラスメント（以降、「セクハラ」と記載）が発生する原因は何だと思いますか。（主なもの3つまでに○）

「プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから」の割合が58.2%と最も高く、次いで「男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから」の割合が52.7%、「公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから」の割合が45.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから」の割合が高くなっています。

単位：%

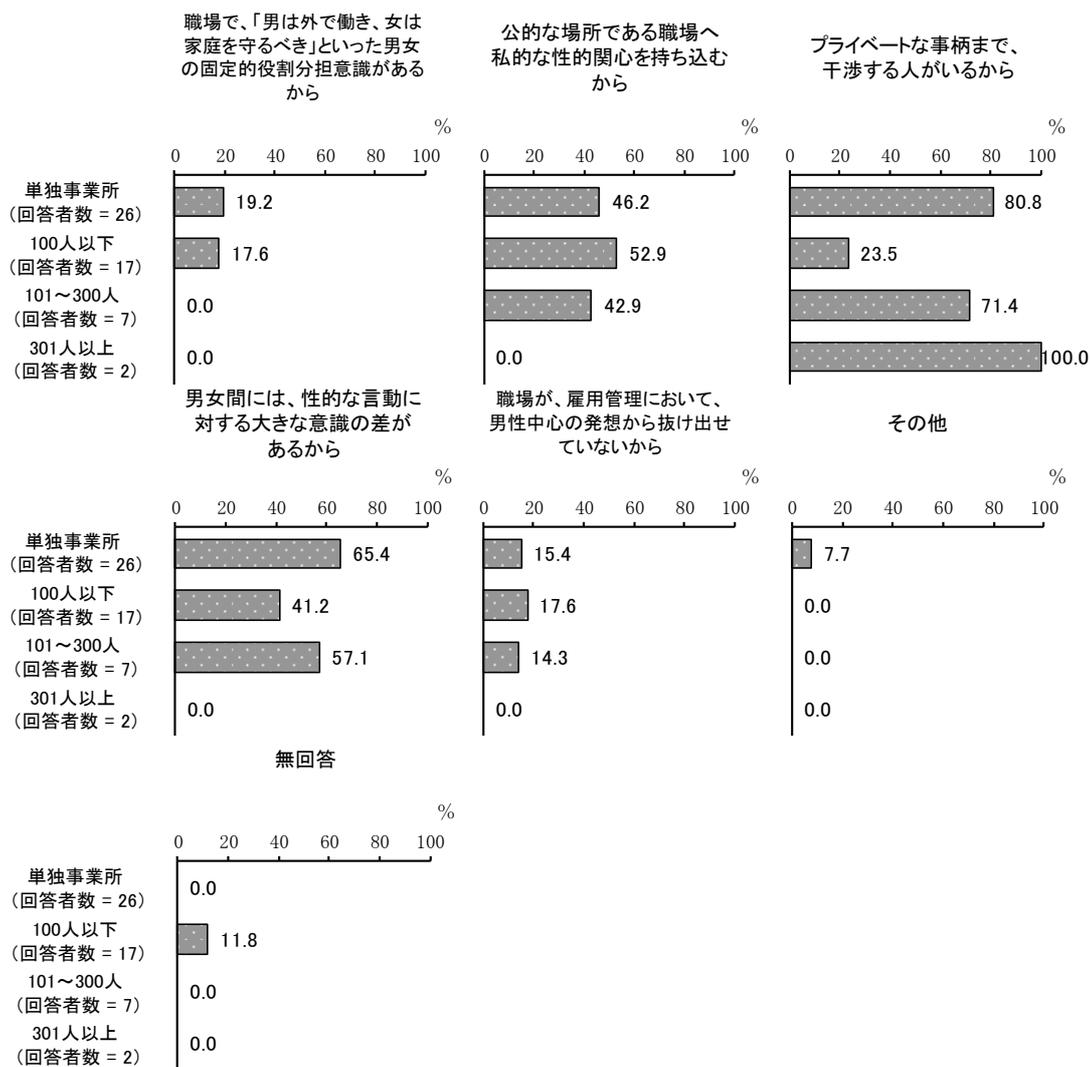
区分	有効回答数 (件)	職場で、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」といった男女の固定的役割分担意識があるから	公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから	プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから	男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから	職場が、雇用管理において、男性中心の発想から抜け出せていないから	その他	無回答
建設業	4	—	100.0	50.0	50.0	—	—	—
製造業	35	20.0	34.3	60.0	51.4	14.3	5.7	5.7
運輸、情報・通信業	1	—	100.0	—	100.0	—	—	—
卸売業	4	—	25.0	75.0	75.0	25.0	—	—
小売業、飲食業	1	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—
不動産業	1	—	100.0	—	—	—	—	—
教育、学習支援	2	—	100.0	50.0	50.0	—	—	—
サービス業	7	—	57.1	71.4	57.1	28.6	—	—
その他	4	25.0	75.0	50.0	50.0	—	—	—

※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問6 セクシュアル・ハラスメント（以降、「セクハラ」と記載）が発生する原因は何だと思いますか。（主なもの3つまでに○）

【企業規模・従業員数別】

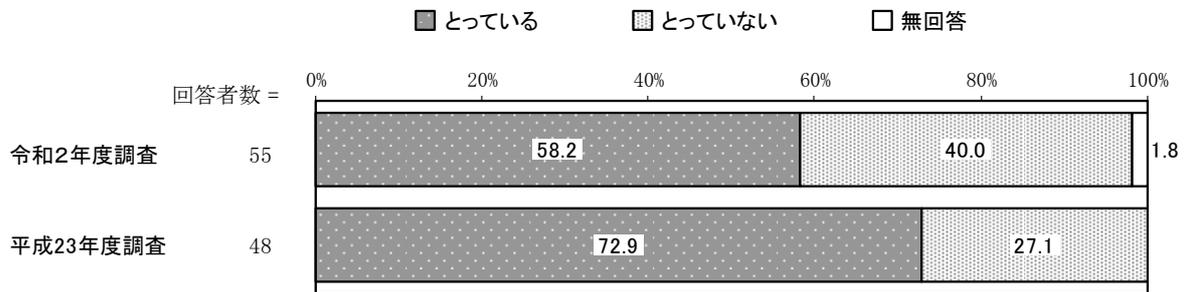
企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから」の割合が高くなっています。また、単独事業所で「プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから」「男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

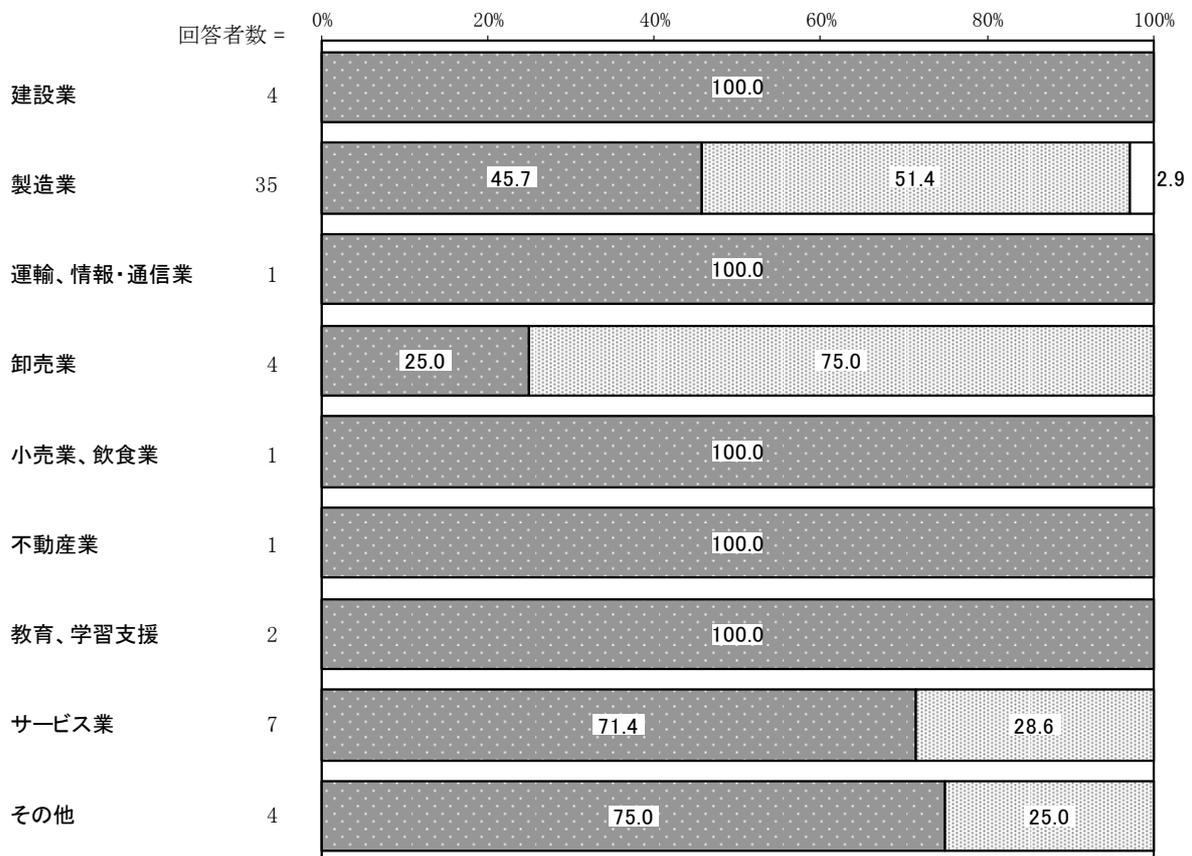
問7 貴事業所では、セクハラに対する対策をとっていますか。(どちらかに○)

「とっている」の割合が58.2%、「とっていない」の割合が40.0%となっています。
平成23年度調査と比較すると、「とっている」の割合が低くなっています。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、製造業で「とっていない」の割合が高くなっています。

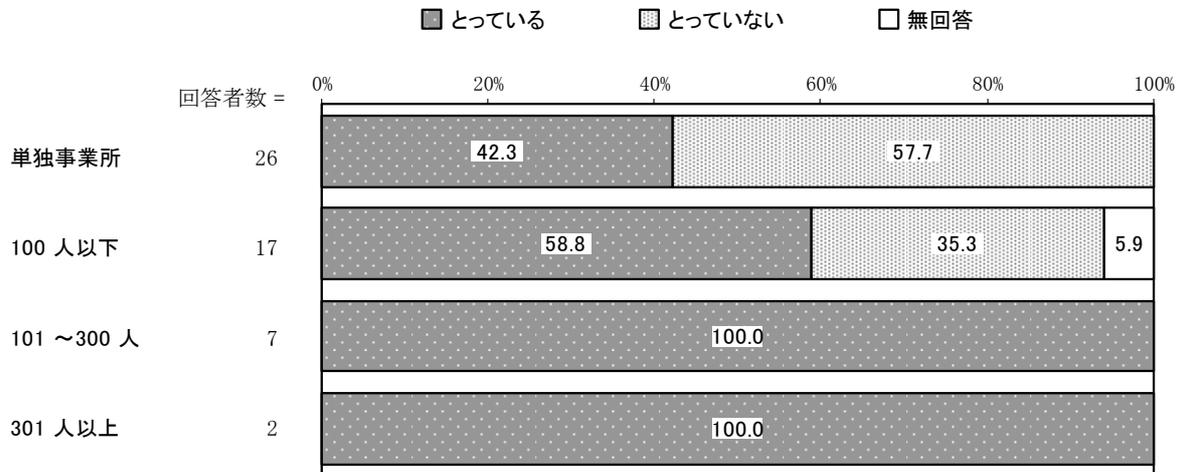


※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問7 貴事業所では、セクハラに対する対策をとっていますか。(どちらかに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、従業員数が多くなるにつれ「とっている」の割合が高くなっています。また、単独事業所で「とっていない」の割合が高くなっています。

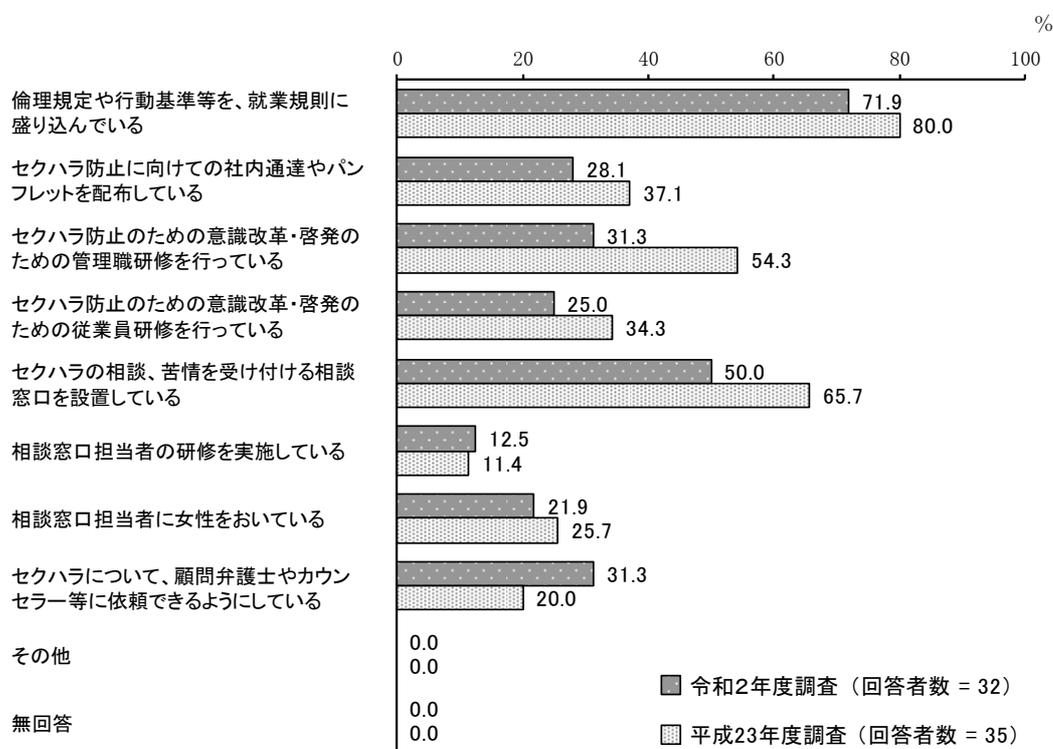


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問7-1 問7で「1. とっている」を回答された事業所の方におうかがいします。
 セクハラに対して、どのような対策をとっていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる」の割合が71.9%と最も高く、次いで「セクハラ相談、苦情を受け付ける相談窓口を設置している」の割合が50.0%、「セクハラ防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている」、「セクハラについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている」の割合が31.3%となっています。

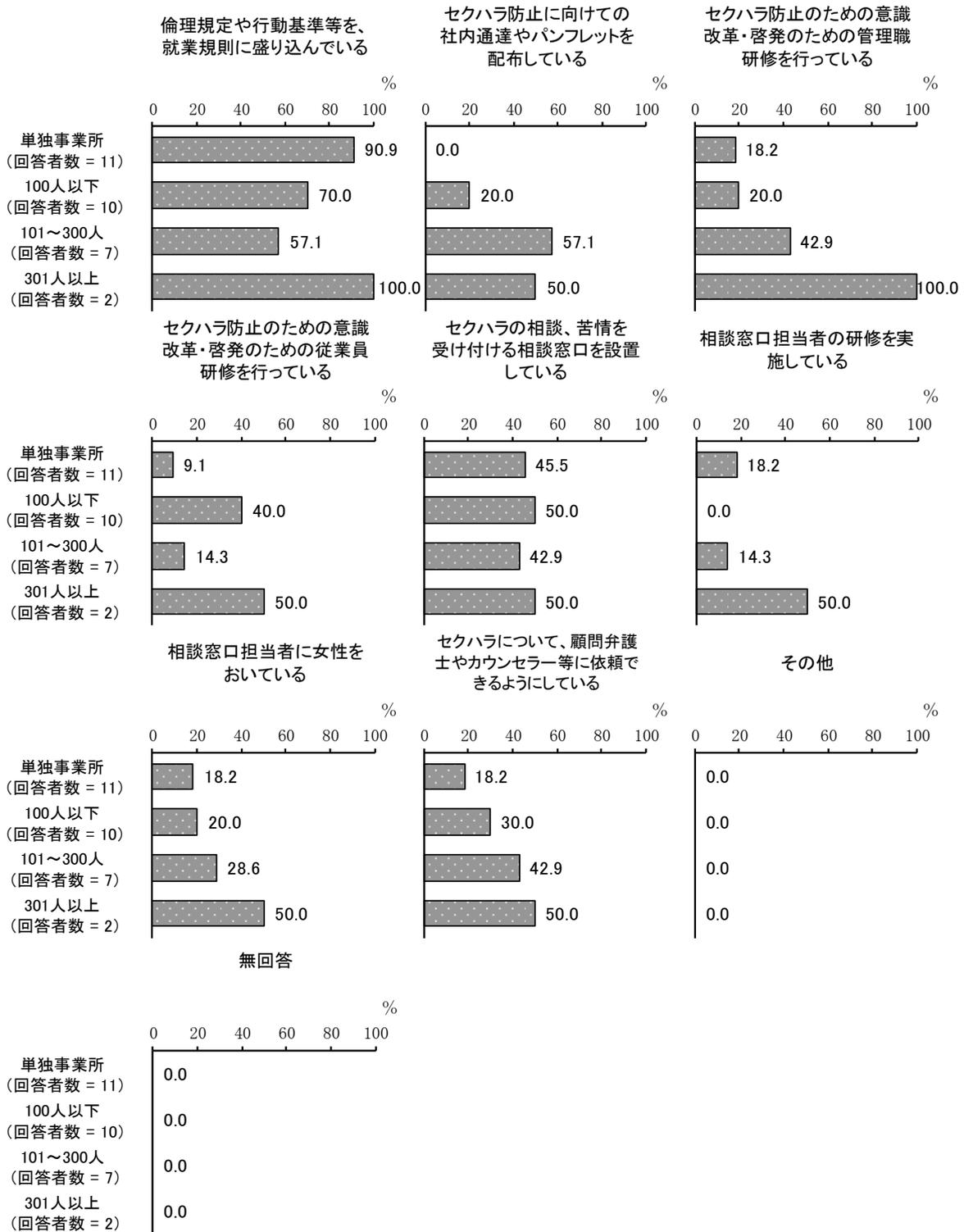
平成23年度調査と比較すると、「セクハラについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている」の割合が高くなっています。一方、「倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる」「セクハラ防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している」「セクハラ防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている」「セクハラ防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている」「セクハラ相談、苦情を受け付ける相談窓口を設置している」の割合が低くなっています。



問7-1 問7で「1. とっている」を回答された事業所の方におうかがいします。
 セクハラに対して、どのような対策をとっていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、101～300人で「セクハラ防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している」の割合が高くなっています。

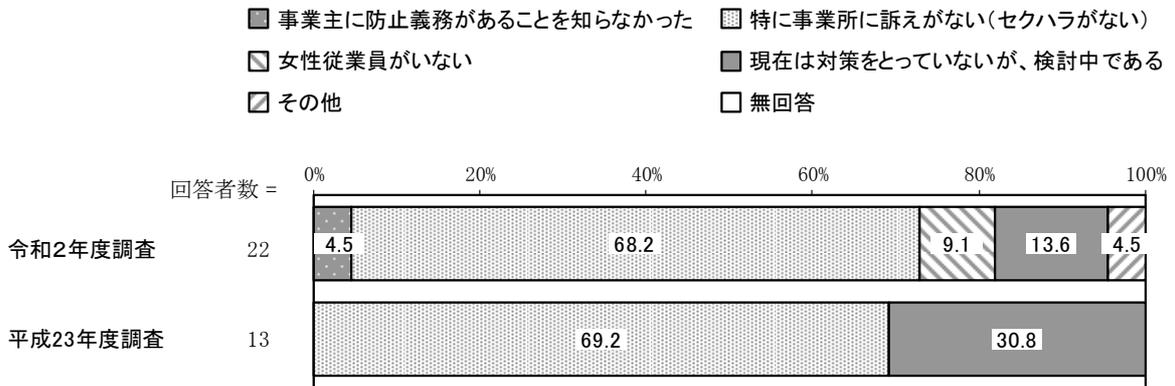


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問7-2 問7で「とっていない」を回答された事業所の方におうかがいします。
 対策をとっていない理由をお答えください。(1つに○)

「特に事業所に訴えない(セクハラがない)」の割合が68.2%と最も高く、次いで「現在は対策をとっていないが、検討中である」の割合が13.6%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「女性従業員がいない」の割合が高くなっています。一方、「現在は対策をとっていないが、検討中である」の割合が低くなっています。

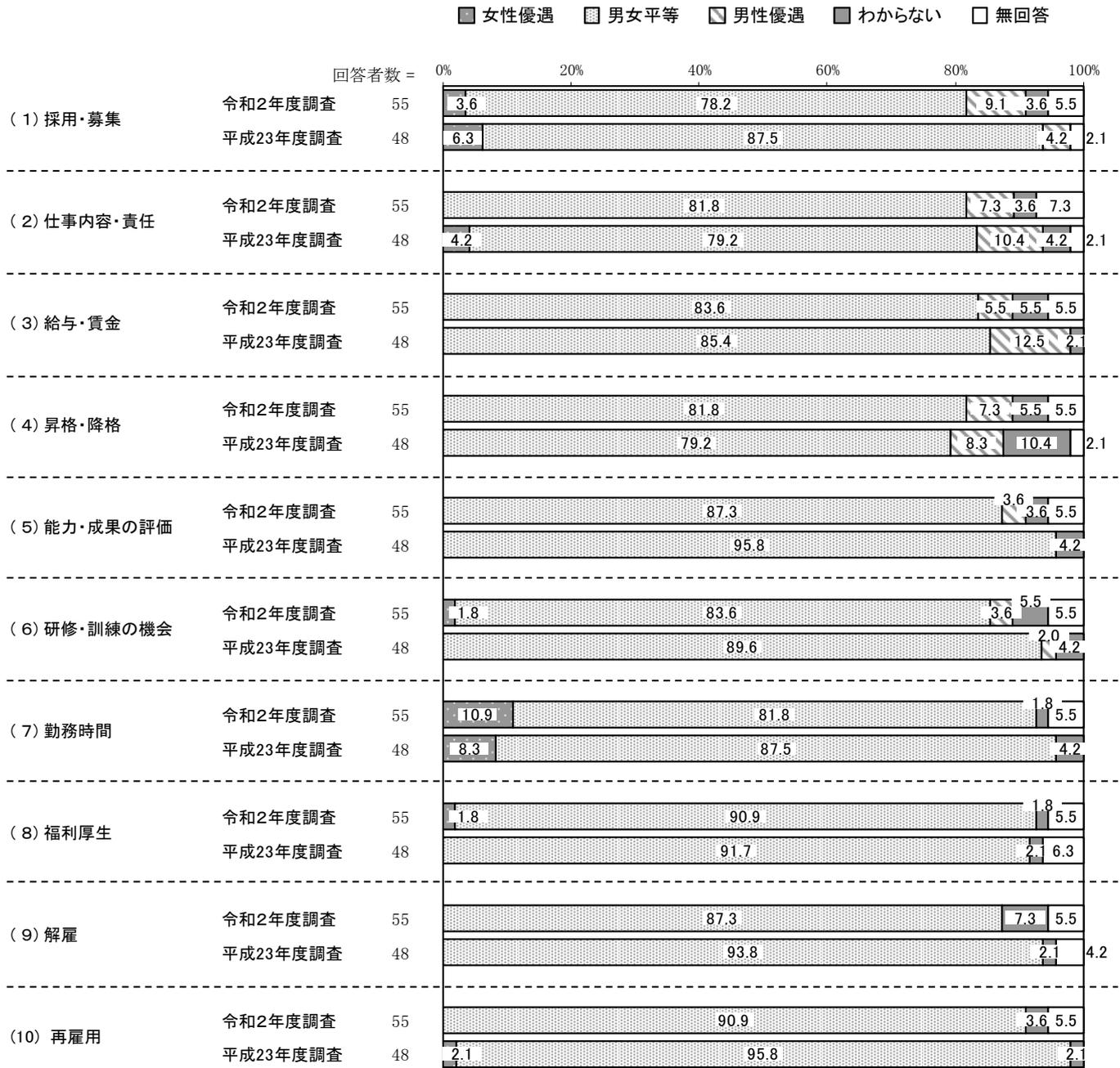


問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

すべての項目で「男女平等」の割合が高く、特に『(8)福利厚生』『(10)再雇用』では約9割となっています。一方、『(1)採用・募集』では、他の項目に比べ「男女平等」の割合が低く、約8割となっています。

『(7)勤務時間』では「女性優遇」の割合が高く、約1割となっています。また、『(1)採用・募集』では、「男性優遇」の割合が高く、約1割となっています。

平成23年度調査と比較すると、『(1)採用・募集』『(5)能力・成果の評価』『(6)研修・訓練の機会』『(7)勤務時間』『(9)解雇』で「男女平等」の割合が低くなっています。

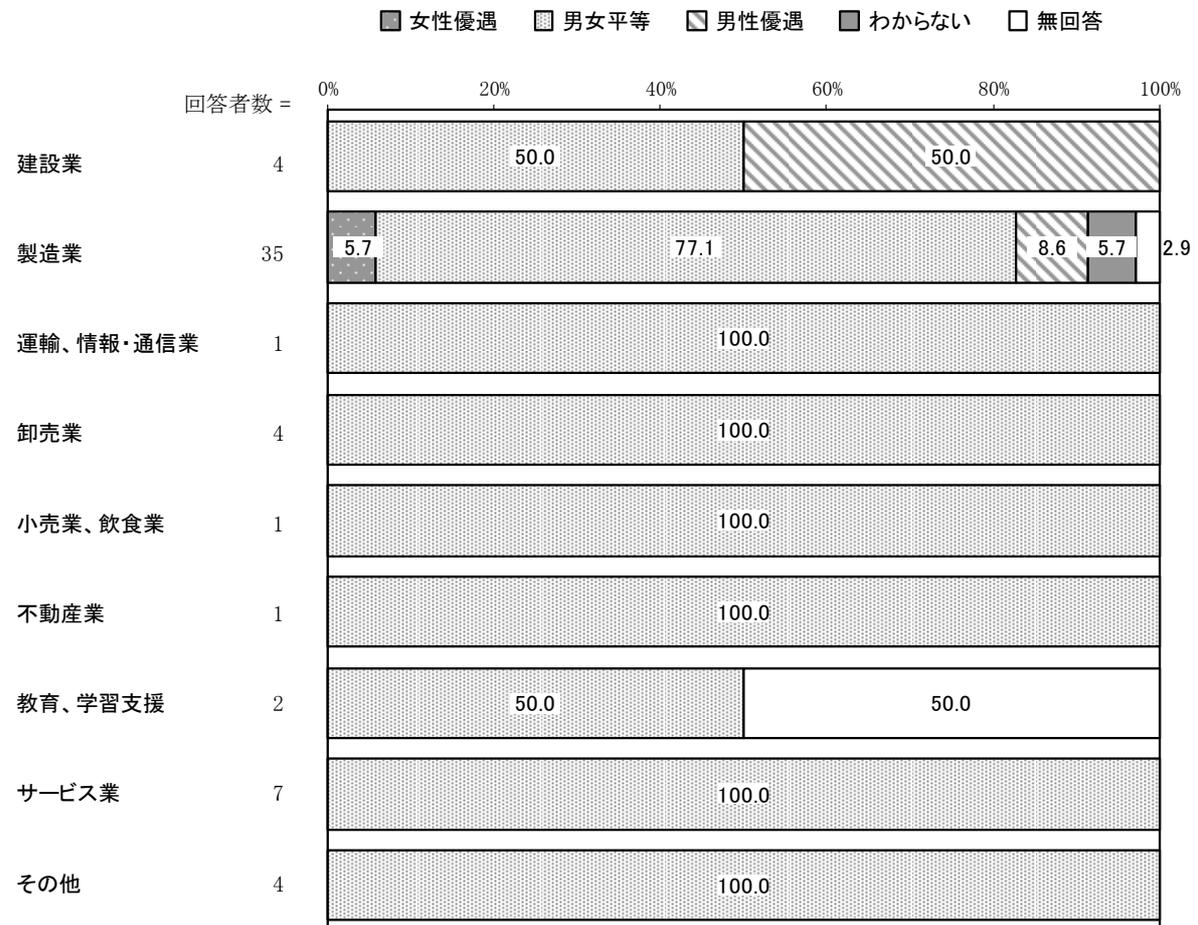


問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(1)採用・募集

【業種別】

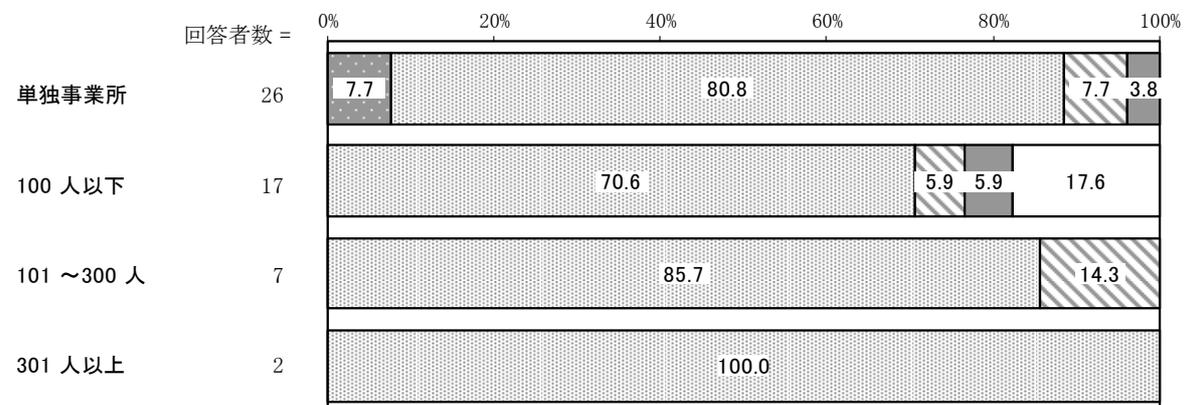
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男女平等」「男性優遇」の割合がともに高くなっています。



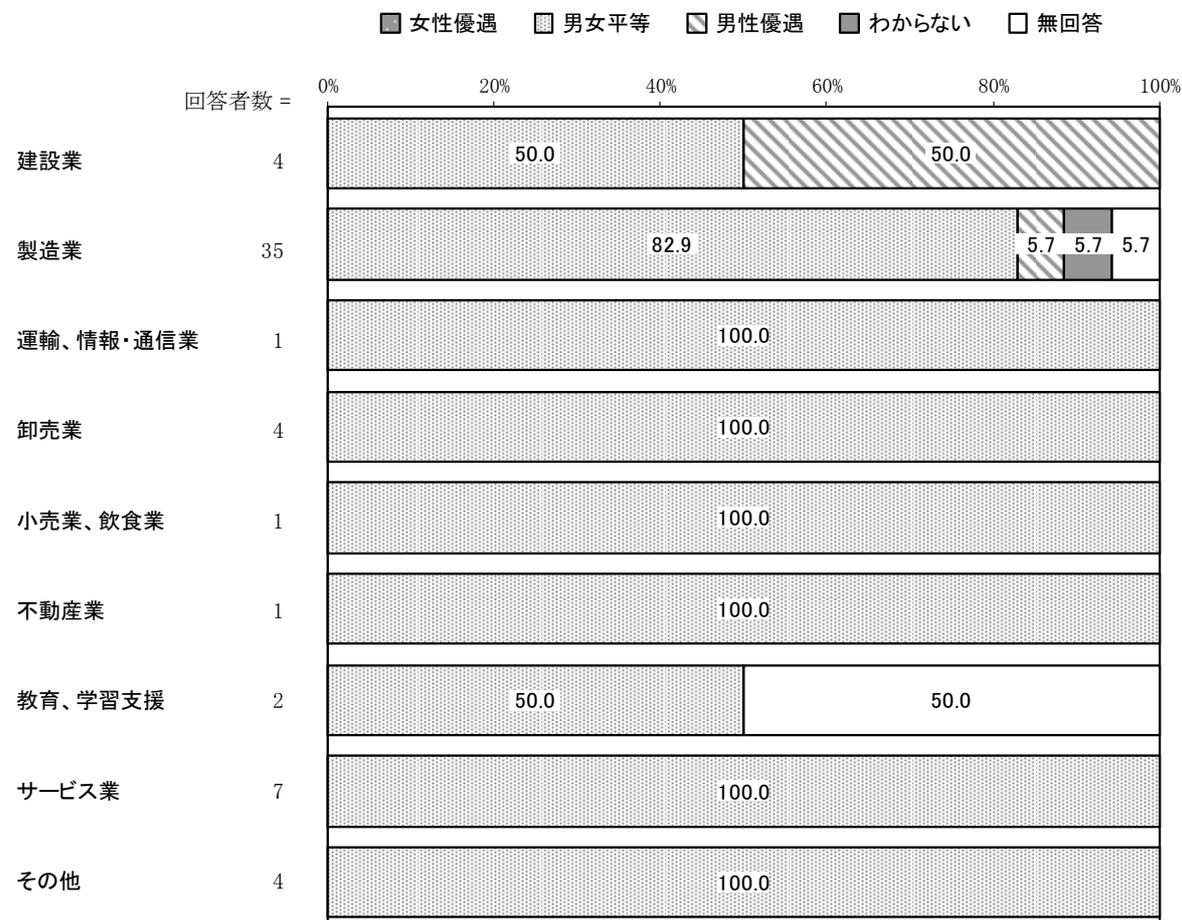
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(2) 仕事内容・責任

【業種別】

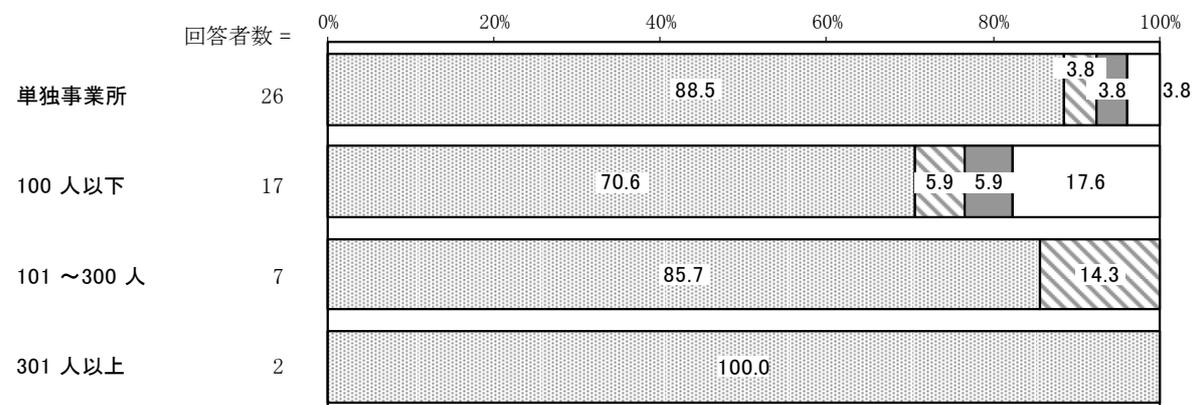
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男性優遇」の割合が高くなっています。



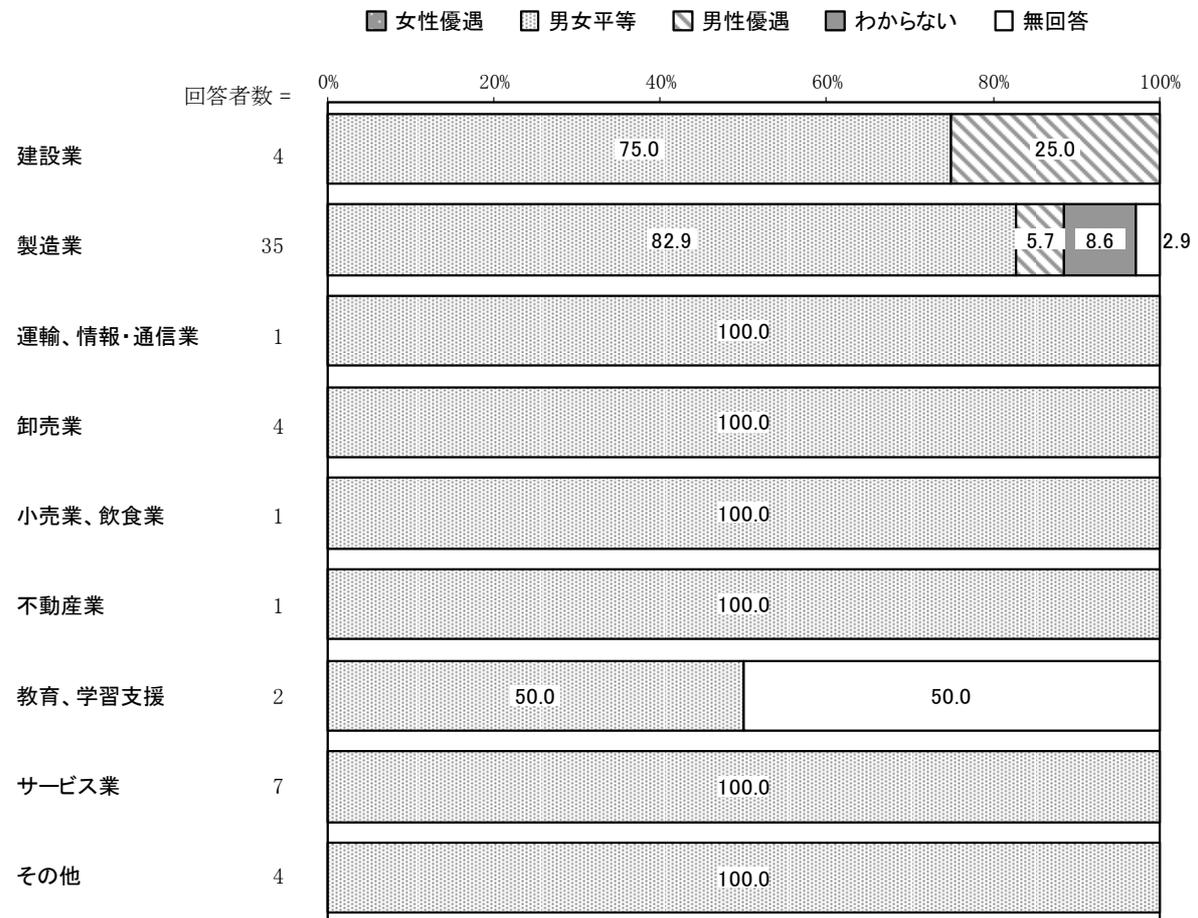
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(3) 給与・賃金

【業種別】

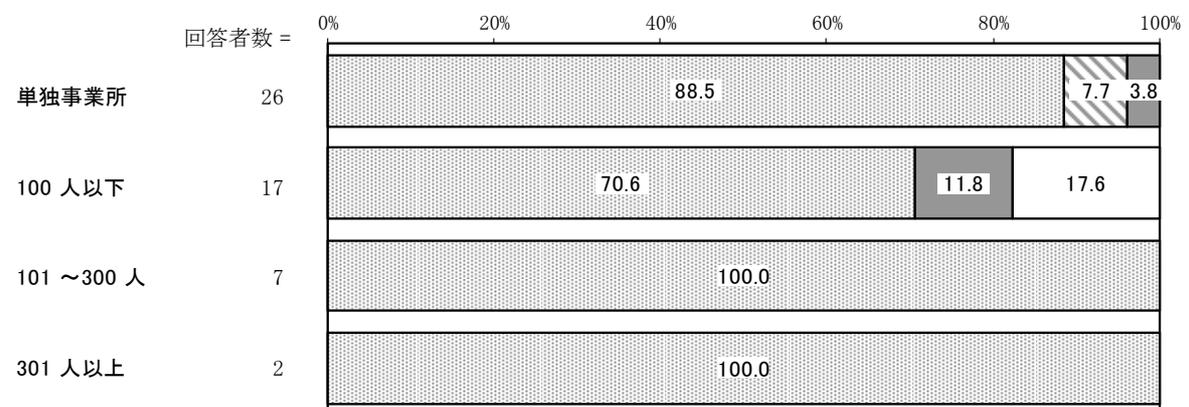
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。



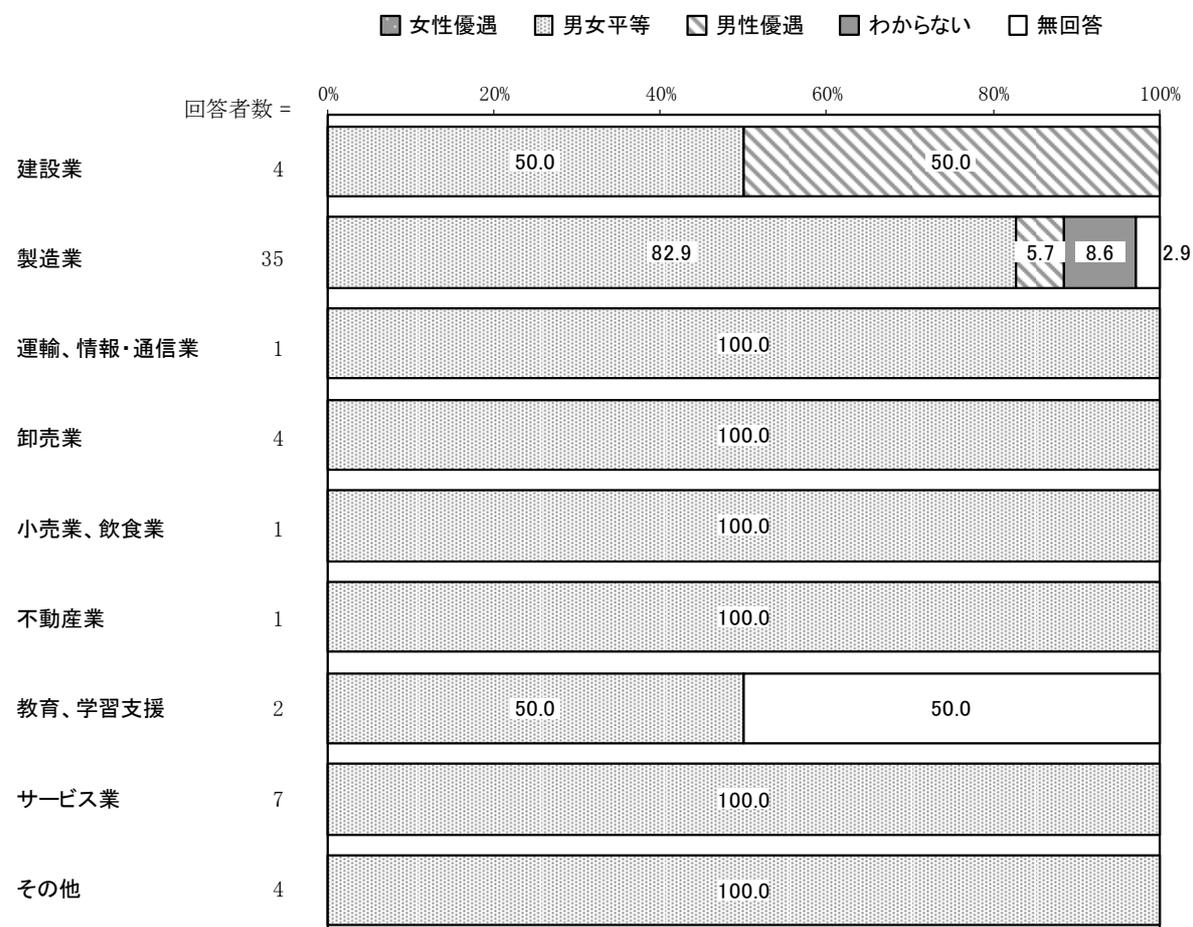
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(4) 昇格・降格

【業種別】

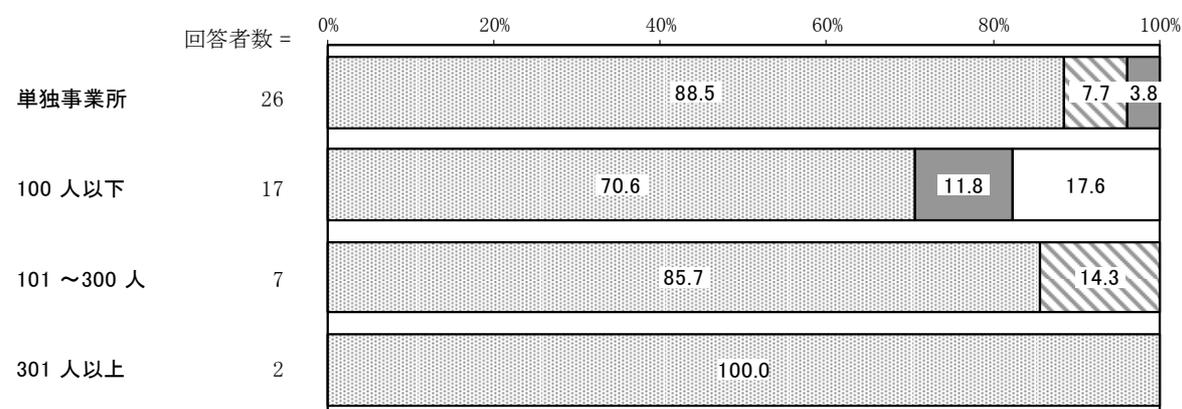
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男性優遇」の割合が高くなっています。



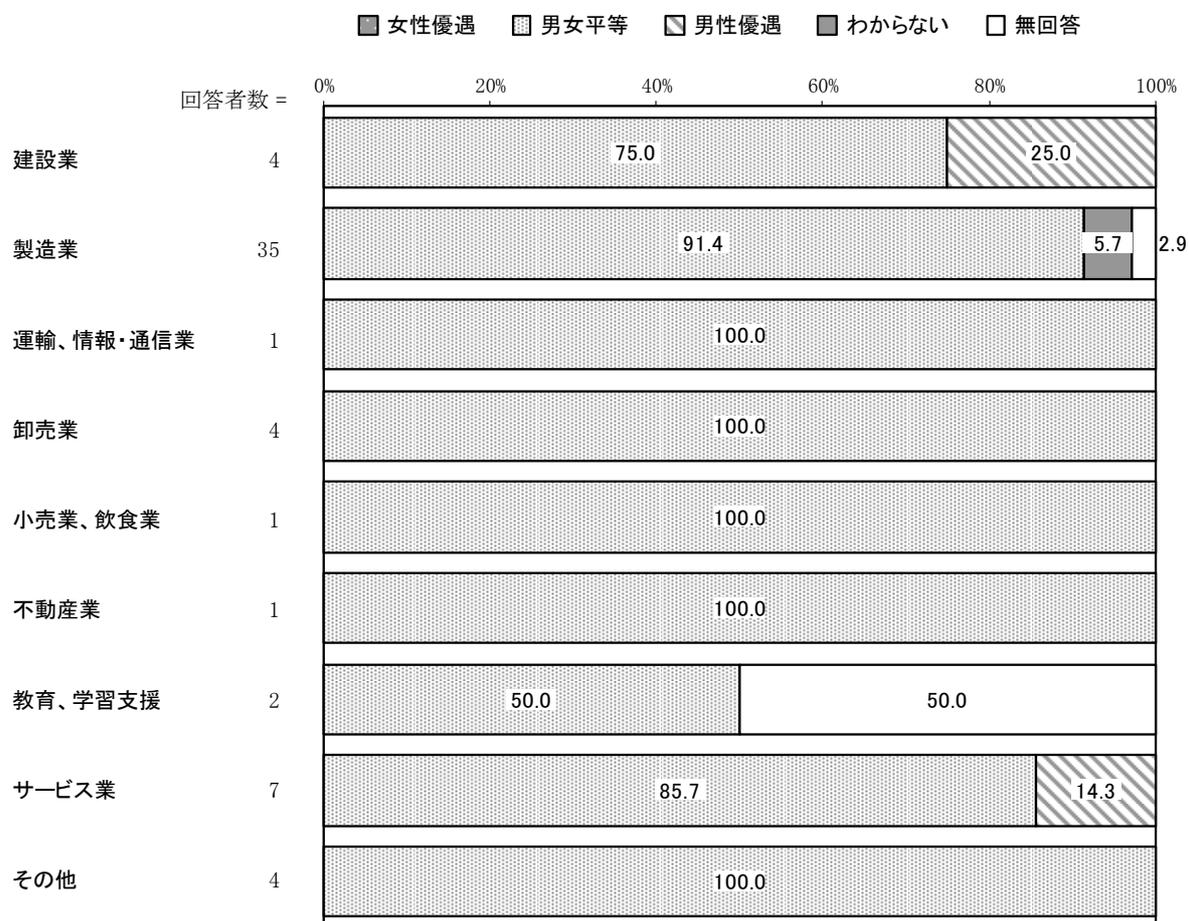
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(5) 能力・成果の評価

【業種別】

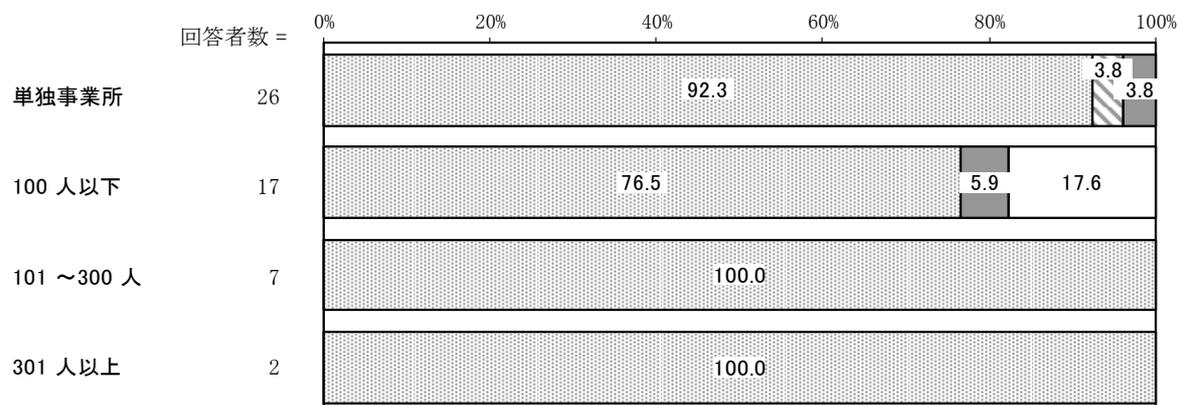
業種別でみると、他に比べ、製造業で「男女平等」の割合が、サービス業で「男性優遇」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。



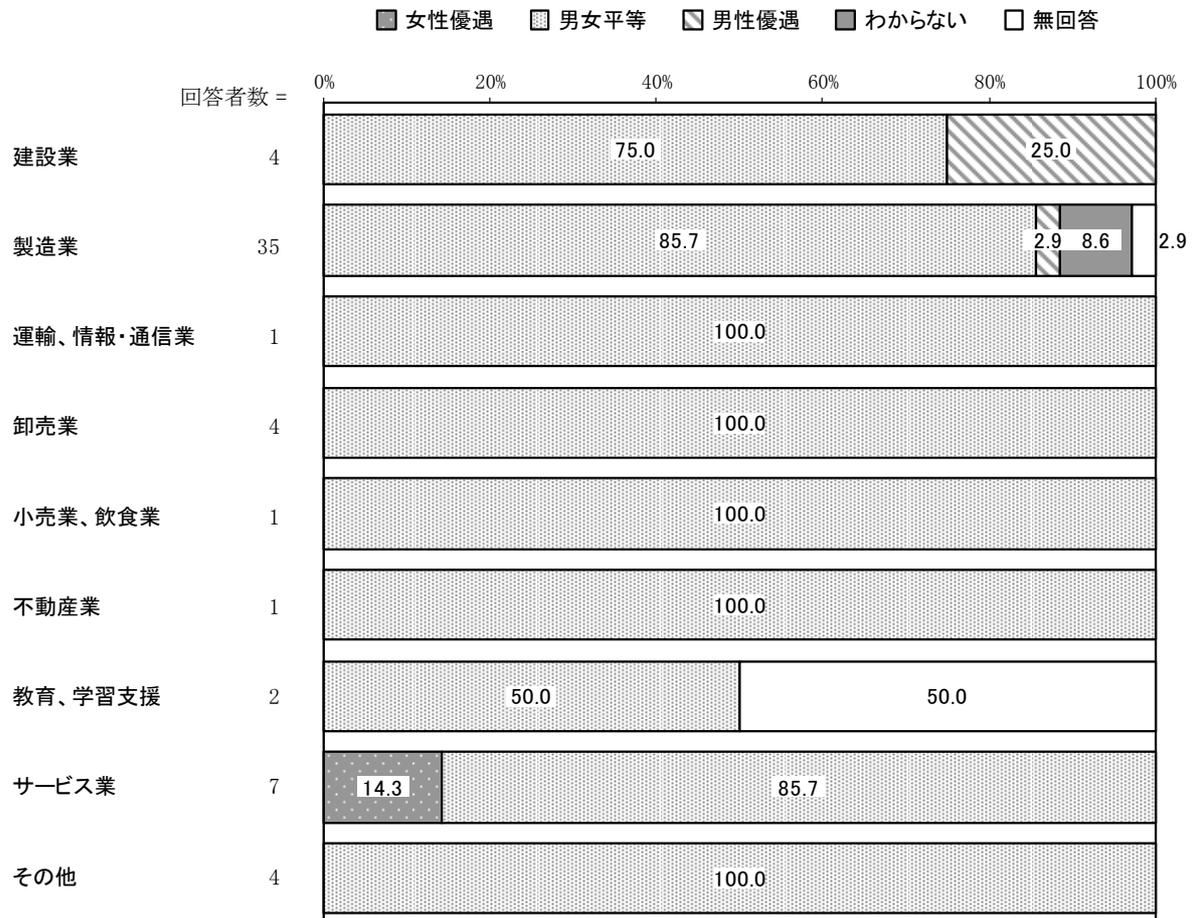
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(6) 研修・訓練の機会

【業種別】

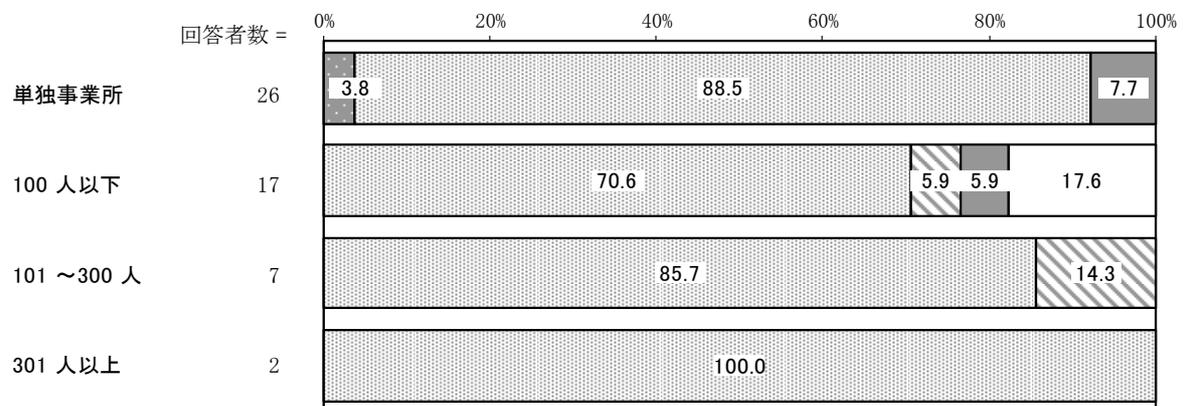
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「女性優遇」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男性優遇」の割合が高くなっています。



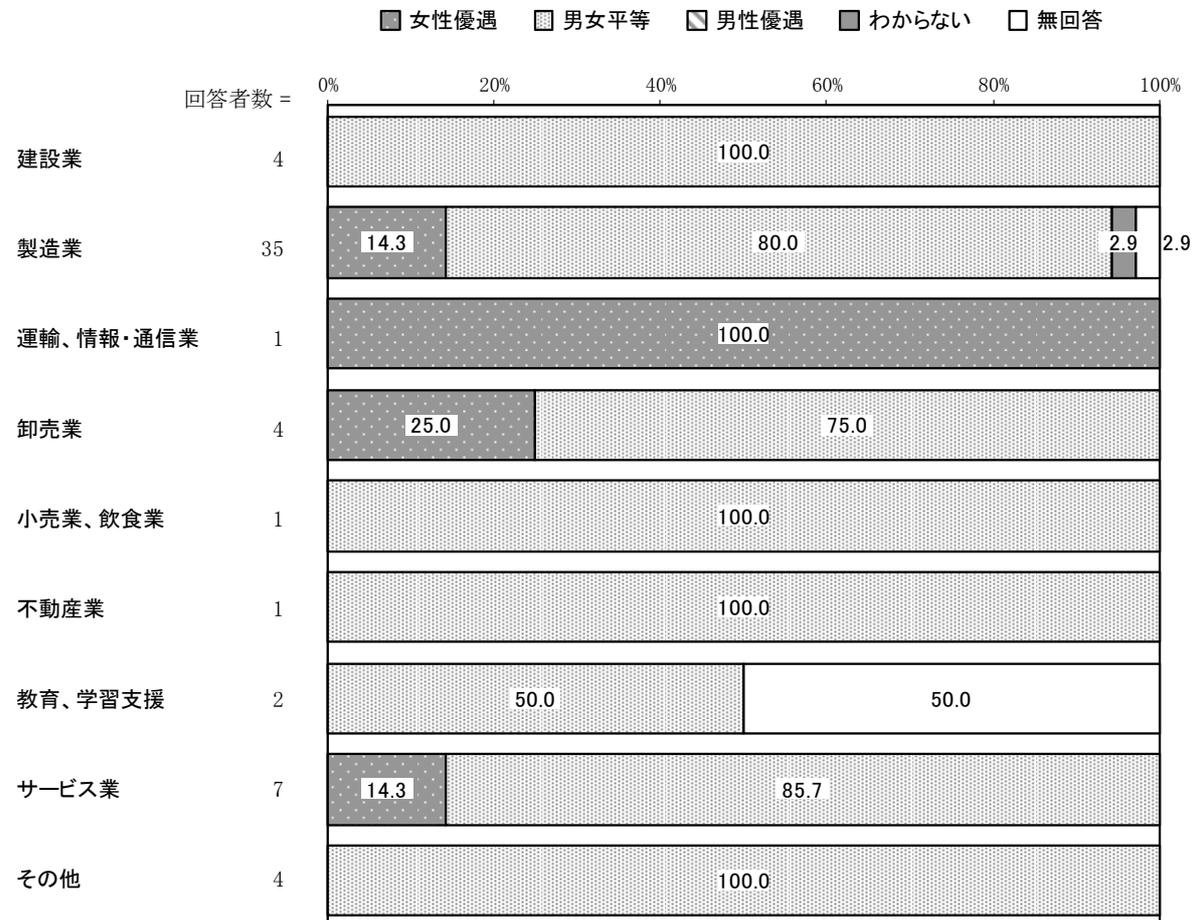
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(7) 勤務時間

【業種別】

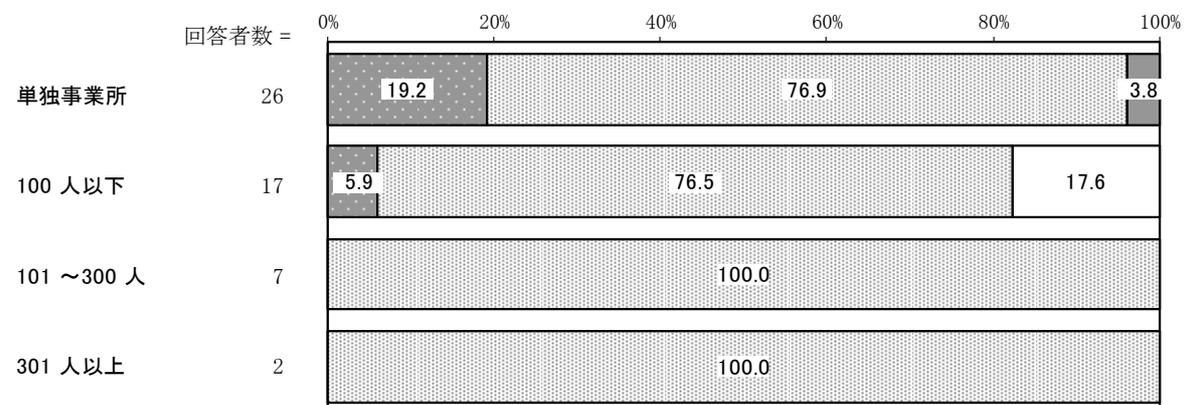
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「女性優遇」の割合が、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。



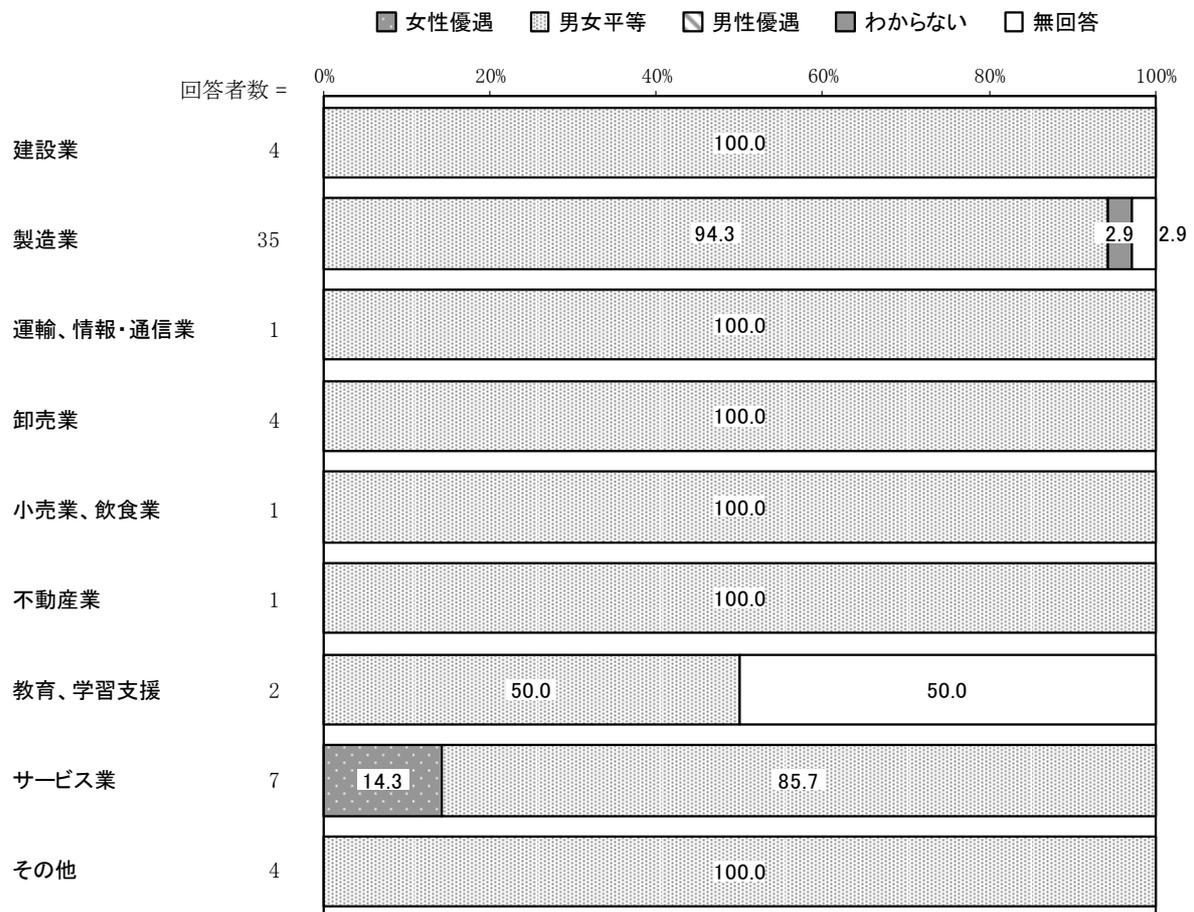
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(8) 福利厚生

【業種別】

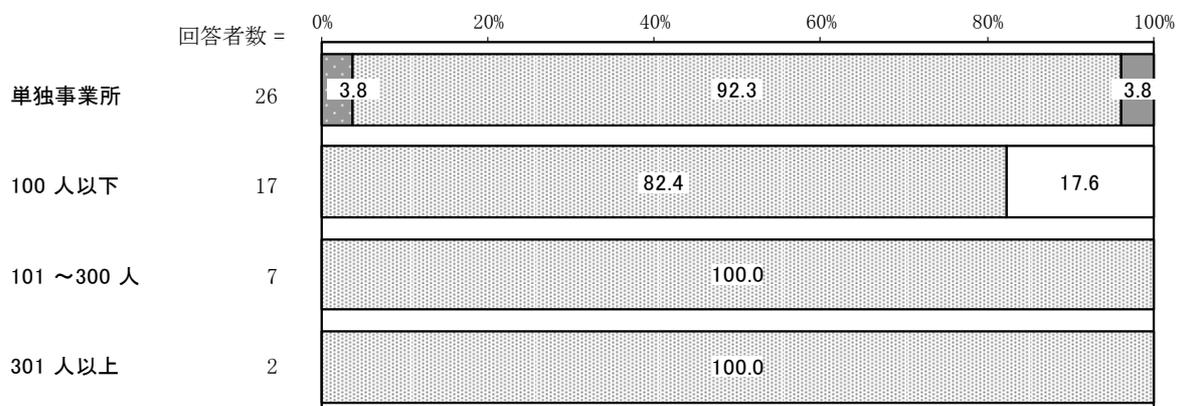
業種別でみると、他に比べ、製造業で「男女平等」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。



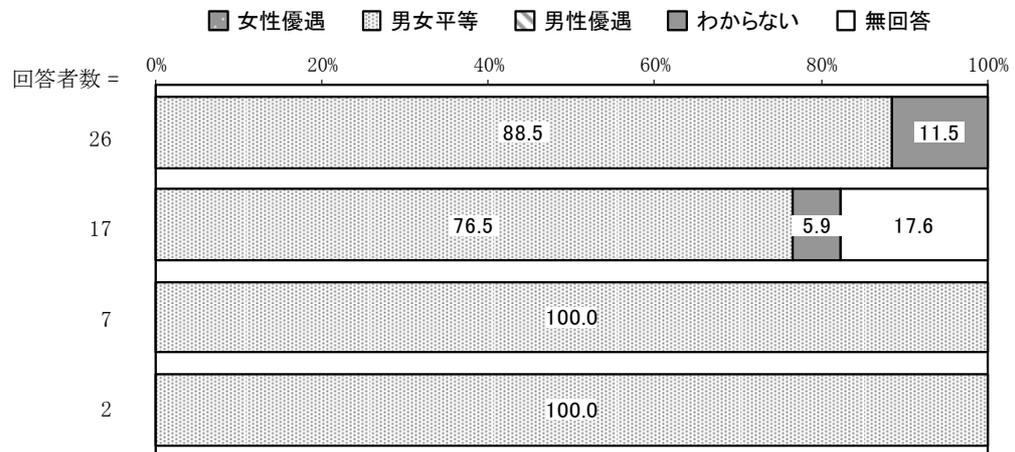
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(9) 解雇

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。

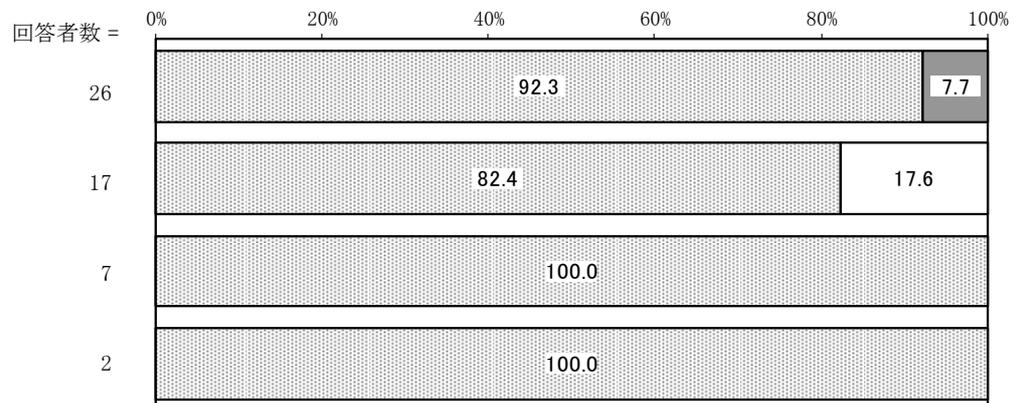


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

(10) 再雇用

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、101～300人で「男女平等」の割合が高くなっています。

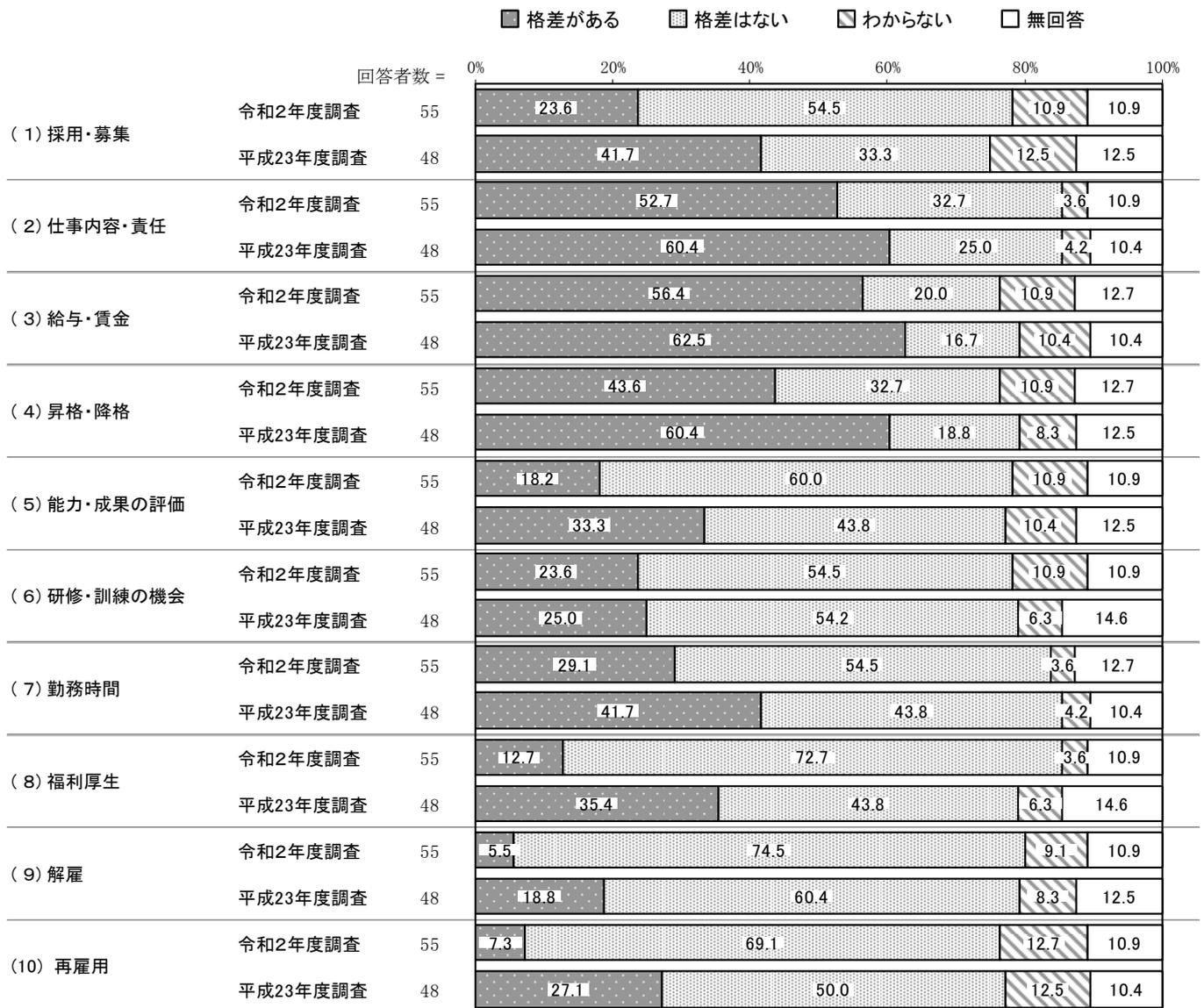


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

『(5)能力・成果の評価』『(8)福利厚生』『(9)解雇』『(10)再雇用』で「格差はない」の割合が高く、6割以上となっています。一方、『(2)仕事内容・責任』『(3)給与・賃金』で「格差がある」の割合が高く、5割を超えています。

平成23年度調査と比較すると、『(6)研修・訓練の機会』を除くすべての項目で「格差がある」の割合が低くなっています。また、『(3)給与・賃金』『(6)研修・訓練の機会』を除くすべての項目で「格差はない」の割合が高くなっています。

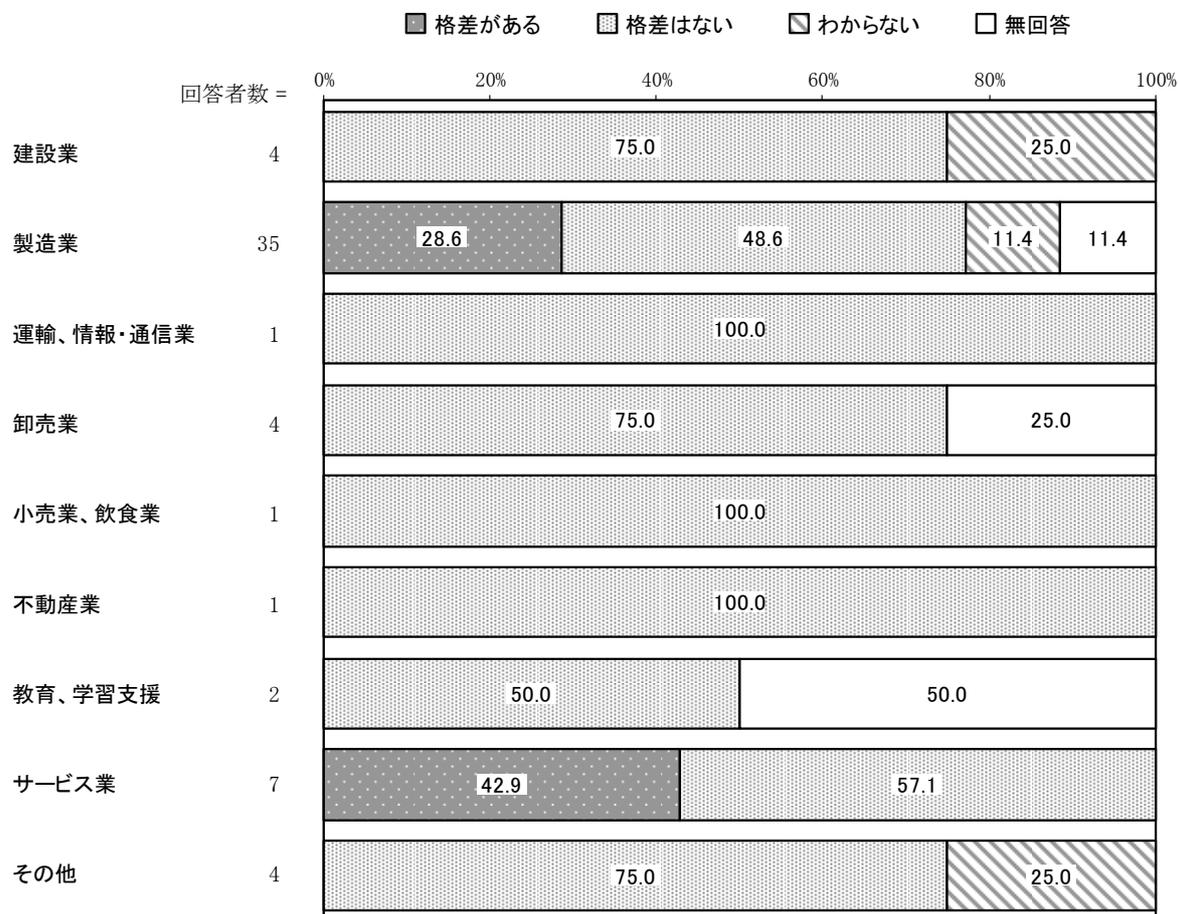


問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(1) 採用・募集

【業種別】

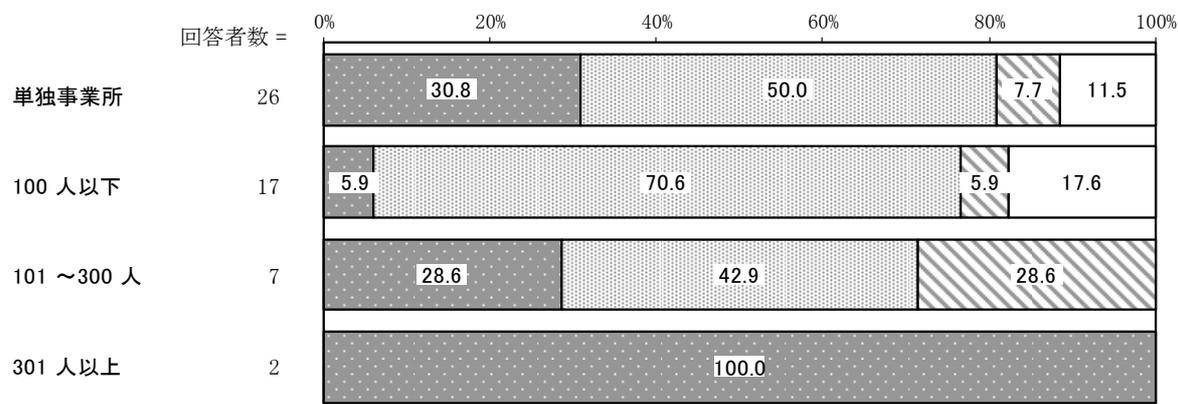
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」「格差はない」の割合がともに高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「格差はない」の割合が高くなっています。



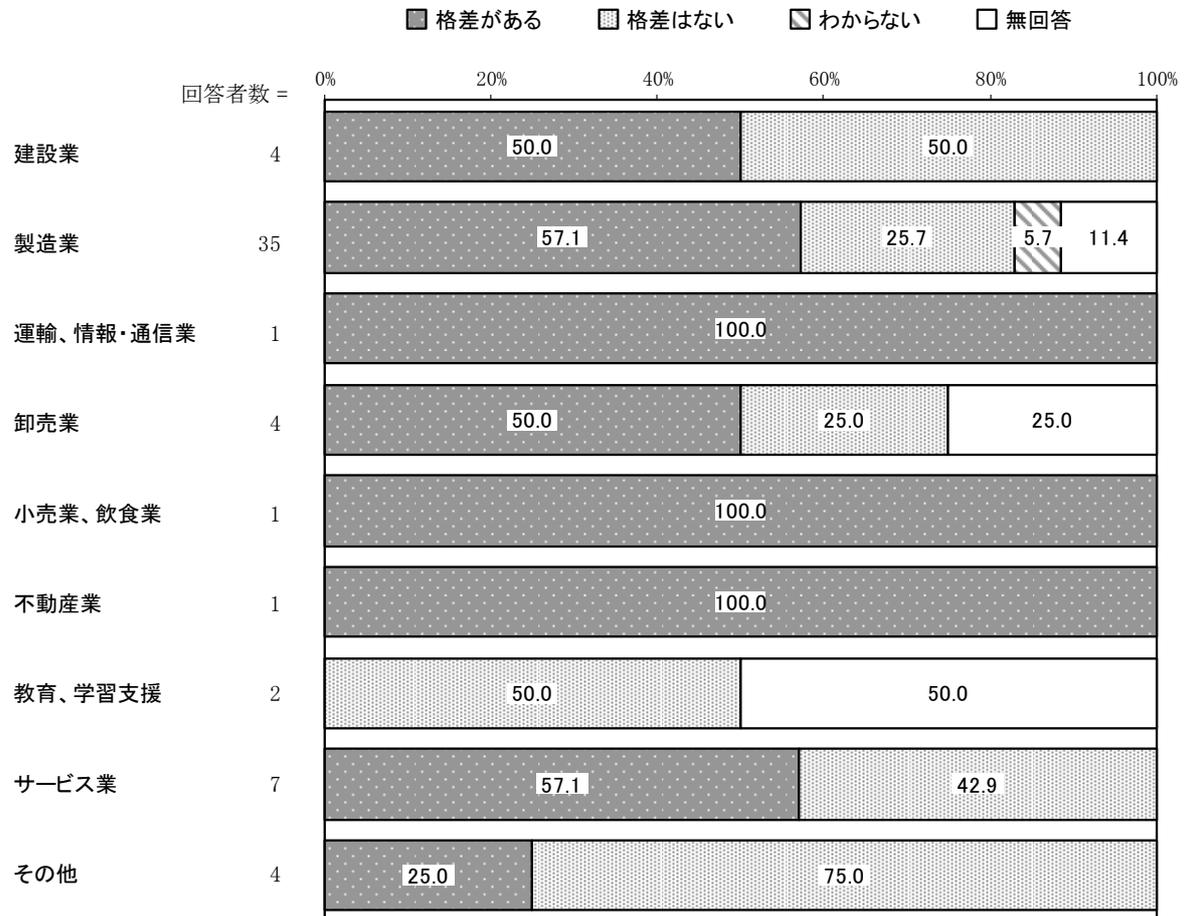
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(2) 仕事内容・責任

【業種別】

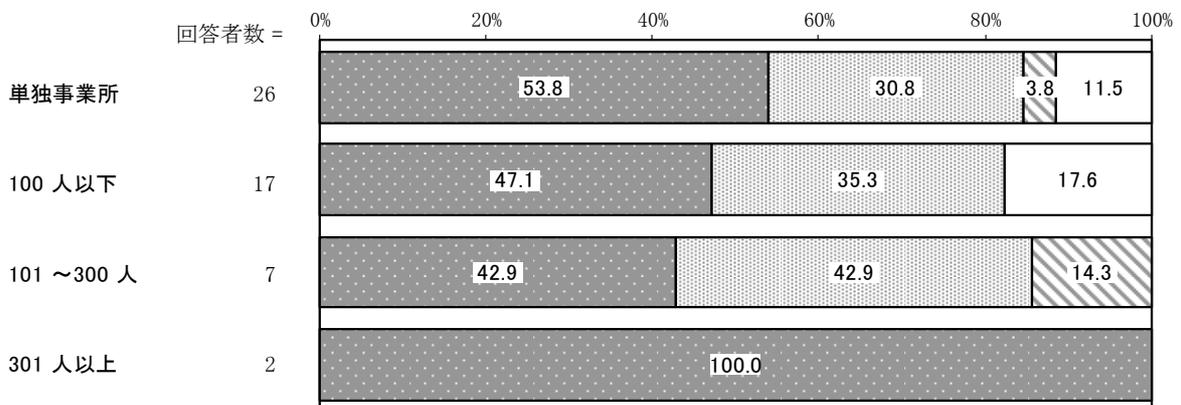
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差はない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「格差がある」の割合が高くなっています。また、101～300人で「格差はない」の割合が高くなっています。



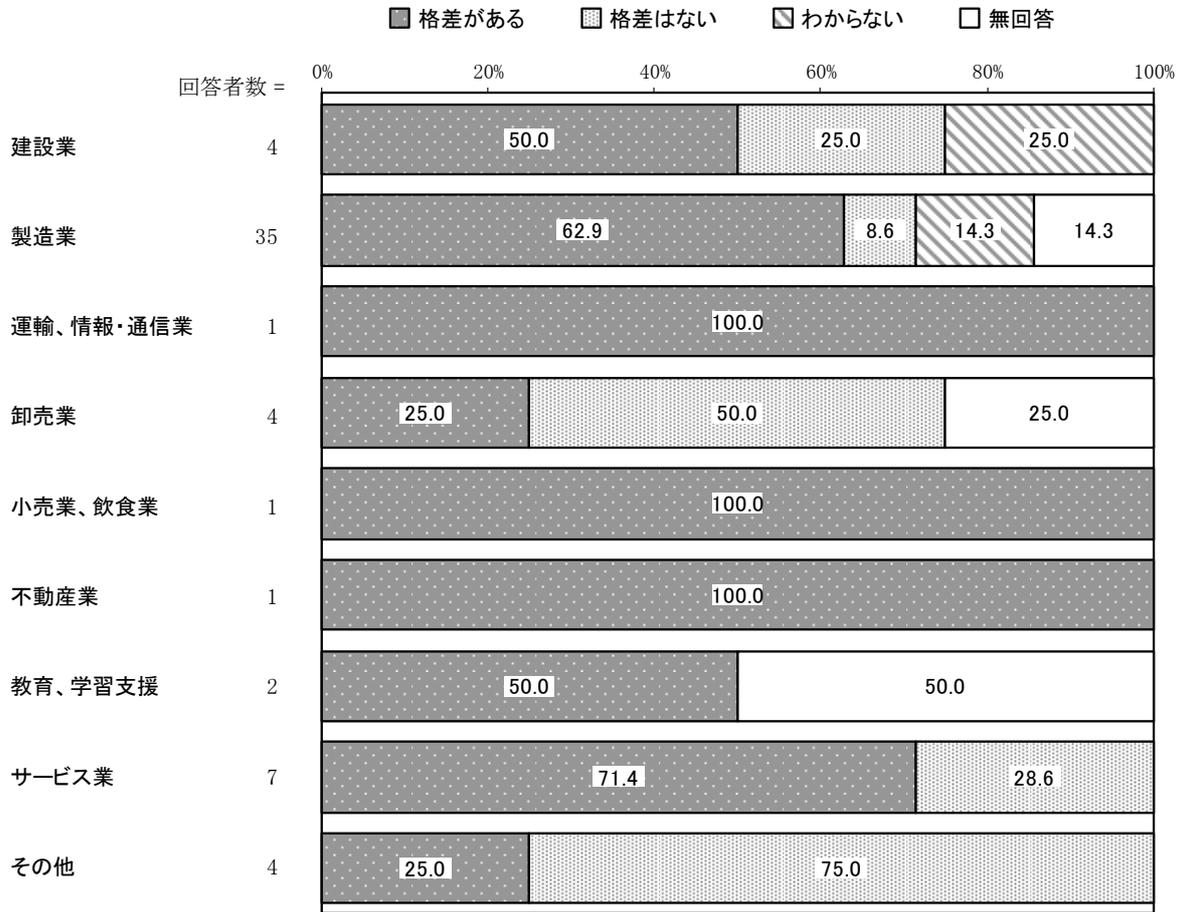
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(3) 給与・賃金

【業種別】

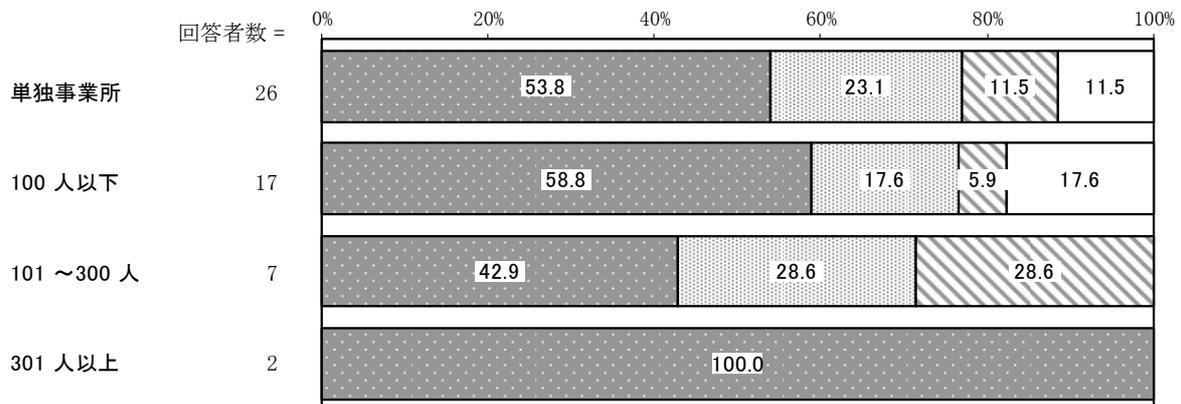
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」「格差はない」の割合がともに高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「格差がある」の割合が高くなっています。また、101～300人で「格差はない」の割合が高くなっています。



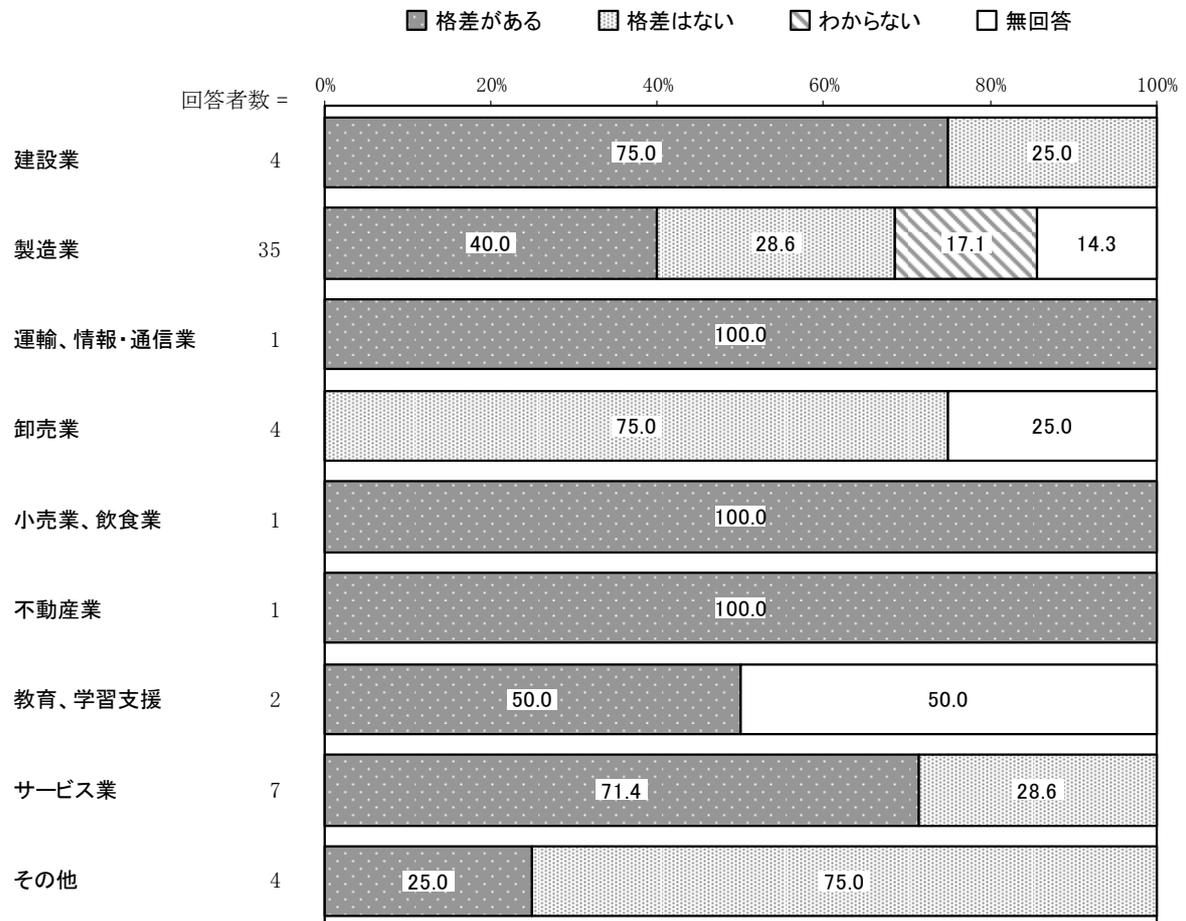
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(4) 昇格・降格

【業種別】

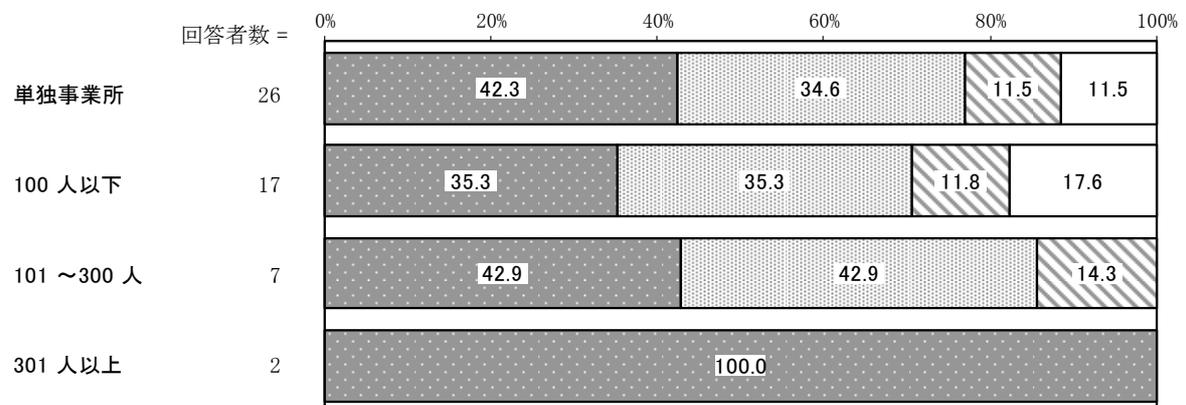
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「格差はない」の割合が高くなっています。



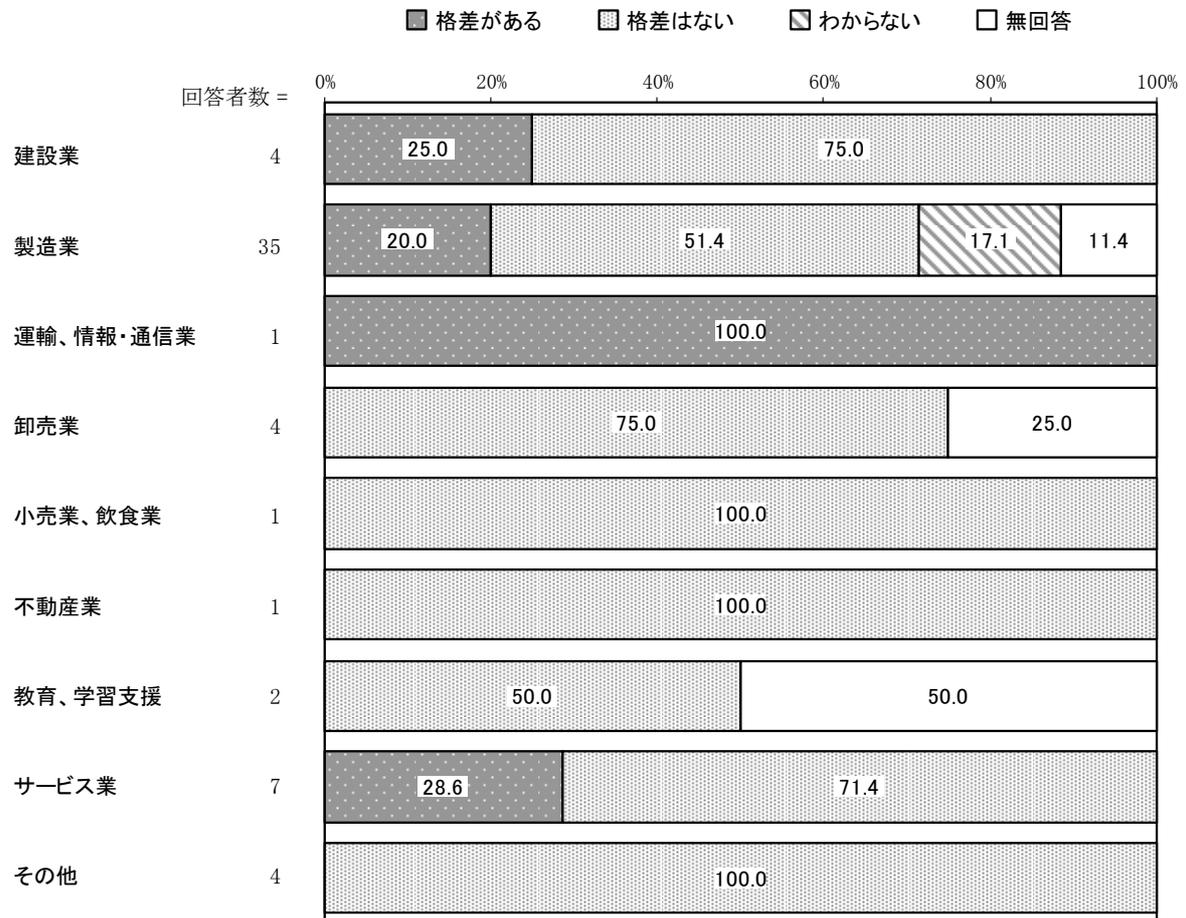
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(5) 能力・成果の評価

【業種別】

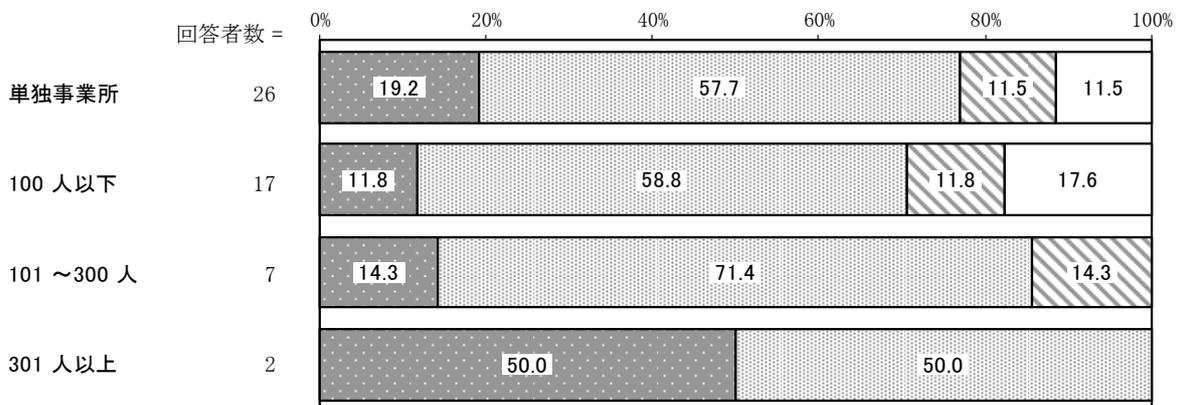
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差はない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「格差はない」の割合が高くなっています。



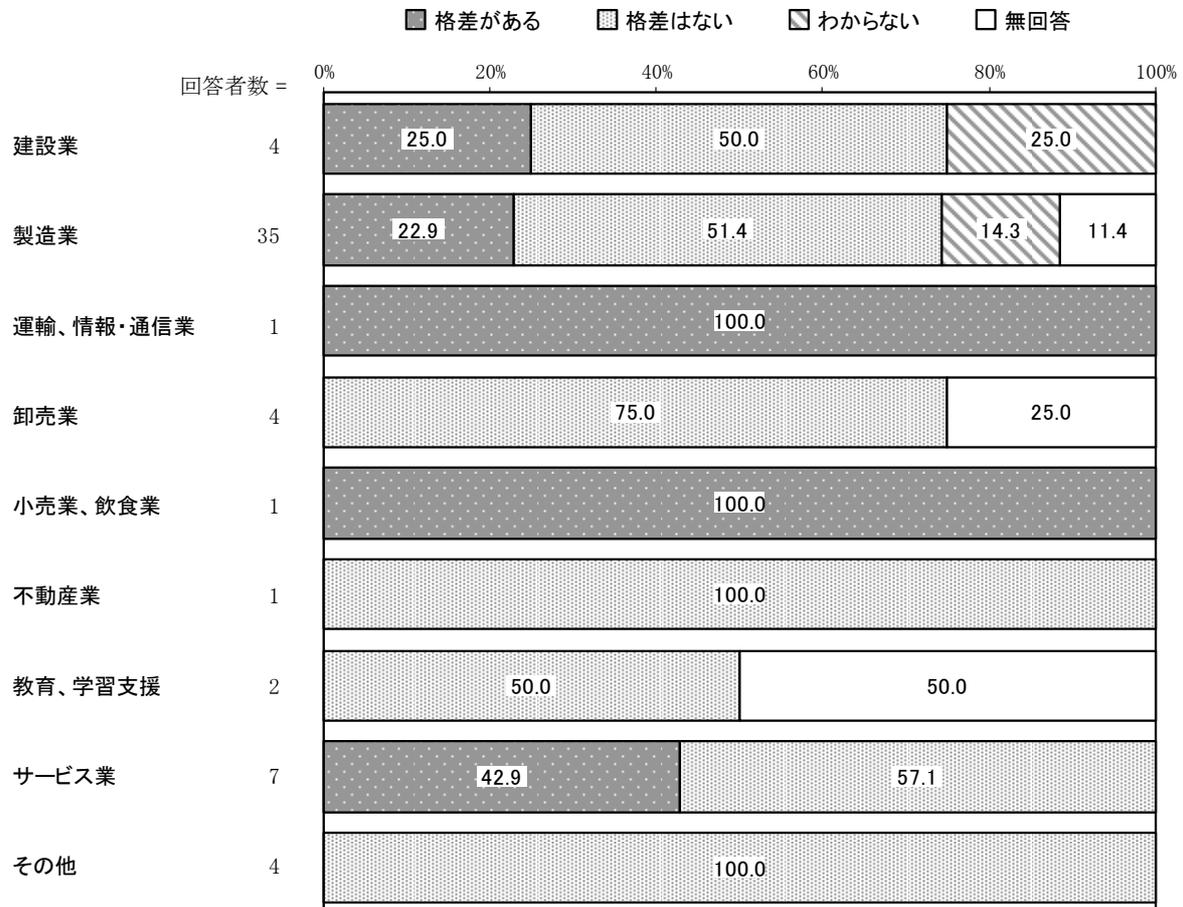
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(6) 研修・訓練の機会

【業種別】

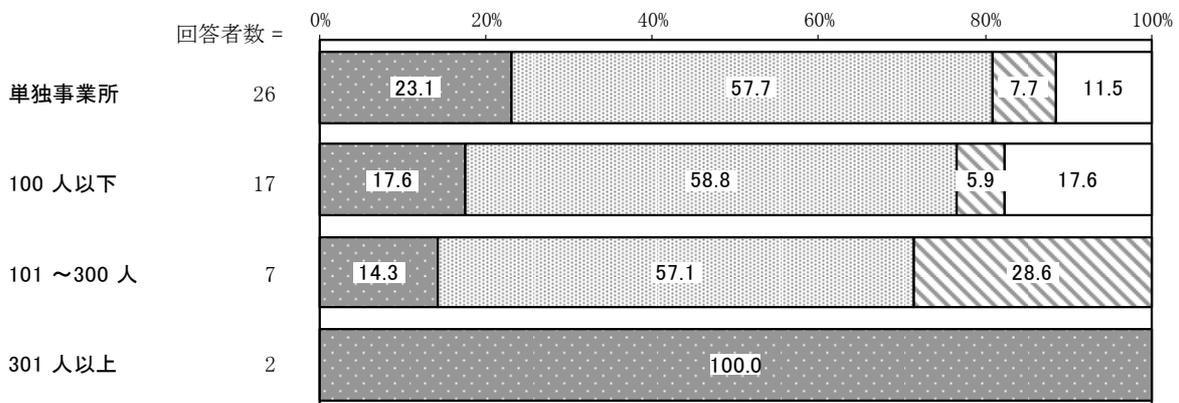
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「格差がある」の割合が高くなっています。



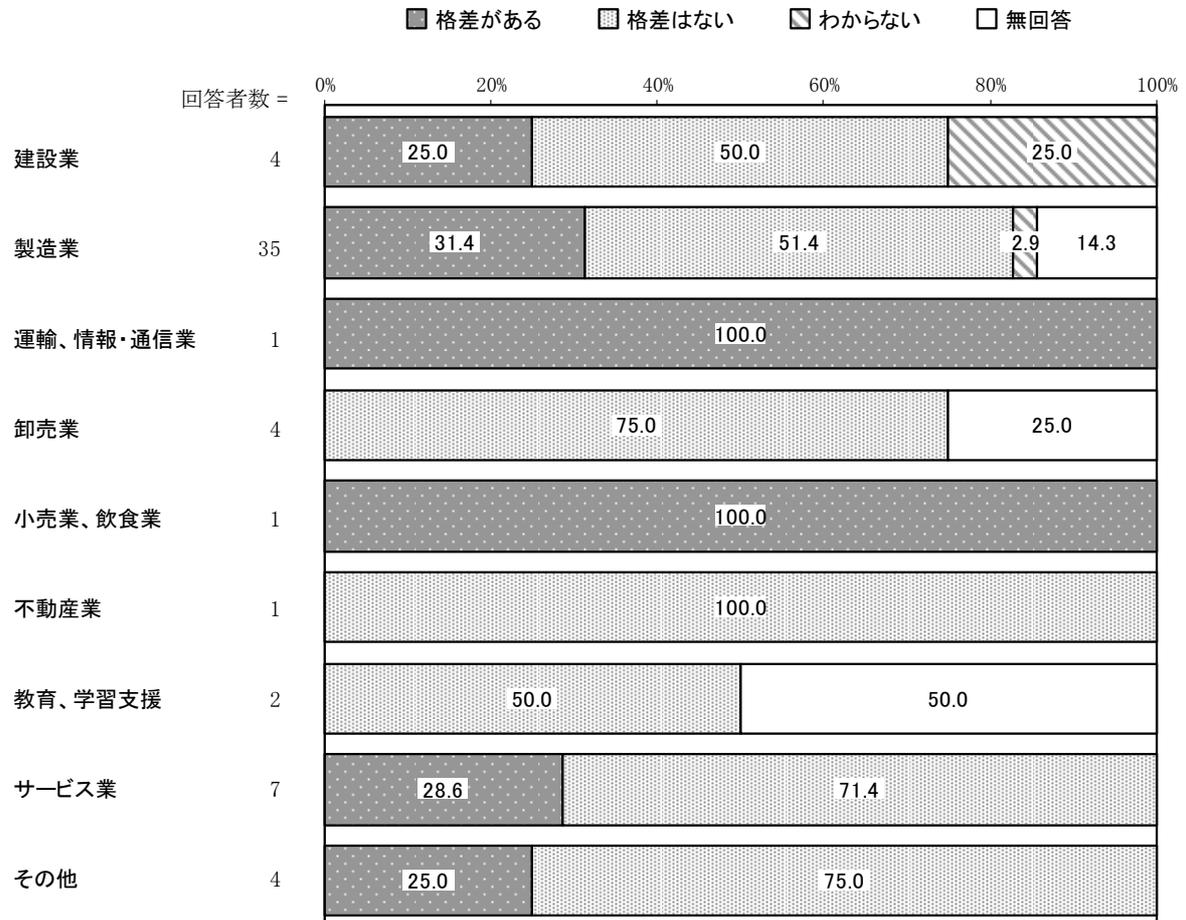
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(7) 勤務時間

【業種別】

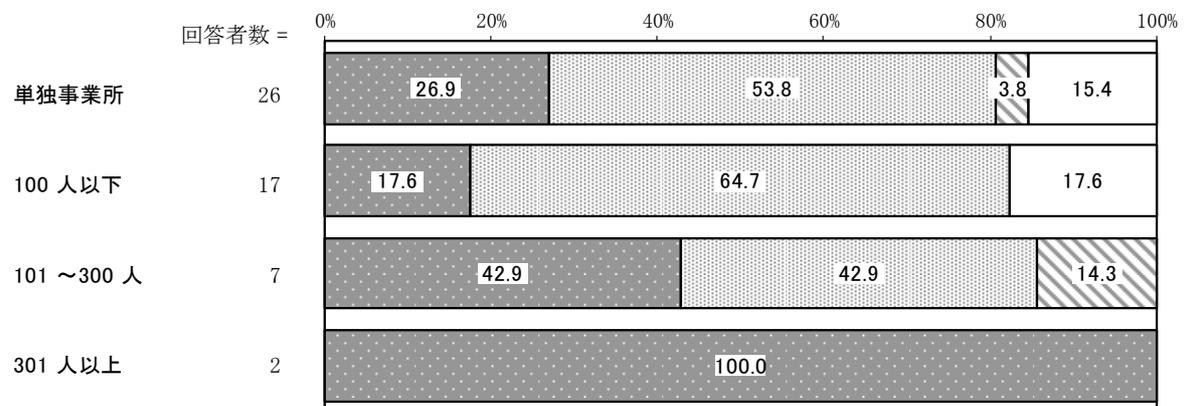
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差はない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「格差がある」の割合が高くなっています。また、100人以下で「格差はない」の割合が高くなっています。



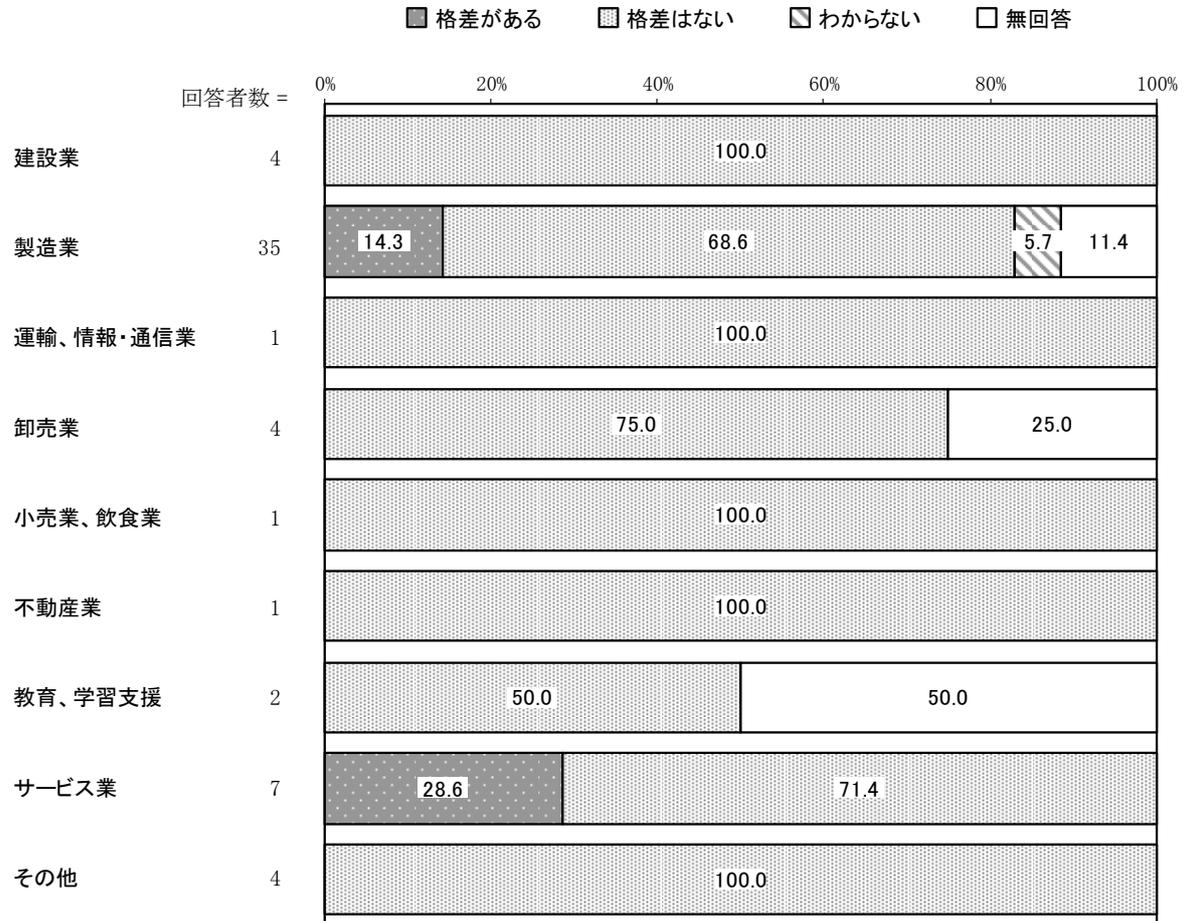
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(8) 福利厚生

【業種別】

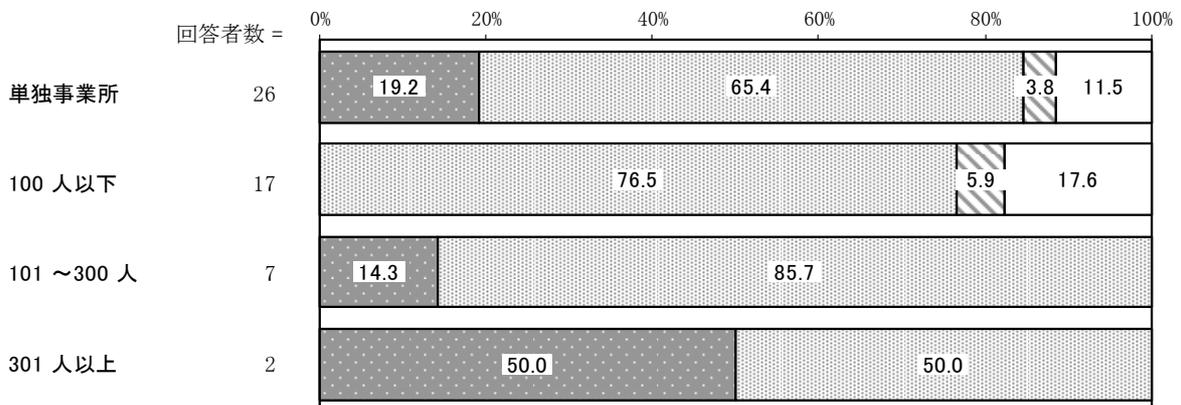
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「格差はない」の割合が高くなっています。



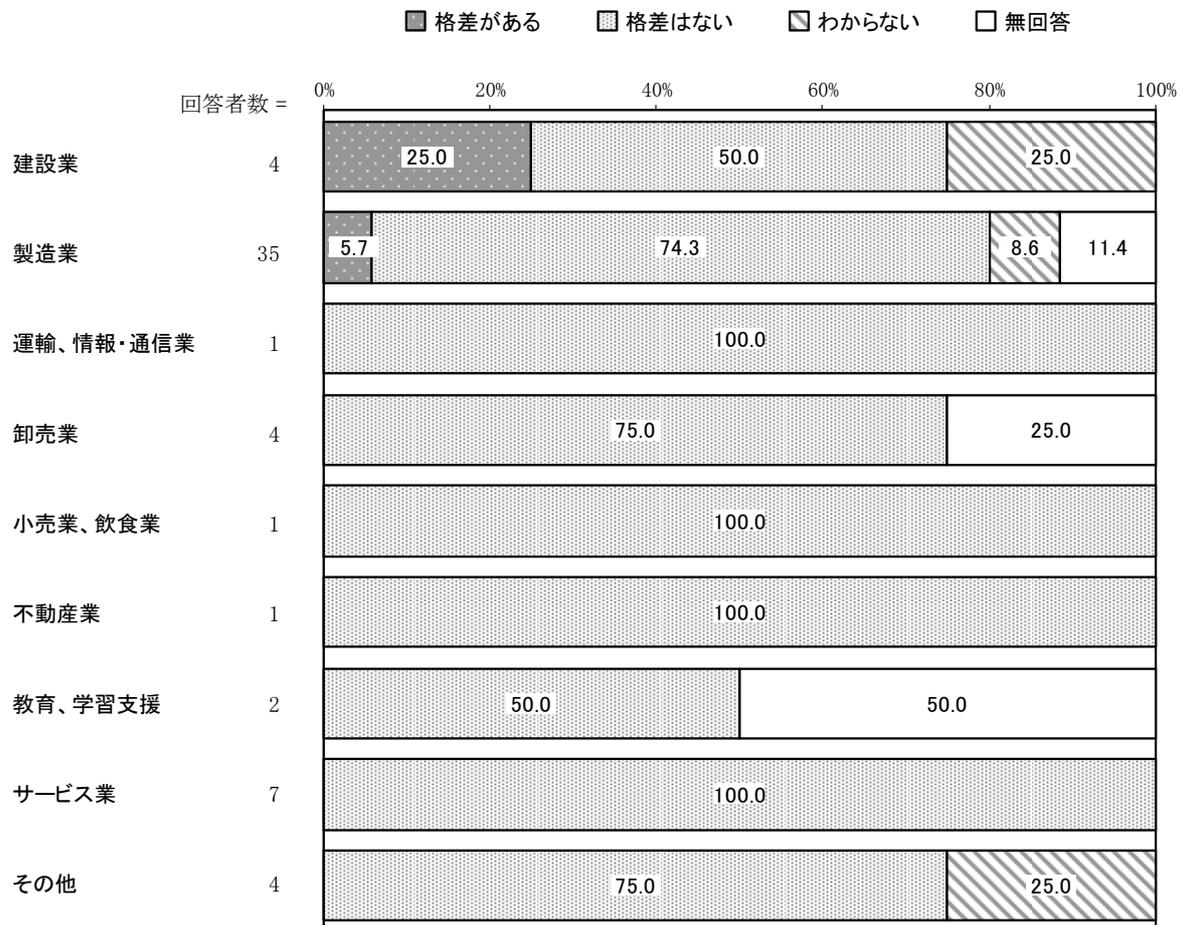
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(9) 解雇

【業種別】

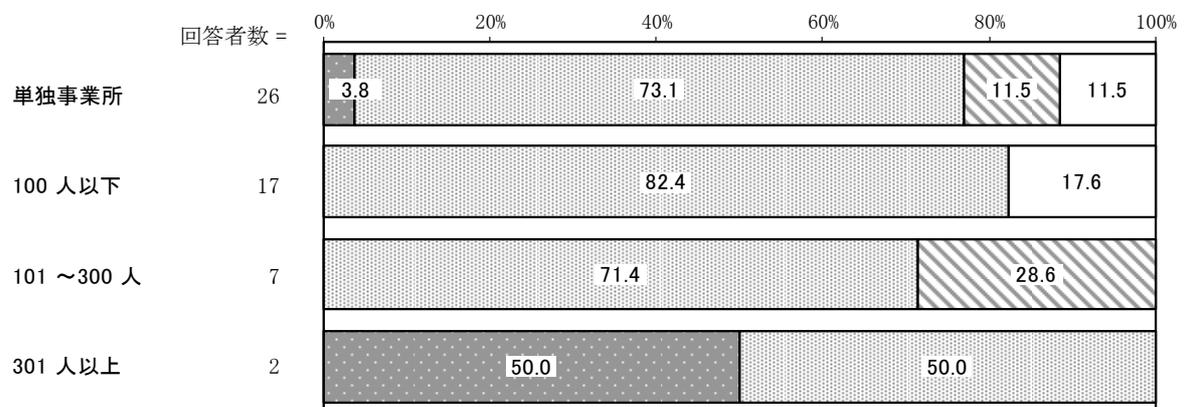
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差はない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「格差はない」の割合が高くなっています。



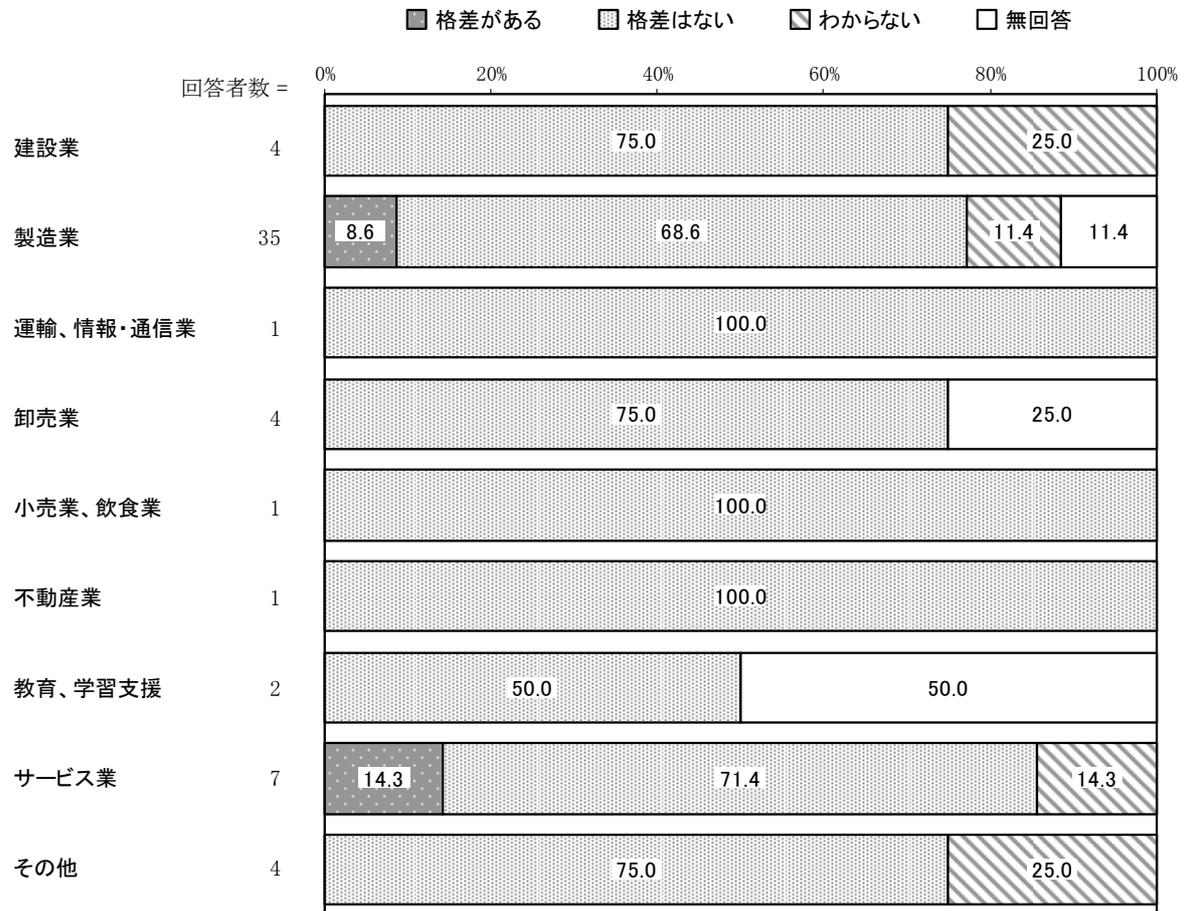
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(10) 解雇

【業種別】

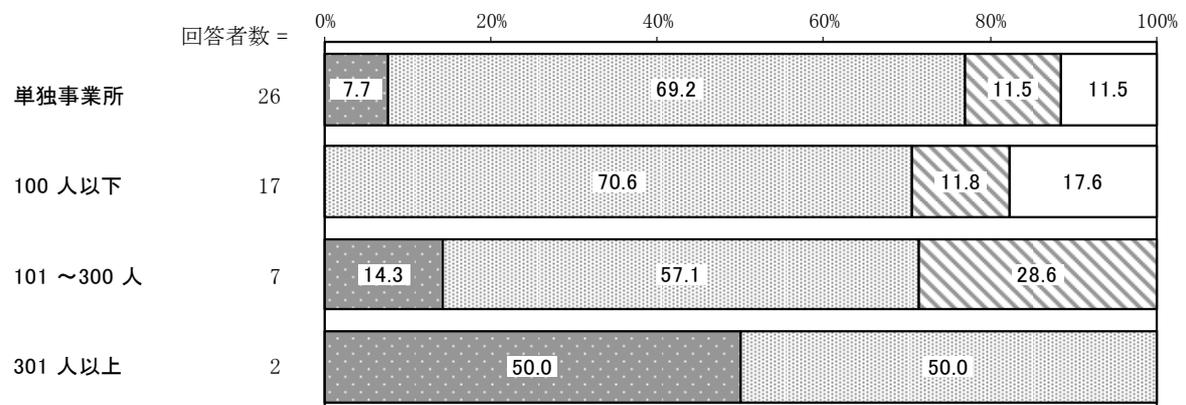
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「格差がある」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、101～300人で「格差がある」の割合が高くなっています。

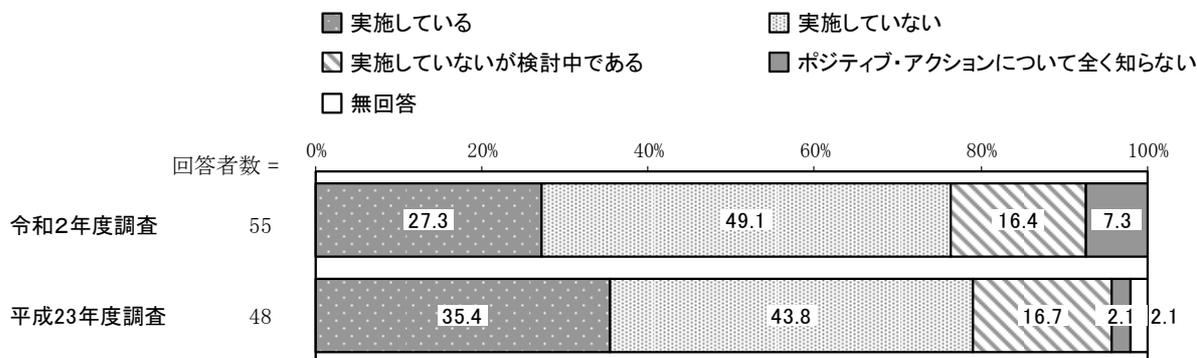


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問10 貴事業所では、男女間の格差の解消を進めるための積極的な取り組み（ポジティブ・アクション）を何か実施していますか。（1つに○）

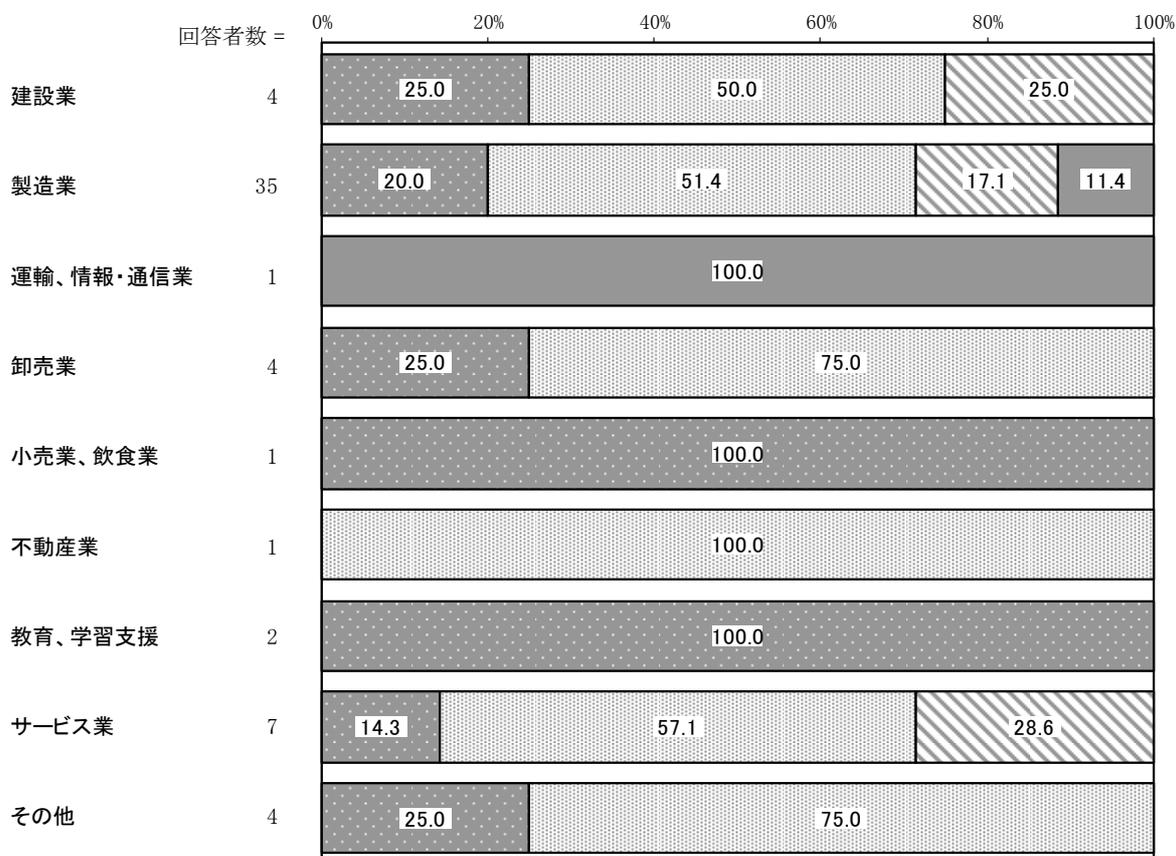
「実施していない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「実施している」の割合が27.3%、「実施していないが検討中である」の割合が16.4%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「実施していない」「ポジティブ・アクションについて全く知らない」の割合が高くなっています。一方、「実施している」の割合が低くなっています。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「実施していないが検討中である」の割合が高くなっています。

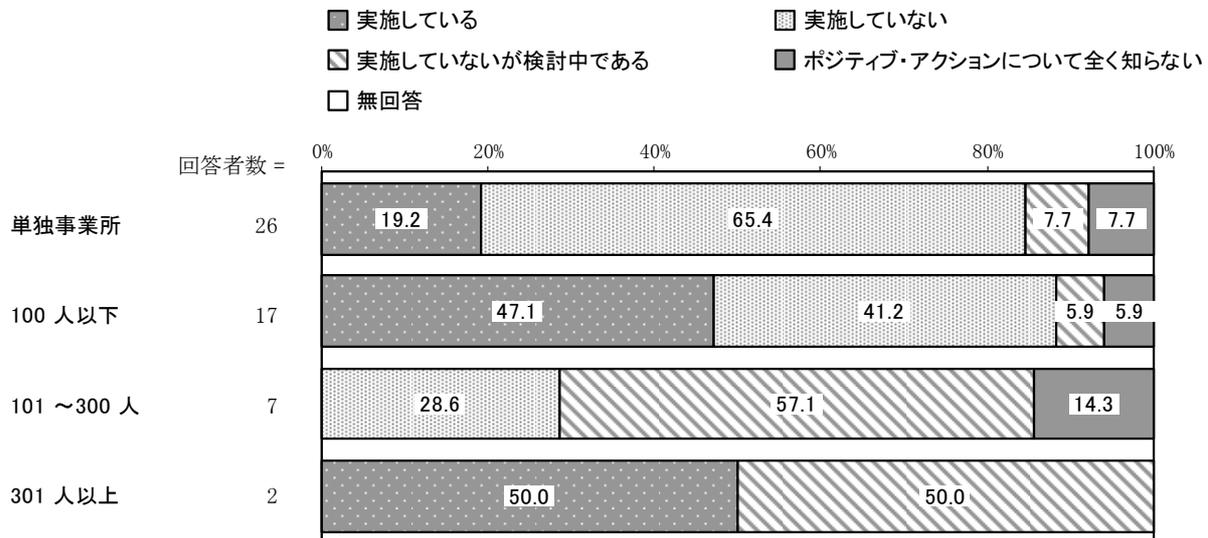


※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 10 貴事業所では、男女間の格差の解消を進めるための積極的な取り組み（ポジティブ・アクション）を何か実施していますか。（1つに○）

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「実施している」の割合が、単独事業所で「実施していない」の割合が高くなっています。また、101～300人で「実施していないが検討中である」の割合が高くなっています。

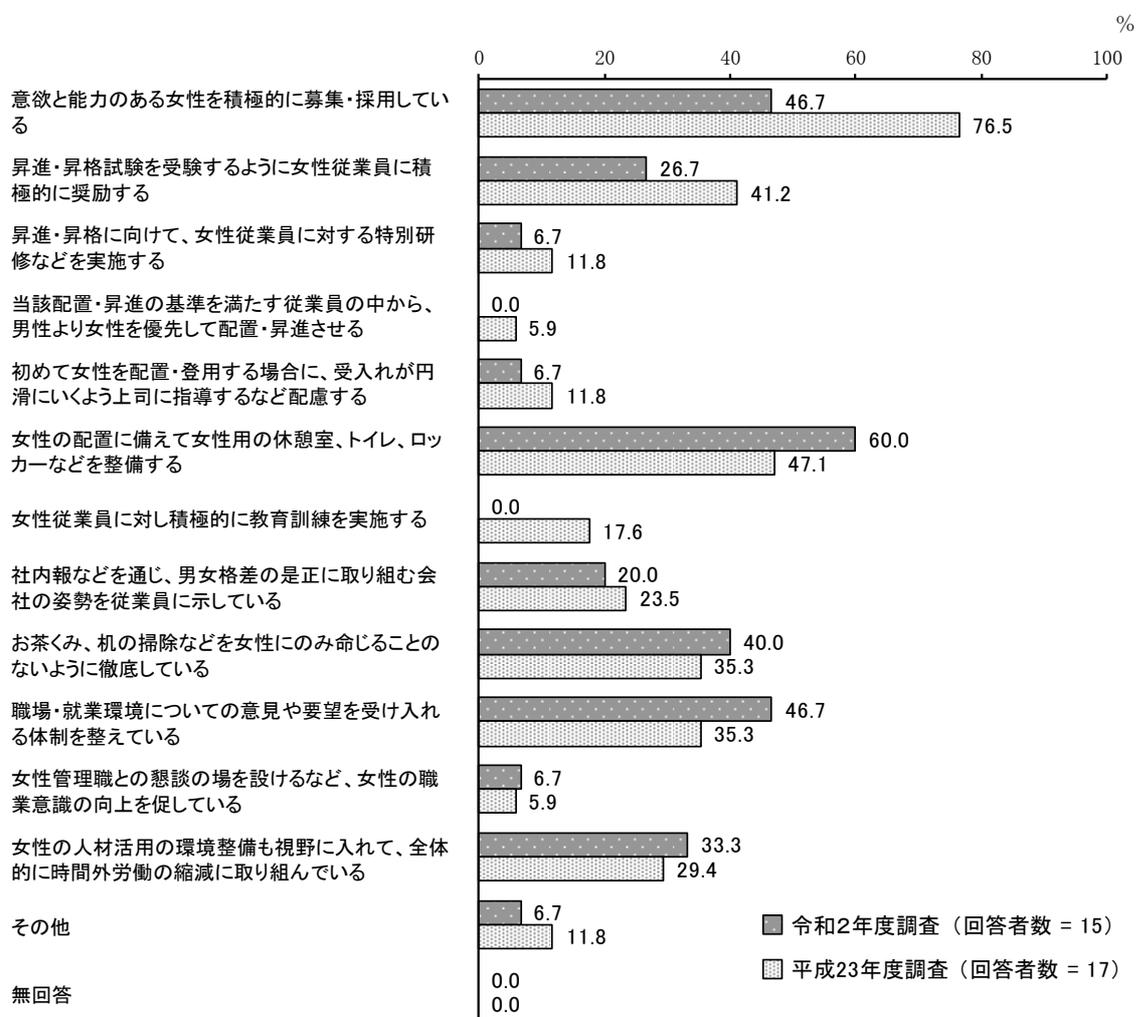


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問10-1 問10で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

「女性の配置に備えて女性用の休憩室、トイレ、ロッカーなどを整備する」の割合が60.0%と最も高く、次いで「意欲と能力のある女性を積極的に募集・採用している」、「職場・就業環境についての意見や要望を受け入れる体制を整えている」の割合が46.7%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「女性の配置に備えて女性用の休憩室、トイレ、ロッカーなどを整備する」「職場・就業環境についての意見や要望を受け入れる体制を整えている」の割合が高くなっています。一方、「意欲と能力のある女性を積極的に募集・採用している」「昇進・昇格試験を受験するように女性従業員に積極的に奨励する」「昇進・昇格に向けて、女性従業員に対する特別研修などを実施する」「当該配置・昇進の基準を満たす従業員の中から、男性より女性を優先して配置・昇進させる」「初めて女性を配置・登用する場合に、受入れが円滑にいくよう上司に指導するなど配慮する」「女性従業員に対し積極的に教育訓練を実施する」の割合が低くなっています。

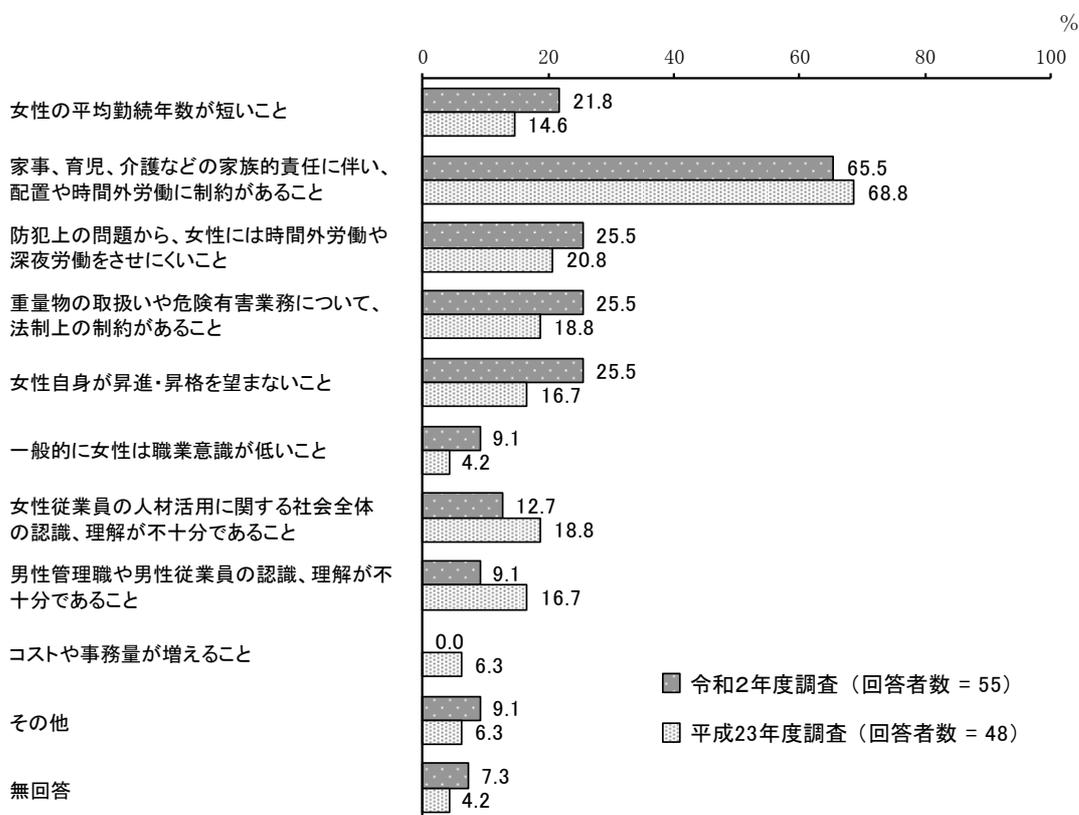


問11 すべての事業所の方におうかがいします。

女性の人材を活用するにあたって、支障となることはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

「家事、育児、介護などの家族的責任に伴い、配置や時間外労働に制約があること」の割合が65.5%と最も高く、次いで「防犯上の問題から、女性には時間外労働や深夜労働をさせにくいこと」、「重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約があること」、「女性自身が昇進・昇格を望まないこと」の割合が25.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「女性の平均勤続年数が短いこと」「重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約があること」「女性自身が昇進・昇格を望まないこと」の割合が高くなっています。一方、「女性従業員の人材活用に関する社会全体の認識、理解が不十分であること」「男性管理職や男性従業員の認識、理解が不十分であること」「コストや事務量が増えること」の割合が低くなっています。

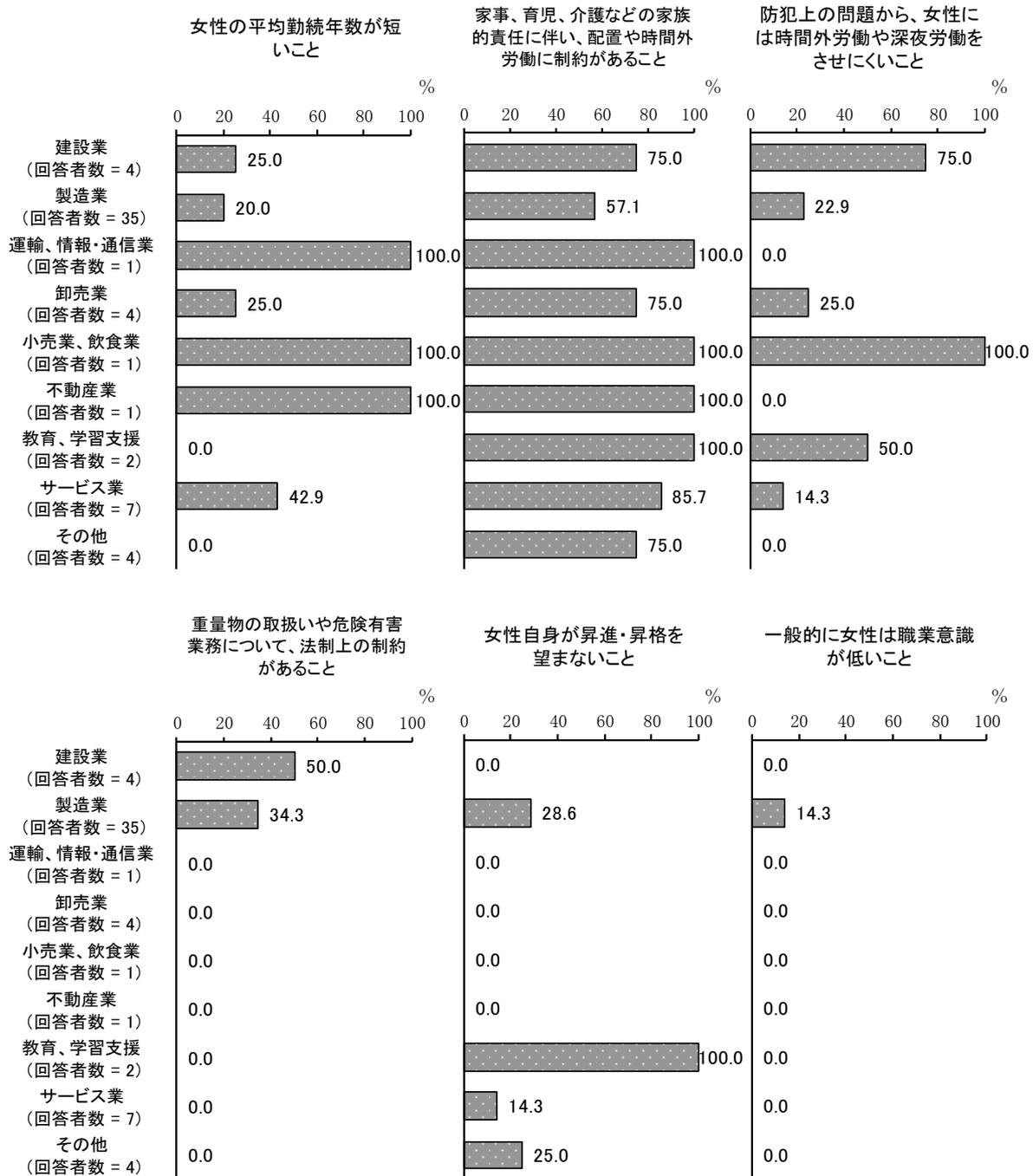


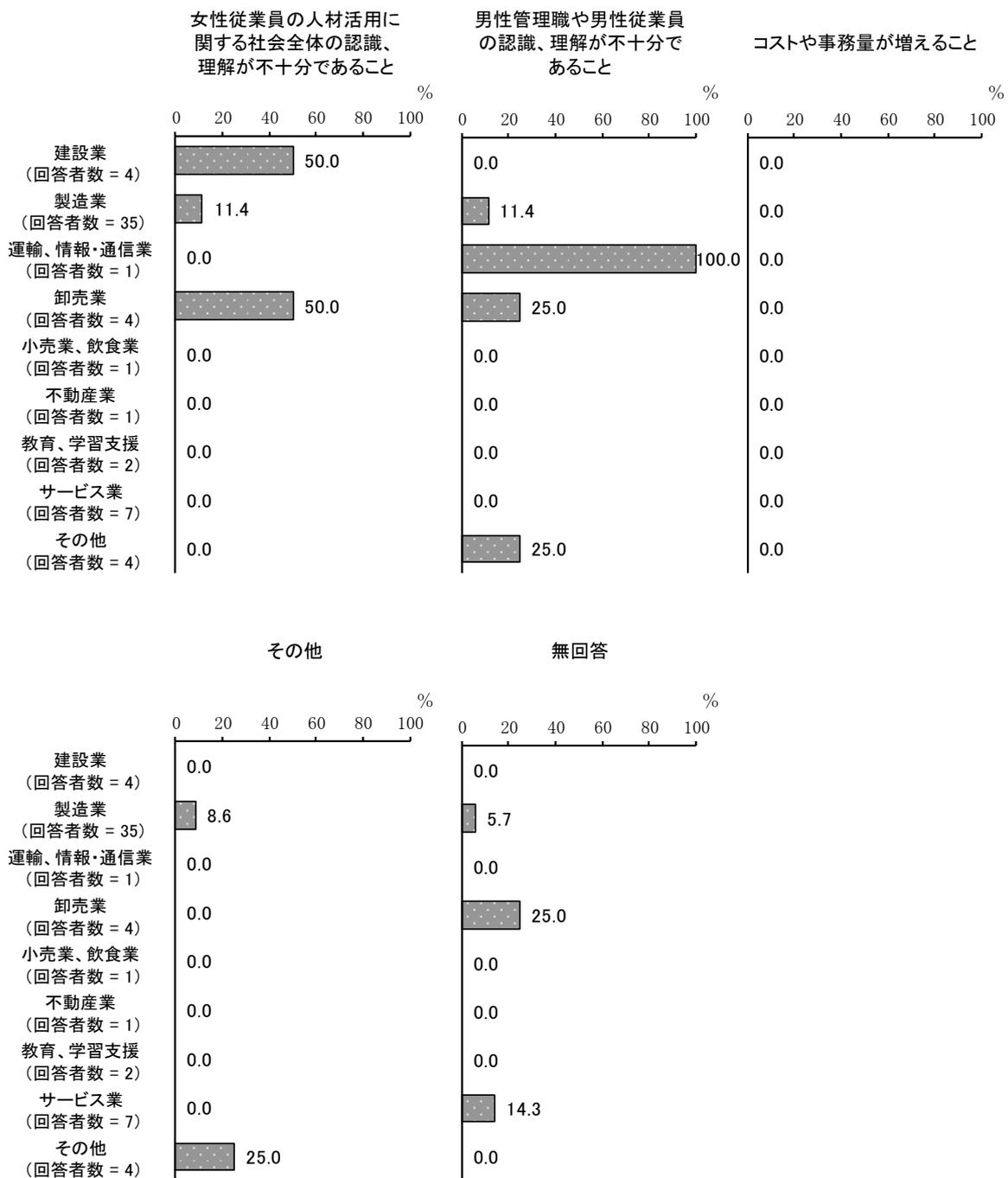
問11 すべての事業所の方におうかがいします。

女性の人材を活用するにあたって、支障となることはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

【業種別】

業種別で見ると、他に比べ、製造業で「重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約があること」「女性自身が昇進・昇格を望まないこと」の割合が高くなっています。また、サービス業で「女性の平均勤続年数が短いこと」「家事、育児、介護などの家族的責任に伴い、配置や時間外労働に制約があること」の割合が高くなっています。





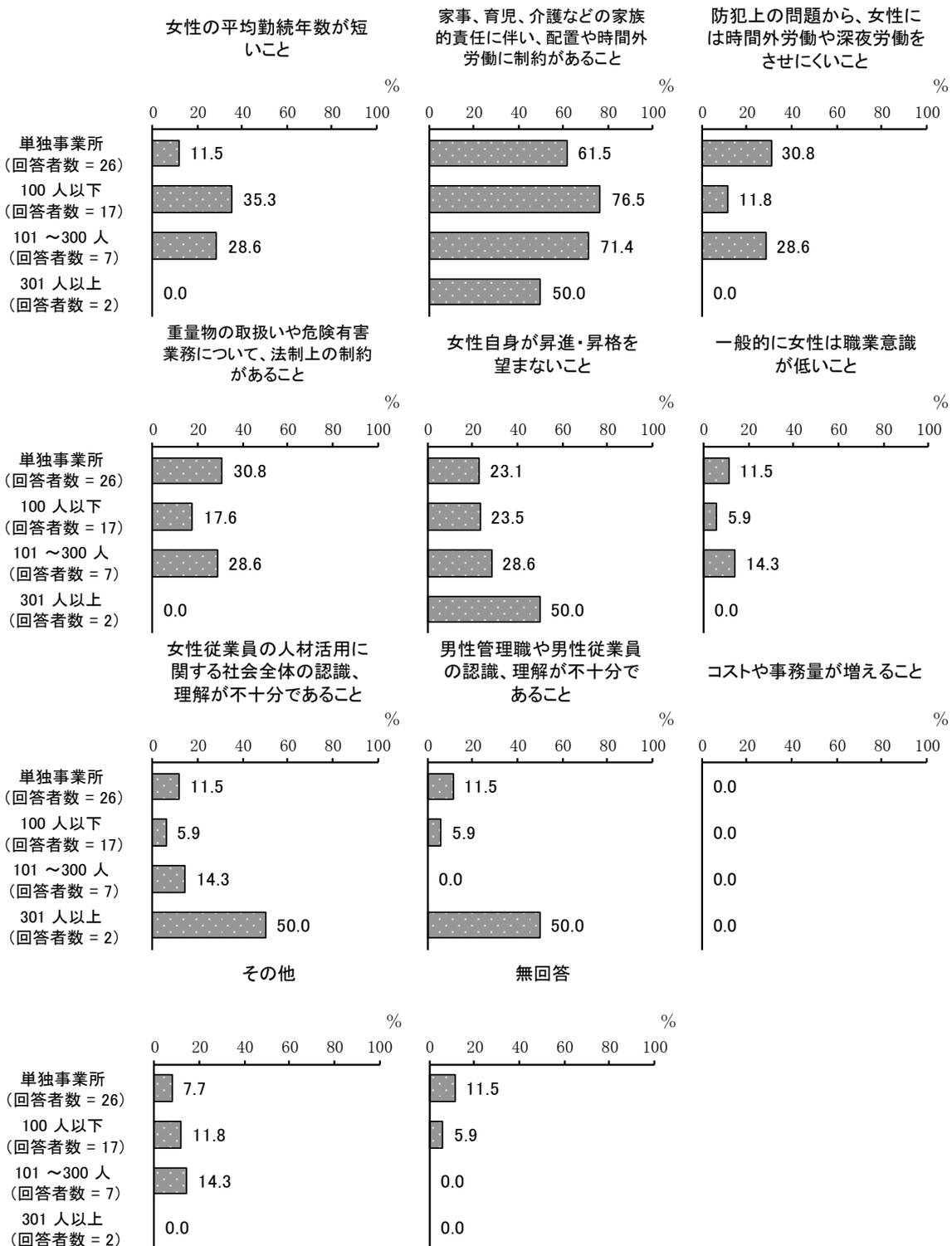
※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問11 すべての事業所の方におうかがいします。

女性の人材を活用するにあたって、支障となることはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「女性の平均勤続年数が短いこと」「家事、育児、介護などの家族的責任に伴い、配置や時間外労働に制約があること」の割合が高くなっています。



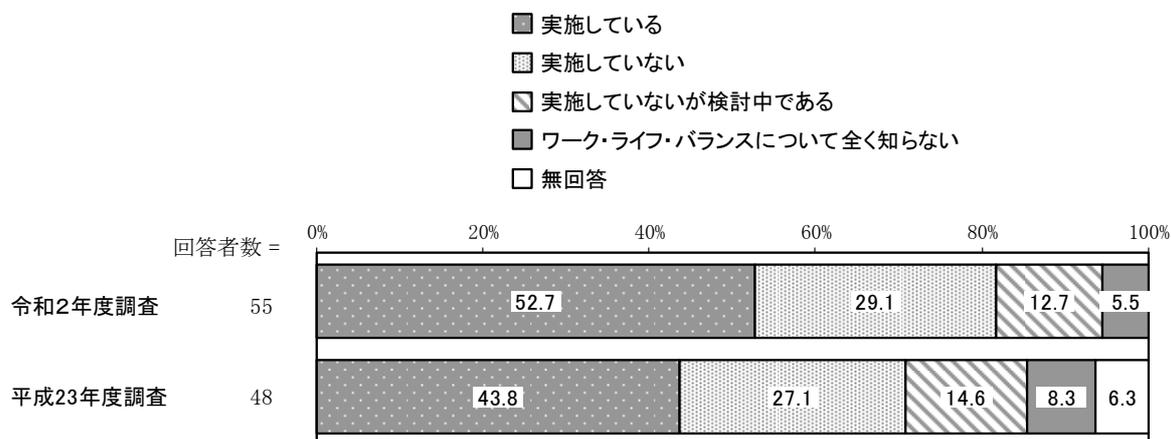
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

(3) ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みについて

問 12 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する取り組みを何か実施していますか。（1つに○）

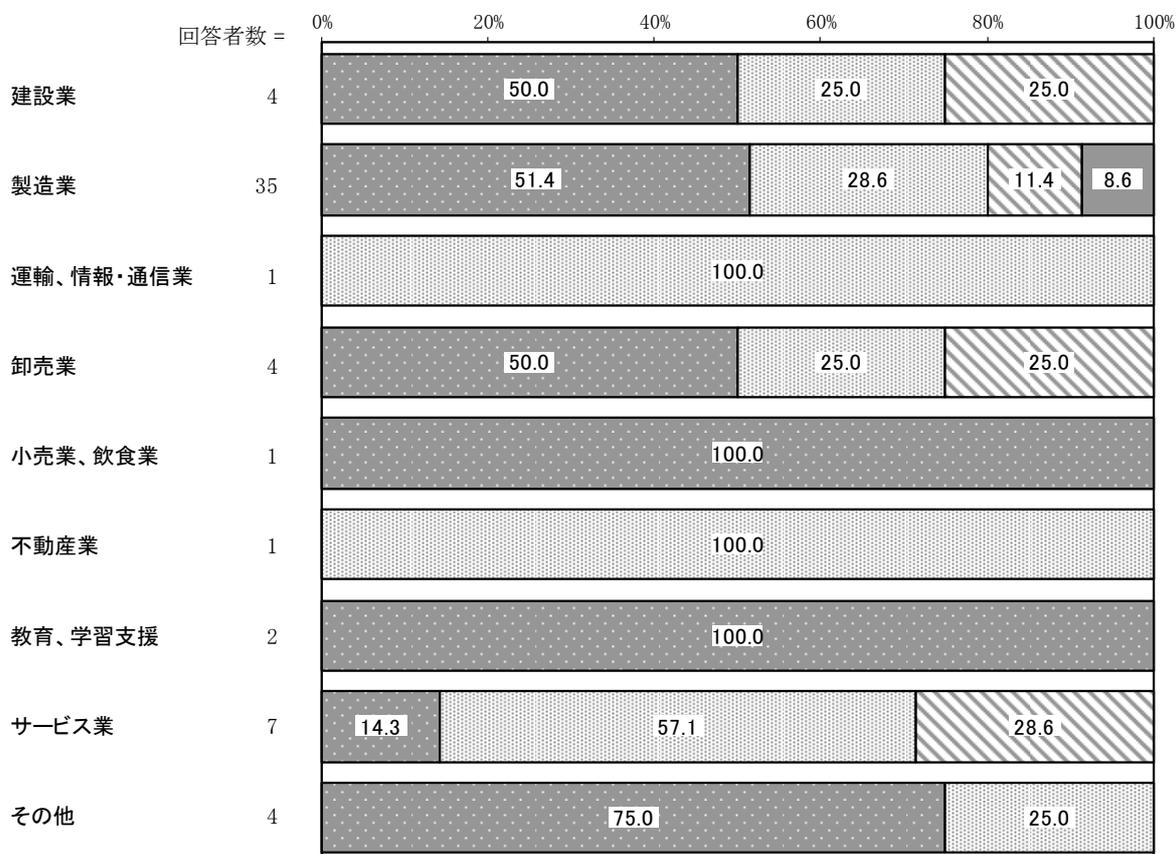
「実施している」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「実施していない」の割合が 29.1%、「実施していないが検討中である」の割合が 12.7%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「実施している」の割合が高くなっています。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、製造業で「実施している」の割合が高くなっています。また、サービス業で「実施していない」「実施していないが検討中である」の割合が高くなっています。

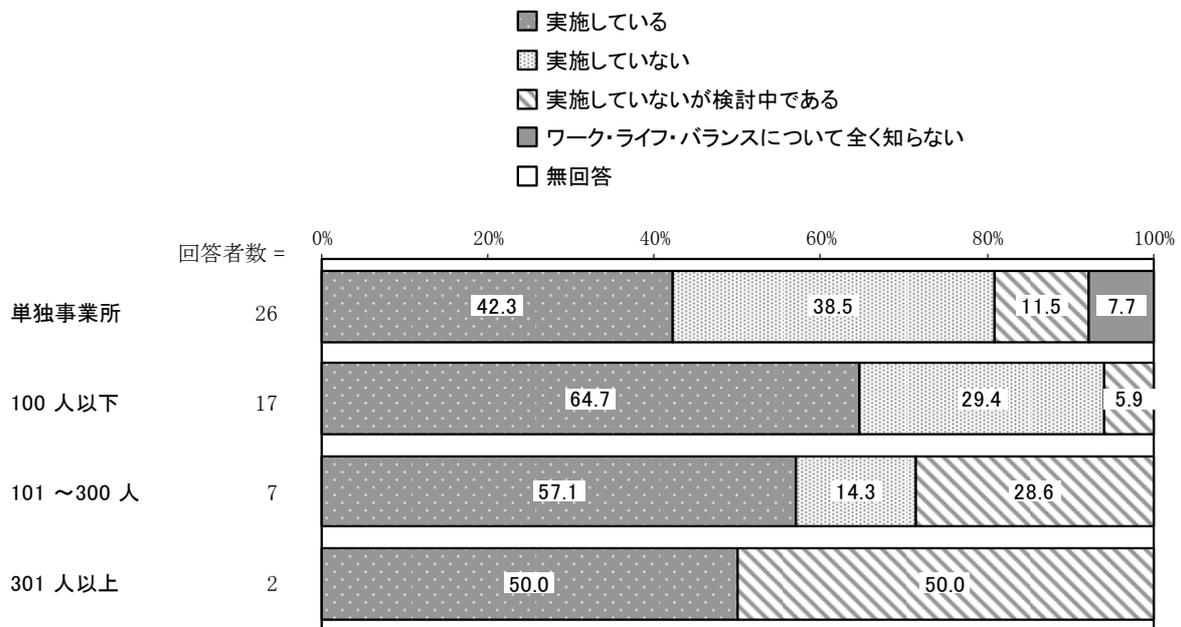


※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 12 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する取り組みを何か実施していますか。（1つに○）

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、単独事業所で「実施していない」の割合が高くなっています。また、100人以下で「実施している」の割合が、101～300人で「実施していないが検討中である」の割合が高くなっています。



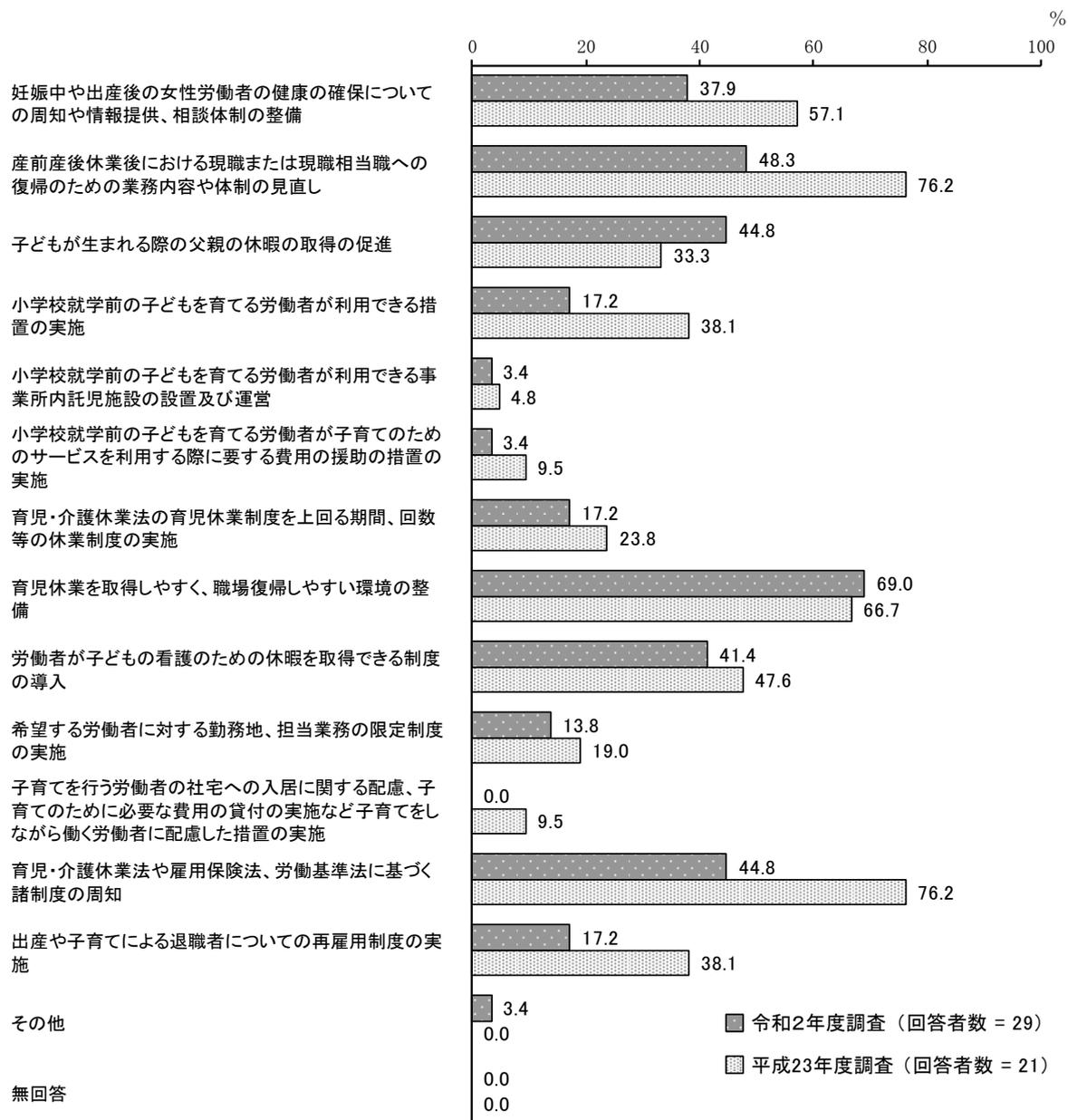
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 12-1 問 12 で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。(1) 及び (2) についてお答えください。

(1) 職業生活と家庭生活との両立支援に関して (あてはまるものすべてに○)

「育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「産前産後休業後における現職または現職相当職への復帰のための業務内容や体制の見直し」の割合が 48.3%、「子どもが生まれる際の父親の休暇の取得の促進」、「育児・介護休業法や雇用保険法、労働基準法に基づく諸制度の周知」の割合が 44.8%となっています。

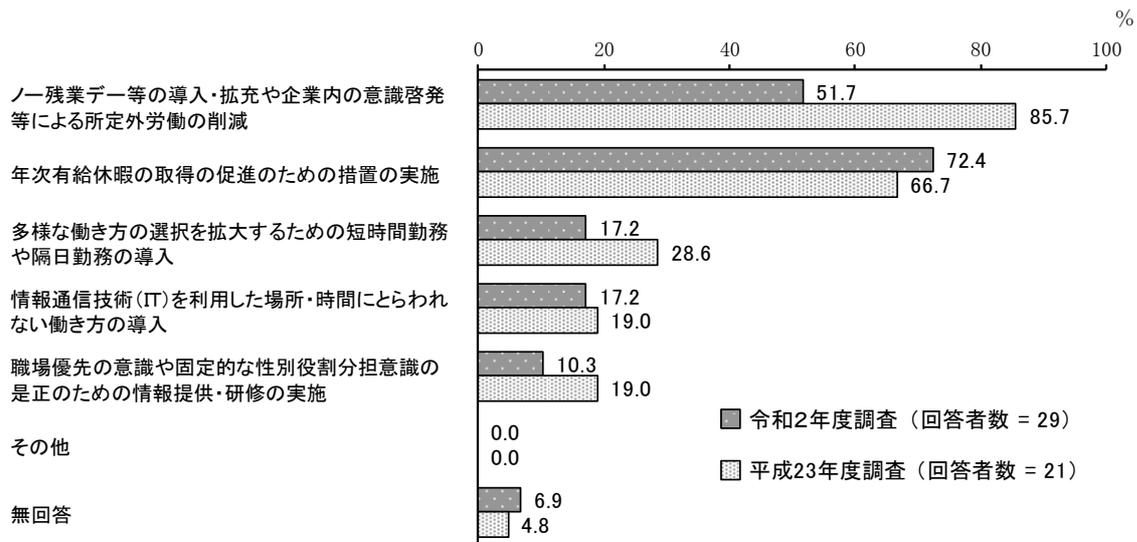
平成 23 年度調査と比較すると、「子どもが生まれる際の父親の休暇の取得の促進」の割合が高くなっています。一方、「妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保についての周知や情報提供、相談体制の整備」「産前産後休業後における現職または現職相当職への復帰のための業務内容や体制の見直し」「小学校就学前の子どもを育てる労働者が子育てのためのサービスを利用する際に要する費用の援助の措置の実施」「育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度の実施」「労働者が子どもの看護のための休暇を取得できる制度の導入」「希望する労働者に対する勤務地、担当業務の限定制度の実施」「子育てを行う労働者の社宅への入居に関する配慮、子育てのために必要な費用の貸付の実施など子育てをしながら働く労働者に配慮した措置の実施」「育児・介護休業法や雇用保険法、労働基準法に基づく諸制度の周知」「出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施」の割合が低くなっています。



問 12-1 問 12 で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。(1) 及び (2) についてお答えください。

(2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備に関して (あてはまるものすべてに○)

「年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「ノー残業デー等の導入・拡充や企業内の意識啓発等による所定外労働の削減」の割合が 51.7%、「多様な働き方の選択を拡大するための短時間勤務や隔日勤務の導入」、「情報通信技術 (IT) を利用した場所・時間にとらわれない働き方の導入」の割合が 17.2%となっています。



問13 貴事業所で、過去1年間（平成31年4月1日～令和2年3月31日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(1) 育児休業の取得状況

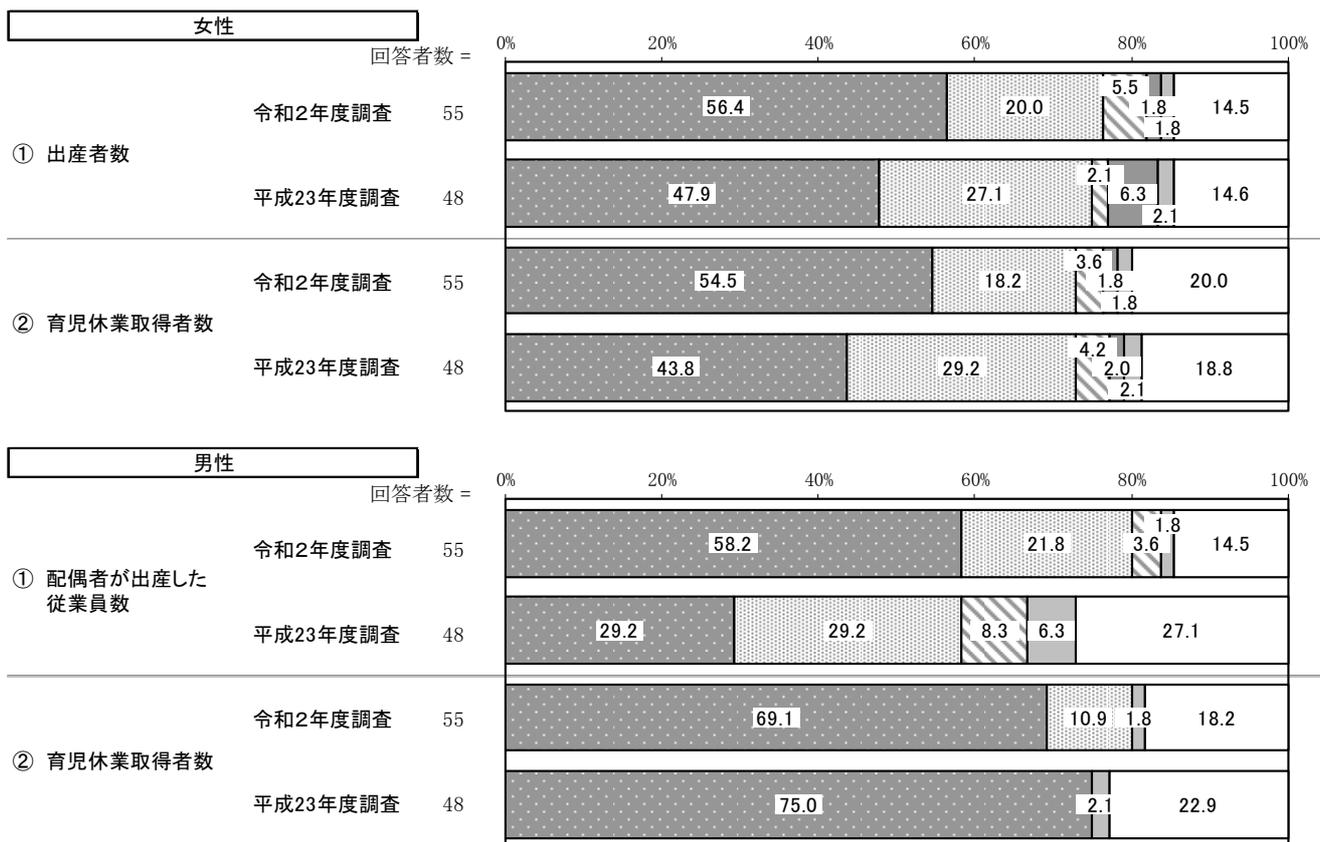
育児休業の取得者数は、男女ともに「取得していない（0人）」の割合が最も高く、特に男性では約7割が取得していないと回答しています。

女性では、出産者数が「1～4人」の割合が20.0%に対し、育児休業取得者数が「1～4人」の割合が18.2%となっており、出産した人の多くが育児休業を取得していると考えられます。

一方、男性では、配偶者が出産した従業員数が「1～4人」の割合が21.8%であるのに対し、育児休業取得者数が「1～4人」の割合が10.9%と、育児休業を取得した人は、配偶者が出産した従業員の半数程度であると考えられます。

平成23年度調査と比較すると、女性では、育児休業取得者数が「取得していない（0人）」の割合が高くなっているものの、出産者数も減少しており、育児休業を取得した人の割合に大きな変化はみられないと考えられます。一方、男性では、育児休業を取得した人の割合が高くなっています。

■ 0人 ■ 1～4人 ■ 5～9人 ■ 10～19人 ■ 20～29人 ■ 30人以上 □ 無回答



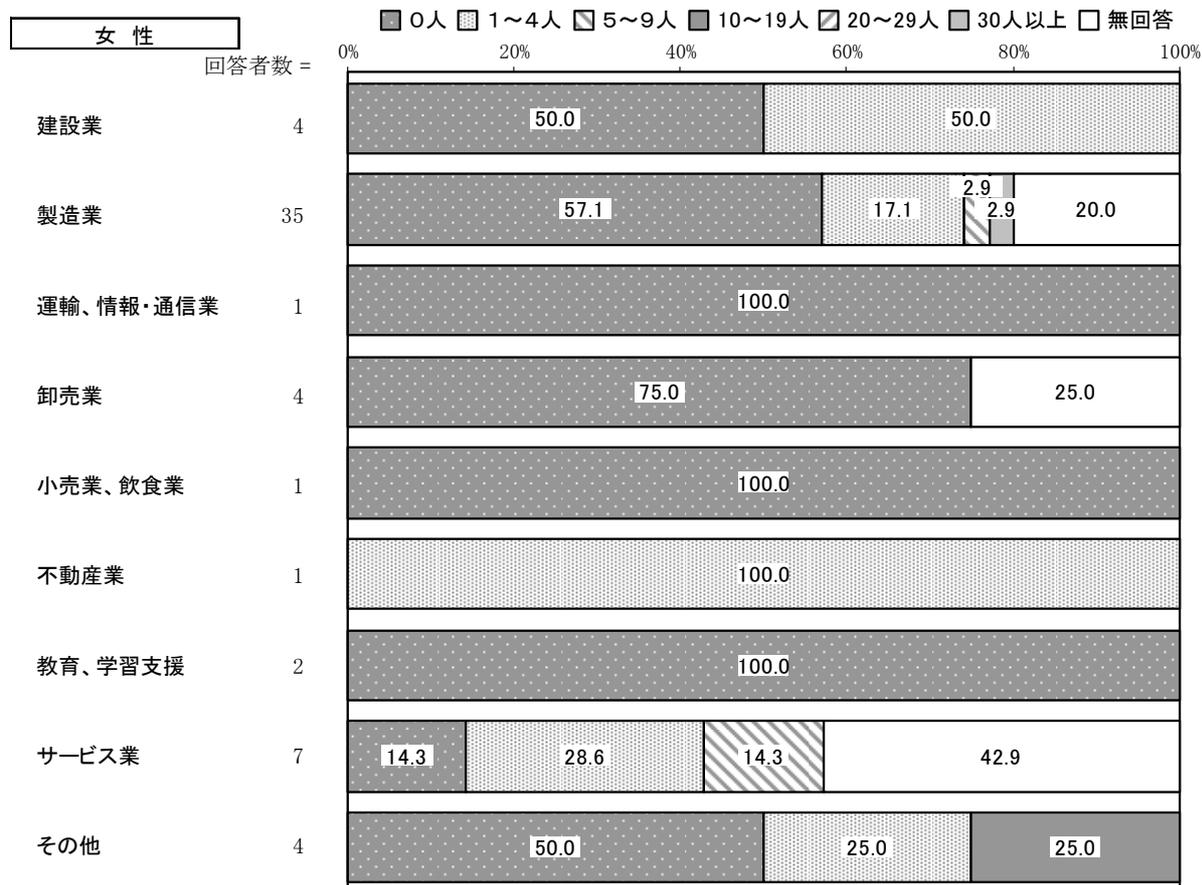
問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(1) 育児休業取得者数

①女性

【業種別】

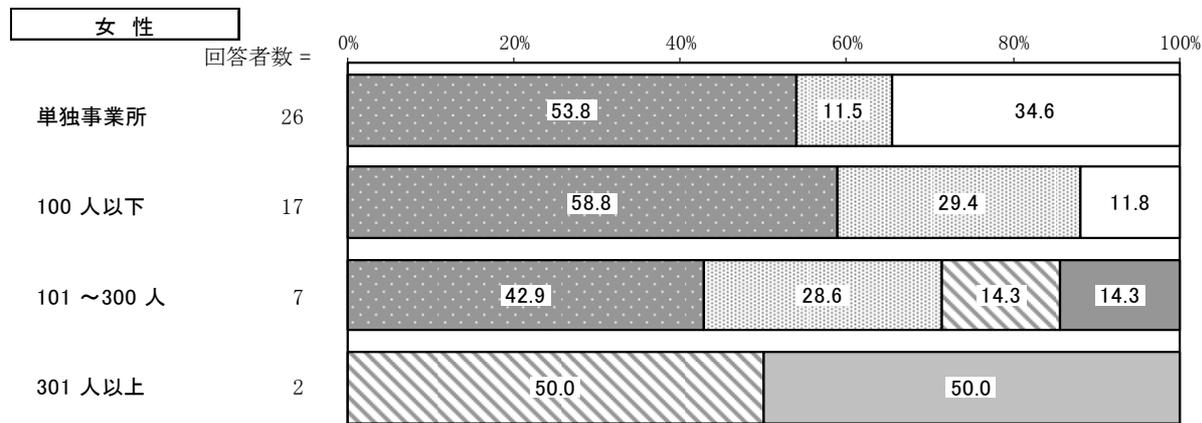
業種別でみると、他に比べ、製造業で「0人」の割合が高くなっています。また、サービス業で「1～4人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。また、101～300人で「5～9人」「10～19人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

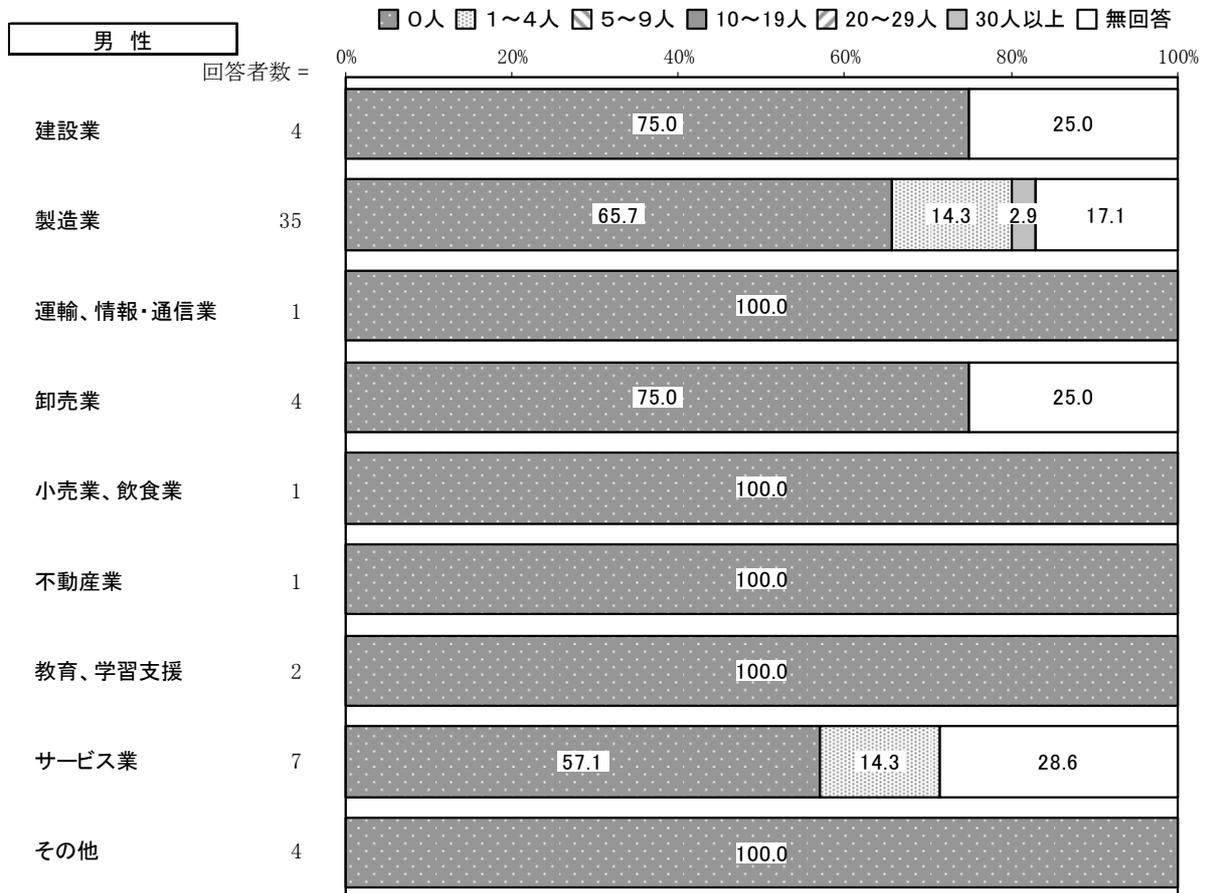
問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(1) 育児休業取得者数

②男性

【業種別】

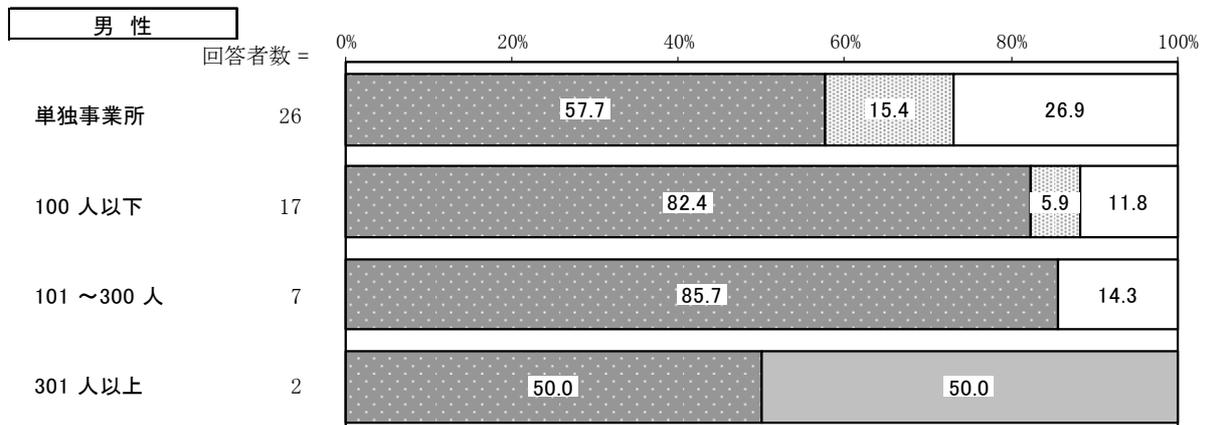
業種別でみると、他に比べ、製造業で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「0人」の割合が低く、「1~4人」の割合が高くなっています。



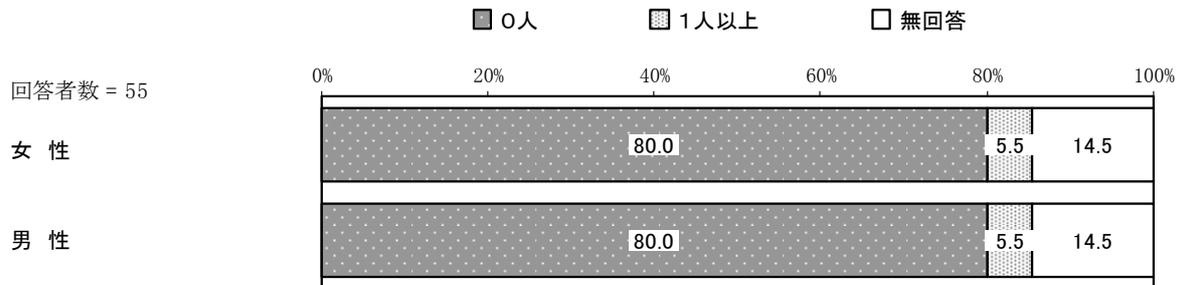
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

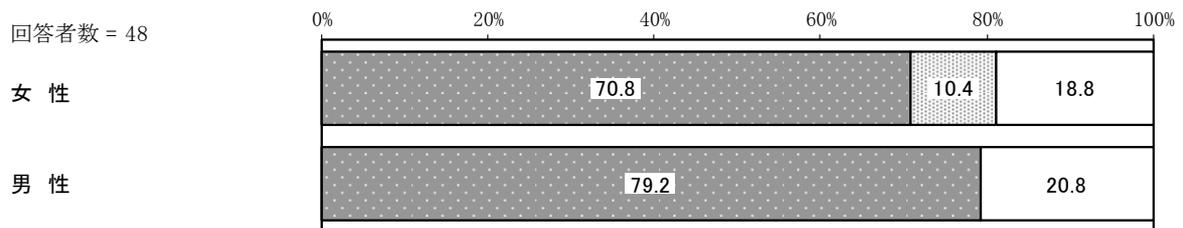
(2) 介護休業の取得状況

男女ともに「0人」の割合が80.0%、「1人以上」の割合が5.5%となっています。
平成 23 年度調査と比較すると、女性で「1人以上」の割合が低くなっています。

【令和 2 年度調査】



【平成 23 年度調査】



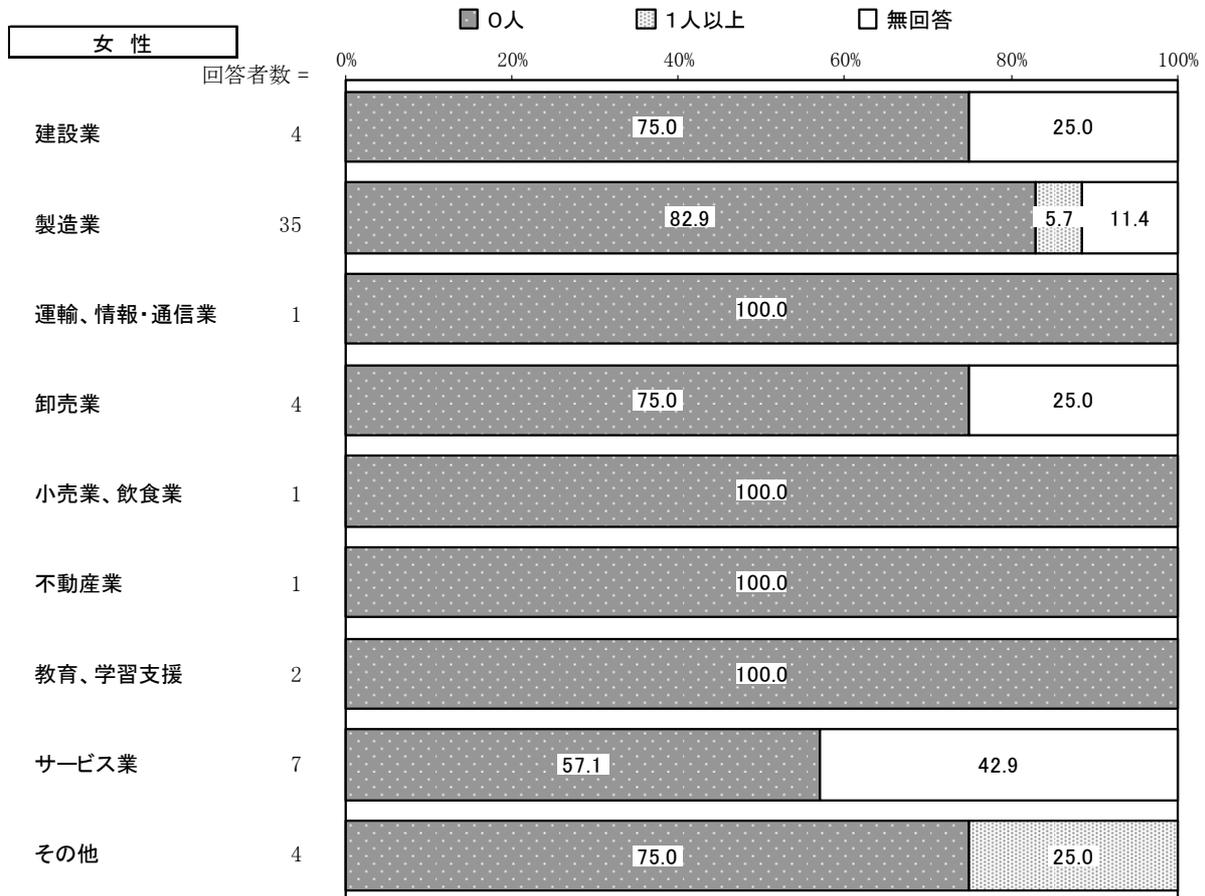
問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(2) 介護休業の取得状況

① 女性

【業種別】

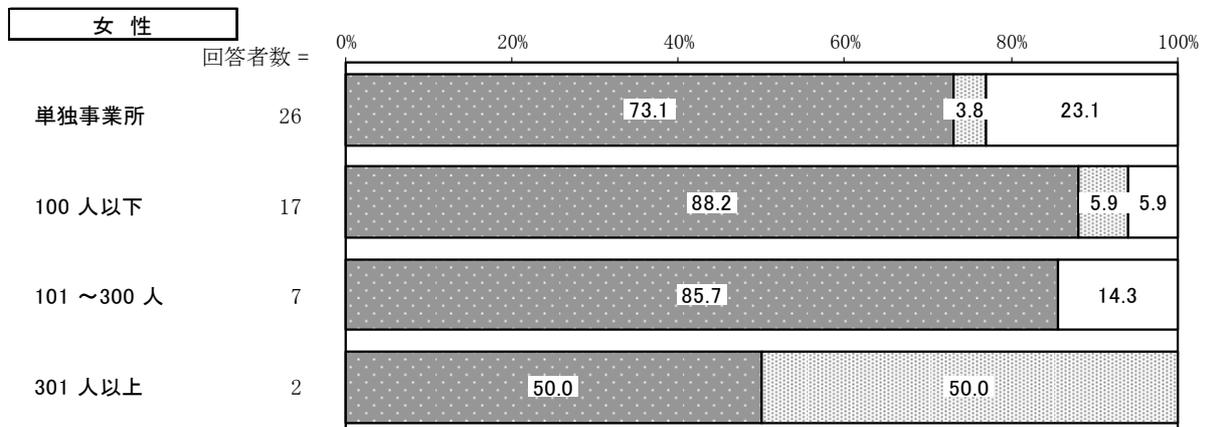
業種別でみると、他に比べ、製造業で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

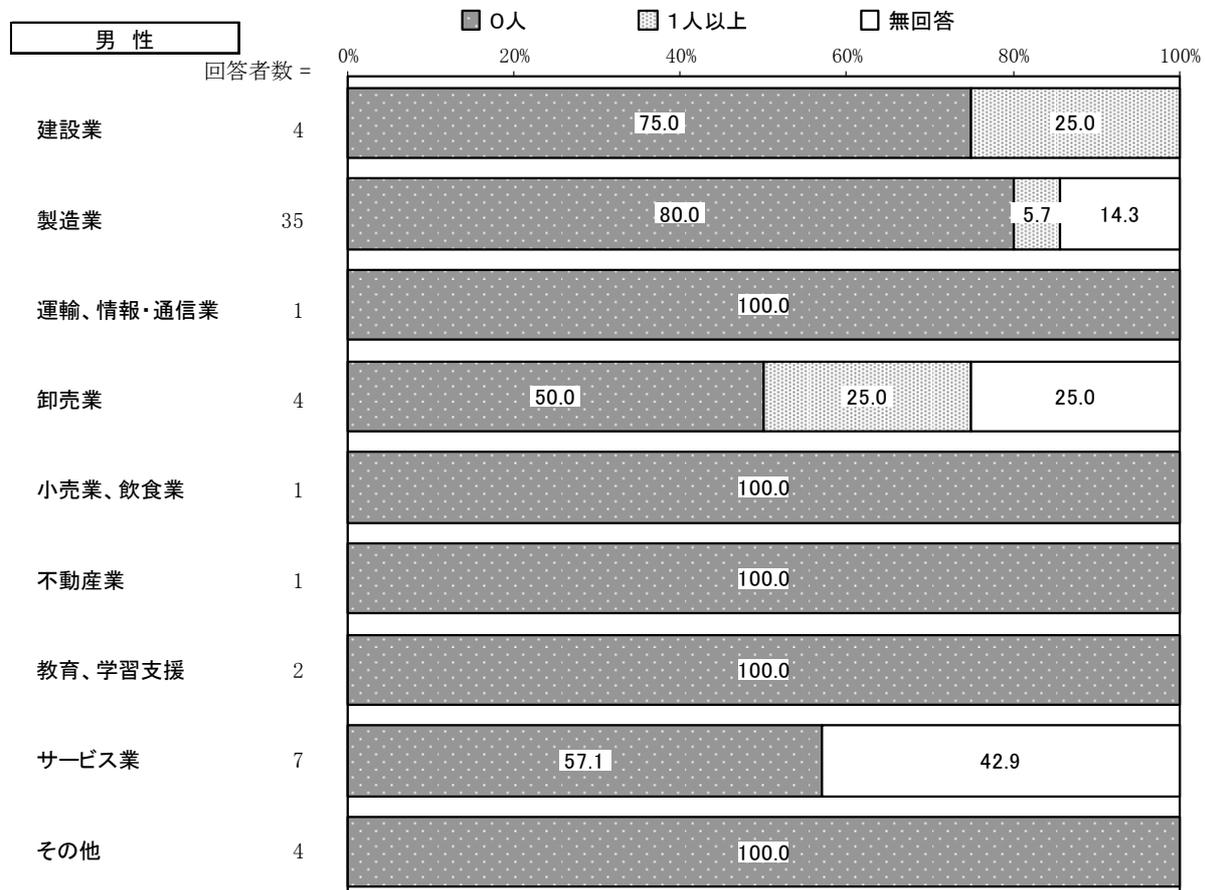
問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(2) 介護休業の取得状況

②男性

【業種別】

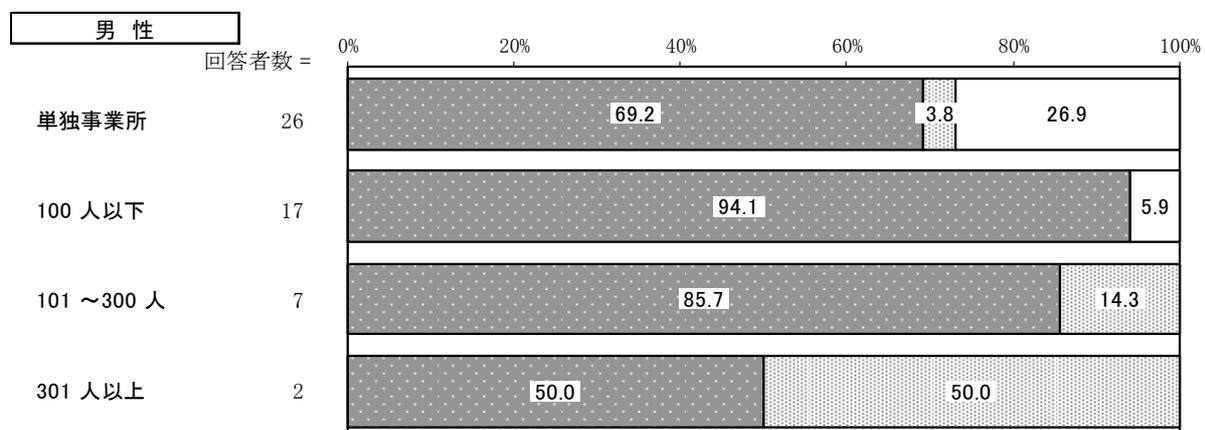
業種別でみると、他に比べ、製造業で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

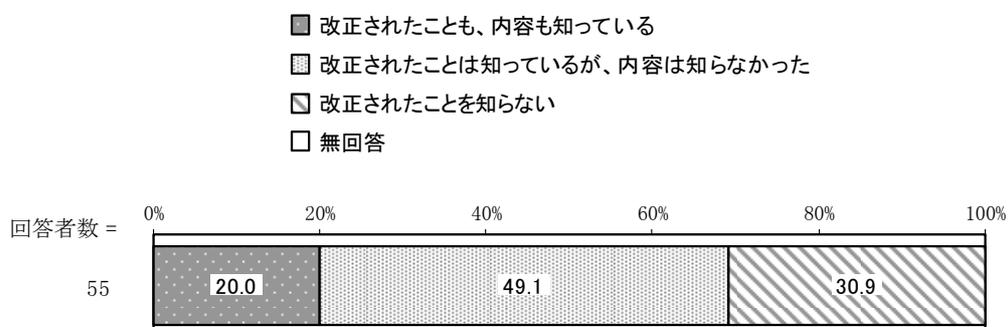
企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、100人以下で「0人」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

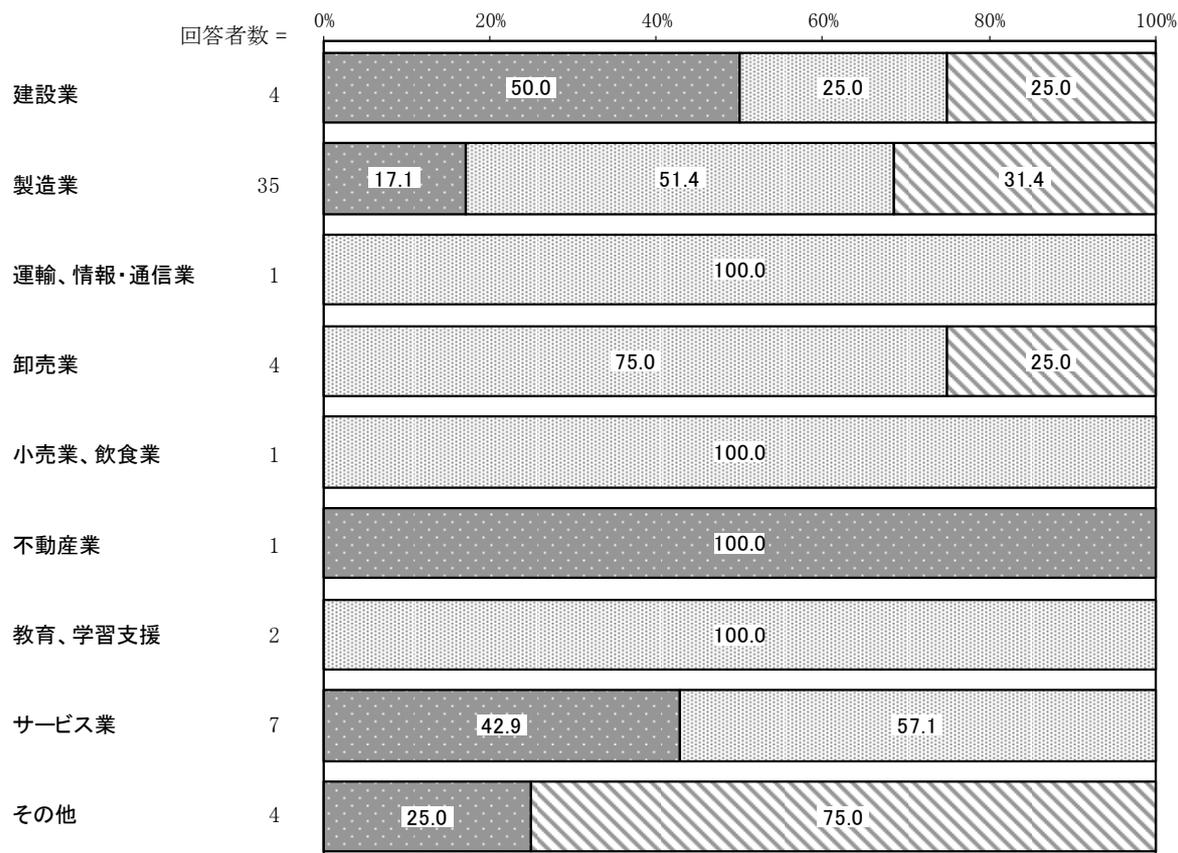
問 14 令和2年4月から女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が改正され施行されたことをご存じですか。（1つに○）

「改正されたことは知っているが、内容は知らなかった」の割合が49.1%と最も高く、次いで「改正されたことを知らない」の割合が30.9%、「改正されたことも、内容も知っている」の割合が20.0%となっています。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「改正されたことも、内容も知っている」「改正されたことは知っているが、内容は知らなかった」の割合がともに高くなっています。

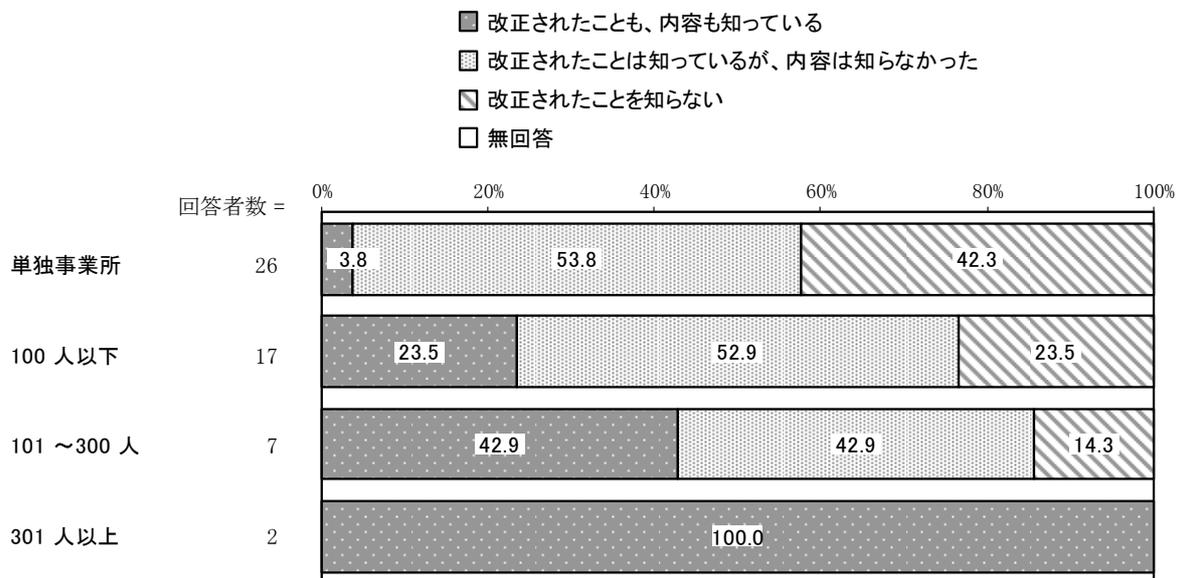


※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 14 令和2年4月から女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が改正され施行されたことをご存じですか。（1つに○）

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、従業員数別が多くなるにつれ「改正されたことも、内容も知っている」の割合が、少なくなるにつれ「改正されたことを知らない」の割合が高くなっています。

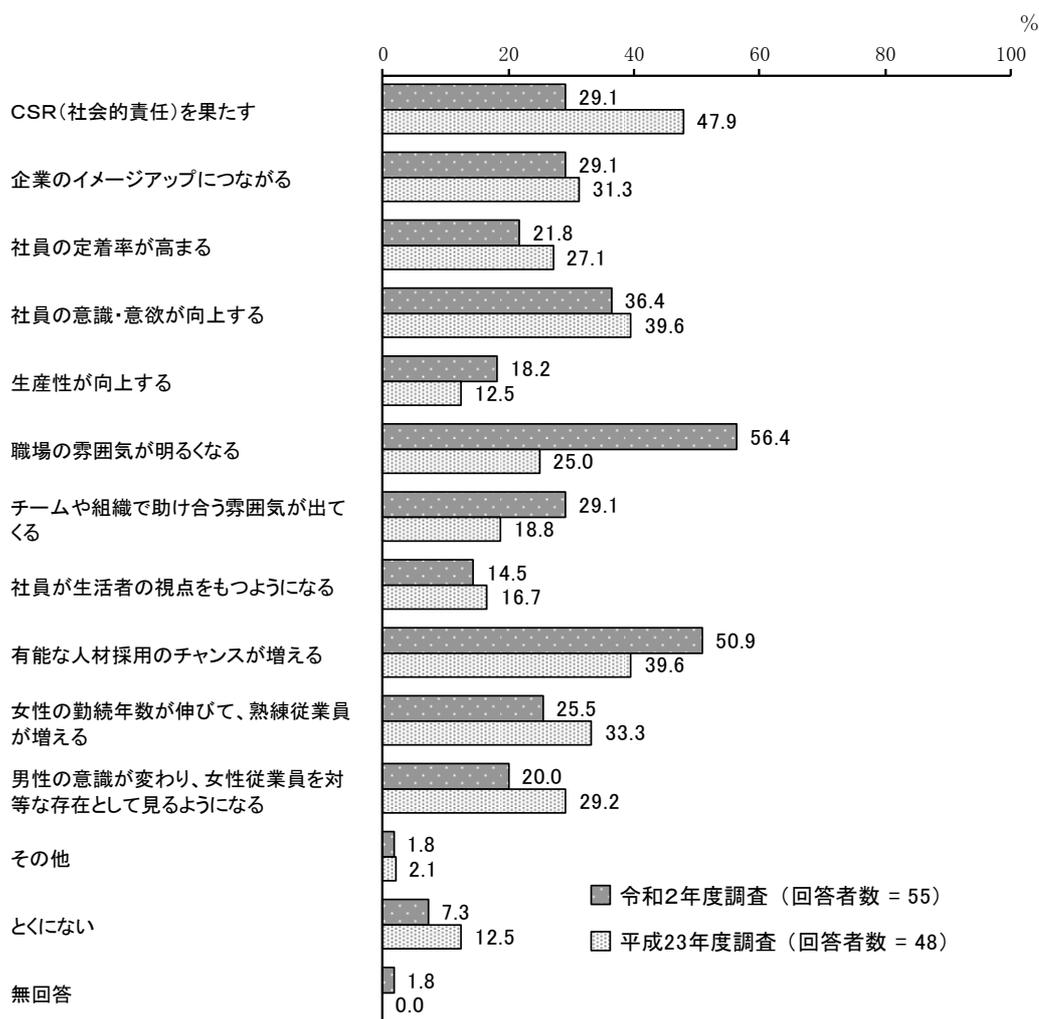


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問15 男女の仕事と生活の調和をはじめ、女性を積極的に登用するなどの取り組みは、貴事業所にとってどのようなメリットがあると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「職場の雰囲気が明るくなる」の割合が56.4%と最も高く、次いで「有能な人材採用のチャンスが増える」の割合が50.9%、「社員の意識・意欲が向上する」の割合が36.4%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「生産性が向上する」「職場の雰囲気が明るくなる」「チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる」「有能な人材採用のチャンスが増える」の割合が高くなっています。一方、「CSR（社会的責任）を果たす」「社員の定着率が高まる」「女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える」「男性の意識が変わり、女性従業員を対等な存在として見るようになる」「とくにない」の割合が低くなっています。



問 15 男女の仕事と生活の調和をはじめ、女性を積極的に登用するなどの取り組みは、貴事業所にとってどのようなメリットがあると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「企業のイメージアップにつながる」「社員の定着率が高まる」「社員の意識・意欲が向上する」「チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる」「有能な人材採用のチャンスが増える」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	CSR(社会的責任)を果たす	企業のイメージアップにつながる	社員の定着率が高まる	社員の意識・意欲が向上する	生産性が向上する	職場の雰囲気が明るくなる	チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる	社員が生活者の視点をもつようになる	有能な人材採用のチャンスが増える	女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える	男性の意識が変わり、女性従業員を対等な存在として見るようになる	その他	とくにない	無回答
建設業	4	75.0	75.0	25.0	50.0	—	50.0	25.0	—	50.0	25.0	50.0	—	—	—
製造業	35	28.6	28.6	17.1	37.1	22.9	60.0	22.9	14.3	45.7	25.7	22.9	—	11.4	—
運輸、情報・通信業	1	—	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	100.0	—	100.0	—	—	—
卸売業	4	—	—	—	25.0	25.0	50.0	25.0	—	50.0	25.0	—	25.0	—	—
小売業、飲食業	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
不動産業	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
教育、学習支援	2	—	—	50.0	—	—	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	50.0
サービス業	7	14.3	57.1	42.9	57.1	28.6	57.1	57.1	14.3	71.4	28.6	14.3	—	—	—
その他	4	—	—	—	25.0	—	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—

※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 15 男女の仕事と生活の調和をはじめ、女性を積極的に登用するなどの取り組みは、貴事業所にとってどのようなメリットがあると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「企業のイメージアップにつながる」の割合が、100人以下で「職場の雰囲気が明るくなる」の割合が高くなっています。また、101～300人で「CSR（社会的責任）を果たす」「社員の意識・意欲が向上する」「有能な人材採用のチャンスが増える」「女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	CSR（社会的責任）を果たす	企業のイメージアップにつながる	社員の定着率が高まる	社員の意識・意欲が向上する	生産性が向上する	職場の雰囲気が明るくなる	チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる	社員が生活者の視点をもつようになる	有能な人材採用のチャンスが増える	女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える	男性の意識が変わり、女性従業員を対等な存在として見るようになる	その他	とくにない	無回答
単独事業所	26	15.4	30.8	11.5	38.5	19.2	57.7	26.9	19.2	42.3	26.9	23.1	3.8	7.7	—
100人以下	17	29.4	17.6	29.4	29.4	11.8	64.7	29.4	11.8	52.9	17.6	11.8	—	—	5.9
101～300人	7	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	—	57.1	42.9	28.6	—	14.3	—
301人以上	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	—	—	—

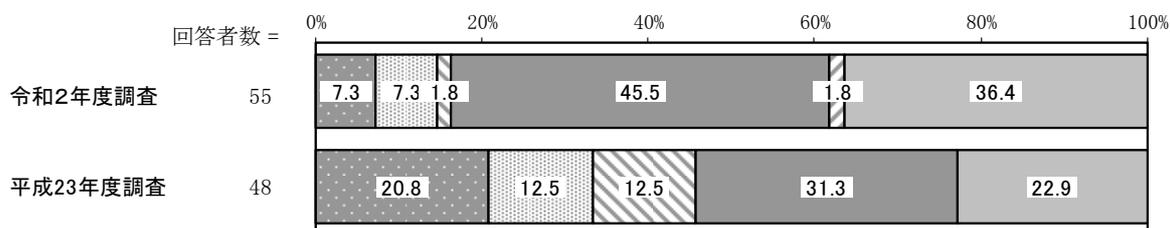
※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 16 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定はどのような状況ですか。(1つに○)

「まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定」の割合が45.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.4%となっています。

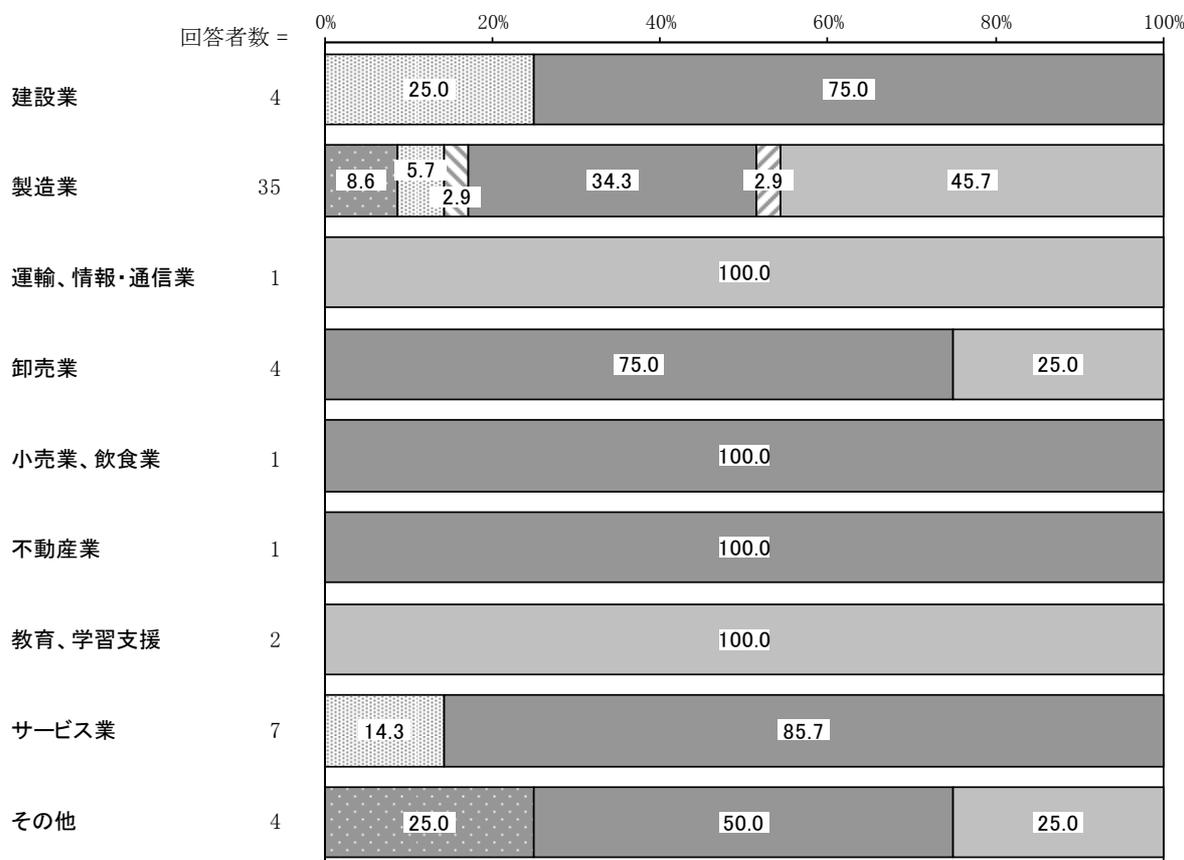
平成23年度調査と比較すると、「まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定」の割合が高くなっています。一方、「すでに策定済み」「現在、策定中」「今は策定していないが、今後、策定する予定」の割合が低くなっています。

- すでに策定済み
- 現在、策定中
- 今は策定していないが、今後、策定する予定
- まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定
- 今後も策定する予定はない
- わからない
- 無回答



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定」の割合が高くなっています。



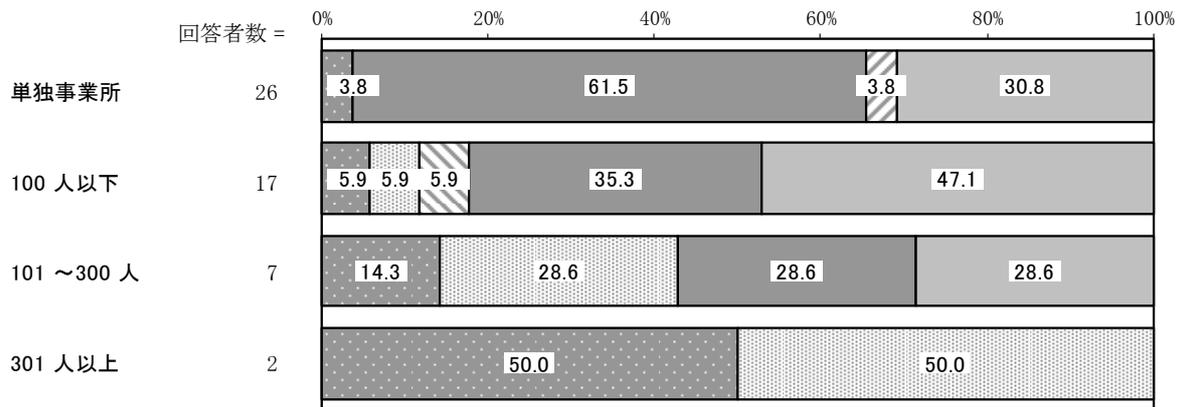
※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 16 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定はどのような状況ですか。(1つに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、単独事業所で「まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定」の割合が高くなっています。また、101～300人で「現在、策定中」の割合が高くなっています。

- すでに策定済み
- 現在、策定中
- 今は策定していないが、今後、策定する予定
- まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定
- 今後も策定する予定はない
- わからない
- 無回答

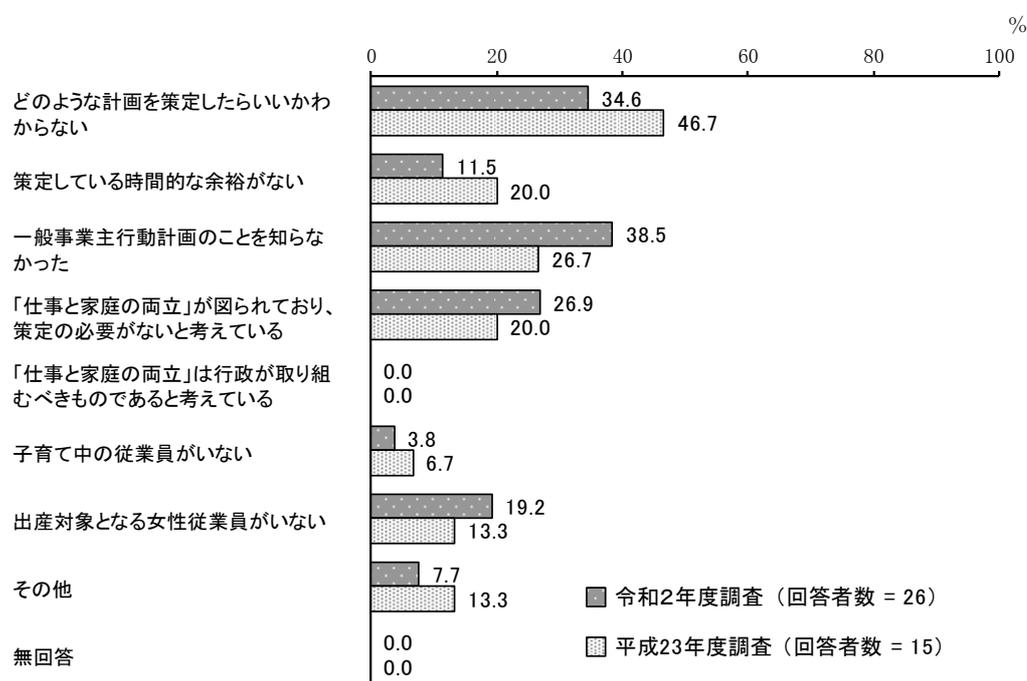


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 16-1 問 16 で「まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定」または「今後も策定する予定はない」を回答された事業所の方におうかがいします。
策定していない（予定はない）理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「一般事業主行動計画のことを知らなかった」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「どのような計画を策定したらいいかわからない」の割合が 34.6%、「仕事と家庭の両立」が図られており、策定の必要がないと考えている」の割合が 26.9%となっています。

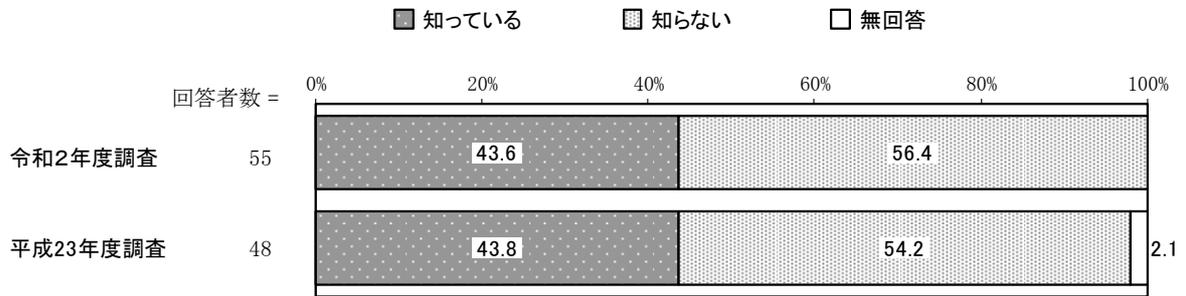
平成 23 年度調査と比較すると、「一般事業主行動計画のことを知らなかった」「仕事と家庭の両立」が図られており、策定の必要がないと考えている」「出産対象となる女性従業員がいない」の割合が高くなっています。一方、「どのような計画を策定したらいいかわからない」「策定している時間的な余裕がない」の割合が低くなっています。



問 17 貴事業所は、門真市男女共同参画推進条例についてご存じですか。

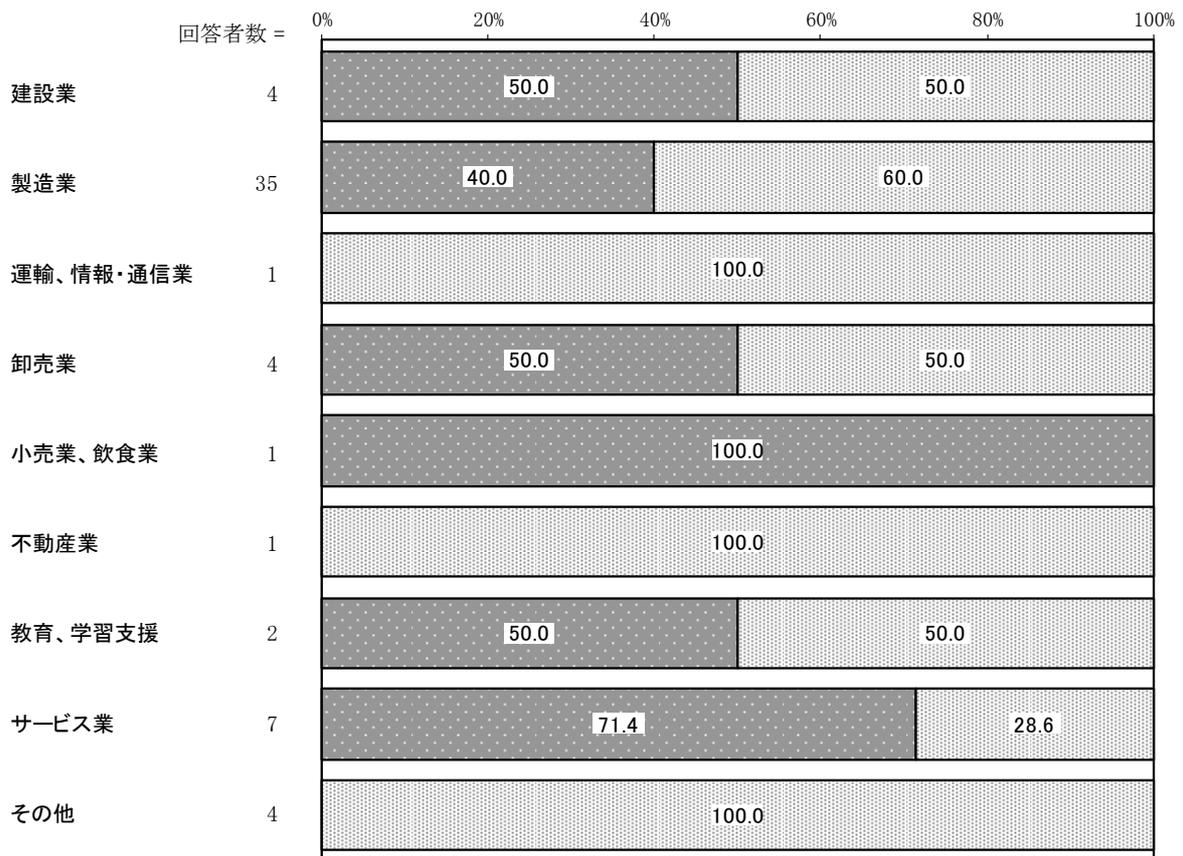
(1) 条例の制定について（どちらかに○）

「知っている」の割合が43.6%、「知らない」の割合が56.4%となっています。
 平成23年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「知っている」の割合が高くなっています。また、製造業で「知らない」の割合が高くなっています。



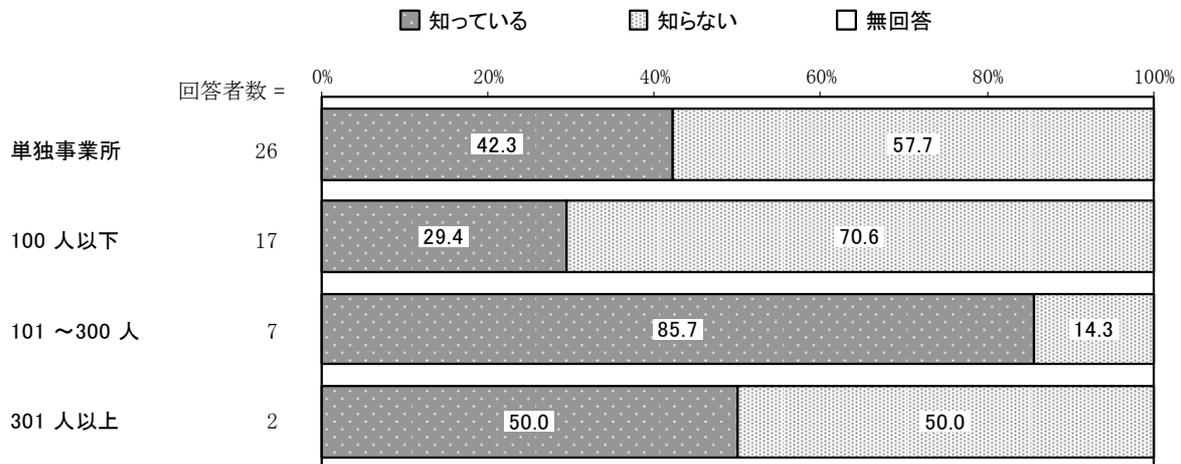
※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 17 貴事業所は、門真市男女共同参画推進条例についてご存じですか。

(1) 条例の制定について (どちらかに○)

【企業規模・従業員数別】

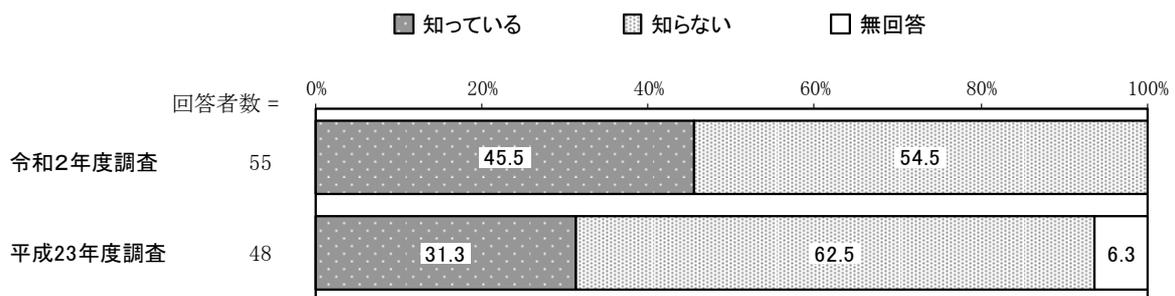
企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、101～300人で「知っている」の割合が高くなっています。また、100人以下で「知らない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

(2) 事業者の責務が定められていることについて (どちらかに○)

「知っている」の割合が45.5%、「知らない」の割合が54.5%となっています。平成23年度調査と比較すると、「知っている」の割合が高くなっています。

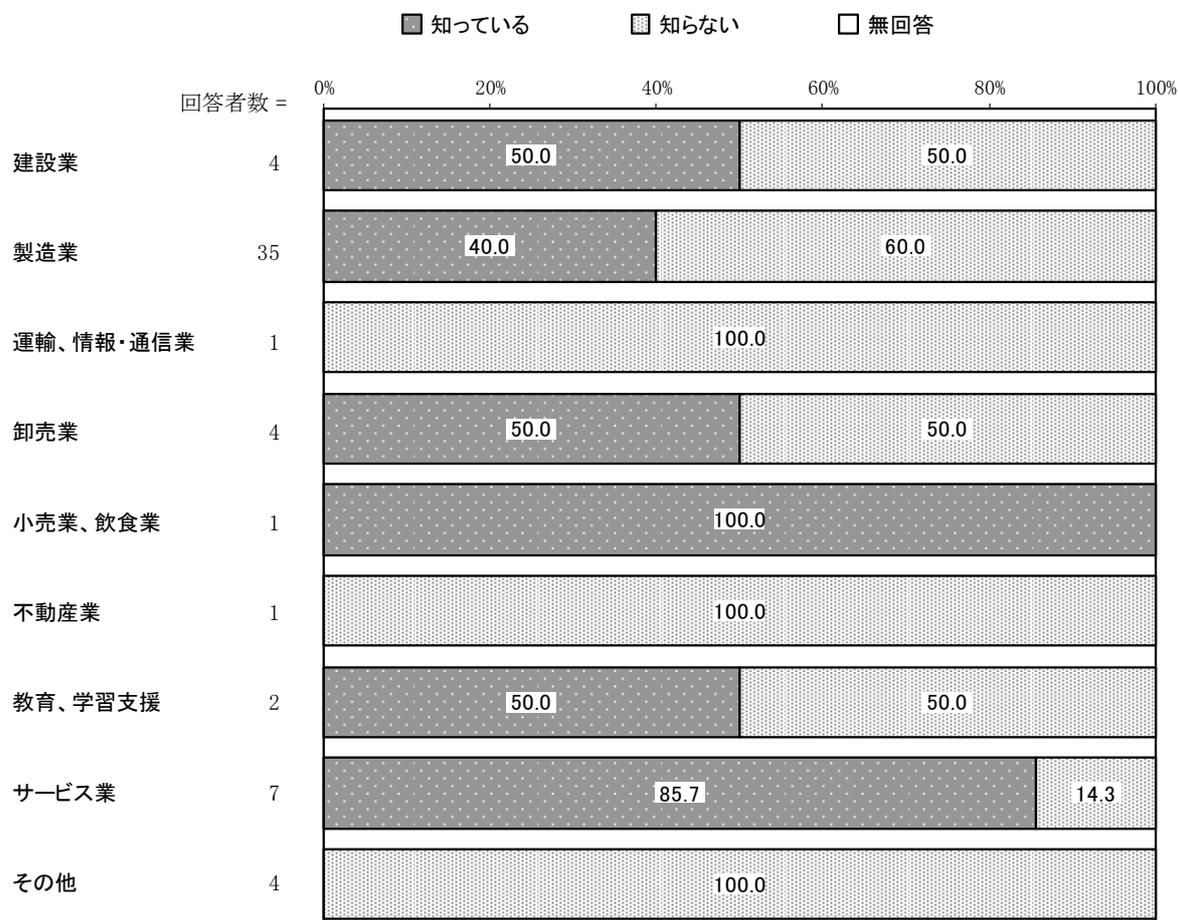


問 17 貴事業所は、門真市男女共同参画推進条例についてご存じですか。

(2) 事業者の責務が定められていることについて (どちらかに○)

【業種別】

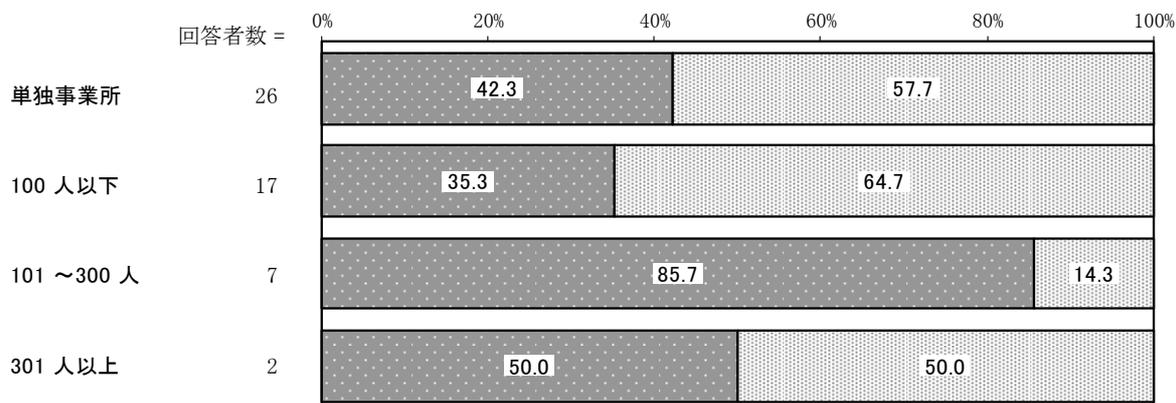
業種別でみると、他に比べ、サービス業で「知っている」の割合が高くなっています。また、製造業で「知らない」の割合が高くなっています。



※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別でみると、他に比べ、101～300人で「知っている」の割合が高くなっています。また、100人以下で「知らない」の割合が高くなっています。

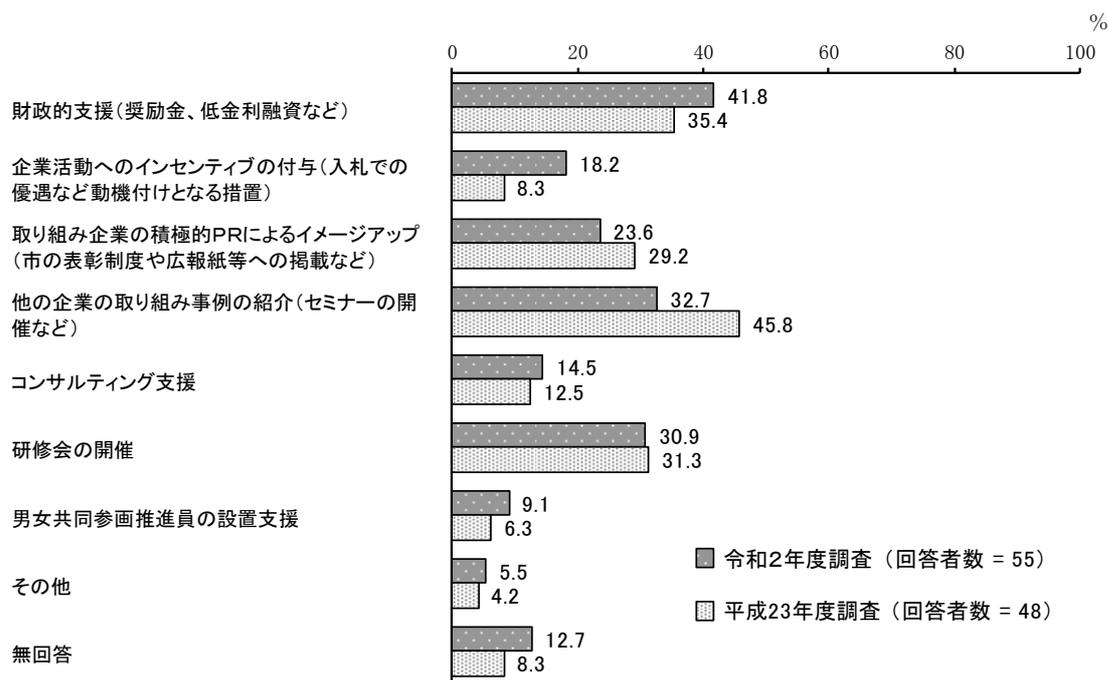


※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 18 行政からどのような支援があれば、貴事業所として男女共同参画への取り組みが行いやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「財政的支援（奨励金、低金利融資など）」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「他の企業の取り組み事例の紹介（セミナーの開催など）」の割合が 32.7%、「研修会の開催」の割合が 30.9%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「財政的支援（奨励金、低金利融資など）」「企業活動へのインセンティブの付与（入札での優遇など動機付けとなる措置）」の割合が高くなっています。一方、「取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ（市の表彰制度や広報紙等への掲載など）」「他の企業の取り組み事例の紹介（セミナーの開催など）」の割合が低くなっています。



問 18 行政からどのような支援があれば、貴事業所として男女共同参画への取り組みが行いやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【業種別】

業種別でみると、他に比べ、サービス業で「企業活動へのインセンティブの付与（入札での優遇など動機付けとなる措置）」「取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ（市の表彰制度や広報紙等への掲載など）」「他の企業の取り組み事例の紹介（セミナーの開催など）」「研修会の開催」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	財政的支援（奨励金、低金利融資など）	措置 （入札での優遇など動機付けとなる措置）	企業活動へのインセンティブの付与	取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ（市の表彰制度や広報紙等への掲載など）	他の企業の取り組み事例の紹介（セミナーの開催など）	コンサルティング支援	研修会の開催	男女共同参画推進員の設置支援	その他	無回答
建設業	4	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	—	25.0	
製造業	35	42.9	17.1	20.0	25.7	11.4	25.7	8.6	5.7	8.6	
運輸、情報・通信業	1	—	—	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—	—	
卸売業	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	—	25.0	—	
小売業、飲食業	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	
不動産業	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	
教育、学習支援	2	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	
サービス業	7	42.9	28.6	42.9	42.9	14.3	57.1	14.3	—	—	
その他	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—	25.0	

※回答者数が、7件に満たない業種については、傾向が取れないため比較対象としていません。

問 18 行政からどのような支援があれば、貴事業所として男女共同参画への取り組みが行いやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【企業規模・従業員数別】

企業規模・従業員数別で見ると、他に比べ、101～300人で「財政的支援（奨励金、低金利融資など）」「他の企業の取り組み事例の紹介（セミナーの開催など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	財政的支援(奨励金、低金利融資など)	措置 企業活動へのインセンティブの付与 (入札での優遇など動機付けとなる)	取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ(市の表彰制度や広報紙等への掲載など)	他の企業の取り組み事例の紹介(セミナーの開催など)	コンサルティング支援	研修会の開催	男女共同参画推進員の設置支援	その他	無回答
単独事業所	26	46.2	19.2	30.8	38.5	23.1	26.9	7.7	7.7	3.8
100人以下	17	41.2	23.5	23.5	23.5	5.9	35.3	11.8	5.9	17.6
101～300人	7	57.1	—	14.3	42.9	—	28.6	14.3	—	14.3
301人以上	2	—	50.0	—	—	50.0	100.0	—	—	—

※回答者数が、7件に満たない企業規模・従業員数については、傾向が取れないため比較対象としていません。

Ⅲ 単純集計表

1 市民

1 あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
女性	270	55.8
男性	209	43.2
女性/ 男性では答えられない	1	0.2
答えたくない	3	0.6
無回答	1	0.2
回答者数	484	100.0

問2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
20～29 歳	32	6.6
30～39 歳	43	8.9
40～49 歳	68	14.0
50～59 歳	80	16.5
60～69 歳	80	16.5
70 歳以上	179	37.0
無回答	2	0.4
回答者数	484	100.0

問3 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
結婚していない	100	20.7
結婚している(配偶者がいる)	286	59.1
結婚したが離別または死別	97	20.0
無回答	1	0.2
回答者数	484	100.0

問4-1 あなたの職業はなんですか。(〇はそれぞれ1つ)

カテゴリ	件数	割合
会社、団体、官公庁などの正社員	111	22.9
会社、団体、官公庁などの契約社員や派遣社員	22	4.5
パートタイムやアルバイト	72	14.9
自営業または家族従業員	37	7.6
専業主婦・主夫	74	15.3
学生	3	0.6
無職(専業主婦・主夫を除く)	125	25.8
その他	26	5.4
無回答	14	2.9
回答者数	484	100.0

問4-2 問3で「2. 結婚している」と答えた方におうかがいします。あなたの配偶者の職業はなんですか。
(〇はそれぞれ1つ)

カテゴリ	件数	割合
会社、団体、官公庁などの正社員	74	25.9
会社、団体、官公庁などの契約社員や派遣社員	8	2.8
パートタイムやアルバイト	34	11.9
自営業または家族従業員	28	9.8
専業主婦・主夫	56	19.6
学生	0	0.0
無職(専業主婦・主夫を除く)	70	24.5
その他	9	3.1
無回答	7	2.4
回答者数	286	100.0

問5 あなたにお子さんはおられますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
こどもはいない	125	25.8
女の子がいる	88	18.2
男の子がいる	107	22.1
女の子と男の子がいる	148	30.6
無回答	16	3.3
回答者数	484	100.0

問6 あなたの同居の家族構成は、次のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
単身世帯	94	19.4
夫婦(事実婚含む)のみ	138	28.5
親と子の2世帯	186	38.4
親と子と孫の3世帯	18	3.7
その他	38	7.9
無回答	10	2.1
回答者数	484	100.0

— 人権問題全般 —

2 人権についておうかがいします

問7 あなたは、次の人権に関する法や条例等を知っていますか。(○はいくつでも)

① 門真市人権尊重のまちづくり条例

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	9	1.9
名前は聞いたことがある	157	32.4
知らなかった	294	60.7
無回答	24	5.0
回答者数	484	100.0

② 門真市人権教育・人権啓発推進基本計画

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	8	1.7
名前は聞いたことがある	114	23.6
知らなかった	333	68.8
無回答	29	6.0
回答者数	484	100.0

③ 門真市男女共同参画推進条例

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	8	1.7
名前は聞いたことがある	100	20.7
知らなかった	346	71.5
無回答	30	6.2
回答者数	484	100.0

④ かどま男女共同参画プラン

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	6	1.2
名前は聞いたことがある	76	15.7
知らなかった	370	76.4
無回答	32	6.6
回答者数	484	100.0

⑤ 男女共同参画社会基本法

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	15	3.1
名前は聞いたことがある	100	20.7
知らなかった	326	67.4
無回答	43	8.9
回答者数	484	100.0

⑥ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	85	17.6
名前は聞いたことがある	217	44.8
知らなかった	149	30.8
無回答	33	6.8
回答者数	484	100.0

⑦ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	77	15.9
名前は聞いたことがある	232	47.9
知らなかった	144	29.8
無回答	31	6.4
回答者数	484	100.0

⑧ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	89	18.4
名前は聞いたことがある	265	54.8
知らなかった	102	21.1
無回答	28	5.8
回答者数	484	100.0

⑨ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	39	8.1
名前は聞いたことがある	210	43.4
知らなかった	201	41.5
無回答	34	7.0
回答者数	484	100.0

⑩ ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	101	20.9
名前は聞いたことがある	265	54.8
知らなかった	92	19.0
無回答	26	5.4
回答者数	484	100.0

⑪ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	49	10.1
名前は聞いたことがある	222	45.9
知らなかった	184	38.0
無回答	29	6.0
回答者数	484	100.0

⑫ 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	50	10.3
名前は聞いたことがある	220	45.5
知らなかった	186	38.4
無回答	28	5.8
回答者数	484	100.0

⑬ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	46	9.5
名前は聞いたことがある	210	43.4
知らなかった	200	41.3
無回答	28	5.8
回答者数	484	100.0

⑭ 児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	101	20.9
名前は聞いたことがある	262	54.1
知らなかった	91	18.8
無回答	30	6.2
回答者数	484	100.0

⑮ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	37	7.6
名前は聞いたことがある	205	42.4
知らなかった	211	43.6
無回答	31	6.4
回答者数	484	100.0

⑯ 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	50	10.3
名前は聞いたことがある	222	45.9
知らなかった	183	37.8
無回答	29	6.0
回答者数	484	100.0

⑰ 大阪府人権尊重の社会づくり条例

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	17	3.5
名前は聞いたことがある	160	33.1
知らなかった	278	57.4
無回答	29	6.0
回答者数	484	100.0

⑱ 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解増進に関する条例(性の多様性理解増進条例)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	13	2.7
名前は聞いたことがある	113	23.3
知らなかった	331	68.4
無回答	27	5.6
回答者数	484	100.0

⑱ 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(ヘイトスピーチ解消推進条例)

カテゴリ	件数	割合
内容もよく知っている	27	5.6
名前は聞いたことがある	143	29.5
知らなかった	286	59.1
無回答	28	5.8
回答者数	484	100.0

問8 新聞、テレビなどで「人権問題」や「人権が侵害された」などのニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、どのようになってきたと思いますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
少なくなってきた	55	11.4
あまりかわらない	234	48.3
多くなってきた	113	23.3
わからない	67	13.8
無回答	15	3.1
回答者数	484	100.0

問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
女性	293	60.5
子ども	397	82.0
高齢者	350	72.3
障がい者	344	71.1
部落差別	284	58.7
外国人	232	47.9
性的マイノリティ	229	47.3
インターネットによる人権侵害	292	60.3
ホームレス	232	47.9
刑を終えて出所した人	186	38.4
犯罪被害者	192	39.7
アイヌの人々	131	27.1
HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題	223	46.1
北朝鮮当局による拉致問題	325	67.1
東日本大震災に伴う人権問題	203	41.9
人身取引	156	32.2
ハラスメント	336	69.4
職業や雇用に関する人権問題	199	41.1
その他	17	3.5
無回答	45	9.3
回答者数	484	-

問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

カテゴリ	件数	割合
女性	94	19.4
子ども	293	60.5
高齢者	169	34.9
障がい者	117	24.2
部落差別	27	5.6
外国人	27	5.6
性的マイノリティ	37	7.6
インターネットによる人権侵害	145	30.0
ホームレス	14	2.9
刑を終えて出所した人	10	2.1
犯罪被害者	38	7.9
アイヌの人々	5	1.0
HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題	19	3.9
北朝鮮当局による拉致問題	85	17.6
東日本大震災に伴う人権問題	31	6.4
人身取引	16	3.3
ハラスメント	107	22.1
職業や雇用に関する人権問題	47	9.7
その他	3	0.6
無回答	49	10.1
回答者数	484	-

問 10 直近5年間で人権上問題と感ずる言動を直接見聞きましたか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
ある	143	29.5
ない	315	65.1
無回答	26	5.4
回答者数	484	100.0

問 10.1 問 10 で「1. ある」を回答された方

カテゴリ	件数	割合
自分に向けられたもの	26	18.2
自分以外に向けられたもの	100	69.9
無回答	18	12.6
回答者数	143	-

問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような人権課題に関するものですか。
(最も関連するものに○を1つ)

カテゴリ	件数	割合
女性	10	7.0
子ども	17	11.9
高齢者	12	8.4
障がい者	4	2.8
部落差別	1	0.7
外国人	8	5.6
性的マイノリティ	7	4.9
インターネットによる人権侵害	16	11.2
ホームレス	0	0.0
刑を終えて出所した人	1	0.7
犯罪被害者	1	0.7
アイヌの人々	0	0.0
HIV感染症やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題	2	1.4
北朝鮮当局による拉致問題	2	1.4
東日本大震災に伴う人権問題	3	2.1
人身取引	0	0.0
ハラスメント	13	9.1
職業や雇用に関する人権問題	11	7.7
その他	7	4.9
無回答	28	19.6
回答者数	143	100.0

問10-2 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
あらぬ噂、悪口、かげ口	51	35.7
名誉や信用の毀損、侮辱	39	27.3
暴力、脅迫、強要	20	14.0
不平等、不利益な扱い	27	18.9
不当な待遇、取扱い	35	24.5
いじめ、嫌がらせ	51	35.7
虐待	22	15.4
DV(ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力)	9	6.3
プライバシーの侵害	15	10.5
パワーハラスメント	28	19.6
セクシャルハラスメント	7	4.9
その他	7	4.9
無回答	10	7.0
回答者数	143	-

問 10-3 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それに対してどのように対応しましたか(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
抗議、反論、指摘を行い、いけないことと理解してもらおうとした	21	14.7
相談した	9	6.3
訴えた	2	1.4
我慢した	13	9.1
同調した	6	4.2
話をそらした	6	4.2
何もしなかった、できなかった	55	38.5
その他	10	7.0
無回答	21	14.7
回答者数	143	100.0

問 10-4 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。それは解決しましたか(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
解決した	20	14.0
解決しなかった	85	59.4
その他	20	14.0
無回答	18	12.6
回答者数	143	100.0

問 11 人権課題について、家族や親せき、友人以外で、具体的にどこへ相談しようと思いますか(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
学校や職場	62	12.8
地域の町会役員や民生委員、児童委員	32	6.6
市役所の人権相談窓口	172	35.5
市役所の各分野の担当部署	85	17.6
女性サポートステーション WESS	24	5.0
専門相談機関(児童相談所、地域包括支援センターなど)	99	20.5
法務局や人権擁護委員	23	4.8
大阪府の人権相談窓口	76	15.7
弁護士	96	19.8
警察	98	20.2
民間団体(ボランティア団体やNPO 法人など)	30	6.2
相談しようとは思わない	72	14.9
その他	28	5.8
無回答	57	11.8
回答者数	484	-

問 12 あなたは、市役所は人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。
(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
人権意識や理解を深めるための啓発広報活動	152	31.4
学校内外の人権教育	176	36.4
人権課題に対応する専門の相談機関や施設の整備	187	38.6
人権が侵害された被害者の救済や支援	211	43.6
防犯活動の強化(犯罪の取締りの強化)	182	37.6
人権に関する情報の提供	117	24.2
人権相談に関する人員の充実	100	20.7
国や府、近隣自治体や関係機関との連携	140	28.9
その他	10	2.1
無回答	43	8.9
回答者数	484	-

問 13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。
(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
研修会、講演会、シンポジウム等	112	23.1
展示会(資料、写真等)	38	7.9
広報紙、パンフレット、ポスター	178	36.8
テレビ、ラジオを利用した啓発	242	50.0
映画、DVDを利用した啓発	51	10.5
新聞、雑誌を利用した啓発	115	23.8
インターネットを利用した啓発	160	33.1
交通広告(電車やバス等の社内・車体広告、駅での広告等)	127	26.2
ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等)	36	7.4
疑似体験(高齢者、障がい者、妊婦等)	62	12.8
交流会(高齢者、障がい者、妊婦等)	47	9.7
自由な意見の交換ができる会合	68	14.0
その他	19	3.9
無回答	50	10.3
回答者数	484	-

3 女性の人権についておうかがいします

問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること	201	41.5
職場において差別処遇(女性が管理職になりにくい、マタニティハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱いなど)を受けること	277	57.2
セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)	259	53.5
DV(ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力)	236	48.8
売春、買春	106	21.9
「婦人」「家内」「未亡人」のように、女性だけに用いられる言葉が使われること	55	11.4
アダルトビデオ等への出演強要	91	18.8
特にない	58	12.0
その他	16	3.3
無回答	40	8.3
回答者数	484	-

4 子どもの人権についておうかがいします

問 15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
いじめを受けること	368	76.0
体罰を受けること	239	49.4
虐待を受けること	353	72.9
いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをされること	329	68.0
学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人が無視をすること	213	44.0
児童買春、児童ポルノ等の対象となること	202	41.7
特にない	14	2.9
その他	14	2.9
無回答	33	6.8
回答者数	484	-

5 高齢者の人権についておうかがいします

問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	140	28.9
邪魔者扱いされ、つまはじきにされること	238	49.2
意見や行動が尊重されないこと	134	27.7
家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	208	43.0
病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること	249	51.4
認知症に対する正しい理解がなされていないこと	216	44.6
アパート等への入居を拒否されること	138	28.5
悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと	238	49.2
働く能力や意欲を発揮する機会が少ないこと	140	28.9
経済的な自立が困難なこと	172	35.5
特になし	31	6.4
その他	9	1.9
無回答	26	5.4
回答者数	484	-

6 障がい者の人権についておうかがいします

問 17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	258	53.3
じろじろ見られたり、避けられたりすること	244	50.4
意見や行動が尊重されない	143	29.5
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	223	46.1
就職、職場などで不利な扱いを受けること	223	46.1
家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること	141	29.1
病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること	190	39.3
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	131	27.1
スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	105	21.7
結婚について周囲の反対を受けること	111	22.9
アパート等への入居を拒否されること	119	24.6
悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと	86	17.8
合理的な配慮※がなされていないこと	115	23.8
特になし	43	8.9
その他	10	2.1
無回答	41	8.5
回答者数	484	-

7 外国人の人権についておうかがいします

問 18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	169	34.9
じろじろ見られたり、避けられたりすること	135	27.9
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	130	26.9
就職、職場などで不利な扱いを受けること	162	33.5
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	78	16.1
結婚について周囲の反対を受けること	93	19.2
アパート等への入居を拒否されること	109	22.5
風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	155	32.0
ヘイトスピーチ※を受けること	164	33.9
特にない	94	19.4
その他	13	2.7
無回答	54	11.2
回答者数	484	-

8 インターネット上の人権についておうかがいします

問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	334	69.0
他人に偏見や差別の感情を生じさせたり、助長するような情報が掲載されること	263	54.3
SNS(LINE、Facebook 等)による交流が、犯罪を誘発する場になっていること	267	55.2
警察の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真が暴露されること	111	22.9
プライバシーに関する情報が暴露されること	208	43.0
ネットポルノが存在していること	103	21.3
リベンジポルノが行なわれていること(元交際相手等の性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに暴露する行為)	175	36.2
特にない	36	7.4
その他	12	2.5
無回答	52	10.7
回答者数	484	-

9 刑を終えた人の人権についておうかがいします

問 20 刑を終えた人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	151	31.2
じろじろ見られたり、避けられたりすること	115	23.8
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	126	26.0
就職、職場などで不利な扱いを受けること	217	44.8
過去のニュース等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと	175	36.2
結婚について周囲の反対を受けること	103	21.3
アパート等への入居を拒否されること	112	23.1
特にない	106	21.9
その他	12	2.5
無回答	49	10.1
回答者数	484	-

10 犯罪被害者の人権についておうかがいします

問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
精神的なショックを受けること	272	56.2
経済的、時間的負担を受けること(就労の途切れ、裁判など)	234	48.3
周囲からうわさ話や視線を受けること	269	55.6
報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること	304	62.8
警察から期待通りの対応が得られないこと	172	35.5
捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受けること	188	38.8
刑事手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	192	39.7
特にない	38	7.9
その他	12	2.5
無回答	48	9.9
回答者数	484	-

11 性的マイノリティの人権についておうかがいします

問 22 性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	210	43.4
じろじろ見られたり、避けられたりすること	172	35.5
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	167	34.5
就職、職場などで不利な扱いを受けること	180	37.2
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	76	15.7
交際について周囲の反対を受けること	143	29.5
アパート等への入居を拒否されること	82	16.9
特になし	106	21.9
その他	14	2.9
無回答	63	13.0
回答者数	484	-

12 病気・感染症についておうかがいします

問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	233	48.1
じろじろ見られたり、避けられたりすること	190	39.3
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	177	36.6
就職、職場などで不利な扱いを受けること	198	40.9
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	128	26.4
結婚について周囲の反対を受けること	154	31.8
アパート等への入居を拒否されること	101	20.9
治療や入院を断られること	176	36.4
特になし	65	13.4
その他	9	1.9
無回答	54	11.2
回答者数	484	-

問 24 新型コロナウイルス感染症の患者や回復者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	236	48.8
じろじろ見られたり、避けられたりすること	160	33.1
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	205	42.4
就職、職場などで不利な扱いを受けること	180	37.2
宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	143	29.5
インターネット上で、差別的な書き込みや誹謗中傷されること	211	43.6
プライバシーに関する情報が暴露されること	218	45.0
治療や入院を断られること	210	43.4
特になし	52	10.7
その他	8	1.7
無回答	43	8.9
回答者数	484	-

13 部落差別等の同和問題についておうかがいします

問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
差別的な言動をされること	182	37.6
差別的な落書きをされること	128	26.4
職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	131	27.1
就職、職場で不利な扱いを受けること	140	28.9
身元調査が行われること	195	40.3
結婚について周囲の反対をうけること	179	37.0
インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	122	25.2
えせ同和行為(同和問題(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)がなされること	144	29.8
特になし	104	21.5
その他	9	1.9
無回答	56	11.6
回答者数	484	-

問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
家族(父母、祖父母、兄弟など)から聞いた	88	18.2
親戚の人から聞いた	6	1.2
近所の人から聞いた	15	3.1
職場の人から聞いた	8	1.7
友だちから聞いた	14	2.9
学校の授業で教わった	113	23.3
テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った	35	7.2
部落差別等の同和問題に関する集会や研修会で知った	8	1.7
市区町村や都道府県の広報誌や冊子などで知った	8	1.7
きっかけは覚えていない	71	14.7
その他	10	2.1
無回答	108	22.3
回答者数	484	100.0

問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから	173	35.7
落書きやインターネット上などで、差別意識を助長する人がいるから	106	21.9
これまでの教育や啓発が十分でなかったから	95	19.6
昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人が多いから	284	58.7
地域社会や家庭において話題となるから	44	9.1
被差別部落(同和地区)の住民が、行政から優遇されていると思う人が多いから	113	23.3
えせ同和行為(同和問題(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)などにより、「同和は怖い問題である」と思うから	119	24.6
その他	27	5.6
無回答	55	11.4
回答者数	484	-

問 28 部落差別等の同和問題を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
人権尊重の意識を一人ひとりをもっと自覚すべき	195	40.3
行政がもっと積極的に教育、啓発、相談体制の充実などの施策を実施すべき	124	25.6
特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき	84	17.4
インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰すべき	101	20.9
えせ同和行為(同和問題(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)をする人を処罰すべき	117	24.2
差別する人や差別を助長する人を処罰すべき	77	15.9
特にない	39	8.1
わからない	51	10.5
その他	15	3.1
無回答	34	7.0
回答者数	484	-

問 29 世間では、どのようなことで被差別部落出身者と判断していると思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
本人が、現在被差別部落に住んでいる	160	33.1
本人が、過去に被差別部落に住んだことがある	87	18.0
本人の本籍地が、被差別部落である	120	24.8
本人の出生地が、被差別部落である	130	26.9
父母あるいは祖父母が被差別部落に住んでいる	91	18.8
父母あるいは祖父母の本籍地が被差別部落である	84	17.4
父母あるいは祖父母の出生地が被差別部落である	85	17.6
職業によって判断している	57	11.8
わからない	199	41.1
その他	6	1.2
無回答	37	7.6
回答者数	484	-

問 30 あなたが、家やマンションを購入したり、借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、被差別部落や同じ小学校区にある物件は避けることがありますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
いずれにあってもこだわらないと思う	106	21.9
被差別部落にある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う	51	10.5
被差別部落や同じ小学校校区にある物件は避けると思う	80	16.5
わからない	214	44.2
無回答	33	6.8
回答者数	484	100.0

14 地域や家庭での生活についておうかがいします

問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。

現在している活動(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
趣味・学習・スポーツ活動	139	28.7
地域の活動(自治会・子ども会・PTA活動など)	57	11.8
ボランティア・NPO活動	18	3.7
政治活動	6	1.2
審議会委員などの公的委員活動	3	0.6
子育て支援・保育活動	4	0.8
男女共同参画社会の実現に向けた学習や人権啓発に関する活動	1	0.2
通訳やホームステイの受け入れなどの国際交流活動	3	0.6
その他の活動	3	0.6
特にない	164	33.9
無回答	147	30.4
回答者数	484	-

今後、始めたい活動(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
趣味・学習・スポーツ活動	100	20.7
地域の活動(自治会・子ども会・PTA活動など)	19	3.9
ボランティア・NPO活動	54	11.2
政治活動	9	1.9
審議会委員などの公的委員活動	11	2.3
子育て支援・保育活動	23	4.8
男女共同参画社会の実現に向けた学習や人権啓発に関する活動	10	2.1
通訳やホームステイの受け入れなどの国際交流活動	29	6.0
その他の活動	4	0.8
特にない	170	35.1
無回答	150	31.0
回答者数	484	-

問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(〇は3つまで)

カテゴリ	件数	割合
仕事が忙しく、時間がない	131	27.1
家事・育児が忙しく、時間がない	51	10.5
子どもの世話を頼めるところがない	8	1.7
親や病人の介護を頼めるところがない	20	4.1
自分の健康や体力に自信がない	140	28.9
身近なところに活動する場所がない	50	10.3
自分のしたい活動をしているグループや団体を知らない	62	12.8
経済的な余裕がない	111	22.9
配偶者や家族の理解が得られない	9	1.9
職場の上司や同僚の理解が得られない	3	0.6
その他	18	3.7
特にさまたげになることはない	89	18.4
無回答	45	9.3
回答者数	484	-

問 33 配偶者(妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む)のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか(いましたか)。

① 日用品の買物

カテゴリ	件数	割合
主に妻	180	37.2
夫婦で共同	92	19.0
主に夫	24	5.0
その他の人	13	2.7
無回答	175	36.2
回答者数	484	100.0

② 食事のしたく

カテゴリ	件数	割合
主に妻	241	49.8
夫婦で共同	34	7.0
主に夫	21	4.3
その他の人	10	2.1
無回答	178	36.8
回答者数	484	100.0

③ 食事のあとかたづけ

カテゴリ	件数	割合
主に妻	200	41.3
夫婦で共同	52	10.7
主に夫	35	7.2
その他の人	14	2.9
無回答	183	37.8
回答者数	484	100.0

④ 洗濯

カテゴリ	件数	割合
主に妻	222	45.9
夫婦で共同	39	8.1
主に夫	25	5.2
その他の人	17	3.5
無回答	181	37.4
回答者数	484	100.0

⑤ 掃除やゴミ出し

カテゴリ	件数	割合
主に妻	163	33.7
夫婦で共同	74	15.3
主に夫	47	9.7
その他の人	12	2.5
無回答	188	38.8
回答者数	484	100.0

⑥ 育児、子どものしつけ

カテゴリ	件数	割合
主に妻	91	18.8
夫婦で共同	83	17.1
主に夫	8	1.7
その他の人	13	2.7
無回答	289	59.7
回答者数	484	100.0

⑦ 日常の家計の管理

カテゴリ	件数	割合
主に妻	204	42.1
夫婦で共同	43	8.9
主に夫	39	8.1
その他の人	7	1.4
無回答	191	39.5
回答者数	484	100.0

⑧ 預貯金や投資など資産運用

カテゴリ	件数	割合
主に妻	139	28.7
夫婦で共同	65	13.4
主に夫	55	11.4
その他の人	7	1.4
無回答	218	45.0
回答者数	484	100.0

⑨ 町内会・自治会活動への参加

カテゴリ	件数	割合
主に妻	135	27.9
夫婦で共同	57	11.8
主に夫	41	8.5
その他の人	20	4.1
無回答	231	47.7
回答者数	484	100.0

⑩ PTAへの参加

カテゴリ	件数	割合
主に妻	120	24.8
夫婦で共同	27	5.6
主に夫	11	2.3
その他の人	29	6.0
無回答	297	61.4
回答者数	484	100.0

問 34 配偶者とは、よく話をしますか。

カテゴリ	件数	割合
よく話す	170	35.1
やや話す	83	17.1
あまり話さない	35	7.2
必要以外全く話さない	11	2.3
無回答	185	38.2
回答者数	484	100.0

問 35 配偶者とは、もっと会話が必要だと感じていますか。

カテゴリ	件数	割合
とてもそう感じている	56	11.6
ややそう感じている	76	15.7
あまりそう感じない	113	23.3
まったくそう感じない	47	9.7
無回答	192	39.7
回答者数	484	100.0

問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事(育児や介護等を含む)に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。

<平日>(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
ほとんどない	49	10.1
30分未満	39	8.1
30分～1時間未満	74	15.3
1時間～2時間未満	75	15.5
2時間～3時間未満	66	13.6
3時間～4時間未満	51	10.5
4時間～5時間未満	38	7.9
5時間以上	32	6.6
無回答	60	12.4
回答者数	484	100.0

<休日>(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
ほとんどない	37	7.6
30分未満	30	6.2
30分～1時間未満	48	9.9
1時間～2時間未満	78	16.1
2時間～3時間未満	71	14.7
3時間～4時間未満	48	9.9
4時間～5時間未満	40	8.3
5時間以上	38	7.9
無回答	94	19.4
回答者数	484	100.0

問 37 あなたのご家庭では、男女の役割はどうなっていますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
男女共に仕事を持ち、家庭のことについても共に協力して行っている	66	13.6
男女共に仕事を持ち、家庭のことについては女性の役割である	51	10.5
男女共に仕事を持ち、家庭のことについては男性の役割である	1	0.2
男性は仕事に専念し、家庭のことについては主に女性の役割である	58	12.0
女性は仕事に専念し、家庭のことについては主に男性の役割である	2	0.4
男女の役割は固定せずに、夫婦にあったかたちで行っている	95	19.6
その他	31	6.4
該当しない(分担する男性または女性がいない)	100	20.7
無回答	80	16.5
回答者数	484	100.0

問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
そのとおりだと思う	31	6.4
どちらかといえばそう思う	117	24.2
どちらかといえばそう思わない	80	16.5
そうは思わない	208	43.0
無回答	48	9.9
回答者数	484	100.0

問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

① 結婚は必ずしもしなくてもよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	163	33.7
どちらかといえばそう思う	82	16.9
どちらかといえばそう思わない	67	13.8
そう思わない	89	18.4
わからない	44	9.1
無回答	39	8.1
回答者数	484	100.0

② 結婚生活がうまくいかなかったら離婚してもよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	183	37.8
どちらかといえばそう思う	139	28.7
どちらかといえばそう思わない	32	6.6
そう思わない	46	9.5
わからない	38	7.9
無回答	46	9.5
回答者数	484	100.0

③ 高齢者同士の結婚に違和感はない

カテゴリ	件数	割合
そう思う	174	36.0
どちらかといえばそう思う	105	21.7
どちらかといえばそう思わない	44	9.1
そう思わない	36	7.4
わからない	81	16.7
無回答	44	9.1
回答者数	484	100.0

④ 夫と妻が別姓を名乗ってもよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	148	30.6
どちらかといえばそう思う	72	14.9
どちらかといえばそう思わない	55	11.4
そう思わない	98	20.2
わからない	66	13.6
無回答	45	9.3
回答者数	484	100.0

⑤ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

カテゴリ	件数	割合
そう思う	146	30.2
どちらかといえばそう思う	85	17.6
どちらかといえばそう思わない	65	13.4
そう思わない	93	19.2
わからない	51	10.5
無回答	44	9.1
回答者数	484	100.0

⑥ 子どもの数や産む時期を決めるにあたっては、女性の主体的な意見を尊重した方がよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	138	28.5
どちらかといえばそう思う	124	25.6
どちらかといえばそう思わない	46	9.5
そう思わない	54	11.2
わからない	76	15.7
無回答	46	9.5
回答者数	484	100.0

⑦ 子どもがいる場合は離婚しない方がよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	103	21.3
どちらかといえばそう思う	122	25.2
どちらかといえばそう思わない	58	12.0
そう思わない	102	21.1
わからない	58	12.0
無回答	41	8.5
回答者数	484	100.0

問 40 あなたは、自分の家族の中に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護したい(している)	17	3.5
ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)	220	45.5
特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)	125	25.8
その他	17	3.5
わからない	69	14.3
無回答	36	7.4
回答者数	484	100.0

問 40-1 問 40 で「1」または「2」を回答された方におうかがいします。自宅で介護する場合、主に誰が介護することになると
 思いますか(していますか)。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
主に、自分が介護すると思う(している)	125	52.7
主に、配偶者が介護すると思う(している)	50	21.1
主に、その他の家族(女性)が介護すると思う(している)	19	8.0
主に、その他の家族(男性)が介護すると思う(している)	6	2.5
家族以外の人	4	1.7
その他	7	3.0
わからない	17	7.2
無回答	9	3.8
回答者数	237	100.0

問 41 もしあなた自身が介護を要する状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等から介護してもらいたい	17	3.5
ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい	162	33.5
特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	172	35.5
その他	19	3.9
わからない	82	16.9
無回答	32	6.6
回答者数	484	100.0

問 41-1 問 41 で「1」または「2」とを回答された方におうかがいします。自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいた
 いと思いますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
配偶者	86	48.0
息子	6	3.4
娘	29	16.2
息子の妻	2	1.1
娘の夫	0	0.0
その他の家族(女性)	1	0.6
その他の家族(男性)	1	0.6
家族以外の人	8	4.5
その他	2	1.1
わからない	25	14.0
無回答	19	10.6
回答者数	179	100.0

問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	333	68.8
どちらかといえばそう思う	71	14.7
どちらかといえばそう思わない	5	1.0
そう思わない	3	0.6
わからない	18	3.7
無回答	54	11.2
回答者数	484	100.0

② 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	56	11.6
どちらかといえばそう思う	140	28.9
どちらかといえばそう思わない	69	14.3
そう思わない	139	28.7
わからない	22	4.5
無回答	58	12.0
回答者数	484	100.0

③ 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	255	52.7
どちらかといえばそう思う	140	28.9
どちらかといえばそう思わない	11	2.3
そう思わない	6	1.2
わからない	15	3.1
無回答	57	11.8
回答者数	484	100.0

④ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい

カテゴリ	件数	割合
そう思う	301	62.2
どちらかといえばそう思う	107	22.1
どちらかといえばそう思わない	4	0.8
そう思わない	5	1.0
わからない	12	2.5
無回答	55	11.4
回答者数	484	100.0

15 仕事(職業)についておうかがいします

問 43 現在、仕事についているすべての方におたずねします。これまでどのような働き方をしていますか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
学校卒業後からずっと継続就業(職場は変わってもかまいません)	196	40.5
結婚後再就業	16	3.3
子育て後再就業	35	7.2
結婚後初めて就業	4	0.8
子育て後初めて就業	5	1.0
その他	23	4.8
無回答	205	42.4
回答者数	484	100.0

問 44 すべての方におうかがいします。女性の仕事の仕方として、あなたが望ましいと思うものは次のどれですか。(〇は1つ)

カテゴリ	件数	割合
結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい	120	24.8
結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい	19	3.9
子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい	42	8.7
子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後フルタイムで仕事をする方がよい	36	7.4
子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい	107	22.1
仕事にはつかない方がよい	6	1.2
その他	32	6.6
わからない	70	14.5
無回答	52	10.7
回答者数	484	100.0

問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

① 募集・採用

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	50	10.3
女性の方が優遇されている	17	3.5
平等である	129	26.7
わからない	70	14.5
無回答	218	45.0
回答者数	484	100.0

② 賃金

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	64	13.2
女性の方が優遇されている	3	0.6
平等である	125	25.8
わからない	71	14.7
無回答	221	45.7
回答者数	484	100.0

③ 仕事の内容

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	46	9.5
女性の方が優遇されている	13	2.7
平等である	144	29.8
わからない	62	12.8
無回答	219	45.2
回答者数	484	100.0

④ 昇進・昇格

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	77	15.9
女性の方が優遇されている	3	0.6
平等である	108	22.3
わからない	79	16.3
無回答	217	44.8
回答者数	484	100.0

⑤ 管理職への登用

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	87	18.0
女性の方が優遇されている	6	1.2
平等である	85	17.6
わからない	88	18.2
無回答	218	45.0
回答者数	484	100.0

⑥ 能力評価(業績評価・人事考課など)

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	51	10.5
女性の方が優遇されている	4	0.8
平等である	122	25.2
わからない	87	18.0
無回答	220	45.5
回答者数	484	100.0

⑦ 研修の機会や内容

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	29	6.0
女性の方が優遇されている	3	0.6
平等である	153	31.6
わからない	78	16.1
無回答	221	45.7
回答者数	484	100.0

⑧ 働き続けやすい雰囲気

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	43	8.9
女性の方が優遇されている	8	1.7
平等である	145	30.0
わからない	69	14.3
無回答	219	45.2
回答者数	484	100.0

⑨ 育児・介護休業など休暇の取得のしやすさ

カテゴリ	件数	割合
男性の方が優遇されている	7	1.4
女性の方が優遇されている	58	12.0
平等である	101	20.9
わからない	100	20.7
無回答	218	45.0
回答者数	484	100.0

問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(1) あなたの希望に近いものはどれですか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
「仕事」を優先したい	29	6.0
「家庭生活」を優先したい	65	13.4
「地域・個人生活」を優先したい	6	1.2
「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	100	20.7
「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい	13	2.7
「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい	10	2.1
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい	32	6.6
わからない	22	4.5
無回答	207	42.8
回答者数	484	100.0

(2) あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
「仕事」を優先している	83	17.1
「家庭生活」を優先している	61	12.6
「地域・個人生活」を優先している	8	1.7
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	91	18.8
「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先している	10	2.1
「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している	12	2.5
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している	13	2.7
わからない	28	5.8
無回答	178	36.8
回答者数	484	100.0

問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

カテゴリ	件数	割合
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	172	35.5
男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること	121	25.0
夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと	215	44.4
労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	125	25.8
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	127	26.2
小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること	138	28.5
その他	10	2.1
特に必要ない	41	8.5
無回答	43	8.9
回答者数	484	-

問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
女性の雇用機会を拡大する	173	35.7
賃金・昇給の男女の格差をなくす	228	47.1
男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	161	33.3
男女共に、能力を発揮できる配置を行う	228	47.1
能力主義・成果主義による昇進・昇格を行う	143	29.5
男女共に、能力やチャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する	119	24.6
結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる	236	48.8
男女共に育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする	225	46.5
職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	145	30.0
パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する	181	37.4
職場において男女が対等であるという意識を普及させる	136	28.1
女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	98	20.2
その他	4	0.8
わからない	40	8.3
無回答	33	6.8
回答者数	484	-

問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

カテゴリ	件数	割合
育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進	271	56.0
労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除	116	24.0
在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	163	33.7
育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実	127	26.2
職場における男女の差別的取扱いの是正	41	8.5
育児や介護のための施設やサービスの充実	108	22.3
女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力	76	15.7
家事や育児、介護等への男性の参加	102	21.1
その他	6	1.2
わからない	33	6.8
無回答	63	13.0
回答者数	484	-

問 50 あなたは、育児休業取得の環境(会社の体制や収入面の条件等)が整ったならば、子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思いますか。

カテゴリ	件数	割合
育児休業を取得したい	218	45.0
育児休業は取得しなくてもよい	37	7.6
子どもを持つ予定はない	70	14.5
無回答	159	32.9
回答者数	484	100.0

問 51 お子様が生まれたときの育児休業の取得について、ご回答ください。

カテゴリ	件数	割合
取得した	41	8.5
取得しなかった(取得しようと思わなかった)	110	22.7
取得しなかった(取得したかったができなかった)	60	12.4
無回答	273	56.4
回答者数	484	100.0

16 ハラスメントについておうかがいします

問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

① 性的な内容の話(猥談)や電話、メールをする

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	38	7.9
見聞きしたことがある	101	20.9
受けたことも見聞きしたこともない	250	51.7
無回答	95	19.6
回答者数	484	100.0

② スリーサイズなど身体的特徴を話題にする

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	30	6.2
見聞きしたことがある	102	21.1
受けたことも見聞きしたこともない	255	52.7
無回答	97	20.0
回答者数	484	100.0

③ 性的な経験、性生活に関することについて質問する

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	25	5.2
見聞きしたことがある	83	17.1
受けたことも見聞きしたこともない	275	56.8
無回答	101	20.9
回答者数	484	100.0

④ 性的な噂を流す

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	9	1.9
見聞きしたことがある	49	10.1
受けたことも見聞きしたこともない	328	67.8
無回答	98	20.2
回答者数	484	100.0

⑤ ノードや水着姿の写真が人目につくところに貼ってある

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	7	1.4
見聞きしたことがある	58	12.0
受けたことも見聞きしたこともない	317	65.5
無回答	102	21.1
回答者数	484	100.0

⑥ じろじろと身体を見られた

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	34	7.0
見聞きしたことがある	70	14.5
受けたことも見聞きしたこともない	281	58.1
無回答	99	20.5
回答者数	484	100.0

⑦ 不必要に身体を触られた

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	52	10.7
見聞きしたことがある	61	12.6
受けたことも見聞きしたこともない	269	55.6
無回答	102	21.1
回答者数	484	100.0

⑧ 食事やデートにしつこく誘う

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	33	6.8
見聞きしたことがある	84	17.4
受けたことも見聞きしたこともない	267	55.2
無回答	100	20.7
回答者数	484	100.0

⑨ 宴席でお酌やデュエットを強要

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	39	8.1
見聞きしたことがある	101	20.9
受けたことも見聞きしたこともない	245	50.6
無回答	99	20.5
回答者数	484	100.0

⑩ 立場を利用して性的関係をせまられた

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	11	2.3
見聞きしたことがある	46	9.5
受けたことも見聞きしたこともない	321	66.3
無回答	106	21.9
回答者数	484	100.0

⑪ 「男のくせに」「女のくせに」などの性差別的な発言

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	46	9.5
見聞きしたことがある	137	28.3
受けたことも見聞きしたこともない	207	42.8
無回答	94	19.4
回答者数	484	100.0

⑫ 女性だけにお茶くみや掃除、私用を強要

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	53	11.0
見聞きしたことがある	136	28.1
受けたことも見聞きしたこともない	199	41.1
無回答	96	19.8
回答者数	484	100.0

⑬ 男性だけに力仕事を強要

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	39	8.1
見聞きしたことがある	143	29.5
受けたことも見聞きしたこともない	197	40.7
無回答	105	21.7
回答者数	484	100.0

⑭ 「男の子」「女の子」「おじさん」「おばさん」などと人格を認めないような発言

カテゴリ	件数	割合
受けたことがある	55	11.4
見聞きしたことがある	131	27.1
受けたことも見聞きしたこともない	191	39.5
無回答	107	22.1
回答者数	484	100.0

問 52-1 問 52 のセクシュアル・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
何もできなかった	120	40.7
抗議し、改善された	35	11.9
抗議し、逆に不利益を受けた	15	5.1
大阪労働局などに相談した	2	0.7
法的手段に訴えた	2	0.7
その他	22	7.5
受けたことも見聞きしたこともない	77	26.1
無回答	29	9.8
回答者数	295	-

問 53 マタニティ・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
何もできなかった	56	11.6
抗議し、改善された	6	1.2
抗議し、逆に不利益を受けた	6	1.2
大阪労働局などに相談した	2	0.4
法的手段に訴えた	0	0.0
その他	5	1.0
受けたことも見聞きしたこともない	270	55.8
無回答	140	28.9
回答者数	484	-

17 ドメスティック・バイオレンス(DV)についておうかがいします

問 54 あなたは、配偶者や親しい異性(恋人など)から暴力(身体的なものだけではなく、心理的なものなど)を受けた経験や見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
直接自分が暴力を受けたことがある	52	10.7
身近に暴力を受けた(受けている)当事者がいる	42	8.7
身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある	66	13.6
テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	203	41.9
見聞きしたことはない	84	17.4
暴力をふるったことがある	8	1.7
その他	4	0.8
わからない	36	7.4
無回答	71	14.7
回答者数	484	-

問 54-1 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。それはどのような暴力ですか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
身の危険を感じるくらいの暴行を受ける(身体的暴力)	17	32.7
医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける(身体的暴力)	12	23.1
いやがっているのに性的な行為を強要される(性的暴力)	5	9.6
「誰のおかげで生活できるんだ」などと言われる(経済的暴力・心理的暴力)	14	26.9
何を言っても無視され続ける(心理的暴力)	4	7.7
大声でどなられる(威嚇・強制・脅迫)	29	55.8
生活費を渡されないことがあった(経済的暴力)	12	23.1
友人関係を制限したり、携帯電話を勝手にチェックされる(社会的隔離)	6	11.5
その他	8	15.4
無回答	3	5.8
回答者数	52	-

問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。(○はい/□でも)

カテゴリ	件数	割合
警察	3	5.8
法務局・人権擁護委員	1	1.9
配偶者暴力相談支援センター(大阪府女性相談センター、子ども家庭センター)	0	0.0
人権市民相談課・女性サポートステーション WESS	1	1.9
その他の公的機関	1	1.9
民間の機関(弁護士、支援グループなど)	3	5.8
医療関係者(医師、看護師など)	0	0.0
学校関係者(教員、スクールカウンセラーなど)	0	0.0
家族、親戚	12	23.1
友人、知人	10	19.2
その他	5	9.6
どこにも相談しなかった	20	38.5
無回答	6	11.5
回答者数	52	-

問 54-3 問 54-2 で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(○はい/□でも)

カテゴリ	件数	割合
どこに(誰に)相談したらよいのかわからなかった	3	15.0
恥ずかしくて誰にも言えなかった	1	5.0
相談しても無駄だと思った	10	50.0
相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った	2	10.0
自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっていけると思った	7	35.0
相談先の担当者の言動により不快な思いをすと思った	0	0.0
世間体が悪い	1	5.0
他人を巻き込みたくない	3	15.0
そのことについて思い出したくない	2	10.0
自分にも悪いところがある	1	5.0
相談するほどのことではないと思った	5	25.0
その他	1	5.0
無回答	0	0.0
回答者数	20	-

問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者や恋人など親しい人からの暴力)について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
警察	338	69.8
法務局・人権擁護委員	31	6.4
配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター）	89	18.4
人権市民相談課・女性サポートステーション WESS	79	16.3
その他の公的機関	4	0.8
民間の機関(弁護士、支援グループなど)	92	19.0
医療関係者(医師、看護師など)	43	8.9
その他	3	0.6
ひとつも知らない	48	9.9
無回答	57	11.8
回答者数	484	-

問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
法律・制度の制定や見直しを行う	189	39.0
犯罪の取り締まりを強化する	180	37.2
女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	152	31.4
被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる	215	44.4
家庭や学校において男女平等についての教育を充実させる	101	20.9
メディアが自主的に倫理規定を強化する	55	11.4
過激な内容の動画やゲーム等の閲覧を制限する	81	16.7
その他	13	2.7
特に対策の必要はない	7	1.4
わからない	50	10.3
無回答	58	12.0
回答者数	484	-

問 57 メディア(テレビ・新聞・雑誌・インターネットなど)における人権尊重において、問題だと考えられるのはどの点ですか。
(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
テレビ局・新聞社・出版社・広告代理店などのメディアにかかわる事業所の社員に女性が少ないこと	61	12.6
性・暴力を扱った表現に青少年が容易に接触できること	162	33.5
性別役割分業を固定化するような表現がされていること	60	12.4
男女が対等な関係で描かれていないこと	89	18.4
女性を視覚的な対象物として扱っていること	103	21.3
子どもを対象とする性・暴力表現がされていること	103	21.3
女性を対象とする性・暴力表現がされていること	111	22.9
その他	8	1.7
わからない	130	26.9
無回答	87	18.0
回答者数	484	-

18 男女共同参画社会についておうかがいします

問 58 あなたは、現在の社会での男女の地位は、平等になっていると思いますか。

① 家庭生活で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	43	8.9
どちらかといえば男性が優遇されている	169	34.9
平等である	130	26.9
どちらかといえば女性が優遇されている	18	3.7
女性が優遇されている	6	1.2
わからない	55	11.4
無回答	63	13.0
回答者数	484	100.0

② 職場の中で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	67	13.8
どちらかといえば男性が優遇されている	166	34.3
平等である	99	20.5
どちらかといえば女性が優遇されている	12	2.5
女性が優遇されている	3	0.6
わからない	65	13.4
無回答	72	14.9
回答者数	484	100.0

③ 地域活動の場で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	27	5.6
どちらかといえば男性が優遇されている	117	24.2
平等である	133	27.5
どちらかといえば女性が優遇されている	15	3.1
女性が優遇されている	3	0.6
わからない	111	22.9
無回答	78	16.1
回答者数	484	100.0

④ 学校教育の場で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	16	3.3
どちらかといえば男性が優遇されている	67	13.8
平等である	177	36.6
どちらかといえば女性が優遇されている	10	2.1
女性が優遇されている	2	0.4
わからない	135	27.9
無回答	77	15.9
回答者数	484	100.0

⑤ 政治の場で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	167	34.5
どちらかといえば男性が優遇されている	140	28.9
平等である	38	7.9
どちらかといえば女性が優遇されている	2	0.4
女性が優遇されている	1	0.2
わからない	68	14.0
無回答	68	14.0
回答者数	484	100.0

⑥ 法律や制度の上で

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	64	13.2
どちらかといえば男性が優遇されている	107	22.1
平等である	116	24.0
どちらかといえば女性が優遇されている	5	1.0
女性が優遇されている	3	0.6
わからない	112	23.1
無回答	77	15.9
回答者数	484	100.0

⑦ 社会通念や慣習、しきたりなどで

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	95	19.6
どちらかといえば男性が優遇されている	186	38.4
平等である	43	8.9
どちらかといえば女性が優遇されている	2	0.4
女性が優遇されている	3	0.6
わからない	80	16.5
無回答	75	15.5
回答者数	484	100.0

⑧ 社会全体として

カテゴリ	件数	割合
男性が優遇されている	80	16.5
どちらかといえば男性が優遇されている	200	41.3
平等である	49	10.1
どちらかといえば女性が優遇されている	4	0.8
女性が優遇されている	4	0.8
わからない	77	15.9
無回答	70	14.5
回答者数	484	100.0

問 59 社会のいろいろな面で男女が不平等な点があるとすれば、その原因はどこにあるとあなたはお考えですか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
男女の役割の違い	71	14.7
社会的なしきたりやならわし	123	25.4
法律や制度	19	3.9
男女の自覚不足、理解不足	33	6.8
男女の身体的・生理的な差	57	11.8
男女が不平等な点はない	3	0.6
わからない	69	14.3
その他	0	0.0
無回答	109	22.5
回答者数	484	100.0

問 60 あなたは、門真市の行政サービスや市の方針に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(○は1つ)

カテゴリ	件数	割合
十分反映されている	9	1.9
ある程度反映されている	58	12.0
あまり反映されていない	48	9.9
ほとんど反映されていない	18	3.7
わからない	311	64.3
無回答	40	8.3
回答者数	484	100.0

問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
女性の意見を政策に反映することの大切さを広く啓発する	130	26.9
女性を対象とした各種講座を充実する	45	9.3
自治会、PTAなどの地域組織で、女性の「長」や役員を増やす	57	11.8
委員会などの女性委員を増やす	83	17.1
まちづくりを考える女性団体を育成・支援する	69	14.3
気軽な意見提案の方法の周知・活用を図る	92	19.0
女性が住民懇談会などの場でもっと発言する	38	7.9
女性みずからが市の政策に参画する意欲を持つ	75	15.5
市の女性職員の能力の活用を図る	82	16.9
その他	6	1.2
特別な取り組みは必要ない	13	2.7
わからない	129	26.7
無回答	58	12.0
回答者数	484	-

問 62 次の「ことば」や「ことば」をご存じですか。(○はそれぞれ1つずつ)

① メディア・リテラシー(メディアからの情報を読み解く能力)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	47	9.7
聞いたことがある	109	22.5
知らなかった	273	56.4
無回答	55	11.4
回答者数	484	100.0

② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	7	1.4
聞いたことがある	40	8.3
知らなかった	378	78.1
無回答	59	12.2
回答者数	484	100.0

③ ジェンダー(社会的・文化的性差)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	99	20.5
聞いたことがある	150	31.0
知らなかった	174	36.0
無回答	61	12.6
回答者数	484	100.0

④ ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	33	6.8
聞いたことがある	120	24.8
知らなかった	270	55.8
無回答	61	12.6
回答者数	484	100.0

⑤ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	99	20.5
聞いたことがある	164	33.9
知らなかった	165	34.1
無回答	56	11.6
回答者数	484	100.0

⑥ ダイバーシティ(多様な人材の活用)

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	60	12.4
聞いたことがある	129	26.7
知らなかった	235	48.6
無回答	60	12.4
回答者数	484	100.0

⑦ LGBT

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	101	20.9
聞いたことがある	139	28.7
知らなかった	184	38.0
無回答	60	12.4
回答者数	484	100.0

⑧ パートナーシップ宣誓証明制度

カテゴリ	件数	割合
よく知っている	43	8.9
聞いたことがある	130	26.9
知らなかった	252	52.1
無回答	59	12.2
回答者数	484	100.0

問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思えますか。
(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

カテゴリ	件数	割合
性別による差別を撤廃し、両性の平等に基づく人権を確立するため	104	21.5
政策・方針決定過程に、男性のみならず女性の積極的な参加を可能とすることで、国民各層の意見をより反映させ、民主主義の成熟を図るため	73	15.1
男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため	200	41.3
少子・高齢化の進行に伴い労働力人口が減少する中で、活力ある経済・社会を維持していくためには、女性の能力を十分に生かしていくことが必要になるため	94	19.4
今後、わが国が持続可能な発展の道を確保するためには、従来とは異なる多様な個性・価値観を生かした産業の発展が不可欠であり、そのためには多様な人材が必要であるため	84	17.4
女性の地位と能力の向上のための国連などの世界的な取り組みにわが国も、国際社会の一員として共同して参画する必要があるため	33	6.8
その他	5	1.0
特になし	17	3.5
わからない	77	15.9
無回答	57	11.8
回答者数	484	-

問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

カテゴリ	件数	割合
審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する	131	27.1
民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	114	23.6
女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する	99	20.5
男女共同参画社会づくりに役立つ情報を収集し広く提供する	92	19.0
職場において男女の均等な取り扱いが行われるよう、企業等に働きかける	116	24.0
仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める	214	44.2
子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	216	44.6
子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	207	42.8
育児や介護のための施設やサービスを充実する	185	38.2
学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する	99	20.5
女性の性の保護や男女共の生涯にわたる健康づくりを充実する	64	13.2
女性に対するあらゆる暴力の防止や被害者への支援を充実する	102	21.1
男女共同参画を進めるための啓発活動を充実する	66	13.6
その他	12	2.5
特にない	53	11.0
無回答	42	8.7
回答者数	484	-

2 事業所

貴社(事業所)について、おうかがいします

問1 貴社(事業所)の業種をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
建設業	4	7.3
製造業	35	63.6
電気・ガス・熱供給・水道	0	0.0
運輸、情報・通信業	1	1.8
卸売業	4	7.3
小売業、飲食業	1	1.8
金融・保険業	0	0.0
不動産業	1	1.8
教育、学習支援	2	3.6
サービス業	7	12.7
その他	4	7.3
無回答	1	1.8
回答者数	55	-

問2 貴社(事業所)《本調査票の送付先》は、組織上次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
単独事業所(他の場所に本社、支社などを持たない事業所)	26	47.3
本社・本店・本所(他の場所に支社などをもち、それらを統括する事業所)	20	36.4
支社・支店・支所(他の場所にある本社などの統括を受けている事業所)	8	14.5
無回答	1	1.8
回答者数	55	100.0

問2-1 問2で「2」または「3」を回答された方におうかがいします。貴社全体の従業員数(常時雇用者)は何人ですか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
30人未満	4	14.3
30~100人	13	46.4
101~300人	7	25.0
301人以上	2	7.1
無回答	2	7.1
回答者数	28	100.0

問2-2 問2で「3」を回答された方におうかがいします。本社の所在地はどちらですか。(どちらかに○)

カテゴリ	件数	割合
門真市内	1	12.5
門真市外	6	75.0
無回答	1	12.5
回答者数	8	100.0

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

(1) 正規従業員数 男性

カテゴリ	件数	割合
0人	5	9.1
1～4人	4	7.3
5～9人	11	20.0
10～19人	14	25.5
20～29人	4	7.3
30人以上	14	25.5
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(1) 正規従業員数 女性

カテゴリ	件数	割合
0人	7	12.7
1～4人	19	34.5
5～9人	11	20.0
10～19人	5	9.1
20～29人	3	5.5
30人以上	6	10.9
無回答	4	7.3
回答者数	55	100.0

(2) パート・アルバイト・派遣等の臨時従業員 男性

カテゴリ	件数	割合
0人	8	14.5
1～4人	16	29.1
5～9人	7	12.7
10～19人	7	12.7
20～29人	4	7.3
30人以上	2	3.6
無回答	11	20.0
回答者数	55	100.0

(2) パート・アルバイト・派遣等の臨時従業員 女性

カテゴリ	件数	割合
0人	10	18.2
1～4人	11	20.0
5～9人	6	10.9
10～19人	6	10.9
20～29人	3	5.5
30人以上	9	16.4
無回答	10	18.2
回答者数	55	100.0

(3) 管理職数 男性

カテゴリ	件数	割合
0人	8	14.5
1～4人	21	38.2
5～9人	14	25.5
10～19人	5	9.1
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(3) 管理職数 女性

カテゴリ	件数	割合
0人	24	43.6
1～4人	14	25.5
5～9人	4	7.3
10～19人	0	0.0
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	12	21.8
回答者数	55	100.0

(4) 障害者雇用者数(障害者雇用促進法で定める) 男性

カテゴリ	件数	割合
0人	25	45.5
1～4人	18	32.7
5～9人	0	0.0
10～19人	0	0.0
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	11	20.0
回答者数	55	100.0

(4) 障害者雇用者数(障害者雇用促進法で定める) 女性

カテゴリ	件数	割合
0人	31	56.4
1～4人	8	14.5
5～9人	0	0.0
10～19人	0	0.0
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	15	27.3
回答者数	55	100.0

(5) 前年度(令和2年度)の新規採用者数(正規) 男性

カテゴリ	件数	割合
0人	19	34.5
1～4人	22	40.0
5～9人	1	1.8
10～19人	1	1.8
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	11	20.0
回答者数	55	100.0

(5) 前年度(令和2年度)の新規採用者数(正規) 女性

カテゴリ	件数	割合
0人	22	40.0
1～4人	12	21.8
5～9人	1	1.8
10～19人	2	3.6
20～29人	0	0.0
30人以上	1	1.8
無回答	17	30.9
回答者数	55	100.0

男女が働きやすい職場環境への取り組みについて、おうかがいします

問4 令和2年6月から職場におけるハラスメント防止対策が強化され、パワーハラスメント措置が事業主の義務(注※中小事業主は令和4年4月1日から)になりましたが、ご存知でしたか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
知っている	33	60.0
知っているが内容はよく知らない	17	30.9
知らなかった	3	5.5
無回答	2	3.6
回答者数	55	100.0

問5 パワーハラスメント(以降、「パワハラ」と記載)が発生する原因は何だと思えますか。(主なもの2つまで)

カテゴリ	件数	割合
コミュニケーション不足	27	49.1
行為者側のパワハラ認識不足(パワハラと指導の違いを理解していない)	41	74.5
自社内等の理不尽な慣習の踏襲	11	20.0
心理的安全性(他者の反応に怯えたり、羞恥心を感じたりすることなく、自然体の自分をさらけ出すことができる環境や雰囲気)がない	3	5.5
自社内等でパワハラ研修、周知、対策がされていない	8	14.5
その他	1	1.8
無回答	3	5.5
回答者数	55	-

問6 セクシュアル・ハラスメント(以降、「セクハラ」と記載)が発生する原因は何だと思えますか。(主なもの3つまでに○)

カテゴリ	件数	割合
職場で、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」といった男女の固定的役割分担意識があるから	9	16.4
公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから	25	45.5
プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから	32	58.2
男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから	29	52.7
職場が、雇用管理において、男性中心の発想から抜け出せていないから	8	14.5
その他	2	3.6
無回答	3	5.5
回答者数	55	-

問7 貴事業所では、セクハラに対する対策をとっていますか。(どちらかに○)

カテゴリ	件数	割合
とっている	32	58.2
とっていない	22	40.0
無回答	1	1.8
回答者数	55	100.0

問7-1 問7で「1. とっている」を回答された事業所の方におうかがいします。セクハラに対して、どのような対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる	23	71.9
セクハラ防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している	9	28.1
セクハラ防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている	10	31.3
セクハラ防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている	8	25.0
セクハラ相談、苦情を受け付ける相談窓口を設置している	16	50.0
相談窓口担当者の研修を実施している	4	12.5
相談窓口担当者に女性をおいている	7	21.9
セクハラについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている	10	31.3
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
回答者数	32	-

問7-2 問7で「2. とっていない」を回答された事業所の方におうかがいします。対策をとっていない理由をお答えください。
(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
事業主に防止義務があることを知らなかった	1	4.5
特に事業所に訴えがない(セクハラがない)	15	68.2
女性従業員がいない	2	9.1
現在は対策をとっていないが、検討中である	3	13.6
その他	1	4.5
無回答	0	0.0
回答者数	22	100.0

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

(1) 採用・募集

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	2	3.6
男女平等	43	78.2
男性優遇	5	9.1
わからない	2	3.6
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(2) 仕事内容・責任

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	45	81.8
男性優遇	4	7.3
わからない	2	3.6
無回答	4	7.3
回答者数	55	100.0

(3) 給与・賃金

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	46	83.6
男性優遇	3	5.5
わからない	3	5.5
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(4) 昇格・降格

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	45	81.8
男性優遇	4	7.3
わからない	3	5.5
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(5) 能力・成果の評価

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	48	87.3
男性優遇	2	3.6
わからない	2	3.6
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(6) 研修・訓練の機会

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	1	1.8
男女平等	46	83.6
男性優遇	2	3.6
わからない	3	5.5
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(7) 勤務時間

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	6	10.9
男女平等	45	81.8
男性優遇	0	0.0
わからない	1	1.8
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(8) 福利厚生

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	1	1.8
男女平等	50	90.9
男性優遇	0	0.0
わからない	1	1.8
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(9) 解雇

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	48	87.3
男性優遇	0	0.0
わからない	4	7.3
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

(10) 再雇用

カテゴリ	件数	割合
女性優遇	0	0.0
男女平等	50	90.9
男性優遇	0	0.0
わからない	2	3.6
無回答	3	5.5
回答者数	55	100.0

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

(1) 採用・募集

カテゴリ	件数	割合
格差がある	13	23.6
格差はない	30	54.5
わからない	6	10.9
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(2) 仕事内容・責任

カテゴリ	件数	割合
格差がある	29	52.7
格差はない	18	32.7
わからない	2	3.6
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(3) 給与・賃金

カテゴリ	件数	割合
格差がある	31	56.4
格差はない	11	20.0
わからない	6	10.9
無回答	7	12.7
回答者数	55	100.0

(4) 昇格・降格

カテゴリ	件数	割合
格差がある	24	43.6
格差はない	18	32.7
わからない	6	10.9
無回答	7	12.7
回答者数	55	100.0

(5) 能力・成果の評価

カテゴリ	件数	割合
格差がある	10	18.2
格差はない	33	60.0
わからない	6	10.9
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(6) 研修・訓練の機会

カテゴリ	件数	割合
格差がある	13	23.6
格差はない	30	54.5
わからない	6	10.9
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(7) 勤務時間

カテゴリ	件数	割合
格差がある	16	29.1
格差はない	30	54.5
わからない	2	3.6
無回答	7	12.7
回答者数	55	100.0

(8) 福利厚生

カテゴリ	件数	割合
格差がある	7	12.7
格差はない	40	72.7
わからない	2	3.6
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(9) 解雇

カテゴリ	件数	割合
格差がある	3	5.5
格差はない	41	74.5
わからない	5	9.1
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

(10) 再雇用

カテゴリ	件数	割合
格差がある	4	7.3
格差はない	38	69.1
わからない	7	12.7
無回答	6	10.9
回答者数	55	100.0

問 10 貴事業所では、男女間の格差の解消を進めるための積極的な取り組み(ポジティブ・アクション)を何か実施していますか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
実施している	15	27.3
実施していない	27	49.1
実施していないが検討中である	9	16.4
ポジティブ・アクションについて全く知らない	4	7.3
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

問 10-1 問 10 で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
意欲と能力のある女性を積極的に募集・採用している	7	46.7
昇進・昇格試験を受験するように女性従業員に積極的に奨励する	4	26.7
昇進・昇格に向けて、女性従業員に対する特別研修などを実施する	1	6.7
当該配置・昇進の基準を満たす従業員の中から、男性より女性を優先して配置・昇進させる	0	0.0
初めて女性を配置・登用する場合に、受入れが円滑にいくよう上司に指導するなど配慮する	1	6.7
女性の配置に備えて女性用の休憩室、トイレ、ロッカーなどを整備する	9	60.0
女性従業員に対し積極的に教育訓練を実施する	0	0.0
社内報などを通じ、男女格差の是正に取り組む会社の姿勢を従業員に示している	3	20.0
お茶くみ、机の掃除などを女性にのみ命じることのないように徹底している	6	40.0
職場・就業環境についての意見や要望を受け入れる体制を整えている	7	46.7
女性管理職との懇談の場を設けるなど、女性の職業意識の向上を促している	1	6.7
女性の人材活用環境整備も視野に入れて、全体的に時間外労働の縮減に取り組んでいる	5	33.3
その他	1	6.7
無回答	0	0.0
回答者数	15	-

問 11 すべての事業所の方におうかがいします。女性の人材を活用するにあたって、支障となることはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

カテゴリ	件数	割合
女性の平均勤続年数が短いこと	12	21.8
家事、育児、介護などの家族的責任に伴い、配置や時間外労働に制約があること	36	65.5
防犯上の問題から、女性には時間外労働や深夜労働をさせにくいこと	14	25.5
重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約があること	14	25.5
女性自身が昇進・昇格を望まないこと	14	25.5
一般的に女性は職業意識が低いこと	5	9.1
女性従業員の人材活用に関する社会全体の認識、理解が不十分であること	7	12.7
男性管理職や男性従業員の認識、理解が不十分であること	5	9.1
コストや事務量が増えること	0	0.0
その他	5	9.1
無回答	4	7.3
回答者数	55	-

ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みについて、おうかがいします

問 12 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に関する取り組みを何か実施していますか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
実施している	29	52.7
実施していない	16	29.1
実施していないが検討中である	7	12.7
ワーク・ライフ・バランスについて全く知らない	3	5.5
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

問 12-1 問 12 で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。
それはどのような取り組みですか。(1)及び(2)についてお答えください。

(1)職業生活と家庭生活との両立支援に関して(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保についての周知や情報提供、相談体制の整備	11	37.9
産前産後休業後における現職または現職相当職への復帰のための業務内容や体制の見直し	14	48.3
子どもが生まれる際の父親の休暇の取得の促進	13	44.8
小学校就学前の子どもを育てる労働者が利用できる措置の実施	5	17.2
小学校就学前の子どもを育てる労働者が利用できる事業所内託児施設の設置及び運営	1	3.4
小学校就学前の子どもを育てる労働者が子育てのためのサービスを利用する際に要する費用の援助の措置の実施	1	3.4
育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度の実施	5	17.2
育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備	20	69.0
労働者が子どもの看護のための休暇を取得できる制度の導入	12	41.4
希望する労働者に対する勤務地、担当業務の限定制度的実施	4	13.8
子育てを行う労働者の社宅への入居に関する配慮、子育てのために必要な費用の貸付の実施など子育てをしながら働く労働者に配慮した措置の実施	0	0.0
育児・介護休業法や雇用保険法、労働基準法に基づく諸制度の周知	13	44.8
出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施	5	17.2
その他	1	3.4
無回答	0	0.0
回答者数	29	-

(2)働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備に関して(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
ノー残業デー等の導入・拡充や企業内の意識啓発等による所定外労働の削減	15	51.7
年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施	21	72.4
多様な働き方の選択を拡大するための短時間勤務や隔日勤務の導入	5	17.2
情報通信技術(IT)を利用した場所・時間にとらわれない働き方の導入	5	17.2
職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識の是正のための情報提供・研修の実施	3	10.3
その他	0	0.0
無回答	2	6.9
回答者数	29	-

問 13 貴事業所で、過去1年間(平成 31 年4月1日～令和2年3月 31 日)における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(1)育児休業の取得状況

女 性 ① 出産者数

カテゴリ	件数	割合
0人	31	56.4
1人	8	14.5
2人	2	3.6
3人	1	1.8
4人	0	0.0
5人以上	5	9.1
無回答	8	14.5
回答者数	55	100.0

女 性 ② 育児休業取得者数

カテゴリ	件数	割合
0人	30	54.5
1人	6	10.9
2人	3	5.5
3人	1	1.8
4人	0	0.0
5人以上	4	7.3
無回答	11	20.0
回答者数	55	100.0

男 性 ① 配偶者が出産した従業員数

カテゴリ	件数	割合
0人	32	58.2
1人	8	14.5
2人	1	1.8
3人	3	5.5
4人	0	0.0
5人以上	3	5.5
無回答	8	14.5
回答者数	55	100.0

男性 ② 育児休業取得者数

カテゴリ	件数	割合
0人	38	69.1
1人	5	9.1
2人	1	1.8
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人以上	1	1.8
無回答	10	18.2
回答者数	55	100.0

(2)介護休業の取得状況

女性

カテゴリ	件数	割合
0人	44	80.0
1人	2	3.6
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人以上	1	1.8
無回答	8	14.5
回答者数	55	100.0

男性

カテゴリ	件数	割合
0人	44	80.0
1人	2	3.6
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人以上	1	1.8
無回答	8	14.5
回答者数	55	100.0

問 14 令和2年4月から女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)※が改正され施行されたことをご存じですか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
改正されたことも、内容も知っている	11	20.0
改正されたことは知っているが、内容は知らなかった	27	49.1
改正されたことを知らない	17	30.9
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

問 15 男女の仕事と生活の調和をはじめ、女性を積極的に登用するなどの取り組みは、貴事業所にとってどのようなメリットがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
CSR(社会的責任)を果たす	16	29.1
企業のイメージアップにつながる	16	29.1
社員の定着率が高まる	12	21.8
社員の意識・意欲が向上する	20	36.4
生産性が向上する	10	18.2
職場の雰囲気が明るくなる	31	56.4
チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる	16	29.1
社員が生活者の視点をもつようになる	8	14.5
有能な人材採用のチャンスが増える	28	50.9
女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える	14	25.5
男性の意識が変わり、女性従業員を対等な存在として見るようになる	11	20.0
その他	1	1.8
とくにない	4	7.3
無回答	1	1.8
回答者数	55	-

問 16 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法※に基づく「一般事業主行動計画」の策定はどのような状況ですか。(1つに○)

カテゴリ	件数	割合
すでに策定済み	4	7.3
現在、策定中	4	7.3
今は策定していないが、今後、策定する予定	1	1.8
まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定	25	45.5
今後も策定する予定はない	1	1.8
わからない	20	36.4
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

問 16-1 問 16 で「4」または「5」を回答された事業所の方におうかがいします。策定していない(予定はない)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
どのような計画を策定したらいいかわからない	9	34.6
策定している時間的な余裕がない	3	11.5
一般事業主行動計画のことを知らなかった	10	38.5
「仕事と家庭の両立」が図られており、策定の必要がないと考えている	7	26.9
「仕事と家庭の両立」は行政が取り組むべきものであると考えている	0	0.0
子育て中の従業員がいない	1	3.8
出産対象となる女性従業員がいない	5	19.2
その他	2	7.7
無回答	0	0.0
回答者数	26	-

問 17 貴事業所は、門真市男女共同参画推進条例についてご存じですか。

(1) 条例の制定について(どちらかに○)

カテゴリ	件数	割合
知っている	24	43.6
知らない	31	56.4
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

(2) 事業者の責務が定められていることについて(どちらかに○)

カテゴリ	件数	割合
知っている	25	45.5
知らない	30	54.5
無回答	0	0.0
回答者数	55	100.0

問 18 行政からどのような支援があれば、貴事業所として男女共同参画への取り組みが行いやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
財政的支援(奨励金、低金利融資など)	23	41.8
企業活動へのインセンティブの付与(入札での優遇など動機付けとなる措置)	10	18.2
取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ(市の表彰制度や広報紙等への掲載など)	13	23.6
他の企業の取り組み事例の紹介(セミナーの開催など)	18	32.7
コンサルティング支援	8	14.5
研修会の開催	17	30.9
男女共同参画推進員の設置支援	5	9.1
その他	3	5.5
無回答	7	12.7
回答者数	55	-

IV 調査票

1 市民

門真市人権問題に関する市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このアンケート調査は、無作為抽出による20歳以上の市民1,400人を対象に送付しており、「人権教育・人権啓発推進基本計画」「第3次かどま男女共同参画プラン」の策定に先立ち、私たちのまわりにある様々な人権問題などについて、市民の皆様のお考えなどをお聞かせいただき、計画策定の基礎資料として使わせていただくために実施します。

調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年10月

門真市長 宮本 一孝

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和2年10月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を() 内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月23日(金)までに郵送していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

門真市 市民文化部 人権市民相談課

電話 06-6902-6079

1 あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
| 3. 女性/男性では答えられない | 4. 答えたくない |

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 結婚していない | 2. 結婚している(配偶者がいる) |
| 3. 結婚したが離別または死別 | |

問4-1 あなたの職業はなんですか。(○はそれぞれ1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 会社、団体、官公庁などの正社員 |
| 2. 会社、団体、官公庁などの契約社員や派遣社員 |
| 3. パートタイムやアルバイト |
| 4. 自営業または家族従業員 |
| 5. 専業主婦・主夫 |
| 6. 学生 |
| 7. 無職(専業主婦・主夫を除く) |
| 8. その他(具体的に) |

問4-2 問3で「2. 結婚している」と答えた方におうかがいします。

あなたの配偶者の職業はなんですか。(○はそれぞれ1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 会社、団体、官公庁などの正社員 |
| 2. 会社、団体、官公庁などの契約社員や派遣社員 |
| 3. パートタイムやアルバイト |
| 4. 自営業または家族従業員 |
| 5. 専業主婦・主夫 |
| 6. 学生 |
| 7. 無職(専業主婦・主夫を除く) |
| 8. その他(具体的に) |

問5 あなたにお子さんはおられますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. こどもはいない | 2. 女の子がいる |
| 3. 男の子がいる | 4. 女の子と男の子がいる |

問6 あなたの同居の家族構成は、次のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦(事実婚含む)のみ | 3. 親と子の2世帯 |
| 4. 親と子と孫の3世帯 | 5. その他(具体的に) | |

— 人権問題全般 —

2 人権についておうかがいします

問7 あなたは、次の人権に関する法や条例等を知っていますか。(○はいくつでも)

※①～⑱までの項目について、それぞれ1～3の
あてはまる番号に○を1つずつつけてください。

	内容もよく知 っている	名前は聞いた ことがある	知らなかった
① 門真市人権尊重のまちづくり条例	1	2	3
② 門真市人権教育・人権啓発推進基本計画	1	2	3
③ 門真市男女共同参画推進条例	1	2	3
④ かども男女共同参画プラン	1	2	3
⑤ 男女共同参画社会基本法	1	2	3
⑥ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)	1	2	3
⑦ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)	1	2	3
⑧ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)	1	2	3
⑨ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
⑩ ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー規制法)	1	2	3
⑪ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)	1	2	3
⑫ 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)	1	2	3
⑬ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律(高齢者虐待防止法)	1	2	3
⑭ 児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)	1	2	3
⑮ 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律(ハイトスピーチ解消法)	1	2	3
⑯ 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)	1	2	3
⑰ 大阪府人権尊重の社会づくり条例	1	2	3
⑱ 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解増進に関する条例(性の多様性理解増進条例)	1	2	3
⑲ 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(ハイトスピーチ解消推進条例)	1	2	3

問8 新聞、テレビなどで「人権問題」や「人権が侵害された」などのニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、どのようになってきたと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 少なくなってきた | 2. あまりかわらない |
| 3. 多くなってきた | 4. わからない |

問9 あなたは、次の人権課題を知っていますか。(○はいくつでも)

1. 女性 (例: 性的役割分担意識、社会的地位における差別待遇)
2. 子ども (例: いじめ、虐待、貧困)
3. 高齢者 (例: 虐待、介護放棄)
4. 障がい者 (例: 虐待、差別的言動、就職での不利な扱い)
5. 部落差別 (例: 身元調査、結婚の際の周囲の反対)
6. 外国人 (例: 入居や入店の拒否、労働条件における差別待遇、ヘイトスピーチ)
7. 性的マイノリティ (例: 偏見による差別、嫌がらせ)
8. インターネットによる人権侵害 (例: 誹謗中傷、リベンジポルノ、著作権侵害)
9. ホームレス (例: 嫌がらせ、暴力)
10. 刑を終えて出所した人 (例: 就職における差別、入居の拒否)
11. 犯罪被害者 (例: 精神的ショック、プライバシーの侵害)
12. アイヌの人々 (例: 偏見による差別)
13. HIV感染者やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題 (例: 偏見による差別)
14. 北朝鮮当局による拉致問題
15. 東日本大震災に伴う人権問題 (例: 偏見による差別、嫌がらせ)
16. 人身取引 (例: 性的搾取、強制労働)
17. ハラスメント (例: 性的嫌がらせ、職場の上司から達成不可能なノルマを与えられる)
18. 職業や雇用に関する人権問題 (例: 就業形態や職種、職業に関する偏見、差別)
19. その他 (具体的に _____)

問9-1 問9の人権問題のうち、重要と考えるものはどれですか。(番号を3つ選択)

() () ()

問10 直近5年間で人権上問題と感じる言動を直接見聞きしましたか。(○は1つ)
 ※最も印象に残っているもの(テレビや新聞等で見聞きしたものは除く)

1. ある → 1. 自分に向けられたもの 2. 自分以外に向けられたもの
 2. ない

問10-1 問10で「1. ある」を回答された方におうかがいします。
 それはどのような人権課題に関するものですか。(最も関連するものに○を1つ)

- | | | |
|---|-------------------|-----------|
| 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 |
| 4. 障がい者 | 5. 部落差別 | 6. 外国人 |
| 7. 性的マイノリティ | 8. インターネットによる人権侵害 | |
| 9. ホームレス | 10. 刑を終えて出所した人 | 11. 犯罪被害者 |
| 12. アイヌの人々 | | |
| 13. HIV感染症やハンセン病患者・回復者などの病気・感染症に関する人権問題 | | |
| 14. 北朝鮮当局による拉致問題 | 15. 東日本大震災に伴う人権問題 | |
| 16. 人身取引 | 17. ハラスメント | |
| 18. 職業や雇用に関する人権問題 | | |
| 19. その他 (具体的に _____) | | |

問 10-2 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。
それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. あらぬ噂、悪口、かげ口 | 2. 名誉や信用の毀損、侮辱 |
| 3. 暴力、脅迫、強要 | 4. 不平等、不利益な扱い |
| 5. 不当な待遇、取扱い | 6. いじめ、嫌がらせ |
| 7. 虐待 | |
| 8. DV (ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力) | |
| 9. プライバシーの侵害 | 10. パワーハラスメント |
| 11. セクシャルハラスメント | |
| 12. その他 (具体的に |) |

問 10-3 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。
それに対してどのように対応しましたか (〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 抗議、反論、指摘を行い、いけないことと理解してもらおうとした | |
| 2. 相談した (どこに、誰に: |) |
| 3. 訴えた (どこに、誰に: |) |
| 4. 我慢した | 5. 同調した |
| 6. 話をそらした | 7. 何もしなかった、できなかった |
| 8. その他 (具体的に |) |

問 10-4 問 10 で「1. ある」を回答された方におうかがいします。
それは解決しましたか (〇は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 解決した | 2. 解決しなかった |
| 3. その他 (具体的に |) |

問 11 人権課題について、家族や親せき、友人以外で、具体的にどこへ相談しようと思いませんか (〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 学校や職場 | |
| 2. 地域の町会役員や民生委員、児童委員 | |
| 3. 市役所の人権相談窓口 | |
| 4. 市役所の各分野の担当部署 | |
| 5. 女性サポートステーション WESS | |
| 6. 専門相談機関 (児童相談所、地域包括支援センターなど) | |
| 7. 法務局や人権擁護委員 | |
| 8. 大阪府の人権相談窓口 | |
| 9. 弁護士 | |
| 10. 警察 | |
| 11. 民間団体 (ボランティア団体や NPO 法人など) | |
| 12. 相談しようとは思わない | |
| 13. その他 (具体的に |) |

問 12 あなたは、市役所は人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 人権意識や理解を深めるための啓発広報活動
2. 学校内外の人権教育
3. 人権課題に対応する専門の相談機関や施設の整備
4. 人権が侵害された被害者の救済や支援
5. 防犯活動の強化(犯罪の取締りの強化)
6. 人権に関する情報の提供
7. 人権相談に関する人員の充実
8. 国や府、近隣自治体や関係機関との連携
9. その他(具体的に

)

問 13 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法による啓発広報活動が効果的であると考えますか。(〇はいくつでも)

1. 研修会、講演会、シンポジウム等
2. 展示会(資料、写真等)
3. 広報紙、パンフレット、ポスター
4. テレビ、ラジオを利用した啓発
5. 映画、DVDを利用した啓発
6. 新聞、雑誌を利用した啓発
7. インターネットを利用した啓発
8. 交通広告(電車やバス等の社内・車体広告、駅での広告等)
9. ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等)
10. 疑似体験(高齢者、障がい者、妊婦等)
11. 交流会(高齢者、障がい者、妊婦等)
12. 自由な意見の交換ができる会合
13. その他(具体的に

)

3 女性の人権についておうかがいします

問 14 女性の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること
2. 職場において差別処遇(女性が管理職になりにくい、マタニティハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱いなど)を受けること
3. セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)
4. DV(ドメスティックバイオレンス、配偶者やパートナーからの暴力)
5. 売春、買春
6. 「婦人」「家内」「未亡人」のように、女性だけに用いられる言葉が使われること
7. アダルトビデオ等への出演強要
8. 特になし
9. その他(具体的に

)

4 子どもの人権についておうかがいします

問 15 子どもの人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. いじめを受けること
2. 体罰を受けること
3. 虐待を受けること
4. いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをされること
5. 学校や就職先の選択等の子どもの意見について、大人が無視をすること
6. 児童買春、児童ポルノ等の対象となること
7. 特にない
8. その他（具体的に)

5 高齢者の人権についておうかがいします

問 16 高齢者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. 邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
3. 意見や行動が尊重されないこと
4. 家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること
5. 病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること
6. 認知症に対する正しい理解がなされていないこと
7. アパート等への入居を拒否されること
8. 悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと
9. 働く能力や意欲を発揮する機会が少ないこと
10. 経済的な自立が困難なこと
11. 特にない
12. その他（具体的に)

6 障がい者の人権についておうかがいします

問 17 障がい者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 意見や行動が尊重されない
4. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
5. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
6. 家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること
7. 病院での看護や養護施設において、劣悪な処遇や虐待を受けること
8. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
9. スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
10. 結婚について周囲の反対を受けること
11. アパート等への入居を拒否されること
12. 悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと
13. 合理的な配慮*がなされていないこと
14. 特にない
15. その他（具体的に)

【合理的な配慮とは】

障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

7 外国人の人権についておうかがいします

問 18 外国人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
5. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
6. 結婚について周囲の反対を受けること
7. アパート等への入居を拒否されること
8. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと
9. ヘイトスピーチ*を受けること
10. 特にない
11. その他（具体的に)

【ヘイトスピーチとは】

特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、一方的に社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの言動を受けること。

8 インターネット上の人権についておうかがいします

問 19 インターネット上の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(○はいくつでも)

1. 他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
2. 他人に偏見や差別の感情を生じさせたり、助長するような情報が掲載されること
3. SNS (LINE、Facebook 等) による交流が、犯罪を誘発する場になっていること
4. 警察の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真が暴露されること
5. プライバシーに関する情報が暴露されること
6. ネットポルノが存在していること
7. リベンジポルノが行なわれていること (元交際相手等の性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに暴露する行為)
8. 特にない
9. その他 (具体的に)

9 刑を終えた人の人権についておうかがいします

問 20 刑を終えた人の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。
(○はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
5. 過去のニュース等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと
6. 結婚について周囲の反対を受けること
7. アパート等への入居を拒否されること
8. 特にない
9. その他 (具体的に)

10 犯罪被害者の人権についておうかがいします

問 21 犯罪被害者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(○はいくつでも)

1. 精神的なショックを受けること
2. 経済的、時間的負担を受けること (就労の途切れ、裁判など)
3. 周囲からうわさ話や視線を受けること
4. 報道によってプライバシーが暴露されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること
5. 警察から期待通りの対応が得られないこと
6. 捜査や刑事裁判において、精神的な負担を受けること
7. 刑事手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
8. 特にない
9. その他 (具体的に)

11 性的マイノリティの人権についておうかがいします

問 22 性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
5. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
6. 交際について周囲の反対を受けること
7. アパート等への入居を拒否されること
8. 特にない
9. その他（具体的に)

【性的マイノリティに関わる言葉】

『LGBT（エルジービーティー）』

性的マイノリティのなかでも代表的な女性同性愛者（Lesbian）、男性同性愛者（Gay）、両性愛者（Bisexual）、心の性と体の性が一致していない者（Transgender）を意味する頭字語で、性的マイノリティの意味として用いられる。ただし、性的マイノリティにはこの他にも様々な人がいる。

『SOGI（ソジまたはソギ）』

性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字をとった頭字語で、性的指向および性自認は、性的マイノリティに限らず、すべての人に関わることであるという考えから生まれた言葉。性的マイノリティを直接表す言葉ではない。

12 病気・感染症についておうかがいします

問 23 HIV やハンセン病等の患者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
5. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
6. 結婚について周囲の反対を受けること
7. アパート等への入居を拒否されること
8. 治療や入院を断られること
9. 特にない
10. その他（具体的に)

問 24 新型コロナウイルス感染症の患者や回復者の人権に関して、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. じろじろ見られたり、避けられたりすること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場などで不利な扱いを受けること
5. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
6. インターネット上で、差別的な書き込みや誹謗中傷されること
7. プライバシーに関する情報が暴露されること
8. 治療や入院を断られること
9. 特にない
10. その他(具体的に)

13 部落差別等の同和問題についておうかがいします

問 25 部落差別について、どのような人権課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 差別的な言動をされること
2. 差別的な落書きをされること
3. 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
4. 就職、職場で不利な扱いを受けること
5. 身元調査が行われること
6. 結婚について周囲の反対をうけること
7. インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
8. えせ同和行為(同和問題(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)がなされること
9. 特にない
10. その他(具体的に)

問 26 部落差別等の同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(〇は1つ)

1. 家族(父母、祖父母、兄弟など)から聞いた
2. 親戚の人から聞いた
3. 近所の人から聞いた
4. 職場の人から聞いた
5. 友だちから聞いた
6. 学校の授業で教わった
7. テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った
8. 部落差別等の同和問題に関する集会や研修会で知った
9. 市区町村や都道府県の広報誌や冊子などで知った
10. きっかけは覚えていない
11. その他(具体的に)

問 27 現在もなお部落差別が存在するのはなぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから
2. 落書きやインターネット上などで、差別意識を助長する人がいるから
3. これまでの教育や啓発が十分でなかったから
4. 昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまう人が多いから
5. 地域社会や家庭において話題となるから
6. 被差別部落(同和地区)の住民が、行政から優遇されていると思う人が多いから
7. えせ同和行為(同和问题(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)などにより、「同和は怖い問題である」と思うから
8. その他(具体的に)

問 28 部落差別等の同和问题を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚するべき
2. 行政がもっと積極的に教育、啓発、相談体制の充実などの施策を実施するべき
3. 特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき
4. インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰すべき
5. えせ同和行為(同和问题(部落差別)を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)をする人を処罰すべき
6. 差別する人や差別を助長する人を処罰すべき
7. 特にない
8. わからない
9. その他(具体的に)

問 29 世間では、どのようなことで被差別部落出身者と判断していると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 本人が、現在被差別部落に住んでいる
2. 本人が、過去に被差別部落に住んだことがある
3. 本人の本籍地が、被差別部落である
4. 本人の出生地が、被差別部落である
5. 父母あるいは祖父母が被差別部落に住んでいる
6. 父母あるいは祖父母の本籍地が被差別部落である
7. 父母あるいは祖父母の出生地が被差別部落である
8. 職業によって判断している
9. わからない
10. その他(具体的に)

問 30 あなたが、家やマンションを購入したり、借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、被差別部落や同じ小学校区にある物件は避けることがありますか。(〇は1つ)

1. いずれにあってもこだわらないと思う
2. 被差別部落にある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う
3. 被差別部落や同じ小学校区にある物件は避けると思う
4. わからない

— 男女共同参画 —

14 地域や家庭での生活についておうかがいします

問 31 あなたが、次のような教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動の中から「現在している活動」と「今後始めたい活動」をお答えください。

※現在と今後、それぞれについて選んだ番号に○をつけてください。

	現在している活動 (○はいくつでも)	今後、始めたい活動 (○はいくつでも)
① 趣味・学習・スポーツ活動	1	1
② 地域の活動(自治会・子ども会・PTA活動など)	2	2
③ ボランティア・NPO活動	3	3
④ 政治活動	4	4
⑤ 審議会委員などの公的委員活動	5	5
⑥ 子育て支援・保育活動	6	6
⑦ 男女共同参画社会の実現に向けた学習や人権啓発に関する活動	7	7
⑧ 通訳やホームステイの受け入れなどの国際交流活動	8	8
⑨ その他の活動(具体的に)	9	9
⑩ 特にない	10	10

問 32 あなたが、今後、教養や趣味・スポーツ、その他社会的な活動に参加しようとする時、何かさまたげになるようなことがありますか。(○は3つまで)

1. 仕事が忙しく、時間がない	2. 家事・育児が忙しく、時間がない
3. 子どもの世話を頼めるところがない	4. 親や病人の介護を頼めるところがない
5. 自分の健康や体力に自信がない	6. 身近なところに活動する場所がない
7. 自分のしたい活動をしているグループや団体を知らない	
8. 経済的な余裕がない	9. 配偶者や家族の理解が得られない
10. 職場の上司や同僚の理解が得られない	
11. その他(具体的に)	
12. 特にさまたげになることはない	

問 33 配偶者(妻または夫、あるいはそれに相当する人を含む)のいる方におたずねします。あなたのご家庭では、次のようなことは主にどなたが担当されていますか(いましたか)。

※①～⑩までの項目について、それぞれ1～4のあてはまる番号に○を1つずつつけてください。	主に妻	夫婦で共同	主に夫	その他の人
① 日用品の買物	1	2	3	4
② 食事のしたく	1	2	3	4
③ 食事のあとかたづけ	1	2	3	4
④ 洗濯	1	2	3	4
⑤ 掃除やゴミ出し	1	2	3	4
⑥ 育児、子どものしつけ	1	2	3	4
⑦ 日常の家計の管理	1	2	3	4
⑧ 預貯金や投資など資産運用	1	2	3	4
⑨ 町内会・自治会活動への参加	1	2	3	4
⑩ PTAへの参加	1	2	3	4

問 34 配偶者とは、よく話をしますか。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. よく話す | 2. やや話す |
| 3. あまり話さない | 4. 必要以外全く話さない |

問 35 配偶者とは、もっと会話が必要だと感じていますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. とてもそう感じている | 2. ややそう感じている |
| 3. あまりそう感じない | 4. まったくそう感じない |

問 36 すべての方におたずねします。1日のうちであなたが家事（育児や介護等を含む）に要する平均時間は、通常の場合、平日、休日それぞれどのくらいですか。

<平日> (○は1つ)	<休日> (○は1つ)
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分未満	2. 30分未満
3. 30分～1時間未満	3. 30分～1時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 1時間～2時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 2時間～3時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 3時間～4時間未満
7. 4時間～5時間未満	7. 4時間～5時間未満
8. 5時間以上	8. 5時間以上

問 37 あなたのご家庭では、男女の役割はどうなっていますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 男女共に仕事を持ち、家庭のことについても共に協力して行っている |
| 2. 男女共に仕事を持ち、家庭のことについては女性の役割である |
| 3. 男女共に仕事を持ち、家庭のことについては男性の役割である |
| 4. 男性は仕事に専念し、家庭のことについては主に女性の役割である |
| 5. 女性は仕事に専念し、家庭のことについては主に男性の役割である |
| 6. 男女の役割は固定せずに、夫婦にあったかたちで行っている |
| 7. その他（具体的に |
| 8. 該当しない（分担する男性または女性がいない） |

問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そのとおりだと思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そうは思わない |

問 39 あなたは、次のような結婚・育児についての意見をどう思いますか。

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない	わからない
※①～⑦までの項目について、それぞれ1～5のあてはまる番号に○を1つずつつけてください。					
① 結婚は必ずしもしなくてもよい	1	2	3	4	5
② 結婚生活がうまくいかなかったら離婚してもよい	1	2	3	4	5
③ 高齢者同士の結婚に違和感はない	1	2	3	4	5
④ 夫と妻が別姓を名乗ってもよい	1	2	3	4	5
⑤ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの数や産む時期を決めるにあたっては、女性の主体的な意見を尊重した方がよい	1	2	3	4	5
⑦ 子どもがいる場合は離婚しない方がよい	1	2	3	4	5

問 40 あなたは、自分の家族の中に介護を要する人がいる場合、または、もし家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で介護したい(している)
2. ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護したい(している)
3. 特別養護老人ホーム等の施設に入所させたい(入所させている)
4. その他(具体的に)
5. わからない

問 40-1 問 40で「1」または「2」を回答された方におうかがいします。
 自宅で介護する場合、主に誰が介護することになるとお考えですか(していますか)。
 (○は1つ)

1. 主に、自分が介護すると思う(している)
2. 主に、配偶者が介護すると思う(している)
3. 主に、その他の家族(女性)が介護すると思う(している)
4. 主に、その他の家族(男性)が介護すると思う(している)
5. 家族以外の人
6. その他(具体的に)
7. わからない

問 41 もしあなた自身が介護を要する状態になった場合、どのようにしてほしいとお考えですか。
 (○は1つ)

1. 行政や外部のサービスには頼らず、自宅で家族等から介護してもらいたい
2. ホームヘルパーやデイサービス等を利用しながら主に自宅で介護してもらいたい
3. 特別養護老人ホーム等の施設に入所したい
4. その他(具体的に)
5. わからない

問 41-1 問 41 で「1」または「2」とを回答された方におうかがいします。

自宅で介護される場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 息子の妻 | 5. 娘の夫 | 6. その他の家族(女性) |
| 7. その他の家族(男性) | 8. 家族以外の人 | 9. その他(具体的に) |
| 10. わからない | | |

問 42 子育てについて、あなたのご意見をおたずねします。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
※①～④までの項目について、それぞれ1～5の あてはまる番号に○を1つずつつけてください。					
① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい	1	2	3	4	5
② 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつけるのがよい	1	2	3	4	5
③ 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
④ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5

15 仕事(職業)についておうかがいします

問 43 現在、仕事についているすべての方におたずねします。これまでどのような働き方をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 学校卒業後からずっと継続就業(職場は変わってもかまいません) | 3. 子育て後再就業 |
| 2. 結婚後再就業 | 5. 子育て後初めて就業 |
| 4. 結婚後初めて就業 | |
| 6. その他(具体的に) | |

問 44 すべての方におうかがいします。女性の仕事の仕方として、あなたが望ましいと思うものは次のどれですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい |
| 2. 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい |
| 3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する方がよい |
| 4. 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後フルタイムで仕事をする方がよい |
| 5. 子育ての時期だけ仕事を一時やめ、その後パートタイムで仕事をする方がよい |
| 6. 仕事にはつかない方がよい |
| 7. その他(具体的に) |
| 8. わからない |

問 45 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

※①～⑨までの項目について、それぞれ1～4のあてはまる番号に○を1つずつつけてください。	男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない
① 募集・採用	1	2	3	4
② 賃金	1	2	3	4
③ 仕事の内容	1	2	3	4
④ 昇進・昇格	1	2	3	4
⑤ 管理職への登用	1	2	3	4
⑥ 能力評価（業績評価・人事考課など）	1	2	3	4
⑦ 研修の機会や内容	1	2	3	4
⑧ 働き続けやすい雰囲気	1	2	3	4
⑨ 育児・介護休業など休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4

問 46 現在、仕事をしているすべての方におたずねします。あなたの生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人生活」の優先度についてお答えください。

(1) あなたの希望に近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい
8. わからない

(2) あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している
8. わからない

仕事：自営業主、家族従業者、雇用者として、週1時間以上働いていること。常勤、パート、アルバイト、嘱託は問わない

家庭生活：家族と過ごすこと、家事（食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物など）、育児、介護・看護など、
地域・個人生活：地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど

問 47 ここからはすべての方におたずねします。今後、男性が家事、子育て、介護、地域・社会活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること
3. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと
4. 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
6. 小さいときから男性に家事や育児に関する教育をすること
7. その他（具体的に)
8. 特に必要ない

問 48 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 女性の雇用機会を拡大する
2. 賃金・昇給の男女の格差をなくす
3. 男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める
4. 男女共に、能力を発揮できる配置を行う
5. 能力主義・成果主義による昇進・昇格を行う
6. 男女共に、能力やチャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する
7. 結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気をつくる
8. 男女共に育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする
9. 職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす
10. パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善する
11. 職場において男女が対等であるという意識を普及させる
12. 女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める
13. その他（具体的に)
14. わからない

問 49 出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けることができるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくりの推進
2. 労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除
3. 在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入
4. 育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実
5. 職場における男女の差別的取扱いの是正
6. 育児や介護のための施設やサービスの充実
7. 女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力
8. 家事や育児、介護等への男性の参加
9. その他（具体的に)
10. わからない

問 50 あなたは、育児休業取得の環境（会社の体制や収入面の条件等）が整ったならば、子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思いますか。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 育児休業を取得したい | 2. 育児休業は取得しなくてもよい |
| 3. 子どもを持つ予定はない | |

問 51 お子様が生れたときの育児休業の取得について、ご回答ください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 取得した |
| 2. 取得しなかった（取得しようと思わなかった） |
| 3. 取得しなかった（取得したかったができなかった） |

16 ハラスメントについておうかがいします

問 52 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたことや見聞きしたことがありますか。（○はいくつでも）

※①～⑮までの項目について、それぞれ1～3の
あてはまる番号に○を1つずつつけてください。

	受けたことがある	見聞きしたことがある	受けたことも見聞きしたこともない
① 性的な内容の話（猥談）や電話、メールをする	1	2	3
② スリーサイズなど身体的特徴を話題にする	1	2	3
③ 性的な経験、性生活に関することについて質問する	1	2	3
④ 性的な噂を流す	1	2	3
⑤ ノードや水着姿の写真が人目につくところに貼ってある	1	2	3
⑥ じろじろと身体を見られた	1	2	3
⑦ 不必要に身体を触られた	1	2	3
⑧ 食事やデートにしつこく誘う	1	2	3
⑨ 宴席でお酌やデュエットを強要	1	2	3
⑩ 立場を利用して性的関係をせまられた	1	2	3
⑪ 「男のくせに」「女のくせに」などの性差別的な発言	1	2	3
⑫ 女性だけにお茶くみや掃除、私用を強要	1	2	3
⑬ 男性だけに力仕事を強要	1	2	3
⑭ 「男の子」「女の子」「おじさん」「おばさん」などと人格を認めないような発言	1	2	3
⑮ その他（具体的に： _____)			

問 52-1 問 52 のセクシュアル・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 何もできなかった | 2. 抗議し、改善された |
| 3. 抗議し、逆に不利益を受けた | 4. 大阪労働局などに相談した |
| 5. 法的手段に訴えた | |
| 6. その他(具体的に |) |
| 7. 受けたことも見聞きしたこともない | |

問 53 マタニティ・ハラスメントを受けた時、あなたはどうしましたか。(見聞きした場合は、受けた当事者がどうされたかをお答えください。)(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 何もできなかった | 2. 抗議し、改善された |
| 3. 抗議し、逆に不利益を受けた | 4. 大阪労働局などに相談した |
| 5. 法的手段に訴えた | |
| 6. その他(具体的に |) |
| 7. 受けたことも見聞きしたこともない | |

【マタニティ・ハラスメント】

働く女性が妊娠・出産・育児に関連し、職場において受ける精神的・肉体的いやがらせのこと。妊娠中や産休後に会社等で受ける「心無い言葉・行動」「解雇や契約打ち切り、自主退職への誘導」などの行為。

17 ドメスティック・バイオレンス(DV)についておうかがいします

問 54 あなたは、配偶者や親しい異性(恋人など)から暴力(身体的なものだけではなく、心理的なものなど)を受けた経験や見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 直接自分が暴力を受けたことがある | |
| 2. 身近に暴力を受けた(受けている)当事者がいる | |
| 3. 身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある | |
| 4. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている | |
| 5. 見聞きしたことはない | 6. 暴力をふるったことがある |
| 7. その他(具体的に |) |
| 8. わからない | |

問 54-1 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。それはどのような暴力ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 身の危険を感じるくらいの暴行を受ける(身体的暴力) | |
| 2. 医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける(身体的暴力) | |
| 3. いやがっているのに性的な行為を強要される(性的暴力) | |
| 4. 「誰のおかげで生活できるんだ」などと言われる(経済的暴力・心理的暴力) | |
| 5. 何を言っても無視され続ける(心理的暴力) | |
| 6. 大声でどなられる(威嚇・強制・脅迫) | |
| 7. 生活費を渡されないことがあった(経済的暴力) | |
| 8. 友人関係を制限したり、携帯電話を勝手にチェックされる(社会的隔離) | |
| 9. その他(具体的に |) |

問 54-2 問 54 で「1. 直接自分が暴力を受けたことがある」を回答された方におうかがいします。あなたは、そのことを、誰かにうち明けたり、相談したりしましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|--|---------------|
| 1. 警察 | 2. 法務局・人権擁護委員 |
| 3. 配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター） | |
| 4. 人権市民相談課・女性サポートステーション WESS 5. その他の公的機関 | |
| 6. 民間の機関（弁護士、支援グループなど） 7. 医療関係者（医師、看護師など） | |
| 8. 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど） | |
| 9. 家族、親戚 10. 友人、知人 | |
| 11. その他（具体的に) | |
| 12. どこにも相談しなかった → 問 54-3 へ | |

問 54-3 問 54-2 で「12. どこにも相談しなかった」を回答された方におうかがいします。あなたがどこにも相談しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|------------------|
| 1. どこに（誰に）相談したらよいのかわからなかった | |
| 2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 3. 相談しても無駄だと思った |
| 4. 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思った | |
| 5. 自分さえ我慢したら、なんとかこのままやっているとあった | |
| 6. 相談先の担当者の言動により不快な思いをすと思った | |
| 7. 世間体が悪い | 8. 他人を巻き込みたくない |
| 9. そのことについて思い出したくない | 10. 自分にも悪いところがある |
| 11. 相談するほどのことではないと思った | |
| 12. その他（具体的に) | |

問 55 すべての方におたずねします。ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者や恋人など親しい人からの暴力）について、あなたが相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------|
| 1. 警察 | 2. 法務局・人権擁護委員 |
| 3. 配偶者暴力相談支援センター（大阪府女性相談センター、子ども家庭センター） | |
| 4. 人権市民相談課・女性サポートステーション WESS 5. その他の公的機関 | |
| 6. 民間の機関（弁護士、支援グループなど） 7. 医療関係者（医師、看護師など） | |
| 8. その他（具体的に) | |
| 9. ひとつも知らない | |

問 56 ドメスティック・バイオレンスを防ぐためには何が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 法律・制度の制定や見直しを行う | 2. 犯罪の取り締まりを強化する |
| 3. 女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする | |
| 4. 被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる | |
| 5. 家庭や学校において男女平等についての教育を充実させる | |
| 6. メディアが自主的に倫理規定を強化する | |
| 7. 過激な内容の動画やゲーム等の閲覧を制限する | |
| 8. その他（具体的に) | |
| 9. 特に対策の必要はない | 10. わからない |

問 61 門真市の政策に女性の意見を反映するためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 女性の意見を政策に反映することの大切さを広く啓発する
2. 女性を対象とした各種講座を充実する
3. 自治会、PTAなどの地域組織で、女性の「長」や役員を増やす
4. 委員会などの女性委員を増やす
5. まちづくりを考える女性団体を育成・支援する
6. 気軽な意見提案の方法の周知・活用を図る
7. 女性が住民懇談会などの場でもっと発言する
8. 女性みずからが市の政策に参画する意欲を持つ
9. 市の女性職員の能力の活用を図る
10. その他（具体的に)
11. 特別な取り組みは必要ない
12. わからない

問 62 次の「ことがら」や「ことば」をご存じですか。(○はそれぞれ1つずつ)

※①～⑧までの項目について、それぞれ1～3の
あてはまる番号に○を1つずつつけてください。

	い よ く 知 っ て	が 聞 い た こ と	知 ら な か っ た
① メディア・リテラシー（メディアからの情報を読み解く能力）	1	2	3
② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）	1	2	3
③ ジェンダー（社会的・文化的性差）	1	2	3
④ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）	1	2	3
⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑥ ダイバーシティ（多様な人材の活用）	1	2	3
⑦ LGBT	1	2	3
⑧ パートナーシップ宣誓証明制度	1	2	3

問 63 あなたは、わが国における男女共同参画社会の形成は何のために必要だと思いますか。
(あなたのお考えに近いもの2つまでに○)

1. 性別による差別を撤廃し、両性の平等に基づく人権を確立するため
2. 政策・方針決定過程に、男性のみならず女性の積極的な参加を可能とすることで、国民各層の意見をより反映させ、民主主義の成熟を図るため
3. 男性も女性もその能力と個性を十分に発揮し、多様な生き方を選択できるようにするため
4. 少子・高齢化の進行に伴い労働力人口が減少する中で、活力ある経済・社会を維持していくためには、女性の能力を十分に生かしていくことが必要になるため
5. 今後、わが国が持続可能な発展の道を確認するためには、従来とは異なる多様な個性・価値観を生かした産業の発展が不可欠であり、そのためには多様な人材が必要であるため
6. 女性の地位と能力の向上のための国連などの世界的な取り組みにわが国も、国際社会の一員として共同して参画する必要があるため
7. その他（具体的に)
8. 特にない
9. わからない

問 64 男女共同参画社会の形成を進めるためには、今後、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 審議会委員や管理職など、女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する
2. 民間企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
3. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する
4. 男女共同参画社会づくりに役立つ情報を収集し広く提供する
5. 職場において男女の均等な取り扱いが行われるよう、企業等に働きかける
6. 仕事と生活のバランスがとれるよう、男女共に働き方の見直しを進める
7. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
8. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
9. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
10. 学校教育や生涯学習の場で男女共同参画に向けた学習を充実する
11. 女性の性の保護や男女共の生涯にわたる健康づくりを充実する
12. 女性に対するあらゆる暴力の防止や被害者への支援を充実する
13. 男女共同参画を進めるための啓発活動を充実する
14. その他(具体的に _____)
15. 特にない

◎ 人権問題について、ご意見、ご要望があればどんなことでも結構です。ご自由にお書きください。

◎ 男女共同参画について、あるいは男女共同参画社会の実現に向けた市の施策について、ご意見、ご要望があればどんなことでも結構です。ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

2 事業所

男女共同参画に関する事業所アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このアンケート調査は、「人権教育・人権啓発推進基本計画」「第3次かどま男女共同参画プラン」の策定に先立ち、事業所の皆様に女性が活躍できる職場づくりなどについての考えをお聞かせいただき、計画策定の基礎資料として使わせていただくために実施します。

この調査では、公正採用選考人権啓発推進員を配置されている門真市内の事業所及び門真市ものづくり企業ネットワーク会員事業所の中から100社を選ばせていただきました。

調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用したりすることはございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年10月

門真市長 宮本 一孝

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・ご記入は、事業所の代表者または人事・労務関係のご担当の方をお願いいたします。
- ・令和2年10月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、10月23日(金)までに郵送していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

門真市 市民文化部 人権市民相談課

電話 06-6902-6079

貴社（事業所）について、おうかがいします

問1 貴社（事業所）の業種をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------|--------------|-----------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | 3. 電気・ガス・熱供給・水道 |
| 4. 運輸、情報・通信業 | 5. 卸売業 | 6. 小売業、飲食業 |
| 7. 金融・保険業 | 8. 不動産業 | 9. 教育、学習支援 |
| 10. サービス業 | 11. その他（具体的に | ） |

問2 貴社（事業所）《本調査票の送付先》は、組織上次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 単独事業所（他の場所に本社、支社などを持たない事業所） ⇒ 問3へ |
| 2. 本社・本店・本所（他の場所に支社などをもち、それらを統括する事業所） ⇒ 問2-1へ |
| 3. 支社・支店・支所（他の場所にある本社などの統括を受けている事業所） ⇒ 問2-1・2へ |

問2-1 問2で「2」または「3」を回答された方におうかがいします。
貴社全体の従業員数（常時雇用者）は何人ですか。（1つに○）

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-----------|
| 1. 30人未満 | 2. 30~100人 | 3. 101~300人 | 4. 301人以上 |
|----------|------------|-------------|-----------|

問2-2 問2で「3」を回答された方におうかがいします。
本社の所在地はどちらですか。（どちらかに○）

- | | |
|---------|---------|
| 1. 門真市内 | 2. 門真市外 |
|---------|---------|

問3 貴事業所の従業員の構成についておうかがいします。

※(1)から(5)までのそれぞれの項目について、1から6のあてはまる番号に1つだけ○

		0人	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30人以上
(1) 正規従業員数	男性	1	2	3	4	5	6
	女性	1	2	3	4	5	6
(2) パート・アルバイト ・派遣等の臨時従業員	男性	1	2	3	4	5	6
	女性	1	2	3	4	5	6
(3) 管理職数	男性	1	2	3	4	5	6
	女性	1	2	3	4	5	6
(4) 障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める）	男性	1	2	3	4	5	6
	女性	1	2	3	4	5	6
(5) 前年度（令和2年度） の新規採用者数（正規）	男性	1	2	3	4	5	6
	女性	1	2	3	4	5	6

男女が働きやすい職場環境への取り組みについて、おうかがいします

問4 令和2年6月から職場におけるハラスメント防止対策が強化され、パワーハラスメント措置が事業主の義務（注※中小事業主は令和4年4月1日から）になりましたが、ご存知でしたか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知っているが内容はよく知らない
3. 知らなかった

問5 パワーハラスメント（以降、「パワハラ」と記載）が発生する原因は何だと思えますか。（主なもの2つまで）

1. コミュニケーション不足
2. 行為者側のパワハラの認識不足（パワハラと指導の違いを理解していない）
3. 自社内等の理不尽な慣習の踏襲
4. 心理的安全性（他者の反応に怯えたり、羞恥心を感じたりすることなく、自然体の自分をさらけ出すことができる環境や雰囲気）がない
5. 自社内等でパワハラの研修、周知、対策がされていない
6. その他（具体的に

問6 セクシュアル・ハラスメント（以降、「セクハラ」と記載）が発生する原因は何だと思えますか。（主なもの3つまでに○）

1. 職場で、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」といった男女の固定的役割分担意識があるから
2. 公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから
3. プライベートな事柄まで、干渉する人がいるから
4. 男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから
5. 職場が、雇用管理において、男性中心の発想から抜け出せていないから
6. その他（具体的に

問7 貴事業所では、セクハラに対する対策をとっていますか。（どちらかに○）

1. とっている ⇒問7-1へ
2. とっていない ⇒問7-2へ

問7-1 問7で「1. とっている」を回答された事業所の方におうかがいします。セクハラに対して、どのような対策をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる
2. セクハラ防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している
3. セクハラ防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている
4. セクハラ防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている
5. セクハラ相談、苦情を受け付ける相談窓口を設置している
6. 相談窓口担当者の研修を実施している
7. 相談窓口担当者に女性をおいている
8. セクハラについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている
9. その他（具体的に

問7-2 問7で「2. とっていない」を回答された事業所の方におうかがいします。
対策をとっていない理由をお答えください。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 事業主に防止義務があることを知らなかった |
| 2. 特に事業所に訴えがない(セクハラがない) |
| 3. 女性従業員がいない |
| 4. 現在では対策をとっていないが、検討中である |
| 5. その他(具体的に |

)

問8 貴事業所の男女の処遇について、おうかがいします。

※(1)から(10)までのそれぞれの項目
について、1から4のあてはまる番号
に1つだけ○

	女性優遇	男女平等	男性優遇	わからない
(1) 採用・募集	1	2	3	4
(2) 仕事内容・責任	1	2	3	4
(3) 給与・賃金	1	2	3	4
(4) 昇格・降格	1	2	3	4
(5) 能力・成果の評価	1	2	3	4
(6) 研修・訓練の機会	1	2	3	4
(7) 勤務時間	1	2	3	4
(8) 福利厚生	1	2	3	4
(9) 解雇	1	2	3	4
(10) 再雇用	1	2	3	4

問9 貴事業所の正規従業員とパート従業員との処遇について、おうかがいします。

※(1)から(10)までのそれぞれの項目
について、1から4のあてはまる番号
に1つだけ○

	格差がある	格差はない	わからない
(1) 採用・募集	1	2	3
(2) 仕事内容・責任	1	2	3
(3) 給与・賃金	1	2	3
(4) 昇格・降格	1	2	3
(5) 能力・成果の評価	1	2	3
(6) 研修・訓練の機会	1	2	3
(7) 勤務時間	1	2	3
(8) 福利厚生	1	2	3
(9) 解雇	1	2	3
(10) 再雇用	1	2	3

問 10 貴事業所では、男女間の格差の解消を進めるための積極的な取り組み（ポジティブ・アクション）を何か実施していますか。（1つに○）

1. 実施している ⇒問 10-1へ
2. 実施していない ⇒問 11へ
3. 実施していないが検討中である ⇒問 11へ
4. ポジティブ・アクションについて全く知らない ⇒問 11へ

問 10-1 問 10で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 意欲と能力のある女性を積極的に募集・採用している
2. 昇進・昇格試験を受験するように女性従業員に積極的に奨励する
3. 昇進・昇格に向けて、女性従業員に対する特別研修などを実施する
4. 当該配置・昇進の基準を満たす従業員の中から、男性より女性を優先して配置・昇進させる
5. 初めて女性を配置・登用する場合に、受入れが円滑にいくよう上司に指導するなど配慮する
6. 女性の配置に備えて女性用の休憩室、トイレ、ロッカーなどを整備する
7. 女性従業員に対し積極的に教育訓練を実施する
8. 社内報などを通じ、男女格差の是正に取り組む会社の姿勢を従業員に示している
9. お茶くみ、机の掃除などを女性にのみ命じることのないように徹底している
10. 職場・就業環境についての意見や要望を受け入れる体制を整えている
11. 女性管理職との懇談の場を設けるなど、女性の職業意識の向上を促している
12. 女性の人材活用環境整備も視野に入れて、全体的に時間外労働の縮減に取り組んでいる
13. その他（具体的に)

問 11 すべての事業所の方におうかがいします。

女性の人材を活用するにあたって、支障となることはどのようなことだと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 女性の平均勤続年数が短いこと
2. 家事、育児、介護などの家族的責任に伴い、配置や時間外労働に制約があること
3. 防犯上の問題から、女性には時間外労働や深夜労働をさせにくいこと
4. 重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約があること
5. 女性自身が昇進・昇格を望まないこと
6. 一般的に女性は職業意識が低いこと
7. 女性従業員の人材活用に関する社会全体の認識、理解が不十分であること
8. 男性管理職や男性従業員の認識、理解が不十分であること
9. コストや事務量が増えること
10. その他（具体的に)

ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みについて、おうかがいします

問 12 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する取り組みを何か実施していますか。（1つに○）

1. 実施している ⇒問 12-1 へ
2. 実施していない ⇒問 13 へ
3. 実施していないが検討中である ⇒問 13 へ
4. ワーク・ライフ・バランスについて全く知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 問 12 で「1. 実施している」を回答された事業所の方におうかがいします。それはどのような取り組みですか。（1）及び（2）についてお答えください。

（1）職業生活と家庭生活との両立支援に関して（あてはまるものすべてに○）

1. 妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保についての周知や情報提供、相談体制の整備
2. 産前産後休業後における現職または現職相当職への復帰のための業務内容や体制の見直し
3. 子どもが生まれる際の父親の休暇の取得の促進
4. 小学校就学前の子どもを育てる労働者が利用できる措置の実施
5. 小学校就学前の子どもを育てる労働者が利用できる事業所内託児施設の設置及び運営
6. 小学校就学前の子どもを育てる労働者が子育てのためのサービスを利用する際に要する費用の援助の措置の実施
7. 育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度の実施
8. 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備
9. 労働者が子どもの看護のための休暇を取得できる制度の導入
10. 希望する労働者に対する勤務地、担当業務の限定制度の実施
11. 子育てを行う労働者の社宅への入居に関する配慮、子育てのために必要な費用の貸付の実施など子育てをしながら働く労働者に配慮した措置の実施
12. 育児・介護休業法や雇用保険法、労働基準法に基づく諸制度の周知
13. 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施
14. その他（具体的に)

（2）働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備に関して（あてはまるものすべてに○）

1. ノー残業デー等の導入・拡充や企業内の意識啓発等による所定外労働の削減
2. 年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施
3. 多様な働き方の選択を拡大するための短時間勤務や隔日勤務の導入
4. 情報通信技術（IT）を利用した場所・時間にとらわれない働き方の導入
5. 職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識の是正のための情報提供・研修の実施
6. その他（具体的に)

問 13 貴事業所で、過去 1 年間（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）における育児休業や介護休業の取得状況を、それぞれ男女別にご記入ください。

(1) 育児休業の取得状況

女 性	① 出産者数	② 育児休業取得者数
	() 人	() 人
男 性	① 配偶者が出産した従業員数	② 育児休業取得者数
	() 人	() 人

(2) 介護休業の取得状況

女 性	() 人	男 性	() 人
-----	-------	-----	-------

問 14 令和 2 年 4 月から女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）※が改正され施行されたことをご存じですか。

（1 つに〇）

1. 改正されたことも、内容も知っている
2. 改正されたことは知っているが、内容は知らなかった
3. 改正されたことを知らない

【女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の改正内容】

『1 一般事業主行動計画の策定義務の対象拡大』

一般事業主行動計画の策定・届出義務及び自社の女性活躍に関する情報公表の義務の対象が、常時雇用する労働者が 301 人以上から 101 人以上の事業主に拡大されます（令和 4 年 4 月 1 日施行）。

『2 女性活躍に関する情報公表の強化』

常時雇用する労働者が 301 人以上の事業主は、情報公表項目について、
 (1) 職業生活に関する機会の提供に関する実績
 (2) 職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備に関する実績
 の各区分から 1 項目以上公表する必要があります（令和 2 年 6 月 1 日施行）。

『3 特例認定制度（プラチナえるぼし）の創設』

女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主の方への認定（えるぼし認定）よりも水準の高い「プラチナえるぼし」認定を創設します（令和 2 年 6 月 1 日施行）。

問 15 男女の仕事と生活の調和をはじめ、女性を積極的に登用するなどの取り組みは、貴事業所にとってどのようなメリットがあると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. CSR (社会的責任) を果たす | 2. 企業のイメージアップにつながる |
| 3. 社員の定着率が高まる | 4. 社員の意識・意欲が向上する |
| 5. 生産性が向上する | 6. 職場の雰囲気明るくなる |
| 7. チームや組織で助け合う雰囲気が出てくる | 8. 社員が生活者の視点をもつようになる |
| 9. 有能な人材採用のチャンスが増える | |
| 10. 女性の勤続年数が伸びて、熟練従業員が増える | |
| 11. 男性の意識が変わり、女性従業員を対等な存在として見るようになる | |
| 12. その他 (具体的に) | |
| 13. とくにない | |

問 16 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法※に基づく「一般事業主行動計画」の策定はどのような状況ですか。(1つに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. すでに策定済み |
| 2. 現在、策定中 |
| 3. 今は策定していないが、今後、策定する予定 (年 月ごろを予定) |
| 4. まだ策定しておらず、今後、策定するかは未定 ⇒問 16-1 へ |
| 5. 今後も策定する予定はない ⇒問 16-1 へ |
| 6. わからない |

【次世代育成支援対策推進法】

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境を整備するために、国、地方公共団体、企業、国民が担う責務を明らかにし、平成 17 年 4 月から施行され、法改正により法律の有効期限が令和 7 年 3 月 31 日まで延長。

問 16-1 問 16 で「4」または「5」を回答された事業所の方におうかがいします。
策定していない (予定はない) 理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. どのような計画を策定したらいいかわからない |
| 2. 策定している時間的な余裕がない |
| 3. 一般事業主行動計画のことを知らなかった |
| 4. 「仕事と家庭の両立」が図られており、策定の必要がないと考えている |
| 5. 「仕事と家庭の両立」は行政が取り組むべきものであると考えている |
| 6. 子育て中の従業員がいない |
| 7. 出産対象となる女性従業員がいない |
| 8. その他 (具体的に) |

問 17 貴事業所は、門真市男女共同参画推進条例についてご存じですか。

(1) 条例の制定について (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(2) 事業者の責務が定められていることについて (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

門真市男女共同参画推進条例 (抜粋)

第6条 (事業者の責務) 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動において、男女共同参画の推進に努めなければならない

問 18 行政からどのような支援があれば、貴事業所として男女共同参画への取り組みが行いやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 財政的支援 (奨励金、低金利融資など) |
| 2. 企業活動へのインセンティブの付与 (入札での優遇など動機付けとなる措置) |
| 3. 取り組み企業の積極的PRによるイメージアップ (市の表彰制度や広報紙等への掲載など) |
| 4. 他の企業の取り組み事例の紹介 (セミナーの開催など) |
| 5. コンサルティング支援 |
| 6. 研修会の開催 |
| 7. 男女共同参画推進員の設置支援 |
| 8. その他 (具体的に) |

問 19 貴事業所の男女共同参画に関する取り組みの紹介や、今後、門真市が男女共同参画社会をつくるためのご意見、ご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。